

大山崎町  
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び  
在宅介護実態調査  
報 告 書

令和8年(2026年)2月



大 山 崎 町



# 目次

第1章 調査の概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査の設計 .....	1
3. 回収状況 .....	1
4. 報告書を見る際の注意点 .....	2
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(一般高齢者対象)の結果 .....	3
1. 回答者の属性 .....	3
2. からだを動かすことについて .....	11
3. 食べることについて .....	25
4. 毎日の生活について .....	36
5. 地域での活動について .....	62
6. 就労について .....	76
7. たすけあいについて .....	80
8. 健康について .....	95
9. 認知症にかかる相談窓口の把握について .....	105
10. 高齢者に関するサービス・制度等について .....	112
11. 今後の生活や高齢者施策全般について .....	128
12. リスク判定 .....	134
第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(要支援認定者対象)の結果 .....	147
1. 回答者の属性 .....	147
2. からだを動かすことについて .....	157
3. 食べることについて .....	171
4. 毎日の生活について .....	182
5. 地域での活動について .....	208
6. 就労について .....	222
7. たすけあいについて .....	226
8. 健康について .....	241
9. 認知症にかかる相談窓口の把握について .....	251
10. 高齢者に関するサービス・制度等について .....	258
11. 今後の生活や高齢者施策全般について .....	274
12. リスク判定 .....	280

第4章 在宅介護実態調査.....	293
I 単純集計結果.....	293
1. 回答者の属性.....	293
2. 介護保険サービスについて.....	296
3. 介護保険サービス以外の支援・サービスについて.....	300
4. 訪問診療・居宅療養管理指導について.....	305
5. 毎日の生活について.....	309
6. 高齢者に関する制度について.....	315
7. 主な介護者の属性.....	321
8. 主な介護者が行っている介護等の状況.....	325
9. 主な介護者の就労について.....	330
10. 要介護認定データ.....	334
II クロス集計結果.....	342
1. 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討.....	342
2. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討.....	363
3. 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討.....	383
4. 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討.....	395
5. 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討.....	406
6. サービス未利用の理由など.....	416

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、大山崎町第 11 次高齢者福祉計画(大山崎町第10期介護保険事業計画)を策定するにあたり、既存データでは把握困難な高齢者の実態や意識・意向を調査・分析し、計画策定の基礎資料とすることを目的としています。

## 2. 調査の設計

【図表 1-2-1 調査の設計】

調査名	対象	調査方法	調査期間
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 (一般高齢者対象)	町内在住の 65 歳以上で 要支援・要介護認定を受けていない人:1,000 人 (無作為抽出)	郵送配布 郵送回収	令和7年(2025年) 11月19日(水) ～ 令和7年(2025年) 12月19日(金)
② 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 (要支援認定者対象)	町内在住の要支援認定を受けている人:269人 (対象者全数)		
③ 在宅介護実態調査	要介護認定を受けて在宅で生活している人: 453人(対象者全数)		

## 3. 回収状況

【図表 1-3-1 調査の設計】

調査名	配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 (一般高齢者対象)	1,000 件	700 件	698 件	69.8%
② 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 (要支援認定者対象)	269 件	195 件	195 件	72.5%
③ 在宅介護実態調査	453 件	249 件	249 件	55.0%
合計	1,722 件	1,144 件	1,142 件	66.3%

## 4. 報告書を見る際の注意点

---

- 回答は各設問の回答者数(n)を分母とした百分率(%)で示しています。
- 回答結果の割合「%」は、有効回答数に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が「100.0%」にならない場合があります。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が「100.0%」を超える場合があります。
- 図表上の「MA%」という表記は複数回答(Multiple Answer の略)の意味です。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の前回調査とは、令和4年度(2022 年度)に実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態調査」を指します。
- 前回調査では、複数回答の設問において、無回答が集計されていないため数値を記載しておりません。
- 回答者数(n)が少数となる場合は参考までに数値を見るにとどめ、結果の利用には注意が必要です。
- 大山崎町では、中学校区である町全体を1つの日常生活圏域と設定しており、本調査では居住地区別にクロス集計を行いました。
- 第4章の「Ⅱクロス集計結果」は、要介護認定データと紐付け可能な回答のみを対象としているため、調査票の記入不備等により紐付けできなかった一部の回答が除外されることにより、「Ⅰ単純集計結果」とは母数が異なることから、算出割合に差が生じています。

## 第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(一般高齢者対象)の結果

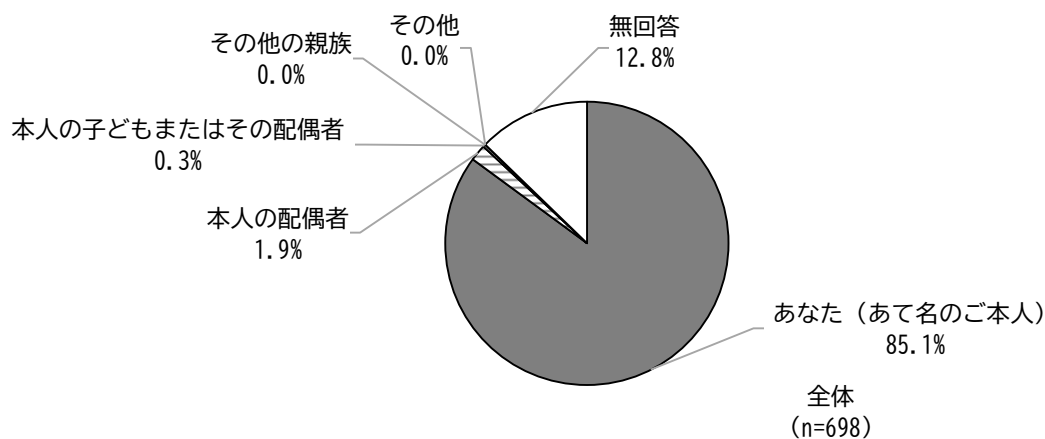
### 1. 回答者の属性

#### (1) 回答者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

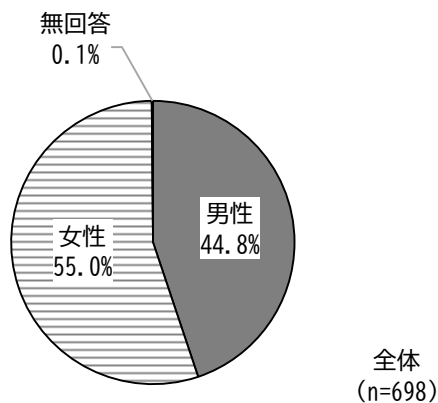
回答者について、「あなた(あて名のご本人)」が 85.1%で最も高く、次いで「本人の配偶者」が 1.9%、「本人の子どもまたはその配偶者」が 0.3%となっています。

【図表2-1-1 回答者】

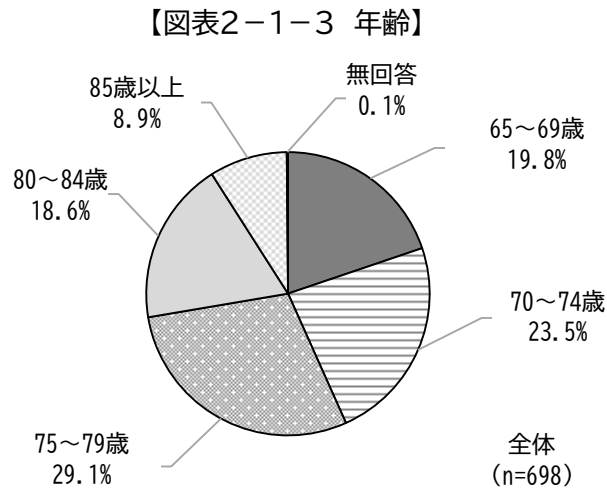


性別について、「男性」が 44.8%、「女性」が 55.0%となっています。

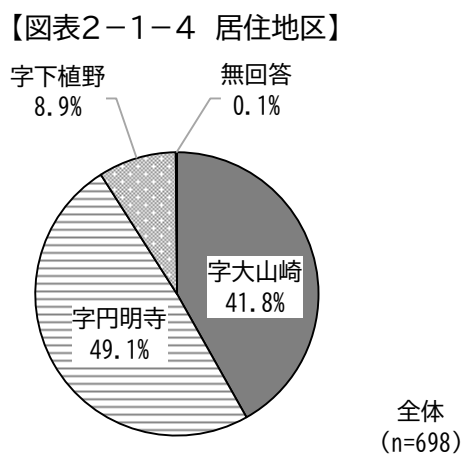
【図表2-1-2 性別】



年齢について、「75～79 歳」が 29.1%で最も高く、次いで「70～74 歳」が 23.5%、「65～69 歳」が 19.8%となっています。



居住地区について、「字円明寺」が 49.1%で最も高く、次いで「字大山崎」が 41.8%、「字下植野」が 8.9%となっています。

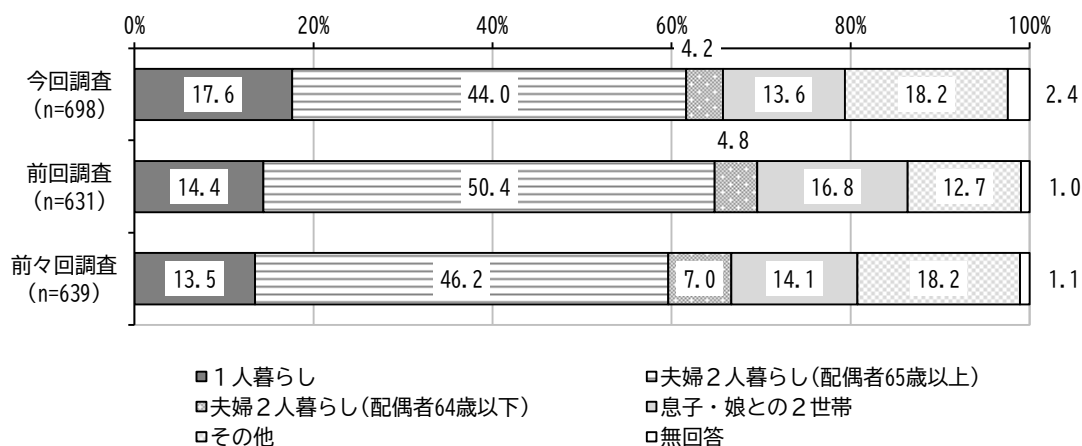


## (2) 世帯構成

問1 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

世帯構成について、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 44.0%で最も高く、次いで「その他」が 18.2%、「1人暮らし」が 17.6%となっています。また、前回調査と比較して「1人暮らし」が 3.2ポイント増加し、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 6.4ポイント、「息子・娘との2世帯」が 3.2ポイント減少しています。

【図表2-1-5 世帯構成】

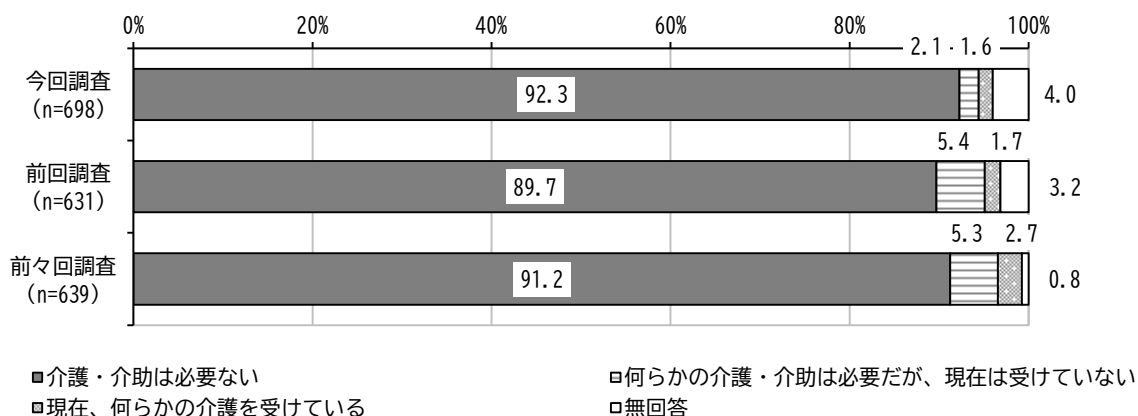


### (3) 介護・介助の状況

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

介護・介助の状況について、「介護・介助は必要ない」が 92.3%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 2.1%、「現在、何らかの介護を受けている」が 1.6%となっています。また、前回調査と比較して「介護・介助は必要ない」が 2.6 ポイント増加しています。

【図表2-1-6 介護・介助の状況】



性別にみると、「介護・介助は必要ない」について、男性では 90.1%、女性では 94.0%となっており、女性のほうが 3.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「介護・介助は必要ない」では、75～79 歳が 96.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「介護・介助は必要ない」では、字下植野が 93.5%で最も高くなっています。

【図表2-1-7 介護・介助の状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

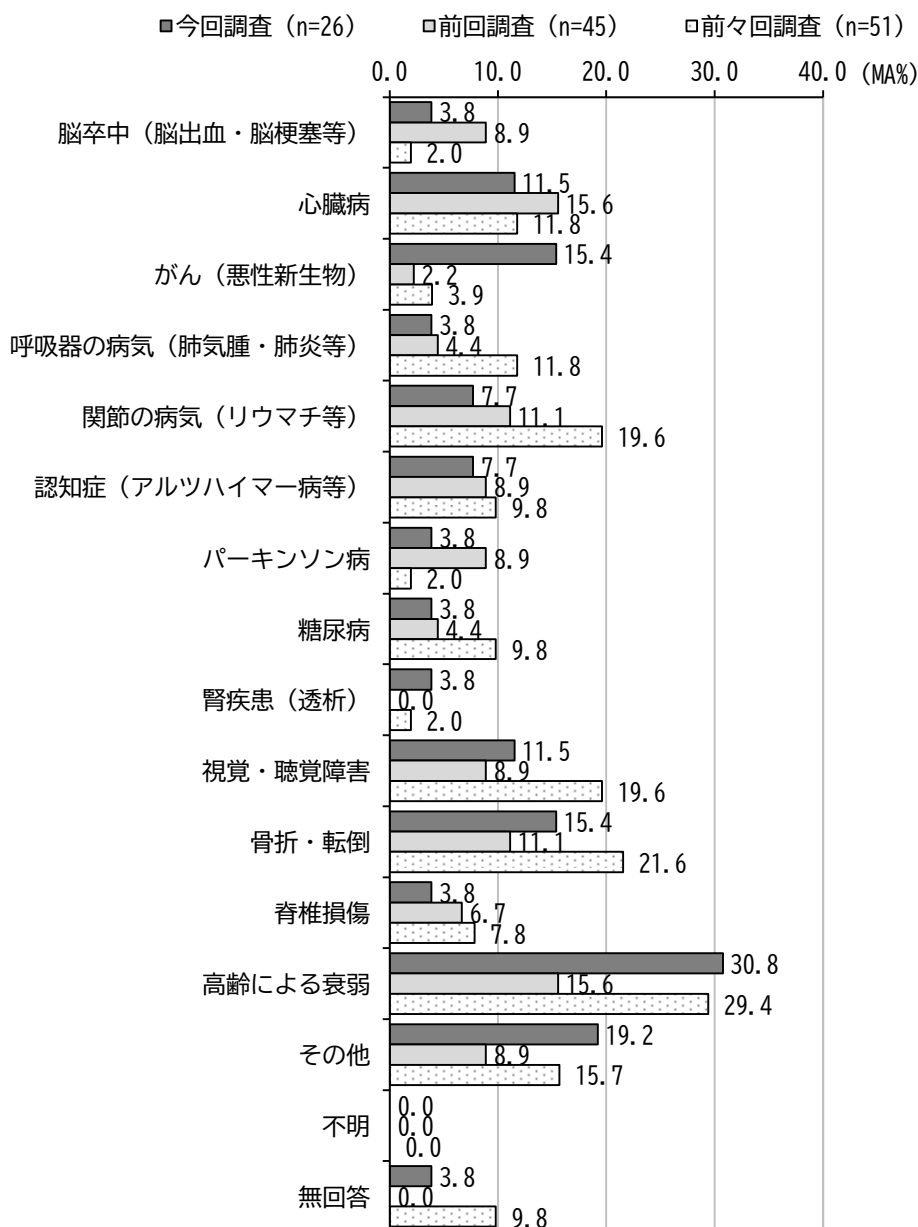
		合計(人)	要介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
性別	男性	313	90.1	3.2	1.9	4.8
	女性	384	94.0	1.3	1.3	3.4
年齢別	65～69歳	138	89.1	2.2	1.4	7.2
	70～74歳	164	93.9	1.2	1.8	3.0
	75～79歳	203	96.1	2.0	1.0	1.0
	80～84歳	130	90.0	2.3	2.3	5.4
	85歳以上	62	87.1	4.8	1.6	6.5
世帯構成別	1人暮らし	123	93.5	3.3	1.6	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	93.8	2.0	2.0	2.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	96.6	0.0	0.0	3.4
	息子・娘との2世帯	95	92.6	3.2	2.1	2.1
	その他	127	92.9	1.6	0.8	4.7
居住地区別	字大山崎	292	91.1	3.1	1.7	4.1
	字円明寺	343	93.0	1.7	0.9	4.4
	字下植野	62	93.5	0.0	4.8	1.6

#### (4) 介護・介助が必要になった原因

問2-1	<p>【問2で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」を回答された方のみ】</p> <p>介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(〇はいくつでも)</p>
------	---

介護・介助が必要になった原因について、について、「高齢による衰弱」が 30.8%で最も高く、次いで「その他」が 19.2%、「がん(悪性新生物)」「骨折・転倒」が 15.4%となっています。また、前回調査と比較して「高齢による衰弱」が 15.2 ポイント増加しています。

【図表2-1-8 介護・介助が必要になった原因】

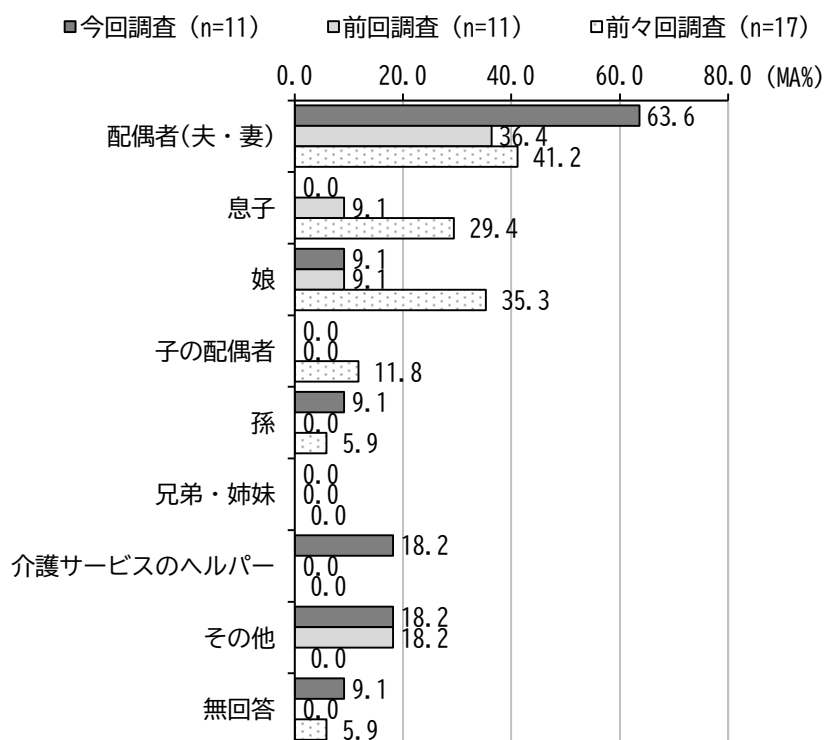


### (5) 介護者・介助者

問2-2 【問2で「現在、何らかの介護を受けている」を回答された方のみ】  
主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

介護者・介助者について、「配偶者(夫・妻)」が63.6%で最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」「その他」が18.2%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者(夫・妻)」が27.2ポイント増加しています。

【図表2-1-9 介護者・介助者】

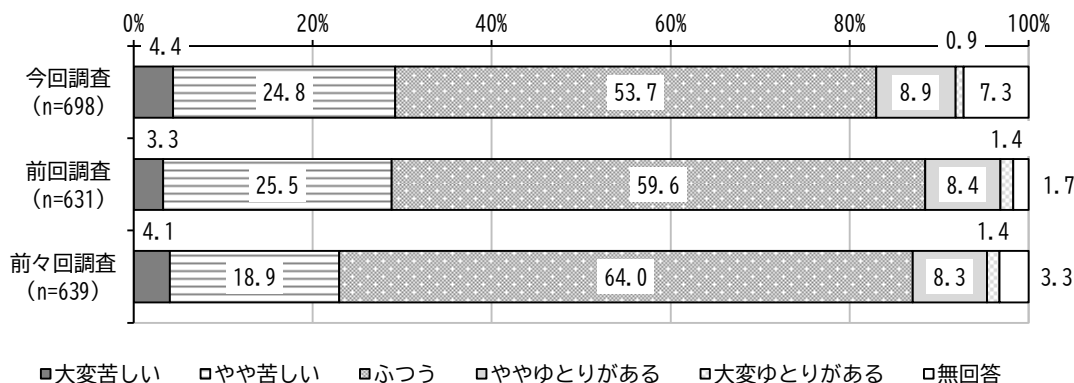


## (6) 経済的な暮らしの状況

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

経済的な暮らしの状況について、「ふつう」が 53.7%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 24.8%、「ややゆとりがある」が 8.9%となっています。また、前回調査と比較して「ふつう」が 5.9 ポイント減少しています。

【図表2-1-10 経済的な暮らしの状況】



性別にみると、男性・女性ともに「ふつう」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「大変苦しい」では、70～74歳が7.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「大変苦しい」では、字大山崎と字下植野が4.8%となっています。

【図表2-1-11 経済的な暮らしの状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

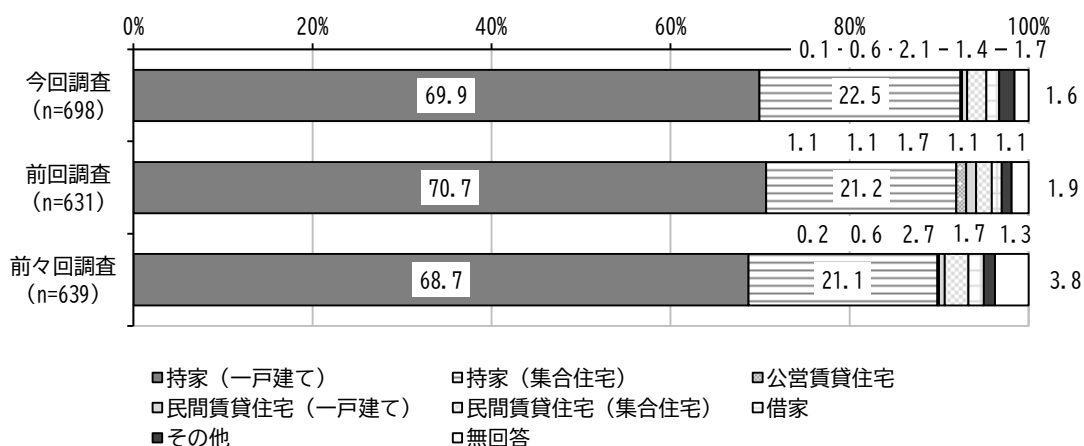
		合計(人)	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
性別	男性	313	6.1	25.6	49.2	10.9	1.3	7.0
	女性	384	2.9	24.2	57.6	7.3	0.5	7.6
年齢別	65～69歳	138	2.9	29.7	50.7	6.5	1.4	8.7
	70～74歳	164	7.3	26.8	47.0	12.8	0.0	6.1
	75～79歳	203	4.4	23.6	57.6	7.4	1.5	5.4
	80～84歳	130	2.3	20.0	57.7	10.0	0.8	9.2
	85歳以上	62	3.2	22.6	58.1	6.5	0.0	9.7
世帯構成別	1人暮らし	123	7.3	18.7	57.7	8.1	0.8	7.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	2.9	25.4	51.1	12.1	1.3	7.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	6.9	20.7	58.6	3.4	0.0	10.3
	息子・娘との2世帯	95	2.1	26.3	63.2	4.2	0.0	4.2
	その他	127	7.1	30.7	49.6	7.9	0.8	3.9
居住地区別	字大山崎	292	4.8	22.9	51.7	12.3	1.0	7.2
	字円明寺	343	3.8	25.9	55.7	6.4	0.9	7.3
	字下植野	62	4.8	27.4	53.2	6.5	0.0	8.1

## (7) 居住形態

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

居住形態について、「持家(一戸建て)」が69.9%で最も高く、次いで「持家(集合住宅)」が22.5%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が2.1%となっています。また、前回調査と比較して「持家(一戸建て)」が0.8ポイント減少しています。

【図表2-1-12 居住形態】



性別にみると、男性・女性ともに「持家(一戸建て)」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「持家(一戸建て)」では、80～84歳が77.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「持家(一戸建て)」では、字大山崎が84.9%で最も高くなっています。

【図表2-1-13 居住形態(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
性別	男性	313	67.7	24.0	0.3	1.0	1.6	1.6	1.9	1.9
	女性	384	71.9	21.4	0.0	0.3	2.6	1.3	1.6	1.0
年齢別	65～69歳	138	65.2	25.4	0.0	1.4	3.6	0.7	1.4	2.2
	70～74歳	164	66.5	23.8	0.0	0.6	3.7	2.4	1.8	1.2
	75～79歳	203	70.4	23.6	0.0	0.0	0.5	2.0	2.0	1.5
	80～84歳	130	77.7	16.9	0.0	0.0	1.5	0.8	1.5	1.5
	85歳以上	62	72.6	21.0	1.6	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	52.8	34.1	0.8	0.0	4.9	2.4	1.6	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	73.6	20.2	0.0	0.7	2.3	1.0	1.3	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	55.2	41.4	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	75.8	18.9	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	3.2
	その他	127	77.2	15.0	0.0	0.8	0.8	1.6	3.9	0.8
居住地区別	字大山崎	292	84.9	7.9	0.0	1.4	1.7	1.0	0.7	2.4
	字門明寺	343	54.8	38.5	0.3	0.0	2.0	0.9	2.6	0.9
	字下植野	62	83.9	3.2	0.0	0.0	4.8	6.5	1.6	0.0

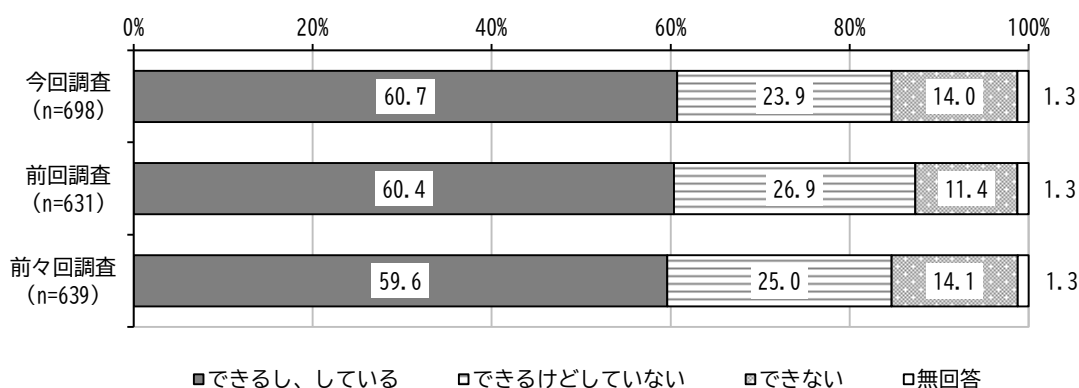
## 2. からだを動かすことについて

### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか

問5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)
----	------------------------------

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかについて、「できるし、している」が 60.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 23.9%、「できない」が 14.0%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が0.3ポイント増加しています。

【図表2-2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では 62.6%、女性では 59.1%となっており、男性のほうが3.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、70～74歳が64.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、宇大山崎が63.0%で最も高くなっています。

【図表2-2-2 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

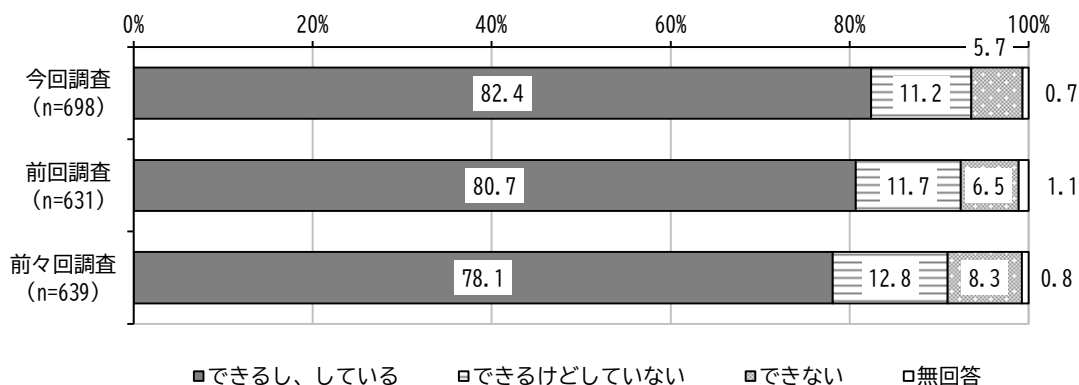
		(合計)	いし、 できる する して	など で いし きる て い け	で き な い	無 回 答
性別	男性	313	62.6	20.4	15.7	1.3
	女性	384	59.1	26.8	12.8	1.3
年齢別	65～69歳	138	63.0	23.9	11.6	1.4
	70～74歳	164	64.0	23.2	12.2	0.6
	75～79歳	203	62.1	23.2	12.3	2.5
	80～84歳	130	54.6	27.7	16.9	0.8
	85歳以上	62	54.8	21.0	24.2	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	54.5	23.6	20.3	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	61.9	25.1	12.1	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	75.9	20.7	3.4	0.0
	息子・娘との2世帯	95	60.0	22.1	15.8	2.1
	その他	127	63.0	22.0	13.4	1.6
居住 地区別	宇大山崎	292	63.0	21.9	13.4	1.7
	宇円明寺	343	60.3	24.2	14.3	1.2
	宇下植野	62	51.6	32.3	16.1	0.0

## (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか

**問6** 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるかについて、「できるし、している」が 82.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 11.2%、「できない」が 5.7%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 1.7 ポイント増加しています。

【図表2-2-3 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では 80.2%、女性では 84.4%となっており、女性のほうが 4.2 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、70～74 歳が 84.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、宇大山崎が 86.6%で最も高くなっています。

【図表2-2-4 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

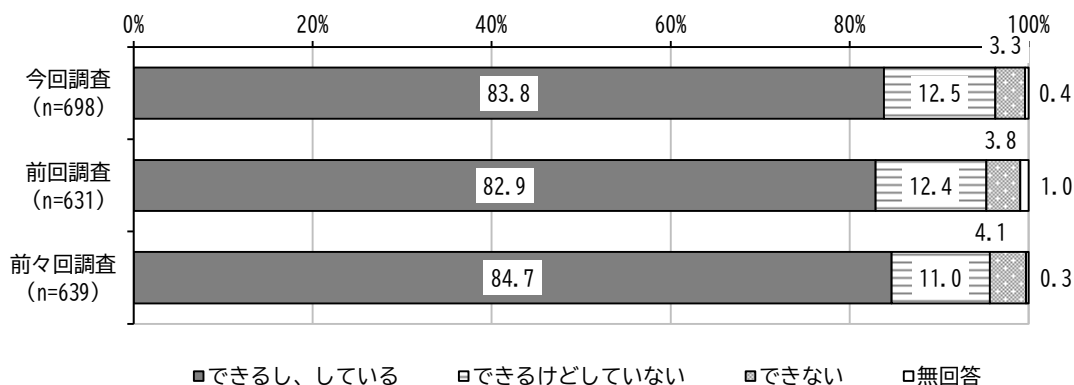
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	313	80.2	12.1	7.0	0.6
	女性	384	84.4	10.2	4.7	0.8
年齢別	65～69歳	138	79.7	11.6	6.5	2.2
	70～74歳	164	84.8	7.3	7.3	0.6
	75～79歳	203	83.7	11.3	4.4	0.5
	80～84歳	130	81.5	13.8	4.6	0.0
	85歳以上	62	80.6	12.9	6.5	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	80.5	11.4	7.3	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	80.5	13.4	5.2	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	79.3	20.7	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	89.5	4.2	5.3	1.1
	その他	127	84.3	8.7	7.1	0.0
居住地区別	宇大山崎	292	86.6	7.5	5.5	0.3
	宇円明寺	343	79.9	13.1	5.8	1.2
	宇下植野	62	77.4	16.1	6.5	0.0

### (3) 15分位続けて歩けるか

問7 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

15分位続けて歩けるかについて、「できるし、している」が83.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.5%、「できない」が3.3%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が0.9ポイント増加しています。

【図表2-2-5 15分位続けて歩けるか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では80.8%、女性では86.5%となっており、女性のほうが5.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、70～74歳が88.4%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、字円明寺が86.6%で最も高くなっています。

【図表2-2-6 15分位続けて歩けるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

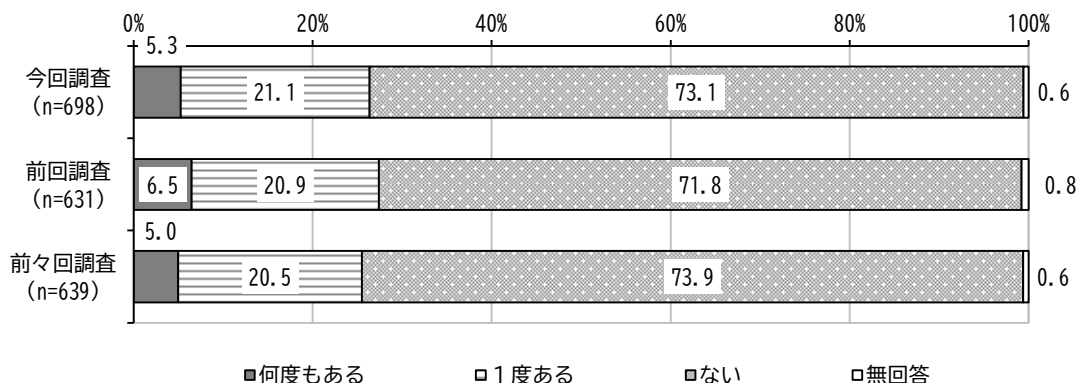
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	313	80.8	15.3	3.5	0.3
	女性	384	86.5	10.2	2.9	0.5
年齢別	65～69歳	138	79.0	14.5	5.1	1.4
	70～74歳	164	88.4	10.4	1.2	0.0
	75～79歳	203	83.7	12.8	3.0	0.5
	80～84歳	130	85.4	10.8	3.8	0.0
	85歳以上	62	80.6	16.1	3.2	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	85.4	8.9	4.9	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	84.7	12.1	2.9	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	82.8	13.8	3.4	0.0
	息子・娘との2世帯	95	78.9	16.8	3.2	1.1
	その他	127	84.3	13.4	2.4	0.0
居住地区別	字大山崎	292	82.9	12.3	4.5	0.3
	字円明寺	343	86.6	11.7	1.2	0.6
	字下植野	62	74.2	17.7	8.1	0.0

#### (4) 過去1年間に転んだ経験があるか

問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

過去1年間に転んだ経験があるかについて、「ない」が73.1%で最も高く、次いで「1度ある」が21.1%、「何度もある」が5.3%となっています。また、前回調査と比較して「ない」が1.3ポイント増加しています。

【図表2-2-7 過去1年間に転んだ経験があるか】



性別にみると、「ない」について、男性では72.2%、女性では74.0%となっており、女性のほうが1.8ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「ない」では、65～69歳が75.4%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ない」では、字下植野が75.8%で最も高くなっています。

【図表2-2-8 過去1年間に転んだ経験があるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

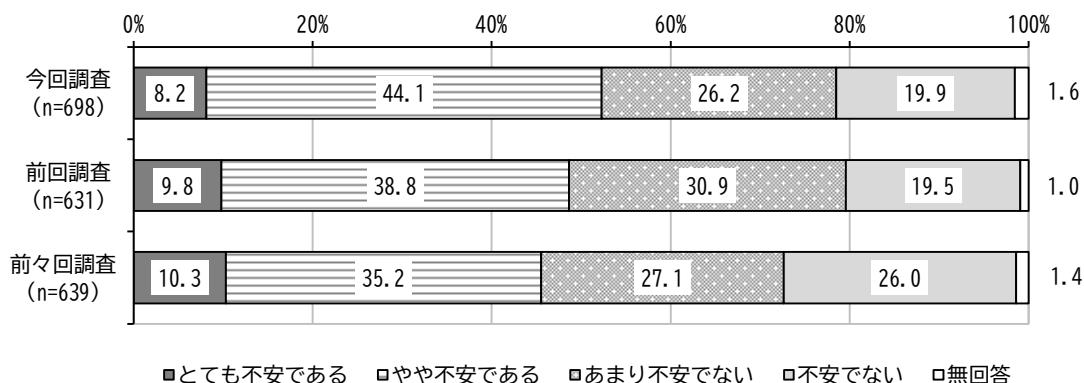
		合計 (人)	何 度 も あ る	1 度 あ る	な い	無 回 答
性別	男性	313	7.0	20.1	72.2	0.6
	女性	384	3.9	21.6	74.0	0.5
年齢別	65～69歳	138	7.2	15.9	75.4	1.4
	70～74歳	164	6.1	23.2	70.1	0.6
	75～79歳	203	5.9	19.2	74.4	0.5
	80～84歳	130	3.1	22.3	74.6	0.0
	85歳以上	62	1.6	29.0	69.4	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	6.5	21.1	71.5	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	4.9	20.8	73.6	0.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	10.3	17.2	72.4	0.0
	息子・娘との2世帯	95	3.2	22.1	73.7	1.1
	その他	127	6.3	22.0	71.7	0.0
居住 地区別	字大山崎	292	5.8	22.6	71.2	0.3
	字円明寺	343	4.4	20.4	74.3	0.9
	字下植野	62	8.1	16.1	75.8	0.0

### (5) 転倒に対する不安は大きいか

問9 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

転倒に対する不安は大きいかについて、「やや不安である」が 44.1%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が 26.2%、「不安でない」が 19.9%となっています。また、前回調査と比較して「やや不安である」が 5.3ポイント増加しています。

【図表2-2-9 転倒に対する不安は大きいか】



性別にみると、男性・女性ともに「やや不安である」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「とても不安である」では、70～74歳が11.6%で最も高く、「やや不安である」では、80～84歳が50.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「とても不安である」では、字下植野が11.3%で最も高く、「やや不安である」では、字大山崎が50.3%で最も高くなっています。

【図表2-2-10 転倒に対する不安は大きいか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

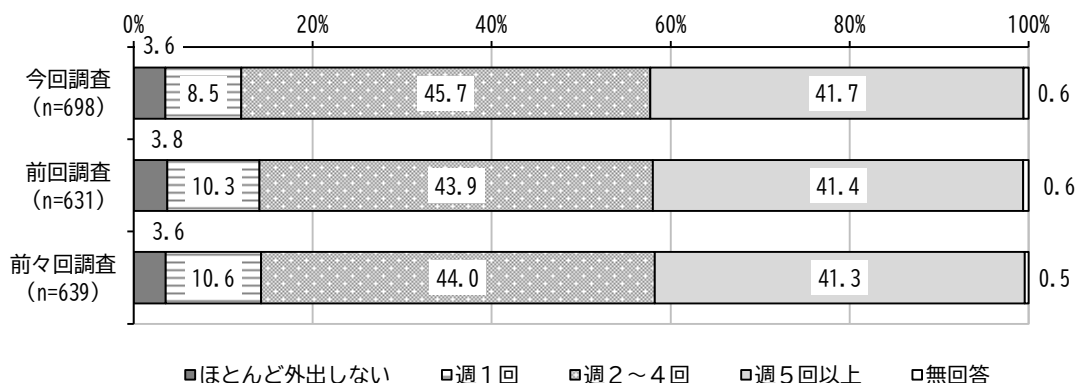
		合計(人)	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
性別	男性	313	7.7	44.1	23.6	23.6	1.0
	女性	384	8.3	44.3	28.4	16.9	2.1
年齢別	65～69歳	138	8.0	42.8	28.3	19.6	1.4
	70～74歳	164	11.6	41.5	26.8	19.5	0.6
	75～79歳	203	5.4	41.9	24.6	26.6	1.5
	80～84歳	130	6.9	50.8	25.4	14.6	2.3
	85歳以上	62	9.7	48.4	27.4	11.3	3.2
世帯構成別	1人暮らし	123	8.1	45.5	26.8	18.7	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	8.1	44.6	26.4	19.2	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	10.3	31.0	31.0	27.6	0.0
	息子・娘との2世帯	95	5.3	41.1	29.5	21.1	3.2
	その他	127	9.4	46.5	22.0	20.5	1.6
居住地区別	字大山崎	292	5.5	50.3	24.3	17.8	2.1
	字円明寺	343	9.6	39.7	27.1	22.4	1.2
	字下植野	62	11.3	40.3	30.6	16.1	1.6

(6) 週に1回以上は外出しているか

問 10 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

週に1回以上は外出しているかについて、「週2～4回」が 45.7%で最も高く、次いで「週5回以上」が 41.7%、「週1回」が 8.5%となっています。また、前回調査と比較して「週2～4回」が 1.8 ポイント増加しています。

【図表2-2-11 週に1回以上は外出しているか】



性別にみると、「ほとんど外出しない」について、男性では 4.5%、女性では 2.9%となっており、男性のほうが 1.6 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「ほとんど外出しない」では、75～79 歳が 4.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ほとんど外出しない」では、字下植野が 4.8%で最も高くなっています。

【図表2-2-12 週に1回以上は外出しているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

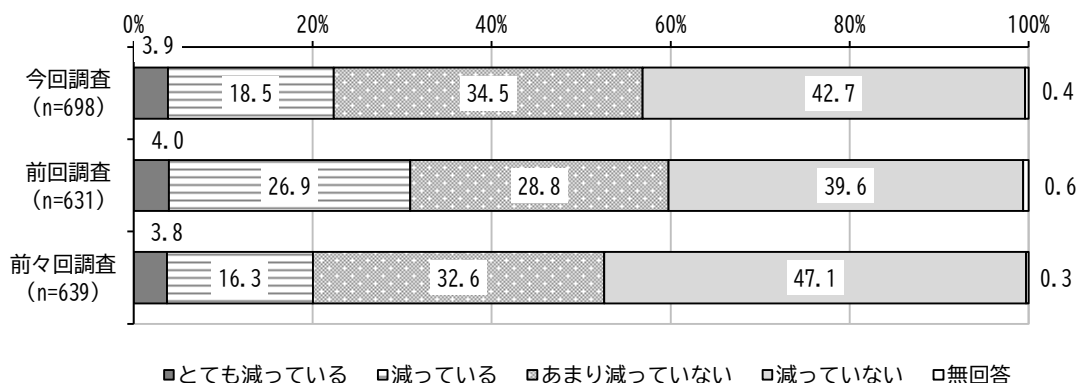
		合計(人)	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
性別	男性	313	4.5	9.3	44.4	41.5	0.3
	女性	384	2.9	7.6	46.9	41.9	0.8
年齢別	65～69歳	138	3.6	7.2	42.8	44.9	1.4
	70～74歳	164	3.0	7.9	42.7	46.3	0.0
	75～79歳	203	4.9	6.9	47.8	39.9	0.5
	80～84歳	130	2.3	10.0	48.5	39.2	0.0
	85歳以上	62	3.2	12.9	48.4	33.9	1.6
世帯構成別	1人暮らし	123	2.4	9.8	48.0	39.0	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	2.0	9.1	50.8	37.8	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	6.9	34.5	58.6	0.0
	息子・娘との2世帯	95	6.3	8.4	50.5	32.6	2.1
	その他	127	7.9	6.3	32.3	53.5	0.0
居住地区別	字大山崎	292	4.1	9.6	45.9	40.1	0.3
	字円明寺	343	2.9	6.4	46.1	43.7	0.9
	字下植野	62	4.8	12.9	43.5	38.7	0.0

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っているか

問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

昨年と比べて外出の回数が減っているかについて、「減っていない」が42.7%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が34.5%、「減っている」が18.5%となっています。また、前回調査と比較して「減っていない」が3.1ポイント増加しています。

【図表2-2-13 昨年と比べて外出の回数が減っているか】



性別にみると、男性・女性ともに「減っていない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「とても減っている」では、85歳以上が6.5%で最も高く、「減っている」でも、85歳以上が25.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「とても減っている」では、字大山崎が5.1%で最も高く、「減っている」では、字円明寺が19.8%で最も高くなっています。

【図表2-2-14 昨年と比べて外出の回数が減っているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

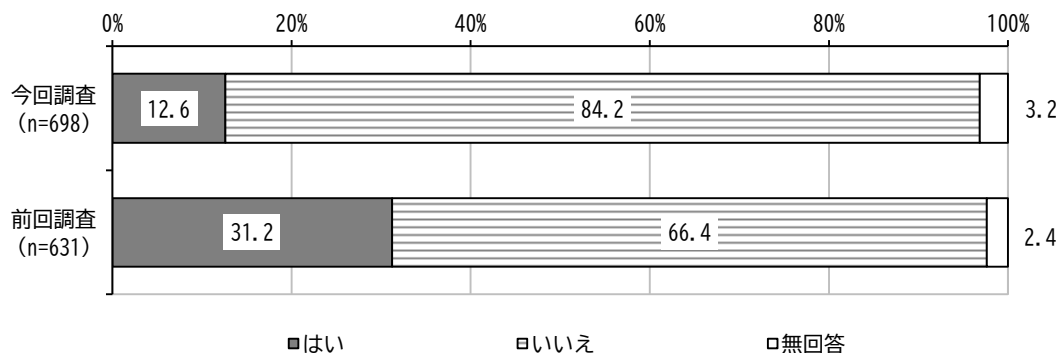
		合計(人)	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
性別	男性	313	3.5	21.4	32.9	41.9	0.3
	女性	384	4.2	15.9	35.9	43.5	0.5
年齢別	65～69歳	138	5.1	20.3	32.6	40.6	1.4
	70～74歳	164	2.4	15.9	39.0	42.7	0.0
	75～79歳	203	3.4	16.3	33.0	46.8	0.5
	80～84歳	130	3.8	19.2	35.4	41.5	0.0
	85歳以上	62	6.5	25.8	30.6	37.1	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	3.3	23.6	36.6	35.8	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	3.6	18.6	34.5	43.0	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	6.9	10.3	34.5	48.3	0.0
	息子・娘との2世帯	95	6.3	13.7	35.8	43.2	1.1
	その他	127	2.4	18.1	31.5	48.0	0.0
居住地区別	字大山崎	292	5.1	16.4	35.3	42.8	0.3
	字円明寺	343	2.6	19.8	33.8	43.1	0.6
	字下植野	62	4.8	19.4	35.5	40.3	0.0

### (8) 外出を控えているか

問 12 外出を控えていますか。(○は1つ)

外出を控えているかについて、「はい」が 12.6%、「いいえ」が 84.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 18.6 ポイント減少しています。

【図表2-2-15 外出を控えているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 14.1%、女性では 11.2%となっており、男性のほうが 2.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 19.4%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が 14.5%で最も高くなっています。

【図表2-2-16 外出を控えているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	14.1	83.7	2.2
	女性	384	11.2	84.9	3.9
年齢別	65～69歳	138	12.3	82.6	5.1
	70～74歳	164	10.4	88.4	1.2
	75～79歳	203	11.8	85.2	3.0
	80～84歳	130	13.1	82.3	4.6
	85歳以上	62	19.4	79.0	1.6
世帯 構成別	1人暮らし	123	9.8	85.4	4.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	10.4	86.3	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	96.6	0.0
	息子・娘との2世帯	95	16.8	81.1	2.1
	その他	127	17.3	80.3	2.4
居住 地区別	字大山崎	292	13.0	83.2	3.8
	字円明寺	343	11.7	85.4	2.9
	字下植野	62	14.5	83.9	1.6

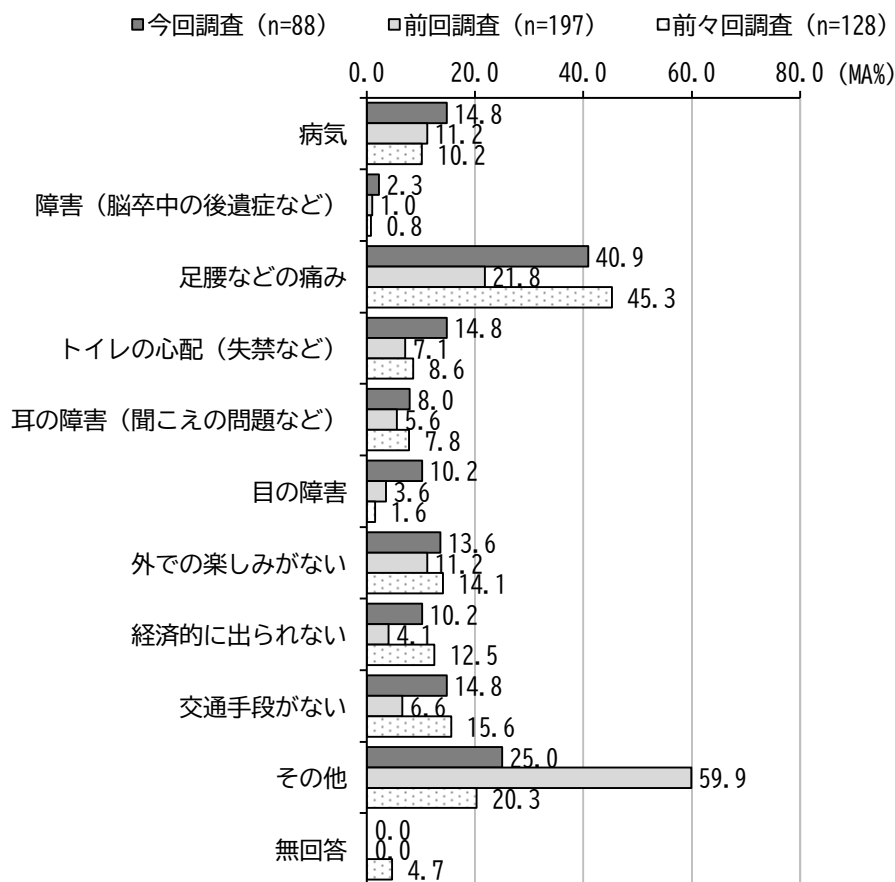
### (9) 外出を控えている理由

問 12-1 【問 12 で「はい」(外出を控えている)を回答された方のみ】  
 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 40.9%で最も高く、次いで「その他」が 25.0%、「病気」「トイレの心配(失禁など)」「交通手段がない」が 14.8%となっています。また、前回調査と比較して「交通手段がない」が 8.2 ポイント増加しています。

また、その他の内容について、『身体の不調・疾患』(11 件)、『感染症への不安』(4件)などがあります。

【図表2-2-17 外出を控えている理由】



性別にみると、男性・女性ともに「足腰などの痛み」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「交通手段がない」では、70～74歳が29.4%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「交通手段がない」では、字円明寺が17.5%で最も高くなっています。

【図表2-2-18 外出を控えている理由(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

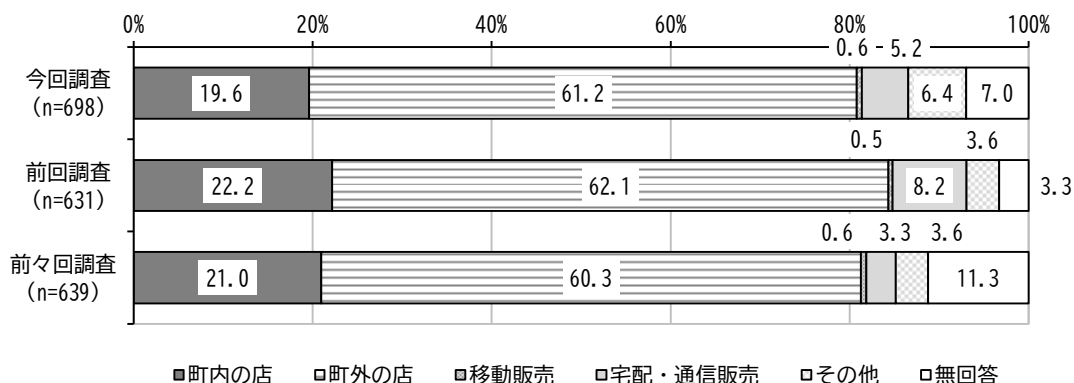
		合計(人)	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
性別	男性	44	15.9	4.5	45.5	20.5	13.6	6.8	9.1	13.6	11.4	22.7	0.0
	女性	43	14.0	0.0	37.2	9.3	2.3	14.0	18.6	4.7	18.6	27.9	0.0
年齢別	65～69歳	17	35.3	5.9	41.2	0.0	11.8	5.9	11.8	11.8	5.9	29.4	0.0
	70～74歳	17	17.6	0.0	41.2	23.5	5.9	17.6	23.5	0.0	29.4	17.6	0.0
	75～79歳	24	4.2	4.2	50.0	16.7	8.3	8.3	12.5	16.7	8.3	20.8	0.0
	80～84歳	17	17.6	0.0	35.3	5.9	5.9	11.8	5.9	0.0	23.5	29.4	0.0
	85歳以上	12	0.0	0.0	33.3	33.3	8.3	8.3	16.7	16.7	8.3	33.3	0.0
世帯構成別	1人暮らし	12	0.0	0.0	41.7	25.0	8.3	16.7	16.7	0.0	16.7	25.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	32	12.5	6.3	40.6	15.6	12.5	15.6	9.4	3.1	12.5	25.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	16	18.8	0.0	31.3	6.3	6.3	6.3	31.3	12.5	31.3	12.5	0.0
	その他	22	22.7	0.0	45.5	13.6	4.5	4.5	4.5	18.2	4.5	36.4	0.0
居住地区別	字大山崎	38	13.2	2.6	39.5	10.5	13.2	10.5	10.5	7.9	13.2	31.6	0.0
	字円明寺	40	15.0	2.5	40.0	17.5	5.0	10.0	15.0	10.0	17.5	25.0	0.0
	字下植野	9	22.2	0.0	55.6	22.2	0.0	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0

## (10) 主に日常生活の買い物をする場所

問 13 あなたは、日常生活の買物を、主にどこでしますか。(○は1つ)

主に日常生活の買い物をする場所について、「町外の店」が 61.2%で最も高く、次いで「町内の店」が 19.6%、「その他」が 6.4%となっています。また、前回調査と比較して「町内の店」が 2.6 ポイント減少しています。

【図表2-2-19 主に日常生活の買い物をする場所】



性別にみると、男性・女性ともに「町外の店」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「町内の店」では、85歳以上が 27.4%で最も高く、「町外の店」では、70～74歳が 68.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「町内の店」では、字円明寺が 21.3%で最も高く、「町外の店」では、字下植野が 85.5%で最も高くなっています。

【図表2-2-20 主に日常生活の買い物をする場所(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

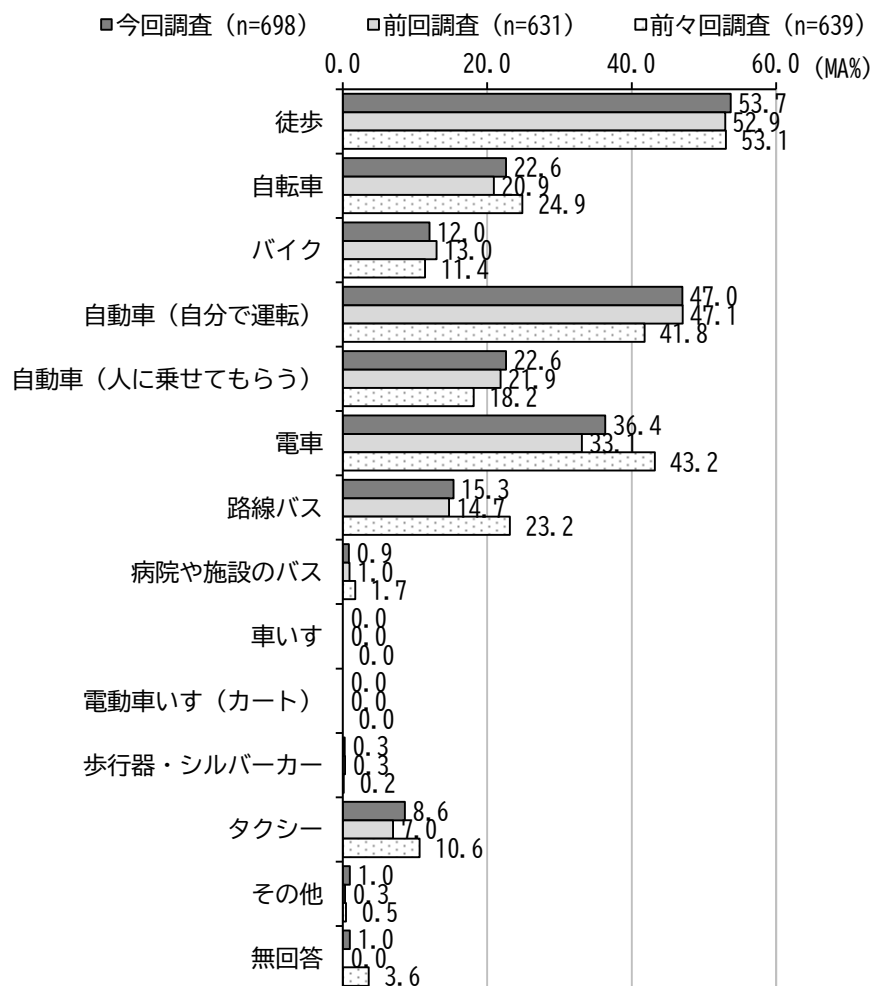
		合計(人)	町内の店	町外の店	移動販売	宅配・通信販売	その他	無回答
性別	男性	313	20.1	61.3	0.6	4.5	6.4	7.0
	女性	384	19.3	60.9	0.5	5.7	6.5	7.0
年齢別	65～69歳	138	18.8	55.8	0.0	6.5	8.0	10.9
	70～74歳	164	15.2	68.3	0.6	4.3	4.9	6.7
	75～79歳	203	17.7	66.5	1.0	3.4	6.4	4.9
	80～84歳	130	25.4	52.3	0.8	9.2	5.4	6.9
	85歳以上	62	27.4	54.8	0.0	1.6	9.7	6.5
世帯構成別	1人暮らし	123	24.4	55.3	1.6	4.9	5.7	8.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	16.3	64.5	0.3	4.9	5.9	8.1
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	34.5	58.6	0.0	0.0	0.0	6.9
	息子・娘との2世帯	95	22.1	57.9	0.0	9.5	8.4	2.1
居住地区別	その他	127	18.9	61.4	0.8	3.9	9.4	5.5
	字大山崎	292	20.2	59.6	1.4	6.2	7.2	5.5
	字円明寺	343	21.3	58.0	0.0	5.2	6.4	9.0
	字下植野	62	8.1	85.5	0.0	0.0	3.2	3.2

### (11) 外出する際の移動手段

問 14 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

外出する際の移動手段について、「徒歩」が53.7%で最も高く、次いで「自動車(自分で運転)」が47.0%、「電車」が36.4%となっています。また、前回調査と比較して「徒歩」が0.8ポイント増加しています。

【図表2-2-21 外出する際の移動手段】



性別にみると、男性では、「自動車(自分で運転)」が 52.1%で最も高く、女性では、「徒歩」が 56.0%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「徒歩」では、80～84 歳が 57.7%で最も高く、「自動車(自分で運転)」では、75～79 歳が 53.2%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「徒歩」では、字円明寺が 56.9%で最も高く、「自動車(自分で運転)」では、字下植野が 51.6%で最も高くなっています。

【図表2-2-22 外出する際の移動手段(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せても)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー
性別	男性	313	51.1	21.7	13.4	52.1	16.9	35.5	14.4	1.0	0.0	0.0	0.0
	女性	384	56.0	23.2	10.9	43.0	27.1	37.0	16.1	0.8	0.0	0.0	0.5
年齢別	65～69歳	138	52.9	20.3	13.8	50.0	20.3	32.6	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	164	50.0	23.2	12.8	47.0	23.2	36.0	17.1	1.2	0.0	0.0	0.0
	75～79歳	203	54.7	22.2	13.3	53.2	21.2	36.5	14.3	0.5	0.0	0.0	0.5
	80～84歳	130	57.7	26.9	11.5	36.9	28.5	36.9	16.9	1.5	0.0	0.0	0.8
	85歳以上	62	54.8	17.7	3.2	41.9	17.7	43.5	24.2	1.6	0.0	0.0	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	59.3	17.1	6.5	39.8	9.8	50.4	22.0	1.6	0.0	0.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	53.1	23.1	15.3	50.5	26.4	33.9	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	55.2	20.7	17.2	65.5	10.3	41.4	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	53.7	24.2	9.5	43.2	31.6	32.6	12.6	1.1	0.0	0.0	2.1
	その他	127	50.4	26.8	11.0	44.9	22.0	29.9	12.6	0.8	0.0	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	292	53.4	24.0	9.6	41.4	21.2	39.0	7.5	0.7	0.0	0.0	0.7
	字円明寺	343	56.9	19.2	14.3	51.0	21.6	36.7	22.2	1.2	0.0	0.0	0.0
	字下植野	62	38.7	33.9	11.3	51.6	33.9	21.0	14.5	0.0	0.0	0.0	0.0

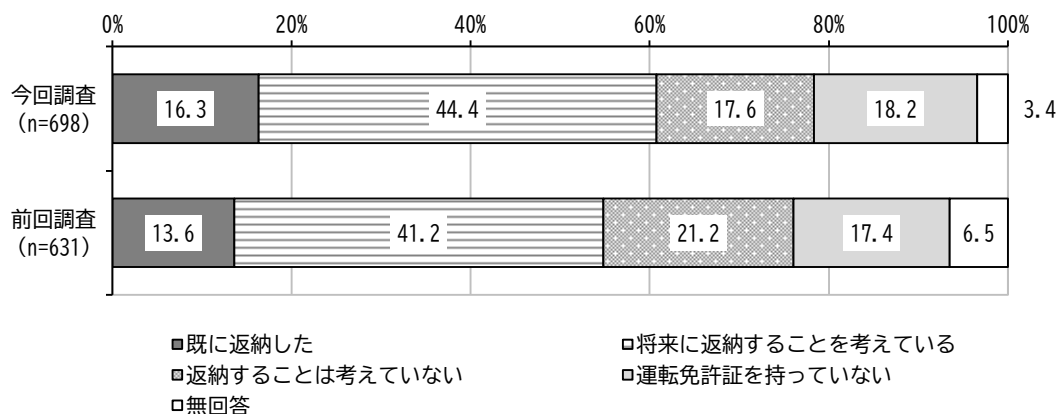
		合計(人)	タクシー	その他	無回答
性別	男性	313	7.0	1.6	0.6
	女性	384	9.6	0.5	1.3
年齢別	65～69歳	138	8.7	2.2	1.4
	70～74歳	164	9.8	0.6	0.6
	75～79歳	203	4.9	0.0	1.0
	80～84歳	130	10.8	0.8	1.5
	85歳以上	62	11.3	3.2	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	16.3	3.3	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	6.8	1.0	1.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	9.5	0.0	1.1
	その他	127	7.1	0.0	0.8
居住地区別	字大山崎	292	9.6	1.0	1.4
	字円明寺	343	6.7	1.2	0.9
	字下植野	62	12.9	0.0	0.0

## (12) 運転免許の返納意向

問 15 運転免許証を返納する意向はありますか。(○は1つ)

運転免許の返納意向について、「将来に返納することを考えている」が 44.4%で最も高く、次いで「運転免許証を持っていない」が 18.2%、「返納することは考えていない」が 17.6%となっています。また、前回調査と比較して「将来に返納することを考えている」が 3.2 ポイント増加しています。

【図表2-2-23 運転免許の返納意向】



性別にみると、男性・女性ともに「将来に返納することを考えている」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「将来に返納することを考えている」では、70～74歳が 51.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「将来に返納することを考えている」では、字下植野が 46.8%で最も高くなっています。

【図表2-2-24 運転免許の返納意向(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	既に返納した	将来に返納することを考えている	返納することを考えていない	運転免許証を持っていない	無回答
性別	男性	313	16.3	45.0	20.8	13.7	4.2
	女性	384	16.4	44.0	14.8	21.9	2.9
年齢別	65～69歳	138	15.2	47.1	21.0	14.5	2.2
	70～74歳	164	11.6	51.8	15.2	18.3	3.0
	75～79歳	203	14.8	41.9	24.1	16.3	3.0
	80～84歳	130	20.8	40.8	10.8	22.3	5.4
	85歳以上	62	27.4	35.5	8.1	24.2	4.8
世帯構成別	1人暮らし	123	18.7	35.0	14.6	26.8	4.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	16.6	48.9	18.9	12.1	3.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	55.2	37.9	3.4	0.0
	息子・娘との2世帯	95	15.8	44.2	10.5	25.3	4.2
	その他	127	15.0	40.9	19.7	22.0	2.4
居住地区別	字大山崎	292	17.1	42.8	14.7	20.2	5.1
	字円明寺	343	16.6	45.5	19.0	16.6	2.3
	字下植野	62	11.3	46.8	22.6	17.7	1.6

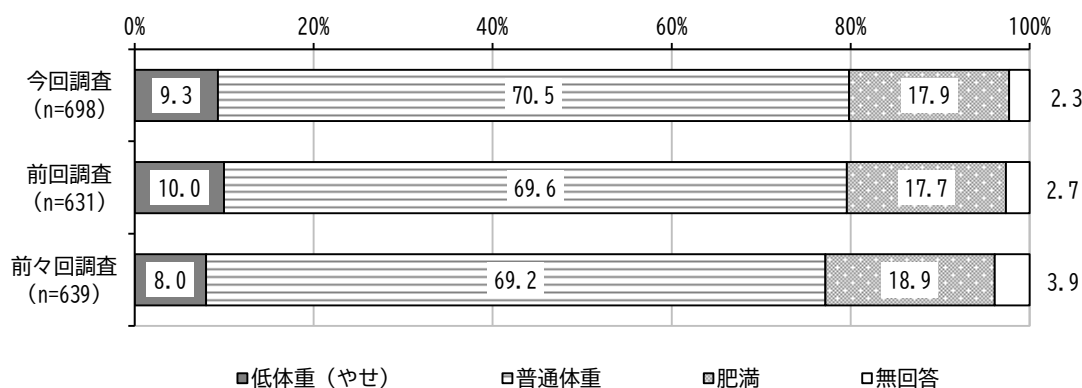
### 3. 食べることについて

#### (1) BMI

問 16	身長と体重を教えてください。(数字を記入)
------	-----------------------

BMIについて、「普通体重」が70.5%で最も高く、次いで「肥満」が17.9%、「低体重(やせ)」が9.3%となっています。また、前回調査と比較して「低体重(やせ)」が0.7ポイント減少しています。

【図表2-3-1 BMI】



※ BMI18.5未満:低体重(やせ)、BMI18.5~25未満:普通体重、BMI25以上:肥満で算出

性別にみると、「低体重(やせ)」について、男性では8.0%、女性では10.4%となっており、女性のほうが2.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「低体重(やせ)」では、65~69歳が13.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「低体重(やせ)」では、字円明寺が10.2%で最も高くなっています。

【図表2-3-2 BMI(クロス集計)】

		(人) 合計	(%) 低体重(やせ)	(%) 普通体重	(%) 肥満	(%) 無回答
性別	男性	313	8.0	69.6	19.8	2.6
	女性	384	10.4	71.1	16.4	2.1
年齢別	65~69歳	138	13.0	68.8	15.9	2.2
	70~74歳	164	6.7	73.2	18.9	1.2
	75~79歳	203	7.9	73.9	15.8	2.5
	80~84歳	130	10.8	64.6	21.5	3.1
	85歳以上	62	9.7	67.7	19.4	3.2
世帯構成別	1人暮らし	123	4.9	74.0	18.7	2.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	10.4	70.4	17.3	2.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	72.4	24.1	0.0
	息子・娘との2世帯	95	10.5	72.6	14.7	2.1
	その他	127	12.6	66.1	18.1	3.1
居住地区別	字大山崎	292	9.2	73.3	14.4	3.1
	字円明寺	343	10.2	67.1	20.7	2.0
	字下植野	62	4.8	75.8	19.4	0.0

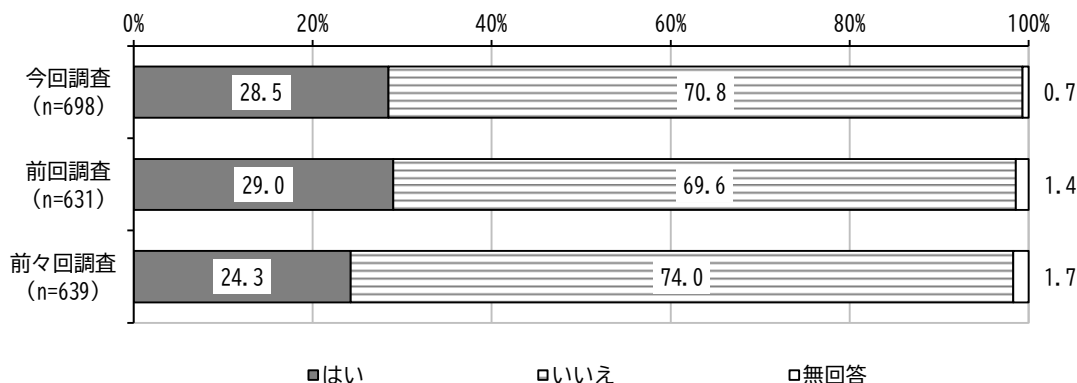
※網掛けは最も割合が高いもの 単位:(%)

## (2) 半年前に比べて固いものが食べにくい

問 17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

半年前に比べて固いものが食べにくいについて、「はい」が28.5%、「いいえ」が70.8%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が0.5ポイント減少しています。

【図表2-3-3 半年前に比べて固いものが食べにくい】



性別にみると、「はい」について、男性では31.3%、女性では26.0%となっており、男性のほうが5.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85歳以上が41.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が40.3%で最も高くなっています。

【図表2-3-4 半年前に比べて固いものが食べにくい(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

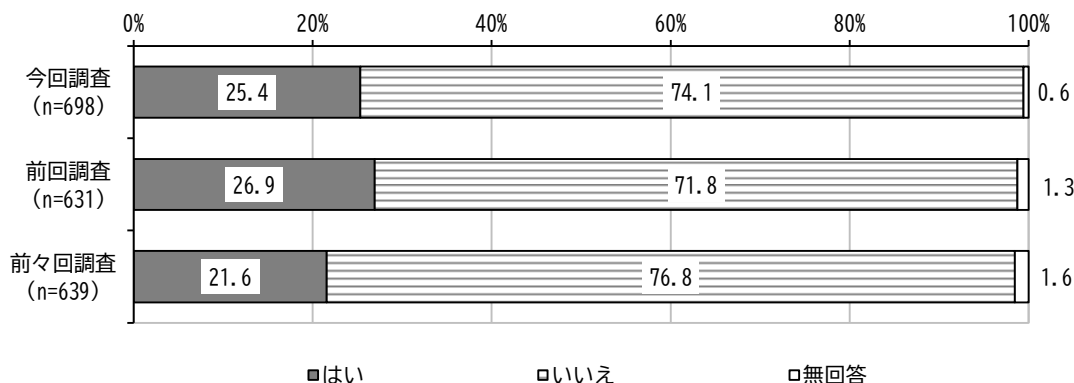
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	31.3	67.7	1.0
	女性	384	26.0	73.4	0.5
年齢別	65～69歳	138	31.9	66.7	1.4
	70～74歳	164	28.0	72.0	0.0
	75～79歳	203	22.2	77.3	0.5
	80～84歳	130	28.5	70.0	1.5
	85歳以上	62	41.9	58.1	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	31.7	67.5	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	26.4	73.3	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	27.6	72.4	0.0
	息子・娘との2世帯	95	31.6	65.3	3.2
	その他	127	27.6	72.4	0.0
居住 地区別	字大山崎	292	28.8	70.5	0.7
	字円明寺	343	25.9	73.2	0.9
	字下植野	62	40.3	59.7	0.0

### (3) お茶や汁物等でむせることがあるか

問 18 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が25.4%、「いいえ」が74.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が1.5ポイント減少しています。

【図表2-3-5 お茶や汁物等でむせることがあるか】



性別にみると、「はい」について、男性では26.8%、女性では24.0%となっており、男性のほうが2.8ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85歳以上が32.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が25.9%で最も高くなっています。

【図表2-3-6 お茶や汁物等でむせることがあるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

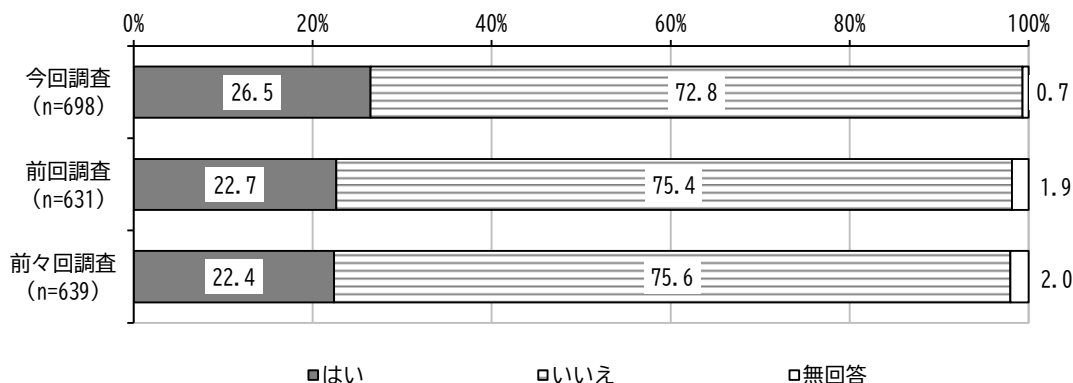
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	26.8	72.2	1.0
	女性	384	24.0	75.8	0.3
年齢別	65～69歳	138	22.5	76.1	1.4
	70～74歳	164	25.6	73.8	0.6
	75～79歳	203	25.1	74.9	0.0
	80～84歳	130	24.6	75.4	0.0
	85歳以上	62	32.3	66.1	1.6
世帯構成別	1人暮らし	123	27.6	72.4	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	25.1	74.6	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	20.7	79.3	0.0
	息子・娘との2世帯	95	23.2	75.8	1.1
	その他	127	25.2	73.2	1.6
居住地区別	字大山崎	292	24.7	75.3	0.0
	字円明寺	343	25.9	73.2	0.9
	字下植野	62	24.2	74.2	1.6

#### (4) 口の渇きが気になるか

問 19 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

口の渇きが気になるかについて、「はい」が 26.5%、「いいえ」が 72.8%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.8 ポイント増加しています。

【図表2-3-7 口の渇きが気になるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 28.8%、女性では 24.5%となっており、男性のほうが 4.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 33.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字大山崎が 31.2%で最も高くなっています。

【図表2-3-8 口の渇きが気になるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

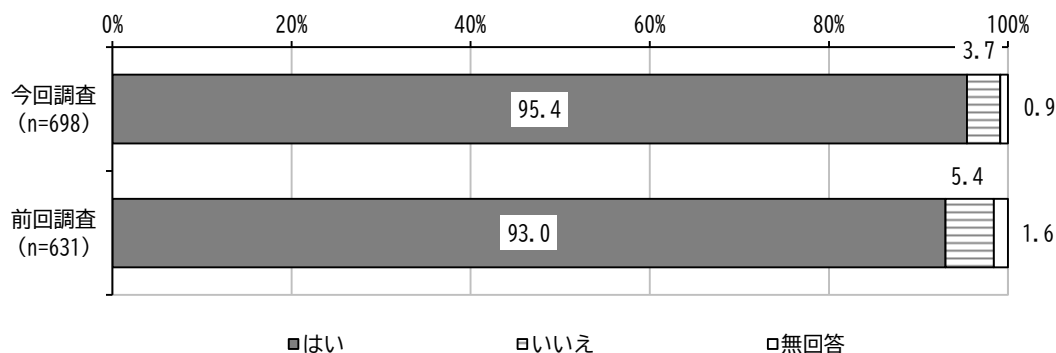
		合計 (人)	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
性別	男性	313	28.8	70.6	0.6
	女性	384	24.5	74.7	0.8
年齢別	65～69歳	138	29.7	68.8	1.4
	70～74歳	164	25.0	74.4	0.6
	75～79歳	203	28.1	70.9	1.0
	80～84歳	130	18.5	81.5	0.0
	85歳以上	62	33.9	66.1	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	26.0	73.2	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	26.4	73.0	0.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	31.0	69.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	24.2	74.7	1.1
	その他	127	29.1	70.1	0.8
居住地区別	字大山崎	292	31.2	68.5	0.3
	字円明寺	343	22.4	76.7	0.9
	字下植野	62	25.8	72.6	1.6

### (5) 歯磨きを毎日しているか

問 20 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○は1つ)

歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が 95.4%、「いいえ」が 3.7%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 2.4 ポイント増加しています。

【図表2-3-9 歯磨きを毎日しているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 95.2%、女性では 95.6%となっており、女性のほうが 0.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、70～74 歳が 97.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 96.2%で最も高くなっています。

【図表2-3-10 歯磨きを毎日しているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	95.2	3.8	1.0
	女性	384	95.6	3.6	0.8
年齢別	65～69歳	138	93.5	4.3	2.2
	70～74歳	164	97.0	3.0	0.0
	75～79歳	203	96.1	3.0	1.0
	80～84歳	130	95.4	4.6	0.0
	85歳以上	62	93.5	4.8	1.6
世帯 構成別	1人暮らし	123	95.1	4.1	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	95.4	4.6	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	96.6	3.4	0.0
	息子・娘との2世帯	95	96.8	1.1	2.1
	その他	127	94.5	3.1	2.4
居住 地区別	字大山崎	292	95.5	3.4	1.0
	字円明寺	343	96.2	3.2	0.6
	字下植野	62	90.3	8.1	1.6

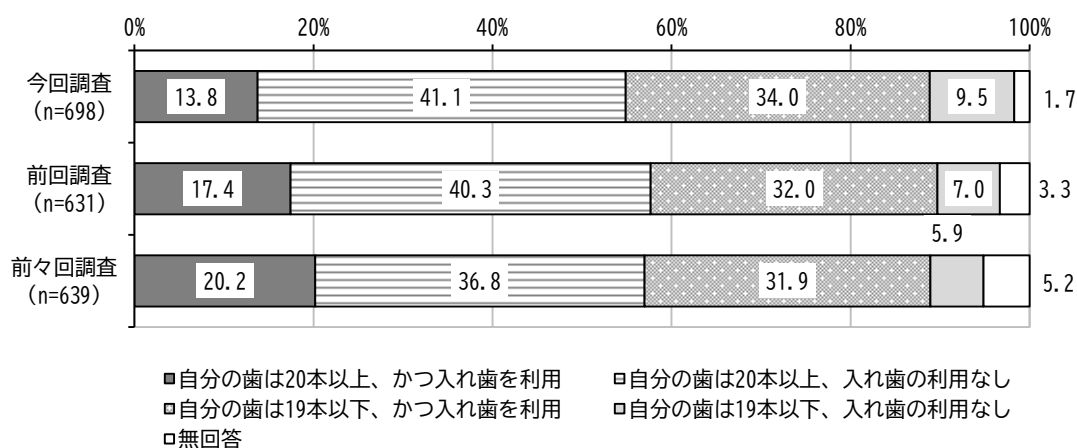
## (6) 歯の数と入れ歯の状況

問 21

歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。  
成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。(○は1つ)

歯の数と入れ歯の状況について、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 41.1%で最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 34.0%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.8%となっています。また、前回調査と比較して「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 0.8 ポイント増加しています。

【図表2-3-11 歯の数と入れ歯の状況】



性別にみると、男性・女性ともに「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」では、85 歳以上が 17.7%で最も高く、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」では、80～84 歳が 43.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」では、字大山崎が 14.7%で最も高く、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」では、字円明寺が 41.7%で最も高くなっています。

【図表2-3-12 歯の数と入れ歯の状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

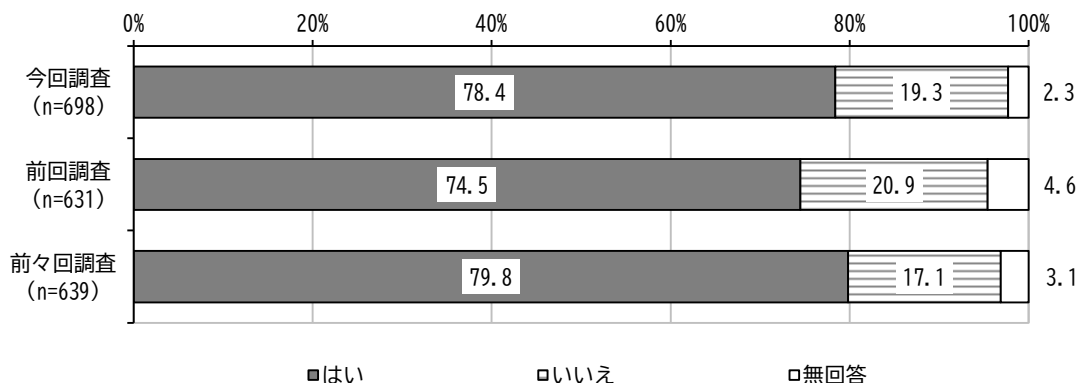
		合計(人)	入20自 れ本の 歯以上 の歯は 利用か つ	歯20自 の本の 利以の 用上歯 なしは 入れ	入19自 れ本の 歯以下 の歯は 利用か つ	歯19自 の本の 利以の 用下歯 なしは 入れ	無回 答
性別	男性	313	12.1	39.0	38.7	8.9	1.3
	女性	384	15.1	43.0	30.2	9.6	2.1
年齢別	65～69歳	138	11.6	41.3	33.3	10.9	2.9
	70～74歳	164	12.2	41.5	35.4	10.4	0.6
	75～79歳	203	16.3	41.9	31.5	7.9	2.5
	80～84歳	130	12.3	43.8	35.4	6.9	1.5
	85歳以上	62	17.7	32.3	37.1	12.9	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	13.8	42.3	33.3	6.5	4.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	16.9	41.4	35.2	5.9	0.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	48.3	31.0	17.2	0.0
	息子・娘との2世帯	95	11.6	31.6	38.9	15.8	2.1
	その他	127	10.2	44.9	28.3	14.2	2.4
居住 地区別	字大山崎	292	14.7	41.4	30.5	12.0	1.4
	字円明寺	343	13.4	41.7	36.2	6.7	2.0
	字下植野	62	11.3	37.1	38.7	11.3	1.6

## (7) 噛み合わせの状況

問 22 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

噛み合わせの状況について、「はい」が 78.4%、「いいえ」が 19.3%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.9 ポイント増加しています。

【図表2-3-13 噛み合わせの状況】



性別にみると、「はい」について、男性では 74.1%、女性では 82.0%となっており、女性のほうが 7.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、80～84 歳が 83.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が 82.3%で最も高くなっています。

【図表2-3-14 噛み合わせの状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

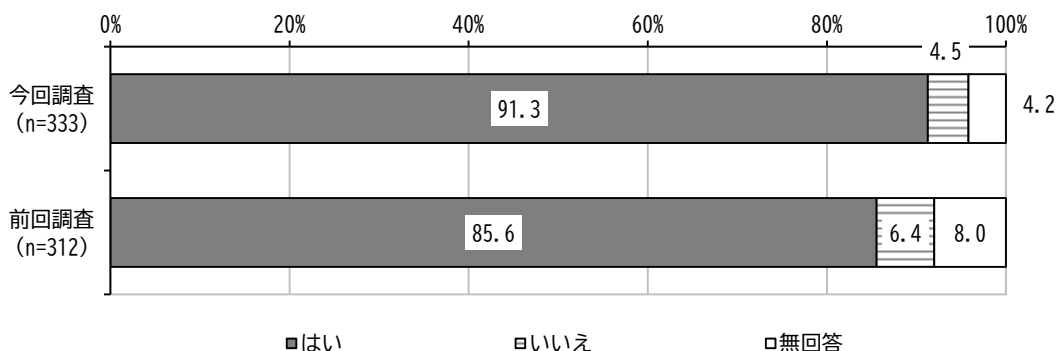
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	74.1	23.3	2.6
	女性	384	82.0	15.9	2.1
年齢別	65～69歳	138	72.5	24.6	2.9
	70～74歳	164	81.7	17.7	0.6
	75～79歳	203	77.8	18.7	3.4
	80～84歳	130	83.1	15.4	1.5
	85歳以上	62	75.8	21.0	3.2
世帯 構成別	1人暮らし	123	75.6	21.1	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	82.4	15.0	2.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	72.4	27.6	0.0
	息子・娘との2世帯	95	75.8	21.1	3.2
	その他	127	75.6	23.6	0.8
居住 地区別	字大山崎	292	77.7	19.9	2.4
	字円明寺	343	78.4	19.5	2.0
	字下植野	62	82.3	14.5	3.2

(8) 毎日入れ歯の手入れをしているか

問 23	<p>【問 21 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」を回答された方のみ】</p> <p>毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)</p>
------	--

毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が 91.3%、「いいえ」が 4.5%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.7 ポイント増加しています。

【図表2-3-15 毎日入れ歯の手入れをしているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 89.3%、女性では 93.1%となっており、女性のほうが 3.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、75～79 歳が 93.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が 93.5%で最も高くなっています。

【図表2-3-16 毎日入れ歯の手入れをしているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

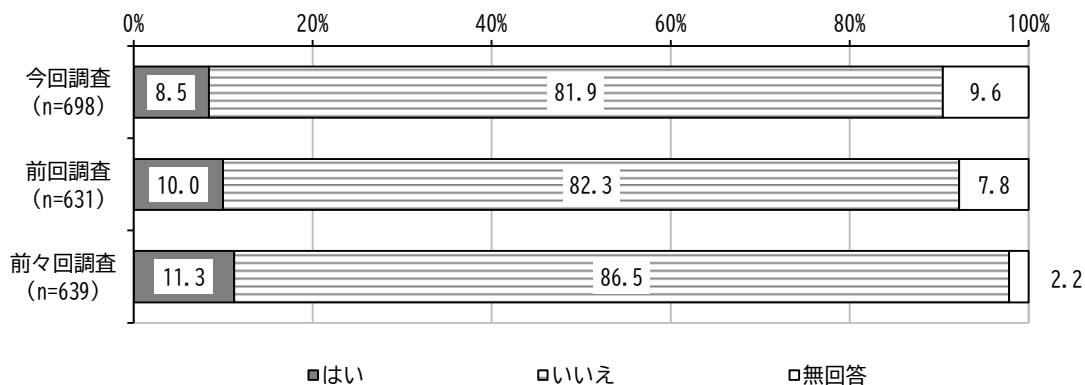
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	159	89.3	6.3	4.4
	女性	174	93.1	2.9	4.0
年齢別	65～69歳	62	90.3	6.5	3.2
	70～74歳	78	92.3	1.3	6.4
	75～79歳	97	93.8	3.1	3.1
	80～84歳	62	87.1	8.1	4.8
	85歳以上	34	91.2	5.9	2.9
世帯構成別	1人暮らし	58	93.1	3.4	3.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	160	88.1	6.3	5.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	10	90.0	10.0	0.0
	息子・娘との2世帯	48	93.8	2.1	4.2
	その他	49	95.9	2.0	2.0
居住地区別	字大山崎	132	92.4	5.3	2.3
	字円明寺	170	90.0	4.7	5.3
	字下植野	31	93.5	0.0	6.5

(9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか

問 24 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が8.5%、「いいえ」が81.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が1.5ポイント減少しています。

【図表2-3-17 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】



性別にみると、「はい」について、男性では9.9%、女性では7.0%となっており、男性のほうが2.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～69歳が10.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が11.3%で最も高くなっています。

【図表2-3-18 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

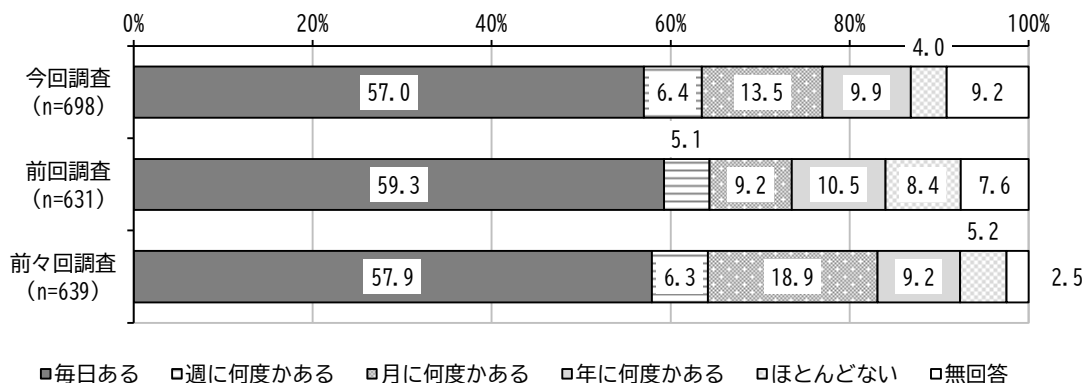
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	9.9	81.8	8.3
	女性	384	7.0	82.3	10.7
年齢別	65～69歳	138	10.1	77.5	12.3
	70～74歳	164	9.8	81.7	8.5
	75～79歳	203	5.4	83.3	11.3
	80～84歳	130	8.5	85.4	6.2
	85歳以上	62	9.7	82.3	8.1
世帯 構成別	1人暮らし	123	11.4	82.1	6.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	8.5	80.8	10.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	10.3	82.8	6.9
	息子・娘との2世帯	95	7.4	86.3	6.3
	その他	127	6.3	81.1	12.6
居住 地区別	字大山崎	292	7.9	83.2	8.9
	字円明寺	343	8.2	81.0	10.8
	字下植野	62	11.3	82.3	6.5

## (10) 共食の状況

問 25 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

共食の状況について、「毎日ある」が57.0%で最も高く、次いで「月に何度かある」が13.5%、「年に何度かある」が9.9%となっています。また、前回調査と比較して「毎日ある」が2.3ポイント減少しています。

【図表2-3-19 共食の状況】



性別にみると、「ほとんどない」について、男性では6.4%、女性では2.1%となっており、男性のほうが4.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「ほとんどない」では、85歳以上が9.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ほとんどない」では、字下植野が4.8%で最も高くなっています。

【図表2-3-20 共食の状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
性別	男性	313	56.9	7.3	13.4	8.3	6.4	7.7
	女性	384	57.0	5.7	13.5	11.2	2.1	10.4
年齢別	65～69歳	138	56.5	5.8	9.4	10.9	4.3	13.0
	70～74歳	164	54.3	7.3	13.4	12.2	4.3	8.5
	75～79歳	203	57.6	6.4	14.3	7.4	3.0	11.3
	80～84歳	130	64.6	4.6	13.1	10.0	2.3	5.4
	85歳以上	62	46.8	9.7	21.0	9.7	9.7	3.2
世帯構成別	1人暮らし	123	3.3	15.4	39.8	26.8	7.3	7.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	71.3	3.9	6.2	6.2	2.3	10.1
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	55.2	10.3	10.3	3.4	10.3	10.3
	息子・娘との2世帯	95	67.4	5.3	9.5	7.4	5.3	5.3
	その他	127	66.9	3.9	7.9	7.1	3.1	11.0
居住地区別	字大山崎	292	58.6	6.5	13.0	10.3	4.5	7.2
	字円明寺	343	56.6	5.8	12.8	9.6	3.5	11.7
	字下植野	62	51.6	9.7	19.4	9.7	4.8	4.8

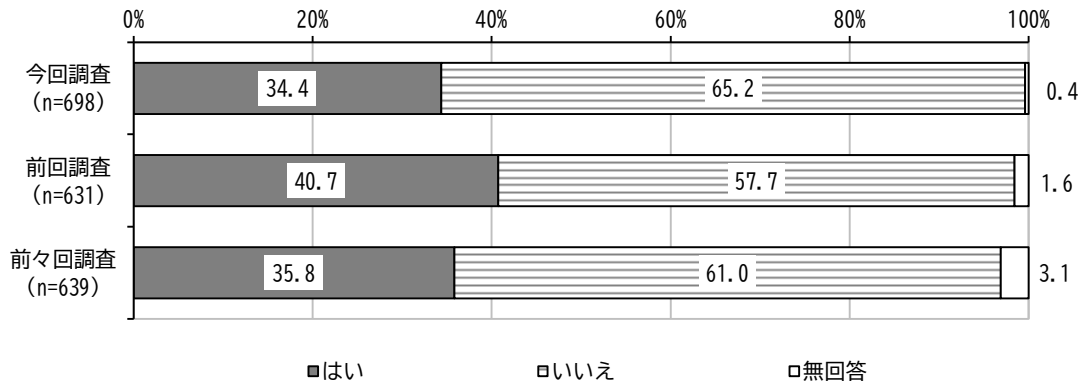
## 4. 毎日の生活について

### (1) 物忘れが多いと感じるか

問 26 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が 34.4%、「いいえ」が 65.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 6.3 ポイント減少しています。

【図表2-4-1 物忘れが多いと感じるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 34.5%、女性では 34.1%となっており、男性のほうが 0.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～69 歳が 41.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が 38.7%で最も高くなっています。

【図表2-4-2 物忘れが多いと感じるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	34.5	64.9	0.6
	女性	384	34.1	65.6	0.3
年齢別	65～69歳	138	41.3	57.2	1.4
	70～74歳	164	30.5	68.9	0.6
	75～79歳	203	31.5	68.5	0.0
	80～84歳	130	33.1	66.9	0.0
	85歳以上	62	40.3	59.7	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	39.0	60.2	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	34.2	65.8	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	17.2	82.8	0.0
	息子・娘との2世帯	95	35.8	63.2	1.1
	その他	127	34.6	64.6	0.8
居住地区別	字大山崎	292	33.9	66.1	0.0
	字円明寺	343	33.8	65.6	0.6
	字下植野	62	38.7	59.7	1.6

## (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか

問 27 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が 87.7%、「いいえ」が 11.6% となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 0.5 ポイント増加しています。

【図表2-4-3 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 86.6%、女性では 88.8%となっており、女性のほうが 2.2 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、70～74 歳が 90.2%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 90.1%で最も高くなっています。

【図表2-4-4 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

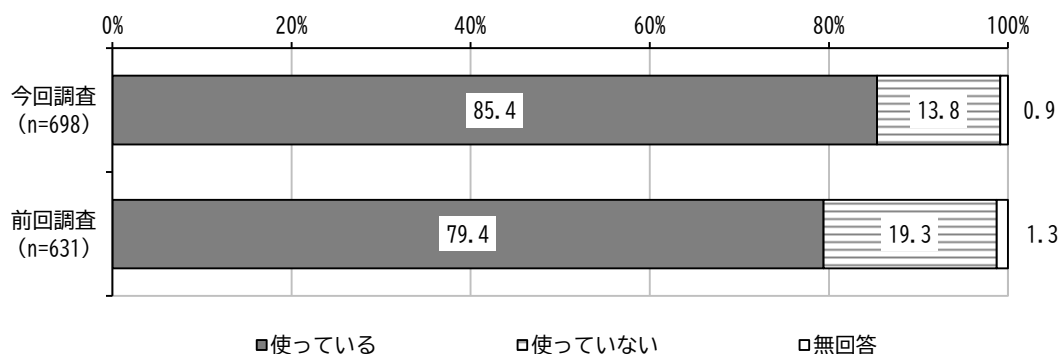
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	86.6	12.5	1.0
	女性	384	88.8	10.7	0.5
年齢別	65～69歳	138	87.7	11.6	0.7
	70～74歳	164	90.2	9.8	0.0
	75～79歳	203	87.2	11.8	1.0
	80～84歳	130	85.4	13.1	1.5
	85歳以上	62	88.7	11.3	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	88.6	10.6	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	86.6	13.0	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	89.7	10.3	0.0
	息子・娘との2世帯	95	82.1	16.8	1.1
	その他	127	91.3	7.1	1.6
居住 地区別	字大山崎	292	86.6	12.7	0.7
	字円明寺	343	90.1	9.0	0.9
	字下植野	62	80.6	19.4	0.0

### (3) スマートフォンを使っているか

問 28 スマートフォンを使っていますか。(○は1つ)

スマートフォンを使っているかについて、「使っている」が85.4%、「使っていない」が13.8%となっています。また、前回調査と比較して「使っている」が6.0ポイント増加しています。

【図表2-4-5 スマートフォンを使っているか】



性別にみると、「使っている」について、男性では84.3%、女性では86.5%となっており、女性のほうが2.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「使っている」では、65～69歳が89.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「使っている」では、字円明寺が86.9%で最も高くなっています。

【図表2-4-6 スマートフォンを使っているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

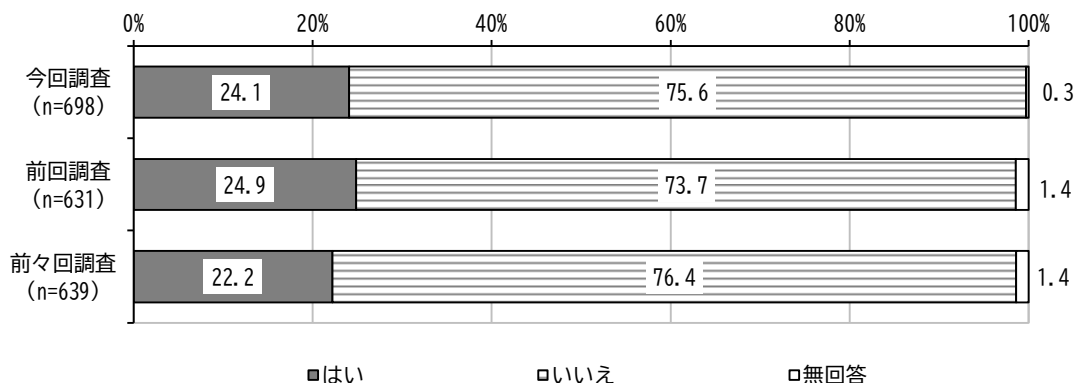
		合計 (人)	使っている (%)	使っていない (%)	無回答 (%)
性別	男性	313	84.3	14.7	1.0
	女性	384	86.5	12.8	0.8
年齢別	65～69歳	138	89.1	10.1	0.7
	70～74歳	164	89.0	10.4	0.6
	75～79歳	203	84.2	15.3	0.5
	80～84歳	130	84.6	13.8	1.5
	85歳以上	62	74.2	24.2	1.6
世帯構成別	1人暮らし	123	85.4	14.6	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	88.3	11.4	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	86.2	13.8	0.0
	息子・娘との2世帯	95	77.9	18.9	3.2
	その他	127	82.7	15.7	1.6
居住地区別	字大山崎	292	84.9	14.0	1.0
	字円明寺	343	86.9	12.2	0.9
	字下植野	62	80.6	19.4	0.0

(4) 今日が何月何日かわからない時があるか

問 29 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が24.1%、「いいえ」が75.6%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が0.8ポイント減少しています。

【図表2-4-7 今日が何月何日かわからない時があるか】



性別にみると、「はい」について、男性では25.6%、女性では22.7%となっており、男性のほうが2.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～69歳が26.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が25.8%で最も高くなっています。

【図表2-4-8 今日が何月何日かわからない時があるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

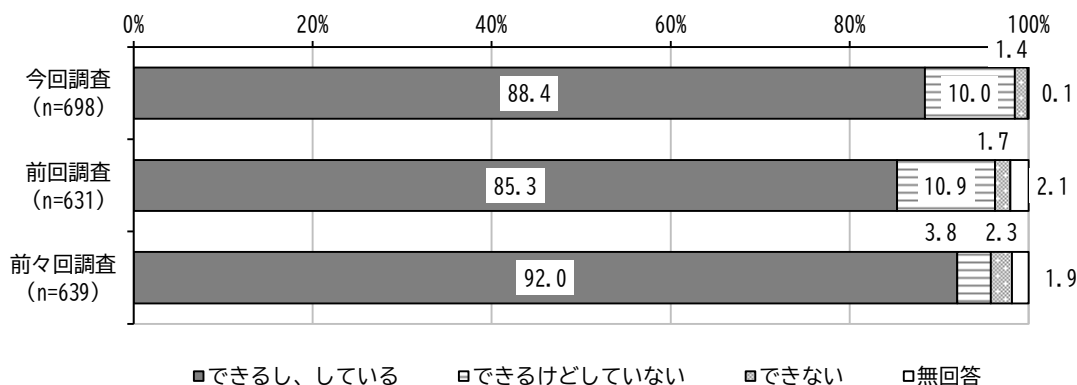
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	25.6	73.8	0.6
	女性	384	22.7	77.3	0.0
年齢別	65～69歳	138	26.8	72.5	0.7
	70～74歳	164	20.7	79.3	0.0
	75～79歳	203	25.6	73.9	0.5
	80～84歳	130	25.4	74.6	0.0
	85歳以上	62	17.7	82.3	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	20.3	79.7	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	28.3	71.7	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	13.8	86.2	0.0
	息子・娘との2世帯	95	22.1	77.9	0.0
	その他	127	18.1	80.3	1.6
居住 地区別	字大山崎	292	25.7	74.0	0.3
	字円明寺	343	22.2	77.6	0.3
	字下植野	62	25.8	74.2	0.0

(5) バスや電車を使って1人で外出しているか

問 30 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つ)

バスや電車を使って1人で外出しているかについて、「できるし、している」が 88.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 10.0%、「できない」が 1.4%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 3.1 ポイント増加しています。

【図表2-4-9 バスや電車を使って1人で外出しているか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では 88.8%、女性では 88.3%となっており、男性のほうが 0.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、70～74 歳が 90.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、字円明寺が 89.5%で最も高くなっています。

【図表2-4-10 バスや電車を使って1人で外出しているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

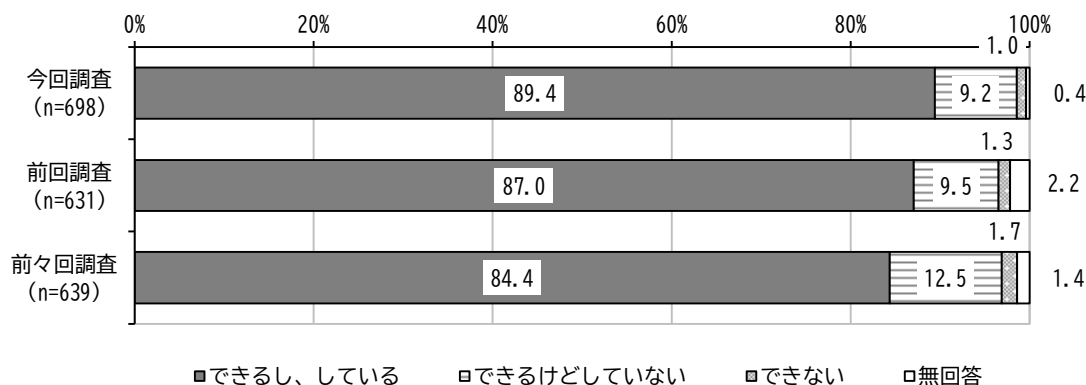
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	313	88.8	9.3	1.6	0.3
	女性	384	88.3	10.7	1.0	0.0
年齢別	65～69歳	138	88.4	8.0	2.9	0.7
	70～74歳	164	90.9	8.5	0.6	0.0
	75～79歳	203	89.7	9.9	0.5	0.0
	80～84歳	130	84.6	14.6	0.8	0.0
	85歳以上	62	87.1	9.7	3.2	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	94.3	4.9	0.8	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	88.6	10.1	1.3	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	93.1	6.9	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	84.2	11.6	4.2	0.0
その他	127	85.0	13.4	0.8	0.8	
居住地区別	字大山崎	292	87.7	9.9	2.4	0.0
	字円明寺	343	89.5	9.9	0.3	0.3
	字下植野	62	87.1	11.3	1.6	0.0

## (6) 自分で食品・日用品の買物をしているか

問 31 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

自分で食品・日用品の買物をしているかについて、「できるし、している」が89.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が9.2%、「できない」が1.0%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が2.4ポイント増加しています。

【図表2-4-11 自分で食品・日用品の買物をしているか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では85.6%、女性では92.4%となっており、女性のほうが6.8ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、70～74歳が92.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、字円明寺が90.4%で最も高くなっています。

【図表2-4-12 自分で食品・日用品の買物をしているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

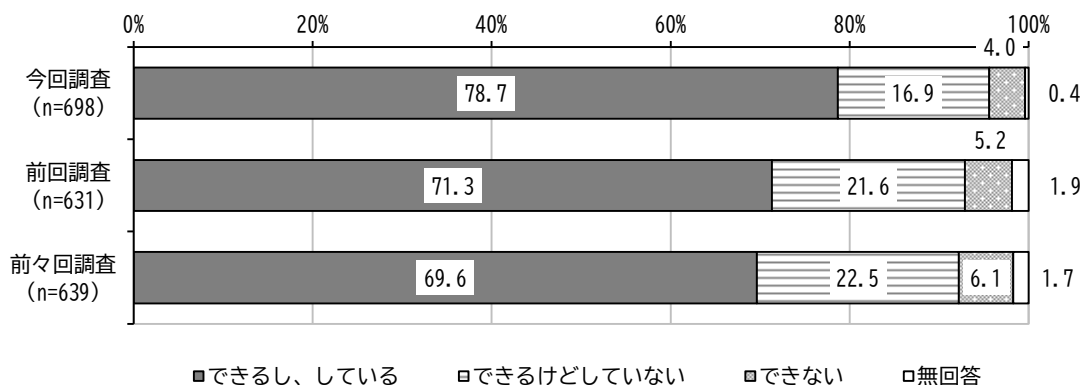
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	313	85.6	12.1	1.6	0.6
	女性	384	92.4	6.8	0.5	0.3
年齢別	65～69歳	138	89.1	8.0	2.2	0.7
	70～74歳	164	92.1	6.1	0.6	1.2
	75～79歳	203	91.1	8.4	0.5	0.0
	80～84歳	130	85.4	13.8	0.8	0.0
	85歳以上	62	85.5	12.9	1.6	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	97.6	2.4	0.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	87.9	11.1	0.7	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	79.3	20.7	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	86.3	10.5	3.2	0.0
	その他	127	89.8	7.1	1.6	1.6
居住地区別	字大山崎	292	88.4	9.9	1.7	0.0
	字円明寺	343	90.4	8.5	0.3	0.9
	字下植野	62	88.7	9.7	1.6	0.0

## (7) 自分で食事の用意をしているか

問 32 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が78.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が16.9%、「できない」が4.0%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が7.4ポイント増加しています。

【図表2-4-13 自分で食事の用意をしているか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では70.6%、女性では85.2%となっており、女性のほうが14.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、85歳以上が80.6%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、宇下植野が79.0%で最も高くなっています。

【図表2-4-141 自分で食事の用意をしているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

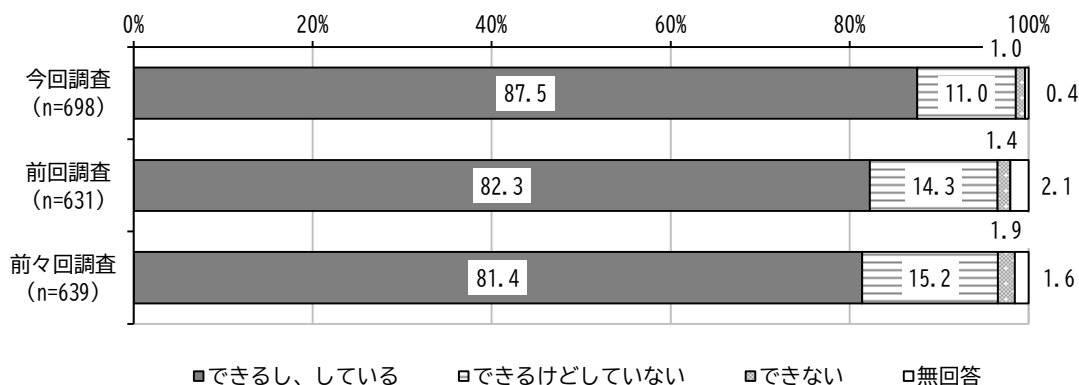
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	313	70.6	22.7	6.4	0.3
	女性	384	85.2	12.2	2.1	0.5
年齢別	65～69歳	138	79.0	14.5	5.1	1.4
	70～74歳	164	80.5	14.0	4.9	0.6
	75～79歳	203	78.8	17.7	3.4	0.0
	80～84歳	130	74.6	22.3	3.1	0.0
	85歳以上	62	80.6	16.1	3.2	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	95.1	4.9	0.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	72.3	21.2	6.2	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	69.0	31.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	84.2	11.6	4.2	0.0
	その他	127	75.6	18.9	3.9	1.6
居住地区別	宇大山崎	292	78.8	16.4	4.5	0.3
	宇円明寺	343	78.4	17.8	3.2	0.6
	宇下植野	62	79.0	14.5	6.5	0.0

### (8) 自分で請求書の支払いをしているか

問 33 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

自分で請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」が 87.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 11.0%、「できない」が 1.0%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 5.2 ポイント増加しています。

【図表2-4-15 自分で請求書の支払いをしているか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では 82.4%、女性では 91.7%となっており、女性のほうが 9.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、85 歳以上が 88.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、宇大山崎が 88.4%で最も高くなっています。

【図表2-4-16 自分で請求書の支払いをしているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

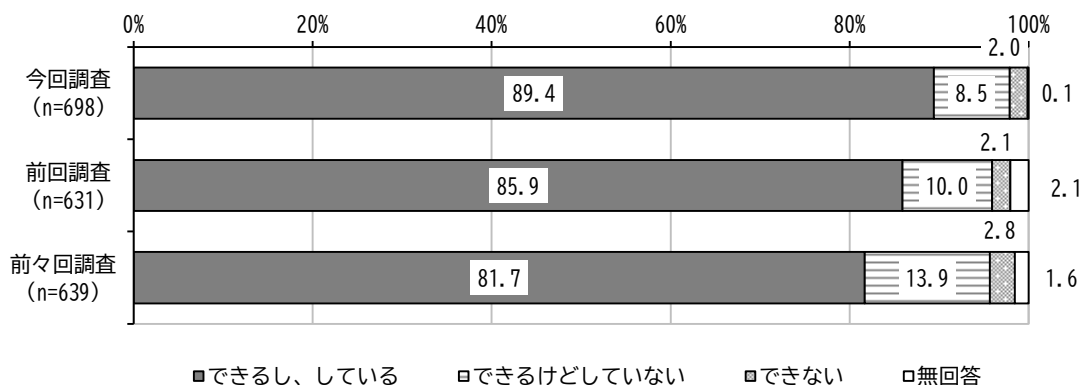
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	313	82.4	15.3	1.3	1.0
	女性	384	91.7	7.6	0.8	0.0
年齢別	65～69歳	138	88.4	8.0	2.9	0.7
	70～74歳	164	87.8	11.6	0.6	0.0
	75～79歳	203	87.2	11.3	0.5	1.0
	80～84歳	130	86.2	13.1	0.8	0.0
	85歳以上	62	88.7	11.3	0.0	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	99.2	0.8	0.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	82.1	16.6	1.0	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	75.9	24.1	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	88.4	9.5	2.1	0.0
	その他	127	91.3	5.5	1.6	1.6
居住地区別	宇大山崎	292	88.4	10.6	0.7	0.3
	宇円明寺	343	87.5	10.8	1.2	0.6
	宇下植野	62	83.9	14.5	1.6	0.0

### (9) 自分で預貯金の出し入れをしているか

問 34 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が 89.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 8.5%、「できない」が 2.0%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 3.5 ポイント増加しています。

【図表2-4-17 自分で預貯金の出し入れをしているか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では 86.3%、女性では 91.9%となっており、女性のほうが 5.6 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、70～74 歳が 90.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、字円明寺が 89.8%で最も高くなっています。

【図表2-4-18 自分で預貯金の出し入れをしているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

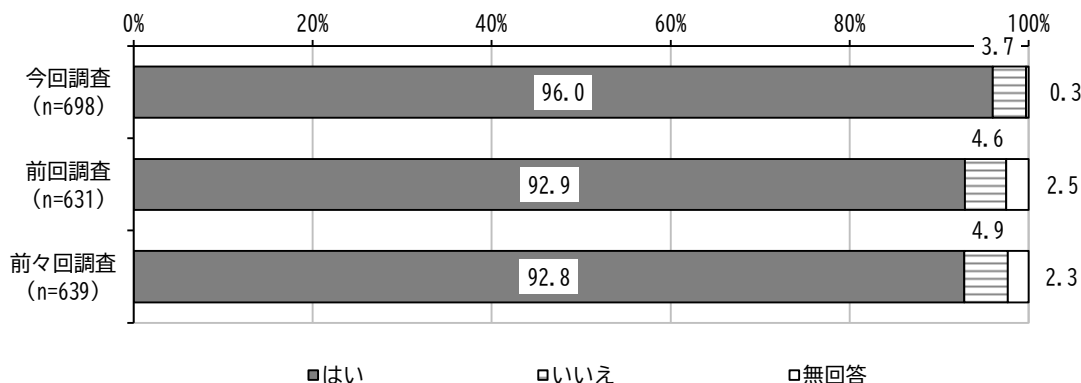
		合計 (人)	できるし、 して	できる けどして	できない	無 回答
性別	男性	313	86.3	10.5	2.9	0.3
	女性	384	91.9	6.8	1.3	0.0
年齢別	65～69歳	138	87.0	8.7	3.6	0.7
	70～74歳	164	90.9	7.9	1.2	0.0
	75～79歳	203	90.1	8.9	1.0	0.0
	80～84歳	130	90.8	8.5	0.8	0.0
	85歳以上	62	85.5	8.1	6.5	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	99.2	0.0	0.8	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	86.3	11.7	2.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	82.8	17.2	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	86.3	8.4	5.3	0.0
その他	127	91.3	6.3	1.6	0.8	
居住 地区別	字大山崎	292	89.0	9.2	1.7	0.0
	字円明寺	343	89.8	7.6	2.3	0.3
	字下植野	62	88.7	9.7	1.6	0.0

## (10) 年金などの書類が書けるか

問 35 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)

年金などの書類が書けるかについて、「はい」が96.0%、「いいえ」が3.7%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が3.1ポイント増加しています。

【図表2-4-19 年金などの書類が書けるか】



性別にみると、「はい」について、男性では95.2%、女性では96.6%となっており、女性のほうが1.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、70～74歳と75～79歳が97.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が96.5%で最も高くなっています。

【図表2-4-20 年金などの書類が書けるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

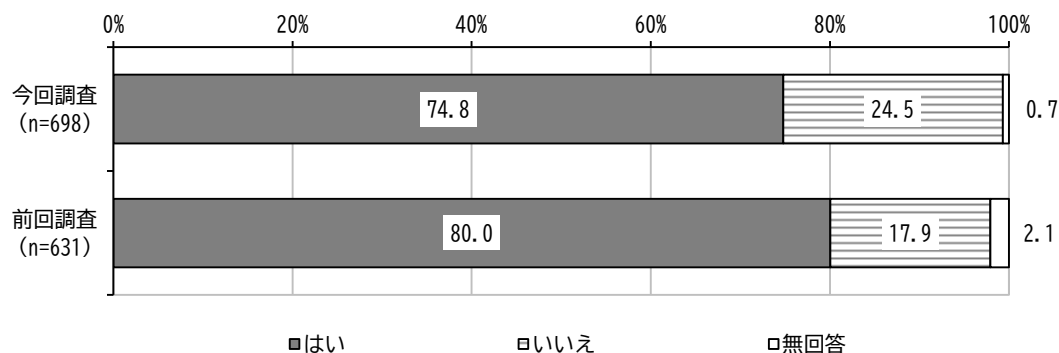
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	95.2	4.5	0.3
	女性	384	96.6	3.1	0.3
年齢別	65～69歳	138	96.4	2.9	0.7
	70～74歳	164	97.0	3.0	0.0
	75～79歳	203	97.0	3.0	0.0
	80～84歳	130	93.1	6.2	0.8
	85歳以上	62	95.2	4.8	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	95.1	4.1	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	97.1	2.9	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	96.6	3.4	0.0
	息子・娘との2世帯	95	93.7	6.3	0.0
	その他	127	96.1	3.1	0.8
居住 地区別	字大山崎	292	95.5	4.5	0.0
	字円明寺	343	96.5	2.9	0.6
	字下植野	62	95.2	4.8	0.0

(11) 新聞を読んでいるか

問 36 新聞を読んでいますか。(○は1つ)

新聞を読んでいるかについて、「はい」が 74.8%、「いいえ」が 24.5%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.2 ポイント減少しています。

【図表2-4-21 新聞を読んでいるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 77.0%、女性では 73.2%となっており、男性のほうが 3.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 87.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字大山崎が 76.4%で最も高くなっています。

【図表2-4-22 新聞を読んでいるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

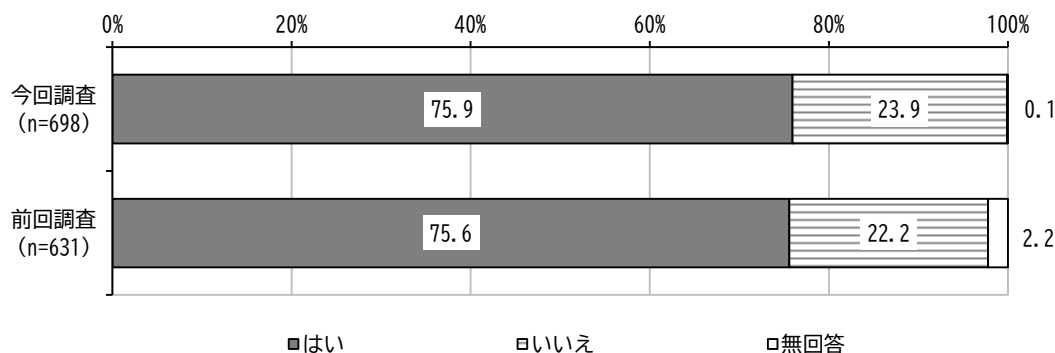
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	77.0	22.7	0.3
	女性	384	73.2	25.8	1.0
年齢別	65～69歳	138	65.9	32.6	1.4
	70～74歳	164	76.8	23.2	0.0
	75～79歳	203	72.9	27.1	0.0
	80～84歳	130	79.2	18.5	2.3
	85歳以上	62	87.1	12.9	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	73.2	25.2	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	78.2	21.2	0.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	55.2	44.8	0.0
	息子・娘との2世帯	95	73.7	26.3	0.0
	その他	127	78.0	21.3	0.8
居住 地区別	字大山崎	292	76.4	22.6	1.0
	字円明寺	343	74.1	25.4	0.6
	字下植野	62	72.6	27.4	0.0

## (12) 本や雑誌を読んでいるか

問 37 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が75.9%、「いいえ」が23.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が0.3ポイント増加しています。

【図表2-4-23 本や雑誌を読んでいるか】



性別にみると、「はい」について、男性では73.5%、女性では78.1%となっており、女性のほうが4.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、75～79歳が77.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字大山崎が77.1%で最も高くなっています。

【図表2-4-24 本や雑誌を読んでいるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

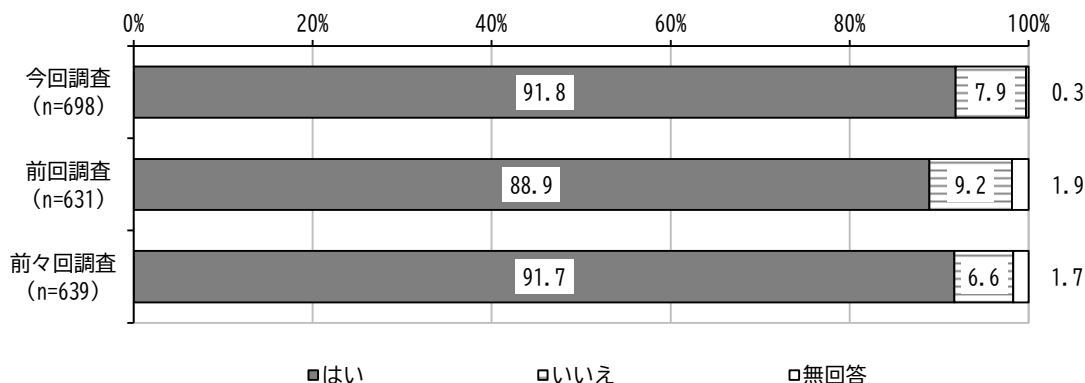
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	73.5	26.2	0.3
	女性	384	78.1	21.9	0.0
年齢別	65～69歳	138	71.0	28.3	0.7
	70～74歳	164	77.4	22.6	0.0
	75～79歳	203	77.8	22.2	0.0
	80～84歳	130	77.7	22.3	0.0
	85歳以上	62	74.2	25.8	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	80.5	19.5	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	78.5	21.5	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	69.0	31.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	65.3	34.7	0.0
	その他	127	78.0	21.3	0.8
居住 地区別	字大山崎	292	77.1	22.9	0.0
	字円明寺	343	75.5	24.2	0.3
	字下植野	62	74.2	25.8	0.0

### (13) 健康についての記事や番組に関心があるか

問 38 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が 91.8%、「いいえ」が 7.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 2.9 ポイント増加しています。

【図表2-4-25 健康についての記事や番組に関心があるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 90.4%、女性では 93.2%となっており、女性のほうが 2.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、75～79 歳が 93.6%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 92.4%で最も高くなっています。

【図表2-4-26 健康についての記事や番組に関心があるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

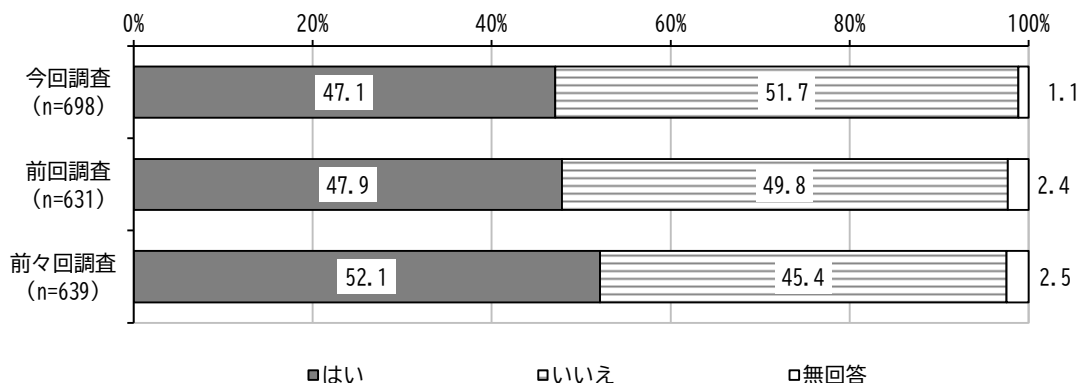
		合計 (人)	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
性別	男性	313	90.4	8.9	0.6
	女性	384	93.2	6.8	0.0
年齢別	65～69歳	138	90.6	8.7	0.7
	70～74歳	164	92.7	6.7	0.6
	75～79歳	203	93.6	6.4	0.0
	80～84歳	130	91.5	8.5	0.0
	85歳以上	62	88.7	11.3	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	92.7	6.5	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	90.9	9.1	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	93.1	6.9	0.0
	息子・娘との2世帯	95	92.6	7.4	0.0
	その他	127	92.1	7.1	0.8
居住地区別	字大山崎	292	91.4	8.6	0.0
	字円明寺	343	92.4	7.0	0.6
	字下植野	62	91.9	8.1	0.0

### (14) 友人の家を訪ねているか

問 39 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

友人の家を訪ねているかについて、「はい」が 47.1%、「いいえ」が 51.7%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 0.8 ポイント減少しています。

【図表2-4-27 友人の家を訪ねているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 41.5%、女性では 51.8%となっており、女性のほうが 10.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、75～79 歳が 50.2%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 49.3%で最も高くなっています。

【図表2-4-28 友人の家を訪ねているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

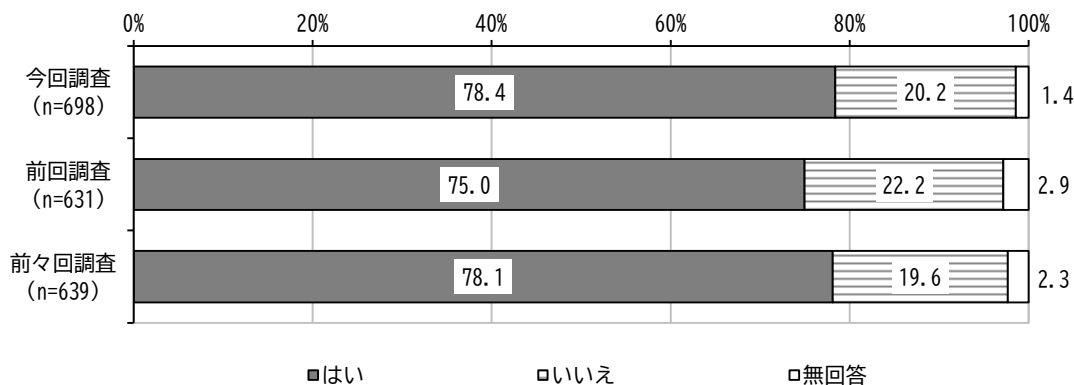
		合計 (人)	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
性別	男性	313	41.5	57.5	1.0
	女性	384	51.8	46.9	1.3
年齢別	65～69歳	138	47.1	51.4	1.4
	70～74歳	164	45.1	53.0	1.8
	75～79歳	203	50.2	48.8	1.0
	80～84歳	130	46.2	53.1	0.8
	85歳以上	62	45.2	54.8	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	46.3	53.7	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	47.2	51.8	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	20.7	75.9	3.4
	息子・娘との2世帯	95	49.5	48.4	2.1
	その他	127	52.0	46.5	1.6
居住地区別	字大山崎	292	44.9	54.1	1.0
	字円明寺	343	49.3	49.6	1.2
	字下植野	62	46.8	51.6	1.6

### (15) 家族や友人の相談にのっているか

問 40 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が 78.4%、「いいえ」が 20.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.4 ポイント増加しています。

【図表2-4-29 家族や友人の相談にのっているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 77.0%、女性では 79.7%となっており、女性のほうが 2.7 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～69 歳が 79.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 80.5%で最も高くなっています。

【図表2-4-30 家族や友人の相談にのっているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

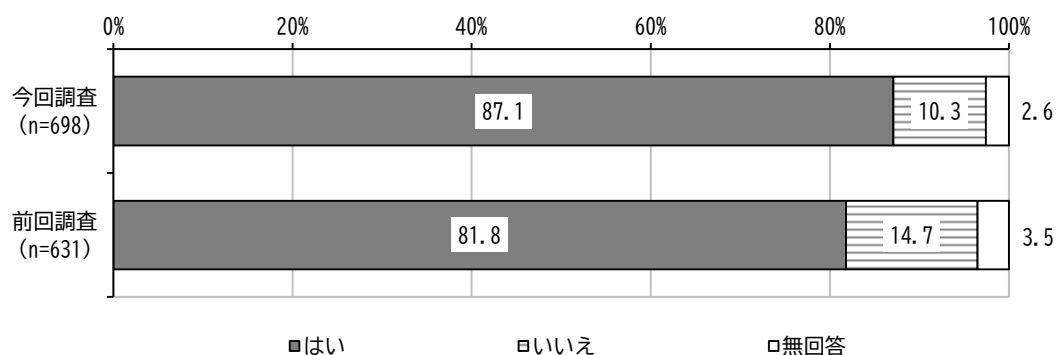
		合計 (人)	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
性別	男性	313	77.0	22.0	1.0
	女性	384	79.7	18.5	1.8
年齢別	65～69歳	138	79.7	18.1	2.2
	70～74歳	164	78.7	19.5	1.8
	75～79歳	203	79.3	20.2	0.5
	80～84歳	130	76.2	21.5	2.3
	85歳以上	62	77.4	22.6	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	74.0	24.4	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	83.1	16.3	0.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	72.4	27.6	0.0
	息子・娘との2世帯	95	75.8	23.2	1.1
	その他	127	74.8	22.0	3.1
居住地区別	字大山崎	292	78.1	20.5	1.4
	字円明寺	343	80.5	18.1	1.5
	字下植野	62	69.4	29.0	1.6

## (16) 病人を見舞うことができるか

問 41 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

病人を見舞うことができるかについて、「はい」が 87.1%、「いいえ」が 10.3%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.3 ポイント増加しています。

【図表2-4-31 病人を見舞うことができるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 86.3%、女性では 88.0%となっており、女性のほうが 1.7 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 88.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 88.6%で最も高くなっています。

【図表2-4-32 病人を見舞うことができるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

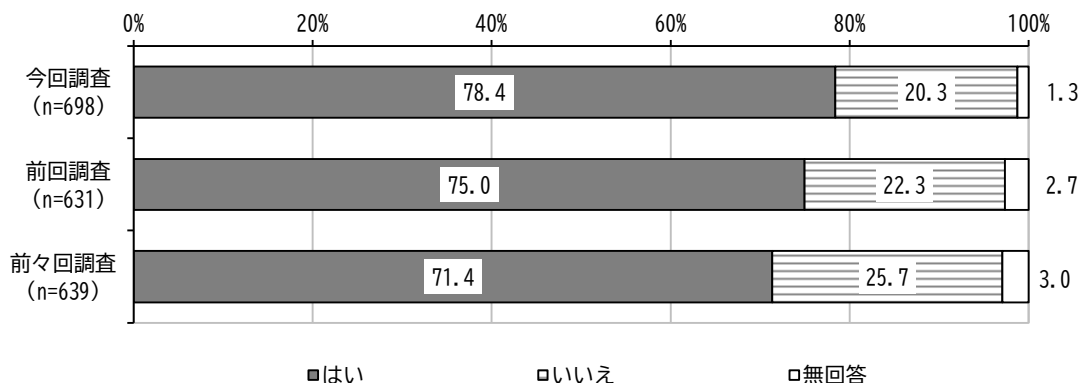
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	86.3	11.5	2.2
	女性	384	88.0	9.1	2.9
年齢別	65～69歳	138	86.2	10.9	2.9
	70～74歳	164	87.2	11.0	1.8
	75～79歳	203	86.7	9.9	3.4
	80～84歳	130	88.5	9.2	2.3
	85歳以上	62	88.7	9.7	1.6
世帯 構成別	1人暮らし	123	85.4	9.8	4.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	88.6	10.4	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	89.7	10.3	0.0
	息子・娘との2世帯	95	86.3	10.5	3.2
	その他	127	84.3	11.8	3.9
居住 地区別	字大山崎	292	86.3	11.6	2.1
	字円明寺	343	88.6	8.7	2.6
	字下植野	62	83.9	11.3	4.8

(17) 若い人に自分から話しかけることがあるか

問 42 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が78.4%、「いいえ」が20.3%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が3.4ポイント増加しています。

【図表2-4-33 若い人に自分から話しかけることがあるか】



性別にみると、「はい」について、男性では75.1%、女性では81.3%となっており、女性のほうが6.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、75～79歳が81.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が81.6%で最も高くなっています。

【図表2-4-34 若い人に自分から話しかけることがあるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

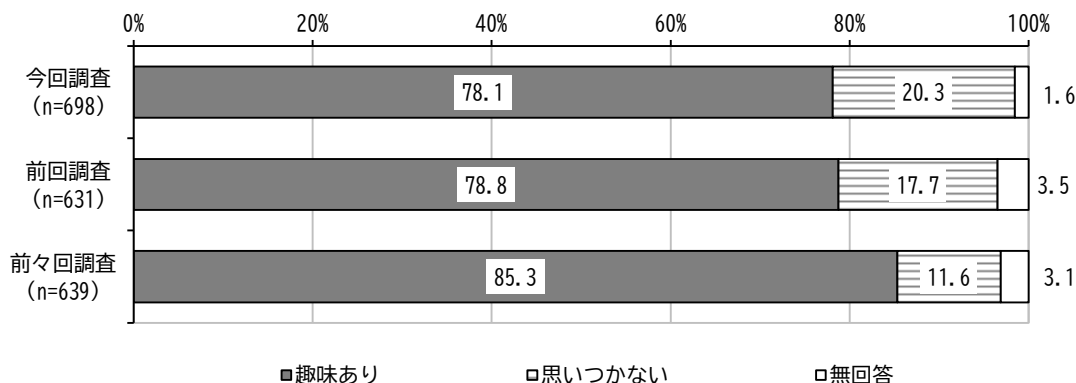
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	75.1	23.3	1.6
	女性	384	81.3	17.7	1.0
年齢別	65～69歳	138	76.8	21.7	1.4
	70～74歳	164	76.2	23.2	0.6
	75～79歳	203	81.3	17.2	1.5
	80～84歳	130	78.5	20.0	1.5
	85歳以上	62	79.0	19.4	1.6
世帯 構成別	1人暮らし	123	76.4	22.8	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	80.8	18.9	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	69.0	31.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	74.7	21.1	4.2
	その他	127	78.0	20.5	1.6
居住 地区別	字大山崎	292	75.3	23.6	1.0
	字円明寺	343	81.6	16.9	1.5
	字下植野	62	75.8	22.6	1.6

(18) 趣味はあるか

問 43 趣味はありますか。(○は1つ)

趣味はあるかについて、「趣味あり」が 78.1%、「思いつかない」が 20.3%となっています。また、前回調査と比較して「趣味あり」が 0.7 ポイント減少しています。

【図表2-4-35 趣味はあるか】



性別にみると、「趣味あり」について、男性では 74.1%、女性では 81.3%となっており、女性のほうが 7.2 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「趣味あり」では、75～79 歳が 80.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「趣味あり」では、字円明寺が 83.7%で最も高くなっています。

【図表2-4-36 趣味はあるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	趣味あり	思いつかない	無回答
性別	男性	313	74.1	24.6	1.3
	女性	384	81.3	16.9	1.8
年齢別	65～69歳	138	77.5	20.3	2.2
	70～74歳	164	78.0	20.7	1.2
	75～79歳	203	80.8	17.7	1.5
	80～84歳	130	76.9	21.5	1.5
	85歳以上	62	72.6	25.8	1.6
世帯構成別	1人暮らし	123	80.5	16.3	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	80.5	18.6	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	72.4	27.6	0.0
	息子・娘との2世帯	95	71.6	26.3	2.1
	その他	127	75.6	22.8	1.6
居住地区別	字大山崎	292	73.6	25.0	1.4
	字円明寺	343	83.7	14.9	1.5
	字下植野	62	67.7	29.0	3.2

趣味の内容について、『読書・新聞などの文学系』が 92 件で最も多く、次いで『手芸・裁縫・編み物などの創作系』が 88 件、『園芸』が 74 件となっています。

【図表2-4-37 趣味の内容】

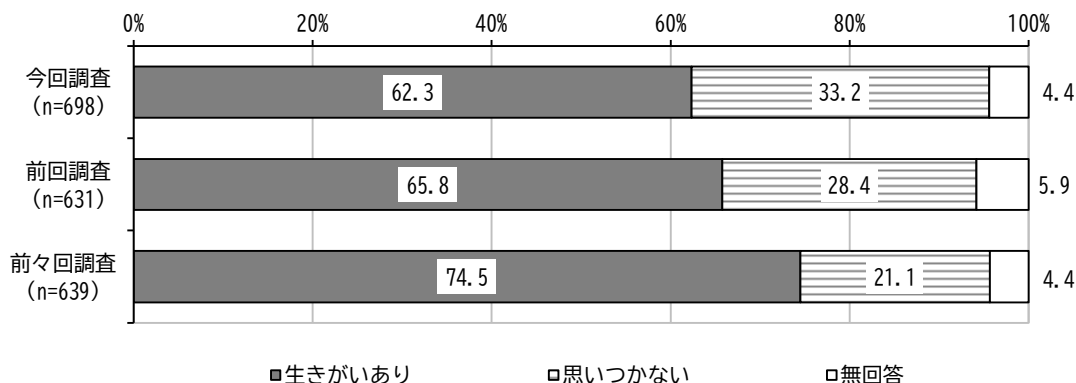
分類	内容	分類	内容
読書・新聞などの文学系 (92件)	読書	旅行・外出 (49件)	旅行
	新聞		ドライブ
	推理小説		寺社巡り など
	ブログ など		麻雀
手芸・裁縫・編み物などの創作系 (88件)	手芸	ゲーム (44件)	囲碁
	ビーズ		将棋
	パッチワーク		スマホゲーム など
	編み物	料理・お菓子作り (33件)	料理
	ペーパークラフト		ケーキ作り
	竹細工 など		パン作り など
園芸 (74件)	ガーデニング	絵画・写真・美術鑑賞などのアート系 (32件)	絵画
	花の手入れ		水彩画
	野菜作り		陶芸
	家庭菜園		工芸
	盆栽 など		美術鑑賞 など
映画・ドラマ鑑賞 (63件)	映画鑑賞	パソコン・機械 (22件)	パソコン
	韓流ドラマ		画像編集
	YouTube		アマチュア無線
	アニメ など		3Dプリント など
散歩・登山 (61件)	ウォーキング	サークル (18件)	サークル活動
	散歩		ボランティア
	ハイキング		地域活動 など
	登山	車などの乗り物 (9件)	車 など
	ジョギング など	ペットの世話 (6件)	犬
カラオケ・楽器などの音楽系 (58件)	カラオケ	その他 (9件)	メダカ育成 など
	音楽鑑賞		政治 など
	ギター		
スポーツ・運動 (56件)	ピアノ など		
	卓球		
	テニス		
	グラウンドゴルフ		
	体操		
	ヨガ		
太極拳 など			

(19) 生きがいはあるか

問 44 生きがいがありますか。(○は1つ)

生きがいはあるかについて、「生きがいあり」が 62.3%、「思いつかない」が 33.2%となっています。また、前回調査と比較して「生きがいあり」が 3.5 ポイント減少しています。

【図表2-4-38 生きがいはあるか】



性別にみると、「生きがいあり」について、男性では 57.8%、女性では 66.1%となっており、女性のほうが 8.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「生きがいあり」では、75～79 歳が 67.5%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「生きがいあり」では、字円明寺が 65.3%で最も高くなっています。

【図表2-4-39 生きがいはあるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	生きがいあり	思いつかない	無回答
性別	男性	313	57.8	38.0	4.2
	女性	384	66.1	29.2	4.7
年齢別	65～69歳	138	58.7	38.4	2.9
	70～74歳	164	62.2	33.5	4.3
	75～79歳	203	67.5	30.0	2.5
	80～84歳	130	59.2	33.8	6.9
	85歳以上	62	61.3	29.0	9.7
世帯構成別	1人暮らし	123	68.3	27.6	4.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	63.2	33.2	3.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	62.1	37.9	0.0
	息子・娘との2世帯	95	58.9	34.7	6.3
	その他	127	57.5	37.0	5.5
居住地区別	字大山崎	292	58.9	37.0	4.1
	字円明寺	343	65.3	30.0	4.7
	字下植野	62	62.9	32.3	4.8

生きがいの内容について、『孫・子ども・家族との時間』が143件で最も多く、次いで『旅行・外出』が82件、『趣味』が78件となっています。

【図表2-4-40 生きがいの内容】

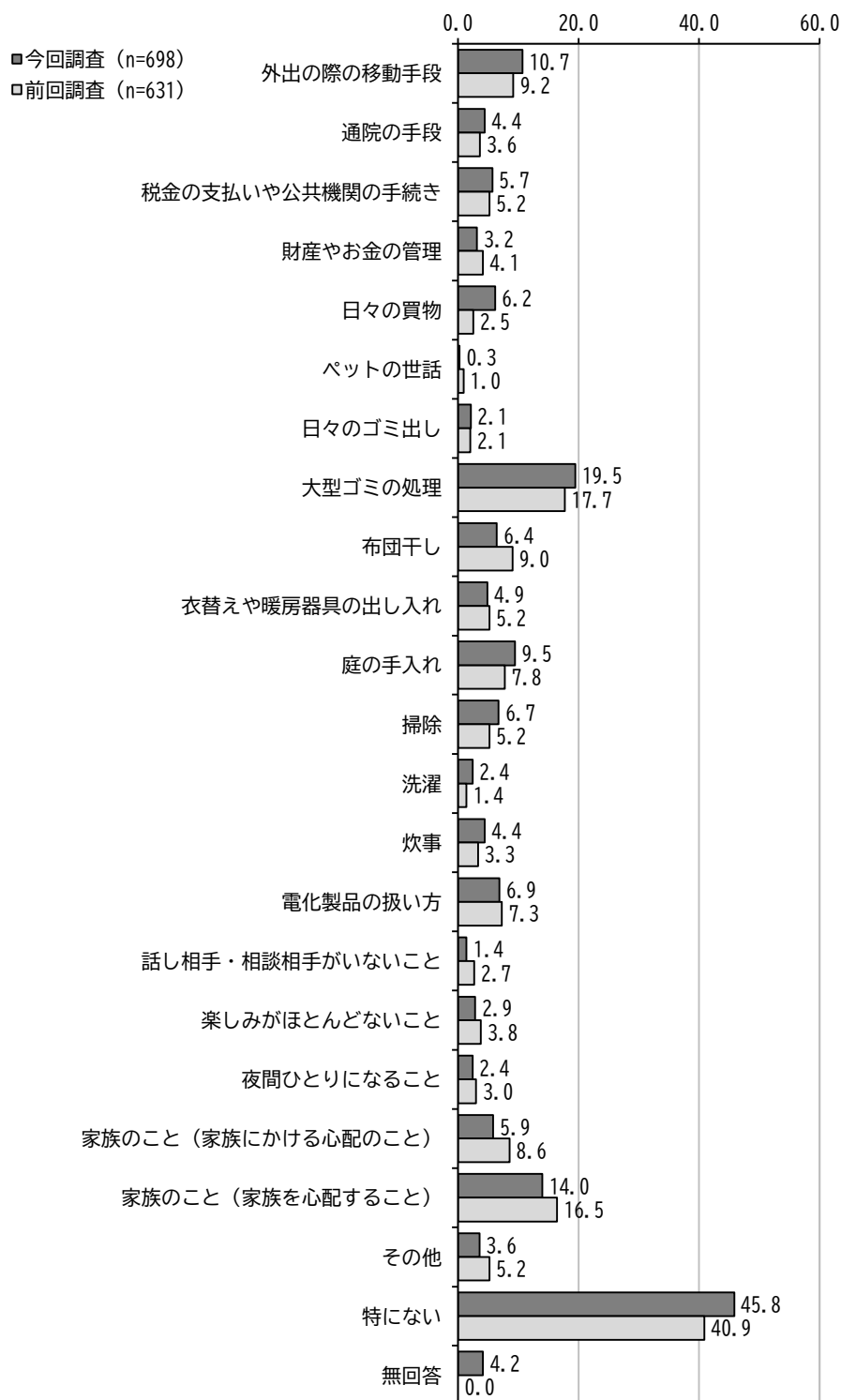
分類	内容	分類	内容
孫・子ども・家族との時間 (143件)	孫の成長	友人との交流 (41件)	友達との食事
	孫と話す・遊ぶこと		サークル活動
	家族旅行		仲間との会話 など
	家族の健康	ボランティア (29件)	ボランティア活動
旅行・外出 (82件)	子どもの幸せ など		人の役に立つこと
	旅行		子育て支援 など
	ドライブ	ペット (12件)	犬の世話
	温泉		猫の介護 など
登山 など	宗教 (10件)	宗教	
趣味 (78件)		手芸・編み物・陶芸	聖書
		絵画・カラオケ・音楽	寺院での奉仕 など
	ゴルフ・卓球	その他 (18件)	毎日の生活 など
	読書・歴史本		
	競馬・パチンコ など		
仕事 (47件)	パート・アルバイト		
	仕事 など		
健康 (44件)	健康管理		
	元気で長生き など		

## (20) 暮らしの中で困っていること

問 45 あなたが暮らしの中で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

暮らしの中で困っていることについて、「特にない」が 45.8%で最も高く、次いで「大型ゴミの処理」が 19.5%、「家族のこと(家族を心配すること)」が 14.0%となっています。また、前回調査と比較して「特にない」が 4.9 ポイント増加しています。

【図表2-4-41 暮らしの中で困っていること】



性別にみると、男性・女性ともに「特にない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「外出の際の移動手段」では、80～84歳が13.8%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「外出の際の移動手段」では、字大山崎が12.7%で最も高くなっています。

【図表2-4-42 暮らしの中で困っていること(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	外出の際の移動手段	通院の手段	税金の支払いや公共機 関の手続き	財産やお金の管理	日々の買物	ペットの世話	日々のゴミ出し	大型ゴミの処理	布団干し	衣替えや暖房器具の出 し入れ	庭の手入れ	掃除
性別	男性	313	12.8	4.8	7.0	3.5	6.7	0.6	2.6	19.8	7.0	5.8	9.3	8.6
	女性	384	8.9	3.9	4.4	2.6	5.5	0.0	1.6	19.0	5.7	3.9	9.6	4.9
年齢別	65～69歳	138	10.9	5.8	5.1	6.5	5.1	0.0	2.2	16.7	5.8	2.9	9.4	5.8
	70～74歳	164	10.4	4.3	7.9	3.7	7.9	0.6	2.4	21.3	6.1	4.9	7.9	6.7
	75～79歳	203	7.9	3.0	4.4	1.0	5.4	0.5	2.0	21.7	3.9	4.9	10.3	5.4
	80～84歳	130	13.8	4.6	6.2	1.5	5.4	0.0	1.5	16.9	6.2	3.8	7.7	6.9
	85歳以上	62	12.9	4.8	3.2	3.2	6.5	0.0	1.6	17.7	16.1	9.7	14.5	11.3
世帯 構成別	1人暮らし	123	12.2	7.3	3.3	1.6	5.7	0.0	3.3	27.6	10.6	5.7	13.0	10.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	11.7	4.9	6.5	3.3	7.2	0.3	0.7	16.0	5.5	4.6	7.8	5.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	3.4	13.8	10.3	3.4	0.0	3.4	10.3	3.4	6.9	6.9	6.9
	息子・娘との2世帯	95	11.6	4.2	2.1	2.1	5.3	0.0	4.2	16.8	5.3	2.1	7.4	5.3
	その他	127	7.1	0.8	7.1	3.1	5.5	0.8	1.6	22.0	6.3	7.1	11.0	7.9
居住 地区別	字大山崎	292	12.7	6.8	5.1	2.4	7.9	0.3	3.1	16.1	8.2	5.5	6.5	8.9
	字円明寺	343	9.3	1.7	5.5	2.9	4.7	0.3	1.2	22.4	5.0	4.4	10.2	4.7
	字下植野	62	8.1	6.5	8.1	6.5	4.8	0.0	1.6	17.7	4.8	3.2	19.4	6.5

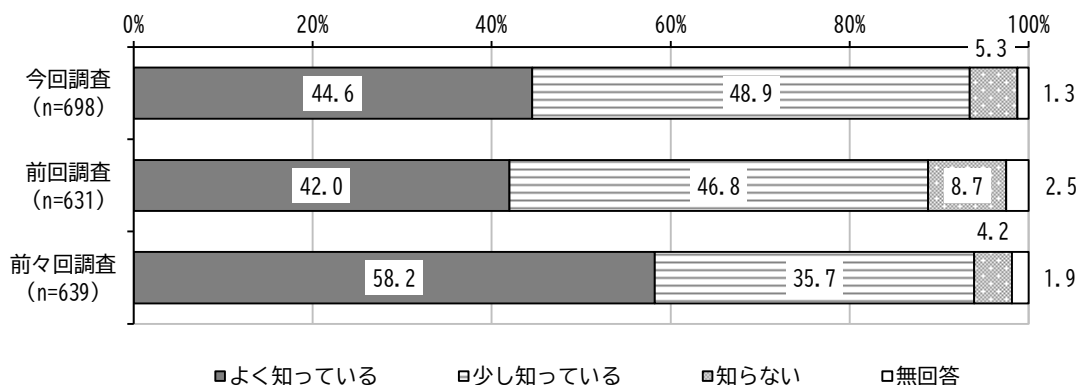
		合計(人)	洗濯	炊事	電化製品の扱い方	話し相手・相談相手が いないこと	楽しみがほとんどない こと	夜間ひとりになること	家族のこと(家族にか ける心配のこと)	家族のこと(家族を心 配すること)	その他	特にない	無回答
性別	男性	313	3.2	4.8	8.0	1.9	4.2	2.2	6.4	15.3	4.5	41.2	3.8
	女性	384	1.6	3.9	6.0	0.8	1.8	2.3	5.2	13.0	2.9	49.7	4.4
年齢別	65～69歳	138	2.9	2.9	6.5	2.2	3.6	0.7	6.5	17.4	2.2	44.9	5.1
	70～74歳	164	1.2	4.3	6.7	2.4	3.7	0.6	5.5	11.6	6.1	47.0	4.3
	75～79歳	203	2.5	4.4	3.9	0.5	2.5	4.4	6.4	15.3	3.0	46.8	3.4
	80～84歳	130	2.3	3.8	9.2	0.0	1.5	3.1	3.8	9.2	3.8	46.2	5.4
	85歳以上	62	3.2	8.1	12.9	1.6	3.2	1.6	6.5	19.4	1.6	41.9	1.6
世帯 構成別	1人暮らし	123	1.6	7.3	7.3	3.3	3.3	10.6	5.7	6.5	4.1	37.4	4.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	2.3	2.6	7.5	0.7	3.3	0.7	5.5	13.7	3.3	48.2	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	0.0	3.4	10.3	10.3	0.0	3.4	10.3	6.9	58.6	6.9
	息子・娘との2世帯	95	2.1	4.2	5.3	0.0	2.1	0.0	5.3	14.7	1.1	47.4	4.2
	その他	127	3.9	6.3	5.5	0.8	0.8	1.6	7.9	19.7	4.7	46.5	3.9
居住 地区別	字大山崎	292	3.1	5.8	7.9	1.0	3.4	1.7	6.2	14.4	3.8	45.9	4.5
	字円明寺	343	2.0	3.5	6.1	1.5	2.3	2.6	6.4	13.4	3.5	47.5	3.2
	字下植野	62	0.0	1.6	6.5	1.6	3.2	3.2	0.0	16.1	3.2	37.1	8.1

## (21) 災害時の避難場所を知っているか

問 46 あなたは、災害時の避難場所についてご存知ですか。(○は1つ)

災害時の避難場所を知っているかについて、「少し知っている」が 48.9%で最も高く、次いで「よく知っている」が 44.6%、「知らない」が 5.3%となっています。また、前回調査と比較して「少し知っている」が 2.1 ポイント増加しています。

【図表2-4-43 災害時の避難場所を知っているか】



性別にみると、「知らない」について、男性では 5.1%、女性では 5.2%となっており、女性のほうが 0.1 ポイント高くなっています。

居住地区別にみると、「知らない」では、字下植野が 8.1%で最も高くなっています。

【図表2-4-44 災害時の避難場所を知っているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
性別	男性	313	42.2	51.8	5.1	1.0
	女性	384	46.6	46.6	5.2	1.6
年齢別	65～69歳	138	35.5	55.1	6.5	2.9
	70～74歳	164	48.8	45.7	5.5	0.0
	75～79歳	203	50.2	43.8	4.9	1.0
	80～84歳	130	43.1	52.3	4.6	0.0
	85歳以上	62	38.7	53.2	3.2	4.8
世帯構成別	1人暮らし	123	45.5	45.5	7.3	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	45.6	49.2	4.2	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	37.9	48.3	13.8	0.0
	息子・娘との2世帯	95	41.1	51.6	6.3	1.1
	その他	127	46.5	47.2	3.9	2.4
居住地区別	字大山崎	292	45.2	47.9	5.5	1.4
	字円明寺	343	44.6	49.9	4.4	1.2
	字下植野	62	41.9	48.4	8.1	1.6

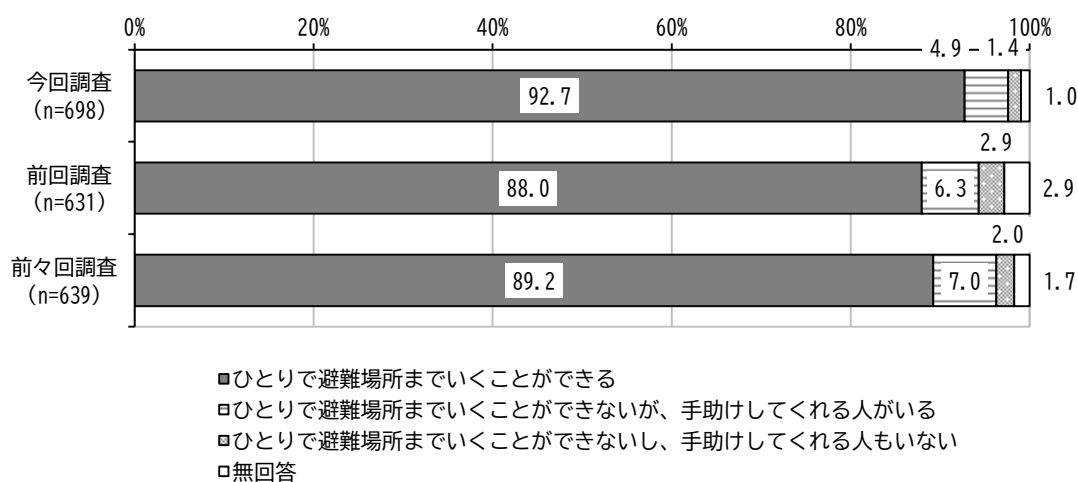
## (22) ひとりで避難場所までいくことができるか

問 47

災害が発生して避難する時に、ひとりで避難場所までいくことができますか。  
(○は1つ)

ひとりで避難場所までいくことができるかについて、「ひとりで避難場所までいくことができる」が 92.7%で最も高く、次いで「ひとりで避難場所までいくことができないが、手助けしてくれる人がいる」が 4.9%、「ひとりで避難場所までいくことができないし、手助けしてくれる人もいない」が 1.4%となっています。また、前回調査と比較して「ひとりで避難場所までいくことができる」が 4.7 ポイント増加しています。

【図表2-4-45 ひとりで避難場所までいくことができるか】



性別にみると、「ひとりで避難場所までいくことができないし、手助けしてくれる人もいない」について、男性では1.3%、女性では1.6%となっており、女性のほうが0.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「ひとりで避難場所までいくことができないし、手助けしてくれる人もいない」では、85歳以上が3.2%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ひとりで避難場所までいくことができないし、手助けしてくれる人もいない」では、字下植野が4.8%で最も高くなっています。

【図表2-4-46 ひとりで避難場所までいくことができるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	でひとりで くりこで 避難場所 まで	れいでひ るがひと りがくり で避難所 まで	れいでひ るしいと りも手こ で避難所 まで	無 回 答
性別	男性	313	91.1	6.7	1.3	1.0
	女性	384	94.3	3.4	1.6	0.8
年齢別	65～69歳	138	92.0	5.1	0.0	2.9
	70～74歳	164	93.9	3.7	1.8	0.6
	75～79歳	203	94.6	3.9	1.0	0.5
	80～84歳	130	90.8	6.9	2.3	0.0
	85歳以上	62	90.3	6.5	3.2	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	91.9	3.3	3.3	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	93.8	4.6	1.3	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	96.6	0.0	3.4	0.0
	息子・娘との2世帯	95	90.5	8.4	0.0	1.1
その他	127	92.1	5.5	0.0	2.4	
居住 地区別	字大山崎	292	91.4	6.2	1.0	1.4
	字円明寺	343	94.8	3.8	1.2	0.3
	字下植野	62	88.7	4.8	4.8	1.6

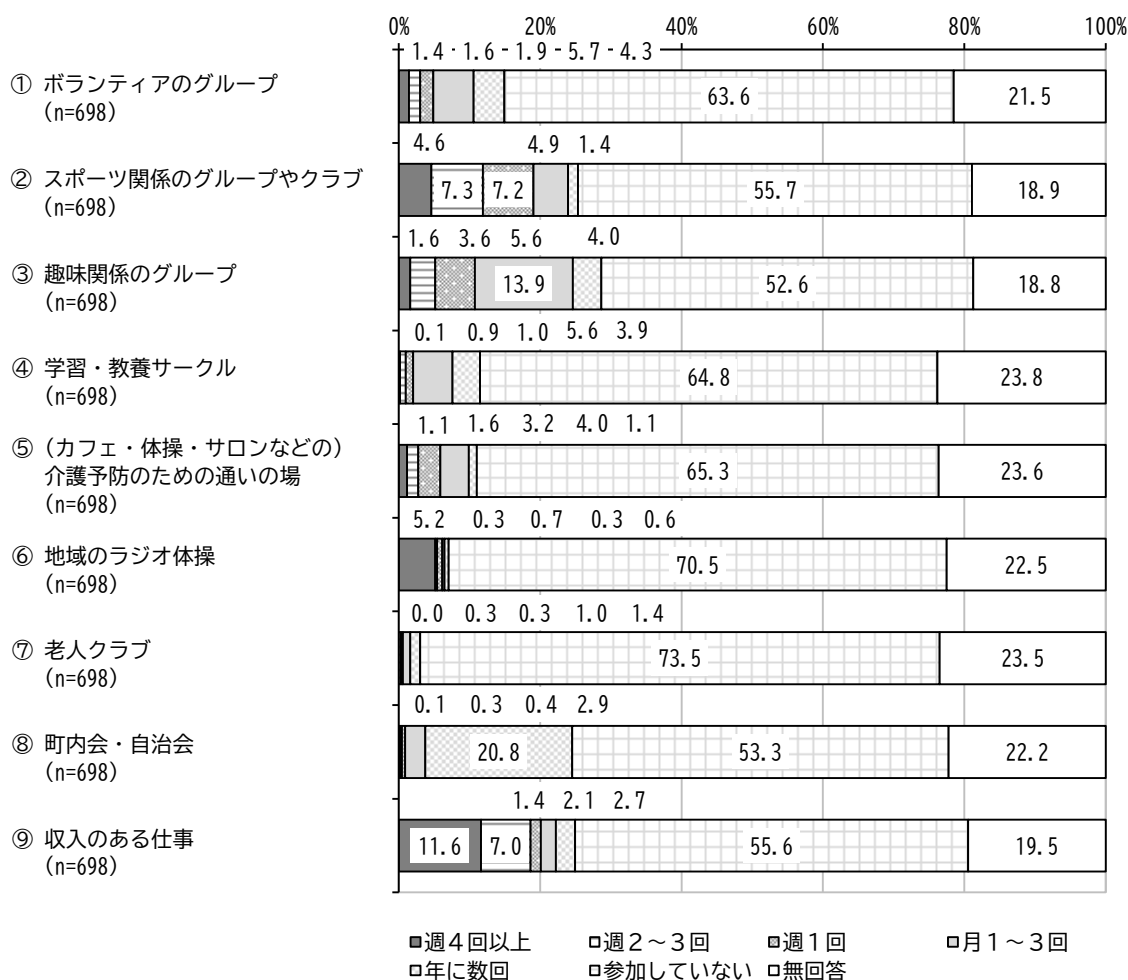
## 5. 地域での活動について

### (1) 地域での活動の頻度

問 48	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 (①～⑨それぞれに○は1つ)
------	--

地域での活動の頻度について、『参加している』(「週4回以上」と「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」と「年に数回」の合計)では、「趣味関係のグループ」が 28.7%で最も高く、次いで「スポーツ関係のグループ」が 25.4%、「収入のある仕事」が 24.8%となっています。

【図表2-5-1 地域での活動の頻度】



i ボランティアのグループ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が66.1%で最も高くなっています。

【図表2-5-2 地域での活動の頻度・ボランティアのグループ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計)	上週 4回 以上	回週 2 ～ 3	週 1 回	回月 1 ～ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	698	1.4	1.6	1.9	5.7	4.3	63.6	21.5
	前回調査	631	1.3	2.5	1.3	4.6	5.2	64.8	0.2
	前々回調査	639	1.4	2.3	2.3	5.8	5.3	56.8	26.0
性別	男性	313	1.0	1.6	1.6	4.2	3.5	68.7	19.5
	女性	384	1.8	1.6	2.1	7.0	4.9	59.4	23.2
年齢別	65～69歳	138	0.7	2.2	0.7	5.1	5.1	64.5	21.7
	70～74歳	164	1.2	1.8	3.7	6.1	3.7	64.6	18.9
	75～79歳	203	1.5	2.0	1.5	5.9	4.9	64.0	20.2
	80～84歳	130	2.3	0.8	2.3	6.2	3.1	59.2	26.2
	85歳以上	62	1.6	0.0	0.0	4.8	4.8	66.1	22.6
世帯 構成別	1人暮らし	123	2.4	0.0	1.6	4.9	6.5	61.8	22.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	1.6	2.0	2.3	5.5	4.9	62.5	21.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	0.0	0.0	13.8	0.0	75.9	10.3
	息子・娘との2世帯	95	0.0	3.2	1.1	5.3	4.2	62.1	24.2
	その他	127	1.6	1.6	1.6	5.5	2.4	66.9	20.5
居住 地区別	字大山崎	292	1.0	1.0	2.7	6.2	3.4	64.0	21.6
	字円明寺	343	1.7	2.0	0.9	5.2	5.5	62.7	21.9
	字下植野	62	1.6	1.6	3.2	6.5	1.6	66.1	19.4

ii スポーツ関係のグループやクラブ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字大山崎が58.2%で最も高くなっています。

【図表2-5-3 地域での活動の頻度・スポーツ関係のグループやクラブ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 ～ 3	週 1 回	回月 1 ～ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	698	4.6	7.3	7.2	4.9	1.4	55.7	18.9
	前回調査	631	4.1	6.5	6.8	5.1	1.9	59.0	0.2
	前々回調査	639	3.4	9.2	6.1	4.9	3.6	50.1	22.7
性別	男性	313	4.5	4.8	6.1	5.1	1.6	60.1	17.9
	女性	384	4.7	9.4	8.1	4.7	1.3	52.1	19.8
年齢別	65～69歳	138	4.3	4.3	8.0	5.8	0.0	59.4	18.1
	70～74歳	164	4.3	7.3	7.3	5.5	0.0	58.5	17.1
	75～79歳	203	5.4	9.4	8.4	5.4	3.9	49.8	17.7
	80～84歳	130	3.8	7.7	6.2	3.1	0.8	56.2	22.3
	85歳以上	62	4.8	6.5	3.2	3.2	1.6	58.1	22.6
世帯 構成別	1人暮らし	123	8.1	6.5	6.5	4.9	2.4	49.6	22.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	4.9	9.4	7.8	5.9	1.3	53.4	17.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	6.9	6.9	3.4	3.4	69.0	10.3
	息子・娘との2世帯	95	4.2	6.3	4.2	2.1	1.1	61.1	21.1
	その他	127	2.4	3.9	9.4	3.9	0.8	60.6	18.9
居住 地区別	字大山崎	292	3.4	8.2	7.5	2.4	1.0	58.2	19.2
	字円明寺	343	5.2	6.4	5.8	7.9	2.0	54.2	18.4
	字下植野	62	6.5	8.1	12.9	0.0	0.0	51.6	21.0

### iii 趣味関係のグループ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字大山崎が54.5%で最も高くなっています。

【図表2-5-4 地域での活動の頻度・趣味関係のグループ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 〜 3	週 1 回	回月 1 〜 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	698	1.6	3.6	5.6	13.9	4.0	52.6	18.8
	前回調査	631	2.2	5.1	6.5	12.5	4.8	54.2	0.1
	前々回調査	639	2.8	5.8	6.3	15.3	5.3	46.6	17.8
性別	男性	313	1.9	4.5	3.5	11.5	4.5	56.9	17.3
	女性	384	1.3	2.9	7.3	15.9	3.6	49.0	20.1
年齢別	65～69歳	138	1.4	2.9	5.1	12.3	4.3	55.8	18.1
	70～74歳	164	1.2	4.3	5.5	12.8	4.3	52.4	19.5
	75～79歳	203	2.5	3.4	6.4	18.2	4.4	48.3	16.7
	80～84歳	130	0.8	2.3	4.6	12.3	4.6	53.8	21.5
	85歳以上	62	1.6	6.5	6.5	9.7	0.0	56.5	19.4
世帯 構成別	1人暮らし	123	2.4	5.7	7.3	19.5	4.1	41.5	19.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	1.6	3.9	6.2	13.7	2.9	53.1	18.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	0.0	6.9	17.2	6.9	58.6	10.3
	息子・娘との2世帯	95	0.0	2.1	4.2	8.4	5.3	58.9	21.1
	その他	127	2.4	1.6	3.1	11.8	4.7	58.3	18.1
居住 地区別	字大山崎	292	2.1	2.7	4.5	13.4	4.1	54.5	18.8
	字円明寺	343	1.5	4.1	6.4	14.6	4.7	51.0	17.8
	字下植野	62	0.0	4.8	6.5	12.9	0.0	51.6	24.2

#### iv 学習・教養サークル

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が66.1%で最も高くなっています。

【図表2-5-5 地域での活動の頻度・学習・教養サークル(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 ~ 3	週 1 回	回月 1 ~ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	698	0.1	0.9	1.0	5.6	3.9	64.8	23.8
	前回調査	631	0.0	0.6	2.1	6.3	3.6	66.6	0.2
	前々回調査	639	1.1	1.7	2.2	6.6	5.2	57.9	25.4
性別	男性	313	0.3	1.0	1.0	3.8	3.2	69.3	21.4
	女性	384	0.0	0.8	1.0	7.0	4.4	60.9	25.8
年齢別	65～69歳	138	0.0	0.7	1.4	4.3	2.2	69.6	21.7
	70～74歳	164	0.0	0.0	1.8	7.9	1.8	67.1	21.3
	75～79歳	203	0.0	0.5	0.5	3.4	8.4	61.1	26.1
	80～84歳	130	0.0	0.8	0.8	6.9	2.3	63.1	26.2
	85歳以上	62	1.6	4.8	0.0	6.5	1.6	62.9	22.6
世帯 構成別	1人暮らし	123	0.8	0.8	0.0	8.1	7.3	60.2	22.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	0.0	1.0	1.6	4.6	3.3	64.8	24.8
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	3.4	0.0	0.0	10.3	69.0	17.2
	息子・娘との2世帯	95	0.0	0.0	2.1	7.4	3.2	64.2	23.2
	その他	127	0.0	0.8	0.0	5.5	0.8	70.1	22.8
居住 地区別	字大山崎	292	0.0	0.7	0.3	6.2	4.1	64.0	24.7
	字円明寺	343	0.3	1.2	1.7	4.7	3.8	65.0	23.3
	字下植野	62	0.0	0.0	0.0	8.1	3.2	66.1	22.6

v (カフェ・体操・サロンなどの)介護予防のための通いの場

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字円明寺が66.8%で最も高くなっています。

【図表2-5-6 地域での活動の頻度・介護予防のための通いの場(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 ~ 3	週 1 回	回月 1 ~ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	698	1.1	1.6	3.2	4.0	1.1	65.3	23.6
	前回調査	631	0.2	1.1	2.5	2.5	0.6	72.4	0.2
	前々回調査	639	1.6	2.3	3.1	3.1	1.4	63.5	24.9
性別	男性	313	0.6	0.3	1.9	3.8	1.0	70.6	21.7
	女性	384	1.6	2.6	4.2	4.2	1.3	60.9	25.3
年齢別	65~69歳	138	0.0	1.4	0.7	2.2	0.0	71.7	23.9
	70~74歳	164	1.2	0.6	4.3	7.9	1.2	67.1	17.7
	75~79歳	203	0.5	2.5	3.0	3.0	2.5	63.5	25.1
	80~84歳	130	2.3	1.5	5.4	3.1	0.8	58.5	28.5
	85歳以上	62	3.2	1.6	1.6	3.2	0.0	66.1	24.2
世帯 構成別	1人暮らし	123	2.4	2.4	3.3	5.7	0.8	61.8	23.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	0.3	1.3	2.9	4.6	1.0	65.5	24.4
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	0.0	0.0	3.4	3.4	75.9	13.8
	息子・娘との2世帯	95	1.1	4.2	3.2	3.2	2.1	65.3	21.1
	その他	127	0.8	0.0	4.7	2.4	0.8	66.1	25.2
居住 地区別	字大山崎	292	0.3	2.4	3.8	5.1	1.0	63.7	23.6
	字円明寺	343	1.5	0.9	2.6	3.2	1.5	66.8	23.6
	字下植野	62	3.2	1.6	3.2	3.2	0.0	64.5	24.2

## vi 地域のラジオ体操

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が75.8%で最も高くなっています。

【図表2-5-7 地域での活動の頻度・地域のラジオ体操(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 ~ 3	週 1 回	回月 1 ~ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	698	5.2	0.3	0.7	0.3	0.6	70.5	22.5
	前回調査	631	4.1	1.9	0.6	0.3	0.2	72.9	0.2
性別	男性	313	3.5	0.3	0.6	0.3	0.6	73.8	20.8
	女性	384	6.5	0.3	0.8	0.3	0.5	67.7	24.0
年齢別	65~69歳	138	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	73.2	23.2
	70~74歳	164	4.9	0.0	0.6	1.2	0.0	75.0	18.3
	75~79歳	203	4.9	0.0	1.0	0.0	1.5	69.0	23.6
	80~84歳	130	6.2	0.8	0.8	0.0	0.8	65.4	26.2
	85歳以上	62	8.1	1.6	1.6	0.0	0.0	67.7	21.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	3.3	0.8	0.8	0.0	0.8	71.5	22.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	6.2	0.0	0.3	0.0	0.3	69.7	23.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	82.8	13.8
	息子・娘との2世帯	95	5.3	0.0	3.2	1.1	1.1	68.4	21.1
	その他	127	5.5	0.8	0.0	0.0	0.8	70.1	22.8
居住 地区別	字大山崎	292	6.2	0.0	1.0	0.7	1.4	68.2	22.6
	字円明寺	343	5.2	0.6	0.3	0.0	0.0	71.4	22.4
	字下植野	62	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	75.8	22.6

vii 老人クラブ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字大山崎が74.0%で最も高くなっています。

【図表2-5-8 地域での活動の頻度・老人クラブ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4 回以 上	回週 2 〜 3	週 1 回	回月 1 〜 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	698	0.0	0.3	0.3	1.0	1.4	73.5	23.5
	前回調査	631	0.0	0.6	0.5	0.5	1.1	75.1	0.2
	前々回調査	639	0.5	0.5	0.2	1.7	4.1	67.0	26.1
性別	男性	313	0.0	0.6	0.0	0.6	1.6	76.4	20.8
	女性	384	0.0	0.0	0.5	1.3	1.3	71.1	25.8
年齢別	65～69歳	138	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	76.1	22.5
	70～74歳	164	0.0	0.6	0.0	0.6	1.2	76.2	21.3
	75～79歳	203	0.0	0.5	0.5	0.5	2.5	72.4	23.6
	80～84歳	130	0.0	0.0	0.8	2.3	0.8	70.0	26.2
	85歳以上	62	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	71.0	25.8
世帯 構成別	1人暮らし	123	0.0	0.0	0.0	0.8	3.3	71.5	24.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	0.0	0.7	0.3	1.6	1.0	73.0	23.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.2	13.8
	息子・娘との2世帯	95	0.0	0.0	0.0	1.1	2.1	72.6	24.2
	その他	127	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	74.8	23.6
居住 地区別	字大山崎	292	0.0	0.0	0.7	1.4	0.7	74.0	23.3
	字円明寺	343	0.0	0.6	0.0	0.9	1.2	73.2	24.2
	字下植野	62	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	72.6	21.0

viii 町内会・自治会

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が58.1%で最も高くなっています。

【図表2-5-9 地域での活動の頻度・町内会・自治会(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 〜 3	週 1 回	回月 1 〜 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	698	0.1	0.3	0.4	2.9	20.8	53.3	22.2
	前回調査	631	0.0	0.2	0.5	2.4	21.9	53.7	0.2
	前々回調査	639	0.3	0.0	0.5	2.7	23.9	47.6	25.0
性別	男性	313	0.3	0.0	0.3	2.9	20.1	57.2	19.2
	女性	384	0.0	0.5	0.5	2.9	21.4	50.0	24.7
年齢別	65～69歳	138	0.0	0.0	0.0	3.6	21.0	51.4	23.9
	70～74歳	164	0.6	0.6	0.6	3.7	22.6	54.9	17.1
	75～79歳	203	0.0	0.5	0.5	1.5	23.6	51.2	22.7
	80～84歳	130	0.0	0.0	0.0	3.1	17.7	52.3	26.9
	85歳以上	62	0.0	0.0	1.6	3.2	12.9	61.3	21.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	0.0	0.8	0.0	4.1	19.5	51.2	24.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	0.3	0.0	0.7	2.6	20.8	53.1	22.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	0.0	0.0	0.0	27.6	58.6	13.8
	息子・娘との2世帯	95	0.0	0.0	1.1	1.1	26.3	50.5	21.1
	その他	127	0.0	0.8	0.0	3.9	14.2	58.3	22.8
居住 地区別	字大山崎	292	0.3	0.7	0.3	1.7	20.9	54.1	21.9
	字円明寺	343	0.0	0.0	0.6	4.1	21.3	51.6	22.4
	字下植野	62	0.0	0.0	0.0	1.6	17.7	58.1	22.6

ix 収入のある仕事

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字円明寺が56.9%で最も高くなっています。

【図表2-5-10 地域での活動の頻度・収入のある仕事(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 〜 3	週 1 回	回月 1 〜 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	698	11.6	7.0	1.4	2.1	2.7	55.6	19.5
	前回調査	631	10.0	7.3	2.4	4.1	2.2	56.3	0.2
	前々回調査	639	10.2	4.5	1.9	2.7	1.7	55.1	23.9
性別	男性	313	13.4	7.3	1.0	1.9	2.6	55.9	17.9
	女性	384	10.2	6.8	1.8	2.3	2.9	55.2	20.8
年齢別	65～69歳	138	15.2	5.8	0.7	1.4	6.5	50.7	19.6
	70～74歳	164	11.6	9.8	1.2	2.4	0.0	57.3	17.7
	75～79歳	203	12.8	8.4	0.0	3.9	2.0	53.7	19.2
	80～84歳	130	10.8	3.1	5.4	0.8	4.6	56.2	19.2
	85歳以上	62	1.6	6.5	0.0	0.0	0.0	66.1	25.8
世帯 構成別	1人暮らし	123	14.6	3.3	0.8	2.4	2.4	54.5	22.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	9.1	8.5	2.0	1.6	2.9	56.4	19.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	27.6	24.1	0.0	3.4	3.4	34.5	6.9
	息子・娘との2世帯	95	6.3	4.2	1.1	4.2	5.3	58.9	20.0
	その他	127	12.6	6.3	0.8	1.6	0.8	59.1	18.9
居住 地区別	字大山崎	292	12.0	5.1	1.0	3.1	3.8	54.5	20.5
	字円明寺	343	9.9	8.7	2.0	1.7	1.7	56.9	19.0
	字下植野	62	19.4	6.5	0.0	0.0	3.2	53.2	17.7

【図表2-5-11 いずれかの活動に参加している人の割合】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

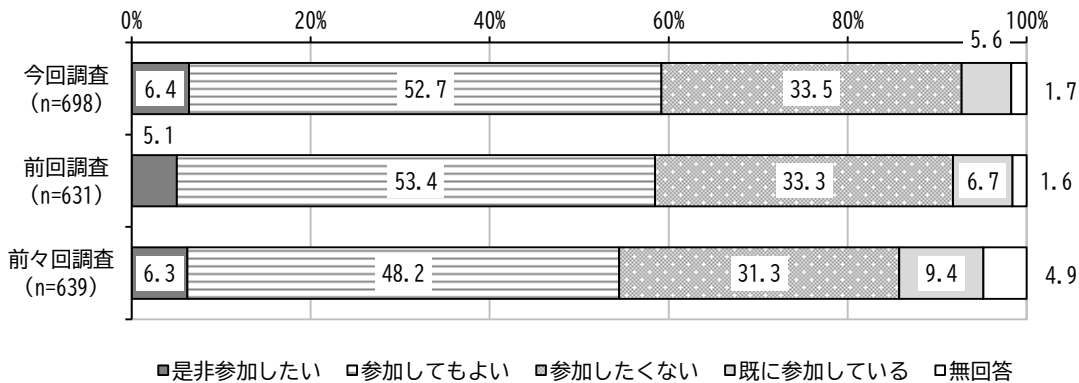
		合計 (人)	回 し て い ず れ か に 参 加 し て い る 人 ( 週 1 回 以上)	回 1 し い ず れ か に 参 加 し て い る 人 ( 週 1 回 未満)	全 て に 不 参 加	無 回 答
全体		698	49.7	21.5	24.4	4.4
性別	男性	313	47.0	21.4	27.2	4.5
	女性	384	52.1	21.6	21.9	4.4
年齢別	65～69歳	138	48.6	25.4	21.0	5.1
	70～74歳	164	51.2	20.7	24.4	3.7
	75～79歳	203	51.7	25.1	20.2	3.0
	80～84歳	130	49.2	16.2	26.9	7.7
	85歳以上	62	43.5	14.5	38.7	3.2
世帯 構成別	1人暮らし	123	50.4	26.0	18.7	4.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	54.7	19.9	22.8	2.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	62.1	27.6	10.3	0.0
	息子・娘との2世帯	95	38.9	26.3	26.3	8.4
	その他	127	42.5	15.7	36.2	5.5
居住 地区別	字大山崎	292	46.9	19.9	27.1	6.2
	字円明寺	343	51.0	23.9	22.4	2.6
	字下植野	62	56.5	16.1	21.0	6.5

(2) 地域での活動に参加者として参加したいか

問 49 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

地域での活動に参加者として参加したいかについて、「参加してもよい」が 52.7%で最も高く、次いで「参加したくない」が 33.5%、「是非参加したい」が 6.4%となっています。また、前回調査と比較して「是非参加したい」が 1.3 ポイント増加しています。

【図表2-5-12 地域での活動に参加者として参加したいか】



性別にみると、男性・女性ともに「参加してもよい」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「是非参加したい」では、70～74歳が9.1%で最も高く、「参加してもよい」では、75～79歳が55.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「是非参加したい」では、字大山崎が7.5%で最も高く、「参加してもよい」では、字円明寺が56.3%で最も高くなっています。

【図表2-5-13 地域での活動に参加者として参加したいか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

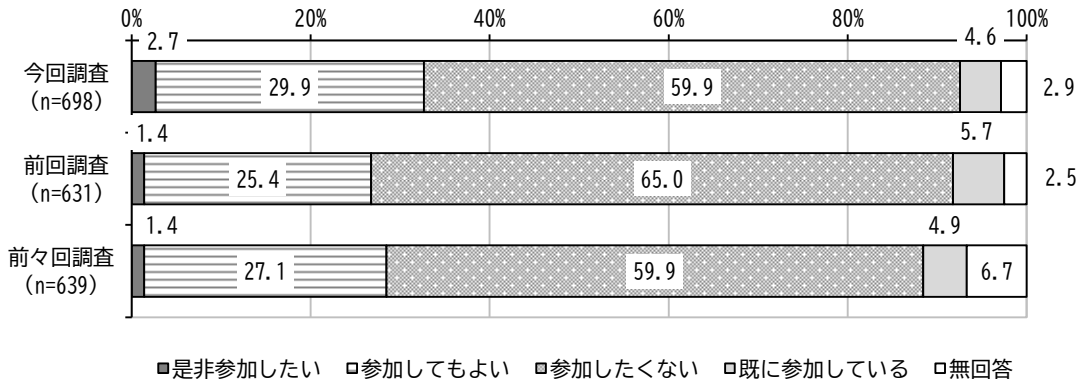
		合計(人)	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
性別	男性	313	4.8	54.3	35.1	3.8	1.9
	女性	384	7.8	51.6	32.0	7.0	1.6
年齢別	65～69歳	138	4.3	48.6	39.1	5.1	2.9
	70～74歳	164	9.1	52.4	32.3	4.3	1.8
	75～79歳	203	6.4	55.7	32.0	4.9	1.0
	80～84歳	130	6.2	53.8	28.5	9.2	2.3
	85歳以上	62	4.8	51.6	38.7	4.8	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	8.1	54.5	25.2	8.9	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	5.5	56.0	32.2	5.5	0.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	13.8	55.2	31.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	6.3	47.4	38.9	5.3	2.1
	その他	127	4.7	49.6	40.2	3.1	2.4
居住地区別	字大山崎	292	7.5	51.0	33.2	7.5	0.7
	字円明寺	343	6.1	56.3	32.1	3.2	2.3
	字下植野	62	3.2	41.9	41.9	9.7	3.2

### (3) 地域での活動に企画・運営として参加したいか

問 50	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)</u> として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)
------	---

地域での活動に企画・運営として参加したいかについて、「参加したくない」が 59.9%で最も高く、次いで「参加してもよい」が 29.9%、「既に参加している」が 4.6%となっています。また、前回調査と比較して「参加したくない」が5.1ポイント減少しています。

【図表2-5-14 地域での活動に企画・運営として参加したいか】



性別にみると、男性・女性ともに「参加したくない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「是非参加したい」では、70～74歳が3.7%で最も高く、「参加してもよい」では、75～79歳が34.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「是非参加したい」では、字円明寺が3.5%で最も高く、「参加してもよい」でも、字円明寺が30.6%で最も高くなっています。

【図表2-5-15 地域での活動に企画・運営として参加したいか(クロス集計)】

		合計(人)	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
性別	男性	313	3.2	29.7	60.7	3.5	2.9
	女性	384	2.3	30.2	59.1	5.5	2.9
年齢別	65～69歳	138	3.6	27.5	61.6	3.6	3.6
	70～74歳	164	3.7	31.1	58.5	4.9	1.8
	75～79歳	203	1.5	34.0	57.1	4.4	3.0
	80～84歳	130	2.3	23.8	63.1	6.2	4.6
	85歳以上	62	3.2	32.3	61.3	3.2	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	0.8	34.1	53.7	6.5	4.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	2.6	32.2	59.3	4.6	1.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	10.3	37.9	51.7	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	3.2	24.2	66.3	2.1	4.2
	その他	127	2.4	22.8	65.4	4.7	4.7
居住地区別	字大山崎	292	2.1	30.1	60.6	5.1	2.1
	字円明寺	343	3.5	30.6	58.9	3.5	3.5
	字下植野	62	1.6	25.8	61.3	8.1	3.2

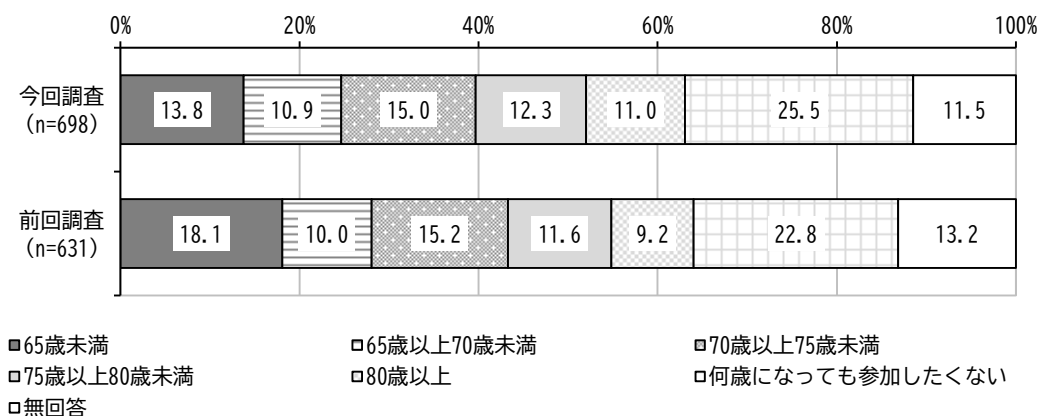
※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

#### (4) 地域での活動に参加したい(参加した)年齢

問 51	問 48～問 50 でお聞きした、地域での健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加について、あなたは、何歳くらいからそういった活動に参加したいと思いますか。既に参加しておられる方は、何歳くらいからそういった活動に参加されましたか。(〇は1つ)
------	---

地域での活動に参加したい(参加した)年齢について、「何歳になっても参加したくない」が 25.5%で最も高く、次いで「70 歳以上 75 歳未満」が 15.0%、「65 歳未満」が 13.8%となっています。また、前回調査と比較して「何歳になっても参加したくない」が 2.7 ポイント増加しています。

【図表2-5-16 地域での活動に参加したい(参加した)年齢】



性別にみると、「何歳になっても参加したくない」について、男性では 27.8%、女性では 23.4%となっており、男性のほうが4.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「何歳になっても参加したくない」では、70～74歳が26.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「何歳になっても参加したくない」では、字下植野が37.1%で最も高くなっています。

【図表2-5-17 地域での活動に参加したい(参加した)年齢(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上	加何歳になっても 参加したくない	無回答
性別	男性	313	11.5	9.6	15.0	10.9	13.1	27.8	12.1
	女性	384	15.6	12.0	15.1	13.5	9.4	23.4	10.9
年齢別	65～69歳	138	9.4	11.6	16.7	14.5	13.0	26.1	8.7
	70～74歳	164	13.4	11.0	20.7	11.6	3.0	26.8	13.4
	75～79歳	203	15.8	10.3	12.3	14.8	12.8	25.6	8.4
	80～84歳	130	13.1	12.3	11.5	8.5	16.9	23.1	14.6
	85歳以上	62	19.4	8.1	12.9	9.7	9.7	24.2	16.1
世帯 構成別	1人暮らし	123	19.5	10.6	17.9	7.3	11.4	19.5	13.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	12.4	11.4	14.7	14.7	14.0	23.1	9.8
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	10.3	13.8	34.5	10.3	0.0	20.7	10.3
	息子・娘との2世帯	95	10.5	8.4	13.7	12.6	9.5	30.5	14.7
	その他	127	13.4	11.0	9.4	12.6	7.9	33.9	11.8
居住 地区別	字大山崎	292	12.7	14.7	11.6	13.0	10.3	25.0	12.7
	字円明寺	343	14.3	7.3	18.7	11.7	13.1	23.6	11.4
	字下植野	62	16.1	12.9	11.3	12.9	3.2	37.1	6.5

## 6. 就労について

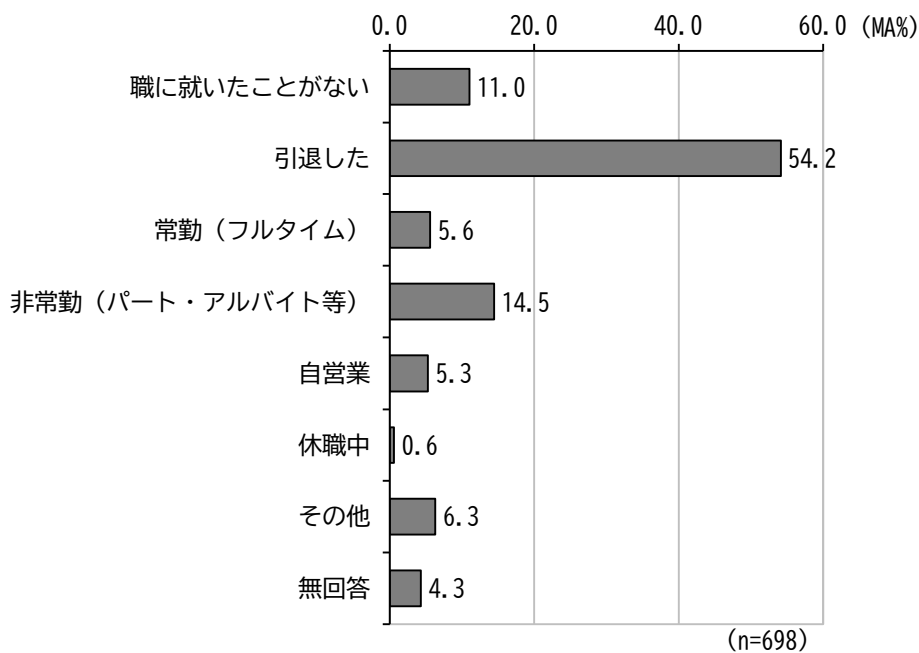
### (1) 就労状態

問 52 現在あなたの就労状態はどれですか。(〇はいくつでも)

就労状態について、「引退した」が 54.2%で最も高く、次いで「非常勤(パート・アルバイト等)」が 14.5%、「職に就いたことがない」が 11.0%となっています。

また、その他の内容について、『専業主婦』(9件)、『シルバー』(7件)、『農業』(7件)などがあります。

【図表2-6-1 就労状態】



性別にみると、男性・女性ともに「引退した」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「引退した」では、85歳以上が56.5%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「引退した」では、字大山崎が56.2%で最も高くなっています。

【図表2-6-2 就労状態(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	職に就いたことがない	引退した	常勤(フルタイム)	非常勤(パート・アルバイト等)	自営業	休職中	その他	無回答
性別	男性	313	8.9	54.0	6.7	15.3	8.0	0.3	4.8	4.2
	女性	384	12.8	54.2	4.7	13.8	3.1	0.8	7.6	4.4
年齢別	65～69歳	138	9.4	52.9	10.1	14.5	5.1	0.0	5.1	3.6
	70～74歳	164	9.8	53.0	5.5	18.3	3.7	0.0	6.1	4.9
	75～79歳	203	8.4	56.2	4.4	15.3	6.4	1.0	7.4	3.9
	80～84歳	130	13.8	52.3	4.6	10.0	7.7	1.5	6.2	5.4
	85歳以上	62	21.0	56.5	1.6	11.3	1.6	0.0	6.5	3.2
世帯構成別	1人暮らし	123	16.3	50.4	4.9	11.4	5.7	0.0	7.3	6.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	10.4	55.0	4.9	15.3	5.9	1.0	5.5	3.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	34.5	24.1	34.5	3.4	0.0	3.4	3.4
	息子・娘との2世帯	95	13.7	58.9	2.1	10.5	5.3	0.0	4.2	6.3
	その他	127	8.7	58.3	4.7	14.2	3.9	0.8	8.7	2.4
居住地区別	字大山崎	292	11.0	56.2	5.5	12.0	5.1	0.3	7.2	4.5
	字円明寺	343	11.4	53.9	6.1	15.7	4.4	0.3	5.5	4.1
	字下植野	62	9.7	45.2	3.2	19.4	11.3	3.2	6.5	4.8

## (2) 引退した年齢

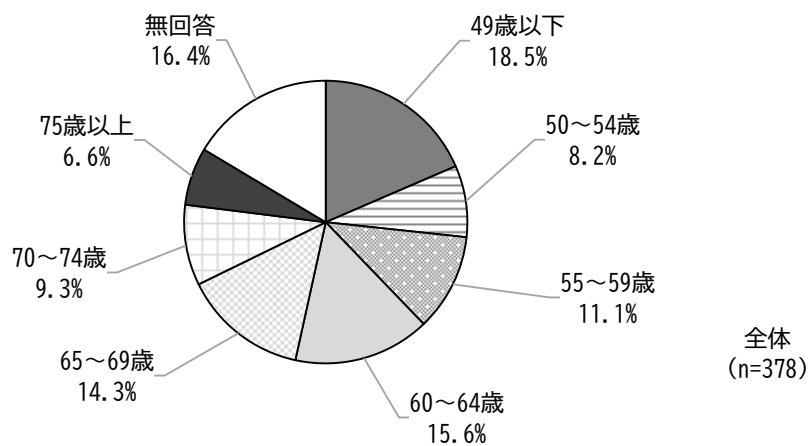
問 52-1

【問 52 で「引退した」を回答された方のみ】

あなたはいつ引退しましたか。(○は1つ、数字を記入)

引退した年齢について、「49歳以下」が18.5%で最も高く、次いで「60～64歳」が15.6%、「65～69歳」が14.3%となっています。

【図表2-6-3 引退した年齢】



性別にみると、男性では、「60～64 歳」が 21.3%で最も高く、女性では、「49 歳以下」が 22.6%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「60～64 歳」では、字下植野が 28.6%で最も高く、「65～69 歳」では、字大山崎が 18.3%で最も高くなっています。

【図表2-6-4 引退した年齢(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	49 歳 以下	50 ～ 54 歳	55 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 歳 以上	無 回 答
性別	男性	169	13.6	7.1	8.3	21.3	15.4	8.3	8.9	17.2
	女性	208	22.6	9.1	13.5	11.1	13.5	10.1	4.8	15.4
年齢別	65～69歳	73	35.6	11.0	9.6	26.0	11.0	0.0	0.0	6.8
	70～74歳	87	20.7	11.5	16.1	11.5	17.2	6.9	0.0	16.1
	75～79歳	114	10.5	9.6	12.3	14.9	14.9	16.7	3.5	17.5
	80～84歳	68	13.2	1.5	7.4	14.7	13.2	10.3	13.2	26.5
	85歳以上	35	14.3	2.9	5.7	8.6	14.3	8.6	34.3	11.4
世帯 構成別	1人暮らし	62	24.2	9.7	11.3	17.7	12.9	3.2	3.2	17.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	169	15.4	8.9	14.2	18.9	8.3	8.9	5.9	19.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	10	10.0	0.0	10.0	20.0	40.0	10.0	10.0	0.0
	息子・娘との2世帯	56	19.6	3.6	12.5	7.1	21.4	16.1	10.7	8.9
	その他	74	23.0	9.5	4.1	12.2	17.6	10.8	6.8	16.2
居住 地区別	字大山崎	164	19.5	6.1	7.9	11.0	18.3	12.2	7.3	17.7
	字円明寺	185	17.8	10.8	12.4	17.8	12.4	5.9	7.0	15.7
	字下植野	28	17.9	3.6	21.4	28.6	3.6	14.3	0.0	10.7

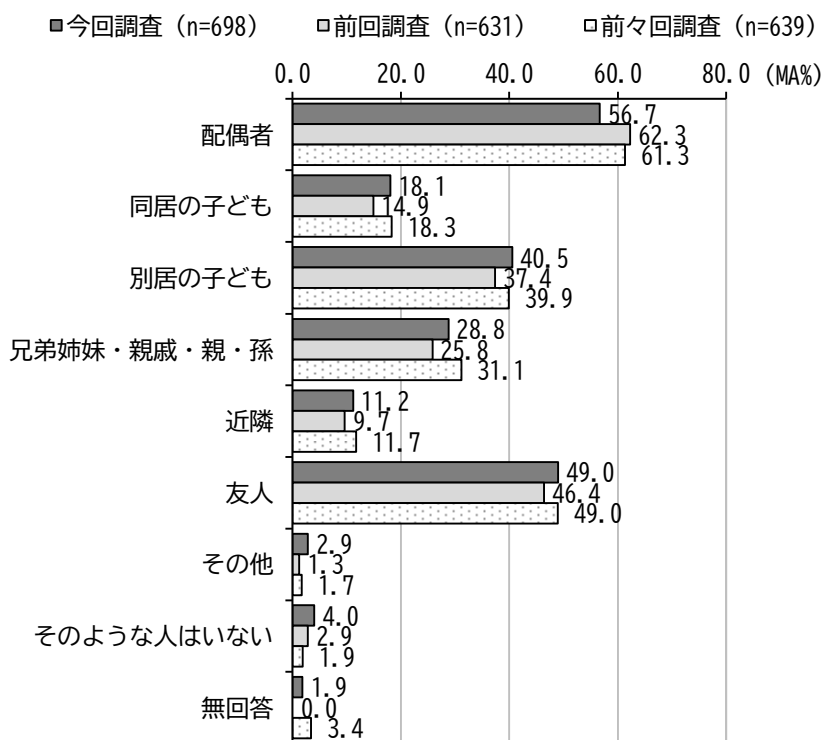
## 7. たすけあいについて

### (1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問 53 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(○はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が56.7%で最も高く、次いで「友人」が49.0%、「別居の子ども」が40.5%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が5.6ポイント減少しています。

【図表2-7-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人】



性別にみると、男性では、「配偶者」が 61.3%で最も高く、女性では、「友人」が 54.2%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「そのような人はいない」では、65～69 歳が 6.5%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「そのような人はいない」では、字大山崎が 4.8%で最も高くなっています。

【図表2-7-2 心配事や愚痴を聞いてくれる人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

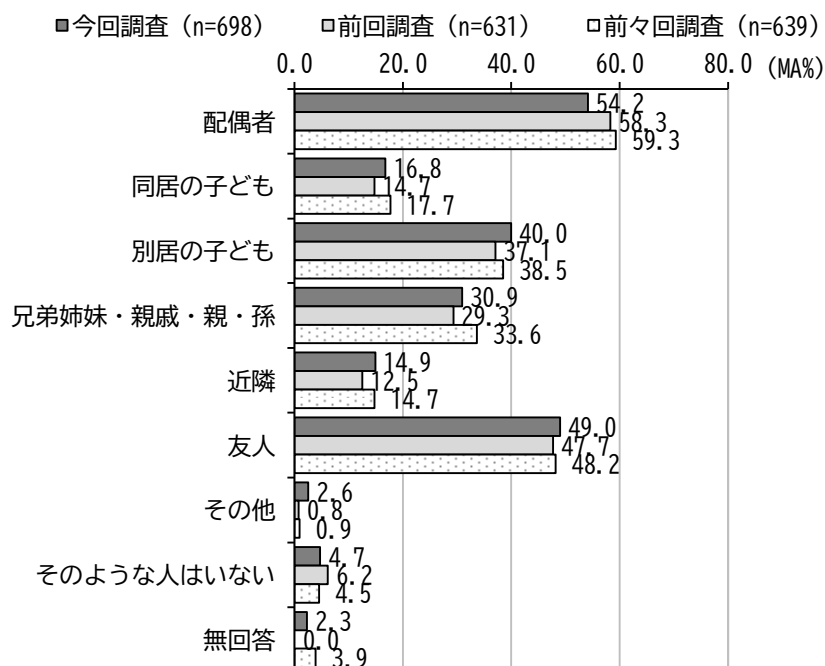
		合計(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	313	61.3	13.4	33.2	24.9	8.9	42.8	3.2	3.2	3.2
	女性	384	52.9	21.9	46.6	32.0	13.0	54.2	2.6	4.7	0.8
年齢別	65～69歳	138	61.6	19.6	33.3	32.6	12.3	49.3	3.6	6.5	1.4
	70～74歳	164	58.5	18.3	38.4	31.1	7.9	47.0	2.4	2.4	1.8
	75～79歳	203	56.7	16.7	43.3	23.2	11.3	50.7	2.5	5.4	2.5
	80～84歳	130	54.6	18.5	43.1	28.5	10.8	46.2	2.3	2.3	1.5
	85歳以上	62	45.2	17.7	48.4	33.9	17.7	54.8	4.8	1.6	1.6
世帯構成別	1人暮らし	123	0.0	0.0	48.0	42.3	20.3	64.2	4.1	9.8	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	83.7	1.6	48.2	27.0	7.5	48.2	1.3	2.0	1.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	82.8	3.4	20.7	6.9	13.8	27.6	3.4	3.4	3.4
	息子・娘との2世帯	95	48.4	58.9	27.4	24.2	10.5	44.2	2.1	2.1	3.2
	その他	127	47.2	44.1	29.1	30.7	10.2	44.9	6.3	4.7	2.4
居住地区別	字大山崎	292	54.1	18.5	36.3	29.1	13.4	46.6	3.1	4.8	1.7
	字円明寺	343	58.6	16.9	44.3	29.2	11.4	50.1	3.2	3.5	2.0
	字下植野	62	58.1	22.6	40.3	25.8	0.0	54.8	0.0	3.2	1.6

## (2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問 54 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(〇はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 54.2%で最も高く、次いで「友人」が 49.0%、「別居の子ども」が 40.0%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が 4.1 ポイント減少しています。

【図表2-7-3 心配事や愚痴を聞いてあげる人】



性別にみると、男性では、「配偶者」が 58.1%で最も高く、女性では、「友人」が 53.6%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「そのような人はいない」では、80～84 歳が 6.2%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「そのような人はいない」では、字下植野が 8.1%で最も高くなっています。

【図表2-7-4 心配事や愚痴を聞いてあげる人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	313	58.1	16.0	38.0	28.4	12.1	43.5	2.9	5.1	2.9
	女性	384	50.8	17.4	41.7	33.1	17.2	53.6	2.3	4.4	1.8
年齢別	65～69歳	138	60.1	18.1	37.0	34.8	15.2	49.3	5.8	4.3	1.4
	70～74歳	164	57.3	17.1	39.0	32.3	13.4	51.8	1.2	5.5	1.2
	75～79歳	203	55.7	14.8	42.9	27.6	14.3	49.8	3.0	3.4	3.0
	80～84歳	130	47.7	17.7	40.8	26.9	14.6	44.6	0.8	6.2	2.3
	85歳以上	62	40.3	17.7	38.7	38.7	21.0	48.4	1.6	4.8	4.8
世帯構成別	1人暮らし	123	0.8	0.0	43.1	38.2	21.1	63.4	3.3	10.6	4.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	77.9	0.7	48.2	29.6	12.1	50.2	1.3	2.6	1.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	89.7	3.4	17.2	13.8	13.8	20.7	6.9	3.4	0.0
	息子・娘との2世帯	95	43.2	53.7	30.5	29.5	15.8	48.4	2.1	3.2	4.2
	その他	127	49.6	44.1	30.7	32.3	15.0	39.4	4.7	6.3	1.6
居住地区別	字大山崎	292	50.3	17.8	37.7	31.8	16.8	44.9	2.7	4.5	3.1
	字円明寺	343	57.4	15.7	43.1	31.2	14.9	51.0	2.9	4.4	2.0
	字下植野	62	53.2	17.7	33.9	25.8	6.5	58.1	0.0	8.1	0.0

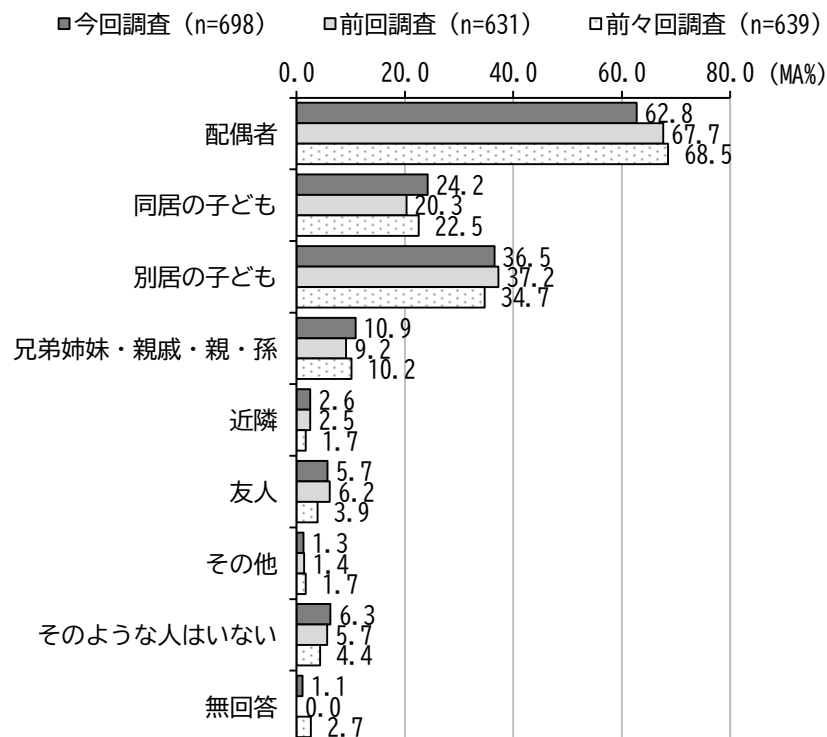
### (3) 病気の時に看病や世話をしてくれる人

問 55

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。  
(○はいくつでも)

病気の時に看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 62.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 36.5%、「同居の子ども」が 24.2%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が 4.9 ポイント減少しています。

【図表2-7-5 病気の時に看病や世話をしてくれる人】



性別にみると、男性・女性ともに「配偶者」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「そのような人はいない」では、85歳以上が8.1%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「そのような人はいない」では、字下植野が9.7%で最も高くなっています。

【図表2-7-6 病気の時に看病や世話をしてくれる人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

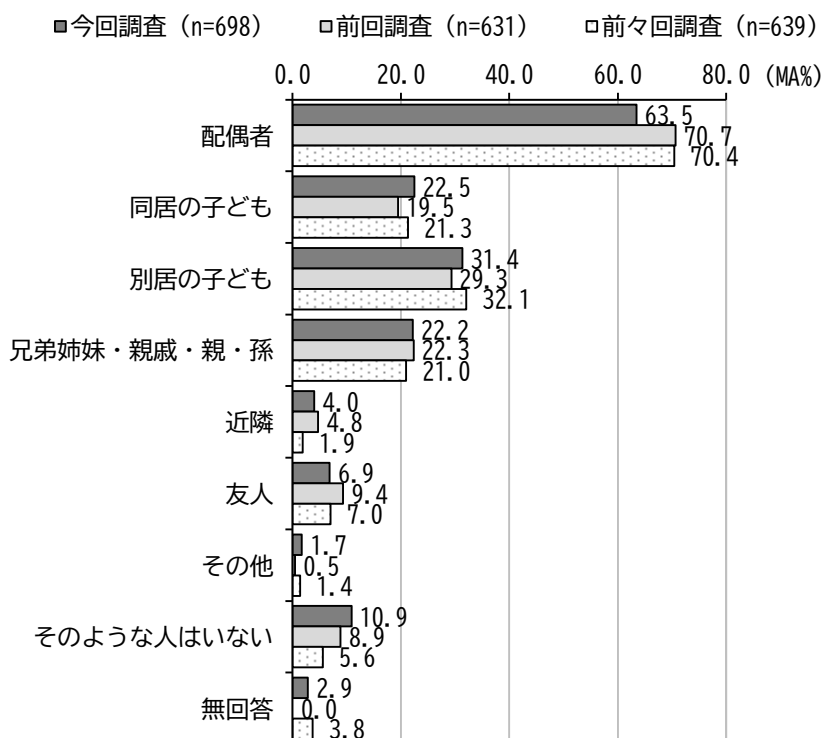
		合計(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	313	69.6	21.7	35.5	10.9	1.9	5.8	1.0	6.1	1.3
	女性	384	57.0	26.3	37.5	10.9	3.1	5.7	1.6	6.5	1.0
年齢別	65～69歳	138	68.8	28.3	29.7	13.0	4.3	8.0	0.7	8.0	0.7
	70～74歳	164	64.0	24.4	34.8	15.9	0.6	5.5	1.2	4.9	0.6
	75～79歳	203	64.0	22.2	37.4	6.9	2.0	5.4	1.0	6.4	1.0
	80～84歳	130	58.5	23.1	37.7	9.2	3.1	4.6	2.3	5.4	3.1
	85歳以上	62	50.0	24.2	51.6	9.7	4.8	4.8	1.6	8.1	0.0
世帯構成別	1人暮らし	123	2.4	0.0	55.3	17.9	6.5	15.4	4.9	22.8	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	91.2	0.7	40.4	7.8	2.3	4.9	0.3	2.0	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	96.6	3.4	13.8	0.0	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0
	息子・娘との2世帯	95	53.7	80.0	26.3	12.6	1.1	1.1	0.0	3.2	1.1
	その他	127	53.5	63.0	23.6	13.4	1.6	3.1	1.6	3.9	0.8
居住地区別	字大山崎	292	60.6	26.0	35.3	14.4	2.4	4.1	1.0	6.5	1.0
	字円明寺	343	65.0	21.3	38.5	8.5	2.9	7.9	1.5	5.5	1.2
	字下植野	62	59.7	32.3	32.3	8.1	1.6	1.6	1.6	9.7	1.6

#### (4) 看病や世話をしあける人

問 56 反対に、看病や世話をしあける人。(○はいくつでも)

看病や世話をしあける人について、「配偶者」が 63.5%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 31.4%、「同居の子ども」が 22.5%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が 7.2 ポイント減少しています。

【図表2-7-7 看病や世話をしあける人】



性別にみると、男性・女性ともに「配偶者」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「そのような人はいない」では、80～84歳が14.6%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「そのような人はいない」では、字下植野が17.7%で最も高くなっています。

【図表2-7-8 看病や世話をしあける人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	313	69.6	20.8	29.1	20.1	3.5	7.0	1.6	10.9	1.9
	女性	384	58.3	24.0	33.1	24.0	4.4	6.8	1.8	10.9	3.6
年齢別	65～69歳	138	69.6	26.8	33.3	26.1	6.5	6.5	1.4	10.1	0.7
	70～74歳	164	65.9	22.0	27.4	28.7	1.8	7.9	0.6	8.5	1.8
	75～79歳	203	65.5	20.2	35.5	16.3	3.0	5.9	2.5	10.8	3.4
	80～84歳	130	55.4	21.5	30.0	20.8	4.6	5.4	2.3	14.6	5.4
	85歳以上	62	53.2	24.2	25.8	19.4	6.5	11.3	1.6	11.3	3.2
世帯構成別	1人暮らし	123	1.6	0.0	40.7	21.1	11.4	14.6	3.3	30.9	7.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	91.9	1.0	37.5	20.8	2.6	6.2	1.0	4.2	2.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	86.2	3.4	13.8	6.9	0.0	6.9	0.0	10.3	0.0
	息子・娘との2世帯	95	54.7	71.6	23.2	24.2	3.2	3.2	0.0	8.4	3.2
	その他	127	57.5	63.0	19.7	27.6	1.6	3.9	3.9	9.4	0.8
居住地区別	字大山崎	292	61.0	25.0	26.7	24.3	3.4	5.8	1.4	12.3	3.1
	字円明寺	343	65.6	20.7	34.7	21.3	5.0	8.5	2.3	8.5	3.2
	字下植野	62	62.9	21.0	33.9	17.7	1.6	3.2	0.0	17.7	0.0

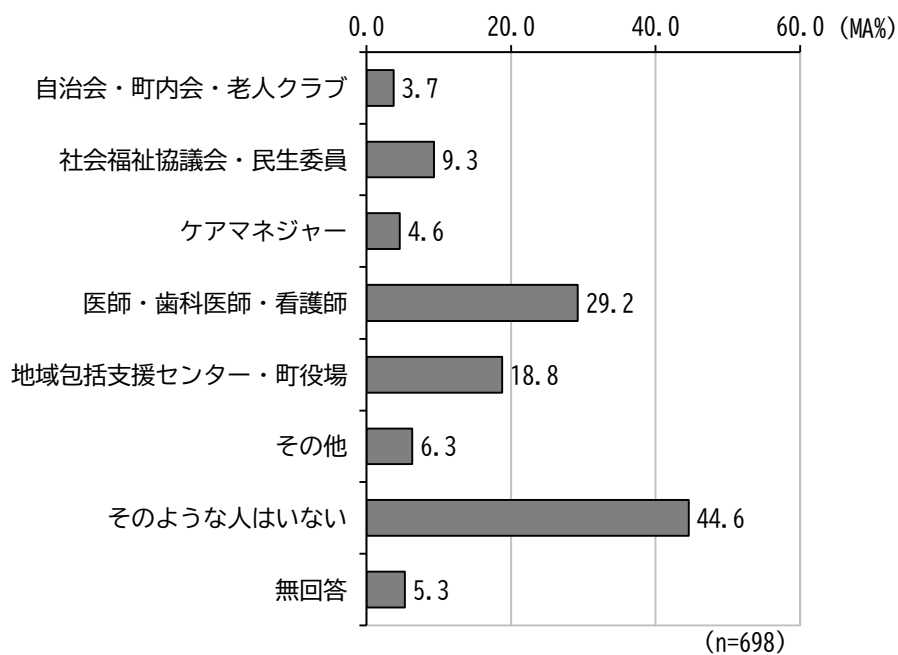
### (5) 家族や友人・知人以外の相談相手

問 57

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(〇はいくつでも)

家族や友人・知人以外の相談相手について、「そのような人はいない」が 44.6%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 29.2%、「地域包括支援センター・町役場」が 18.8%となっています。

【図表2-7-9 家族や友人・知人以外の相談相手】



性別にみると、男性・女性ともに「そのような人はいない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「そのような人はいない」では、65～69歳が52.2%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「そのような人はいない」では、字円明寺が45.8%で最も高くなっています。

【図表2-7-10 家族や友人・知人以外の相談相手(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

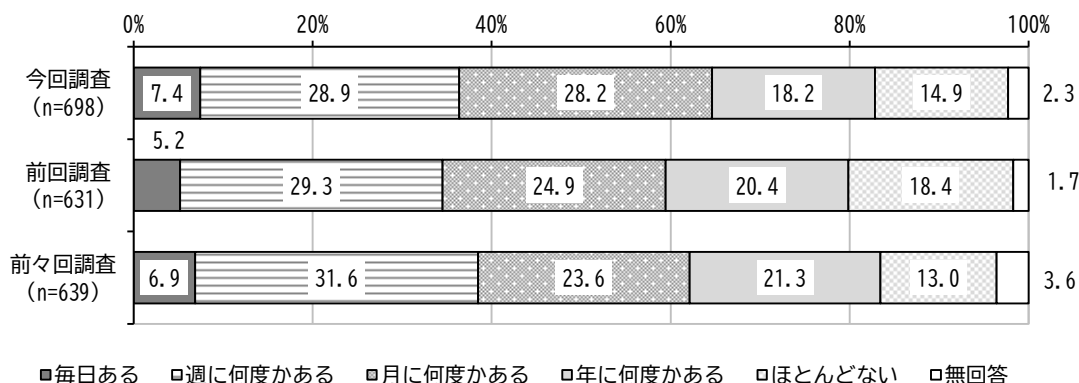
		合計(人)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・町役場	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	313	1.9	7.7	4.2	28.8	16.0	8.9	47.6	3.8
	女性	384	5.2	10.7	4.9	29.7	21.1	4.2	41.9	6.5
年齢別	65～69歳	138	3.6	5.8	2.2	30.4	13.0	8.7	52.2	3.6
	70～74歳	164	3.7	13.4	6.7	23.2	24.4	4.3	46.3	6.1
	75～79歳	203	4.9	9.9	4.4	32.5	21.2	6.4	40.9	3.0
	80～84歳	130	3.1	8.5	3.1	26.2	16.2	6.2	46.2	7.7
	85歳以上	62	1.6	6.5	8.1	38.7	14.5	6.5	30.6	9.7
世帯構成別	1人暮らし	123	3.3	12.2	3.3	28.5	20.3	8.1	40.7	8.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	2.0	8.8	3.6	27.4	19.2	6.5	47.2	4.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	3.4	0.0	20.7	13.8	0.0	65.5	0.0
	息子・娘との2世帯	95	5.3	8.4	4.2	32.6	13.7	7.4	42.1	6.3
	その他	127	6.3	11.0	7.9	29.9	22.8	3.9	42.5	3.9
居住地区別	字大山崎	292	3.8	11.3	5.5	30.8	18.8	6.5	42.8	5.1
	字円明寺	343	4.1	8.2	4.7	28.6	18.7	6.7	45.8	5.2
	字下植野	62	1.6	6.5	0.0	25.8	19.4	3.2	45.2	6.5

## (6) 友人・知人と会う頻度

問 58 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

友人・知人と会う頻度について、「週に何度かある」が 28.9%で最も高く、次いで「月に何度かある」が 28.2%、「年に何度かある」が 18.2%となっています。また、前回調査と比較して「ほとんどない」が 3.5 ポイント減少しています。

【図表2-7-11 友人・知人と会う頻度】



性別にみると、男性・女性ともに「週に何度かある」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「ほとんどない」では、85歳以上が 22.6%で最も高くなっています

居住地区別にみると、「ほとんどない」では、字大山崎が 15.4%で最も高くなっています。

【図表2-7-12 友人・知人と会う頻度(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

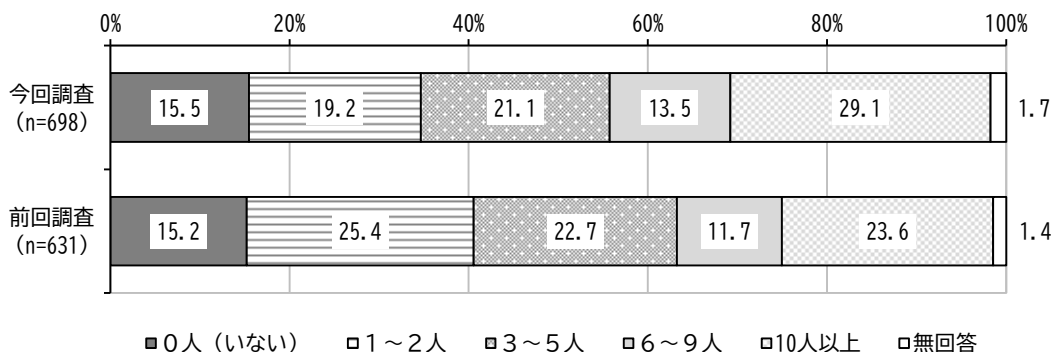
		合計 (人)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
性別	男性	313	8.0	26.2	25.9	21.4	16.9	1.6
	女性	384	7.0	31.3	30.2	15.6	13.3	2.6
年齢別	65～69歳	138	10.1	26.1	29.0	18.8	13.8	2.2
	70～74歳	164	6.1	25.6	36.0	18.3	12.8	1.2
	75～79歳	203	4.9	37.4	22.7	18.7	14.8	1.5
	80～84歳	130	9.2	26.2	26.2	18.5	15.4	4.6
	85歳以上	62	9.7	22.6	29.0	14.5	22.6	1.6
世帯構成別	1人暮らし	123	10.6	35.0	30.1	14.6	8.1	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	6.8	30.0	26.7	20.2	14.0	2.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	6.9	13.8	34.5	27.6	17.2	0.0
	息子・娘との2世帯	95	3.2	25.3	30.5	14.7	23.2	3.2
	その他	127	7.9	28.3	26.0	17.3	18.9	1.6
居住地区別	字大山崎	292	6.8	29.5	28.1	18.2	15.4	2.1
	字円明寺	343	9.0	28.3	27.1	18.4	14.6	2.6
	字下植野	62	1.6	30.6	35.5	17.7	14.5	0.0

(7) この1か月間で会った友人・知人の人数

問 59 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。  
 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

この1か月間で会った友人・知人の人数について、「10人以上」が29.1%で最も高く、次いで「3～5人」が21.1%、「1～2人」が19.2%となっています。また、前回調査と比較して「10人以上」が5.5ポイント増加しています。

【図表2-7-13 この1か月間で会った友人・知人の人数】



性別にみると、男性・女性ともに「10人以上」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「0人(いない)」では、85歳以上が19.4%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「0人(いない)」では、字大山崎と字下植野が16.1%で最も高くなっています。

【図表2-7-14 この1か月間で会った友人・知人の人数(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

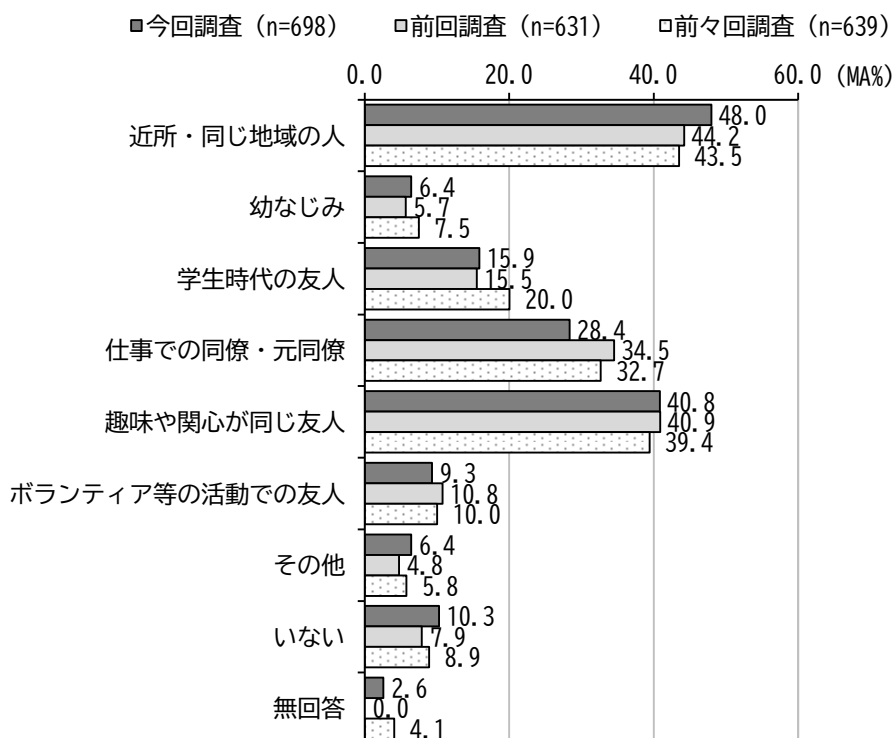
		合計(人)	0人(いない)	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
性別	男性	313	17.9	22.0	20.1	13.1	25.6	1.3
	女性	384	13.5	16.9	21.9	13.8	32.0	1.8
年齢別	65～69歳	138	13.8	19.6	17.4	12.3	36.2	0.7
	70～74歳	164	14.0	22.6	21.3	15.9	25.6	0.6
	75～79歳	203	16.7	16.7	21.2	12.8	30.5	2.0
	80～84歳	130	15.4	20.0	22.3	11.5	28.5	2.3
	85歳以上	62	19.4	16.1	25.8	16.1	19.4	3.2
世帯構成別	1人暮らし	123	6.5	14.6	29.3	15.4	31.7	2.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	15.0	17.9	20.5	13.7	31.3	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	24.1	27.6	10.3	6.9	31.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	22.1	16.8	22.1	11.6	25.3	2.1
	その他	127	20.5	24.4	16.5	12.6	25.2	0.8
居住地区別	字大山崎	292	16.1	19.5	21.9	14.0	26.7	1.7
	字円明寺	343	14.9	18.4	20.4	12.2	32.4	1.7
	字下植野	62	16.1	22.6	21.0	17.7	22.6	0.0

## (8) よく会う友人・知人

問 60 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

よく会う友人・知人について、「近所・同じ地域の人」が 48.0%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 40.8%、「仕事での同僚・元同僚」が 28.4%となっています。また、前回調査と比較して「近所・同じ地域の人」が 3.8 ポイント増加しています。

【図表2-7-15 よく会う友人・知人】



性別にみると、男性・女性ともに「近所・同じ地域の人」が最も高くなっています。  
 年齢別にみると、「いない」では、75～79歳が11.8%で最も高くなっています。  
 また、居住地区別にみると、「いない」では、字下植野が12.9%で最も高くなっています。

【図表2-7-16 よく会う友人・知人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

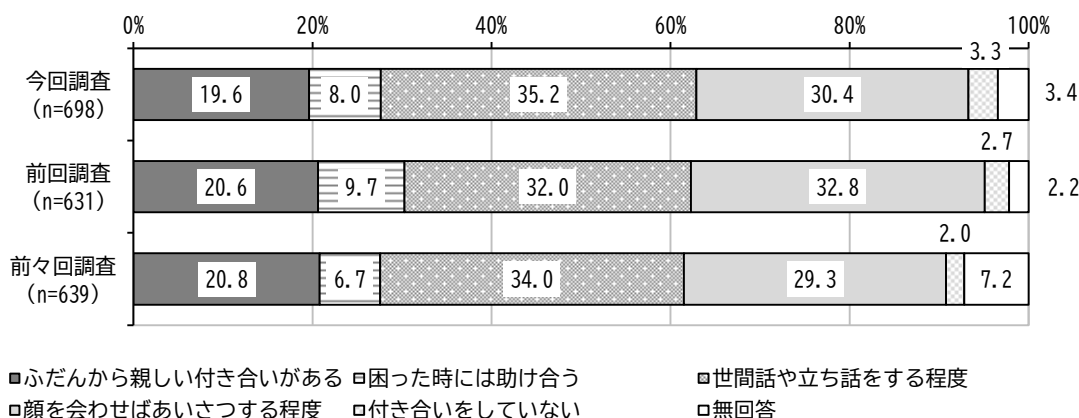
		合計(人)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
性別	男性	313	43.5	5.4	17.3	30.4	34.2	7.0	10.2	11.5	3.5
	女性	384	51.8	7.3	14.8	26.8	46.4	11.2	3.4	9.4	1.6
年齢別	65～69歳	138	43.5	8.7	17.4	31.2	39.9	8.0	5.8	8.0	1.4
	70～74歳	164	47.0	6.1	18.9	28.7	45.1	11.6	2.4	11.0	3.0
	75～79歳	203	46.3	5.9	12.8	31.0	41.9	7.9	6.9	11.8	2.0
	80～84歳	130	50.8	3.8	15.4	23.8	37.7	11.5	8.5	9.2	3.1
	85歳以上	62	61.3	9.7	16.1	22.6	35.5	6.5	12.9	11.3	3.2
世帯構成別	1人暮らし	123	59.3	6.5	13.8	24.4	48.0	5.7	7.3	6.5	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	44.6	6.8	15.6	29.3	41.0	10.7	5.5	8.8	2.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	37.9	6.9	17.2	41.4	24.1	6.9	6.9	10.3	0.0
	息子・娘との2世帯	95	47.4	6.3	18.9	25.3	38.9	8.4	5.3	18.9	1.1
	その他	127	48.0	5.5	17.3	27.6	37.8	10.2	7.9	12.6	3.9
居住地区別	字大山崎	292	50.7	7.5	14.4	26.0	38.4	9.2	4.8	10.6	2.7
	字円明寺	343	47.8	6.1	16.6	30.6	42.9	9.3	8.2	9.6	2.3
	字下植野	62	37.1	3.2	19.4	27.4	41.9	9.7	4.8	12.9	1.6

### (9) 隣近所の人との付き合いの状況

**問 61** 隣近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。(○は1つ)

隣近所の人との付き合いの状況について、「世間話や立ち話をする程度」が 35.2%で最も高く、次いで「顔を会わせばあいさつする程度」が 30.4%、「ふだんから親しい付き合いがある」が 19.6%となっています。また、前回調査と比較して「世間話や立ち話をする程度」が 3.2 ポイント増加しています。

【図表2-7-17 隣近所の人との付き合いの状況】



性別にみると、男性では、「顔を会わせばあいさつする程度」が 35.5%で最も高く、女性では、「世間話や立ち話をする程度」が 37.5%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「付き合いをしていない」では、65～69 歳が 5.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「付き合いをしていない」では、字円明寺が 3.8%で最も高くなっています。

【図表2-7-18 隣近所の人との付き合いの状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	ふだんから親しい付き合いがある	困った時には助け合う	世間話や立ち話をする程度	顔を会わせばあいさつする程度	付き合いをしていない	無回答
性別	男性	313	17.6	7.3	32.6	35.5	3.2	3.8
	女性	384	21.4	8.3	37.5	26.3	3.4	3.1
年齢別	65～69歳	138	17.4	8.0	34.8	31.9	5.1	2.9
	70～74歳	164	18.9	6.7	34.8	34.1	2.4	3.0
	75～79歳	203	18.7	8.9	39.4	26.6	3.4	3.0
	80～84歳	130	22.3	9.2	30.8	31.5	2.3	3.8
	85歳以上	62	24.2	4.8	33.9	27.4	3.2	6.5
世帯構成別	1人暮らし	123	19.5	12.2	40.7	22.8	3.3	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	18.2	6.2	36.8	31.6	4.6	2.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	13.8	6.9	13.8	65.5	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	95	22.1	8.4	32.6	29.5	3.2	4.2
	その他	127	22.8	7.9	33.1	28.3	0.8	7.1
居住地区別	字大山崎	292	21.9	7.2	32.9	31.8	2.7	3.4
	字円明寺	343	18.4	9.0	36.4	28.9	3.8	3.5
	字下植野	62	16.1	4.8	40.3	32.3	3.2	3.2

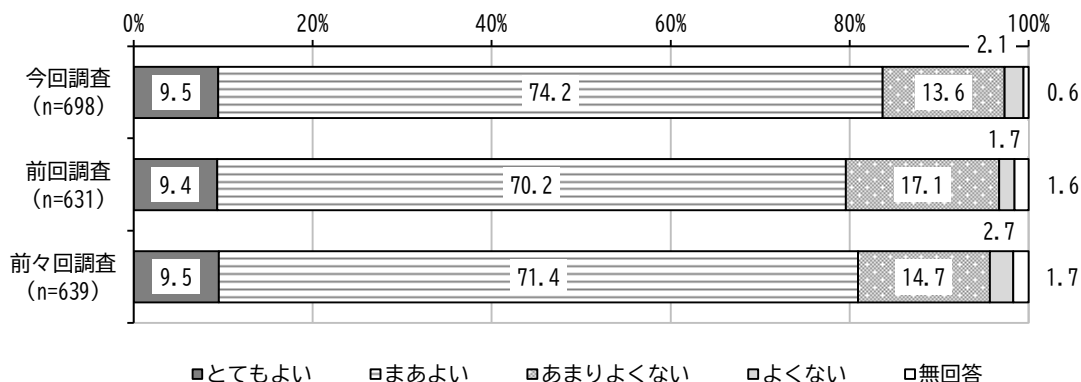
## 8. 健康について

### (1) 健康状態

問 62 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

健康状態について、「まあよい」が 74.2%で最も高く、次いで「あまりよくない」が 13.6%、「とてもよい」が 9.5%となっています。また、前回調査と比較して「まあよい」が 4.0 ポイント増加しています。

【図表2-8-1 健康状態】



性別にみると、男性・女性ともに「まあよい」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「とてもよい」では、65～69 歳が 10.1%で最も高く、「まあよい」では、85 歳以上が 77.4%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「とてもよい」では、字円明寺が 10.5%で最も高く、「まあよい」では、字大山崎が 76.0%で最も高くなっています。

【図表2-8-2 健康状態(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合 人 計)	い と も よ い	ま あ よ い	く あ ま り よ く な い	よ く な い	無 回 答
性別	男性	313	8.3	70.9	18.5	1.9	0.3
	女性	384	10.4	77.1	9.4	2.3	0.8
年齢別	65～69歳	138	10.1	68.8	18.1	2.2	0.7
	70～74歳	164	9.8	75.6	11.6	3.0	0.0
	75～79歳	203	9.9	76.4	10.8	2.0	1.0
	80～84歳	130	8.5	73.8	14.6	2.3	0.8
	85歳以上	62	8.1	77.4	14.5	0.0	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	123	8.1	74.8	15.4	0.8	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	9.4	75.6	11.4	2.9	0.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	10.3	72.4	10.3	6.9	0.0
	息子・娘との2世帯	95	5.3	77.9	14.7	1.1	1.1
その他	127	13.4	66.9	18.1	1.6	0.0	
居住 地区別	字大山崎	292	8.6	76.0	13.7	1.0	0.7
	字円明寺	343	10.5	73.5	12.5	2.9	0.6
	字下植野	62	8.1	71.0	17.7	3.2	0.0

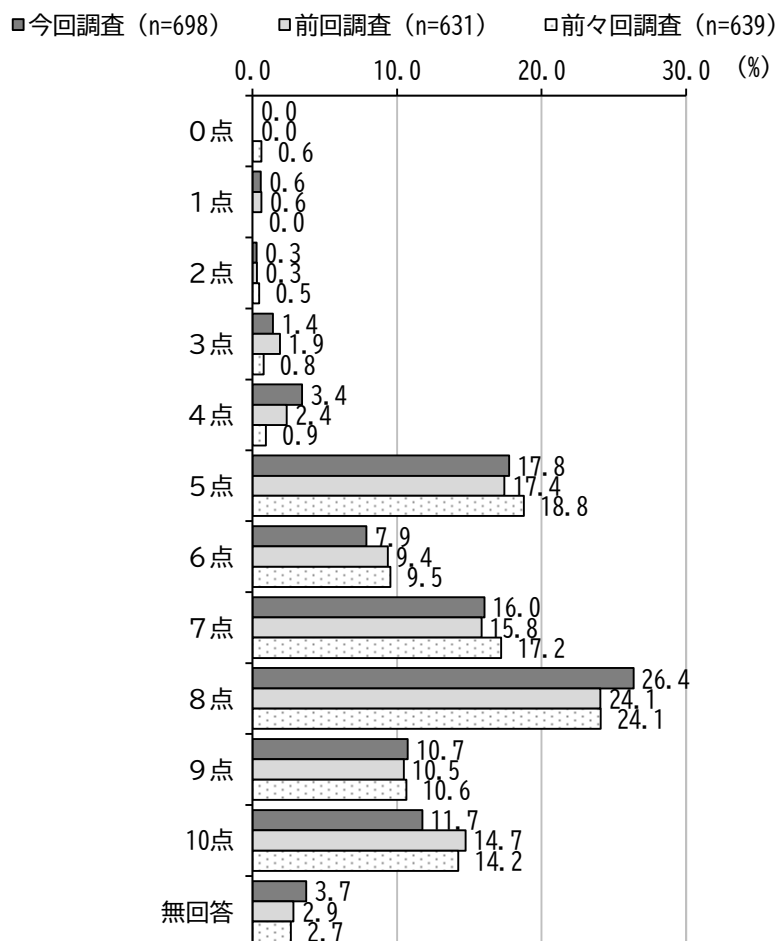
## (2) 幸福度

問 63

あなたは、現在どの程度幸せですか。  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)(○は1つ)

幸福度について、「8点」が26.4%で最も高く、次いで「5点」が17.8%、「7点」が16.0%となっています。また、前回調査と比較して「8点」が2.3ポイント増加し、「10点」が3.0ポイント減少しています。

【図表2-8-3 幸福度】



性別にみると、男性・女性ともに「8点」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「10点」では、85歳以上が16.1%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「10点」では、字円明寺が12.8%で最も高くなっています。

【図表2-8-4 幸福度(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

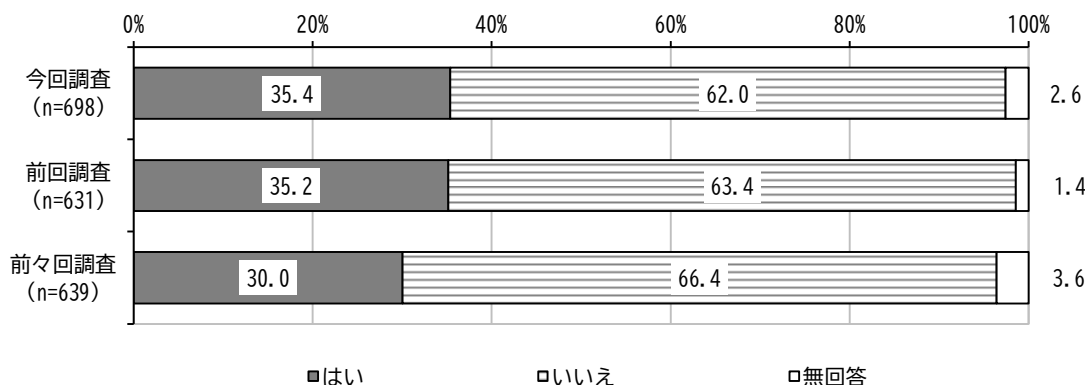
		(人)合計	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
性別	男性	313	0.0	0.6	0.3	1.9	4.5	17.3	8.0	17.6	24.3	8.9	13.7	2.9
	女性	384	0.0	0.5	0.3	1.0	2.6	18.2	7.8	14.8	28.1	12.2	10.2	4.2
年齢別	65～69歳	138	0.0	1.4	0.0	2.9	2.2	17.4	10.9	16.7	26.1	9.4	8.7	4.3
	70～74歳	164	0.0	0.6	0.6	1.2	4.3	18.9	7.9	18.3	22.6	10.4	11.6	3.7
	75～79歳	203	0.0	0.0	0.5	1.5	3.0	17.2	7.9	12.8	29.1	12.3	12.3	3.4
	80～84歳	130	0.0	0.0	0.0	0.8	2.3	20.8	5.4	16.2	29.2	10.0	12.3	3.1
	85歳以上	62	0.0	1.6	0.0	0.0	8.1	11.3	6.5	19.4	22.6	11.3	16.1	3.2
世帯構成別	1人暮らし	123	0.0	0.0	0.8	1.6	8.9	16.3	8.1	15.4	30.1	6.5	6.5	5.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	0.0	0.3	0.0	0.3	2.0	18.6	7.5	16.0	26.1	13.7	12.7	2.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	3.4	0.0	0.0	6.9	6.9	10.3	27.6	34.5	3.4	3.4	3.4
	息子・娘との2世帯	95	0.0	2.1	1.1	1.1	1.1	16.8	4.2	14.7	29.5	8.4	16.8	4.2
	その他	127	0.0	0.0	0.0	4.7	3.1	22.0	10.2	13.4	19.7	11.8	11.8	3.1
居住地区別	字大山崎	292	0.0	1.0	0.0	0.7	3.8	18.8	10.3	16.1	23.3	10.6	12.0	3.4
	字円明寺	343	0.0	0.0	0.6	1.7	3.2	16.0	6.1	16.3	28.6	11.1	12.8	3.5
	字下植野	62	0.0	1.6	0.0	3.2	3.2	22.6	6.5	14.5	29.0	9.7	4.8	4.8

### (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか

問 64	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)
------	--

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたかについて、「はい」が 35.4%、「いいえ」が 62.0%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 0.2 ポイント増加しています。

【図表2-8-5 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか】



性別にみると、「はい」について、男性では 35.5%、女性では 35.2%となっており、男性のほうが 0.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 43.5%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が 45.2%で最も高くなっています。

【図表2-8-6 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか(クロス集計)】

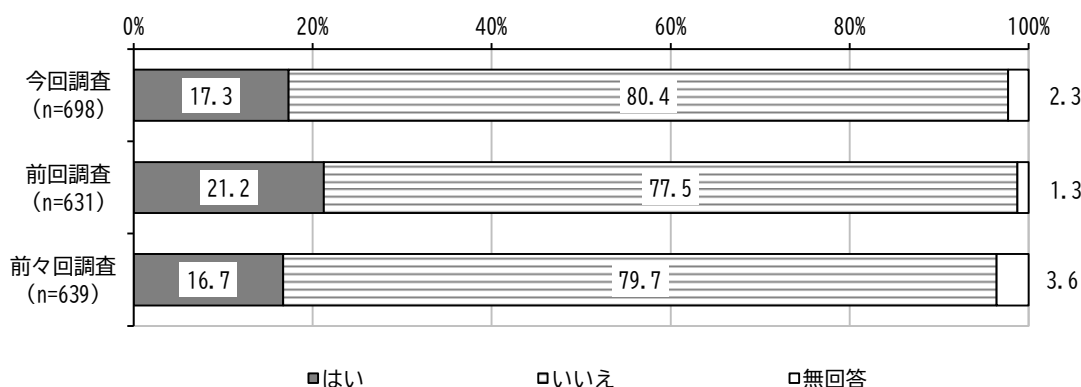
		合計 (人)	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
性別	男性	313	35.5	62.0	2.6
	女性	384	35.2	62.2	2.6
年齢別	65～69歳	138	37.7	59.4	2.9
	70～74歳	164	34.8	62.2	3.0
	75～79歳	203	33.0	64.0	3.0
	80～84歳	130	33.1	66.2	0.8
	85歳以上	62	43.5	53.2	3.2
世帯構成別	1人暮らし	123	39.8	56.1	4.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	35.5	61.6	2.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	24.1	75.9	0.0
	息子・娘との2世帯	95	33.7	64.2	2.1
	その他	127	34.6	64.6	0.8
居住地区別	字大山崎	292	36.6	61.6	1.7
	字円明寺	343	32.4	64.1	3.5
	字下植野	62	45.2	53.2	1.6

(4) この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか

問 65	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)
------	--

この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が 17.3%、「いいえ」が 80.4%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.9 ポイント減少しています。

【図表2-8-7 この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか】



性別にみると、「はい」について、男性では 18.5%、女性では 16.1%となっており、男性のほうが 2.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～69 歳が 22.5%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が 24.2%で最も高くなっています。

【図表2-8-8 この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか(クロス集計)】

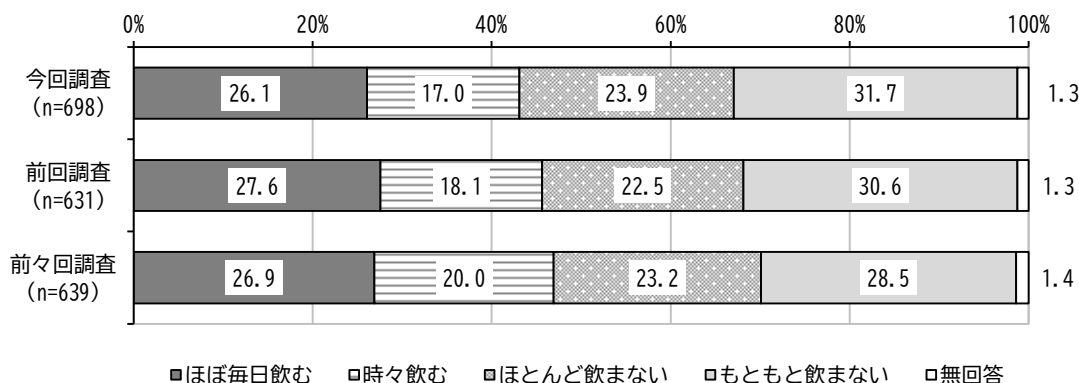
		合計 (人)	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
性別	男性	313	18.5	79.6	1.9
	女性	384	16.1	81.3	2.6
年齢別	65～69歳	138	22.5	75.4	2.2
	70～74歳	164	14.6	81.7	3.7
	75～79歳	203	15.8	82.3	2.0
	80～84歳	130	16.9	83.1	0.0
	85歳以上	62	17.7	77.4	4.8
世帯構成別	1人暮らし	123	22.8	73.2	4.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	15.6	83.1	1.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	13.8	82.8	3.4
	息子・娘との2世帯	95	13.7	82.1	4.2
	その他	127	20.5	78.7	0.8
居住地区別	字大山崎	292	17.1	80.8	2.1
	字円明寺	343	16.0	81.0	2.9
	字下植野	62	24.2	75.8	0.0

## (5) 飲酒状況

問 66 お酒は飲みますか。(○は1つ)

飲酒状況について、「もともと飲まない」が31.7%で最も高く、次いで「ほぼ毎日飲む」が26.1%、「ほとんど飲まない」が23.9%となっています。また、前回調査と比較して「ほぼ毎日飲む」が1.5ポイント減少しています。

【図表2-8-9 飲酒状況】



性別にみると、男性では、「ほぼ毎日飲む」が32.6%で最も高く、女性では、「もともと飲まない」が35.7%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「ほぼ毎日飲む」では、75～79歳が29.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ほぼ毎日飲む」では、字下植野が30.6%で最も高くなっています。

【図表2-8-10 飲酒状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

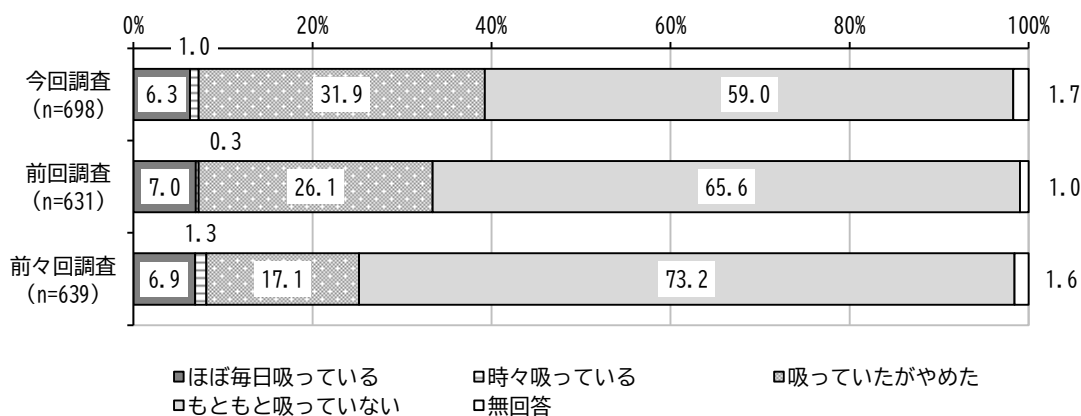
		合計(人)	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
性別	男性	313	32.6	14.4	25.6	26.8	0.6
	女性	384	20.8	19.0	22.7	35.7	1.8
年齢別	65～69歳	138	27.5	18.1	21.0	31.2	2.2
	70～74歳	164	26.2	18.9	27.4	25.6	1.8
	75～79歳	203	29.1	15.8	21.2	33.0	1.0
	80～84歳	130	22.3	18.5	26.2	33.1	0.0
	85歳以上	62	21.0	9.7	25.8	41.9	1.6
世帯構成別	1人暮らし	123	17.9	15.4	27.6	36.6	2.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	32.2	19.9	20.5	26.7	0.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	44.8	6.9	17.2	27.6	3.4
	息子・娘との2世帯	95	21.1	16.8	25.3	35.8	1.1
	その他	127	21.3	16.5	26.0	35.4	0.8
居住地区別	字大山崎	292	24.3	15.1	23.6	35.6	1.4
	字円明寺	343	26.8	19.5	24.5	27.7	1.5
	字下植野	62	30.6	11.3	22.6	35.5	0.0

(6) 喫煙状況

問 67 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

喫煙状況について、「もともと吸っていない」が59.0%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が31.9%、「ほぼ毎日吸っている」が6.3%となっています。また、前回調査と比較して「ほぼ毎日吸っている」が0.7ポイント減少しています。

【図表2-8-11 喫煙状況】



性別にみると、男性・女性ともに「もともと吸っていない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「ほぼ毎日吸っている」では、65～69歳と75～79歳が9.4%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ほぼ毎日吸っている」では、字大山崎が6.8%で最も高くなっています。

【図表2-8-12 喫煙状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

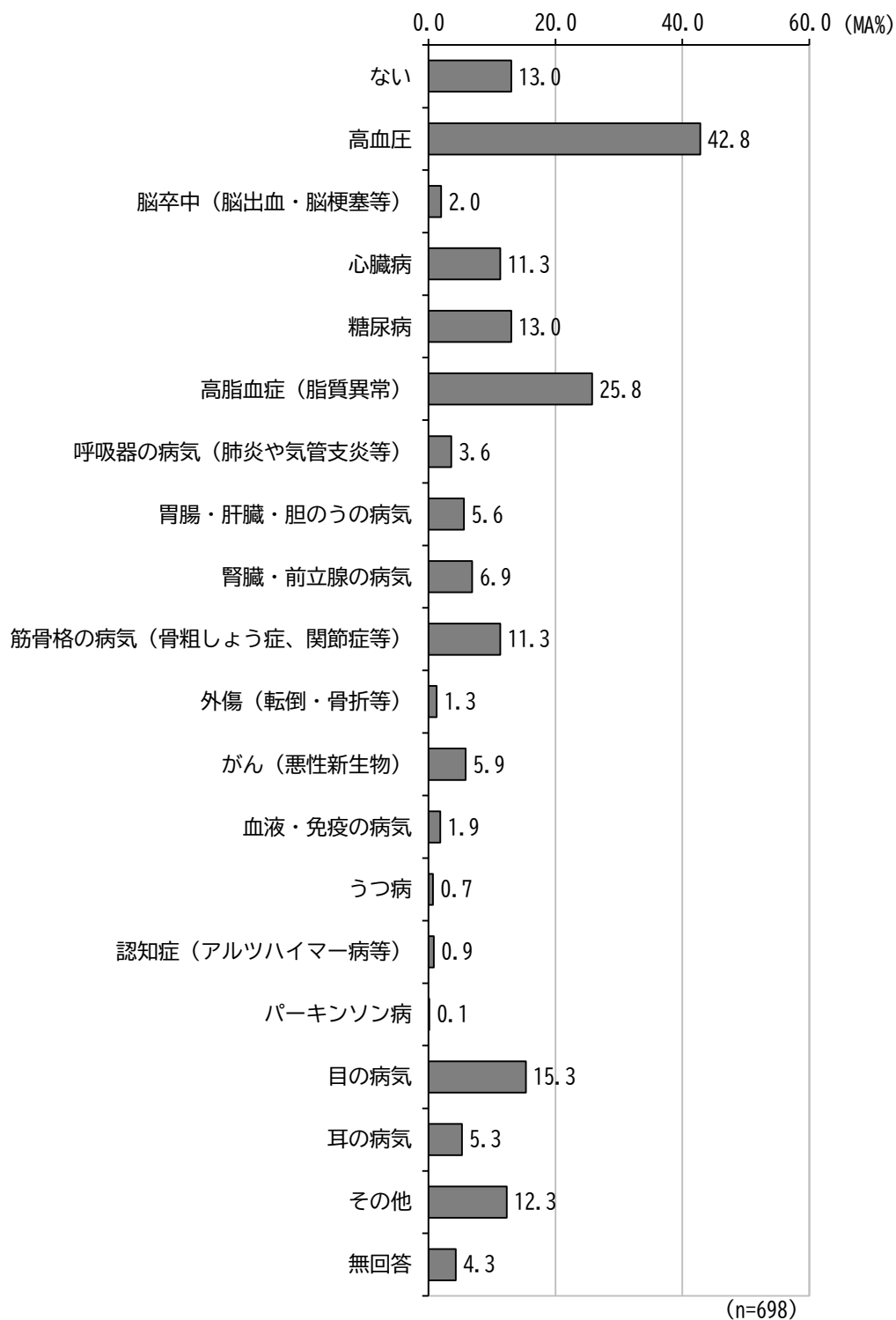
		合計(人)	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
性別	男性	313	8.9	1.0	42.5	46.6	1.0
	女性	384	4.2	1.0	23.4	69.0	2.3
年齢別	65～69歳	138	9.4	0.7	31.9	55.8	2.2
	70～74歳	164	3.7	1.2	36.6	56.1	2.4
	75～79歳	203	9.4	1.5	31.0	57.1	1.0
	80～84歳	130	2.3	0.8	25.4	70.0	1.5
	85歳以上	62	4.8	0.0	37.1	56.5	1.6
世帯構成別	1人暮らし	123	2.4	0.8	31.7	61.8	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	8.1	1.0	34.2	55.4	1.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	10.3	0.0	65.5	20.7	3.4
	息子・娘との2世帯	95	6.3	1.1	24.2	67.4	1.1
	その他	127	4.7	1.6	25.2	67.7	0.8
居住地区別	字大山崎	292	6.8	0.7	27.7	62.3	2.4
	字円明寺	343	5.8	1.5	34.1	57.1	1.5
	字下植野	62	6.5	0.0	40.3	53.2	0.0

### (7) 現在治療中、または後遺症のある病気

問 68 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 42.8%で最も高く、次いで「高脂血症(脂質異常)」が 25.8%、「目の病気」が 15.3%となっています。

【図表2-8-13 現在治療中、または後遺症のある病気】



性別にみると、男性・女性ともに「高血圧」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「ない」では、75～79歳が14.8%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「ない」では、字円明寺が14.0%で最も高くなっています。

【図表2-8-14 現在治療中、または後遺症のある病気(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗 塞等)	心臓 病	糖尿 病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や 気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの 病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗 しょう症、関節症等)	外傷 (転倒・骨折等)	
													性別
	女性	384	13.8	39.8	1.8	9.6	11.5	29.7	2.6	4.7	3.9	12.5	0.8
年齢別	65～69歳	138	11.6	43.5	2.2	14.5	13.0	24.6	5.1	4.3	7.2	11.6	2.2
	70～74歳	164	14.0	40.9	1.2	10.4	16.5	27.4	1.8	6.1	4.3	10.4	1.8
	75～79歳	203	14.8	43.3	1.0	9.4	11.8	26.1	4.4	5.9	8.9	10.8	0.5
	80～84歳	130	10.0	39.2	4.6	10.8	11.5	28.5	2.3	6.2	6.2	12.3	0.0
	85歳以上	62	12.9	53.2	1.6	14.5	11.3	17.7	4.8	4.8	8.1	12.9	3.2
世帯 構成別	1人暮らし	123	12.2	43.9	2.4	11.4	11.4	27.6	4.9	5.7	5.7	11.4	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	15.0	45.3	2.3	10.7	13.4	24.8	2.6	5.2	6.8	8.1	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	6.9	34.5	0.0	13.8	13.8	17.2	6.9	17.2	3.4	6.9	0.0
	息子・娘との2世帯	95	12.6	33.7	1.1	14.7	9.5	24.2	6.3	2.1	8.4	17.9	2.1
	その他	127	11.0	44.1	2.4	10.2	17.3	28.3	2.4	5.5	7.1	14.2	1.6
居住 地区別	字大山崎	292	12.3	43.5	1.7	10.6	11.6	25.0	2.7	7.5	7.5	14.0	0.7
	字円明寺	343	14.0	42.6	2.0	11.7	13.7	27.1	4.4	3.2	6.4	8.5	2.0
	字下植野	62	9.7	41.9	3.2	12.9	16.1	22.6	3.2	9.7	6.5	14.5	0.0

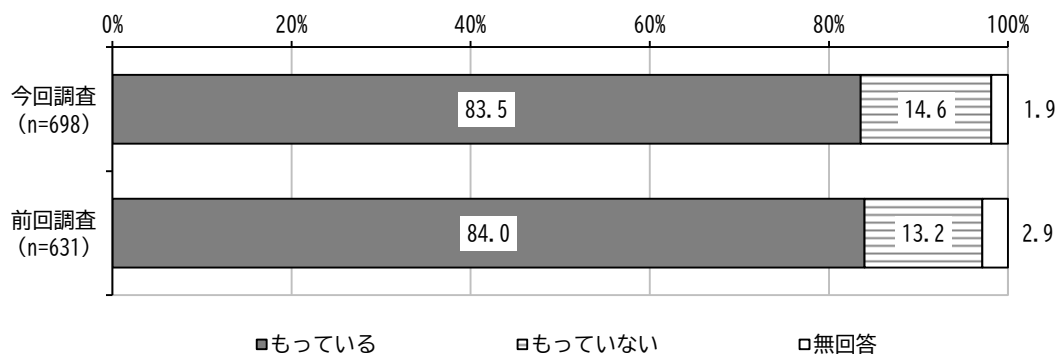
	合計(人)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	
											性別
	女性	384	4.9	1.0	1.0	1.0	0.0	16.7	4.9	11.2	4.7
年齢別	65～69歳	138	7.2	3.6	1.4	2.2	0.0	10.1	5.1	13.8	4.3
	70～74歳	164	5.5	0.6	0.6	0.6	0.0	12.8	5.5	14.0	4.9
	75～79歳	203	6.4	1.5	1.0	0.0	0.5	14.8	3.4	11.8	2.0
	80～84歳	130	4.6	2.3	0.0	0.8	0.0	22.3	5.4	8.5	7.7
	85歳以上	62	4.8	1.6	0.0	1.6	0.0	21.0	11.3	14.5	3.2
世帯 構成別	1人暮らし	123	6.5	2.4	0.0	0.0	0.0	17.9	5.7	16.3	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	4.6	1.6	0.7	1.0	0.3	14.0	4.9	9.1	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	13.8	3.4	0.0	0.0	0.0	10.3	3.4	20.7	3.4
	息子・娘との2世帯	95	4.2	1.1	1.1	2.1	0.0	20.0	4.2	14.7	4.2
	その他	127	7.1	2.4	1.6	0.0	0.0	11.8	6.3	13.4	5.5
居住 地区別	字大山崎	292	4.5	1.7	0.3	0.7	0.0	18.2	6.5	12.7	3.4
	字円明寺	343	7.6	2.3	0.6	0.9	0.3	12.8	4.1	11.1	5.0
	字下植野	62	3.2	0.0	3.2	1.6	0.0	16.1	6.5	17.7	4.8

(8) かかりつけ医を持っているか

問 69 「かかりつけ医」とは、日頃から健康について相談でき、体調が悪いときにまず診てもらえるような、地域の身近な医師のことです。あなたは「かかりつけ医」をもっていますか。(○は1つ)

かかりつけ医を持っているかについて、「もっている」が83.5%、「もっていない」が14.6%となっています。また、前回調査と比較して「もっている」が0.5ポイント減少しています。

【図表2-8-15 かかりつけ医を持っているか】



性別にみると、「もっている」について、男性では80.2%、女性では86.5%となっており、女性のほうが6.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「もっている」では、85歳以上が87.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「もっている」では、字円明寺が86.0%で最も高くなっています。

【図表2-8-16 かかりつけ医を持っているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	もっている	もっていない	無回答
性別	男性	313	80.2	17.3	2.6
	女性	384	86.5	12.2	1.3
年齢別	65～69歳	138	81.2	15.9	2.9
	70～74歳	164	84.1	14.0	1.8
	75～79歳	203	85.2	13.3	1.5
	80～84歳	130	81.5	18.5	0.0
	85歳以上	62	87.1	8.1	4.8
世帯構成別	1人暮らし	123	86.2	10.6	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	84.4	14.0	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	75.9	24.1	0.0
	息子・娘との2世帯	95	78.9	20.0	1.1
	その他	127	83.5	15.0	1.6
居住地区別	字大山崎	292	81.5	17.1	1.4
	字円明寺	343	86.0	11.4	2.6
	字下植野	62	80.6	19.4	0.0

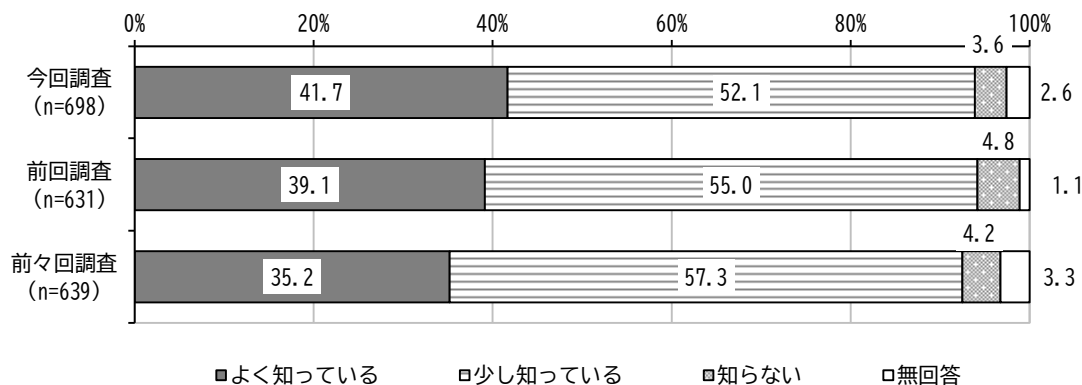
## 9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

### (1) 認知症の認知度

問 70 あなたは、認知症についてご存知ですか。(○は1つ)

認知症の認知度について、「少し知っている」が52.1%で最も高く、次いで「よく知っている」が41.7%、「知らない」が3.6%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が1.2ポイント減少しています。

【図表2-9-1 認知症の認知度】



性別にみると、「よく知っている」について、男性では39.3%、女性では43.8%となっており、女性のほうが4.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「よく知っている」では、80～84歳が44.6%で最も高く、「少し知っている」では、70～74歳が53.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「よく知っている」では、字大山崎が42.8%で最も高く、「少し知っている」では、字下植野が59.7%で最も高くなっています。

【図表2-9-2 認知症の認知度(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

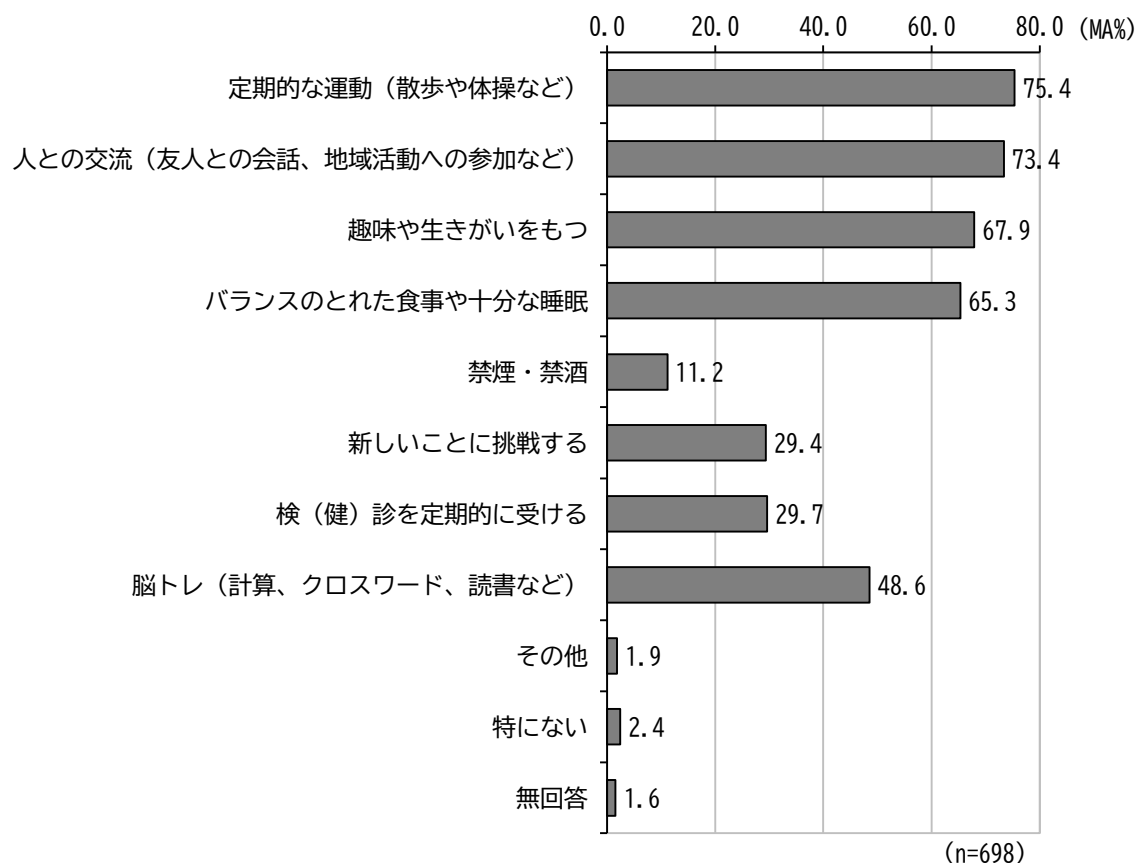
		(合計)	よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
性別	男性	313	39.3	53.0	5.4	2.2
	女性	384	43.8	51.3	2.1	2.9
年齢別	65～69歳	138	42.0	52.9	2.9	2.2
	70～74歳	164	40.2	53.7	4.3	1.8
	75～79歳	203	41.9	51.2	3.4	3.4
	80～84歳	130	44.6	50.8	2.3	2.3
	85歳以上	62	38.7	51.6	6.5	3.2
世帯構成別	1人暮らし	123	43.1	48.8	4.9	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	40.1	54.4	2.6	2.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	31.0	55.2	13.8	0.0
	息子・娘との2世帯	95	41.1	51.6	3.2	4.2
	その他	127	48.0	49.6	2.4	0.0
居住地区別	字大山崎	292	42.8	53.1	2.7	1.4
	字円明寺	343	42.3	49.9	4.4	3.5
	字下植野	62	33.9	59.7	3.2	3.2

## (2) 認知症予防のために効果的だと思うこと

問 71 あなたが認知症予防のために効果的だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

認知症予防のために効果的だと思うことについて、「定期的な運動(散歩や体操など)」が 75.4%で最も高く、次いで「人との交流(友人との会話、地域活動への参加など)」が 73.4%、「趣味や生きがいをもつ」が 67.9%となっています。

【図表2-9-3 認知症予防のために効果的だと思うこと】



性別にみると、男性では、「定期的な運動(散歩や体操など)」が73.8%で最も高く、女性では、「人との交流(友人との会話、地域活動への参加など)」が77.9%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「特にない」では、85歳以上が4.8%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「特にない」では、字大山崎が4.1%で最も高くなっています。

【図表2-9-4 認知症予防のために効果的だと思うこと(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

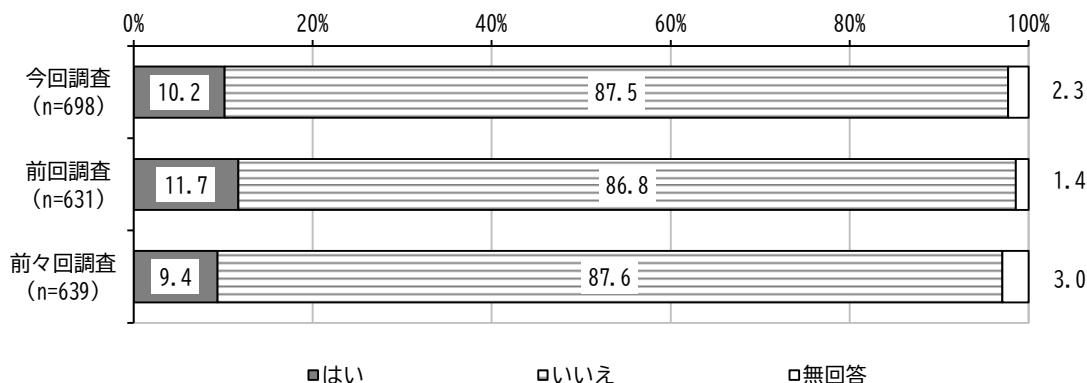
		合計(人)	定期的な運動(散歩や体操など)	人との交流(友人との会話、地域活動への参加など)	趣味や生きがいをもつ	バランスのとれた食生活や十分な睡眠	禁煙・禁酒	新しいことに挑戦する	検(健)診を定期的に受ける	ワードレ(計算、クロスワード、読書など)	その他	特にない	無回答
性別	男性	313	73.8	68.1	64.2	62.3	13.4	26.2	28.4	42.8	0.3	1.9	1.9
	女性	384	76.8	77.9	71.1	68.0	9.4	32.0	30.7	53.4	3.1	2.6	1.3
年齢別	65～69歳	138	76.1	71.7	63.0	63.0	7.2	23.2	24.6	47.1	0.0	3.6	2.2
	70～74歳	164	75.0	72.6	73.2	67.1	14.0	29.9	31.1	54.3	2.4	1.2	1.2
	75～79歳	203	79.3	75.9	72.9	62.6	10.8	31.0	27.6	52.2	2.5	1.0	1.5
	80～84歳	130	73.1	73.8	63.8	70.0	11.5	31.5	34.6	43.1	1.5	3.1	0.0
	85歳以上	62	67.7	71.0	58.1	66.1	12.9	32.3	33.9	37.1	3.2	4.8	4.8
世帯構成別	1人暮らし	123	73.2	80.5	70.7	68.3	11.4	28.5	35.0	52.8	0.8	4.1	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	79.8	74.6	68.7	68.4	11.7	31.6	30.9	49.2	2.3	0.3	1.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	65.5	65.5	62.1	44.8	10.3	37.9	20.7	44.8	0.0	6.9	0.0
	息子・娘との2世帯	95	68.4	70.5	71.6	67.4	9.5	27.4	28.4	51.6	1.1	2.1	1.1
	その他	127	75.6	67.7	61.4	57.5	11.8	24.4	25.2	44.9	3.1	5.5	0.8
居住地区別	字大山崎	292	74.3	72.6	66.4	64.7	11.0	28.8	28.8	43.5	2.1	4.1	1.0
	字円明寺	343	76.1	74.6	69.4	63.8	11.4	30.9	30.3	51.0	2.0	0.9	2.3
	字下植野	62	77.4	71.0	67.7	77.4	11.3	24.2	30.6	59.7	0.0	1.6	0.0

### (3) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

問 72 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が 10.2%、「いいえ」が 87.5%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 1.5 ポイント減少しています。

【図表2-9-5 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 9.9%、女性では 10.4%となっており、女性のほうが 0.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～69 歳と 70～74 歳が 11.6%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 11.4%で最も高くなっています。

【図表2-9-6 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

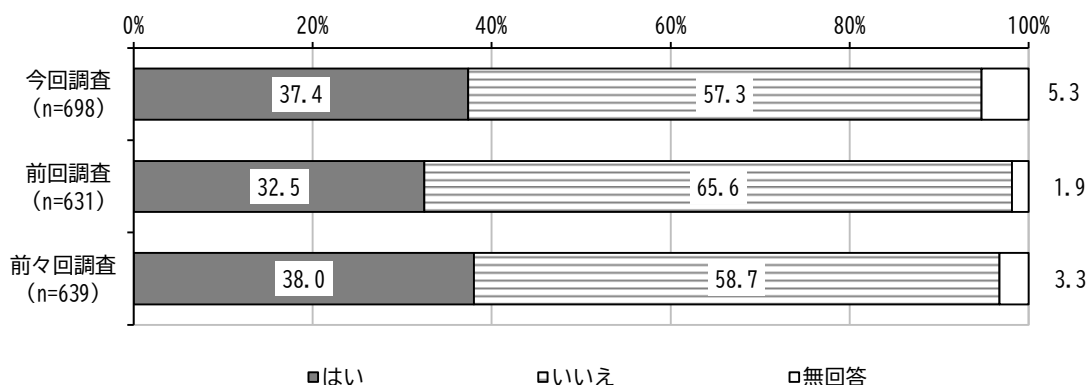
		合計 (人)	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
性別	男性	313	9.9	87.9	2.2
	女性	384	10.4	87.2	2.3
年齢別	65～69歳	138	11.6	86.2	2.2
	70～74歳	164	11.6	86.6	1.8
	75～79歳	203	7.4	90.6	2.0
	80～84歳	130	10.8	86.9	2.3
	85歳以上	62	11.3	83.9	4.8
世帯構成別	1人暮らし	123	9.8	87.8	2.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	10.4	87.0	2.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	10.3	89.7	0.0
	息子・娘との2世帯	95	6.3	90.5	3.2
	その他	127	12.6	87.4	0.0
居住地区別	字大山崎	292	8.9	89.7	1.4
	字円明寺	343	11.4	85.1	3.5
	字下植野	62	9.7	90.3	0.0

#### (4) 認知症に関する相談窓口を知っているか

問 73 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

認知症に関する相談窓口の認知状況について、「はい」が 37.4%、「いいえ」が 57.3%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 4.9 ポイント増加しています。

【図表2-9-7 認知症に関する相談窓口を知っているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 30.7%、女性では 43.0%となっており、女性のほうが 12.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、80～84 歳が 43.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 38.8%で最も高くなっています。

【図表2-9-8 認知症に関する相談窓口を知っているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	30.7	62.9	6.4
	女性	384	43.0	52.6	4.4
年齢別	65～69歳	138	32.6	62.3	5.1
	70～74歳	164	40.9	53.7	5.5
	75～79歳	203	36.9	57.6	5.4
	80～84歳	130	43.1	53.1	3.8
	85歳以上	62	29.0	62.9	8.1
世帯 構成別	1人暮らし	123	42.3	48.0	9.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	40.4	54.1	5.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	20.7	75.9	3.4
	息子・娘との2世帯	95	32.6	64.2	3.2
	その他	127	33.9	64.6	1.6
居住 地区別	字大山崎	292	36.6	57.5	5.8
	字円明寺	343	38.8	56.3	5.0
	字下植野	62	33.9	61.3	4.8

## (5) 認知症に関する相談窓口の認知状況

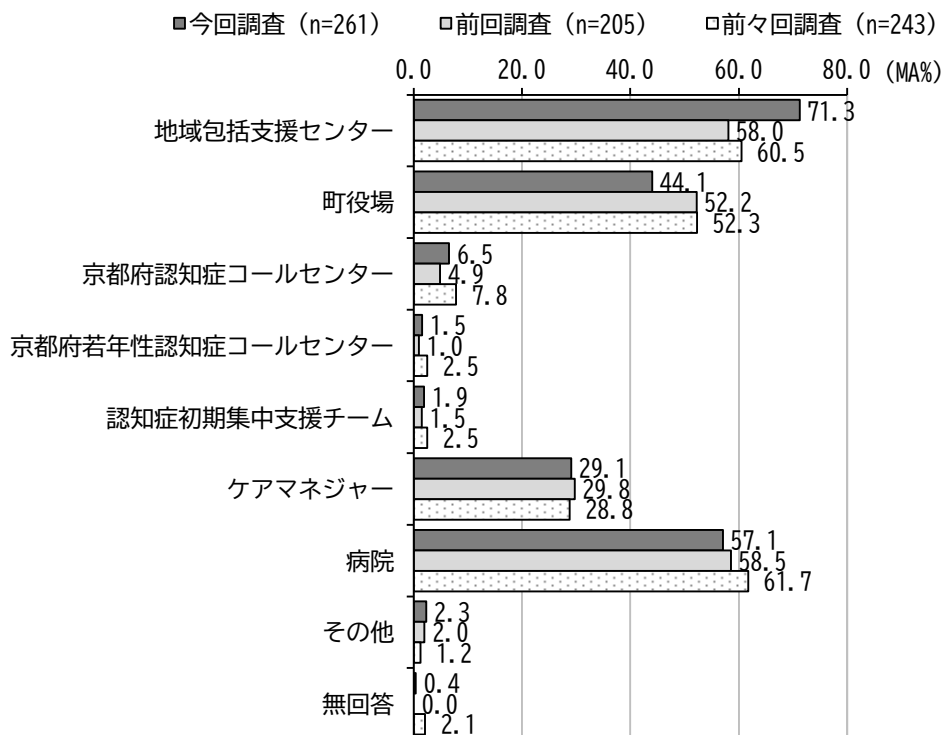
問 73-1

【問 73 で「はい」を回答された方のみ】

認知症についての相談先としてどんなところをご存知ですか。(〇はいくつでも)

認知症に関する相談窓口の認知状況について、「地域包括支援センター」が 71.3%で最も高く、次いで「病院」が 57.1%、「町役場」が 44.1%となっています。また、前回調査と比較して「地域包括支援センター」が 13.3 ポイント増加しています。

【図表2-9-9 認知症に関する相談窓口の認知状況】



性別にみると、「地域包括支援センター」について、男性では 60.4%、女性では 77.6%となっており、女性のほうが 17.2 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「地域包括支援センター」では、75～79 歳が 77.3%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「地域包括支援センター」では、字円明寺と字下植野が 71.4%で最も高くなっています。

【図表2-9-10 認知症に関する相談窓口の認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	地域包括支援センター	町役場	京都府認知症コールセンター	京都府若年性認知症コールセンター	認知症初期集中支援チーム	ケアマネジャー	病院	その他	無回答
性別	男性	96	60.4	45.8	6.3	2.1	1.0	31.3	60.4	0.0	0.0
	女性	165	77.6	43.0	6.7	1.2	2.4	27.9	55.2	3.6	0.6
年齢別	65～69歳	45	71.1	40.0	2.2	0.0	0.0	28.9	73.3	2.2	0.0
	70～74歳	67	67.2	43.3	9.0	0.0	1.5	31.3	49.3	1.5	1.5
	75～79歳	75	77.3	41.3	9.3	4.0	2.7	30.7	53.3	1.3	0.0
	80～84歳	56	67.9	50.0	3.6	1.8	1.8	17.9	60.7	5.4	0.0
	85歳以上	18	72.2	50.0	5.6	0.0	5.6	50.0	50.0	0.0	0.0
世帯構成別	1人暮らし	52	76.9	34.6	5.8	0.0	1.9	21.2	59.6	3.8	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	124	66.1	42.7	4.0	0.0	2.4	29.8	55.6	3.2	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	6	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	31	71.0	58.1	6.5	3.2	3.2	16.1	64.5	0.0	0.0
	その他	43	83.7	51.2	11.6	4.7	0.0	39.5	55.8	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	107	71.0	44.9	4.7	0.9	2.8	32.7	62.6	1.9	0.0
	字円明寺	133	71.4	45.9	9.0	2.3	1.5	26.3	51.9	2.3	0.8
	字下植野	21	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	61.9	4.8	0.0

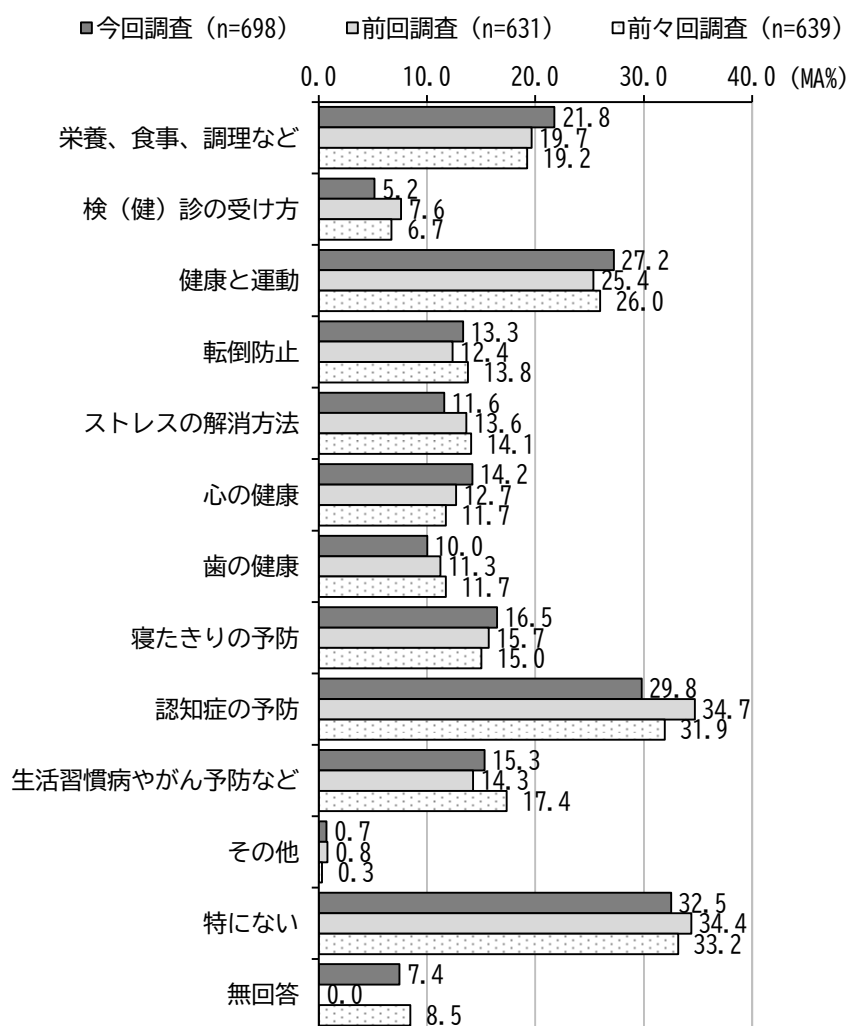
## 10. 高齢者に関するサービス・制度等について

### (1) 健康づくりや介護予防について知りたいこと

問 74	あなたが健康づくりや介護予防について知りたいことはありますか。 (○はい/×いいえ)
------	---

健康づくりや介護予防について知りたいことについて、「特にない」が 32.5%で最も高く、次いで「認知症の予防」が 29.8%、「健康と運動」が 27.2%となっています。また、前回調査と比較して「特にない」が 1.9 ポイント減少しています。

【図表2-10-1 健康づくりや介護予防について知りたいこと】



性別にみると、男性・女性ともに「特にない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「認知症の予防」では、70～74歳が36.6%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「認知症の予防」では、字下植野が35.5%で最も高くなっています。

【図表2-10-2 健康づくりや介護予防について知りたいこと(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	栄養、食事、調理など	検(健)診の受け方	健康と運動	転倒防止	ストレスの解消方法	心の健康	歯の健康	寝たきりの予防	認知症の予防	生活習慣病やがん予防	その他
性別	男性	313	19.2	6.1	25.2	9.3	8.9	11.8	9.3	14.4	31.9	16.0	1.0
	女性	384	24.0	4.4	28.9	16.7	13.8	16.1	10.7	18.2	28.1	14.8	0.3
年齢別	65～69歳	138	21.0	5.8	30.4	13.0	10.9	14.5	11.6	11.6	29.7	15.9	0.7
	70～74歳	164	18.9	4.3	25.6	14.6	11.0	16.5	11.0	21.3	36.6	20.7	0.6
	75～79歳	203	24.1	5.4	27.6	12.8	12.3	12.3	11.3	16.3	24.1	12.3	0.5
	80～84歳	130	24.6	5.4	25.4	12.3	10.8	16.2	7.7	15.4	30.8	14.6	0.0
	85歳以上	62	17.7	4.8	27.4	14.5	14.5	9.7	4.8	17.7	29.0	11.3	1.6
世帯構成別	1人暮らし	123	22.0	6.5	24.4	17.1	13.0	15.4	11.4	17.1	27.6	16.3	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	22.8	4.9	31.9	10.4	11.1	13.7	9.4	15.6	32.9	16.9	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	17.2	20.7	24.1	13.8	10.3	20.7	13.8	10.3	37.9	10.3	0.0
	息子・娘との2世帯	95	21.1	3.2	21.1	16.8	12.6	13.7	9.5	22.1	27.4	12.6	0.0
その他	127	21.3	3.1	24.4	13.4	10.2	14.2	8.7	14.2	25.2	15.0	0.0	
居住地区別	字大山崎	292	22.9	5.1	29.5	14.0	11.0	14.7	9.6	18.2	28.8	14.7	0.7
	字円明寺	343	19.5	5.0	26.5	12.5	12.8	14.9	9.6	13.1	29.7	15.7	0.6
	字下植野	62	29.0	6.5	21.0	14.5	8.1	8.1	14.5	27.4	35.5	16.1	0.0

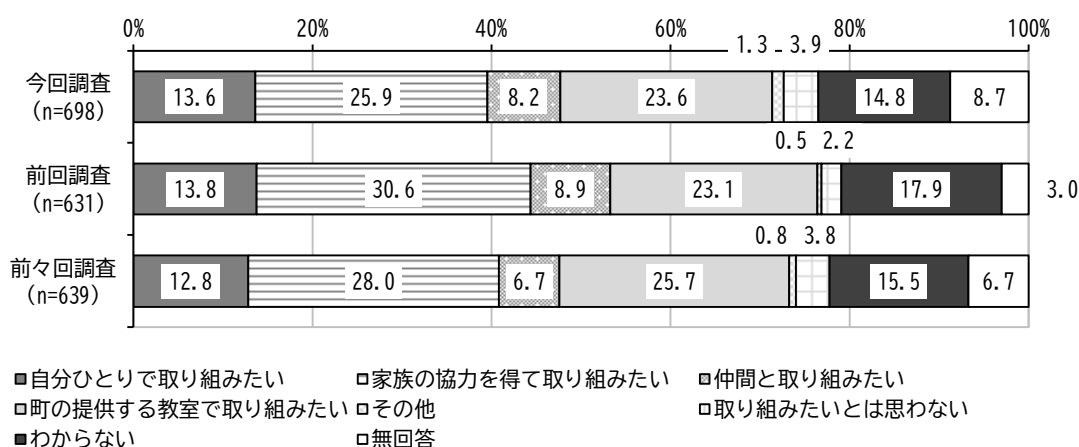
		合計(人)	特にない	無回答
性別	男性	313	36.1	7.0
	女性	384	29.7	7.8
年齢別	65～69歳	138	37.7	4.3
	70～74歳	164	32.9	7.3
	75～79歳	203	31.0	7.9
	80～84歳	130	31.5	6.9
	85歳以上	62	27.4	14.5
世帯構成別	1人暮らし	123	27.6	9.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	31.3	5.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	41.4	0.0
	息子・娘との2世帯	95	35.8	8.4
その他	127	34.6	8.7	
居住地区別	字大山崎	292	34.9	6.8
	字円明寺	343	30.0	8.7
	字下植野	62	35.5	3.2

(2) 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか

問 75 本町の要介護認定を受けている高齢者の方は、およそ5人に1人で、年々増加しています。要介護の方が減少することは、本人だけではなく、周りの家族や地域の人々にとってもよいことで、介護保険料の減少にもつながることなので、町ではみんなが協力し合って介護予防の普及ができればと考えています。  
 そこでおうかがいします。あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。(〇は1つ)

健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいかについて、「家族の協力を得て取り組みたい」が25.9%で最も高く、次いで「町の提供する教室で取り組みたい」が23.6%、「わからない」が14.8%となっています。また、前回調査と比較して「家族の協力を得て取り組みたい」が4.7ポイント減少しています。

【図表2-10-3 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか】



性別にみると、男性では、「家族の協力を得て取り組みたい」が 27.2%で最も高く、女性では、「町の提供する教室で取り組みたい」が 26.3%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「町の提供する教室で取り組みたい」では、80～84 歳が 30.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「町の提供する教室で取り組みたい」では、字円明寺が 25.7%で最も高くなっています。

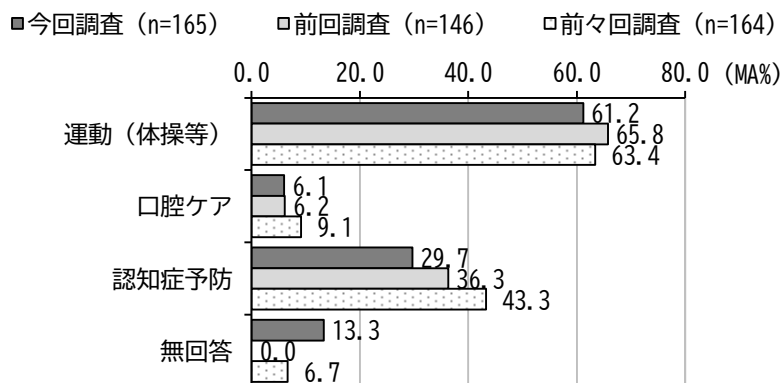
【図表2-10-4 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	自分ひとりで取り組みたい	家族の協力を得て取り組みたい	仲間と取り組みたい	町での取り組み提供を望む	その他	取り組みたくない	わからない	無回答
性別	男性	313	16.0	27.2	8.0	20.4	1.9	4.8	14.4	7.3
	女性	384	11.7	25.0	8.3	26.3	0.8	2.9	15.1	9.9
年齢別	65～69歳	138	18.8	21.0	4.3	21.7	0.7	5.8	20.3	7.2
	70～74歳	164	11.6	26.2	10.4	23.8	0.6	3.7	15.9	7.9
	75～79歳	203	12.8	29.1	9.4	22.7	2.5	3.0	14.3	6.4
	80～84歳	130	10.8	25.4	5.4	30.0	0.0	3.1	12.3	13.1
	85歳以上	62	16.1	27.4	12.9	17.7	3.2	3.2	6.5	12.9
世帯構成別	1人暮らし	123	21.1	6.5	11.4	35.0	3.3	4.1	9.8	8.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	10.1	32.6	7.5	22.8	1.6	2.3	14.7	8.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	6.9	31.0	3.4	17.2	0.0	10.3	24.1	6.9
	息子・娘との2世帯	95	15.8	31.6	6.3	17.9	0.0	4.2	10.5	13.7
	その他	127	16.5	23.6	9.4	22.8	0.0	6.3	16.5	4.7
居住地区別	字大山崎	292	15.1	27.1	6.5	22.9	1.0	5.1	13.4	8.9
	字円明寺	343	13.1	23.0	9.6	25.7	1.7	2.3	15.7	8.7
	字下植野	62	9.7	37.1	8.1	16.1	0.0	4.8	16.1	8.1

また、参加したい教室について、について、「運動(体操等)」が 61.2%で最も高く、次いで「認知症予防」が 29.7%、「無回答」が 13.3%となっています。また、前回調査と比較して「認知症予防」が 6.6 ポイント減少しています。

【図表2-10-5 参加したい教室】



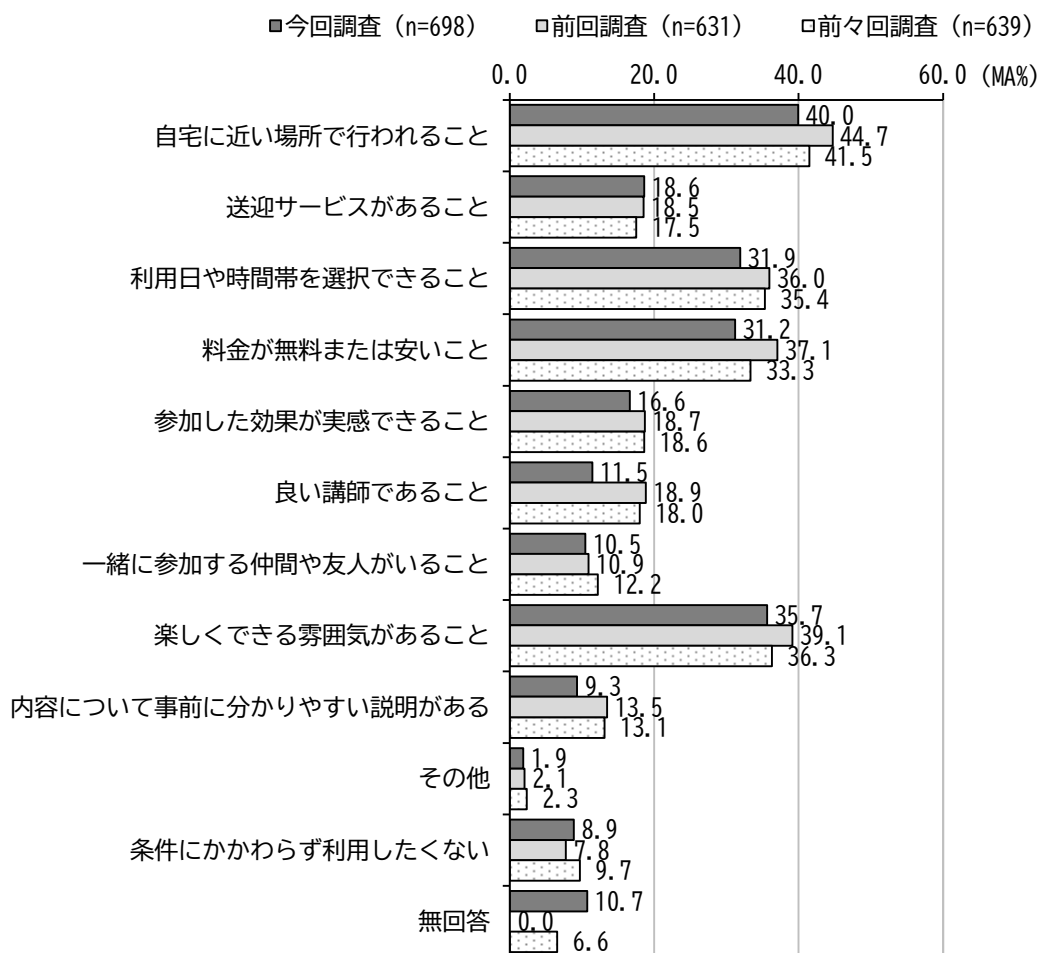
### (3) 健康づくりや介護予防教室に参加するための条件

問 76

町の健康づくりや介護予防教室に参加するために必要な条件は何ですか。  
(〇は3つまで)

健康づくりや介護予防教室に参加するための条件について、「自宅に近い場所で行われること」が 40.0% で最も高く、次いで「楽しくできる雰囲気があること」が 35.7%、「利用日や時間帯を選択できること」が 31.9%となっています。また、前回調査と比較して「自宅に近い場所で行われること」が 4.7 ポイント減少しています。

【図表2-10-6 健康づくりや介護予防教室に参加するための条件】



性別にみると、男性・女性ともに「自宅に近い場所で行われること」が最も高くなっています。  
 年齢別にみると、「自宅に近い場所で行われること」では、80～84歳が43.8%で最も高くなっています。  
 また、居住地区別にみると、「自宅に近い場所で行われること」では、字大山崎が43.2%で最も高くなっています。

【図表2-10-7 健康づくりや介護予防教室に参加するための条件(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

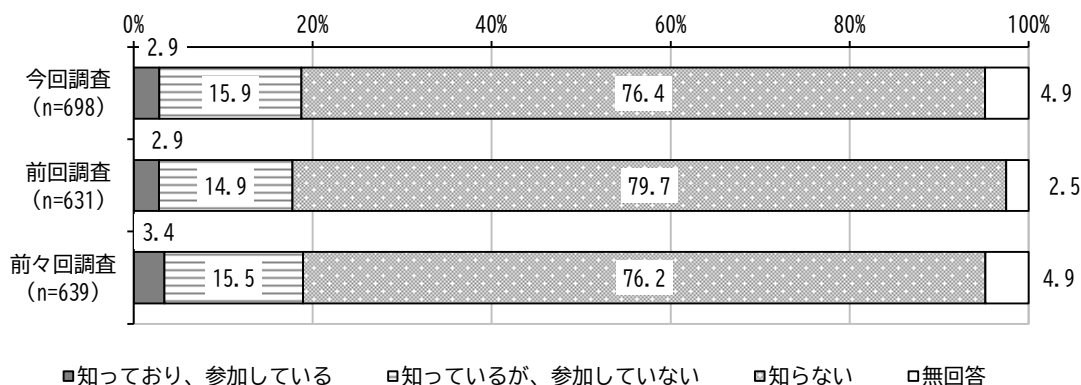
		合計(人)	自宅に近い場所で行われること	と送迎サービスがあること	で利用日や時間帯を選択できること	と料金が無料または安いこと	参加した効果が実感できること	良い講師であること	友人と一緒に参加すること	楽しくできる雰囲気があること	内容について事前に分かりやすい説明があること	その他	条件にかかわらず利用したくない	無回答
性別	男性	313	41.2	18.2	29.1	32.6	16.3	8.3	6.1	33.9	11.5	1.9	9.9	11.5
	女性	384	39.1	19.0	34.4	30.2	16.9	14.1	14.1	37.2	7.6	1.8	8.1	9.9
年齢別	65～69歳	138	39.9	15.2	33.3	34.8	13.8	13.8	9.4	37.0	14.5	2.2	10.9	8.0
	70～74歳	164	36.6	18.3	30.5	32.9	18.9	14.6	12.8	43.9	5.5	1.2	7.9	10.4
	75～79歳	203	41.4	18.7	34.5	33.0	20.7	12.3	9.9	35.0	9.4	2.0	8.4	7.9
	80～84歳	130	43.8	20.0	29.2	26.2	12.3	7.7	9.2	27.7	8.5	1.5	6.9	18.5
	85歳以上	62	37.1	24.2	30.6	24.2	12.9	3.2	11.3	30.6	9.7	3.2	12.9	9.7
世帯構成別	1人暮らし	123	42.3	22.8	30.9	30.1	18.7	13.0	10.6	35.8	8.1	2.4	9.8	10.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	42.7	20.5	35.8	32.6	17.6	10.4	10.7	33.9	10.4	2.0	7.5	9.1
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	24.1	6.9	17.2	37.9	24.1	10.3	10.3	34.5	10.3	0.0	10.3	17.2
	息子・娘との2世帯	95	37.9	17.9	28.4	26.3	15.8	7.4	11.6	44.2	10.5	2.1	9.5	9.5
	その他	127	37.0	12.6	29.9	33.1	12.6	15.7	8.7	34.6	5.5	1.6	10.2	13.4
居住地区別	字大山崎	292	43.2	14.4	29.8	30.8	16.4	9.6	11.3	33.2	8.9	2.4	10.3	9.6
	字円明寺	343	37.9	20.7	33.5	31.2	16.9	12.5	9.6	38.2	9.3	1.5	7.9	11.4
	字下植野	62	37.1	27.4	33.9	33.9	16.1	14.5	11.3	33.9	11.3	1.6	8.1	11.3

#### (4) 助け愛隊サポーターの認知状況

問 77 「助け愛隊」サポーターについてご存知ですか。(○は1つ)

助け愛隊サポーターの認知状況について、「知らない」が76.4%で最も高く、次いで「知っているが、参加していない」が15.9%、「知っており、参加している」が2.9%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が3.4ポイント減少しています。

【図表2-10-8 助け愛隊サポーターの認知状況】



性別にみると、男性・女性ともに「知らない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「知っており、参加している」では、75～79歳が3.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「知っており、参加している」では、字下植野が4.8%で最も高くなっています。

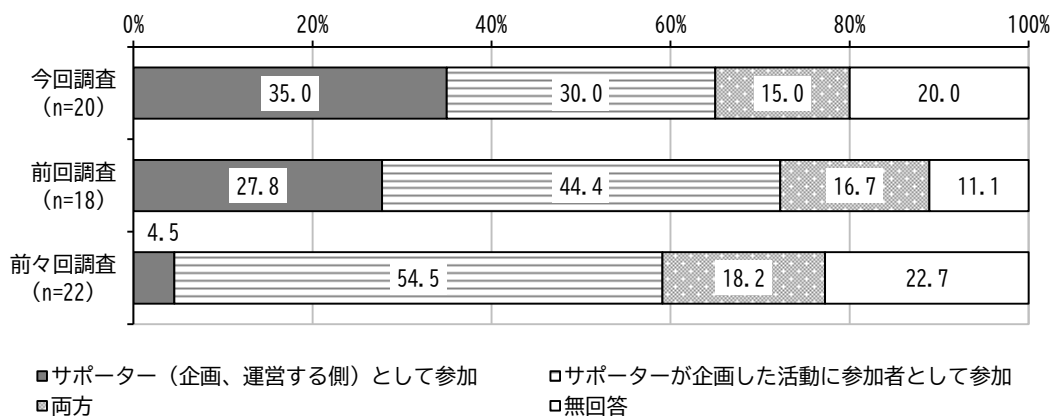
【図表2-10-9 助け愛隊サポーターの認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	加知 して お り、 参 加 し て い る	参 知 し て い る が、 参 加 し て い な い	知 ら な い	無 回 答
性別	男性	313	2.2	11.5	82.1	4.2
	女性	384	3.4	19.3	71.9	5.5
年齢別	65～69歳	138	1.4	11.6	81.2	5.8
	70～74歳	164	3.7	15.2	79.3	1.8
	75～79歳	203	3.9	17.2	74.4	4.4
	80～84歳	130	3.1	19.2	71.5	6.2
	85歳以上	62	0.0	14.5	75.8	9.7
世帯 構成別	1人暮らし	123	4.1	18.7	70.7	6.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	3.3	15.6	76.2	4.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	10.3	86.2	3.4
	息子・娘との2世帯	95	3.2	13.7	78.9	4.2
	その他	127	1.6	17.3	76.4	4.7
居住 地区別	字大山崎	292	4.1	16.8	74.3	4.8
	字円明寺	343	1.5	15.7	77.6	5.2
	字下植野	62	4.8	11.3	80.6	3.2

また、参加している立場について、「サポーター(企画、運営する側)として参加」が 35.0%で最も高く、次いで「サポーターが企画した活動に参加者として参加」が 30.0%、「両方」が 15.0%となっています。また、前回調査と比較して「サポーター(企画、運営する側)として参加」が 7.2 ポイント増加しています。

【図表2-10-10 参加している立場】

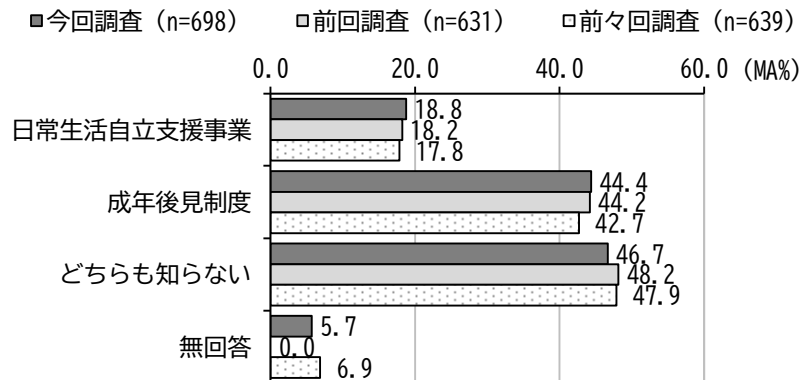


(5) 高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況

問 78 高齢者の権利擁護(高齢者の権利や生活、財産などを守ります)のための制度についておうかがいします。次の事業や制度を知っていますか。(○はいくつでも)

高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況について、「どちらも知らない」が46.7%で最も高く、次いで「成年後見制度」が44.4%、「日常生活自立支援事業」が18.8%となっています。また、前回調査と比較して「どちらも知らない」が1.5ポイント減少しています。

【図表2-10-11 高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況】



性別にみると、男性では、「どちらも知らない」が49.8%で最も高く、女性では、「成年後見制度」が46.6%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「どちらも知らない」では、65～69歳が52.2%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「どちらも知らない」では、字下植野が53.2%で最も高くなっています。

【図表2-10-12 高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

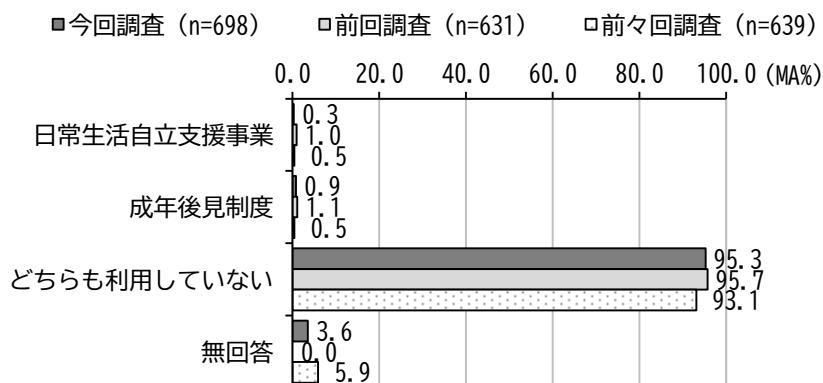
		合計 (人)	援日 常生 活自 立支	成 年 後 見 制 度	い ど ち ら も 知 ら な	無 回 答
性別	男性	313	14.7	41.9	49.8	6.7
	女性	384	22.1	46.6	44.0	4.9
年齢別	65～69歳	138	14.5	43.5	52.2	3.6
	70～74歳	164	20.1	47.6	47.6	3.7
	75～79歳	203	19.2	44.3	46.3	4.4
	80～84歳	130	23.8	41.5	43.1	10.0
	85歳以上	62	12.9	45.2	40.3	11.3
世帯 構成別	1人暮らし	123	26.0	44.7	43.1	6.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	16.9	47.2	44.0	5.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	10.3	31.0	62.1	3.4
	息子・娘との2世帯	95	22.1	42.1	50.5	5.3
	その他	127	16.5	44.1	48.0	7.1
居住 地区別	宇大山崎	292	19.9	42.8	46.9	5.5
	字円明寺	343	18.1	46.6	45.2	6.4
	字下植野	62	17.7	40.3	53.2	3.2

## (6) 高齢者の権利擁護に関する事業等の利用状況

問 79 次の事業や制度を利用したこと(利用している)がありますか。(○はいくつでも)

高齢者の権利擁護に関する事業等の利用状況について、「どちらも利用していない」が 95.3%で最も高く、次いで「成年後見制度」が 0.9%、「日常生活自立支援事業」が 0.3%となっています。また、前回調査と比較して「どちらも利用していない」が 0.4 ポイント減少しています。

【図表2-10-13 高齢者の権利擁護に関する事業等の利用状況】

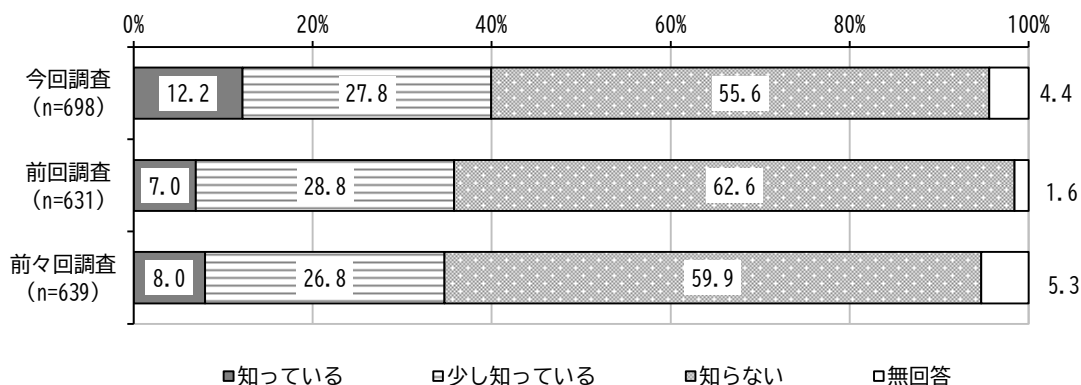


## (7) 地域包括支援センターの活動の認知状況

問 80 あなたは、地域包括支援センターの活動についてご存知ですか。(○は1つ)

地域包括支援センターの活動の認知状況について、「知らない」が 55.6%で最も高く、次いで「少し知っている」が 27.8%、「知っている」が 12.2%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 7.0 ポイント減少しています。

【図表2-10-14 地域包括支援センターの活動の認知状況】



性別にみると、「知っている」について、男性では 7.3%、女性では 16.1%となっており、女性のほうが 8.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「知っている」では、70～74 歳が 15.2%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「知っている」では、字大山崎が 13.4%で最も高くなっています。

【図表2-10-15 地域包括支援センターの活動の認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	知っている	少し知っている	知らない	無回答
性別	男性	313	7.3	25.9	62.9	3.8
	女性	384	16.1	29.4	49.5	4.9
年齢別	65～69歳	138	8.7	26.8	60.1	4.3
	70～74歳	164	15.2	26.8	53.0	4.9
	75～79歳	203	10.8	29.1	57.1	3.0
	80～84歳	130	13.1	30.8	50.8	5.4
	85歳以上	62	14.5	22.6	56.5	6.5
世帯 構成別	1人暮らし	123	13.0	38.2	42.3	6.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	12.4	28.7	55.4	3.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	20.7	75.9	0.0
	息子・娘との2世帯	95	9.5	23.2	60.0	7.4
	その他	127	14.2	23.6	58.3	3.9
居住 地区別	字大山崎	292	13.4	23.6	58.6	4.5
	字円明寺	343	12.0	31.2	51.9	5.0
	字下植野	62	8.1	29.0	61.3	1.6

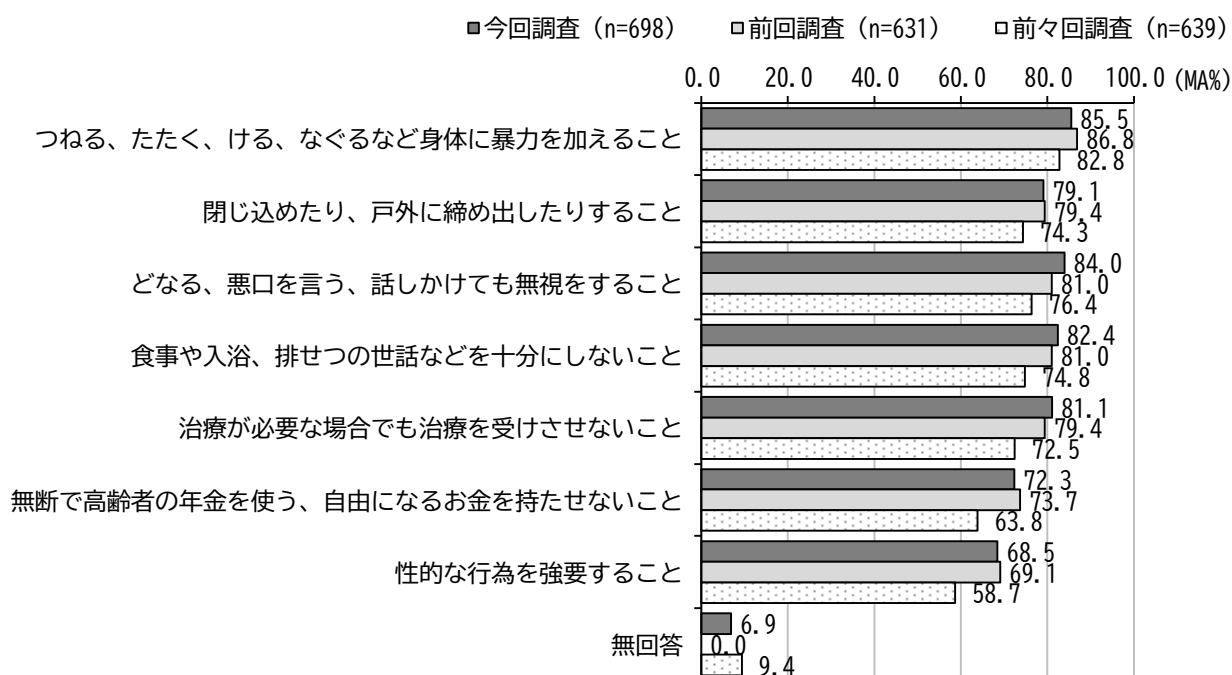
## (8) 高齢者への虐待だと思ふ行為

問 81

あなたが高齢者への虐待だと思ふ行為はどれですか。(〇はいくつでも)

高齢者への虐待だと思ふ行為について、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」が85.5%で最も高く、次いで「どなる、悪口を言う、話しかけても無視をすること」が84.0%、「食事や入浴、排せつの世話などを十分にしないこと」が82.4%となっています。また、前回調査と比較して「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」が1.3ポイント減少しています。

【図表2-10-16 高齢者への虐待だと思ふ行為】



性別にみると、男性・女性ともに「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」では、70～74歳が87.8%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」では、字下植野が91.9%で最も高くなっています。

【図表2-10-17 高齢者への虐待だと思ふ行為(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

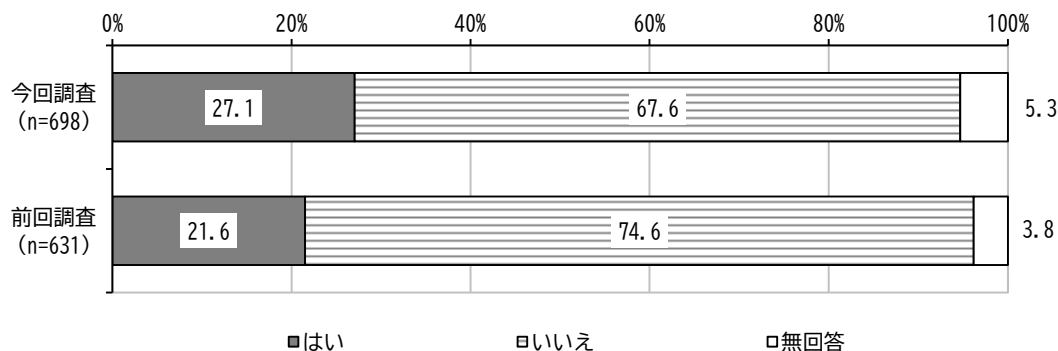
		合計(人)	とつねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること	閉じ込めたり、戸外に締め出した	けり、悪口を言う、話しかけても無視をすること	食事や入浴、排せつの世話を十分にしないこと	治療が必要な場合でも治療を受けさせないこと	自由に高年齢者の年金を使う、お金の持たせないこと	性的な行為を強要すること	無回答
性別	男性	313	84.7	76.7	83.1	81.2	78.3	70.3	65.2	7.0
	女性	384	86.2	81.0	84.6	83.3	83.3	74.0	71.1	6.8
年齢別	65～69歳	138	84.1	76.8	81.2	82.6	79.0	73.2	66.7	8.0
	70～74歳	164	87.8	84.1	88.4	87.8	88.4	78.0	74.4	4.3
	75～79歳	203	87.2	78.3	82.8	80.8	80.8	69.5	66.5	6.4
	80～84歳	130	81.5	76.2	84.6	80.8	78.5	71.5	66.9	8.5
	85歳以上	62	85.5	79.0	80.6	75.8	72.6	66.1	66.1	9.7
世帯構成別	1人暮らし	123	85.4	79.7	82.9	84.6	78.0	73.2	71.5	9.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	87.6	81.8	87.0	85.3	83.7	72.3	70.0	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	89.7	82.8	93.1	86.2	82.8	79.3	75.9	3.4
	息子・娘との2世帯	95	83.2	74.7	81.1	80.0	77.9	69.5	66.3	7.4
	その他	127	81.9	76.4	79.5	75.6	81.1	74.0	63.0	10.2
居住地区別	字大山崎	292	85.3	76.7	83.9	82.5	80.5	72.3	66.8	6.8
	字門明寺	343	84.5	80.2	83.1	82.2	81.0	72.3	70.3	7.6
	字下植野	62	91.9	83.9	88.7	82.3	83.9	72.6	66.1	3.2

### (9) 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか

問 82 高齢者の虐待についての相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が 27.1%、「いいえ」が 67.6%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.5 ポイント増加しています。

【図表2-10-18 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 24.3%、女性では 29.2%となっており、女性のほうが 4.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、70～74 歳が 29.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字大山崎が 28.8%で最も高くなっています。

【図表2-10-19 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

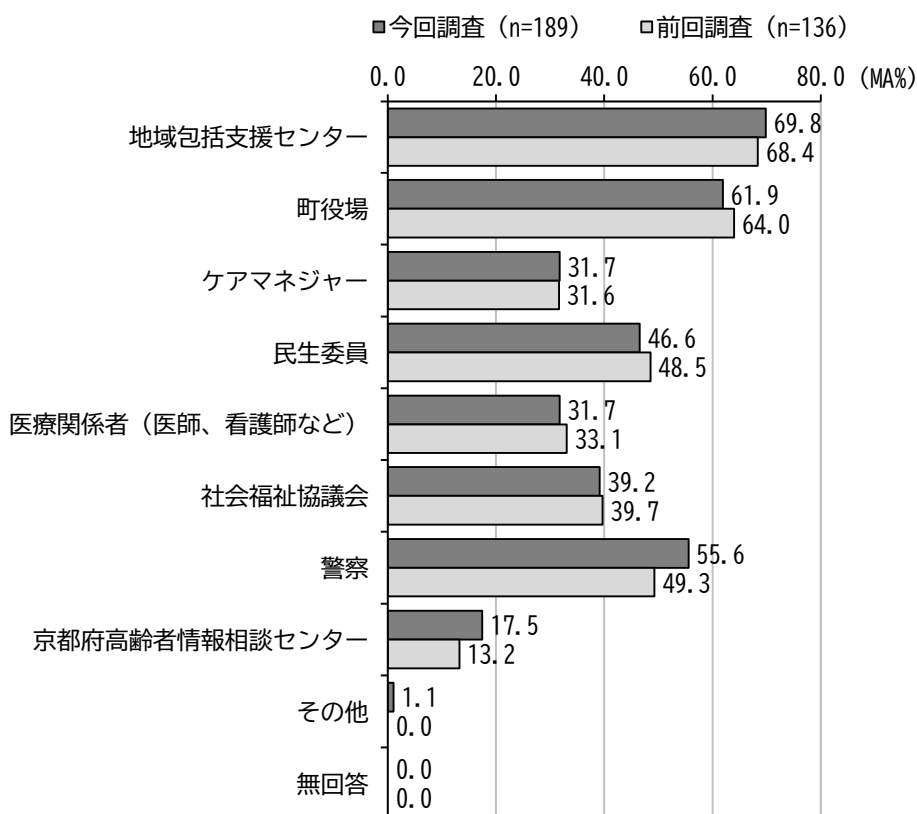
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	24.3	70.9	4.8
	女性	384	29.2	65.1	5.7
年齢別	65～69歳	138	24.6	68.8	6.5
	70～74歳	164	29.3	67.1	3.7
	75～79歳	203	29.1	65.5	5.4
	80～84歳	130	23.1	72.3	4.6
	85歳以上	62	27.4	64.5	8.1
世帯 構成別	1人暮らし	123	26.8	66.7	6.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	27.7	67.1	5.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	20.7	79.3	0.0
	息子・娘との2世帯	95	31.6	63.2	5.3
	その他	127	24.4	70.1	5.5
居住 地区別	字大山崎	292	28.8	65.8	5.5
	字円明寺	343	26.2	68.2	5.5
	字下植野	62	22.6	74.2	3.2

## (10) 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況

問 82-1	<b>【問 82 で「はい」を回答された方のみ】</b> 高齢者の虐待についての相談先としてどんなところをご存知ですか。 (〇はいくつでも)
--------	--

高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況について、「地域包括支援センター」が 69.8%で最も高く、次いで「町役場」が 61.9%、「警察」が 55.6%となっています。また、前回調査と比較して「地域包括支援センター」が 1.4 ポイント増加しています。

【図表2-10-20 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況】



性別にみると、男性・女性ともに「地域包括支援センター」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「地域包括支援センター」では、65～69歳が73.5%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「地域包括支援センター」では、字円明寺が73.3%で最も高くなっています。

【図表2-10-21 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	地域包括支援センター	町役場	ケアマネジャー	民生委員	医療関係者(医師、看護師など)	社会福祉協議会	警察	京都府高齢者情報相談センター	その他	無回答
性別	男性	76	61.8	55.3	28.9	39.5	30.3	36.8	48.7	15.8	0.0	0.0
	女性	112	75.9	67.0	33.9	51.8	33.0	41.1	59.8	18.8	1.8	0.0
年齢別	65～69歳	34	73.5	52.9	41.2	55.9	41.2	35.3	67.6	14.7	0.0	0.0
	70～74歳	48	70.8	81.3	31.3	45.8	27.1	52.1	54.2	20.8	0.0	0.0
	75～79歳	59	71.2	57.6	27.1	44.1	28.8	33.9	55.9	16.9	1.7	0.0
	80～84歳	30	66.7	70.0	20.0	46.7	33.3	33.3	46.7	10.0	3.3	0.0
	85歳以上	17	64.7	29.4	52.9	41.2	35.3	41.2	47.1	29.4	0.0	0.0
世帯構成別	1人暮らし	33	75.8	45.5	30.3	51.5	45.5	24.2	54.5	21.2	0.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	85	72.9	62.4	31.8	40.0	27.1	43.5	54.1	12.9	2.4	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	6	50.0	66.7	16.7	33.3	33.3	50.0	50.0	16.7	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	30	60.0	70.0	23.3	46.7	23.3	33.3	56.7	23.3	0.0	0.0
	その他	31	64.5	67.7	38.7	61.3	35.5	45.2	58.1	22.6	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	84	66.7	63.1	32.1	47.6	33.3	39.3	52.4	11.9	1.2	0.0
	字円明寺	90	73.3	60.0	30.0	45.6	30.0	37.8	55.6	23.3	1.1	0.0
	字下植野	14	71.4	71.4	42.9	50.0	35.7	50.0	71.4	14.3	0.0	0.0

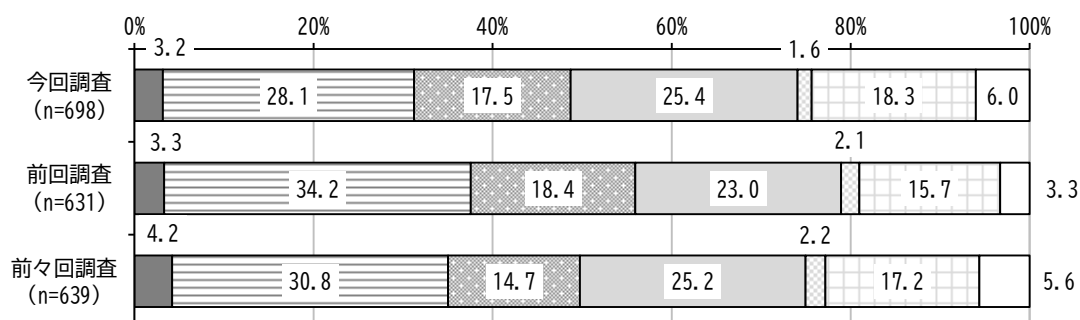
## 11. 今後の生活や高齢者施策全般について

### (1) 介護サービスに関する今後の希望

問 83 介護サービスについて、今後の希望をお教えてください。(○は1つ)

介護サービスに関する今後の希望について、「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」が28.1%で最も高く、次いで「いずれは高齢者向けの施設等に入所あるいは入居したい」が25.4%、「考えていない」が18.3%となっています。また、前回調査と比較して「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」が6.1ポイント減少しています。

【図表2-11-1 介護サービスに関する今後の希望】



- 自宅で介護サービスを利用しないで、家族介護を中心に暮らしたい
- 自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい
- 自宅で介護サービスを利用して、家族介護を受けずに暮らしたい
- いずれは高齢者向けの施設等に入所あるいは入居したい
- その他
- 考えていない
- 無回答

性別にみると、男性・女性ともに「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」では、80～84歳が35.4%で最も高く、「自宅で介護サービスを利用して、家族介護を受けずに暮らしたい」では、70～74歳が20.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」では、字下植野が29.0%で最も高く、「自宅で介護サービスを利用して、家族介護を受けずに暮らしたい」では、字下植野が25.8%で最も高くなっています。

【図表2-11-2 介護サービスに関する今後の希望(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい	自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けずに暮らしたい	自宅で介護サービスを利用して、家族介護を受けずに暮らしたい	に入所あるいは高齢者向けの施設等	その他	考えていない	無回答
性別	男性	313	4.5	31.0	15.3	25.2	1.9	16.3	5.8
	女性	384	2.1	25.8	19.0	25.5	1.3	20.1	6.3
年齢別	65～69歳	138	2.9	26.8	13.8	29.7	1.4	19.6	5.8
	70～74歳	164	3.7	23.2	20.7	27.4	1.2	18.3	5.5
	75～79歳	203	2.5	28.6	18.7	22.7	1.0	20.2	6.4
	80～84歳	130	3.8	35.4	15.4	20.8	2.3	16.9	5.4
	85歳以上	62	3.2	27.4	16.1	29.0	3.2	12.9	8.1
世帯構成別	1人暮らし	123	0.8	12.2	30.1	30.1	3.3	14.6	8.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	3.3	33.9	13.4	24.8	1.6	16.9	6.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	37.9	20.7	13.8	0.0	27.6	0.0
	息子・娘との2世帯	95	4.2	31.6	14.7	25.3	1.1	16.8	6.3
	その他	127	4.7	23.6	17.3	24.4	0.8	24.4	4.7
居住地区別	字大山崎	292	2.4	27.4	15.8	28.1	1.0	19.5	5.8
	字円明寺	343	3.2	28.6	17.2	24.2	1.7	18.1	7.0
	字下植野	62	6.5	29.0	25.8	19.4	3.2	14.5	1.6

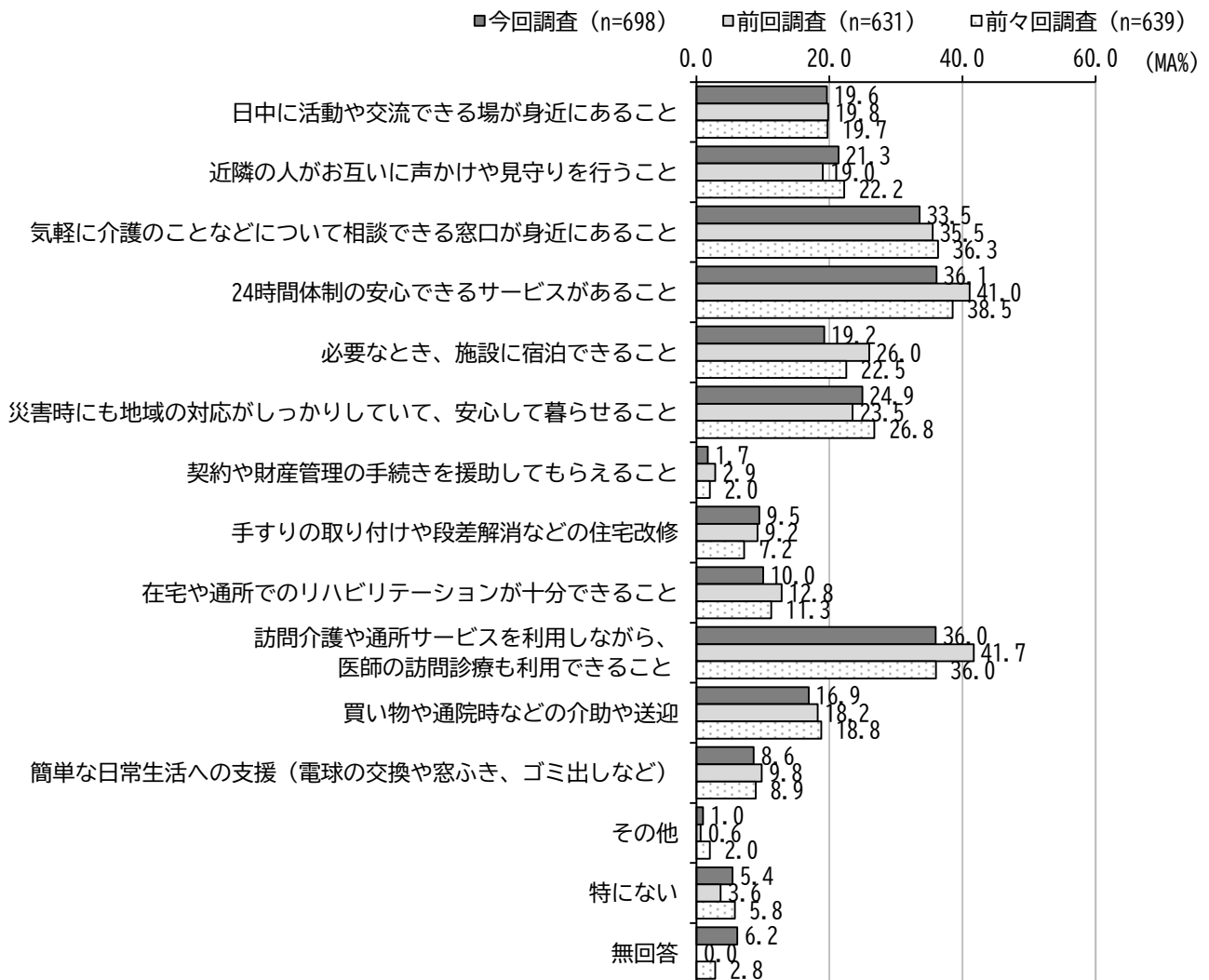
## (2) 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援

問 84

高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができると思いますか。(〇は3つまで)

高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援について、「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が 36.1%で最も高く、次いで「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が 36.0%、「気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること」が 33.5%となっています。また、前回調査と比較して「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が 5.7 ポイント減少しています。

【図表2-11-3 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援】



性別にみると、男性・女性ともに「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」では、70～74 歳が 39.6%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」では、字大山崎が 36.6%で最も高くなっています。

【図表2-11-4 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	身 日 中 に 活 動 や 交 流 で き る 場 が	近 隣 の 人 が お 互 い に 声 か け や 見 守 り を 行 う こ と	気 軽 に 介 護 の こ と な ど に つ い て 相 談 で き る 窓 口 が 身 近 に あ る こ と	2 4 時 間 体 制 の 安 心 で き る サ ー ビ ス が あ る こ と	必 要 な と き 、 施 設 に 宿 泊 で き る こ と	災 害 時 に も 地 域 の 対 応 が し つ せ ら れ て い て 、 安 心 し て 喜 ら せ る こ と	助 約 や 財 産 管 理 の 手 続 き を 援 助 し て も ら え る こ と	手 す り の 取 り 付 け や 段 差 解 消 な ど の 住 宅 改 修	シ ョ ン が 十 分 で き る こ と	訪 問 介 護 や 通 所 サ ー ビ ス を 利 用 し な が ら 、 医 師 の 訪 問 診 療 も 利 用 で き る こ と	買 い 物 や 通 院 時 な ど の 介 助 や 送 迎
男性	313	18.5	21.7	33.5	36.7	20.8	23.0	2.2	10.2	9.9	36.4	17.6
女性	384	20.6	21.1	33.3	35.7	18.0	26.6	1.3	8.9	10.2	35.4	16.4
65～69歳	138	22.5	22.5	33.3	37.7	18.8	25.4	0.7	9.4	13.8	31.9	12.3
70～74歳	164	17.1	23.2	29.3	35.4	23.8	24.4	3.7	7.3	9.8	39.6	23.2
75～79歳	203	23.2	18.2	34.5	41.9	19.7	22.7	0.0	11.3	10.8	35.5	17.2
80～84歳	130	15.4	22.3	35.4	26.2	13.8	28.5	3.1	12.3	9.2	38.5	16.2
85歳以上	62	17.7	22.6	37.1	37.1	17.7	25.8	1.6	3.2	1.6	30.6	11.3
1人暮らし	123	20.3	19.5	36.6	40.7	12.2	29.3	0.8	8.9	8.9	35.8	17.1
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	18.2	19.9	32.6	34.9	20.8	23.5	2.0	10.4	13.0	39.4	18.9
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	27.6	13.8	24.1	34.5	20.7	20.7	0.0	6.9	13.8	41.4	17.2
息子・娘との2世帯	95	21.1	20.0	29.5	36.8	21.1	27.4	1.1	7.4	7.4	36.8	13.7
その他	127	18.1	29.1	38.6	36.2	18.9	22.0	3.1	6.3	4.7	28.3	15.0
字大山崎	292	17.5	24.7	33.6	35.6	15.8	26.7	3.1	8.6	6.5	36.6	18.5
字円明寺	343	21.6	19.5	33.5	36.2	20.7	21.9	0.9	10.5	12.0	35.3	14.9
字下植野	62	19.4	16.1	32.3	38.7	27.4	33.9	0.0	8.1	16.1	35.5	21.0

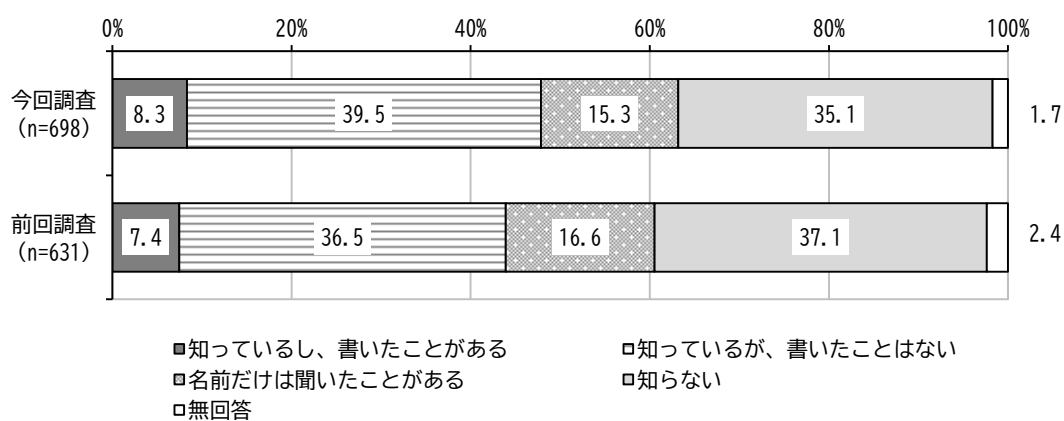
	合計(人)	球 の 交 換 や 窓 か き 、 ゴ ミ 出 し な ど	簡 単 な 日 常 生 活 へ の 支 援 (電 話 な ど)	そ の 他	特 に な い	無 回 答
男性	313	7.3	1.0	4.8	6.7	
女性	384	9.4	1.0	6.0	5.7	
65～69歳	138	11.6	0.0	6.5	4.3	
70～74歳	164	7.3	3.0	3.7	6.1	
75～79歳	203	6.9	0.5	4.9	5.9	
80～84歳	130	9.2	0.8	6.9	6.9	
85歳以上	62	8.1	0.0	6.5	9.7	
1人暮らし	123	16.3	1.6	3.3	8.1	
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	7.8	1.3	5.2	6.2	
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	6.9	0.0	13.8	0.0	
息子・娘との2世帯	95	4.2	0.0	7.4	5.3	
その他	127	7.9	0.8	5.5	6.3	
字大山崎	292	8.2	1.0	5.5	5.1	
字円明寺	343	8.7	1.2	6.1	7.6	
字下植野	62	8.1	0.0	1.6	3.2	

### (3) エンディングノートの認知状況

問 85	乙訓医師会では、身近な地域での「人生最期の過ごし方」について考えるきっかけとして、小冊子『私の医療に対する希望』を配布しています。 あなたは、同冊子、あるいは、同じような趣旨で受けた医療への希望などをあらかじめ書いておくノート(「エンディングノート」などと呼ばれることが多い)を知っていますか。(○は1つ)
------	--

エンディングノートの認知状況について、「知っているが、書いたことはない」が 39.5%で最も高く、次いで「知らない」が 35.1%、「名前だけは聞いたことがある」が 15.3%となっています。また、前回調査と比較して「知っているが、書いたことはない」が 3.0 ポイント増加しています。

【図表2-11-5 エンディングノートの認知状況】



性別にみると、男性では、「知らない」が 41.2%で最も高く、女性では、「知っているが、書いたことはない」が 42.7%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「知っているし、書いたことがある」では、80～84 歳が 10.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「知っているし、書いたことがある」では、字円明寺が 9.0%で最も高くなっています。

【図表2-11-6 エンディングノートの認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	知っているが、書いたことはない	知っているが、書いたことはない	名前だけが聞いている	知らない	無回答
性別	男性	313	6.7	35.8	15.0	41.2	1.3
	女性	384	9.6	42.7	15.6	29.9	2.1
年齢別	65～69歳	138	4.3	39.9	15.2	40.6	0.0
	70～74歳	164	9.1	45.1	15.2	29.3	1.2
	75～79歳	203	8.9	39.4	15.8	33.5	2.5
	80～84歳	130	10.0	36.9	16.9	33.8	2.3
	85歳以上	62	9.7	30.6	11.3	45.2	3.2
世帯構成別	1人暮らし	123	16.3	39.8	9.8	29.3	4.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	307	6.8	42.3	15.6	33.6	1.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	24.1	13.8	62.1	0.0
	息子・娘との2世帯 その他	95 127	9.5 5.5	35.8 40.9	22.1 15.0	32.6 38.6	0.0 0.0
居住地区別	字大山崎	292	8.2	42.5	15.1	31.8	2.4
	字円明寺	343	9.0	38.2	15.5	35.9	1.5
	字下植野	62	4.8	33.9	16.1	45.2	0.0

## 12. リスク判定

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は、要介護状態になる前の高齢者について、要介護状態になるリスクの発生状況と、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を特定することを目的に実施しています。

ここでは、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を使用し、各種リスクの判定を行っています。

### (1) 運動機能の低下

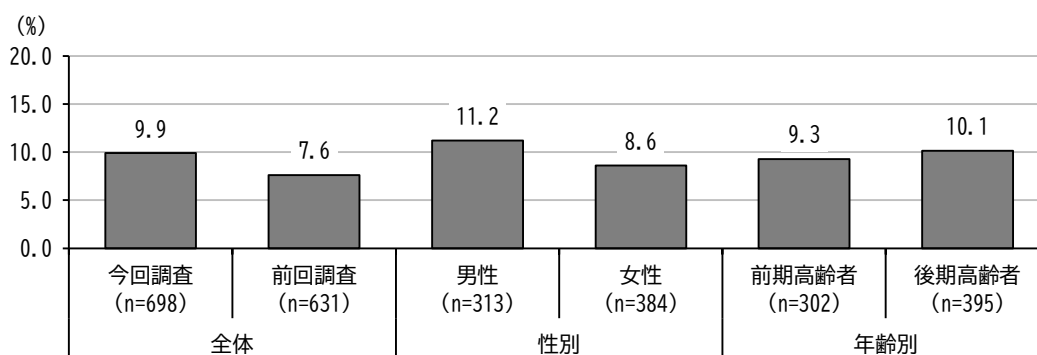
下記の5設問について、3問以上該当する選択肢が回答された場合、運動器機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表2-12-1 運動機能の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「できない」
問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	「できない」
問7	15分位続けて歩いていますか。	「できない」
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」 「1度ある」
問9	転倒に対する不安は大きいですか。	「とても不安である」 「やや不安である」

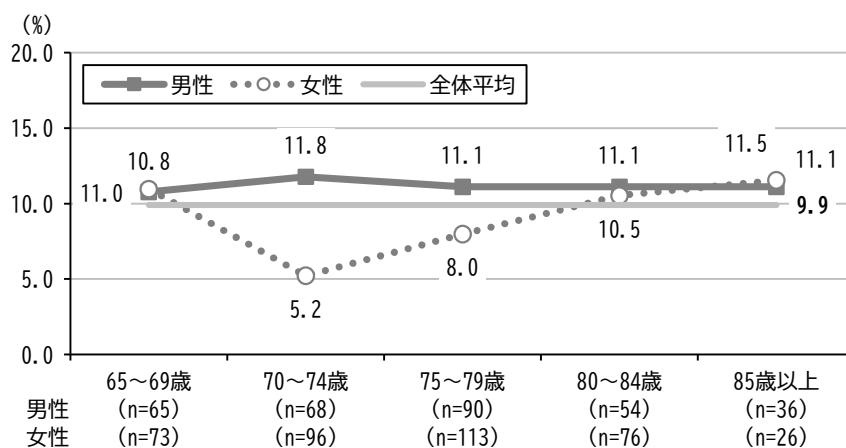
運動機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で9.9%となっています。前回調査と比較すると、2.3ポイント増加しています。

【図表2-12-2 運動機能の低下 該当者の割合】



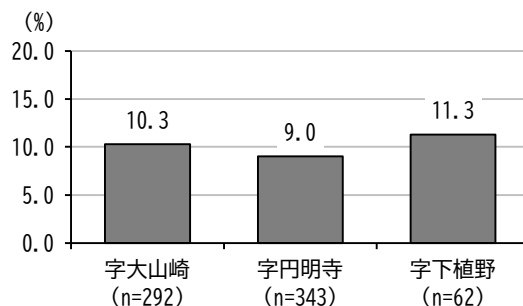
性別にみると、男性では、「70～74歳」が11.8%で最も高く、女性では、「85歳以上」が11.5%で最も高くなっています。

【図表2-12-3 運動機能の低下 該当者の割合(性別・年齢別)】



字別でみると、「字下植野」が11.3%で最も高くなっています。

【図表2-12-4 運動機能の低下 該当者の割合(字別)】



## (2) 低栄養状態

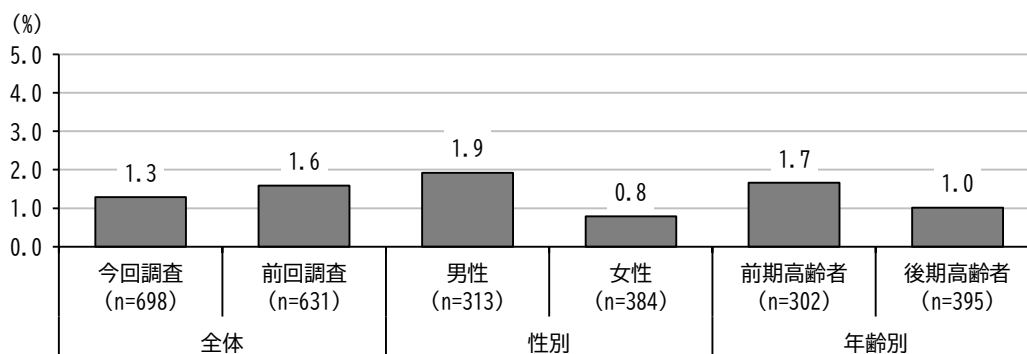
下記の2設問について、2問とも該当する選択肢が回答された場合、低栄養状態の高齢者として判定しました。

【図表2-12-5 低栄養状態を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 16	身長と体重を教えてください。	身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5以下
問 24	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。	「はい」

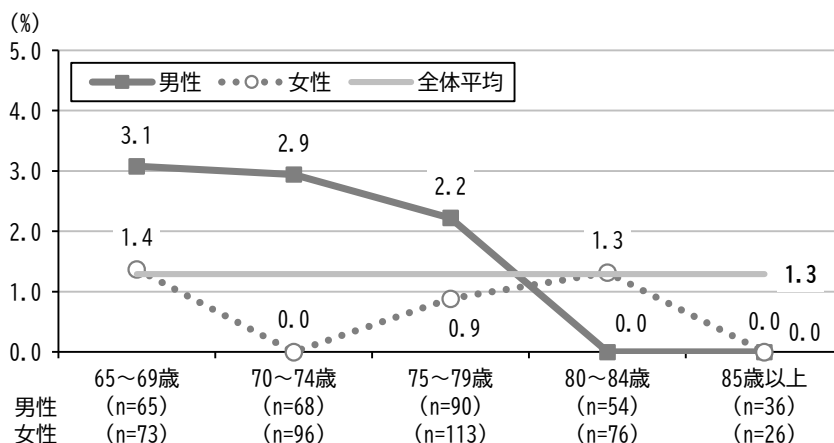
低栄養状態と判断された高齢者の割合は、全体で 1.3%となっています。前回調査と比較すると、0.3 ポイント減少しています。

【図表2-12-6 低栄養状態 該当者の割合】



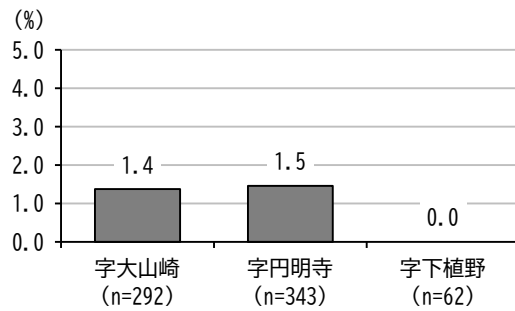
性別にみると、男性・女性ともに「65~69歳」が最も高くなっています。

【図表2-12-7 低栄養状態 該当者の割合(性別・年齢別)】



字別でみると、「字円明寺」が1.5%で最も高くなっています。

【図表2-12-8 低栄養状態 該当者の割合(字別)】



### (3) 口腔機能の低下

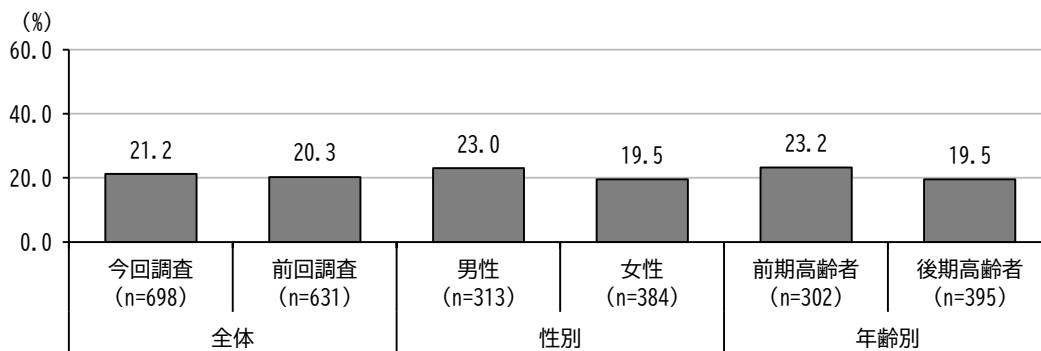
下記の3設問について、2問以上該当する選択肢が回答された場合、口腔機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表2-12-9 口腔機能の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 17	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	「はい」
問 18	お茶や汁物等でむせることがありますか。	「はい」
問 19	口の渇きが気になりますか。	「はい」

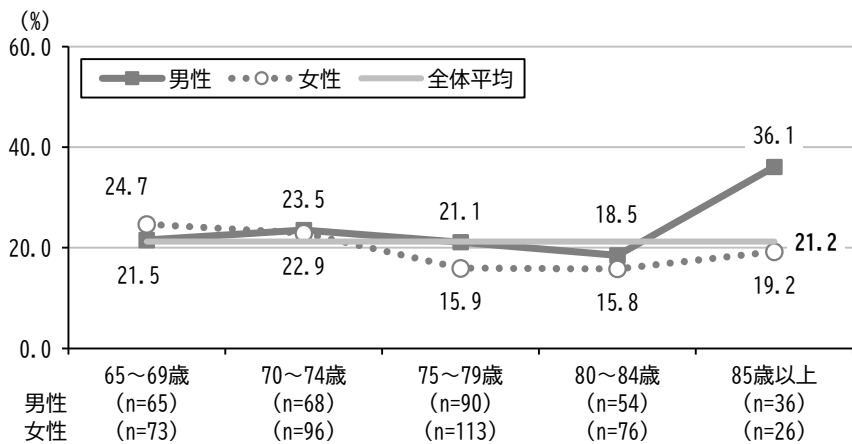
口腔機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 21.2%となっています。前回調査と比較すると、0.9ポイント増加しています。

【図表2-12-10 口腔機能の低下 該当者の割合】



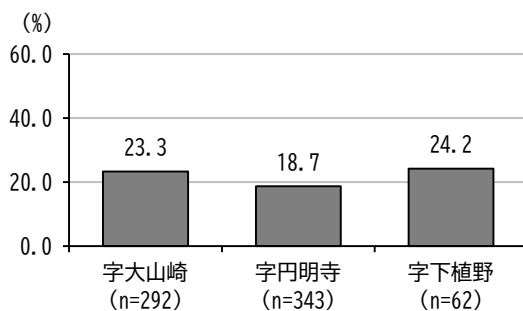
性別にみると、男性では、「85歳以上」が36.1%で最も高く、女性では、「65～69歳」が24.7%で最も高くなっています。

【図表2-12-11 口腔機能の低下 該当者の割合(性別・年齢別)】



字別でみると、「字下植野」が24.2%で最も高くなっています。

【図表2-12-12 口腔機能の低下 該当者の割合(字別)】



#### (4) 閉じこもり傾向

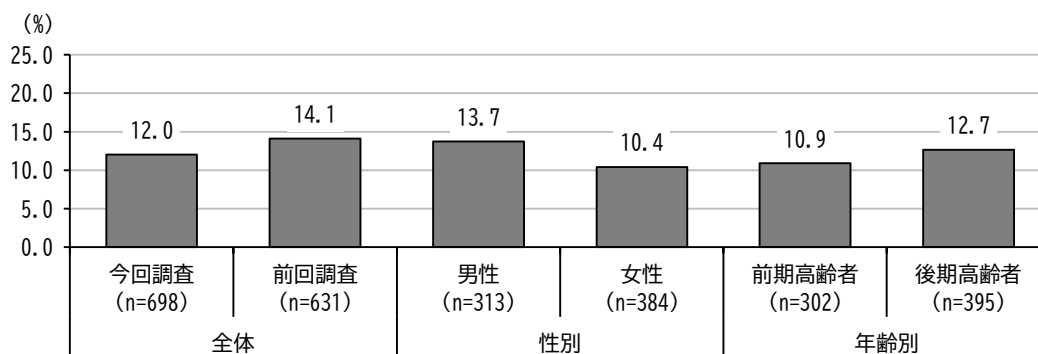
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、閉じこもり傾向の高齢者として判定しました。

【図表2-12-13 閉じこもり傾向を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 10	週に1回以上は外出していますか。	「ほとんど外出しない」 「週1回」

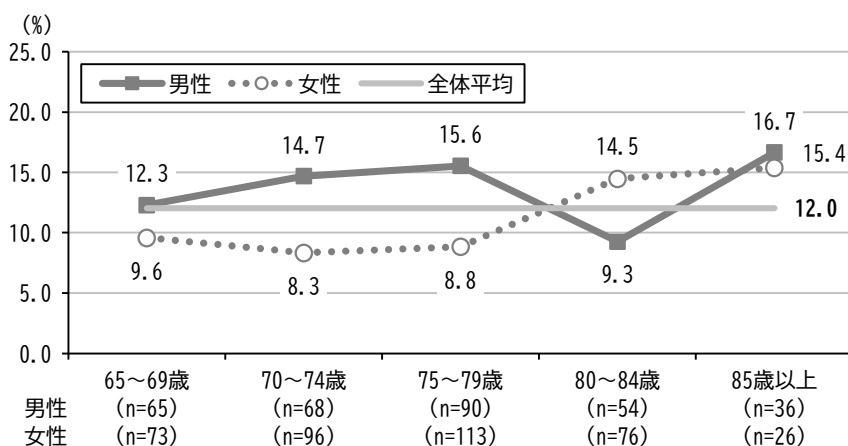
閉じこもり傾向と判断された高齢者の割合は、全体で 12.0%となっています。前回調査と比較すると、2.1ポイント減少しています。

【図表2-12-141 閉じこもり傾向 該当者の割合】



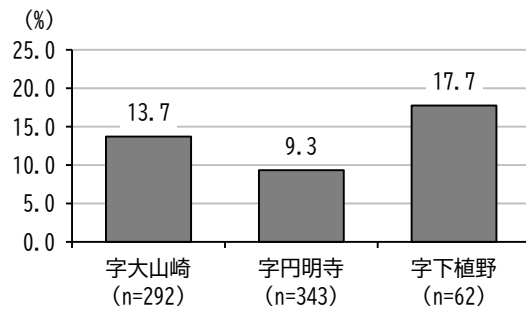
性別にみると、男性・女性ともに「85歳以上」が最も高くなっています。

【図表2-12-15 閉じこもり傾向 該当者の割合(性別・年齢別)】



字別でみると、「字下植野」が17.7%で最も高くなっています。

【図表2-12-16 閉じこもり傾向 該当者の割合(字別)】



### (5) 認知機能の低下

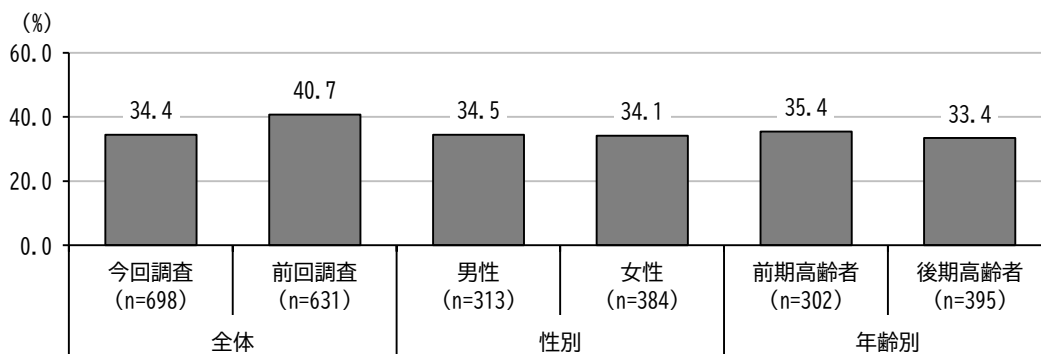
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、認知機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表2-12-17 認知機能の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 26	物忘れが多いと感じますか。	「はい」

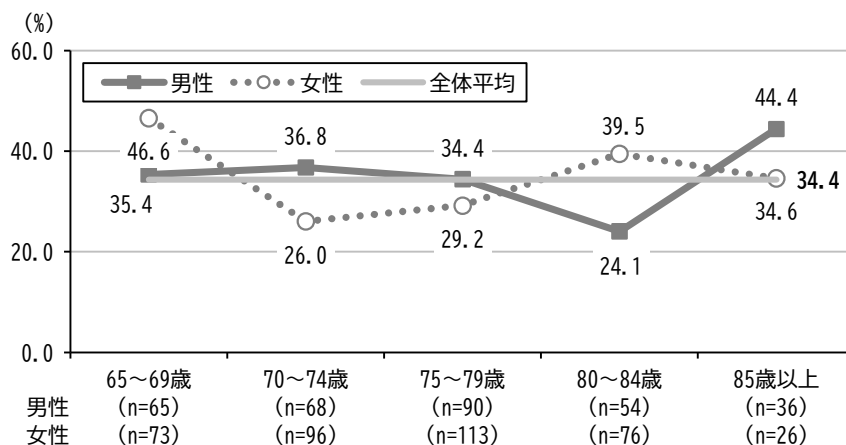
認知機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 34.4%となっています。前回調査と比較すると、6.3 ポイント減少しています。

【図表2-12-18 認知機能の低下 該当者の割合】



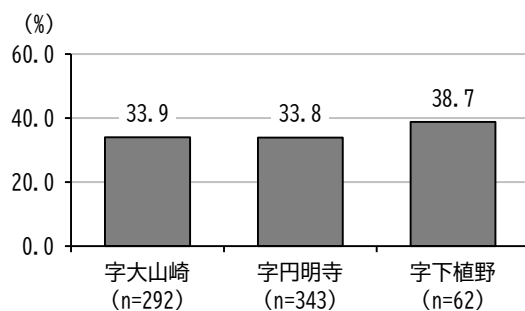
性別にみると、男性では、「85歳以上」が44.4%で最も高く、女性では、「65～69歳」が46.6%で最も高くなっています。

【図表2-12-19 認知機能の低下 該当者の割合(性別・年齢別)】



字別でみると、「字下植野」が38.7%で最も高くなっています。

【図表2-12-20 認知機能の低下 該当者の割合(字別)】



## (6) うつ傾向

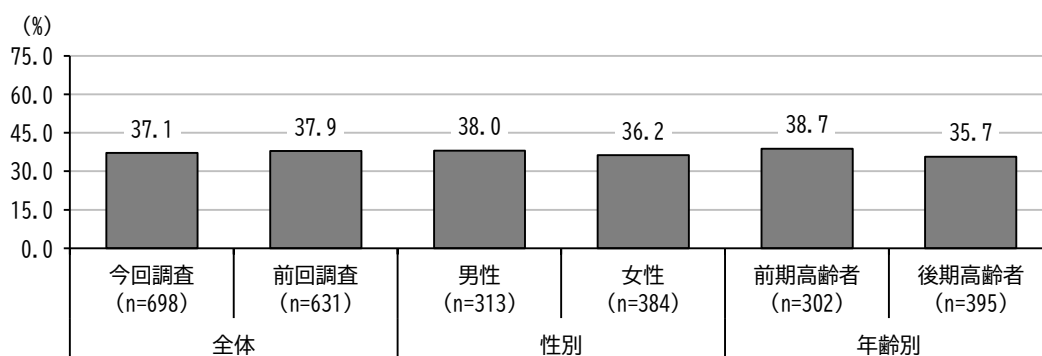
下記の2設問について、いずれか1問でも該当する選択肢が回答された場合、うつ傾向の高齢者として判定しました。

【図表2-12-21 うつ傾向を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 64	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「はい」
問 65	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	「はい」

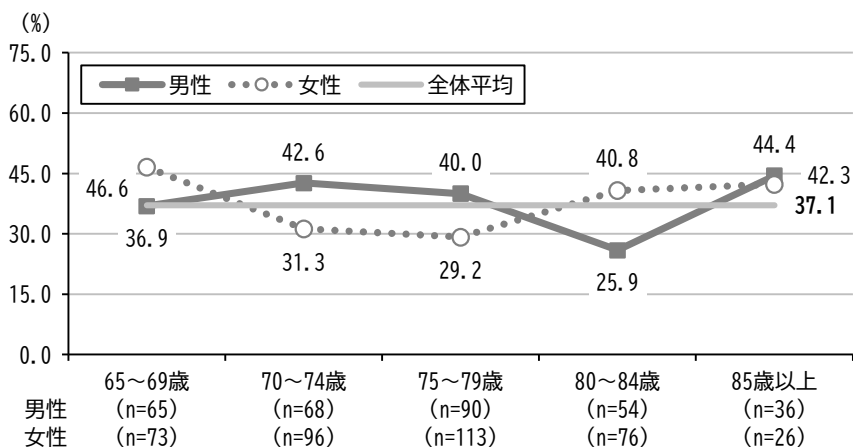
うつ傾向と判断された高齢者の割合は、全体で 37.1%となっています。前回調査と比較すると、0.8 ポイント減少しています。

【図表2-12-22 うつ傾向 該当者の割合】



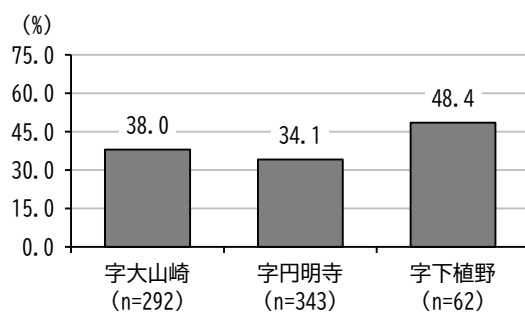
性別にみると、男性では、「85歳以上」が44.4%で最も高く、女性では、「65～69歳」が46.6%で最も高くなっています。

【図表2-12-23 うつ傾向 該当者の割合(性別・年齢別)】



字別でみると、「字下植野」が48.4%で最も高くなっています。

【図表2-12-24 うつ傾向 該当者の割合(字別)】



### (7) 転倒リスク

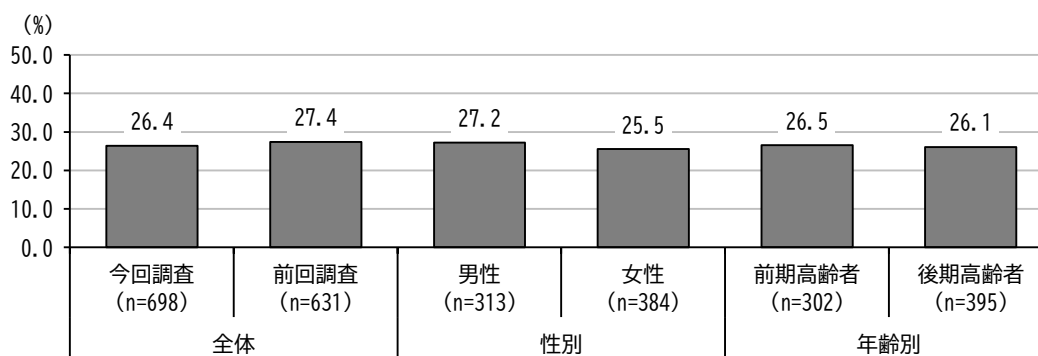
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、転倒リスクがある高齢者として判定しました。

【図表2-12-25 転倒リスクを判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」 「1度ある」

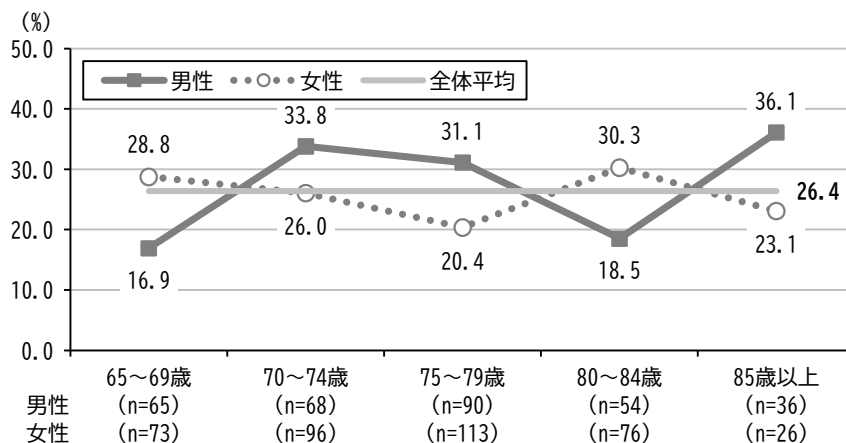
転倒リスクがあると判断された高齢者の割合は、全体で26.4%となっています。前回調査と比較すると、1.1ポイント減少しています。

【図表2-12-26 転倒リスク 該当者の割合】



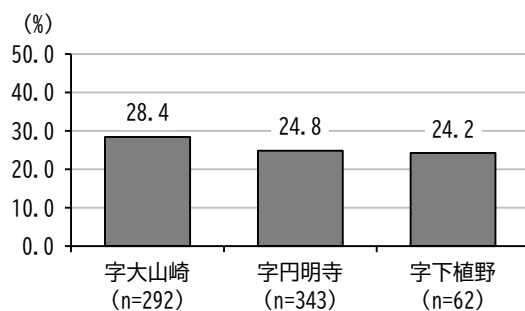
性別にみると、男性では、「85歳以上」が36.1%で最も高く、女性では、「80～84歳」が30.3%で最も高くなっています。

【図表2-12-27 転倒リスク 該当者の割合(性別・年齢別)】



字別でみると、「字大山崎」が28.4%で最も高くなっています。

【図表2-12-28 転倒リスク 該当者の割合(字別)】



## (8) IADL の低下

老研式活動能力指標に基づき、下記の5設問について、該当する選択肢を回答した場合を1点として、5点満点で評価し、4点以下の場合、IADL(手段的日常生活自立度)が低下している高齢者として判定しました。

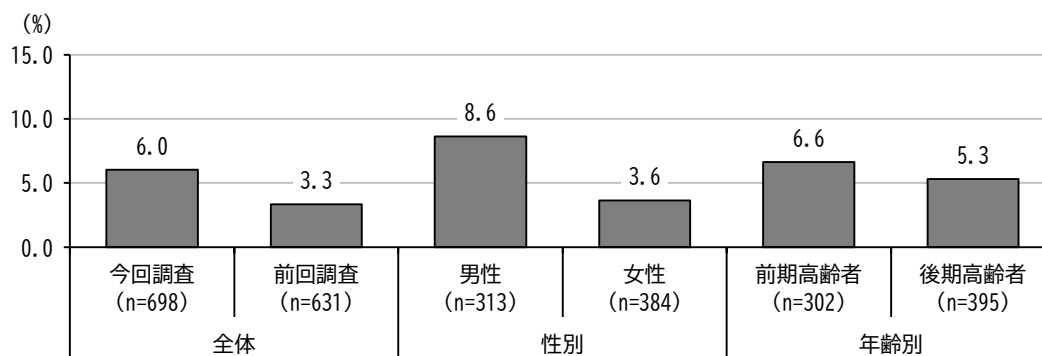
※IADL(手段的日常生活自立度)とは買物、電話、外出等、ADL(日常生活動作:起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容)よりも高い自立した日常生活を送る能力をいいます。

【図表2-12-29 IADL の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 30	バスや電車を使って1人で外出していますか。 (自家用車でも可)	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 31	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 32	自分で食事の用意をしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 33	自分で請求書の支払いをしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 34	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」

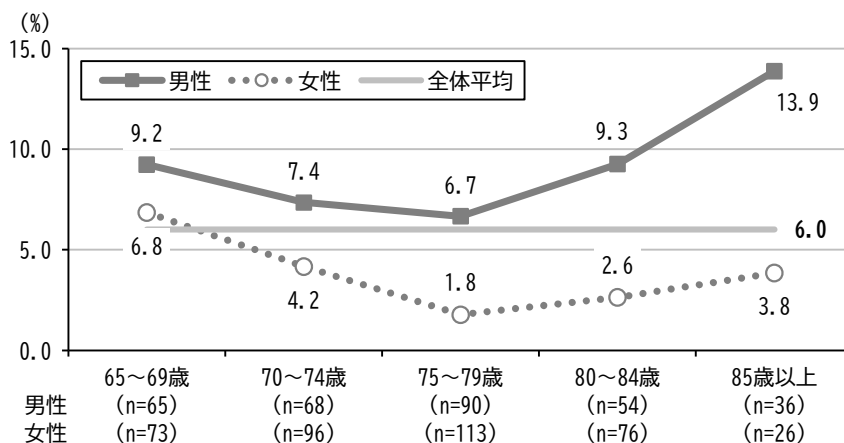
IADL が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 6.0%となっています。前回調査と比較すると、2.7ポイント増加しています。

【図表2-12-30 IADL の低下 該当者の割合】



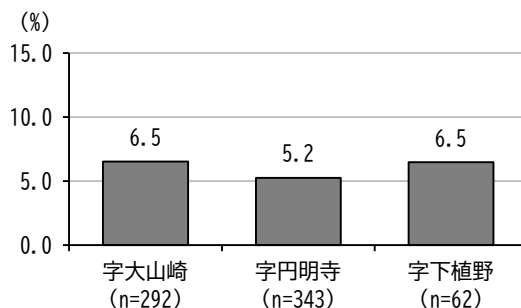
性別にみると、男性では、「85歳以上」が13.9%で最も高く、女性では、「65～69歳」が6.8%で最も高くなっています。

【図表2-12-31 IADLの低下 該当者の割合(性別・年齢別)】



字別でみると、「字大山崎」と「字下植野」が6.5%で最も高くなっています。

【図表2-12-32 IADLの低下 該当者の割合(字別)】



## 第3章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査(要支援認定者対象)の結果

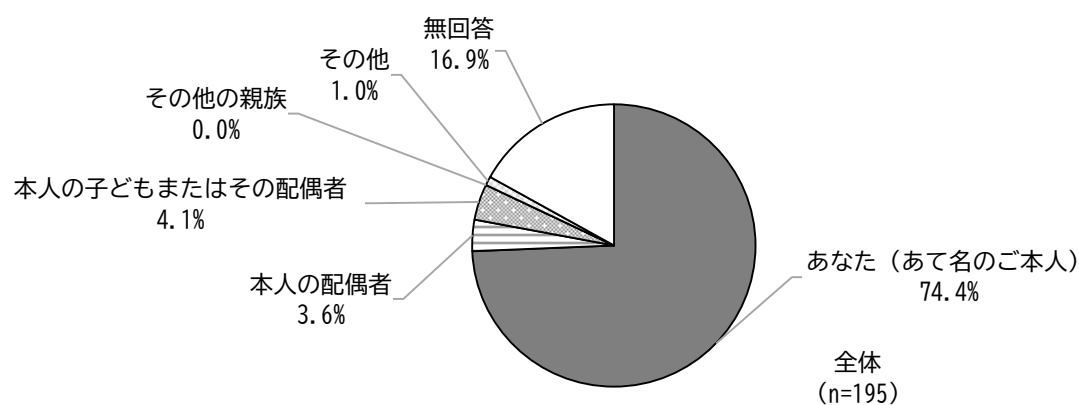
### 1. 回答者の属性

#### (1) 回答者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

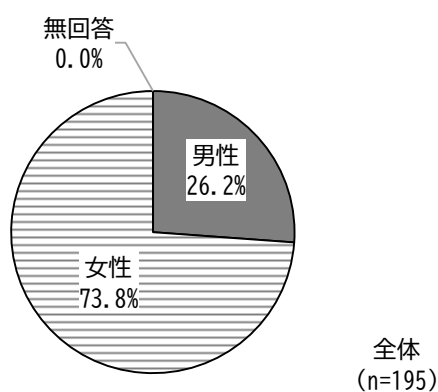
回答者について、「あなた(あて名のご本人)」が74.4%で最も高く、次いで「本人の子どもまたはその配偶者」が4.1%、「本人の配偶者」が3.6%となっています。

【図表3-1-1 回答者】



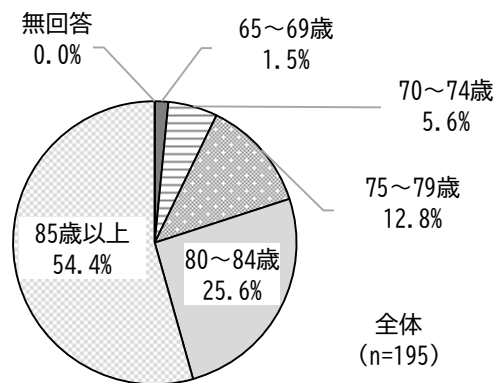
性別について、「男性」が26.2%、「女性」が73.8%となっています。

【図表3-1-2 性別】



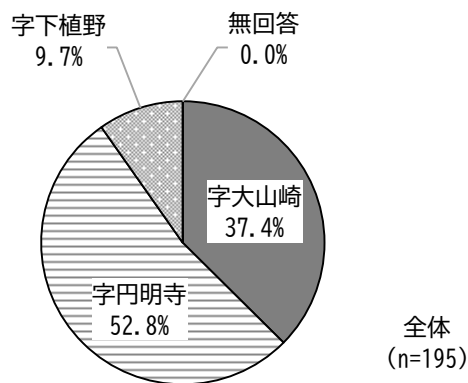
年齢について、「85歳以上」が54.4%で最も高く、次いで「80～84歳」が25.6%、「75～79歳」が12.8%となっています。

【図表3-1-3 年齢】



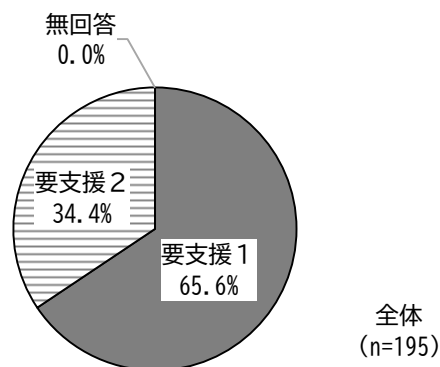
居住地区について、「字円明寺」が52.8%で最も高く、次いで「字大山崎」が37.4%、「字下植野」が9.7%となっています。

【図表3-1-4 居住地区】



認定状況について、「要支援1」が65.6%、「要支援2」が34.4%となっています。

【図表3-1-5 認定状況】

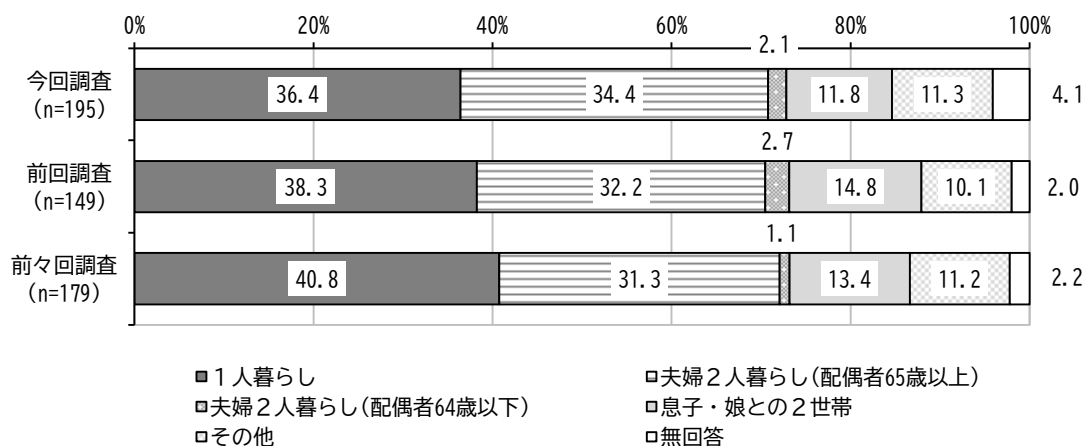


## (2) 世帯構成

問1 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

世帯構成について、「1人暮らし」が 36.4%で最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 34.4%、「息子・娘との2世帯」が 11.8%となっています。また、前回調査と比較して「1人暮らし」が 1.9 ポイント減少しています。

【図表3-1-6 世帯構成】

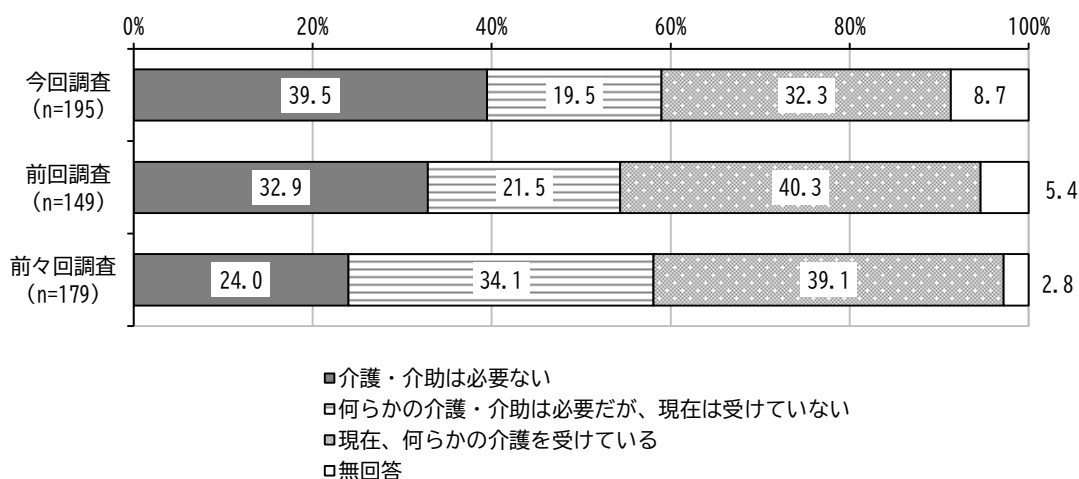


### (3) 介護・介助の状況

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

介護・介助の状況について、「介護・介助は必要ない」が 39.5%で最も高く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が32.3%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が19.5%となっています。また、前回調査と比較して「介護・介助は必要ない」が6.6ポイント増加しています。

【図表3-1-7 介護・介助の状況】



性別にみると、「介護・介助は必要ない」について、男性では43.1%、女性では38.2%となっており、男性のほうが4.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「介護・介助は必要ない」では、65～74歳が57.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「介護・介助は必要ない」では、字下植野が47.4%で最も高くなっています。

【図表3-1-8 介護・介助の状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	要介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
性別	男性	51	43.1	27.5	23.5	5.9
	女性	144	38.2	16.7	35.4	9.7
年齢別	65～74歳	14	57.1	21.4	21.4	0.0
	75～84歳	75	49.3	17.3	26.7	6.7
	85歳以上	106	30.2	20.8	37.7	11.3
世帯構成別	1人暮らし	71	36.6	22.5	31.0	9.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	47.8	17.9	29.9	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	25.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	26.1	17.4	39.1	17.4
	その他	22	40.9	18.2	31.8	9.1
居住地区別	字大山崎	73	34.2	20.5	35.6	9.6
	字円明寺	103	41.7	20.4	28.2	9.7
	字下植野	19	47.4	10.5	42.1	0.0
認定状況別	要支援1	128	43.8	21.1	25.8	9.4
	要支援2	67	31.3	16.4	44.8	7.5

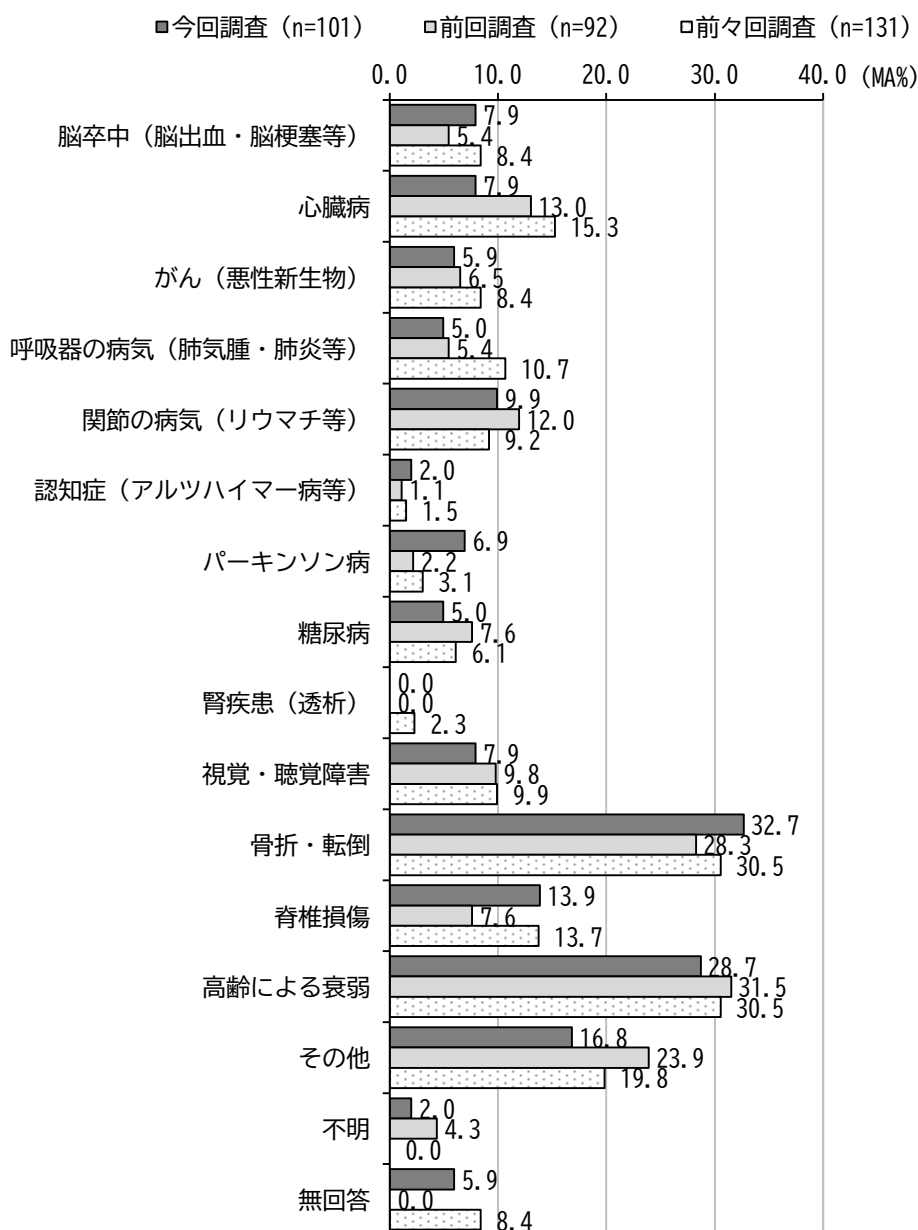
#### (4) 介護・介助が必要になった原因

問2-1	<p>【問2で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」を回答された方のみ】</p> <p>介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(○はいくつでも)</p>
------	---

介護・介助が必要になった原因について、「骨折・転倒」が 32.7%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」が 28.7%、「その他」が 16.8%となっています。また、前回調査と比較して「骨折・転倒」が 4.4 ポイント増加しています。

また、その他の内容について、『歩行困難』(8件)などがあります。

【図表3-1-9 介護・介助が必要になった原因】



性別にみると、男性・女性ともに「骨折・転倒」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「骨折・転倒」では、85歳以上が35.5%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「骨折・転倒」では、字下植野が50.0%で最も高くなっています。

【図表3-1-10 介護・介助が必要になった原因(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	腫呼吸器の病気(肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒
性別	男性	26	11.5	15.4	7.7	11.5	11.5	0.0	11.5	0.0	0.0	11.5	30.8
	女性	75	6.7	5.3	5.3	2.7	9.3	2.7	5.3	6.7	0.0	6.7	33.3
年齢別	65～74歳	6	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	75～84歳	33	6.1	3.0	9.1	6.1	6.1	3.0	6.1	3.0	0.0	6.1	33.3
	85歳以上	62	8.1	11.3	1.6	4.8	12.9	1.6	6.5	4.8	0.0	9.7	35.5
世帯構成別	1人暮らし	38	10.5	5.3	7.9	0.0	7.9	2.6	7.9	7.9	0.0	7.9	42.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	32	9.4	15.6	3.1	12.5	9.4	3.1	6.3	3.1	0.0	9.4	28.1
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	13	0.0	7.7	15.4	0.0	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7
	その他	11	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	54.5
居住地区別	字大山崎	41	9.8	4.9	4.9	9.8	12.2	2.4	4.9	4.9	0.0	7.3	26.8
	字円明寺	50	6.0	12.0	8.0	2.0	10.0	2.0	10.0	4.0	0.0	8.0	34.0
	字下植野	10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	50.0
認定状況別	要支援1	60	5.0	6.7	6.7	6.7	11.7	1.7	8.3	6.7	0.0	10.0	40.0
	要支援2	41	12.2	9.8	4.9	2.4	7.3	2.4	4.9	2.4	0.0	4.9	22.0

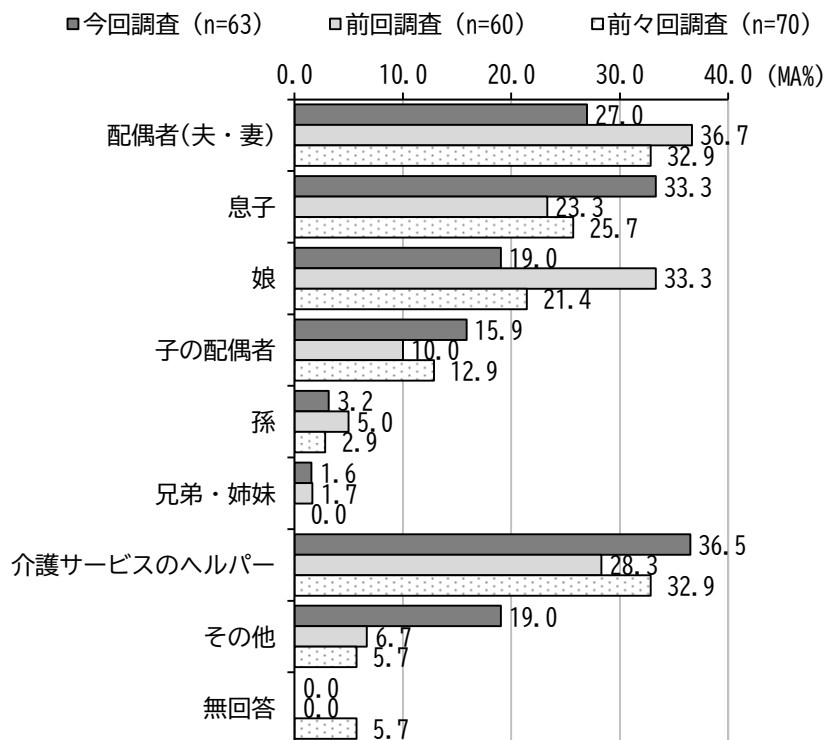
		合計(人)	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
性別	男性	26	7.7	23.1	3.8	3.8	11.5
	女性	75	16.0	30.7	21.3	1.3	4.0
年齢別	65～74歳	6	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0
	75～84歳	33	18.2	18.2	12.1	0.0	6.1
	85歳以上	62	11.3	37.1	17.7	3.2	6.5
世帯構成別	1人暮らし	38	15.8	28.9	18.4	2.6	10.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	32	21.9	28.1	9.4	3.1	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	息子・娘との2世帯	13	0.0	46.2	15.4	0.0	7.7
	その他	11	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	41	12.2	36.6	22.0	2.4	4.9
	字円明寺	50	14.0	28.0	12.0	2.0	8.0
	字下植野	10	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	60	13.3	36.7	16.7	1.7	5.0
	要支援2	41	14.6	17.1	17.1	2.4	7.3

(5) 介護者・介助者

問2-2 【問2で「現在、何らかの介護を受けている」を回答された方のみ】  
主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

介護者・介助者について、「介護サービスのヘルパー」が36.5%で最も高く、次いで「息子」が33.3%、「配偶者(夫・妻)」が27.0%となっています。また、前回調査と比較して「介護サービスのヘルパー」が8.2ポイント増加しています。

【図表3-1-11 介護者・介助者】



性別にみると、男性では、「配偶者(夫・妻)」が58.3%で最も高く、女性では、「介護サービスのヘルパー」が39.2%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「介護サービスのヘルパー」では、85歳以上が40.0%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「介護サービスのヘルパー」では、字円明寺が41.4%で最も高くなっています。

【図表3-1-12 介護者・介助者(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

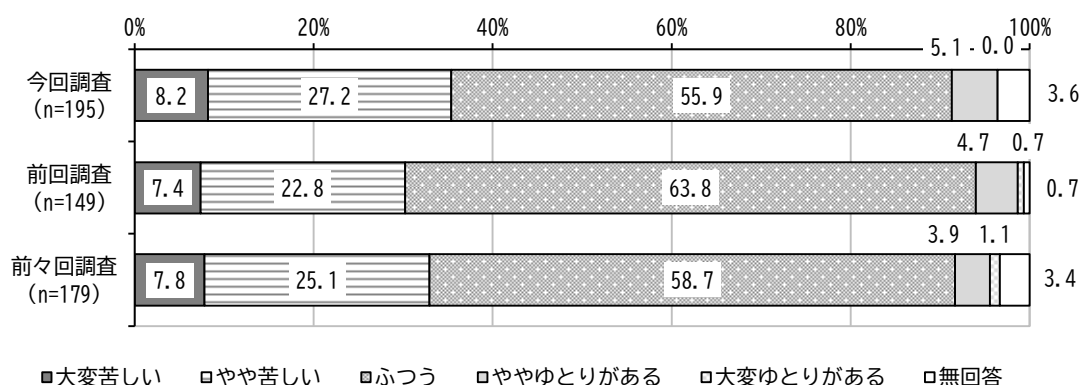
		合計(人)	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
性別	男性	12	58.3	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	16.7	0.0
	女性	51	19.6	35.3	17.6	19.6	3.9	2.0	39.2	19.6	0.0
年齢別	65～74歳	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	75～84歳	20	45.0	5.0	15.0	10.0	5.0	5.0	35.0	25.0	0.0
	85歳以上	40	15.0	50.0	22.5	20.0	2.5	0.0	40.0	12.5	0.0
世帯構成別	1人暮らし	22	0.0	27.3	22.7	9.1	4.5	0.0	54.5	31.8	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	20	55.0	30.0	15.0	10.0	0.0	5.0	30.0	20.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	9	11.1	77.8	22.2	44.4	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
	その他	7	57.1	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	57.1	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	26	26.9	50.0	23.1	23.1	3.8	3.8	30.8	23.1	0.0
	字円明寺	29	24.1	20.7	13.8	10.3	3.4	0.0	41.4	20.7	0.0
	字下植野	8	37.5	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	33	21.2	39.4	21.2	15.2	3.0	3.0	30.3	30.3	0.0
	要支援2	30	33.3	26.7	16.7	16.7	3.3	0.0	43.3	6.7	0.0

## (6) 経済的な暮らしの状況

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

経済的な暮らしの状況について、「ふつう」が 55.9%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 27.2%、「大変苦しい」が 8.2%となっています。また、前回調査と比較して「ふつう」が 7.9 ポイント減少しています。

【図表3-1-13 経済的な暮らしの状況】



性別にみると、男性・女性ともに「ふつう」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「大変苦しい」では、65～74 歳が 21.4%で最も高く、「やや苦しい」でも、65～74 歳が 42.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「大変苦しい」では、字円明寺が 8.7%で最も高く、「やや苦しい」では、字大山崎が 31.5%で最も高くなっています。

【図表3-1-14 経済的な暮らしの状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

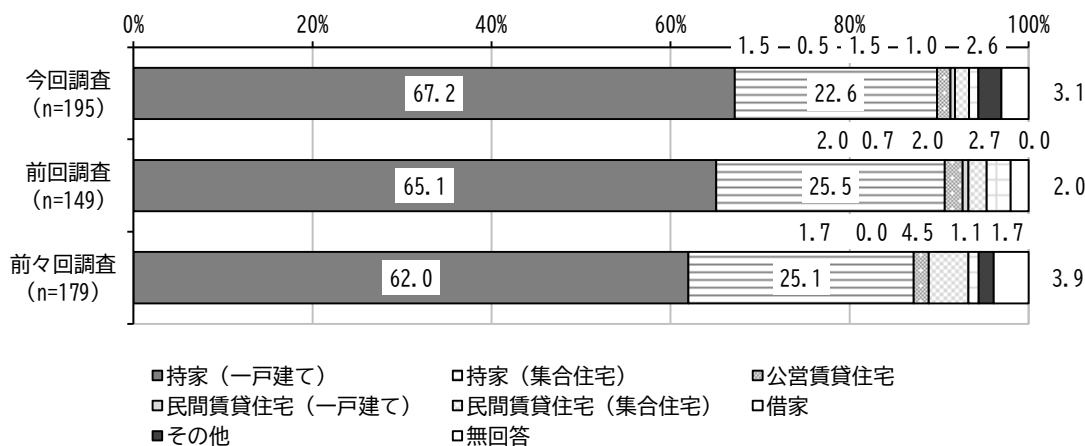
		合計(人)	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
性別	男性	51	13.7	31.4	47.1	3.9	0.0	3.9
	女性	144	6.3	25.7	59.0	5.6	0.0	3.5
年齢別	65～74歳	14	21.4	42.9	35.7	0.0	0.0	0.0
	75～84歳	75	5.3	33.3	49.3	5.3	0.0	6.7
	85歳以上	106	8.5	20.8	63.2	5.7	0.0	1.9
世帯構成別	1人暮らし	71	8.5	18.3	63.4	4.2	0.0	5.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	7.5	31.3	50.7	6.0	0.0	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	13.0	17.4	69.6	0.0	0.0	0.0
	その他	22	4.5	40.9	40.9	13.6	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	73	8.2	31.5	46.6	8.2	0.0	5.5
	字円明寺	103	8.7	25.2	61.2	1.9	0.0	2.9
	字下植野	19	5.3	21.1	63.2	10.5	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	128	5.5	27.3	57.8	5.5	0.0	3.9
	要支援2	67	13.4	26.9	52.2	4.5	0.0	3.0

## (7) 居住形態

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

居住形態について、「持家(一戸建て)」が67.2%で最も高く、次いで「持家(集合住宅)」が22.6%、「その他」が2.6%となっています。また、前回調査と比較して「持家(一戸建て)」が2.1ポイント増加しています。

【図表3-1-15 居住形態】



性別にみると、男性・女性ともに「持家(一戸建て)」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「持家(一戸建て)」では、65～74歳が85.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「持家(一戸建て)」では、字大山崎が95.9%で最も高くなっています。

【図表3-1-16 居住形態(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
性別	男性	51	72.5	19.6	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	女性	144	65.3	23.6	2.1	0.7	1.4	0.7	2.8	3.5
年齢別	65～74歳	14	85.7	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
	75～84歳	75	74.7	14.7	2.7	0.0	4.0	1.3	1.3	1.3
	85歳以上	106	59.4	30.2	0.9	0.9	0.0	0.9	2.8	4.7
世帯構成別	1人暮らし	71	63.4	25.4	2.8	1.4	2.8	1.4	0.0	2.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	70.1	23.9	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	69.6	13.0	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	8.7
	その他	22	68.2	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
居住地区別	字大山崎	73	95.9	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4	1.4
	字円明寺	103	44.7	41.7	2.9	1.0	1.0	1.9	2.9	3.9
	字下植野	19	78.9	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3
認定状況別	要支援1	128	68.0	22.7	2.3	0.8	1.6	0.8	2.3	1.6
	要支援2	67	65.7	22.4	0.0	0.0	1.5	1.5	3.0	6.0

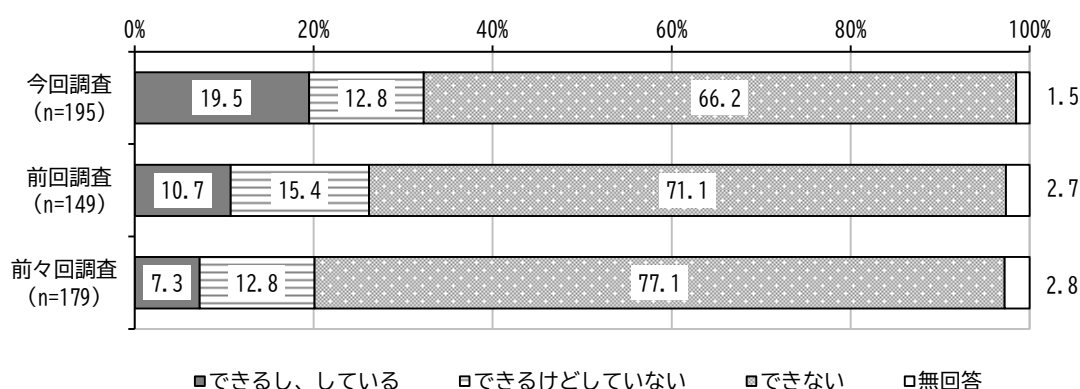
## 2. からだを動かすことについて

### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか

問5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)
----	------------------------------

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかについて、「できない」が 66.2%で最も高く、次いで「できるし、している」が 19.5%、「できるけどしていない」が 12.8%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 8.8 ポイント増加しています。

【図表3-2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では 25.5%、女性では 17.4%となっており、男性のほうが 8.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、75～84 歳が 26.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、宇大山崎が 23.3%で最も高くなっています。

【図表3-2-2 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

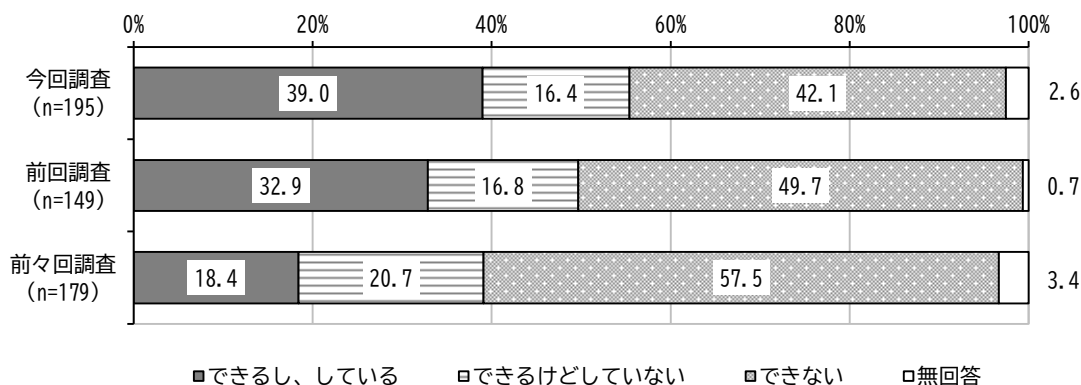
		(合計)	いしで る、 きる して	など で いし きる いけ	で き な い	無 回 答
性別	男性	51	25.5	19.6	52.9	2.0
	女性	144	17.4	10.4	70.8	1.4
年齢別	65～74歳	14	21.4	0.0	71.4	7.1
	75～84歳	75	26.7	12.0	58.7	2.7
	85歳以上	106	14.2	15.1	70.8	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	71	16.9	11.3	70.4	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	19.4	16.4	64.2	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	25.0	25.0	25.0
	息子・娘との2世帯	23	34.8	8.7	56.5	0.0
	その他	22	9.1	4.5	86.4	0.0
居住 地区別	宇大山崎	73	23.3	9.6	65.8	1.4
	宇円明寺	103	17.5	15.5	65.0	1.9
	宇下植野	19	15.8	10.5	73.7	0.0
認定 状況別	要支援1	128	18.8	14.1	65.6	1.6
	要支援2	67	20.9	10.4	67.2	1.5

## (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか

問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるかについて、「できない」が 42.1%で最も高く、次いで「できるし、している」が 39.0%、「できるけどしていない」が 16.4%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 6.1 ポイント増加しています。

【図表3-2-3 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では 45.1%、女性では 36.8%となっており、男性のほうが 8.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、65～74 歳が 50.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、字円明寺が 39.8%で最も高くなっています。

【図表3-2-4 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

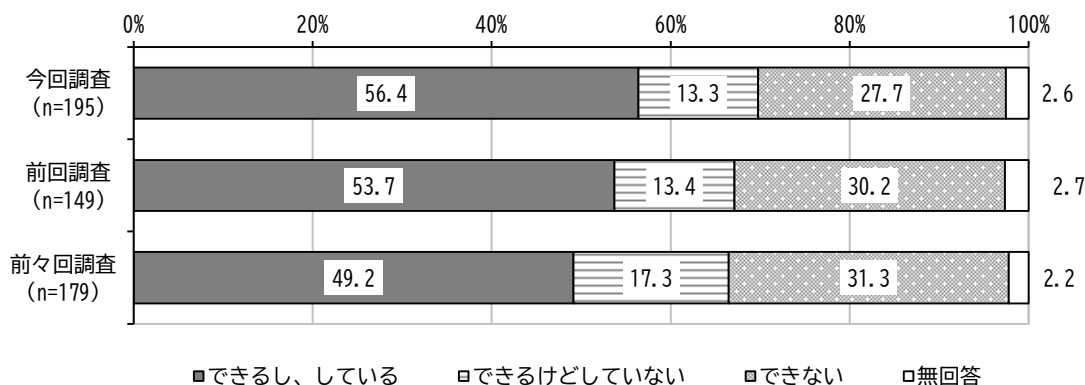
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	51	45.1	7.8	43.1	3.9
	女性	144	36.8	19.4	41.7	2.1
年齢別	65～74歳	14	50.0	28.6	21.4	0.0
	75～84歳	75	44.0	8.0	44.0	4.0
	85歳以上	106	34.0	20.8	43.4	1.9
世帯構成別	1人暮らし	71	36.6	21.1	38.0	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	40.3	16.4	43.3	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	0.0	25.0	25.0
	息子・娘との2世帯	23	47.8	8.7	43.5	0.0
	その他	22	31.8	13.6	54.5	0.0
居住地区別	字大山崎	73	38.4	12.3	46.6	2.7
	字円明寺	103	39.8	19.4	37.9	2.9
	字下植野	19	36.8	15.8	47.4	0.0
認定状況別	要支援1	128	35.9	20.3	42.2	1.6
	要支援2	67	44.8	9.0	41.8	4.5

### (3) 15分位続けて歩けるか

問7 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

15分位続けて歩けるかについて、「できるし、している」が56.4%で最も高く、次いで「できない」が27.7%、「できるけどしていない」が13.3%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が2.7ポイント増加しています。

【図表3-2-5 15分位続けて歩けるか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では58.8%、女性では55.6%となっており、男性のほうが3.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、65～74歳が64.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、字円明寺が58.3%で最も高くなっています。

【図表3-2-6 15分位続けて歩けるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

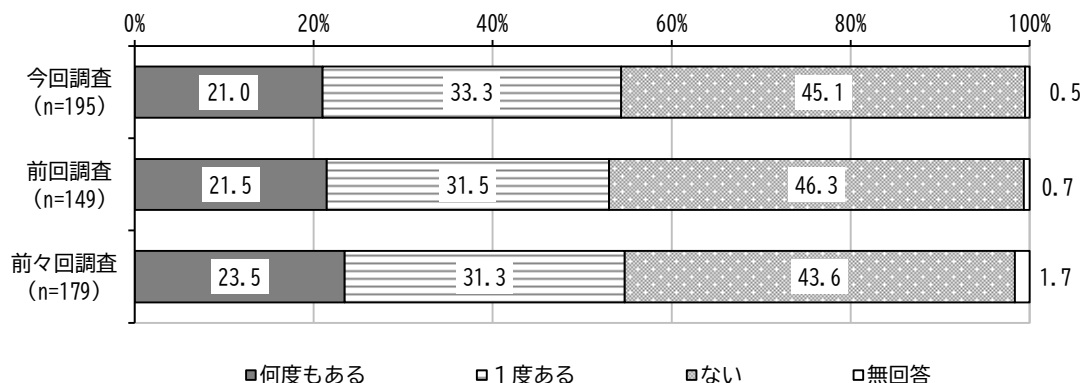
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	51	58.8	13.7	25.5	2.0
	女性	144	55.6	13.2	28.5	2.8
年齢別	65～74歳	14	64.3	14.3	21.4	0.0
	75～84歳	75	58.7	14.7	24.0	2.7
	85歳以上	106	53.8	12.3	31.1	2.8
世帯構成別	1人暮らし	71	67.6	8.5	21.1	2.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	58.2	14.9	25.4	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	25.0	25.0	25.0
	息子・娘との2世帯	23	39.1	17.4	39.1	4.3
	その他	22	36.4	13.6	50.0	0.0
居住地区別	字大山崎	73	54.8	13.7	30.1	1.4
	字円明寺	103	58.3	12.6	25.2	3.9
	字下植野	19	52.6	15.8	31.6	0.0
認定状況別	要支援1	128	64.8	14.1	18.8	2.3
	要支援2	67	40.3	11.9	44.8	3.0

#### (4) 過去1年間に転んだ経験があるか

問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)
----	--------------------------

過去1年間に転んだ経験があるかについて、「ない」が45.1%で最も高く、次いで「1度ある」が33.3%、「何度もある」が21.0%となっています。また、前回調査と比較して「ない」が1.2ポイント減少しています。

【図表3-2-7 過去1年間に転んだ経験があるか】



性別にみると、「ない」について、男性では39.2%、女性では47.2%となっており、女性のほうが8.0ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「ない」では、65～74歳が50.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ない」では、字大山崎が47.9%で最も高くなっています。

【図表3-2-8 過去1年間に転んだ経験があるか(クロス集計)】

		合計(人)	何度もある	1度ある	ない	無回答
性別	男性	51	35.3	25.5	39.2	0.0
	女性	144	16.0	36.1	47.2	0.7
年齢別	65～74歳	14	14.3	35.7	50.0	0.0
	75～84歳	75	21.3	29.3	49.3	0.0
	85歳以上	106	21.7	35.8	41.5	0.9
世帯構成別	1人暮らし	71	15.5	43.7	39.4	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	20.9	28.4	50.7	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	0.0	75.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	30.4	30.4	39.1	0.0
	その他	22	22.7	27.3	50.0	0.0
居住地区別	字大山崎	73	21.9	28.8	47.9	1.4
	字円明寺	103	21.4	34.0	44.7	0.0
	字下植野	19	15.8	47.4	36.8	0.0
認定状況別	要支援1	128	17.2	33.6	48.4	0.8
	要支援2	67	28.4	32.8	38.8	0.0

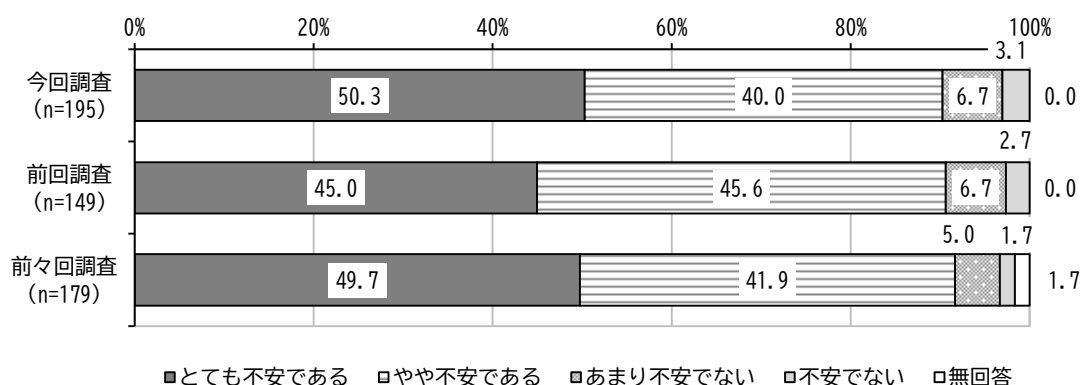
※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

### (5) 転倒に対する不安は大きい

問9 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

転倒に対する不安は大きいかについて、「とても不安である」が 50.3%で最も高く、次いで「やや不安である」が40.0%、「あまり不安でない」が6.7%となっています。また、前回調査と比較して「とても不安である」が5.3ポイント増加しています。

【図表3-2-9 転倒に対する不安は大きいか】



性別にみると、男性では、「やや不安である」が 49.0%で最も高く、女性では、「とても不安である」が 56.3%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「とても不安である」では、85歳以上が50.9%で最も高く、「やや不安である」では、65～74歳が50.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「とても不安である」では、字下植野が52.6%で最も高く、「やや不安である」でも、字下植野が42.1%で最も高くなっています。

【図表3-2-10 転倒に対する不安は大きいか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

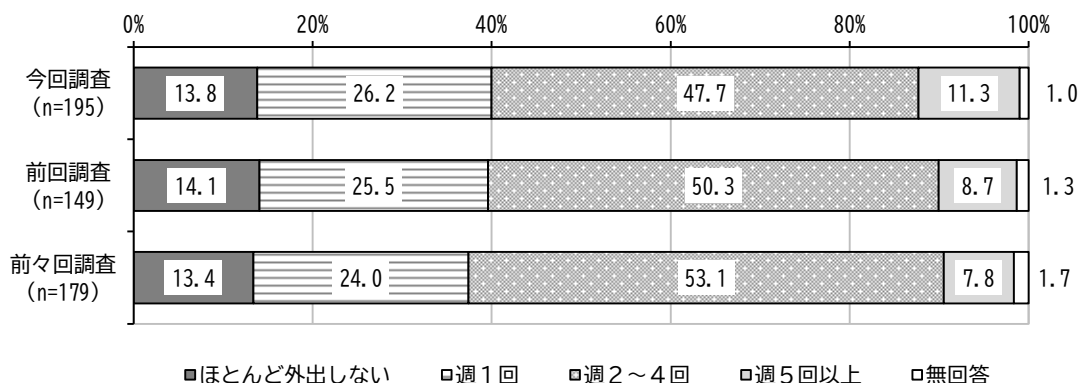
		合計(人)	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
性別	男性	51	33.3	49.0	11.8	5.9	0.0
	女性	144	56.3	36.8	4.9	2.1	0.0
年齢別	65～74歳	14	42.9	50.0	7.1	0.0	0.0
	75～84歳	75	50.7	34.7	9.3	5.3	0.0
	85歳以上	106	50.9	42.5	4.7	1.9	0.0
世帯構成別	1人暮らし	71	54.9	38.0	7.0	0.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	40.3	38.8	11.9	9.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	60.9	39.1	0.0	0.0	0.0
	その他	22	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	73	52.1	37.0	5.5	5.5	0.0
	字円明寺	103	48.5	41.7	7.8	1.9	0.0
	字下植野	19	52.6	42.1	5.3	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	128	48.4	43.8	4.7	3.1	0.0
	要支援2	67	53.7	32.8	10.4	3.0	0.0

(6) 週に1回以上は外出しているか

問 10 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

週に1回以上は外出しているかについて、「週2～4回」が 47.7%で最も高く、次いで「週1回」が 26.2%、「ほとんど外出しない」が 13.8%となっています。また、前回調査と比較して「週2～4回」が 2.6 ポイント減少しています。

【図表3-2-11 週に1回以上は外出しているか】



性別にみると、男性・女性ともに「週2～4回」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「ほとんど外出しない」では、85歳以上が 16.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ほとんど外出しない」では、字大山崎が 17.8%で最も高くなっています。

【図表3-2-12 週に1回以上は外出しているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

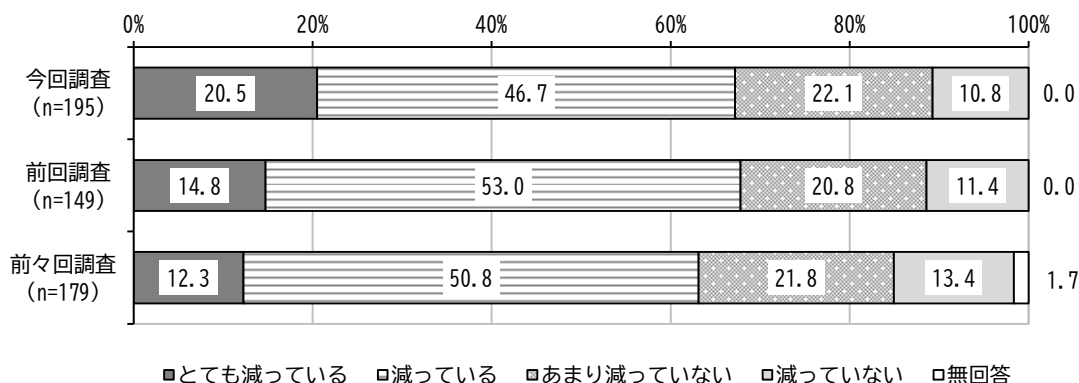
		合計(人)	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
性別	男性	51	23.5	25.5	33.3	17.6	0.0
	女性	144	10.4	26.4	52.8	9.0	1.4
年齢別	65～74歳	14	0.0	14.3	50.0	35.7	0.0
	75～84歳	75	13.3	21.3	49.3	14.7	1.3
	85歳以上	106	16.0	31.1	46.2	5.7	0.9
世帯構成別	1人暮らし	71	7.0	25.4	57.7	7.0	2.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	13.4	23.9	47.8	14.9	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	26.1	39.1	26.1	8.7	0.0
	その他	22	22.7	22.7	36.4	18.2	0.0
居住地区別	字大山崎	73	17.8	20.5	49.3	11.0	1.4
	字円明寺	103	11.7	25.2	49.5	12.6	1.0
	字下植野	19	10.5	52.6	31.6	5.3	0.0
認定状況別	要支援1	128	10.9	28.1	49.2	10.9	0.8
	要支援2	67	19.4	22.4	44.8	11.9	1.5

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っているか

問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

昨年と比べて外出の回数が減っているかについて、「減っている」が 46.7%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が 22.1%、「とても減っている」が 20.5%となっています。また、前回調査と比較して「減っている」が 6.4 ポイント減少しています。

【図表3-2-13 昨年と比べて外出の回数が減っているか】



性別にみると、男性・女性ともに「減っている」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「とても減っている」では、85歳以上が 23.6%で最も高く、「減っている」でも、85歳以上が 50.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「とても減っている」では、字下植野が 36.8%で最も高く、「減っている」では、字円明寺が 48.5%で最も高くなっています。

【図表3-2-14 昨年と比べて外出の回数が減っているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

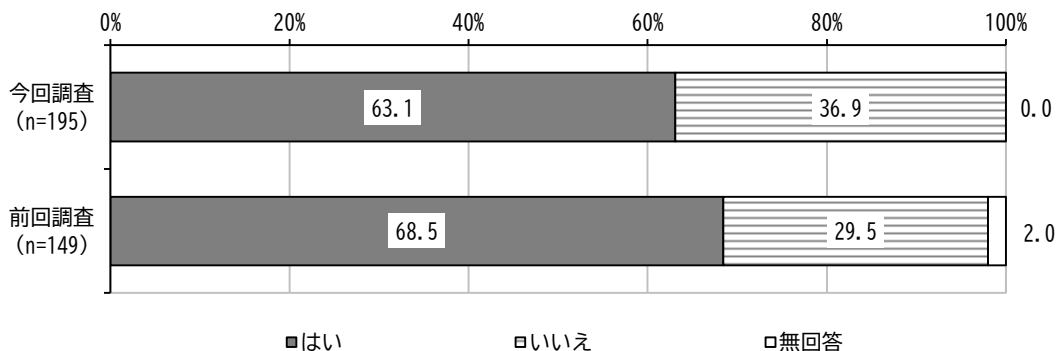
		合計(人)	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
性別	男性	51	25.5	43.1	23.5	7.8	0.0
	女性	144	18.8	47.9	21.5	11.8	0.0
年齢別	65~74歳	14	14.3	35.7	21.4	28.6	0.0
	75~84歳	75	17.3	42.7	26.7	13.3	0.0
	85歳以上	106	23.6	50.9	18.9	6.6	0.0
世帯構成別	1人暮らし	71	18.3	52.1	18.3	11.3	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	17.9	38.8	31.3	11.9	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	30.4	43.5	13.0	13.0	0.0
	その他	22	13.6	54.5	22.7	9.1	0.0
居住地区別	字大山崎	73	16.4	47.9	17.8	17.8	0.0
	字円明寺	103	20.4	48.5	23.3	7.8	0.0
	字下植野	19	36.8	31.6	31.6	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	128	15.6	48.4	24.2	11.7	0.0
	要支援2	67	29.9	43.3	17.9	9.0	0.0

### (8) 外出を控えているか

問 12 外出を控えていますか。(○は1つ)

外出を控えているかについて、「はい」が 63.1%、「いいえ」が 36.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.4 ポイント減少しています。

【図表3-2-15 外出を控えているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 56.9%、女性では 65.3%となっており、女性のほうが 8.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 73.6%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字大山崎が 65.8%で最も高くなっています。

【図表3-2-16 外出を控えているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	56.9	43.1	0.0
	女性	144	65.3	34.7	0.0
年齢別	65～74歳	14	50.0	50.0	0.0
	75～84歳	75	50.7	49.3	0.0
	85歳以上	106	73.6	26.4	0.0
世帯 構成別	1人暮らし	71	57.7	42.3	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	61.2	38.8	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	75.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	78.3	21.7	0.0
	その他	22	68.2	31.8	0.0
居住 地区別	字大山崎	73	65.8	34.2	0.0
	字円明寺	103	61.2	38.8	0.0
	字下植野	19	63.2	36.8	0.0
認定 状況別	要支援1	128	60.2	39.8	0.0
	要支援2	67	68.7	31.3	0.0

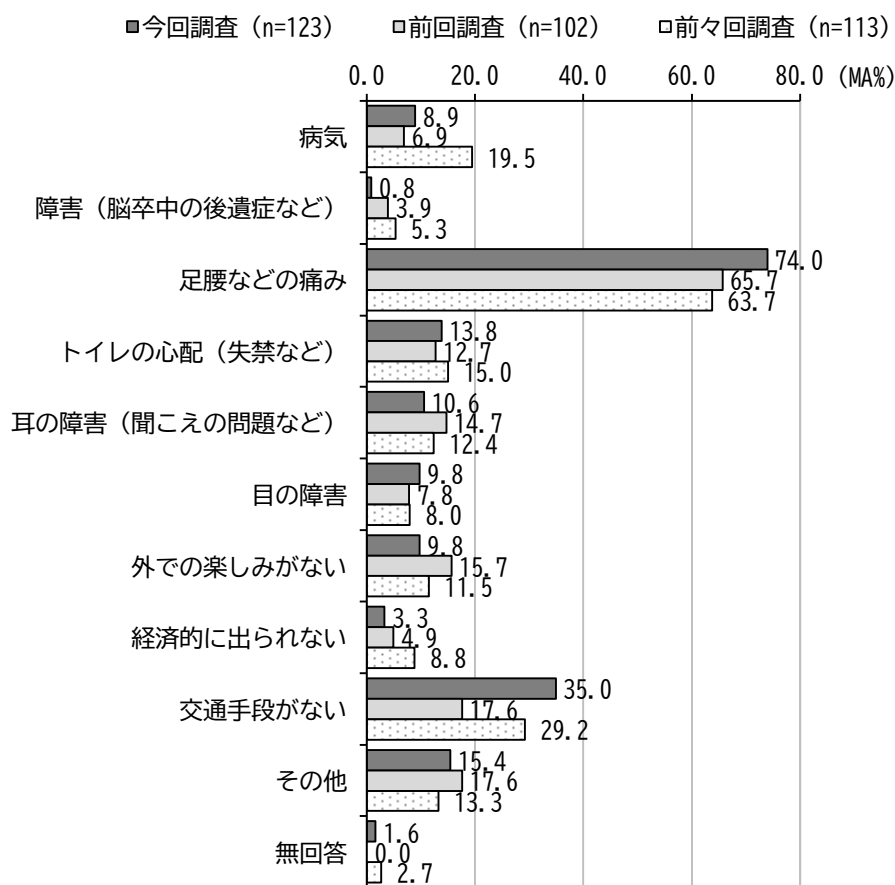
### (9) 外出を控えている理由

問 12-1 【問 12 で「はい」(外出を控えている)を回答された方のみ】  
 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 74.0%で最も高く、次いで「交通手段がない」が 35.0%、「その他」が 15.4%となっています。また、前回調査と比較して「交通手段がない」が 17.4 ポイント増加しています。

また、その他の内容について、『体力の低下』(8件)、『ふらつき』(5件)などがあります。

【図表3-2-17 外出を控えている理由】



性別にみると、男性・女性ともに「足腰などの痛み」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「交通手段がない」では、65～74歳が42.9%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「交通手段がない」では、字円明寺が38.1%で最も高くなっています。

【図表3-2-18 外出を控えている理由(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

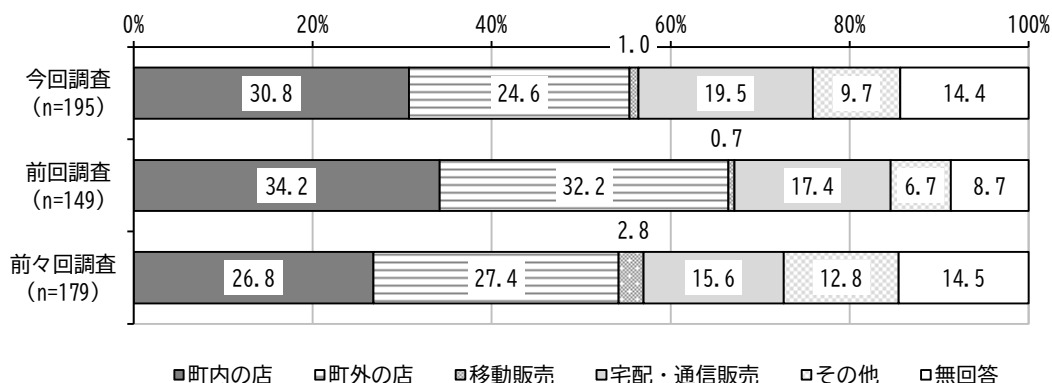
		合計(人)	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
性別	男性	29	10.3	3.4	75.9	27.6	17.2	10.3	17.2	3.4	31.0	17.2	0.0
	女性	94	8.5	0.0	73.4	9.6	8.5	9.6	7.4	3.2	36.2	14.9	2.1
年齢別	65～74歳	7	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	42.9	28.6	0.0
	75～84歳	38	10.5	0.0	78.9	13.2	5.3	13.2	10.5	0.0	28.9	10.5	2.6
	85歳以上	78	7.7	1.3	75.6	14.1	12.8	9.0	10.3	3.8	37.2	16.7	1.3
世帯構成別	1人暮らし	41	9.8	0.0	78.0	9.8	12.2	12.2	4.9	9.8	39.0	17.1	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	41	9.8	2.4	68.3	19.5	14.6	7.3	12.2	0.0	26.8	17.1	2.4
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	18	11.1	0.0	83.3	16.7	5.6	5.6	11.1	0.0	16.7	16.7	0.0
	その他	15	6.7	0.0	66.7	6.7	6.7	13.3	13.3	0.0	60.0	13.3	0.0
居住地区別	字大山崎	48	8.3	0.0	77.1	12.5	6.3	14.6	8.3	2.1	31.3	16.7	4.2
	字円明寺	63	9.5	1.6	68.3	14.3	12.7	6.3	12.7	3.2	38.1	17.5	0.0
	字下植野	12	8.3	0.0	91.7	16.7	16.7	8.3	0.0	8.3	33.3	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	77	6.5	0.0	74.0	15.6	9.1	10.4	11.7	3.9	36.4	11.7	2.6
	要支援2	46	13.0	2.2	73.9	10.9	13.0	8.7	6.5	2.2	32.6	21.7	0.0

## (10) 主に日常生活の買い物をする場所

問 13 あなたは、日常生活の買い物を、主にどこでしますか。(○は1つ)

主に日常生活の買い物をする場所について、「町内の店」が 30.8%で最も高く、次いで「町外の店」が 24.6%、「宅配・通信販売」が 19.5%となっています。また、前回調査と比較して「町内の店」が 3.4 ポイント減少しています。

【図表3-2-19 主に日常生活の買い物をする場所】



性別にみると、男性・女性ともに「町内の店」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「町内の店」では、85歳以上が 33.0%で最も高く、「町外の店」では、75～84歳が 29.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「町内の店」では、字円明寺が 37.9%で最も高く、「町外の店」では、字下植野が 42.1%で最も高くなっています。

【図表3-2-20 主に日常生活の買い物をする場所(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

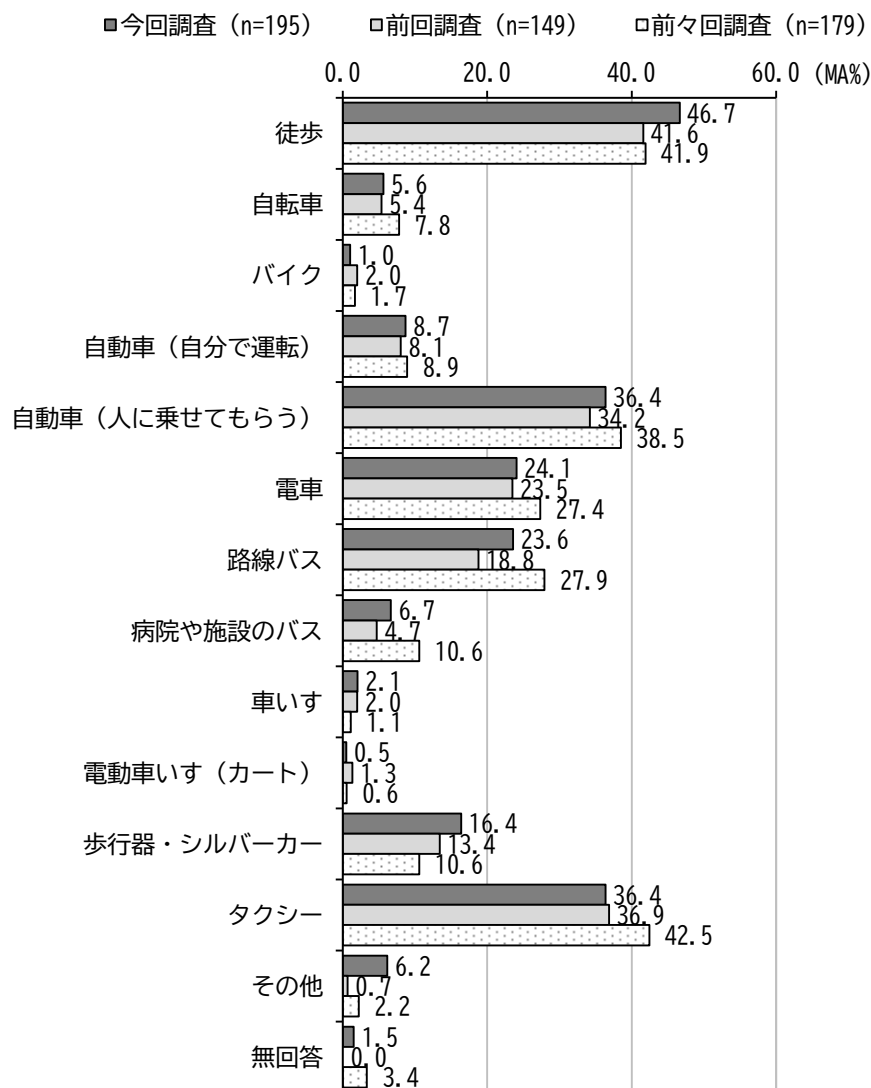
		合計(人)	町内の店	町外の店	移動販売	宅配・通信販売	その他	無回答
性別	男性	51	37.3	17.6	2.0	17.6	7.8	17.6
	女性	144	28.5	27.1	0.7	20.1	10.4	13.2
年齢別	65～74歳	14	14.3	21.4	0.0	35.7	14.3	14.3
	75～84歳	75	30.7	29.3	0.0	10.7	13.3	16.0
	85歳以上	106	33.0	21.7	1.9	23.6	6.6	13.2
世帯構成別	1人暮らし	71	35.2	29.6	2.8	14.1	5.6	12.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	29.9	19.4	0.0	17.9	14.9	17.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	26.1	34.8	0.0	34.8	4.3	0.0
	その他	22	27.3	18.2	0.0	22.7	13.6	18.2
居住地区別	字大山崎	73	26.0	23.3	1.4	20.5	12.3	16.4
	字円明寺	103	37.9	22.3	1.0	18.4	7.8	12.6
	字下植野	19	10.5	42.1	0.0	21.1	10.5	15.8
認定状況別	要支援1	128	32.8	25.8	0.8	17.2	6.3	17.2
	要支援2	67	26.9	22.4	1.5	23.9	16.4	9.0

### (11) 外出する際の移動手段

問 14 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

外出する際の移動手段について、「徒歩」が 46.7%で最も高く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」「タクシー」が 36.4%、「電車」が 24.1%となっています。また、前回調査と比較して「徒歩」が 5.1 ポイント増加しています。

【図表3-2-21 外出する際の移動手段】



性別にみると、男性・女性ともに「徒歩」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「徒歩」では、85歳以上が47.2%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「徒歩」では、字円明寺が52.4%で最も高くなっています。

【図表3-2-22 外出する際の移動手段(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せても)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー
性別	男性	51	51.0	5.9	0.0	21.6	23.5	23.5	21.6	5.9	3.9	0.0	5.9
	女性	144	45.1	5.6	1.4	4.2	41.0	24.3	24.3	6.9	1.4	0.7	20.1
年齢別	65~74歳	14	42.9	7.1	7.1	7.1	42.9	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	21.4
	75~84歳	75	46.7	9.3	1.3	16.0	36.0	29.3	25.3	9.3	0.0	0.0	14.7
	85歳以上	106	47.2	2.8	0.0	3.8	35.8	21.7	21.7	5.7	3.8	0.9	17.0
世帯構成別	1人暮らし	71	42.3	8.5	1.4	5.6	29.6	25.4	32.4	4.2	1.4	0.0	15.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	56.7	6.0	1.5	11.9	31.3	28.4	25.4	11.9	1.5	0.0	11.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	34.8	0.0	0.0	8.7	56.5	17.4	4.3	4.3	8.7	0.0	39.1
	その他	22	40.9	4.5	0.0	13.6	50.0	22.7	13.6	4.5	0.0	0.0	13.6
居住地区別	字大山崎	73	39.7	9.6	1.4	12.3	37.0	21.9	6.8	11.0	1.4	1.4	19.2
	字円明寺	103	52.4	3.9	1.0	6.8	32.0	28.2	36.9	4.9	1.9	0.0	14.6
	字下植野	19	42.1	0.0	0.0	5.3	57.9	10.5	15.8	0.0	5.3	0.0	15.8
認定状況別	要支援1	128	48.4	7.8	1.6	11.7	32.8	26.6	22.7	3.9	0.0	0.8	14.1
	要支援2	67	43.3	1.5	0.0	3.0	43.3	19.4	25.4	11.9	6.0	0.0	20.9

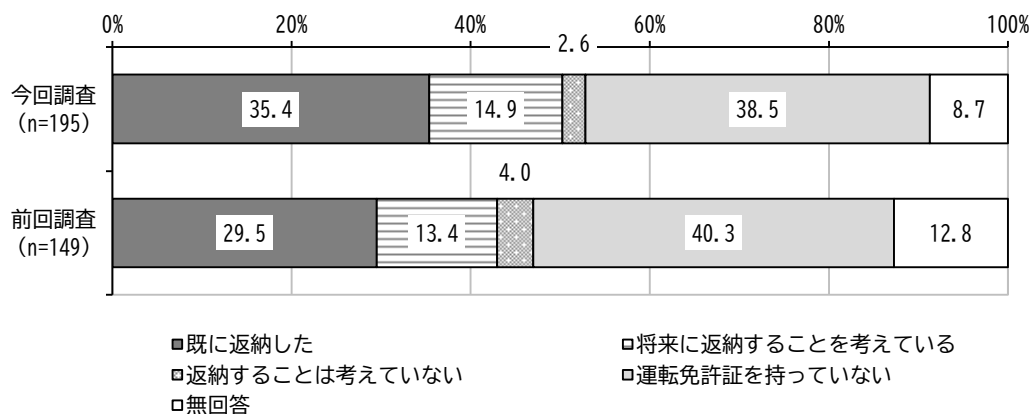
		合計(人)	タクシー	その他	無回答
性別	男性	51	27.5	3.9	2.0
	女性	144	39.6	6.9	1.4
年齢別	65~74歳	14	14.3	7.1	0.0
	75~84歳	75	29.3	8.0	1.3
	85歳以上	106	44.3	4.7	1.9
世帯構成別	1人暮らし	71	42.3	5.6	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	34.3	7.5	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	34.8	0.0	0.0
	その他	22	27.3	13.6	9.1
居住地区別	字大山崎	73	35.6	8.2	1.4
	字円明寺	103	35.9	4.9	1.0
	字下植野	19	42.1	5.3	5.3
認定状況別	要支援1	128	35.2	6.3	1.6
	要支援2	67	38.8	6.0	1.5

## (12) 運転免許の返納意向

問 15 運転免許証を返納する意向はありますか。(○は1つ)

運転免許の返納意向について、「運転免許証を持っていない」が 38.5%で最も高く、次いで「既に返納した」が 35.4%、「将来に返納することを考えている」が 14.9%となっています。また、前回調査と比較して「既に返納した」が 5.9 ポイント減少しています。

【図表3-2-23 運転免許の返納意向】



性別にみると、男性では、「既に返納した」が 52.9%で最も高く、女性では、「運転免許証を持っていない」が 46.5%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「将来に返納することを考えている」では、65～74 歳が 50.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「将来に返納することを考えている」では、字下植野が 31.6%で最も高くなっています。

【図表3-2-24 運転免許の返納意向(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	既に返納した	将来に返納することを考えている	返納することを考えていない	運転免許証を持っていない	無回答
性別	男性	51	52.9	21.6	5.9	15.7	3.9
	女性	144	29.2	12.5	1.4	46.5	10.4
年齢別	65～74歳	14	35.7	50.0	7.1	7.1	0.0
	75～84歳	75	34.7	22.7	5.3	34.7	2.7
	85歳以上	106	35.8	4.7	0.0	45.3	14.2
世帯構成別	1人暮らし	71	28.2	9.9	1.4	43.7	16.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	44.8	19.4	4.5	29.9	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	26.1	13.0	0.0	52.2	8.7
	その他	22	27.3	22.7	4.5	40.9	4.5
居住地区別	字大山崎	73	34.2	16.4	2.7	37.0	9.6
	字円明寺	103	37.9	10.7	2.9	39.8	8.7
	字下植野	19	26.3	31.6	0.0	36.8	5.3
認定状況別	要支援1	128	29.7	19.5	2.3	37.5	10.9
	要支援2	67	46.3	6.0	3.0	40.3	4.5

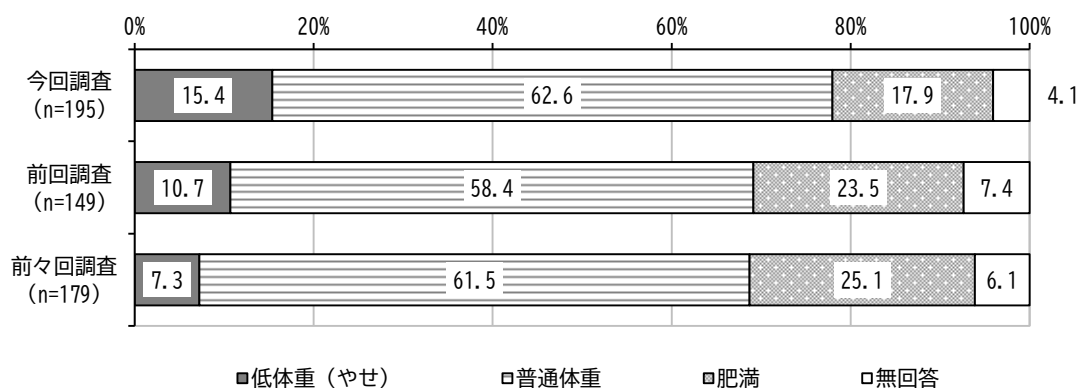
### 3. 食べることについて

#### (1) BMI

問 16	身長と体重を教えてください。(数字を記入)
------	-----------------------

BMI について、「普通体重」が 62.6%で最も高く、次いで「肥満」が 17.9%、「低体重(やせ)」が 15.4%となっています。また、前回調査と比較して「普通体重」が 4.2 ポイント増加しています。

【図表3-3-1 BMI】



※ BMI18.5 未満:低体重(やせ)、BMI18.5~25 未満:普通体重、BMI25 以上:肥満で算出

性別にみると、「低体重(やせ)」について、男性では 7.8%、女性では 18.1%となっており、女性のほうが 10.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「低体重(やせ)」では、65~74 歳が 35.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「低体重(やせ)」では、字円明寺が 16.5%で最も高くなっています。

【図表3-3-2 BMI(クロス集計)】

		(合計)	(低 や せ 重)	普 通 体 重	肥 満	無 回 答
性別	男性	51	7.8	68.6	21.6	2.0
	女性	144	18.1	60.4	16.7	4.9
年齢別	65~74歳	14	35.7	50.0	14.3	0.0
	75~84歳	75	21.3	49.3	25.3	4.0
	85歳以上	106	8.5	73.6	13.2	4.7
世帯 構成別	1人暮らし	71	12.7	67.6	14.1	5.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	19.4	53.7	23.9	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	75.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	4.3	69.6	17.4	8.7
	その他	22	22.7	63.6	13.6	0.0
居住 地区別	字大山崎	73	15.1	56.2	23.3	5.5
	字円明寺	103	16.5	64.1	15.5	3.9
	字下植野	19	10.5	78.9	10.5	0.0
認定 状況別	要支援1	128	15.6	64.1	18.0	2.3
	要支援2	67	14.9	59.7	17.9	7.5

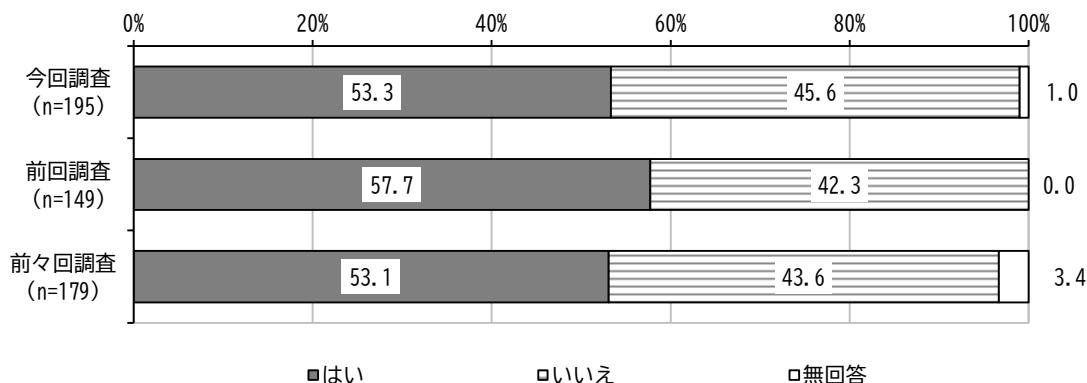
※網掛けは最も割合が高いもの 単位:(%)

## (2) 半年前に比べて固いものが食べにくい

問 17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

半年前に比べて固いものが食べにくいかについて、「はい」が53.3%、「いいえ」が45.6%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が4.4ポイント減少しています。

【図表3-3-3 半年前に比べて固いものが食べにくい】



性別にみると、「はい」について、男性では49.0%、女性では54.9%となっており、女性のほうが5.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85歳以上が54.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が57.9%で最も高くなっています。

【図表3-3-4 半年前に比べて固いものが食べにくい(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

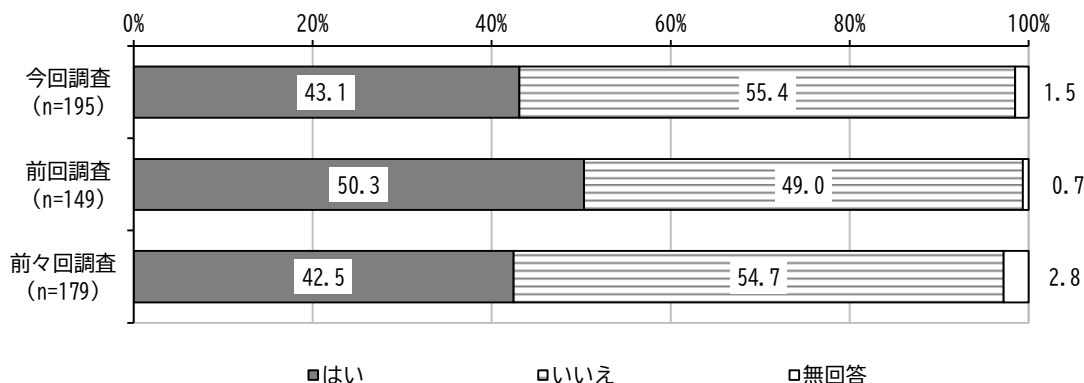
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	49.0	47.1	3.9
	女性	144	54.9	45.1	0.0
年齢別	65～74歳	14	42.9	57.1	0.0
	75～84歳	75	53.3	46.7	0.0
	85歳以上	106	54.7	43.4	1.9
世帯 構成別	1人暮らし	71	60.6	38.0	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	44.8	55.2	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	56.5	43.5	0.0
	その他	22	50.0	45.5	4.5
居住 地区別	字大山崎	73	56.2	42.5	1.4
	字円明寺	103	50.5	49.5	0.0
	字下植野	19	57.9	36.8	5.3
認定 状況別	要支援1	128	52.3	46.9	0.8
	要支援2	67	55.2	43.3	1.5

### (3) お茶や汁物等でむせることがあるか

問 18 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が43.1%、「いいえ」が55.4%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が7.2ポイント減少しています。

【図表3-3-5 お茶や汁物等でむせることがあるか】



性別にみると、「はい」について、男性では49.0%、女性では41.0%となっており、男性のほうが8.0ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85歳以上が49.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が52.6%で最も高くなっています。

【図表3-3-6 お茶や汁物等でむせることがあるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

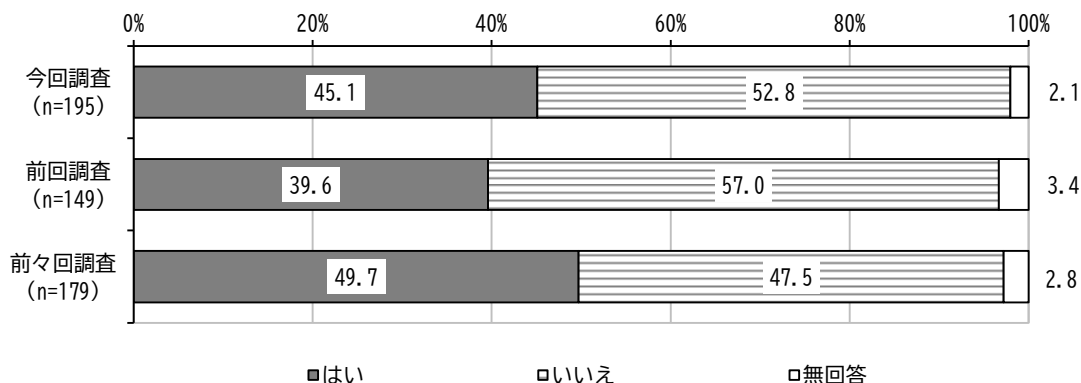
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	49.0	51.0	0.0
	女性	144	41.0	56.9	2.1
年齢別	65～74歳	14	21.4	78.6	0.0
	75～84歳	75	38.7	60.0	1.3
	85歳以上	106	49.1	49.1	1.9
世帯 構成別	1人暮らし	71	46.5	52.1	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	41.8	56.7	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	43.5	56.5	0.0
	その他	22	40.9	59.1	0.0
居住 地区別	字大山崎	73	49.3	49.3	1.4
	字円明寺	103	36.9	61.2	1.9
	字下植野	19	52.6	47.4	0.0
認定 状況別	要支援1	128	43.8	53.9	2.3
	要支援2	67	41.8	58.2	0.0

#### (4) 口の渇きが気になるか

問 19 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

口の渇きが気になるかについて、「はい」が 45.1%、「いいえ」が 52.8%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.5 ポイント増加しています。

【図表3-3-7 口の渇きが気になるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 41.2%、女性では 46.5%となっており、女性のほうが 5.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 47.2%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字大山崎が 53.4%で最も高くなっています。

【図表3-3-8 口の渇きが気になるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

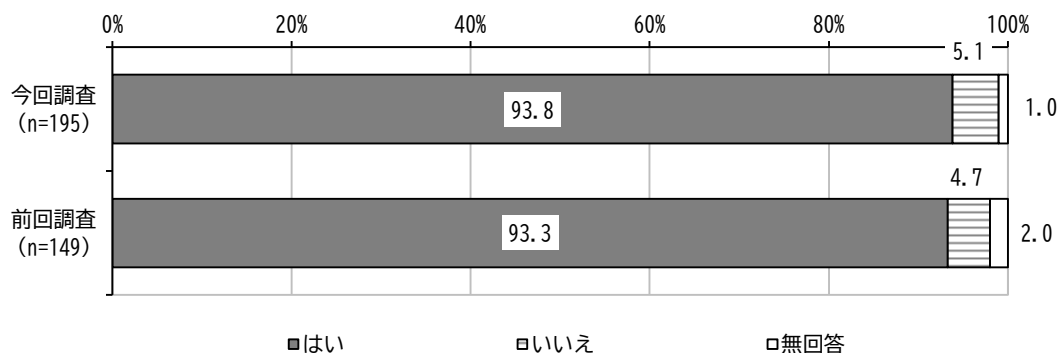
		合計 (人)	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
性別	男性	51	41.2	54.9	3.9
	女性	144	46.5	52.1	1.4
年齢別	65～74歳	14	21.4	78.6	0.0
	75～84歳	75	46.7	52.0	1.3
	85歳以上	106	47.2	50.0	2.8
世帯構成別	1人暮らし	71	54.9	43.7	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	41.8	56.7	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	100.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	47.8	52.2	0.0
	その他	22	45.5	54.5	0.0
居住地区別	字大山崎	73	53.4	45.2	1.4
	字円明寺	103	38.8	58.3	2.9
	字下植野	19	47.4	52.6	0.0
認定状況別	要支援1	128	44.5	54.7	0.8
	要支援2	67	46.3	49.3	4.5

### (5) 歯磨きを毎日しているか

問 20 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○は1つ)

歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が 93.8%、「いいえ」が 5.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 0.5 ポイント増加しています。

【図表3-3-9 歯磨きを毎日しているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 88.2%、女性では 95.8%となっており、女性のほうが 7.6 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 94.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が 100.0%で最も高くなっています。

【図表3-3-10 歯磨きを毎日しているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	88.2	9.8	2.0
	女性	144	95.8	3.5	0.7
年齢別	65～74歳	14	92.9	7.1	0.0
	75～84歳	75	93.3	6.7	0.0
	85歳以上	106	94.3	3.8	1.9
世帯 構成別	1人暮らし	71	90.1	8.5	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	95.5	4.5	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	100.0	0.0	0.0
	その他	22	100.0	0.0	0.0
居住 地区別	字大山崎	73	90.4	8.2	1.4
	字円明寺	103	95.1	3.9	1.0
	字下植野	19	100.0	0.0	0.0
認定 状況別	要支援1	128	95.3	3.9	0.8
	要支援2	67	91.0	7.5	1.5

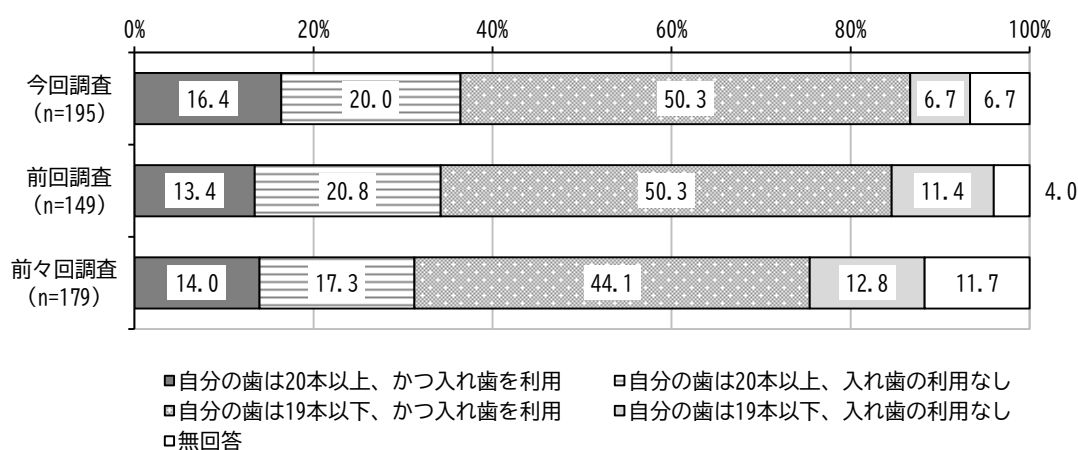
## (6) 歯の数と入れ歯の状況

問 21

歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。  
成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。(○は1つ)

歯の数と入れ歯の状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 50.3%で最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 20.0%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 16.4%となっています。また、前回調査と比較して「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 0.8 ポイント減少しています。

【図表3-3-11 歯の数と入れ歯の状況】



性別にみると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」について、男性では13.7%、女性では22.2%となっており、女性のほうが8.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」では、65～74歳が21.4%で最も高く、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」でも、65～74歳が28.6%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」では、字下植野が21.1%で最も高く、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」では、字円明寺が23.3%で最も高くなっています。

【図表3-3-12 歯の数と入れ歯の状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

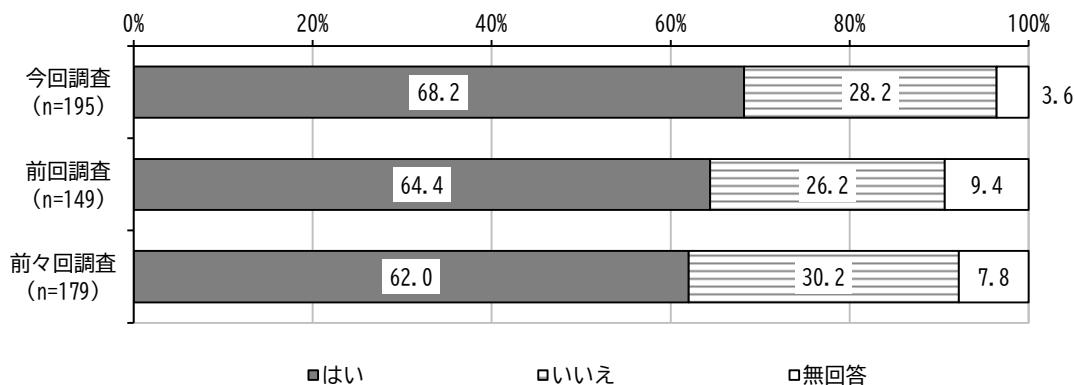
		合計(人)	入20自 れ本 歯以 上の 歯は 利用 かつ	歯20自 の本 利以 上の 歯は なし 入れ	入19自 れ本 歯以 下の 歯は 利用 かつ	歯19自 の本 利以 下の 歯は なし 入れ	無 回 答
性別	男性	51	23.5	13.7	54.9	2.0	5.9
	女性	144	13.9	22.2	48.6	8.3	6.9
年齢別	65～74歳	14	21.4	28.6	21.4	21.4	7.1
	75～84歳	75	14.7	22.7	49.3	8.0	5.3
	85歳以上	106	17.0	17.0	54.7	3.8	7.5
世帯 構成別	1人暮らし	71	22.5	16.9	47.9	5.6	7.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	16.4	17.9	55.2	7.5	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0
	息子・娘との2世帯	23	8.7	26.1	56.5	4.3	4.3
	その他	22	9.1	22.7	45.5	13.6	9.1
居住 地区別	字大山崎	73	12.3	16.4	56.2	5.5	9.6
	字円明寺	103	18.4	23.3	45.6	7.8	4.9
	字下植野	19	21.1	15.8	52.6	5.3	5.3
認定 状況別	要支援1	128	18.8	21.1	47.7	4.7	7.8
	要支援2	67	11.9	17.9	55.2	10.4	4.5

(7) 噛み合わせの状況

問 22 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

噛み合わせの状況について、「はい」が68.2%、「いいえ」が28.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が3.8ポイント増加しています。

【図表3-3-13 噛み合わせの状況】



性別にみると、「はい」について、男性では68.6%、女性では68.1%となっており、男性のほうが0.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～74歳が71.4%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が72.8%で最も高くなっています。

【図表3-3-14 噛み合わせの状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

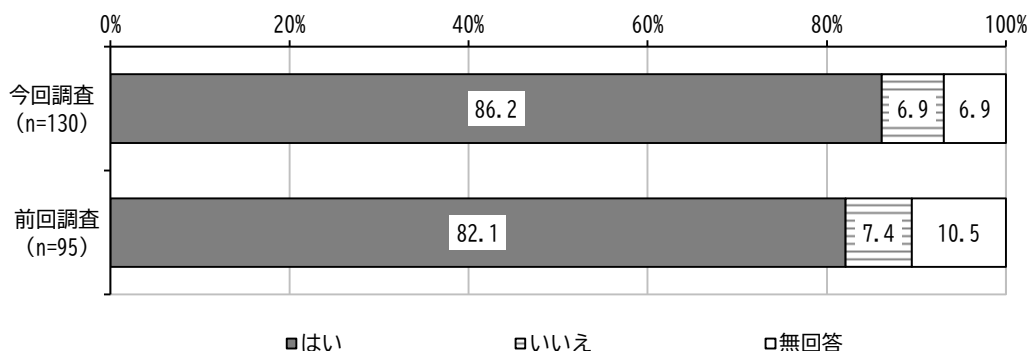
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	68.6	29.4	2.0
	女性	144	68.1	27.8	4.2
年齢別	65～74歳	14	71.4	28.6	0.0
	75～84歳	75	66.7	29.3	4.0
	85歳以上	106	68.9	27.4	3.8
世帯構成別	1人暮らし	71	70.4	25.4	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	76.1	23.9	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	60.9	34.8	4.3
	その他	22	54.5	40.9	4.5
居住地区別	字大山崎	73	64.4	30.1	5.5
	字円明寺	103	72.8	24.3	2.9
	字下植野	19	57.9	42.1	0.0
認定状況別	要支援1	128	68.8	27.3	3.9
	要支援2	67	67.2	29.9	3.0

(8) 毎日入れ歯の手入れをしているか

問 23	<p>【問 21 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」を回答された方のみ】</p> <p>毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)</p>
------	--

毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が 86.2%、「いいえ」が 6.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 4.1 ポイント増加しています。

【図表3-3-15 毎日入れ歯の手入れをしているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 85.0%、女性では 86.7%となっており、女性のほうが 1.7 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 89.5%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が 92.9%で最も高くなっています。

【図表3-3-16 毎日入れ歯の手入れをしているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

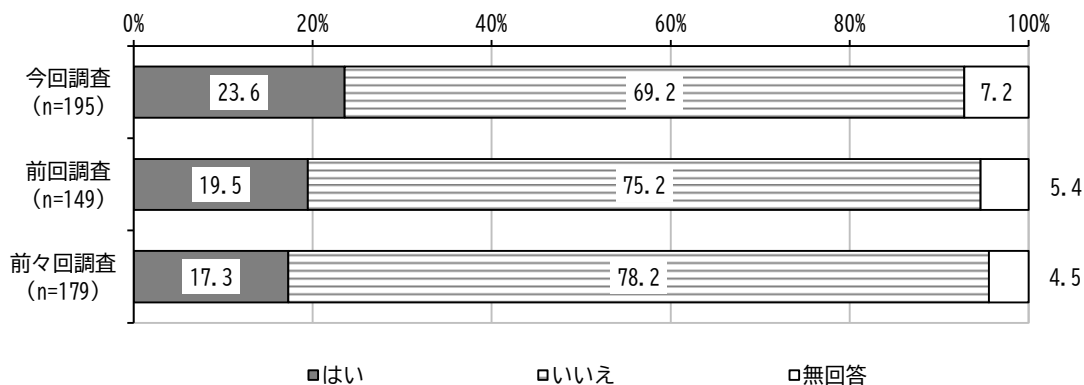
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	40	85.0	7.5	7.5
	女性	90	86.7	6.7	6.7
年齢別	65～74歳	6	50.0	16.7	33.3
	75～84歳	48	85.4	8.3	6.3
	85歳以上	76	89.5	5.3	5.3
世帯構成別	1人暮らし	50	88.0	6.0	6.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	48	83.3	10.4	6.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	15	86.7	0.0	13.3
	その他	12	83.3	8.3	8.3
居住地区別	字大山崎	50	84.0	6.0	10.0
	字円明寺	66	86.4	7.6	6.1
	字下植野	14	92.9	7.1	0.0
認定状況別	要支援1	85	83.5	8.2	8.2
	要支援2	45	91.1	4.4	4.4

(9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか

問 24 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が23.6%、「いいえ」が69.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が4.1ポイント増加しています。

【図表3-3-17 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】



性別にみると、「はい」について、男性では31.4%、女性では20.8%となっており、男性のほうが10.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85歳以上が26.4%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字大山崎が27.4%で最も高くなっています。

【図表3-3-18 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

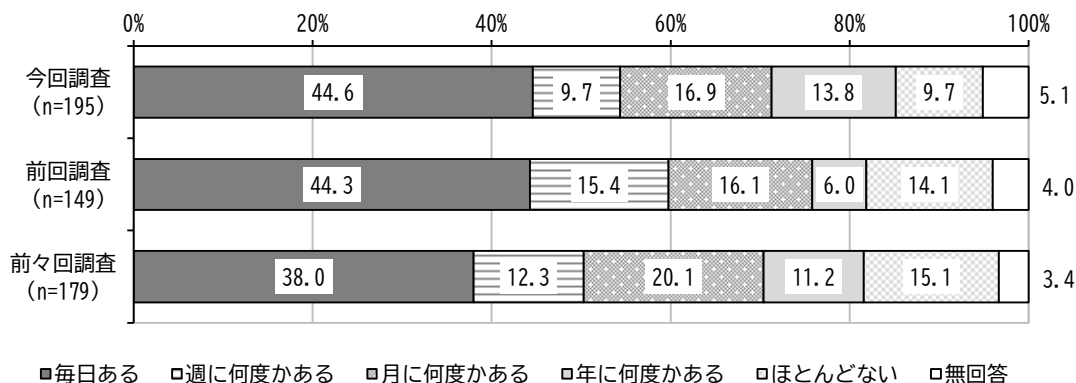
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	31.4	64.7	3.9
	女性	144	20.8	70.8	8.3
年齢別	65～74歳	14	0.0	85.7	14.3
	75～84歳	75	24.0	70.7	5.3
	85歳以上	106	26.4	66.0	7.5
世帯構成別	1人暮らし	71	23.9	67.6	8.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	13.4	82.1	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	34.8	56.5	8.7
	その他	22	31.8	59.1	9.1
居住地区別	字大山崎	73	27.4	65.8	6.8
	字円明寺	103	22.3	68.9	8.7
	字下植野	19	15.8	84.2	0.0
認定状況別	要支援1	128	21.1	70.3	8.6
	要支援2	67	28.4	67.2	4.5

## (10) 共食の状況

問 25 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

共食の状況について、「毎日ある」が44.6%で最も高く、次いで「月に何度かある」が16.9%、「年に何度かある」が13.8%となっています。また、前回調査と比較して「ほとんどない」が4.4ポイント減少しています。

【図表3-3-19 共食の状況】



性別にみると、男性・女性ともに「毎日ある」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「ほとんどない」では、85歳以上が10.4%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ほとんどない」では、字大山崎が12.3%で最も高くなっています。

【図表3-3-20 共食の状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
性別	男性	51	56.9	2.0	11.8	9.8	15.7	3.9
	女性	144	40.3	12.5	18.8	15.3	7.6	5.6
年齢別	65～74歳	14	42.9	7.1	21.4	7.1	7.1	14.3
	75～84歳	75	50.7	10.7	13.3	12.0	9.3	4.0
	85歳以上	106	40.6	9.4	18.9	16.0	10.4	4.7
世帯構成別	1人暮らし	71	2.8	19.7	32.4	25.4	14.1	5.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	74.6	1.5	6.0	7.5	6.0	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	73.9	4.3	8.7	0.0	4.3	8.7
	その他	22	54.5	13.6	13.6	4.5	13.6	0.0
居住地区別	字大山崎	73	50.7	9.6	13.7	9.6	12.3	4.1
	字円明寺	103	36.9	9.7	19.4	18.4	8.7	6.8
	字下植野	19	63.2	10.5	15.8	5.3	5.3	0.0
認定状況別	要支援1	128	42.2	8.6	18.8	12.5	11.7	6.3
	要支援2	67	49.3	11.9	13.4	16.4	6.0	3.0

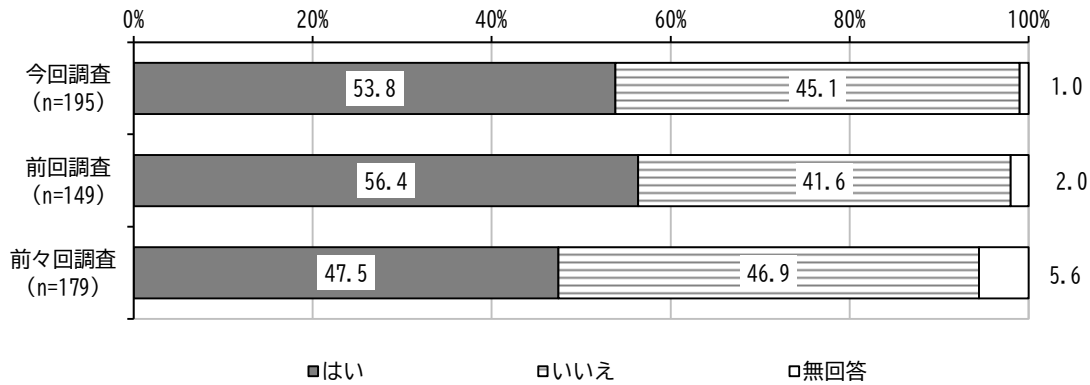
## 4. 毎日の生活について

### (1) 物忘れが多いと感じるか

問 26 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が 53.8%、「いいえ」が 45.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 2.6 ポイント減少しています。

【図表3-4-1 物忘れが多いと感じるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 56.9%、女性では 52.8%となっており、男性のほうが 4.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 62.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 56.3%で最も高くなっています。

【図表3-4-2 物忘れが多いと感じるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

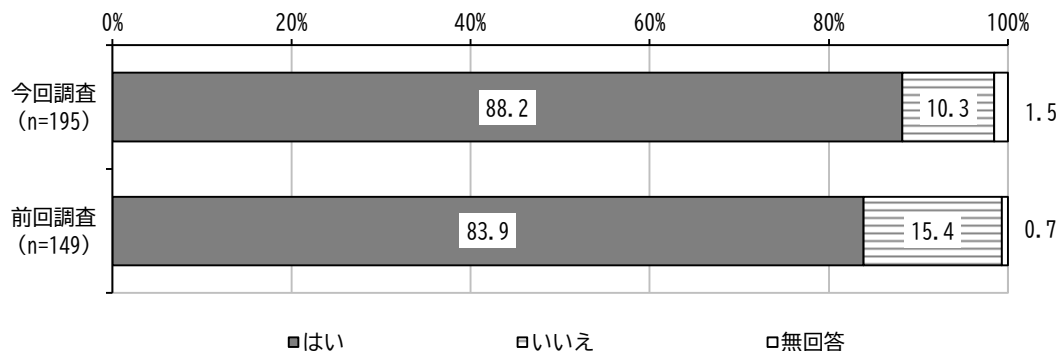
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	56.9	43.1	0.0
	女性	144	52.8	45.8	1.4
年齢別	65～74歳	14	35.7	64.3	0.0
	75～84歳	75	45.3	54.7	0.0
	85歳以上	106	62.3	35.8	1.9
世帯構成別	1人暮らし	71	57.7	40.8	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	49.3	50.7	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	75.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	52.2	47.8	0.0
	その他	22	59.1	40.9	0.0
居住地区別	字大山崎	73	52.1	45.2	2.7
	字円明寺	103	56.3	43.7	0.0
	字下植野	19	47.4	52.6	0.0
認定状況別	要支援1	128	54.7	43.8	1.6
	要支援2	67	52.2	47.8	0.0

## (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか

問 27 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が88.2%、「いいえ」が10.3%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が4.3ポイント増加しています。

【図表3-4-3 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか】



性別にみると、「はい」について、男性では76.5%、女性では92.4%となっており、女性のほうが15.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～74歳が92.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字大山崎が89.0%で最も高くなっています。

【図表3-4-4 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

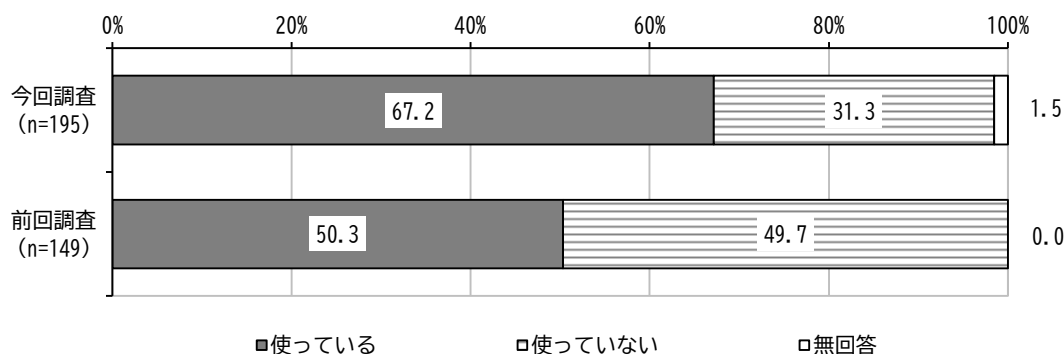
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	76.5	23.5	0.0
	女性	144	92.4	5.6	2.1
年齢別	65～74歳	14	92.9	7.1	0.0
	75～84歳	75	86.7	13.3	0.0
	85歳以上	106	88.7	8.5	2.8
世帯 構成別	1人暮らし	71	94.4	4.2	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	85.1	13.4	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	87.0	13.0	0.0
	その他	22	86.4	13.6	0.0
居住 地区別	字大山崎	73	89.0	9.6	1.4
	字円明寺	103	88.3	9.7	1.9
	字下植野	19	84.2	15.8	0.0
認定 状況別	要支援1	128	89.8	8.6	1.6
	要支援2	67	85.1	13.4	1.5

### (3) スマートフォンを使っているか

問 28 スマートフォンを使っていますか。(○は1つ)

スマートフォンを使っているかについて、「使っている」が67.2%、「使っていない」が31.3%となっています。また、前回調査と比較して「使っている」が16.9ポイント増加しています。

【図表3-4-5 スマートフォンを使っているか】



性別にみると、「使っている」について、男性では58.8%、女性では70.1%となっており、女性のほうが11.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「使っている」では、65～74歳が92.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「使っている」では、字下植野が73.7%で最も高くなっています。

【図表3-4-6 スマートフォンを使っているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

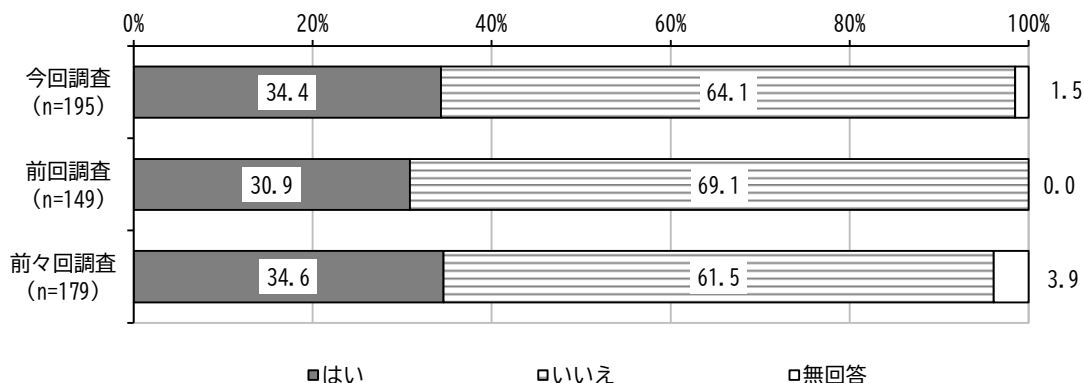
		合計(人)	使っている	使っていない	無回答
性別	男性	51	58.8	41.2	0.0
	女性	144	70.1	27.8	2.1
年齢別	65～74歳	14	92.9	7.1	0.0
	75～84歳	75	76.0	22.7	1.3
	85歳以上	106	57.5	40.6	1.9
世帯構成別	1人暮らし	71	70.4	28.2	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	70.1	29.9	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	56.5	43.5	0.0
	その他	22	77.3	22.7	0.0
居住地区別	字大山崎	73	68.5	28.8	2.7
	字円明寺	103	65.0	34.0	1.0
	字下植野	19	73.7	26.3	0.0
認定状況別	要支援1	128	65.6	32.0	2.3
	要支援2	67	70.1	29.9	0.0

#### (4) 今日が何月何日かわからない時があるか

問 29 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が34.4%、「いいえ」が64.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が3.5ポイント増加しています。

【図表3-4-7 今日が何月何日かわからない時があるか】



性別にみると、「はい」について、男性では37.3%、女性では33.3%となっており、男性のほうが4.0ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85歳以上が41.5%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字大山崎が42.5%で最も高くなっています。

【図表3-4-8 今日が何月何日かわからない時があるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

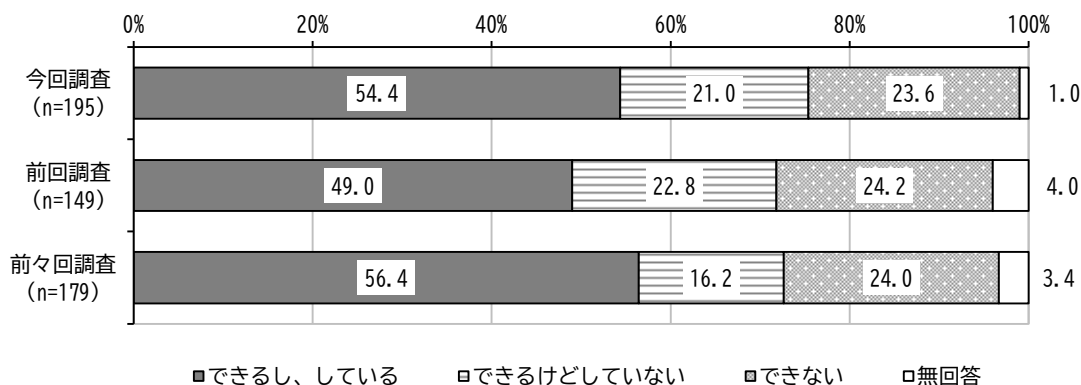
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	37.3	62.7	0.0
	女性	144	33.3	64.6	2.1
年齢別	65～74歳	14	21.4	78.6	0.0
	75～84歳	75	26.7	73.3	0.0
	85歳以上	106	41.5	55.7	2.8
世帯 構成別	1人暮らし	71	35.2	63.4	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	34.3	65.7	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	100.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	43.5	56.5	0.0
	その他	22	27.3	68.2	4.5
居住 地区別	字大山崎	73	42.5	53.4	4.1
	字円明寺	103	30.1	69.9	0.0
	字下植野	19	26.3	73.7	0.0
認定 状況別	要支援1	128	32.0	66.4	1.6
	要支援2	67	38.8	59.7	1.5

### (5) バスや電車を使って1人で外出しているか

**問 30** バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つ)

バスや電車を使って1人で外出しているかについて、「できるし、している」が 54.4%で最も高く、次いで「できない」が 23.6%、「できるけどしていない」が 21.0%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 5.4 ポイント増加しています。

【図表3-4-9 バスや電車を使って1人で外出しているか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では 56.9%、女性では 53.5%となっており、男性のほうが 3.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、65～74 歳が 64.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、字円明寺が 59.2%で最も高くなっています。

【図表3-4-10 バスや電車を使って1人で外出しているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

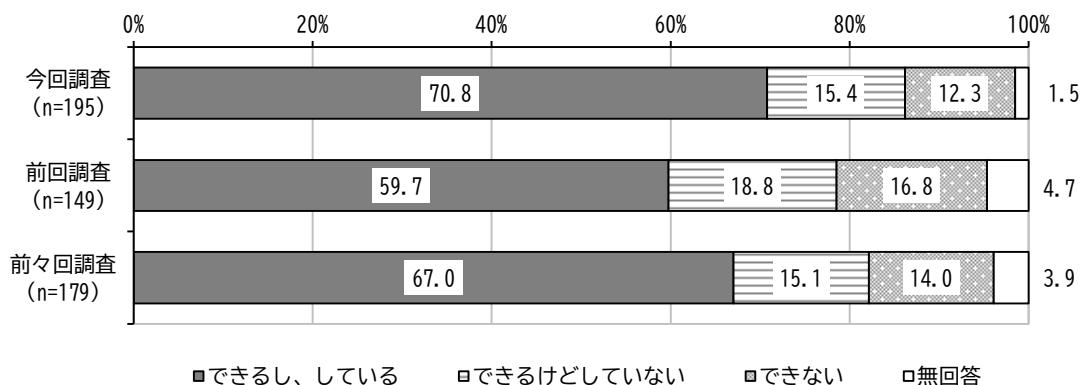
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	51	56.9	23.5	19.6	0.0
	女性	144	53.5	20.1	25.0	1.4
年齢別	65～74歳	14	64.3	21.4	14.3	0.0
	75～84歳	75	64.0	25.3	10.7	0.0
	85歳以上	106	46.2	17.9	34.0	1.9
世帯構成別	1人暮らし	71	64.8	12.7	21.1	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	56.7	26.9	16.4	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	0.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	39.1	13.0	47.8	0.0
	その他	22	40.9	36.4	22.7	0.0
居住地区別	字大山崎	73	52.1	24.7	21.9	1.4
	字円明寺	103	59.2	18.4	21.4	1.0
	字下植野	19	36.8	21.1	42.1	0.0
認定状況別	要支援1	128	60.9	21.9	15.6	1.6
	要支援2	67	41.8	19.4	38.8	0.0

## (6) 自分で食品・日用品の買物をしているか

問 31 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

自分で食品・日用品の買物をしているかについて、「できるし、している」が70.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.4%、「できない」が12.3%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が11.1ポイント増加しています。

【図表3-4-11 自分で食品・日用品の買物をしているか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では49.0%、女性では78.5%となっており、女性のほうが29.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、65～74歳が92.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、字円明寺が75.7%で最も高くなっています。

【図表3-4-12 自分で食品・日用品の買物をしているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

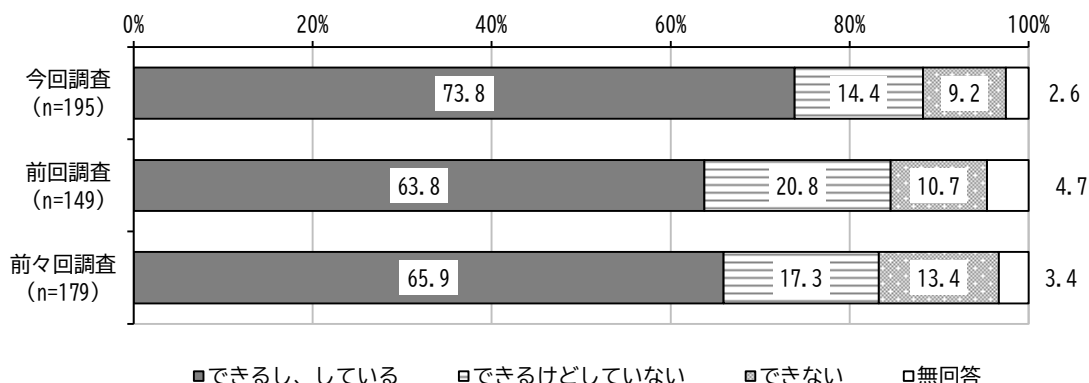
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	51	49.0	33.3	17.6	0.0
	女性	144	78.5	9.0	10.4	2.1
年齢別	65～74歳	14	92.9	7.1	0.0	0.0
	75～84歳	75	77.3	13.3	9.3	0.0
	85歳以上	106	63.2	17.9	16.0	2.8
世帯構成別	1人暮らし	71	87.3	4.2	8.5	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	62.7	23.9	11.9	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	0.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	52.2	17.4	30.4	0.0
	その他	22	72.7	22.7	4.5	0.0
居住地区別	字大山崎	73	69.9	16.4	11.0	2.7
	字円明寺	103	75.7	11.7	11.7	1.0
	字下植野	19	47.4	31.6	21.1	0.0
認定状況別	要支援1	128	77.3	12.5	7.8	2.3
	要支援2	67	58.2	20.9	20.9	0.0

(7) 自分で食事の用意をしているか

問 32 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が73.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.4%、「できない」が9.2%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が10.0ポイント増加しています。

【図表3-4-13 自分で食事の用意をしているか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では43.1%、女性では84.7%となっており、女性のほうが41.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、65～74歳が92.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、字下植野が78.9%で最も高くなっています。

【図表3-4-14 自分で食事の用意をしているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

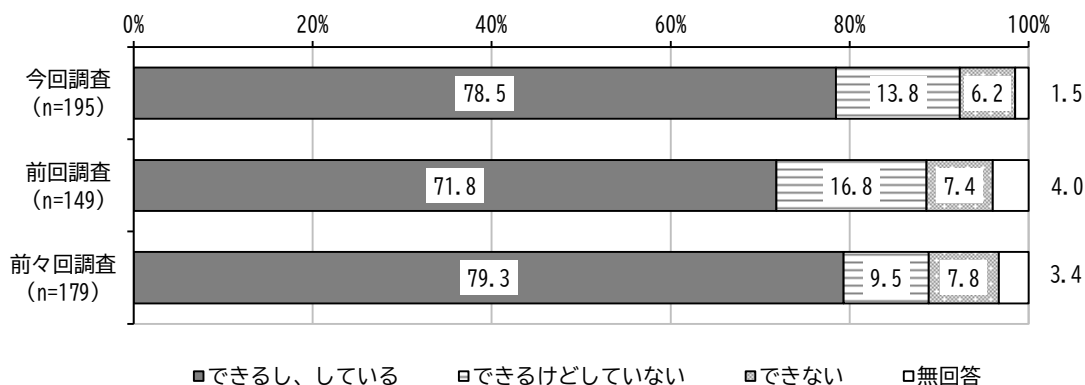
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	51	43.1	35.3	19.6	2.0
	女性	144	84.7	6.9	5.6	2.8
年齢別	65～74歳	14	92.9	7.1	0.0	0.0
	75～84歳	75	72.0	17.3	8.0	2.7
	85歳以上	106	72.6	13.2	11.3	2.8
世帯構成別	1人暮らし	71	93.0	4.2	2.8	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	67.2	17.9	10.4	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	25.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	47.8	30.4	21.7	0.0
	その他	22	72.7	18.2	4.5	4.5
居住地区別	字大山崎	73	68.5	15.1	13.7	2.7
	字円明寺	103	76.7	12.6	7.8	2.9
	字下植野	19	78.9	21.1	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	128	79.7	10.2	7.0	3.1
	要支援2	67	62.7	22.4	13.4	1.5

(8) 自分で請求書の支払いをしているか

問 33 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

自分で請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」が 78.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 13.8%、「できない」が 6.2%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 6.7 ポイント増加しています。

【図表3-4-15 自分で請求書の支払いをしているか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では 60.8%、女性では 84.7%となっており、女性のほうが 23.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、65～74 歳が 92.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、字下植野が 84.2%で最も高くなっています。

【図表3-4-16 自分で請求書の支払いをしているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

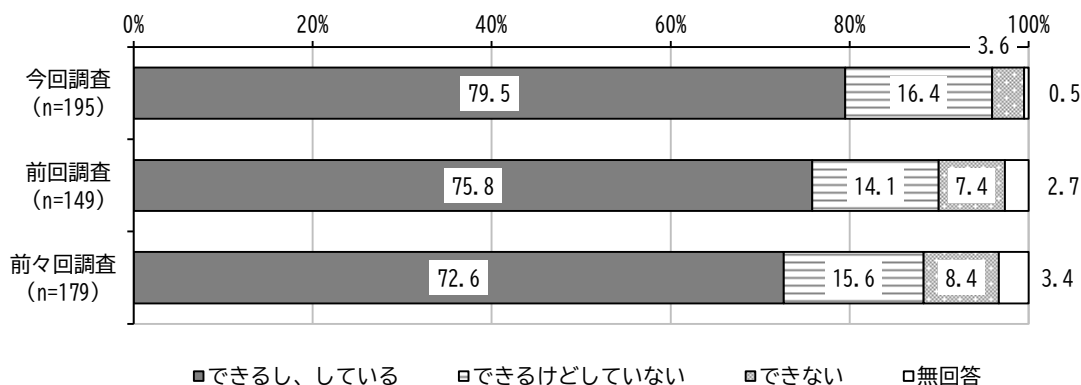
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	51	60.8	27.5	11.8	0.0
	女性	144	84.7	9.0	4.2	2.1
年齢別	65～74歳	14	92.9	7.1	0.0	0.0
	75～84歳	75	80.0	13.3	6.7	0.0
	85歳以上	106	75.5	15.1	6.6	2.8
世帯構成別	1人暮らし	71	94.4	5.6	0.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	64.2	25.4	9.0	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	25.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	65.2	17.4	17.4	0.0
	その他	22	86.4	4.5	4.5	4.5
居住地区別	字大山崎	73	72.6	15.1	9.6	2.7
	字円明寺	103	81.6	13.6	3.9	1.0
	字下植野	19	84.2	10.5	5.3	0.0
認定状況別	要支援1	128	86.7	9.4	2.3	1.6
	要支援2	67	62.7	22.4	13.4	1.5

(9) 自分で預貯金の出し入れをしているか

問 34 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が 79.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 16.4%、「できない」が 3.6%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 3.7 ポイント増加しています。

【図表3-4-17 自分で預貯金の出し入れをしているか】



性別にみると、「できるし、している」について、男性では 64.7%、女性では 84.7%となっており、女性のほうが 20.0 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「できるし、している」では、65～74 歳が 92.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「できるし、している」では、字下植野が 84.2%で最も高くなっています。

【図表3-4-18 自分で預貯金の出し入れをしているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

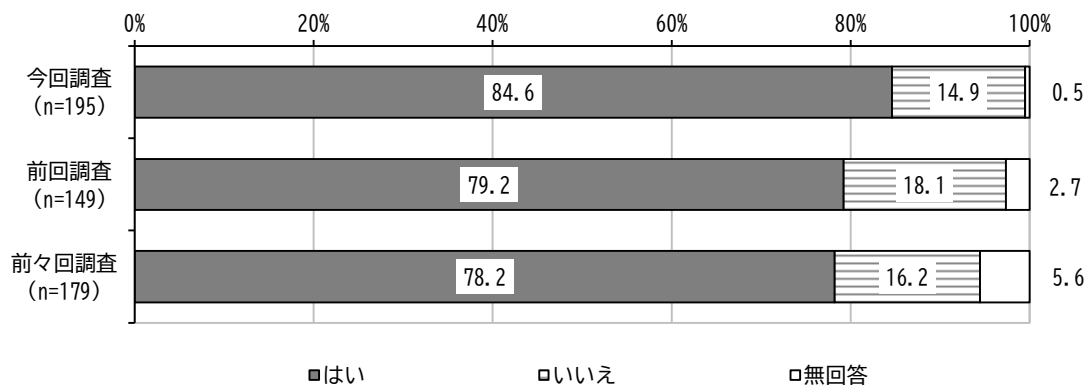
		合計(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
性別	男性	51	64.7	29.4	5.9	0.0
	女性	144	84.7	11.8	2.8	0.7
年齢別	65～74歳	14	92.9	7.1	0.0	0.0
	75～84歳	75	84.0	13.3	2.7	0.0
	85歳以上	106	74.5	19.8	4.7	0.9
世帯構成別	1人暮らし	71	87.3	11.3	1.4	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	79.1	19.4	1.5	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	50.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	69.6	17.4	13.0	0.0
	その他	22	77.3	18.2	4.5	0.0
居住地区別	字大山崎	73	78.1	15.1	5.5	1.4
	字円明寺	103	79.6	17.5	2.9	0.0
	字下植野	19	84.2	15.8	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	128	87.5	9.4	2.3	0.8
	要支援2	67	64.2	29.9	6.0	0.0

## (10) 年金などの書類が書けるか

問 35 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)

年金などの書類が書けるかについて、「はい」が 84.6%、「いいえ」が 14.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.4 ポイント増加しています。

【図表3-4-19 年金などの書類が書けるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 86.3%、女性では 84.0%となっており、男性のほうが 2.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、75～84 歳が 90.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 86.4%で最も高くなっています。

【図表3-4-20 年金などの書類が書けるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

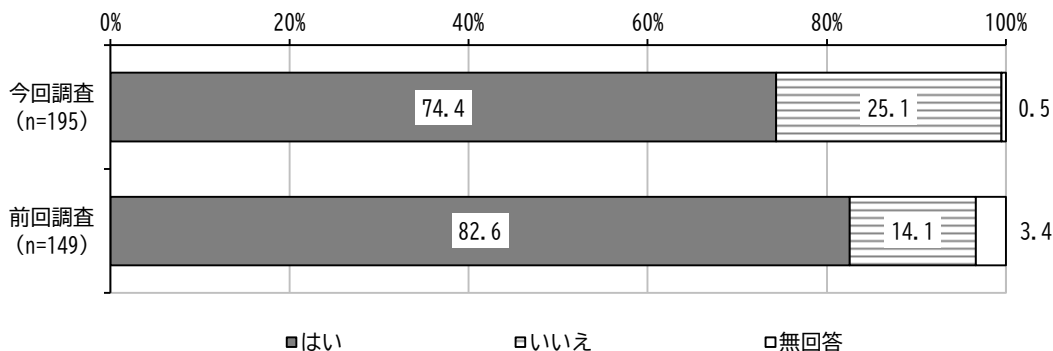
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	86.3	13.7	0.0
	女性	144	84.0	15.3	0.7
年齢別	65～74歳	14	85.7	14.3	0.0
	75～84歳	75	90.7	9.3	0.0
	85歳以上	106	80.2	18.9	0.9
世帯 構成別	1人暮らし	71	93.0	7.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	82.1	17.9	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	100.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	65.2	34.8	0.0
	その他	22	86.4	13.6	0.0
居住 地区別	字大山崎	73	83.6	15.1	1.4
	字円明寺	103	86.4	13.6	0.0
	字下植野	19	78.9	21.1	0.0
認定 状況別	要支援1	128	86.7	12.5	0.8
	要支援2	67	80.6	19.4	0.0

(11) 新聞を読んでいるか

問 36 新聞を読んでいますか。(○は1つ)

新聞を読んでいるかについて、「はい」が 74.4%、「いいえ」が 25.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 8.2 ポイント減少しています。

【図表3-4-21 新聞を読んでいるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 76.5%、女性では 73.6%となっており、男性のほうが 2.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 79.2%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 81.6%で最も高くなっています。

【図表3-4-22 新聞を読んでいるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

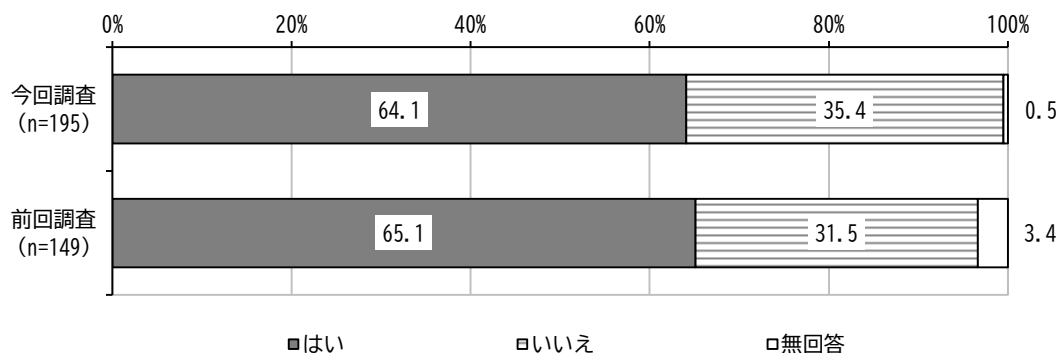
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	76.5	23.5	0.0
	女性	144	73.6	25.7	0.7
年齢別	65～74歳	14	57.1	42.9	0.0
	75～84歳	75	70.7	29.3	0.0
	85歳以上	106	79.2	19.8	0.9
世帯 構成別	1人暮らし	71	71.8	28.2	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	71.6	28.4	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	100.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	87.0	13.0	0.0
	その他	22	77.3	22.7	0.0
居住 地区別	字大山崎	73	67.1	31.5	1.4
	字円明寺	103	81.6	18.4	0.0
	字下植野	19	63.2	36.8	0.0
認定 状況別	要支援1	128	73.4	25.8	0.8
	要支援2	67	76.1	23.9	0.0

(12) 本や雑誌を読んでいるか

問 37 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が 64.1%、「いいえ」が 35.4%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 1.0 ポイント減少しています。

【図表3-4-23 本や雑誌を読んでいるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 51.0%、女性では 68.8%となっており、女性のほうが 17.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 67.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 73.8%で最も高くなっています。

【図表3-4-24 本や雑誌を読んでいるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

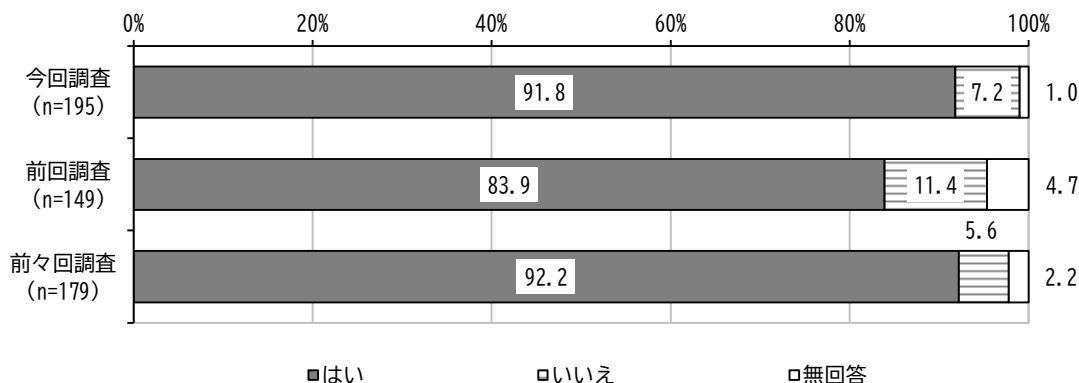
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	51.0	49.0	0.0
	女性	144	68.8	30.6	0.7
年齢別	65～74歳	14	64.3	35.7	0.0
	75～84歳	75	60.0	40.0	0.0
	85歳以上	106	67.0	32.1	0.9
世帯構成別	1人暮らし	71	71.8	28.2	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	55.2	44.8	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	65.2	34.8	0.0
	その他	22	63.6	36.4	0.0
居住地区別	字大山崎	73	54.8	43.8	1.4
	字円明寺	103	73.8	26.2	0.0
	字下植野	19	47.4	52.6	0.0
認定状況別	要支援1	128	63.3	35.9	0.8
	要支援2	67	65.7	34.3	0.0

(13) 健康についての記事や番組に関心があるか

問 38 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が 91.8%、「いいえ」が 7.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 7.9 ポイント増加しています。

【図表3-4-25 健康についての記事や番組に関心があるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 88.2%、女性では 93.1%となっており、女性のほうが 4.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 93.4%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 93.2%で最も高くなっています。

【図表3-4-26 健康についての記事や番組に関心があるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

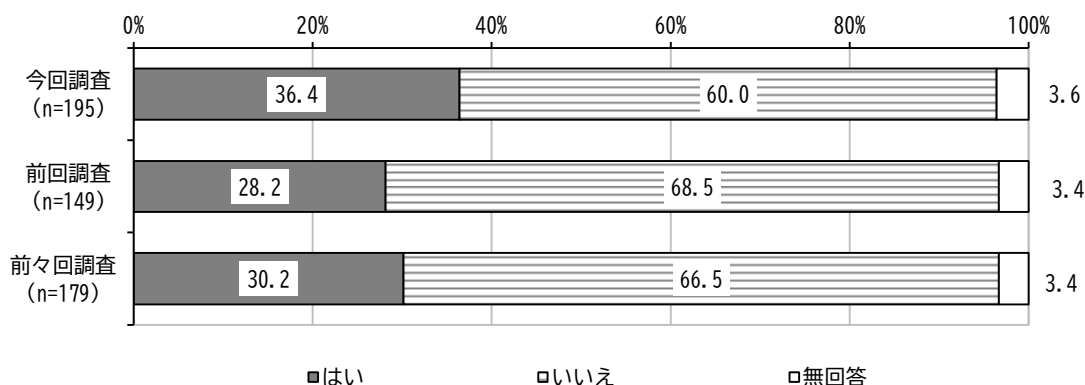
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	88.2	11.8	0.0
	女性	144	93.1	5.6	1.4
年齢別	65～74歳	14	85.7	14.3	0.0
	75～84歳	75	90.7	9.3	0.0
	85歳以上	106	93.4	4.7	1.9
世帯構成別	1人暮らし	71	98.6	0.0	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	83.6	16.4	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	100.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	91.3	8.7	0.0
	その他	22	95.5	4.5	0.0
居住地区別	字大山崎	73	90.4	8.2	1.4
	字円明寺	103	93.2	5.8	1.0
	字下植野	19	89.5	10.5	0.0
認定状況別	要支援1	128	91.4	7.0	1.6
	要支援2	67	92.5	7.5	0.0

### (14) 友人の家を訪ねているか

問 39 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

友人の家を訪ねているかについて、「はい」が 36.4%、「いいえ」が 60.0%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 8.2 ポイント増加しています。

【図表3-4-27 友人の家を訪ねているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 17.6%、女性では 43.1%となっており、女性のほうが 25.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～74 歳が 50.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 41.7%で最も高くなっています。

【図表3-4-28 友人の家を訪ねているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

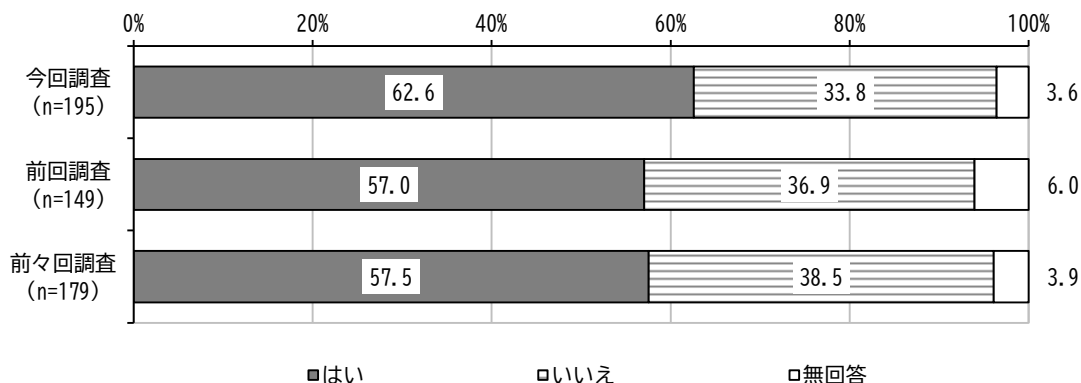
		合計 (人)	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
性別	男性	51	17.6	82.4	0.0
	女性	144	43.1	52.1	4.9
年齢別	65～74歳	14	50.0	50.0	0.0
	75～84歳	75	33.3	64.0	2.7
	85歳以上	106	36.8	58.5	4.7
世帯構成別	1人暮らし	71	50.7	45.1	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	29.9	68.7	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	100.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	26.1	69.6	4.3
	その他	22	27.3	68.2	4.5
居住地区別	字大山崎	73	28.8	64.4	6.8
	字円明寺	103	41.7	56.3	1.9
	字下植野	19	36.8	63.2	0.0
認定状況別	要支援1	128	39.8	56.3	3.9
	要支援2	67	29.9	67.2	3.0

### (15) 家族や友人の相談にのっているか

問 40 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が 62.6%、「いいえ」が 33.8%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.6 ポイント増加しています。

【図表3-4-29 家族や友人の相談にのっているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 52.9%、女性では 66.0%となっており、女性のほうが 13.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～74 歳が 85.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が 63.2%で最も高くなっています。

【図表3-4-30 家族や友人の相談にのっているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

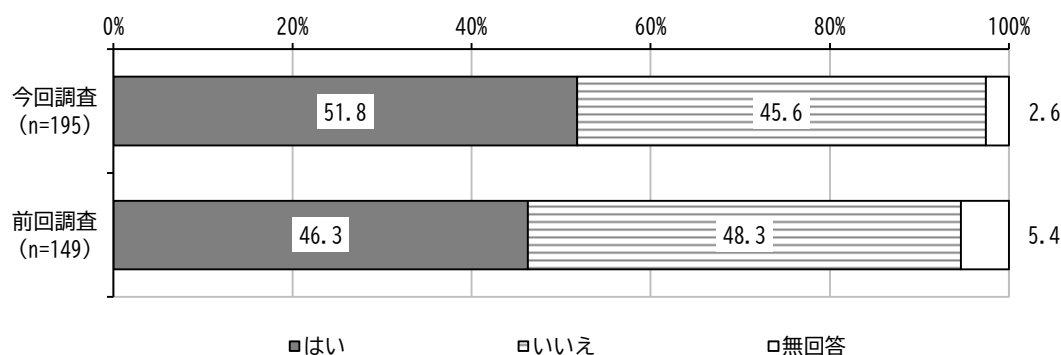
		合計 (人)	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
性別	男性	51	52.9	47.1	0.0
	女性	144	66.0	29.2	4.9
年齢別	65～74歳	14	85.7	14.3	0.0
	75～84歳	75	62.7	34.7	2.7
	85歳以上	106	59.4	35.8	4.7
世帯構成別	1人暮らし	71	56.3	38.0	5.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	68.7	29.9	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	75.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	73.9	21.7	4.3
	その他	22	63.6	36.4	0.0
居住地区別	字大山崎	73	63.0	32.9	4.1
	字円明寺	103	62.1	34.0	3.9
	字下植野	19	63.2	36.8	0.0
認定状況別	要支援1	128	65.6	30.5	3.9
	要支援2	67	56.7	40.3	3.0

## (16) 病人を見舞うことができるか

問 41 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

病人を見舞うことができるかについて、「はい」が51.8%、「いいえ」が45.6%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が5.5ポイント増加しています。

【図表3-4-31 病人を見舞うことができるか】



性別にみると、「はい」について、男性では47.1%、女性では53.5%となっており、女性のほうが6.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～74歳が64.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が59.2%で最も高くなっています。

【図表3-4-32 病人を見舞うことができるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

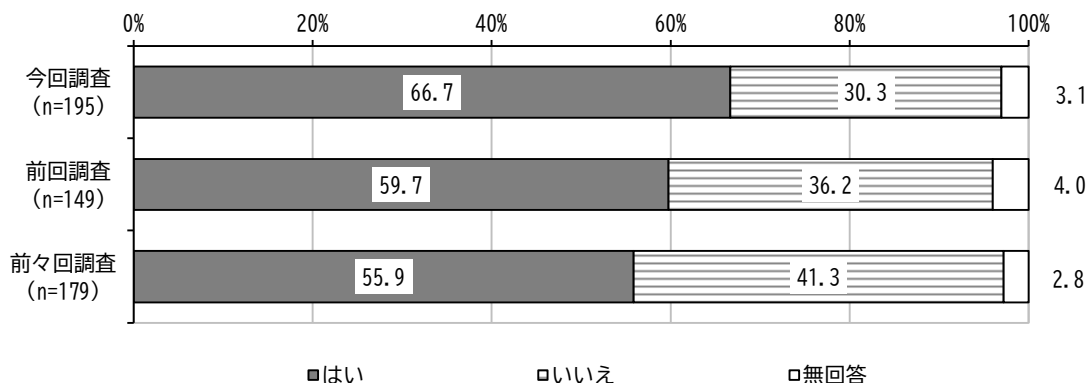
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	47.1	52.9	0.0
	女性	144	53.5	43.1	3.5
年齢別	65～74歳	14	64.3	35.7	0.0
	75～84歳	75	57.3	41.3	1.3
	85歳以上	106	46.2	50.0	3.8
世帯 構成別	1人暮らし	71	50.7	45.1	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	55.2	44.8	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	52.2	47.8	0.0
	その他	22	45.5	50.0	4.5
居住 地区別	字大山崎	73	45.2	49.3	5.5
	字円明寺	103	59.2	39.8	1.0
	字下植野	19	36.8	63.2	0.0
認定 状況別	要支援1	128	60.2	37.5	2.3
	要支援2	67	35.8	61.2	3.0

(17) 若い人に自分から話しかけることがあるか

問 42 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が66.7%、「いいえ」が30.3%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が7.0ポイント増加しています。

【図表3-4-33 若い人に自分から話しかけることがあるか】



性別にみると、「はい」について、男性では54.9%、女性では70.8%となっており、女性のほうが15.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～74歳が78.6%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字大山崎が68.5%で最も高くなっています。

【図表3-4-34 若い人に自分から話しかけることがあるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

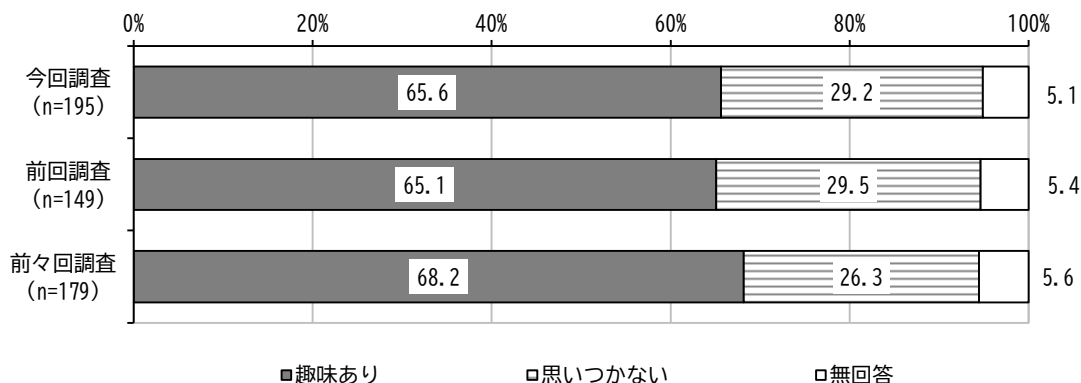
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	54.9	45.1	0.0
	女性	144	70.8	25.0	4.2
年齢別	65～74歳	14	78.6	21.4	0.0
	75～84歳	75	61.3	36.0	2.7
	85歳以上	106	68.9	27.4	3.8
世帯構成別	1人暮らし	71	71.8	22.5	5.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	58.2	41.8	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	78.3	21.7	0.0
	その他	22	68.2	27.3	4.5
居住地区別	字大山崎	73	68.5	26.0	5.5
	字円明寺	103	65.0	33.0	1.9
	字下植野	19	68.4	31.6	0.0
認定状況別	要支援1	128	71.1	26.6	2.3
	要支援2	67	58.2	37.3	4.5

(18) 趣味はあるか

問 43 趣味はありますか。(○は1つ)

趣味はあるかについて、「趣味あり」が 65.6%、「思いつかない」が 29.2%となっています。また、前回調査と比較して「趣味あり」が 0.5 ポイント増加しています。

【図表3-4-35 趣味はあるか】



性別にみると、「趣味あり」について、男性では 66.7%、女性では 65.3%となっており、男性のほうが 1.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「趣味あり」では、85 歳以上が 71.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「趣味あり」では、字円明寺が 69.9%で最も高くなっています。

【図表3-4-36 趣味はあるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	趣味あり	思いつかない	無回答
性別	男性	51	66.7	31.4	2.0
	女性	144	65.3	28.5	6.3
年齢別	65～74歳	14	50.0	50.0	0.0
	75～84歳	75	60.0	33.3	6.7
	85歳以上	106	71.7	23.6	4.7
世帯構成別	1人暮らし	71	67.6	25.4	7.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	70.1	25.4	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	75.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	69.6	30.4	0.0
	その他	22	50.0	45.5	4.5
居住地区別	字大山崎	73	61.6	34.2	4.1
	字円明寺	103	69.9	23.3	6.8
	字下植野	19	57.9	42.1	0.0
認定状況別	要支援1	128	64.1	30.5	5.5
	要支援2	67	68.7	26.9	4.5

趣味の内容について、『読書・新聞などの文学系』が 22 件で最も多く、次いで『カラオケ・楽器などの音楽系』が 19 件、『手芸・裁縫・編み物などの創作系』が 18 件となっています。

【図表3-4-37 趣味の内容】

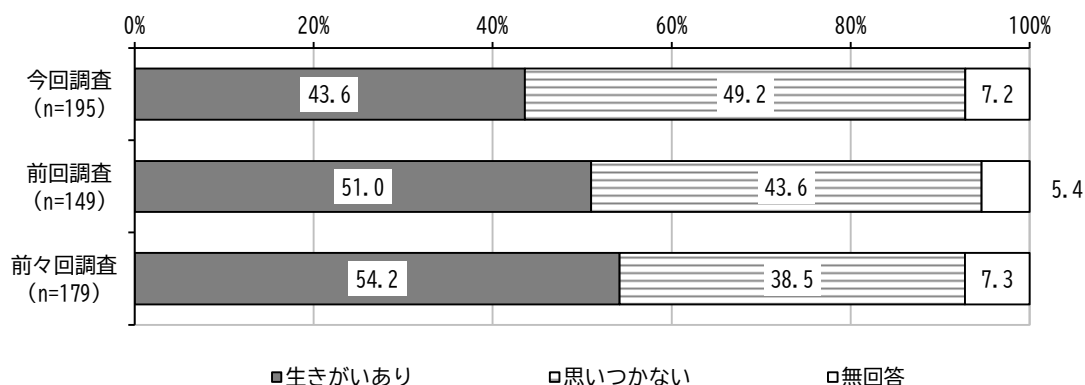
分類	内容	分類	内容
読書・新聞などの文学系 (22件)	読書	映画・ドラマ鑑賞 (10件)	映画鑑賞
	新聞		韓流ドラマ
	推理小説 など		YouTube など
カラオケ・楽器などの音楽系 (19件)	カラオケ	旅行・外出 (10件)	旅行
	コーラス		カフェめぐり
	音楽鑑賞		ハイキング など
	ピアノ	ゲーム (9件)	麻雀
	三味線 など		パズル
	クロスワード		
手芸・裁縫・編み物などの創作系 (18件)	手芸		囲碁
	裁縫	スポーツ・運動 (7件)	将棋 など
	パッチワーク		卓球
	編み物		グラウンドゴルフ
	レース編み など		スポーツ観戦 など
絵画・写真・美術鑑賞などのアート系 (16件)	絵画	語学・学び系 (3件)	英会話 など
	水彩画	サークル (3件)	サークル活動 など
	スケッチ	その他 (3件)	仕事 など
	写真		
	美術鑑賞		
	ぬり絵 など		
園芸 (13件)	植木の剪定		
	花・庭の手入れ		
	花壇づくり		
	野菜作り		
	プランター栽培 など		

### (19) 生きがいはあるか

問 44 生きがいがありますか。(○は1つ)

生きがいはあるかについて、「生きがいあり」が 43.6%、「思いつかない」が 49.2%となっています。また、前回調査と比較して「生きがいあり」が 7.4 ポイント減少しています。

【図表3-4-38 生きがいはあるか】



性別にみると、「生きがいあり」について、男性では 33.3%、女性では 47.2%となっており、女性のほうが 13.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「生きがいあり」では、85 歳以上が 50.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「生きがいあり」では、字大山崎が 43.8%で最も高くなっています。

【図表3-4-39 生きがいはあるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	生きがいあり	思いつかない	無回答
性別	男性	51	33.3	60.8	5.9
	女性	144	47.2	45.1	7.6
年齢別	65～74歳	14	35.7	64.3	0.0
	75～84歳	75	36.0	57.3	6.7
	85歳以上	106	50.0	41.5	8.5
世帯構成別	1人暮らし	71	45.1	45.1	9.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	49.3	47.8	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	75.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	30.4	60.9	8.7
	その他	22	40.9	54.5	4.5
居住地区別	字大山崎	73	43.8	49.3	6.8
	字円明寺	103	43.7	49.5	6.8
	字下植野	19	42.1	47.4	10.5
認定状況別	要支援1	128	45.3	46.9	7.8
	要支援2	67	40.3	53.7	6.0

生きがいの内容について、『孫・子ども・家族との時間』が33件で最も多く、次いで『趣味』が26件、『健康』が14件となっています。

【図表3-4-40 生きがいの内容】

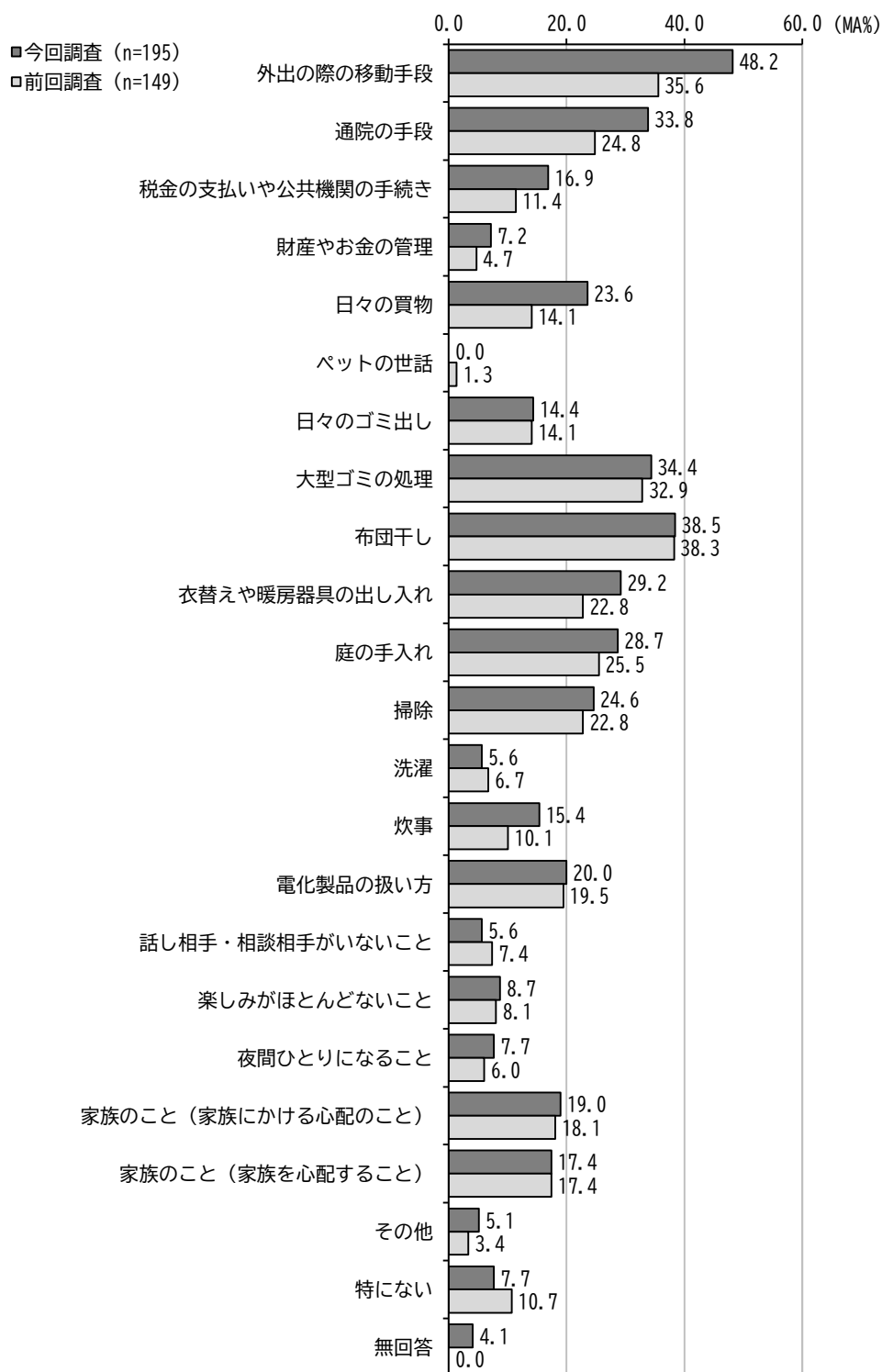
分類	内容
孫・子ども・家族との時間 (33件)	孫の成長
	子ども・孫の健康
	家族と過ごすこと
	主人の世話 など
趣味 (26件)	手芸・縫物
	音楽を聴く
	読書・新聞 など
健康 (14件)	健康でいること
	長生き など
友人との交流 (12件)	友人と会う
	デイケアでの交流
	人と話す など
日常生活 (10件)	毎日が楽しい
	食事がおいしい など
仕事 (8件)	仕事
	役割をもつこと など
その他 (4件)	信仰による支え など

## (20) 暮らしの中で困っていること

問 45 あなたが暮らしの中で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

暮らしの中で困っていることについて、「外出の際の移動手段」が 48.2%で最も高く、次いで「布団干し」が 38.5%、「大型ゴミの処理」が 34.4%となっています。また、前回調査と比較して「外出の際の移動手段」が 12.6 ポイント増加しています。

【図表3-4-41 暮らしの中で困っていること】



性別にみると、男性・女性ともに「外出の際の移動手段」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「外出の際の移動手段」では、65～74歳が57.1%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「外出の際の移動手段」では、字下植野が52.6%で最も高くなっています。

【図表3-4-42 暮らしの中で困っていること(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	外出の際の移動手段	通院の手段	税金の支払いや公共機 関の手続き	財産やお金の管理	日々の買物	ペットの世話	日々のゴミ出し	大型ゴミの処理	布団干し	衣替えや暖房器具の出 し入れ	庭の手入れ	掃除
性別	男性	51	51.0	31.4	13.7	11.8	27.5	0.0	15.7	27.5	19.6	21.6	21.6	27.5
	女性	144	47.2	34.7	18.1	5.6	22.2	0.0	13.9	36.8	45.1	31.9	31.3	23.6
年齢別	65～74歳	14	57.1	21.4	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	35.7	35.7	21.4	14.3
	75～84歳	75	44.0	37.3	18.7	6.7	20.0	0.0	9.3	38.7	38.7	22.7	17.3	21.3
	85歳以上	106	50.0	33.0	17.9	8.5	27.4	0.0	17.9	32.1	38.7	33.0	37.7	28.3
世帯 構成別	1人暮らし	71	45.1	36.6	14.1	7.0	21.1	0.0	16.9	43.7	54.9	38.0	40.8	31.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	55.2	35.8	20.9	9.0	31.3	0.0	13.4	31.3	29.9	28.4	25.4	28.4
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	43.5	30.4	17.4	4.3	17.4	0.0	17.4	21.7	26.1	8.7	21.7	17.4
	その他	22	50.0	36.4	18.2	9.1	18.2	0.0	13.6	31.8	31.8	27.3	13.6	13.6
居住 地区別	字大山崎	73	45.2	31.5	16.4	5.5	19.2	0.0	16.4	31.5	37.0	23.3	24.7	26.0
	字円明寺	103	49.5	31.1	17.5	7.8	23.3	0.0	12.6	38.8	40.8	34.0	30.1	24.3
	字下植野	19	52.6	57.9	15.8	10.5	42.1	0.0	15.8	21.1	31.6	26.3	36.8	21.1
認定 状況別	要支援1	128	41.4	28.9	16.4	9.4	21.9	0.0	13.3	32.8	36.7	25.0	27.3	25.8
	要支援2	67	61.2	43.3	17.9	3.0	26.9	0.0	16.4	37.3	41.8	37.3	31.3	22.4

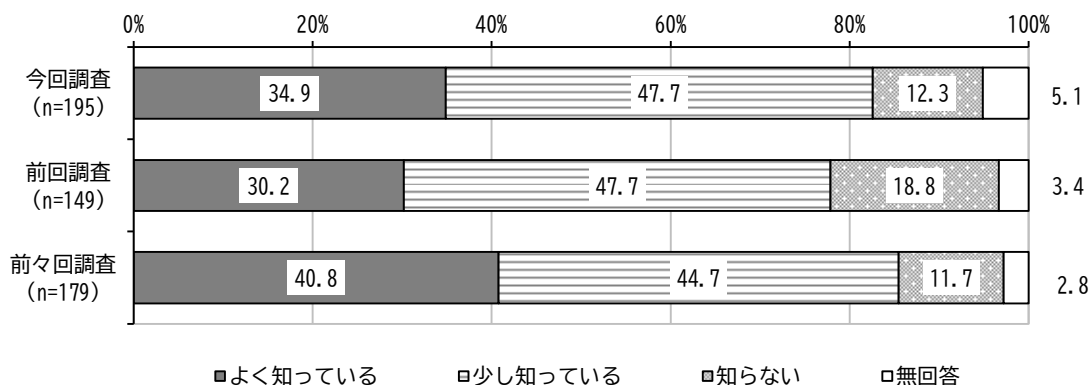
		合計(人)	洗濯	炊事	電化製品の扱い方	話し相手・相談相手が いないこと	楽しみがほとんどない こと	夜間ひとりになること	家族のこと(家族にか ける心配のこと)	家族のこと(家族を心 配すること)	その他	特 に な い	無 回 答
性別	男性	51	7.8	17.6	13.7	9.8	9.8	9.8	21.6	21.6	5.9	5.9	3.9
	女性	144	4.9	14.6	22.2	4.2	8.3	6.9	18.1	16.0	4.9	8.3	4.2
年齢別	65～74歳	14	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	14.3	21.4	0.0
	75～84歳	75	5.3	12.0	16.0	8.0	8.0	6.7	20.0	20.0	6.7	8.0	6.7
	85歳以上	106	6.6	19.8	24.5	3.8	9.4	9.4	20.8	17.0	2.8	5.7	2.8
世帯 構成別	1人暮らし	71	5.6	16.9	28.2	7.0	7.0	18.3	15.5	7.0	2.8	1.4	5.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	7.5	19.4	19.4	6.0	11.9	0.0	17.9	25.4	7.5	10.4	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	8.7	8.7	13.0	0.0	4.3	0.0	17.4	17.4	4.3	17.4	0.0
	その他	22	0.0	4.5	9.1	9.1	4.5	9.1	36.4	22.7	9.1	9.1	4.5
居住 地区別	字大山崎	73	5.5	17.8	21.9	8.2	4.1	9.6	16.4	17.8	11.0	11.0	5.5
	字円明寺	103	4.9	15.5	19.4	3.9	10.7	6.8	20.4	16.5	1.0	2.9	2.9
	字下植野	19	10.5	5.3	15.8	5.3	15.8	5.3	21.1	21.1	5.3	21.1	5.3
認定 状況別	要支援1	128	5.5	14.1	21.1	3.9	7.8	7.8	19.5	19.5	7.0	7.8	4.7
	要支援2	67	6.0	17.9	17.9	9.0	10.4	7.5	17.9	13.4	1.5	7.5	3.0

## (21) 災害時の避難場所を知っているか

問 46 あなたは、災害時の避難場所についてご存知ですか。(○は1つ)

災害時の避難場所を知っているかについて、「少し知っている」が 47.7%で最も高く、次いで「よく知っている」が 34.9%、「知らない」が 12.3%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 6.5 ポイント減少しています。

【図表3-4-43 災害時の避難場所を知っているか】



性別にみると、男性・女性ともに「少し知っている」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「知らない」では、85歳以上が 17.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「知らない」では、字円明寺が 15.5%で最も高くなっています。

【図表3-4-44 災害時の避難場所を知っているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
性別	男性	51	31.4	52.9	13.7	2.0
	女性	144	36.1	45.8	11.8	6.3
年齢別	65～74歳	14	35.7	64.3	0.0	0.0
	75～84歳	75	37.3	50.7	6.7	5.3
	85歳以上	106	33.0	43.4	17.9	5.7
世帯構成別	1人暮らし	71	29.6	56.3	12.7	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	34.3	52.2	7.5	6.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	25.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	52.2	17.4	26.1	4.3
	その他	22	40.9	50.0	4.5	4.5
居住地区別	字大山崎	73	34.2	50.7	8.2	6.8
	字円明寺	103	35.0	45.6	15.5	3.9
	字下植野	19	36.8	47.4	10.5	5.3
認定状況別	要支援1	128	30.5	52.3	12.5	4.7
	要支援2	67	43.3	38.8	11.9	6.0

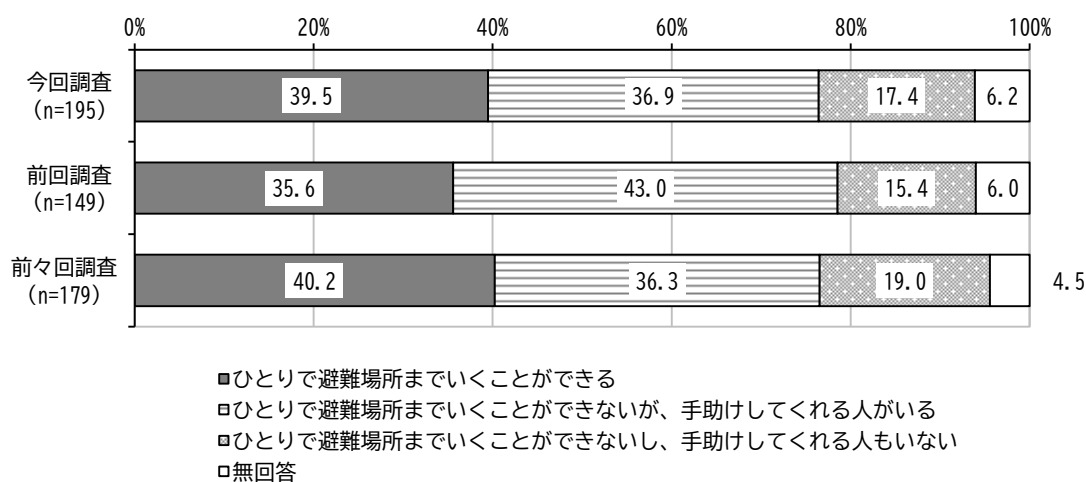
## (22) ひとりで避難場所までいくことができるか

問 47

災害が発生して避難する時に、ひとりで避難場所までいくことができますか。  
(○は1つ)

ひとりで避難場所までいくことができるかについて、「ひとりで避難場所までいくことができる」が 39.5%で最も高く、次いで「ひとりで避難場所までいくことができないが、手助けしてくれる人がいる」が 36.9%、「ひとりで避難場所までいくことができないし、手助けしてくれる人もいない」が 17.4%となっています。また、前回調査と比較して「ひとりで避難場所までいくことができる」が 3.9 ポイント増加しています。

【図表3-4-45 ひとりで避難場所までいくことができるか】



性別にみると、「ひとりで避難場所までいくことができないし、手助けしてくれる人もいない」について、男性では13.7%、女性では18.8%となっており、女性のほうが5.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「ひとりで避難場所までいくことができないし、手助けしてくれる人もいない」では、85歳以上が21.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ひとりで避難場所までいくことができないし、手助けしてくれる人もいない」では、字下植野が26.3%で最も高くなっています。

【図表3-4-46 ひとりで避難場所までいくことができるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	ひとりで 避難場所 までい くこと がで きな い	ひと りで 避難 場所 まで い く こ と が で き な い し 、 手 助 け し て く れ る 人 も い な い	ひと りで 避難 場所 まで い く こ と が で き な い し 、 手 助 け し て く れ る 人 も い な い	無 回 答
性別	男性	51	51.0	35.3	13.7	0.0
	女性	144	35.4	37.5	18.8	8.3
年齢別	65～74歳	14	28.6	50.0	7.1	14.3
	75～84歳	75	48.0	33.3	13.3	5.3
	85歳以上	106	34.9	37.7	21.7	5.7
世帯 構成別	1人暮らし	71	43.7	21.1	28.2	7.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	52.2	31.3	11.9	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	50.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	13.0	82.6	0.0	4.3
	その他	22	31.8	54.5	13.6	0.0
居住 地区別	字大山崎	73	37.0	43.8	12.3	6.8
	字円明寺	103	44.7	30.1	19.4	5.8
	字下植野	19	21.1	47.4	26.3	5.3
認定 状況別	要支援1	128	42.2	35.2	17.2	5.5
	要支援2	67	34.3	40.3	17.9	7.5

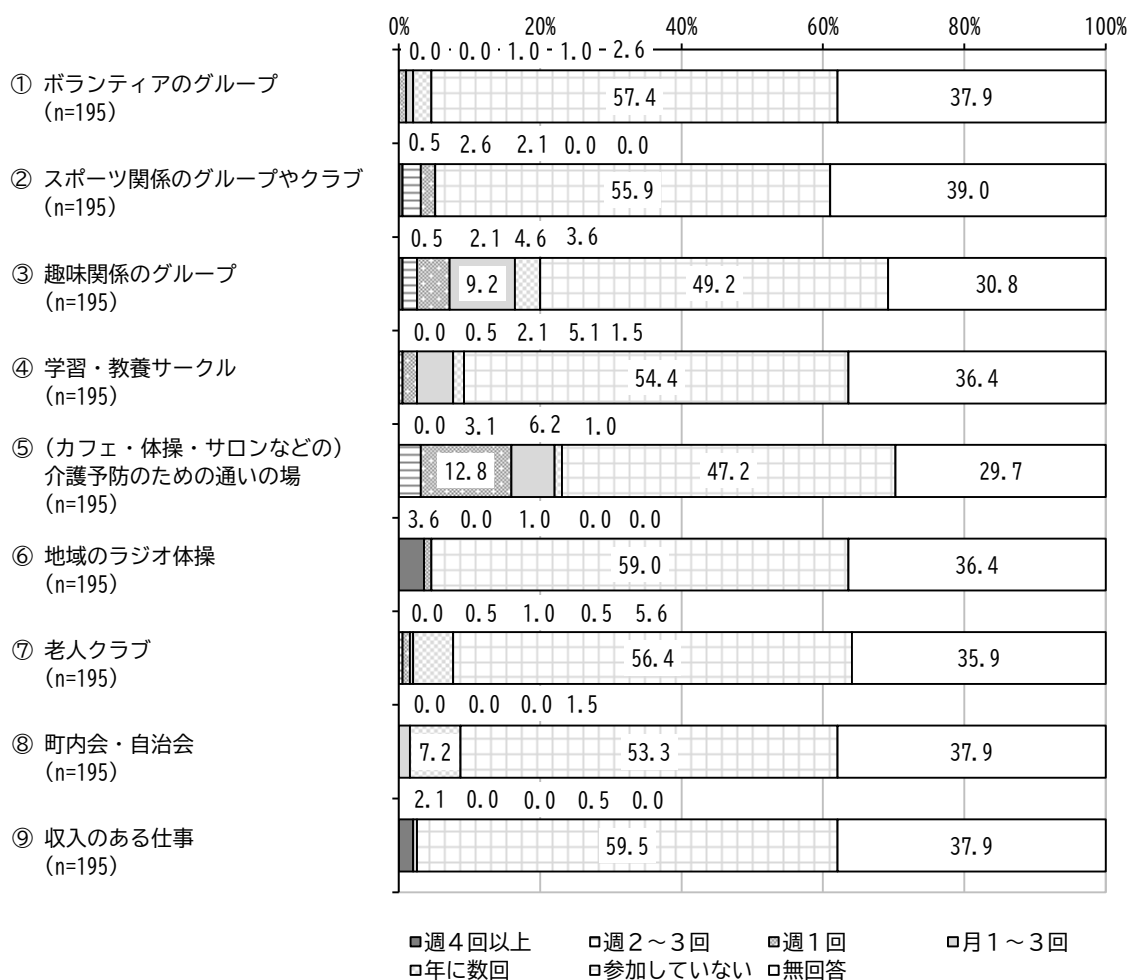
## 5. 地域での活動について

### (1) 地域での活動の頻度

問 48	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 (①～⑨それぞれに○は1つ)
------	--

地域での活動の頻度について、『参加している』(「週4回以上」と「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」と「年に数回」の合計)では、「(カフェ・体操・サロンなどの)介護予防のための通いの場」が 23.1%で最も高く、次いで「趣味関係のグループ」が 20.0%、「学習・教養サークル」が 9.2%となっています。

【図表3-5-1 地域での活動の頻度】



i ボランティアのグループ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が89.5%で最も高くなっています。

【図表3-5-2 地域での活動の頻度・ボランティアのグループ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 ~ 3	週 1 回	回月 1 ~ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	195	0.0	0.0	1.0	1.0	2.6	57.4	37.9
	前回調査	149	0.7	0.7	1.3	1.3	0.0	63.8	0.3
	前々回調査	179	0.0	0.6	1.1	1.1	2.2	62.6	32.4
性別	男性	51	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8	62.7	27.5
	女性	144	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	55.6	41.7
年齢別	65~74歳	14	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	71.4	21.4
	75~84歳	75	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	66.7	32.0
	85歳以上	106	0.0	0.0	1.9	0.9	3.8	49.1	44.3
世帯 構成別	1人暮らし	71	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8	43.7	50.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	0.0	0.0	1.5	3.0	68.7	26.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	65.2	30.4
	その他	22	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	68.2	27.3
居住 地区別	字大山崎	73	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	53.4	45.2
	字円明寺	103	0.0	0.0	1.9	1.9	3.9	54.4	37.9
	字下植野	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5	10.5
認定 状況別	要支援1	128	0.0	0.0	1.6	1.6	2.3	57.0	37.5
	要支援2	67	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	58.2	38.8

ii スポーツ関係のグループやクラブ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が89.5%で最も高くなっています。

【図表3-5-3 地域での活動の頻度・スポーツ関係のグループやクラブ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 ~ 3	週 1 回	回月 1 ~ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	195	0.5	2.6	2.1	0.0	0.0	55.9	39.0
	前回調査	149	0.7	0.7	4.0	2.7	0.0	62.4	0.3
	前々回調査	179	1.1	3.9	1.1	0.6	1.1	56.4	35.8
性別	男性	51	0.0	3.9	2.0	0.0	0.0	66.7	27.5
	女性	144	0.7	2.1	2.1	0.0	0.0	52.1	43.1
年齢別	65~74歳	14	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	64.3	28.6
	75~84歳	75	1.3	5.3	2.7	0.0	0.0	62.7	28.0
	85歳以上	106	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	50.0	48.1
世帯 構成別	1人暮らし	71	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	45.1	52.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	7.5	1.5	0.0	0.0	62.7	26.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.2	34.8
	その他	22	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	68.2	27.3
居住 地区別	字大山崎	73	1.4	5.5	2.7	0.0	0.0	47.9	42.5
	字円明寺	103	0.0	1.0	1.9	0.0	0.0	55.3	41.7
	字下植野	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5	10.5
認定 状況別	要支援1	128	0.8	3.9	3.1	0.0	0.0	53.1	39.1
	要支援2	67	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.2	38.8

### iii 趣味関係のグループ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が84.2%で最も高くなっています。

【図表3-5-4 地域での活動の頻度・趣味関係のグループ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 ~ 3	週 1 回	回月 1 ~ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	195	0.5	2.1	4.6	9.2	3.6	49.2	30.8
	前回調査	149	0.7	0.7	4.7	6.0	2.0	59.7	0.3
	前々回調査	179	0.6	4.5	2.8	6.7	3.9	52.5	29.1
性別	男性	51	2.0	0.0	5.9	5.9	2.0	58.8	25.5
	女性	144	0.0	2.8	4.2	10.4	4.2	45.8	32.6
年齢別	65~74歳	14	0.0	7.1	0.0	7.1	7.1	57.1	21.4
	75~84歳	75	0.0	2.7	4.0	6.7	4.0	56.0	26.7
	85歳以上	106	0.9	0.9	5.7	11.3	2.8	43.4	34.9
世帯 構成別	1人暮らし	71	0.0	2.8	8.5	12.7	2.8	35.2	38.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	1.5	3.0	7.5	6.0	56.7	23.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	60.9	30.4
	その他	22	0.0	4.5	4.5	13.6	0.0	63.6	13.6
居住 地区別	字大山崎	73	0.0	4.1	6.8	2.7	5.5	46.6	34.2
	字円明寺	103	1.0	1.0	2.9	15.5	2.9	44.7	32.0
	字下植野	19	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	84.2	10.5
認定 状況別	要支援1	128	0.8	1.6	6.3	11.7	5.5	44.5	29.7
	要支援2	67	0.0	3.0	1.5	4.5	0.0	58.2	32.8

#### iv 学習・教養サークル

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が78.9%で最も高くなっています。

【図表3-5-5 地域での活動の頻度・学習・教養サークル(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計)	上週 4 回以	回週 2 ～ 3	週 1 回	回月 1 ～ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	195	0.0	0.5	2.1	5.1	1.5	54.4	36.4
	前回調査	149	0.0	0.0	0.7	2.0	1.3	64.4	0.3
	前々回調査	179	0.6	2.8	1.7	1.7	2.8	57.5	33.0
性別	男性	51	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	64.7	31.4
	女性	144	0.0	0.7	2.1	6.3	2.1	50.7	38.2
年齢別	65～74歳	14	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	64.3	14.3
	75～84歳	75	0.0	1.3	1.3	4.0	0.0	64.0	29.3
	85歳以上	106	0.0	0.0	2.8	3.8	2.8	46.2	44.3
世帯 構成別	1人暮らし	71	0.0	0.0	4.2	5.6	1.4	40.8	47.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	1.5	1.5	6.0	3.0	62.7	25.4
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	65.2	30.4
	その他	22	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	68.2	27.3
居住 地区別	字大山崎	73	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	53.4	43.8
	字円明寺	103	0.0	1.0	2.9	8.7	1.9	50.5	35.0
	字下植野	19	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	78.9	15.8
認定 状況別	要支援1	128	0.0	0.8	2.3	6.3	2.3	53.1	35.2
	要支援2	67	0.0	0.0	1.5	3.0	0.0	56.7	38.8

v (カフェ・体操・サロンなどの)介護予防のための通いの場

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が73.7%で最も高くなっています。

【図表3-5-6 地域での活動の頻度・介護予防のための通いの場(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 ~ 3	週 1 回	回月 1 ~ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	195	0.0	3.1	12.8	6.2	1.0	47.2	29.7
	前回調査	149	0.0	9.4	8.1	2.7	0.7	55.0	0.2
	前々回調査	179	1.7	11.7	9.5	3.4	2.2	48.0	23.5
性別	男性	51	0.0	0.0	7.8	5.9	3.9	58.8	23.5
	女性	144	0.0	4.2	14.6	6.3	0.0	43.1	31.9
年齢別	65~74歳	14	0.0	7.1	21.4	7.1	0.0	42.9	21.4
	75~84歳	75	0.0	2.7	9.3	6.7	1.3	56.0	24.0
	85歳以上	106	0.0	2.8	14.2	5.7	0.9	41.5	34.9
世帯 構成別	1人暮らし	71	0.0	4.2	21.1	5.6	0.0	31.0	38.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	1.5	10.4	7.5	0.0	58.2	22.4
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	60.9	30.4
	その他	22	0.0	4.5	13.6	4.5	9.1	54.5	13.6
居住 地区別	字大山崎	73	0.0	1.4	13.7	2.7	1.4	41.1	39.7
	字円明寺	103	0.0	4.9	12.6	8.7	1.0	46.6	26.2
	字下植野	19	0.0	0.0	10.5	5.3	0.0	73.7	10.5
認定 状況別	要支援1	128	0.0	0.0	18.0	4.7	1.6	45.3	30.5
	要支援2	67	0.0	9.0	3.0	9.0	0.0	50.7	28.4

## vi 地域のラジオ体操

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が84.2%で最も高くなっています。

【図表3-5-7 地域での活動の頻度・地域のラジオ体操(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 ~ 3	週 1 回	回月 1 ~ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	195	3.6	0.0	1.0	0.0	0.0	59.0	36.4
	前回調査	149	2.7	0.7	0.0	0.0	0.0	65.8	0.3
性別	男性	51	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	68.6	29.4
	女性	144	4.9	0.0	0.7	0.0	0.0	55.6	38.9
年齢別	65~74歳	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6	21.4
	75~84歳	75	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	66.7	30.7
	85歳以上	106	5.7	0.0	0.9	0.0	0.0	50.9	42.5
世帯 構成別	1人暮らし	71	8.5	0.0	1.4	0.0	0.0	45.1	45.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.7	31.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との2世帯	23	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	69.6	26.1
	その他	22	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	72.7	22.7
居住 地区別	字大山崎	73	4.1	0.0	1.4	0.0	0.0	52.1	42.5
	字円明寺	103	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	59.2	36.9
	字下植野	19	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	84.2	10.5
認定 状況別	要支援1	128	3.9	0.0	1.6	0.0	0.0	58.6	35.9
	要支援2	67	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.7	37.3

vii 老人クラブ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が78.9%で最も高くなっています。

【図表3-5-8 地域での活動の頻度・老人クラブ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 ~ 3	週 1 回	回月 1 ~ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	195	0.0	0.5	1.0	0.5	5.6	56.4	35.9
	前回調査	149	0.0	0.0	0.0	2.0	3.4	63.1	0.3
	前々回調査	179	1.7	2.2	1.1	1.1	6.7	55.3	31.8
性別	男性	51	0.0	0.0	0.0	0.0	13.7	60.8	25.5
	女性	144	0.0	0.7	1.4	0.7	2.8	54.9	39.6
年齢別	65~74歳	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6	21.4
	75~84歳	75	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	66.7	30.7
	85歳以上	106	0.0	0.9	1.9	0.9	8.5	46.2	41.5
世帯 構成別	1人暮らし	71	0.0	1.4	1.4	1.4	9.9	40.8	45.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	67.2	29.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	65.2	26.1
	その他	22	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	72.7	22.7
居住 地区別	字大山崎	73	0.0	1.4	1.4	0.0	1.4	52.1	43.8
	字円明寺	103	0.0	0.0	0.0	1.0	7.8	55.3	35.9
	字下植野	19	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	78.9	5.3
認定 状況別	要支援1	128	0.0	0.0	1.6	0.0	7.0	54.7	36.7
	要支援2	67	0.0	1.5	0.0	1.5	3.0	59.7	34.3

viii 町内会・自治会

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が78.9%で最も高くなっています。

【図表3-5-9 地域での活動の頻度・町内会・自治会(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4 回以 上	回週 2 ～ 3	週 1 回	回月 1 ～ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	195	0.0	0.0	0.0	1.5	7.2	53.3	37.9
	前回調査	149	0.7	0.0	0.0	1.3	8.1	59.7	0.3
	前々回調査	179	0.6	0.0	0.0	0.6	7.3	55.9	35.8
性別	男性	51	0.0	0.0	0.0	2.0	7.8	62.7	27.5
	女性	144	0.0	0.0	0.0	1.4	6.9	50.0	41.7
年齢別	65～74歳	14	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	71.4	14.3
	75～84歳	75	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	62.7	30.7
	85歳以上	106	0.0	0.0	0.0	1.9	7.5	44.3	46.2
世帯 構成別	1人暮らし	71	0.0	0.0	0.0	1.4	14.1	36.6	47.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	65.7	32.8
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3	60.9	26.1
	その他	22	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	68.2	22.7
居住 地区別	字大山崎	73	0.0	0.0	0.0	2.7	2.7	50.7	43.8
	字円明寺	103	0.0	0.0	0.0	1.0	9.7	50.5	38.8
	字下植野	19	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	78.9	10.5
認定 状況別	要支援1	128	0.0	0.0	0.0	1.6	7.0	54.7	36.7
	要支援2	67	0.0	0.0	0.0	1.5	7.5	50.7	40.3

ix 収入のある仕事

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「参加していない」では、字下植野が89.5%で最も高くなっています。

【図表3-5-10 地域での活動の頻度・収入のある仕事(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計 人)	上週 4回 以上	回週 2 ~ 3	週 1 回	回月 1 ~ 3	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
経年 比較	今回調査	195	2.1	0.0	0.0	0.5	0.0	59.5	37.9
	前回調査	149	0.7	0.7	1.3	0.0	0.0	65.8	0.3
	前々回調査	179	1.7	0.6	0.6	0.6	0.6	61.5	34.6
性別	男性	51	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	29.4
	女性	144	1.4	0.0	0.0	0.7	0.0	56.9	41.0
年齢別	65~74歳	14	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	64.3	21.4
	75~84歳	75	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.3	30.7
	85歳以上	106	1.9	0.0	0.0	0.9	0.0	51.9	45.3
世帯 構成別	1人暮らし	71	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.1	47.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	6.0	0.0	0.0	1.5	0.0	61.2	31.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.6	30.4
	その他	22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.3	22.7
居住 地区別	字大山崎	73	4.1	0.0	0.0	1.4	0.0	52.1	42.5
	字円明寺	103	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.2	39.8
	字下植野	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5	10.5
認定 状況別	要支援1	128	2.3	0.0	0.0	0.8	0.0	59.4	37.5
	要支援2	67	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	59.7	38.8

【図表3-5-11 いずれかの活動に参加している人の割合】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

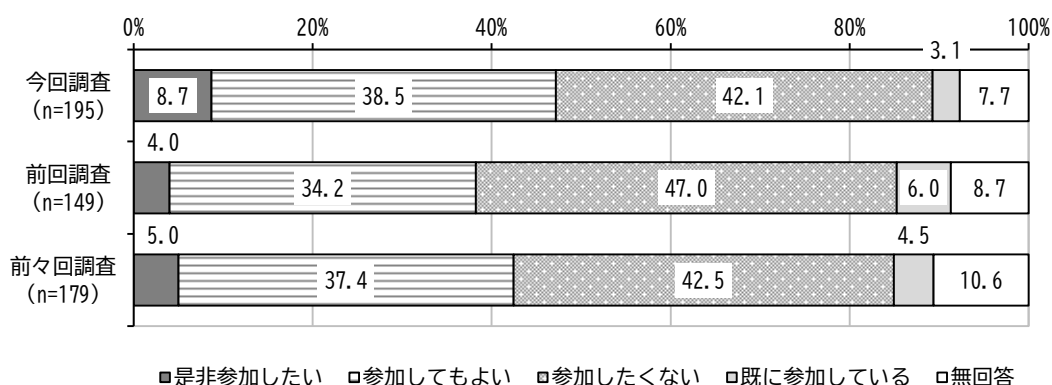
		合計 (人)	回 し て い な い か に 参 加 し て い な い ( 上 週 1 回 以 上)	回 し て い な い か に 参 加 し て い な い ( 未 満 1 週 に 参 加 し て い な い)	全 て に 不 参 加	無 回 答
全体		195	30.8	16.9	34.4	17.9
性別	男性	51	23.5	25.5	35.3	15.7
	女性	144	33.3	13.9	34.0	18.8
年齢別	65~74歳	14	42.9	21.4	28.6	7.1
	75~84歳	75	29.3	16.0	38.7	16.0
	85歳以上	106	30.2	17.0	32.1	20.8
世帯 構成別	1人暮らし	71	40.8	15.5	22.5	21.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	31.3	14.9	40.3	13.4
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	25.0	50.0	25.0
	息子・娘との2世帯	23	13.0	21.7	47.8	17.4
	その他	22	31.8	27.3	36.4	4.5
居住 地区別	字大山崎	73	38.4	9.6	30.1	21.9
	字円明寺	103	28.2	23.3	31.1	17.5
	字下植野	19	15.8	10.5	68.4	5.3
認定 状況別	要支援1	128	35.2	14.1	33.6	17.2
	要支援2	67	22.4	22.4	35.8	19.4

## (2) 地域での活動に参加者として参加したいか

問 49	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか。(○は1つ)
------	---

地域での活動に参加者として参加したいかについて、「参加したくない」が 42.1%で最も高く、次いで「参加してもよい」が 38.5%、「是非参加したい」が 8.7%となっています。また、前回調査と比較して「参加したくない」が 4.9 ポイント減少しています。

【図表3-5-12 地域での活動に参加者として参加したいか】



性別にみると、男性では、「参加したくない」が 52.9%で最も高く、女性では、「参加してもよい」が 40.3%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「是非参加したい」では、75～84歳が 9.3%で最も高く、「参加してもよい」でも、75～84歳が 44.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「是非参加したい」では、字円明寺が 9.7%で最も高く、「参加してもよい」でも、字円明寺が 47.6%で最も高くなっています。

【図表3-5-13 地域での活動に参加者として参加したいか(クロス集計)】

		(合計)	是非参加したい	も参加したい	く参加したくない	し既てにい参加	無回答
性別	男性	51	7.8	33.3	52.9	0.0	5.9
	女性	144	9.0	40.3	38.2	4.2	8.3
年齢別	65～74歳	14	7.1	42.9	50.0	0.0	0.0
	75～84歳	75	9.3	44.0	41.3	2.7	2.7
	85歳以上	106	8.5	34.0	41.5	3.8	12.3
世帯構成別	1人暮らし	71	11.3	38.0	35.2	7.0	8.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	7.5	43.3	43.3	1.5	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯 その他	23 22	8.7 4.5	21.7 50.0	60.9 36.4	0.0 0.0	8.7 9.1
居住地区別	字大山崎	73	9.6	28.8	52.1	2.7	6.8
	字円明寺	103	9.7	47.6	31.1	2.9	8.7
	字下植野	19	0.0	26.3	63.2	5.3	5.3
認定状況別	要支援1	128	9.4	39.1	39.8	4.7	7.0
	要支援2	67	7.5	37.3	46.3	0.0	9.0

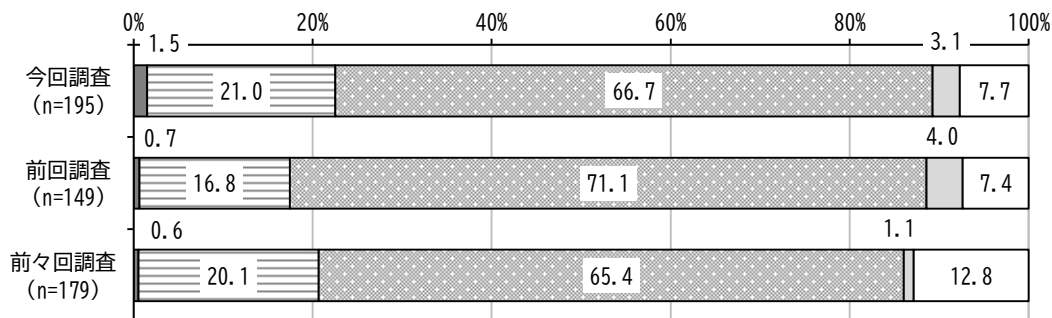
※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

### (3) 地域での活動に企画・運営として参加したいか

問 50	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)</u> として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)
------	---

地域での活動に企画・運営として参加したいかについて、「参加したくない」が 66.7%で最も高く、次いで「参加してもよい」が 21.0%、「既に参加している」が 3.1%となっています。また、前回調査と比較して「参加したくない」が 4.4 ポイント減少しています。

【図表3-5-14 地域での活動に企画・運営として参加したいか】



■是非参加したい □参加してもよい □参加したくない □既に参加している □無回答

性別にみると、男性・女性ともに「参加したくない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「是非参加したい」では、85歳以上が 1.9%で最も高く、「参加してもよい」でも、85歳以上が 23.6%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「是非参加したい」では、字大山崎が 2.7%で最も高く、「参加してもよい」では、字円明寺が 23.3%で最も高くなっています。

【図表3-5-15 地域での活動に企画・運営として参加したいか(クロス集計)】

		合計(人)	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
性別	男性	51	0.0	17.6	76.5	2.0	3.9
	女性	144	2.1	22.2	63.2	3.5	9.0
年齢別	65~74歳	14	0.0	14.3	78.6	7.1	0.0
	75~84歳	75	1.3	18.7	70.7	4.0	5.3
	85歳以上	106	1.9	23.6	62.3	1.9	10.4
世帯構成別	1人暮らし	71	0.0	22.5	62.0	4.2	11.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	28.4	65.7	1.5	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	8.7	4.3	78.3	4.3	4.3
	その他	22	0.0	22.7	68.2	4.5	4.5
居住地区別	字大山崎	73	2.7	19.2	64.4	2.7	11.0
	字円明寺	103	1.0	23.3	65.0	3.9	6.8
	字下植野	19	0.0	15.8	84.2	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	128	1.6	25.0	63.3	3.9	6.3
	要支援2	67	1.5	13.4	73.1	1.5	10.4

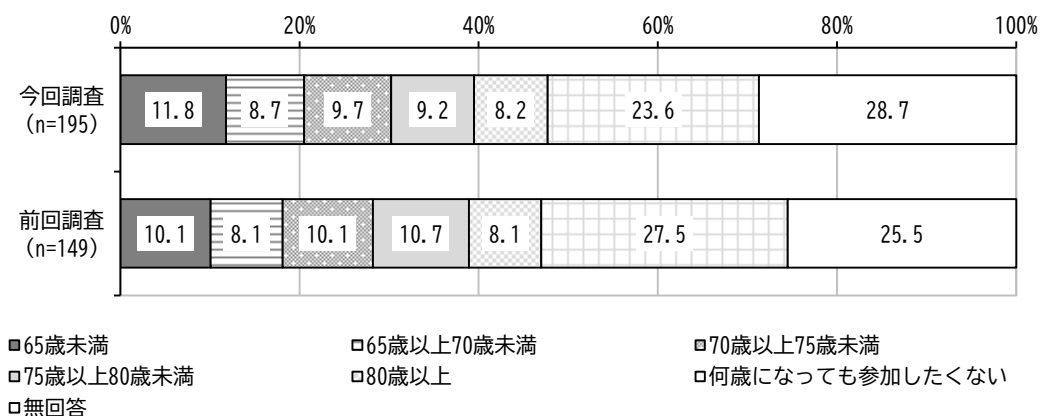
※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

#### (4) 地域での活動に参加したい(参加した)年齢

問 51	問 48～問 50 でお聞きした、地域での健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加について、あなたは、何歳くらいからそういった活動に参加したいと思いますか。既に参加しておられる方は、何歳くらいからそういった活動に参加されましたか。(〇は1つ)
------	---

地域での活動に参加したい(参加した)年齢について、「何歳になっても参加したくない」が 23.6%で最も高く、次いで「65 歳未満」が 11.8%、「70 歳以上 75 歳未満」が 9.7%となっています。また、前回調査と比較して「何歳になっても参加したくない」が 3.9 ポイント減少しています。

【図表3-5-16 地域での活動に参加したい(参加した)年齢】



性別にみると、男性・女性ともに「何歳になっても参加したくない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「何歳になっても参加したくない」では、75～84歳が30.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「何歳になっても参加したくない」では、字大山崎が28.8%で最も高くなっています。

【図表3-5-17 地域での活動に参加したい(参加した)年齢(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上	加何歳になっても 参加したくない	無回答
性別	男性	51	0.0	11.8	5.9	7.8	11.8	37.3	25.5
	女性	144	16.0	7.6	11.1	9.7	6.9	18.8	29.9
年齢別	65～74歳	14	7.1	0.0	28.6	21.4	0.0	14.3	28.6
	75～84歳	75	12.0	9.3	6.7	9.3	10.7	30.7	21.3
	85歳以上	106	12.3	9.4	9.4	7.5	7.5	19.8	34.0
世帯 構成別	1人暮らし	71	16.9	7.0	9.9	8.5	8.5	22.5	26.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	11.9	9.0	7.5	14.9	7.5	25.4	23.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0
	息子・娘との2世帯	23	4.3	8.7	13.0	0.0	8.7	26.1	39.1
	その他	22	4.5	18.2	9.1	9.1	9.1	22.7	27.3
居住 地区別	字大山崎	73	5.5	9.6	6.8	12.3	9.6	28.8	27.4
	字円明寺	103	17.5	6.8	12.6	5.8	7.8	20.4	29.1
	字下植野	19	5.3	15.8	5.3	15.8	5.3	21.1	31.6
認定 状況別	要支援1	128	13.3	10.2	9.4	9.4	8.6	21.1	28.1
	要支援2	67	9.0	6.0	10.4	9.0	7.5	28.4	29.9

## 6. 就労について

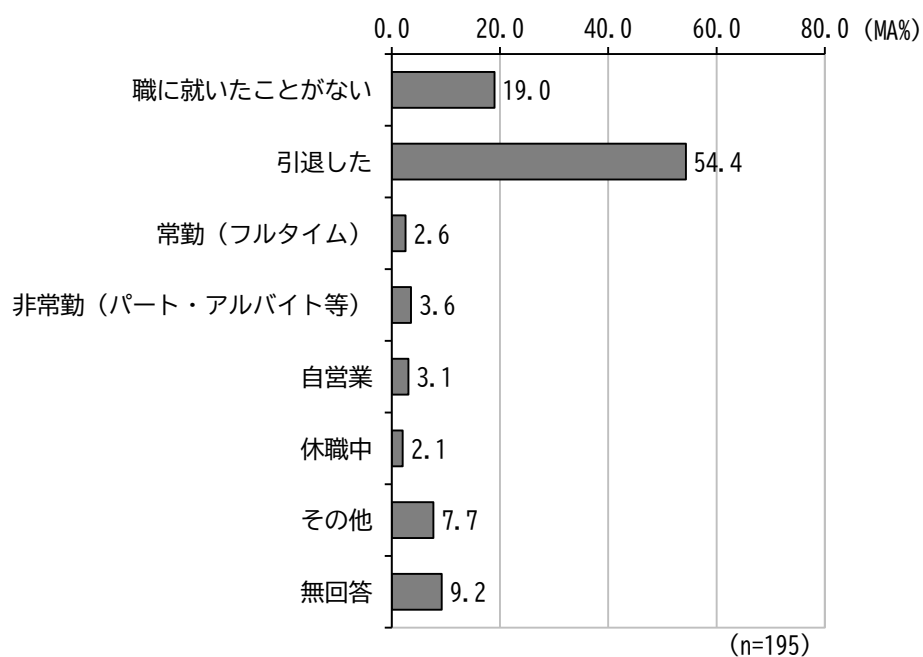
### (1) 就労状態

問 52 現在あなたの就労状態はどれですか。(〇はいくつでも)

就労状態について、「引退した」が54.4%で最も高く、次いで「職に就いたことがない」が19.0%、「その他」が7.7%となっています。

また、その他の内容について、『高齢のため就労不可』(5件)などがあります。

【図表3-6-1 就労状態】



性別にみると、男性・女性ともに「引退した」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「引退した」では、65～74歳が71.4%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「引退した」では、字下植野が63.2%で最も高くなっています。

【図表3-6-2 就労状態(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	職に就いたことがない	引退した	常勤(フルタイム)	非常勤(パート・アルバイト等)	自営業	休職中	その他	無回答
性別	男性	51	7.8	76.5	2.0	0.0	3.9	2.0	5.9	2.0
	女性	144	22.9	46.5	2.8	4.9	2.8	2.1	8.3	11.8
年齢別	65～74歳	14	0.0	71.4	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0
	75～84歳	75	20.0	61.3	1.3	2.7	2.7	0.0	5.3	6.7
	85歳以上	106	20.8	47.2	2.8	2.8	3.8	2.8	10.4	12.3
世帯構成別	1人暮らし	71	23.9	46.5	1.4	1.4	2.8	1.4	14.1	11.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	11.9	64.2	4.5	9.0	1.5	3.0	4.5	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	26.1	43.5	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0	17.4
	その他	22	27.3	54.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	13.6
居住地区別	字大山崎	73	23.3	42.5	2.7	4.1	5.5	2.7	8.2	13.7
	字円明寺	103	14.6	61.2	1.9	2.9	1.0	1.9	8.7	7.8
	字下植野	19	26.3	63.2	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	128	18.8	54.7	3.1	3.1	3.9	2.3	7.8	7.8
	要支援2	67	19.4	53.7	1.5	4.5	1.5	1.5	7.5	11.9

## (2) 引退した年齢

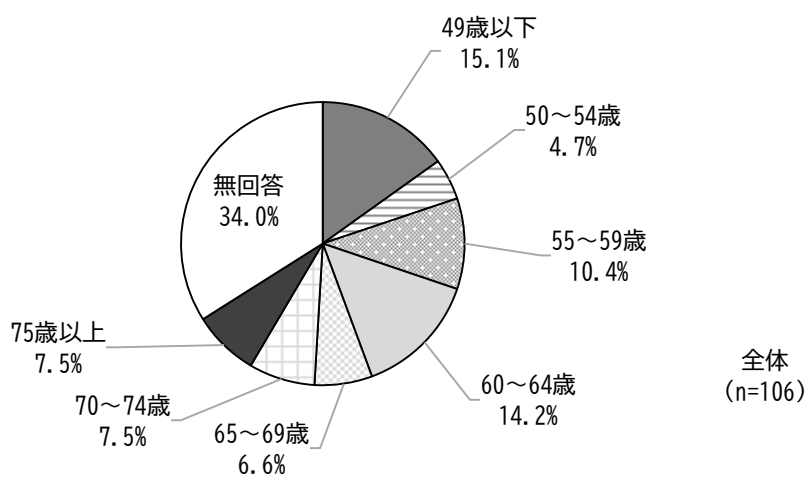
問 52-1

【問 52 で「引退した」を回答された方のみ】

あなたはいつ引退しましたか。(○は1つ、数字を記入)

引退した年齢について、「49 歳以下」が 15.1%で最も高く、次いで、「60～64 歳」が 14.2%、「55～59 歳」が 10.4%となっています。

【図表3-6-3 引退した年齢】



性別にみると、男性では、「60～64 歳」が 28.2%で最も高く、女性では、「49 歳以下」が 17.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「60～64 歳」では、字大山崎が 16.1%で最も高く、「65～69 歳」では、字下植野が 16.7%で最も高くなっています。

【図表3-6-4 引退した年齢(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	49 歳 以下	50 ～ 54 歳	55 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 歳 以上	無 回 答
性別	男性	39	10.3	0.0	10.3	28.2	10.3	10.3	2.6	28.2
	女性	67	17.9	7.5	10.4	6.0	4.5	6.0	10.4	37.3
年齢別	65～74歳	10	0.0	10.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	50.0
	75～84歳	46	15.2	4.3	15.2	17.4	6.5	13.0	8.7	19.6
	85歳以上	50	18.0	4.0	4.0	14.0	4.0	4.0	8.0	44.0
世帯 構成別	1人暮らし	33	18.2	3.0	6.1	21.2	3.0	6.1	6.1	36.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	43	14.0	4.7	9.3	4.7	14.0	11.6	7.0	34.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	息子・娘との2世帯	10	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0
	その他	12	16.7	8.3	33.3	16.7	0.0	8.3	0.0	16.7
居住 地区別	字大山崎	31	9.7	6.5	6.5	16.1	6.5	9.7	9.7	35.5
	字円明寺	63	17.5	3.2	12.7	14.3	4.8	7.9	4.8	34.9
	字下植野	12	16.7	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0	16.7	25.0
認定 状況別	要支援1	70	14.3	4.3	8.6	17.1	8.6	7.1	5.7	34.3
	要支援2	36	16.7	5.6	13.9	8.3	2.8	8.3	11.1	33.3

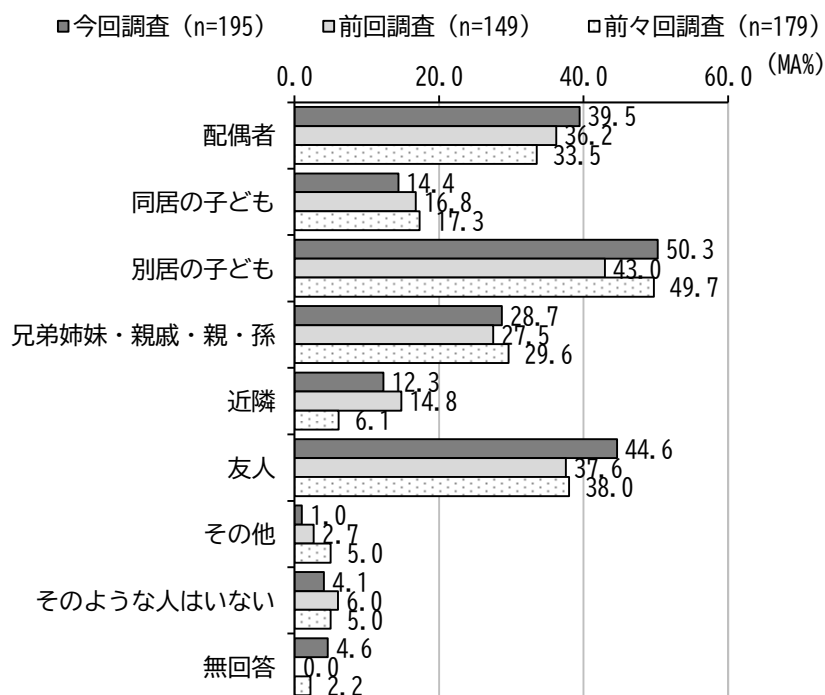
## 7. たすけあいについて

### (1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問 53 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(○はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「別居の子ども」が 50.3%で最も高く、次いで「友人」が 44.6%、「配偶者」が 39.5%となっています。また、前回調査と比較して「別居の子ども」が 7.3 ポイント増加しています。

【図表3-7-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人】



性別にみると、男性では、「配偶者」が56.9%で最も高く、女性では、「別居の子ども」が53.5%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「そのような人はいない」では、75～84歳が6.7%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「そのような人はいない」では、字大山崎が6.8%で最も高くなっています。

【図表3-7-2 心配事や愚痴を聞いてくれる人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

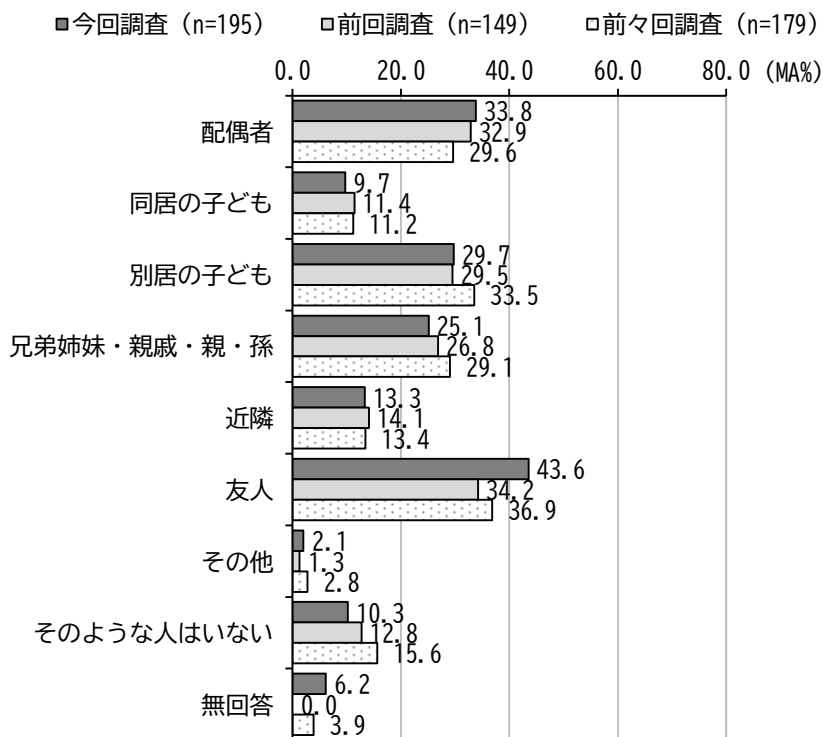
		合計(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	51	56.9	3.9	41.2	15.7	3.9	21.6	0.0	9.8	3.9
	女性	144	33.3	18.1	53.5	33.3	15.3	52.8	1.4	2.1	4.9
年齢別	65～74歳	14	50.0	21.4	35.7	28.6	7.1	78.6	0.0	0.0	0.0
	75～84歳	75	49.3	6.7	50.7	32.0	16.0	48.0	1.3	6.7	2.7
	85歳以上	106	31.1	18.9	51.9	26.4	10.4	37.7	0.9	2.8	6.6
世帯構成別	1人暮らし	71	1.4	0.0	52.1	31.0	19.7	53.5	1.4	7.0	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	80.6	0.0	59.7	28.4	7.5	43.3	1.5	0.0	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	17.4	60.9	39.1	30.4	8.7	34.8	0.0	4.3	8.7
	その他	22	45.5	54.5	36.4	22.7	13.6	36.4	0.0	4.5	9.1
居住地区別	字大山崎	73	42.5	19.2	42.5	32.9	9.6	41.1	1.4	6.8	5.5
	字円明寺	103	35.9	9.7	53.4	26.2	13.6	46.6	1.0	2.9	4.9
	字下植野	19	47.4	21.1	63.2	26.3	15.8	47.4	0.0	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	128	39.8	14.1	50.0	29.7	11.7	49.2	0.0	3.1	5.5
	要支援2	67	38.8	14.9	50.7	26.9	13.4	35.8	3.0	6.0	3.0

## (2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問 54 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(〇はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「友人」が 43.6%で最も高く、次いで「配偶者」が 33.8%、「別居の子ども」が 29.7%となっています。また、前回調査と比較して「友人」が 9.4 ポイント増加しています。

【図表3-7-3 心配事や愚痴を聞いてあげる人】



性別にみると、男性では、「配偶者」が 58.8%で最も高く、女性では、「友人」が 52.1%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「そのような人はいない」では、75～84 歳が 12.0%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「そのような人はいない」では、字下植野が 15.8%で最も高くなっています。

【図表3-7-4 心配事や愚痴を聞いてあげる人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	51	58.8	2.0	27.5	15.7	2.0	19.6	0.0	17.6	3.9
	女性	144	25.0	12.5	30.6	28.5	17.4	52.1	2.8	7.6	6.9
年齢別	65～74歳	14	28.6	21.4	42.9	21.4	14.3	71.4	0.0	0.0	0.0
	75～84歳	75	41.3	2.7	29.3	24.0	14.7	44.0	1.3	12.0	6.7
	85歳以上	106	29.2	13.2	28.3	26.4	12.3	39.6	2.8	10.4	6.6
世帯構成別	1人暮らし	71	0.0	0.0	28.2	23.9	16.9	56.3	5.6	15.5	5.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	71.6	0.0	32.8	26.9	11.9	37.3	0.0	7.5	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	100.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	21.7	47.8	30.4	30.4	13.0	39.1	0.0	8.7	4.3
	その他	22	22.7	31.8	22.7	22.7	9.1	31.8	0.0	9.1	13.6
居住地区別	字大山崎	73	37.0	9.6	24.7	27.4	15.1	37.0	1.4	8.2	9.6
	字円明寺	103	30.1	8.7	33.0	23.3	12.6	47.6	2.9	10.7	4.9
	字下植野	19	42.1	15.8	31.6	26.3	10.5	47.4	0.0	15.8	0.0
認定状況別	要支援1	128	36.7	10.2	30.5	28.9	14.1	48.4	2.3	6.3	4.7
	要支援2	67	28.4	9.0	28.4	17.9	11.9	34.3	1.5	17.9	9.0

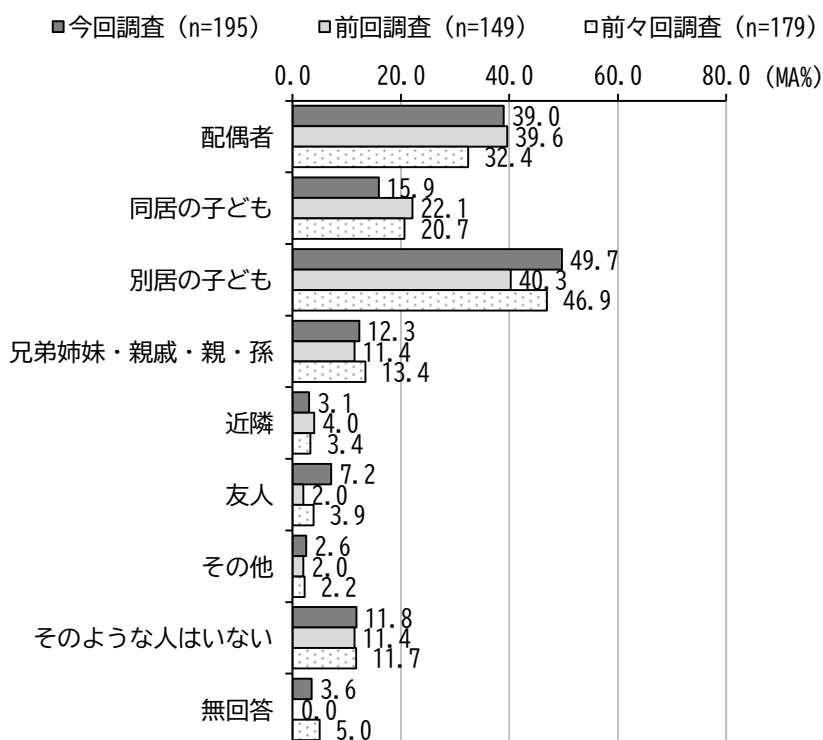
### (3) 病気の時に看病や世話をしてくれる人

問 55

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。  
(〇はいくつでも)

病気の時に看病や世話をしてくれる人について、「別居の子ども」が 49.7%で最も高く、次いで「配偶者」が 39.0%、「同居の子ども」が 15.9%となっています。また、前回調査と比較して「別居の子ども」が 9.4 ポイント増加しています。

【図表3-7-5 病気の時に看病や世話をしてくれる人】



性別にみると、男性では、「配偶者」が60.8%で最も高く、女性では、「別居の子ども」が50.7%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「そのような人はいない」では、85歳以上が15.1%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「そのような人はいない」では、字円明寺が15.5%で最も高くなっています。

【図表3-7-6 病気の時に看病や世話をしてくれる人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

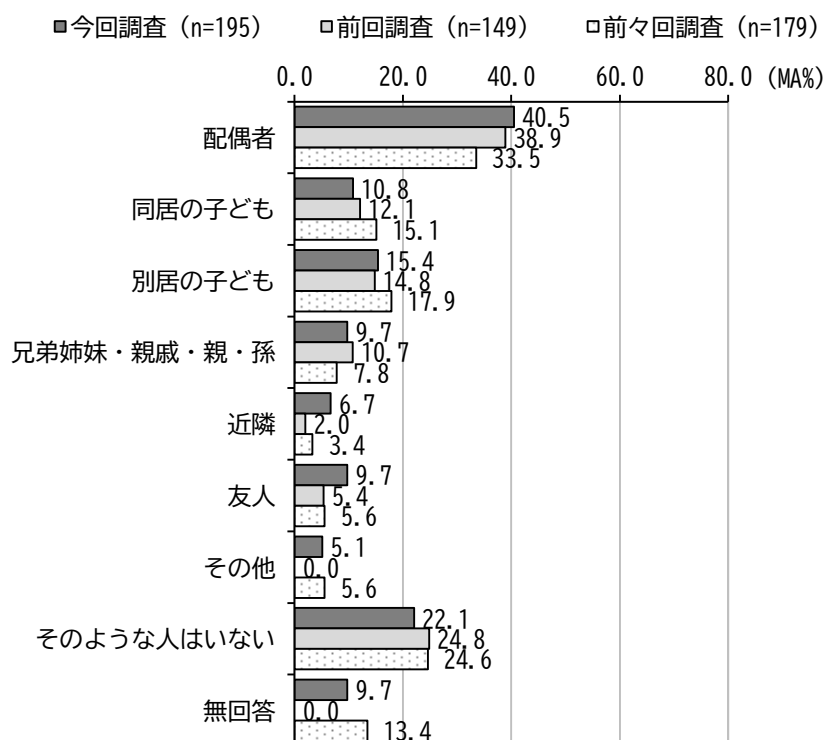
		合計(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	51	60.8	9.8	47.1	3.9	0.0	2.0	2.0	17.6	2.0
	女性	144	31.3	18.1	50.7	15.3	4.2	9.0	2.8	9.7	4.2
年齢別	65～74歳	14	64.3	28.6	28.6	14.3	7.1	28.6	0.0	7.1	0.0
	75～84歳	75	54.7	4.0	54.7	14.7	2.7	5.3	1.3	8.0	4.0
	85歳以上	106	24.5	22.6	49.1	10.4	2.8	5.7	3.8	15.1	3.8
世帯構成別	1人暮らし	71	2.8	0.0	54.9	14.1	7.0	14.1	2.8	23.9	2.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	77.6	0.0	58.2	10.4	1.5	4.5	3.0	1.5	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	26.1	78.3	34.8	8.7	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3
	その他	22	45.5	50.0	27.3	13.6	0.0	0.0	4.5	18.2	0.0
居住地区別	字大山崎	73	39.7	20.5	41.1	13.7	2.7	5.5	1.4	9.6	6.8
	字円明寺	103	36.9	10.7	49.5	11.7	2.9	8.7	3.9	15.5	1.9
	字下植野	19	47.4	26.3	84.2	10.5	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	128	39.1	14.8	49.2	14.1	4.7	7.0	1.6	13.3	3.1
	要支援2	67	38.8	17.9	50.7	9.0	0.0	7.5	4.5	9.0	4.5

#### (4) 看病や世話をしあける人

問 56 反対に、看病や世話をしあける人。(〇はいくつでも)

看病や世話をしあける人について、「配偶者」が 40.5%で最も高く、次いで「そのような人はいない」が 22.1%、「別居の子ども」が 15.4%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が 1.6 ポイント増加しています。

【図表3-7-7 看病や世話をしあける人】



性別にみると、男性・女性ともに「配偶者」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「そのような人はいない」では、85歳以上が23.6%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「そのような人はいない」では、字大山崎と字円明寺が23.3%で最も高くなっています。

【図表3-7-8 看病や世話をしあける人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	51	58.8	2.0	11.8	5.9	2.0	2.0	5.9	21.6	3.9
	女性	144	34.0	13.9	16.7	11.1	8.3	12.5	4.9	22.2	11.8
年齢別	65～74歳	14	42.9	35.7	21.4	14.3	7.1	28.6	7.1	7.1	14.3
	75～84歳	75	53.3	5.3	21.3	8.0	9.3	8.0	1.3	22.7	5.3
	85歳以上	106	31.1	11.3	10.4	10.4	4.7	8.5	7.5	23.6	12.3
世帯構成別	1人暮らし	71	2.8	0.0	14.1	14.1	8.5	19.7	7.0	40.8	11.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	77.6	0.0	19.4	7.5	7.5	4.5	4.5	9.0	6.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	30.4	39.1	8.7	8.7	4.3	4.3	0.0	21.7	13.0
	その他	22	40.9	50.0	18.2	4.5	4.5	4.5	0.0	13.6	13.6
居住地区別	字大山崎	73	42.5	6.8	12.3	15.1	9.6	5.5	2.7	23.3	12.3
	字円明寺	103	35.9	12.6	17.5	7.8	5.8	12.6	6.8	23.3	8.7
	字下植野	19	57.9	15.8	15.8	0.0	0.0	10.5	5.3	10.5	5.3
認定状況別	要支援1	128	43.8	10.9	18.0	12.5	8.6	12.5	4.7	18.0	8.6
	要支援2	67	34.3	10.4	10.4	4.5	3.0	4.5	6.0	29.9	11.9

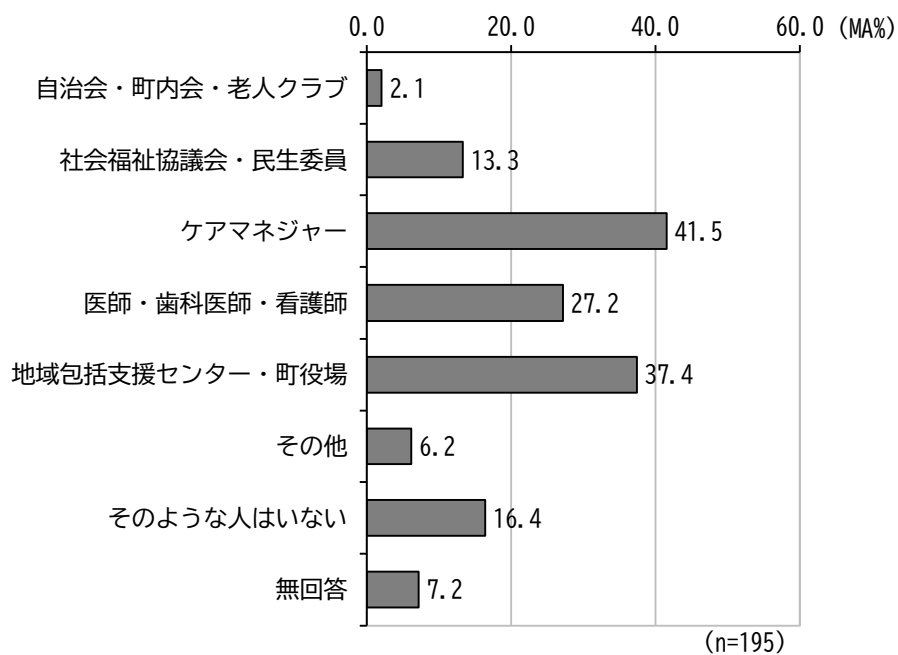
### (5) 家族や友人・知人以外の相談相手

問 57

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(〇はいくつでも)

家族や友人・知人以外の相談相手について、「ケアマネジャー」が 41.5%で最も高く、次いで「地域包括支援センター・町役場」が 37.4%、「医師・歯科医師・看護師」が 27.2%となっています。

【図表3-7-9 家族や友人・知人以外の相談相手】



性別にみると、男性では、「地域包括支援センター・町役場」が 33.3%で最も高く、女性では、「ケアマネジャー」が 45.1%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「そのような人はいない」では、65～74 歳が 35.7%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「そのような人はいない」では、字大山崎が 23.3%で最も高くなっています。

【図表3-7-10 家族や友人・知人以外の相談相手(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

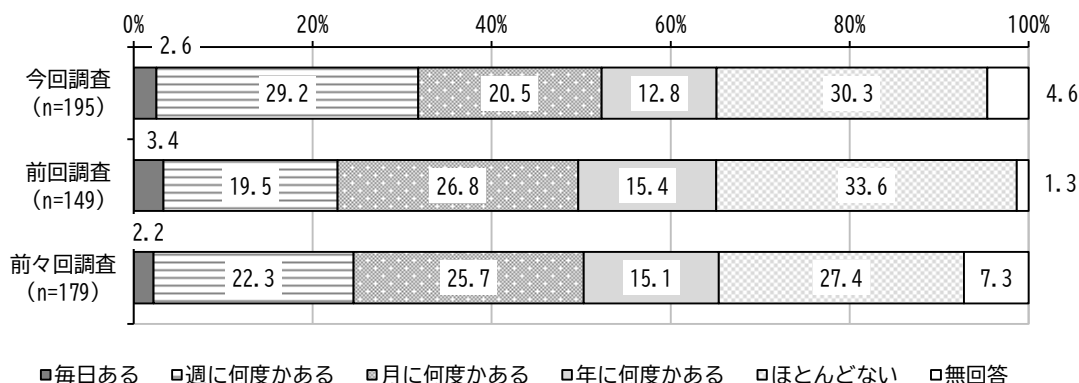
		合計(人)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護士	地域包括支援センター・町役場	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	51	3.9	21.6	31.4	27.5	33.3	0.0	29.4	3.9
	女性	144	1.4	10.4	45.1	27.1	38.9	8.3	11.8	8.3
年齢別	65～74歳	14	0.0	7.1	35.7	21.4	35.7	21.4	35.7	0.0
	75～84歳	75	0.0	16.0	37.3	22.7	38.7	2.7	21.3	6.7
	85歳以上	106	3.8	12.3	45.3	31.1	36.8	6.6	10.4	8.5
世帯構成別	1人暮らし	71	2.8	16.9	43.7	26.8	39.4	7.0	8.5	8.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	13.4	37.3	29.9	38.8	6.0	22.4	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	8.7	43.5	26.1	21.7	0.0	30.4	13.0
	その他	22	4.5	9.1	45.5	18.2	50.0	9.1	9.1	4.5
居住地区別	字大山崎	73	1.4	9.6	41.1	26.0	32.9	4.1	23.3	8.2
	字円明寺	103	1.9	16.5	39.8	26.2	42.7	7.8	11.7	5.8
	字下植野	19	5.3	10.5	52.6	36.8	26.3	5.3	15.8	10.5
認定状況別	要支援1	128	0.8	12.5	39.1	28.9	39.1	7.0	17.2	7.0
	要支援2	67	4.5	14.9	46.3	23.9	34.3	4.5	14.9	7.5

## (6) 友人・知人と会う頻度

問 58 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

友人・知人と会う頻度について、「ほとんどない」が30.3%で最も高く、次いで「週に何度かある」が29.2%、「月に何度かある」が20.5%となっています。また、前回調査と比較して「ほとんどない」が3.3ポイント減少しています。

【図表3-7-11 友人・知人と会う頻度】



性別にみると、男性では、「ほとんどない」が52.9%で最も高く、女性では、「週に何度かある」が36.8%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「ほとんどない」では、85歳以上が33.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ほとんどない」では、字下植野が42.1%で最も高くなっています。

【図表3-7-12 友人・知人と会う頻度(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

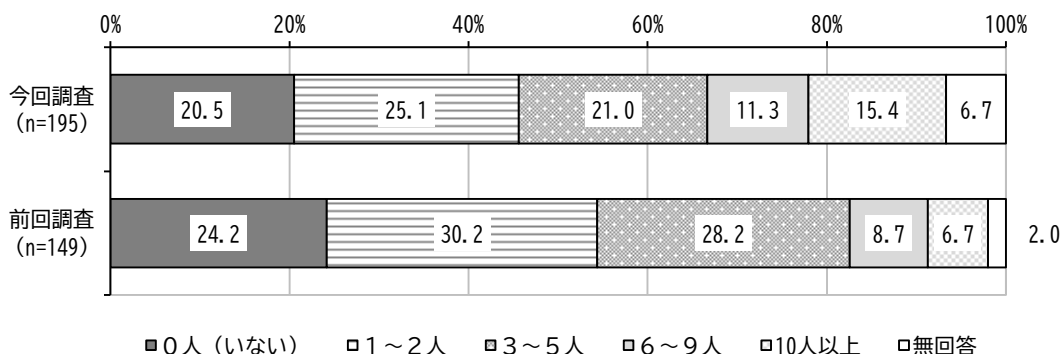
		合計(人)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
性別	男性	51	0.0	7.8	19.6	15.7	52.9	3.9
	女性	144	3.5	36.8	20.8	11.8	22.2	4.9
年齢別	65～74歳	14	14.3	21.4	21.4	28.6	14.3	0.0
	75～84歳	75	1.3	32.0	17.3	17.3	29.3	2.7
	85歳以上	106	1.9	28.3	22.6	7.5	33.0	6.6
世帯構成別	1人暮らし	71	4.2	36.6	28.2	5.6	19.7	5.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	25.4	14.9	19.4	38.8	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	26.1	26.1	17.4	26.1	4.3
	その他	22	9.1	18.2	13.6	18.2	31.8	9.1
居住地区別	字大山崎	73	0.0	28.8	19.2	15.1	30.1	6.8
	字円明寺	103	3.9	30.1	22.3	12.6	28.2	2.9
	字下植野	19	5.3	26.3	15.8	5.3	42.1	5.3
認定状況別	要支援1	128	2.3	32.0	23.4	13.3	25.0	3.9
	要支援2	67	3.0	23.9	14.9	11.9	40.3	6.0

(7) この1か月間で会った友人・知人の人数

問 59 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。  
 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

この1か月間で会った友人・知人の人数について、「1～2人」が 25.1%で最も高く、次いで「3～5人」が 21.0%、「0人(いない)」が 20.5%となっています。また、前回調査と比較して「1～2人」が 5.1ポイント減少しています。

【図表3-7-13 この1か月間で会った友人・知人の人数】



性別にみると、男性では、「0人(いない)」が 41.2%で最も高く、女性では、「1～2人」が 25.7%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「0人(いない)」では、75～84歳が 21.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「0人(いない)」では、字下植野が 26.3%で最も高くなっています。

【図表3-7-14 この1か月間で会った友人・知人の人数(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

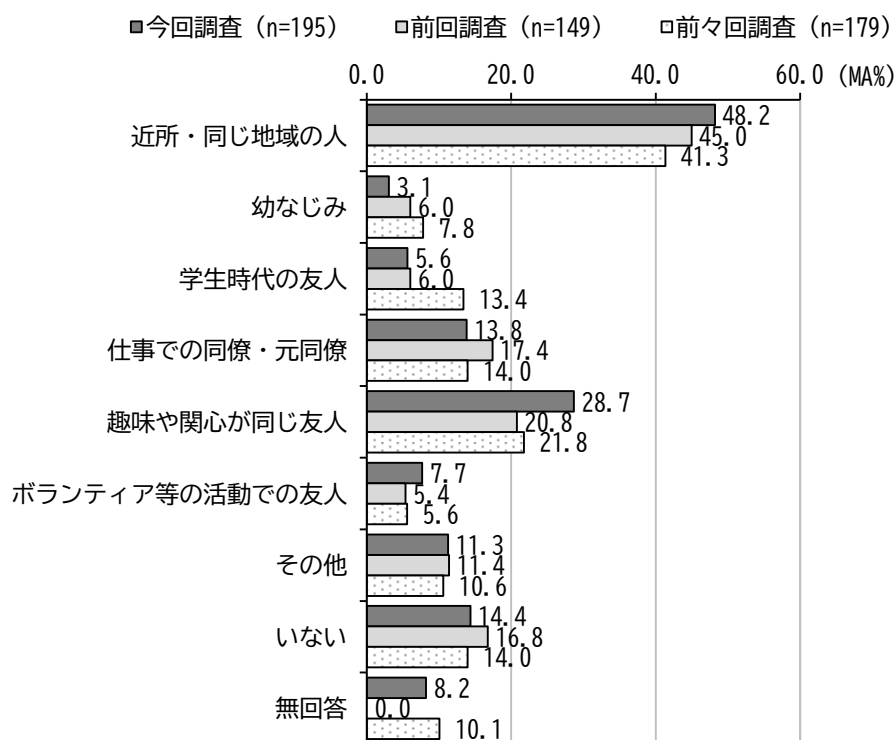
		合計(人)	0人(いない)	1 ～ 2人	3 ～ 5人	6 ～ 9人	10 人 以上	無 回 答
性別	男性	51	41.2	23.5	11.8	5.9	13.7	3.9
	女性	144	13.2	25.7	24.3	13.2	16.0	7.6
年齢別	65～74歳	14	14.3	21.4	42.9	14.3	7.1	0.0
	75～84歳	75	21.3	24.0	22.7	9.3	18.7	4.0
	85歳以上	106	20.8	26.4	17.0	12.3	14.2	9.4
世帯 構成別	1人暮らし	71	14.1	23.9	25.4	12.7	18.3	5.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	26.9	23.9	17.9	11.9	13.4	6.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	13.0	21.7	26.1	17.4	8.7	13.0
	その他	22	22.7	45.5	13.6	4.5	13.6	0.0
居住 地区別	字大山崎	73	16.4	30.1	24.7	8.2	11.0	9.6
	字円明寺	103	22.3	22.3	18.4	13.6	18.4	4.9
	字下植野	19	26.3	21.1	21.1	10.5	15.8	5.3
認定 状況別	要支援1	128	14.1	30.5	22.7	9.4	15.6	7.8
	要支援2	67	32.8	14.9	17.9	14.9	14.9	4.5

## (8) よく会う友人・知人

問 60 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

よく会う友人・知人について、「近所・同じ地域の人」が 48.2%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 28.7%、「いない」が 14.4%となっています。また、前回調査と比較して「近所・同じ地域の人」が 3.2 ポイント増加しています。

【図表3-7-15 よく会う友人・知人】



性別にみると、男性では、「いない」が 33.3%で最も高く、女性では、「近所・同じ地域の人」が 55.6%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「いない」では、75～84 歳が 16.0%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「いない」では、字下植野が 21.1%で最も高くなっています。

【図表3-7-16 よく会う友人・知人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

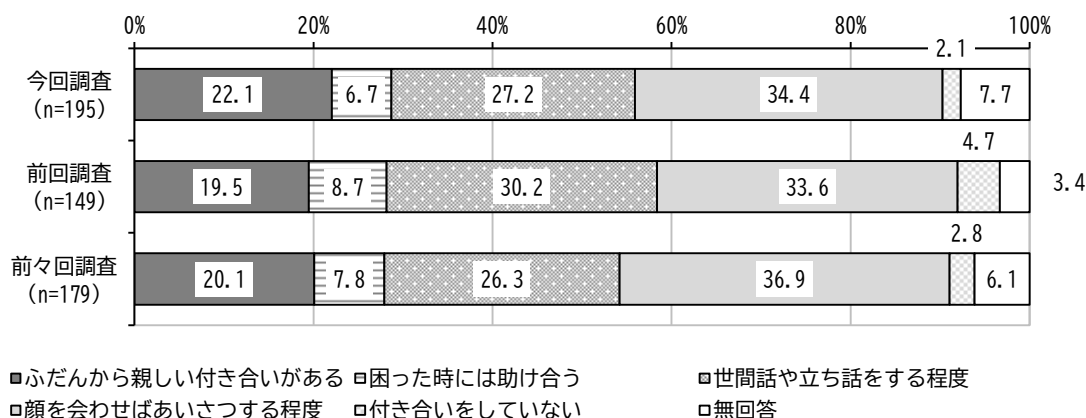
		合計(人)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
性別	男性	51	27.5	5.9	7.8	15.7	21.6	5.9	5.9	33.3	7.8
	女性	144	55.6	2.1	4.9	13.2	31.3	8.3	13.2	7.6	8.3
年齢別	65～74歳	14	71.4	0.0	21.4	28.6	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1
	75～84歳	75	53.3	5.3	4.0	16.0	28.0	8.0	6.7	16.0	6.7
	85歳以上	106	41.5	1.9	4.7	10.4	31.1	7.5	15.1	14.2	9.4
世帯構成別	1人暮らし	71	62.0	5.6	5.6	15.5	35.2	7.0	9.9	7.0	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	37.3	1.5	4.5	13.4	28.4	10.4	13.4	23.9	7.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	43.5	0.0	13.0	21.7	17.4	4.3	17.4	4.3	13.0
	その他	22	59.1	4.5	0.0	9.1	36.4	4.5	0.0	9.1	9.1
居住地区別	字大山崎	73	43.8	5.5	6.8	17.8	26.0	1.4	16.4	8.2	15.1
	字円明寺	103	52.4	1.9	5.8	11.7	34.0	12.6	6.8	17.5	3.9
	字下植野	19	42.1	0.0	0.0	10.5	10.5	5.3	15.8	21.1	5.3
認定状況別	要支援1	128	50.8	4.7	7.0	14.1	32.8	10.2	7.0	10.9	8.6
	要支援2	67	43.3	0.0	3.0	13.4	20.9	3.0	19.4	20.9	7.5

### (9) 隣近所の人との付き合いの状況

問 61 隣近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。(○は1つ)

隣近所の人との付き合いの状況について、「顔を会わせばあいさつする程度」が34.4%で最も高く、次いで「世間話や立ち話をする程度」が27.2%、「ふだんから親しい付き合いがある」が22.1%となっています。また、前回調査と比較して「ふだんから親しい付き合いがある」が2.6ポイント増加しています。

【図表3-7-17 隣近所の人との付き合いの状況】



性別にみると、男性では、「顔を会わせばあいさつする程度」が54.9%で最も高く、女性では、「世間話や立ち話をする程度」が31.9%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「付き合いをしていない」では、65～74歳が7.1%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「付き合いをしていない」では、字大山崎が2.7%で最も高くなっています。

【図表3-7-18 隣近所の人との付き合いの状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	ふだんから親しい付き合いがある	困った時には助け合う	世間話や立ち話をする程度	顔を会わせばあいさつする程度	付き合いをしていない	無回答
性別	男性	51	17.6	3.9	13.7	54.9	3.9	5.9
	女性	144	23.6	7.6	31.9	27.1	1.4	8.3
年齢別	65～74歳	14	14.3	7.1	35.7	35.7	7.1	0.0
	75～84歳	75	17.3	10.7	26.7	38.7	0.0	6.7
	85歳以上	106	26.4	3.8	26.4	31.1	2.8	9.4
世帯構成別	1人暮らし	71	28.2	9.9	29.6	23.9	1.4	7.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	20.9	6.0	22.4	40.3	3.0	7.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	21.7	0.0	30.4	34.8	4.3	8.7
	その他	22	13.6	9.1	31.8	40.9	0.0	4.5
居住地区別	字大山崎	73	19.2	1.4	31.5	37.0	2.7	8.2
	字円明寺	103	24.3	9.7	26.2	29.1	1.9	8.7
	字下植野	19	21.1	10.5	15.8	52.6	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	128	22.7	7.8	28.1	32.8	0.8	7.8
	要支援2	67	20.9	4.5	25.4	37.3	4.5	7.5

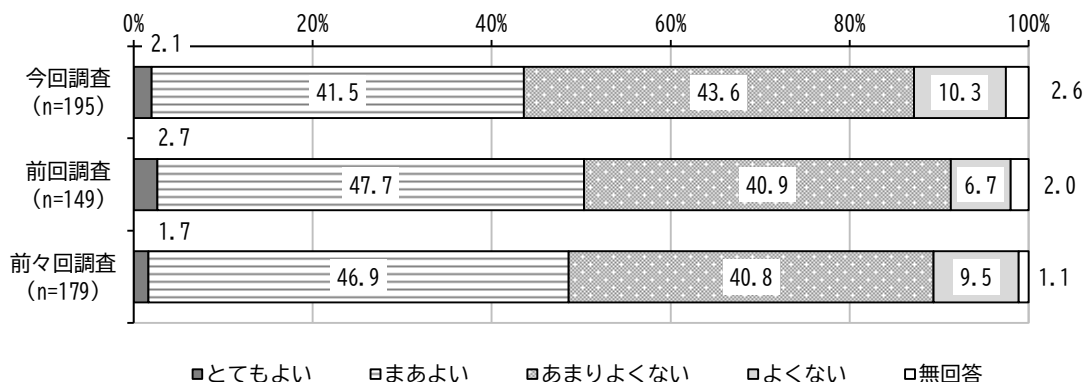
## 8. 健康について

### (1) 健康状態

問 62 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

健康状態について、「あまりよくない」が 43.6%で最も高く、次いで「まあよい」が 41.5%、「よくない」が 10.3%となっています。また、前回調査と比較して「よくない」が 3.6 ポイント増加しています。

【図表3-8-1 健康状態】



性別にみると、男性では、「あまりよくない」が 51.0%で最も高く、女性では、「まあよい」が 43.8%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「とてもよい」では、75～84 歳が 4.0%で最も高く、「まあよい」では、65～74 歳が 50.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「とてもよい」では、字大山崎が 4.1%で最も高く、「まあよい」では、字下植野が 47.4%で最も高くなっています。

【図表3-8-2 健康状態(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		(合計)	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
性別	男性	51	0.0	35.3	51.0	11.8	2.0
	女性	144	2.8	43.8	41.0	9.7	2.8
年齢別	65～74歳	14	0.0	50.0	35.7	14.3	0.0
	75～84歳	75	4.0	38.7	45.3	8.0	4.0
	85歳以上	106	0.9	42.5	43.4	11.3	1.9
世帯構成別	1人暮らし	71	4.2	45.1	46.5	4.2	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	46.3	38.8	11.9	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	34.8	47.8	13.0	4.3
	その他	22	0.0	31.8	40.9	22.7	4.5
居住地区別	字大山崎	73	4.1	38.4	43.8	9.6	4.1
	字円明寺	103	1.0	42.7	43.7	10.7	1.9
	字下植野	19	0.0	47.4	42.1	10.5	0.0
認定状況別	要支援1	128	3.1	46.1	40.6	7.0	3.1
	要支援2	67	0.0	32.8	49.3	16.4	1.5

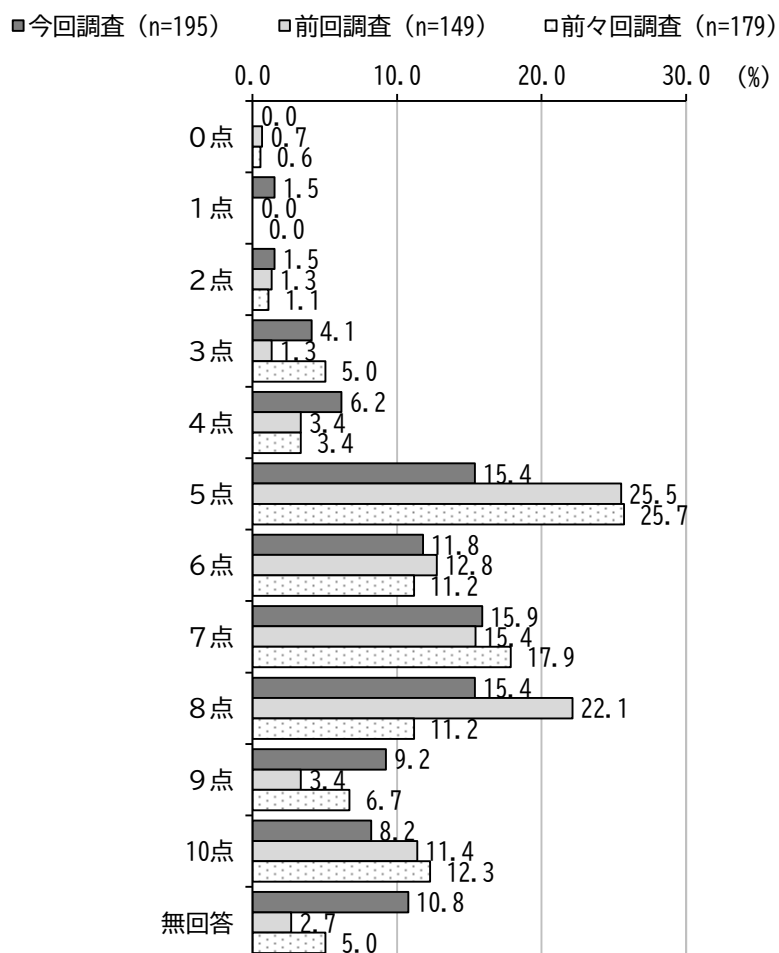
## (2) 幸福度

問 63

あなたは、現在どの程度幸せですか。  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)(○は1つ)

幸福度について、「7点」が15.9%で最も高く、次いで「5点」「8点」が15.4%、「6点」が11.8%となっています。また、前回調査と比較して「10点」が3.2ポイント減少しています。

【図表3-8-3 幸福度】



性別にみると、男性では、「5点」が17.6%で最も高く、女性では、「8点」が16.7%で最も高くなっています。  
 年齢別にみると、「10点」では、85歳以上が10.4%で最も高くなっています。  
 また、居住地区別にみると、「10点」では、字円明寺が9.7%で最も高くなっています。

【図表3-8-4 幸福度(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

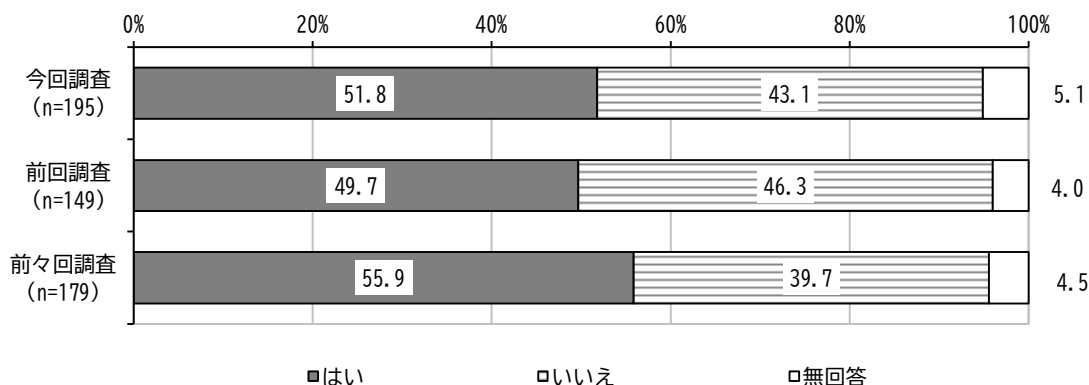
		合計 (人)	0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点	無 回 答
性別	男性	51	0.0	3.9	5.9	3.9	7.8	17.6	15.7	15.7	11.8	5.9	7.8	3.9
	女性	144	0.0	0.7	0.0	4.2	5.6	14.6	10.4	16.0	16.7	10.4	8.3	13.2
年齢別	65～74歳	14	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	21.4	14.3	21.4	14.3	7.1	7.1	0.0
	75～84歳	75	0.0	1.3	1.3	2.7	9.3	22.7	12.0	13.3	10.7	12.0	5.3	9.3
	85歳以上	106	0.0	0.9	1.9	4.7	4.7	9.4	11.3	17.0	18.9	7.5	10.4	13.2
世帯 構成別	1人暮らし	71	0.0	1.4	1.4	5.6	8.5	12.7	11.3	16.9	12.7	8.5	5.6	15.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	1.5	0.0	4.5	6.0	22.4	11.9	14.9	14.9	11.9	7.5	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	8.7	13.0	21.7	17.4	4.3	21.7	4.3
	その他	22	0.0	0.0	9.1	0.0	4.5	18.2	13.6	18.2	13.6	4.5	9.1	9.1
居住 地区別	字大山崎	73	0.0	0.0	2.7	4.1	6.8	19.2	13.7	13.7	9.6	11.0	6.8	12.3
	字円明寺	103	0.0	2.9	1.0	1.9	5.8	12.6	11.7	16.5	21.4	5.8	9.7	10.7
	字下植野	19	0.0	0.0	0.0	15.8	5.3	15.8	5.3	21.1	5.3	21.1	5.3	5.3
認定 状況別	要支援1	128	0.0	1.6	1.6	4.7	7.0	17.2	10.2	15.6	14.8	10.2	7.0	10.2
	要支援2	67	0.0	1.5	1.5	3.0	4.5	11.9	14.9	16.4	16.4	7.5	10.4	11.9

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか

問 64	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)
------	--

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたかについて、「はい」が 51.8%、「いいえ」が 43.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 2.1 ポイント増加しています。

【図表3-8-5 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか】



性別にみると、「はい」について、男性では 41.2%、女性では 55.6%となっており、女性のほうが 14.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 53.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 52.4%で最も高くなっています。

【図表3-8-6 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

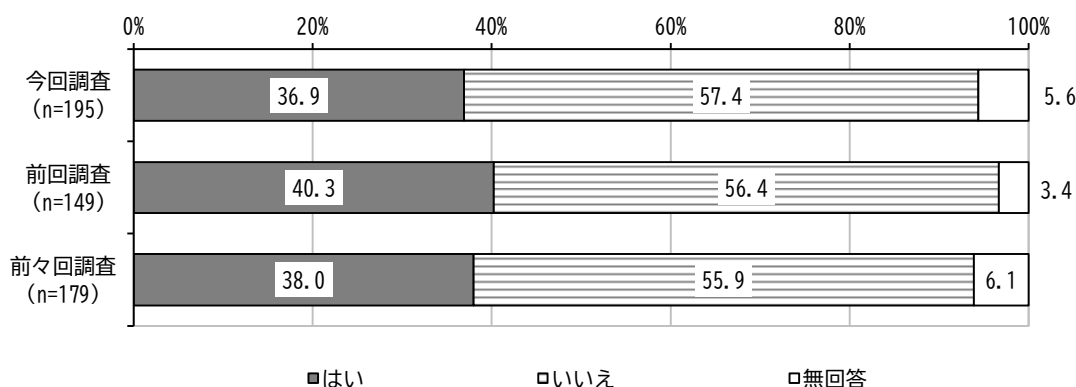
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	41.2	52.9	5.9
	女性	144	55.6	39.6	4.9
年齢別	65～74歳	14	50.0	50.0	0.0
	75～84歳	75	49.3	46.7	4.0
	85歳以上	106	53.8	39.6	6.6
世帯構成別	1人暮らし	71	57.7	35.2	7.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	44.8	53.7	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	56.5	39.1	4.3
	その他	22	54.5	40.9	4.5
居住地区別	字大山崎	73	52.1	41.1	6.8
	字円明寺	103	52.4	42.7	4.9
	字下植野	19	47.4	52.6	0.0
認定状況別	要支援1	128	52.3	43.8	3.9
	要支援2	67	50.7	41.8	7.5

(4) この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか

問 65	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)
------	--

この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が 36.9%、「いいえ」が 57.4%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.4 ポイント減少しています。

【図表3-8-7 この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか】



性別にみると、「はい」について、男性では 31.4%、女性では 38.9%となっており、女性のほうが 7.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 37.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が 47.4%で最も高くなっています。

【図表3-8-8 この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

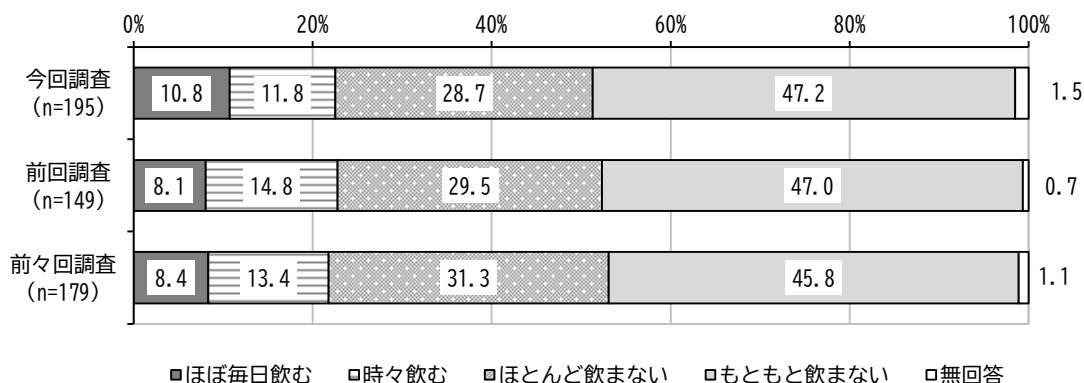
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	31.4	64.7	3.9
	女性	144	38.9	54.9	6.3
年齢別	65～74歳	14	28.6	64.3	7.1
	75～84歳	75	37.3	57.3	5.3
	85歳以上	106	37.7	56.6	5.7
世帯構成別	1人暮らし	71	35.2	56.3	8.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	32.8	64.2	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	56.5	43.5	0.0
	その他	22	40.9	54.5	4.5
居住地区別	字大山崎	73	41.1	56.2	2.7
	字円明寺	103	32.0	59.2	8.7
	字下植野	19	47.4	52.6	0.0
認定状況別	要支援1	128	36.7	59.4	3.9
	要支援2	67	37.3	53.7	9.0

(5) 飲酒状況

問 66 お酒は飲みますか。(○は1つ)

飲酒状況について、「もともと飲まない」が 47.2%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が 28.7%、「時々飲む」が 11.8%となっています。また、前回調査と比較して「ほぼ毎日飲む」が 2.7ポイント増加しています。

【図表3-8-9 飲酒状況】



性別にみると、男性では、「ほぼ毎日飲む」が 31.4%で最も高く、女性では、「もともと飲まない」が 56.9%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「ほぼ毎日飲む」では、75～84歳が 12.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ほぼ毎日飲む」では、字下植野が 15.8%で最も高くなっています。

【図表3-8-10 飲酒状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

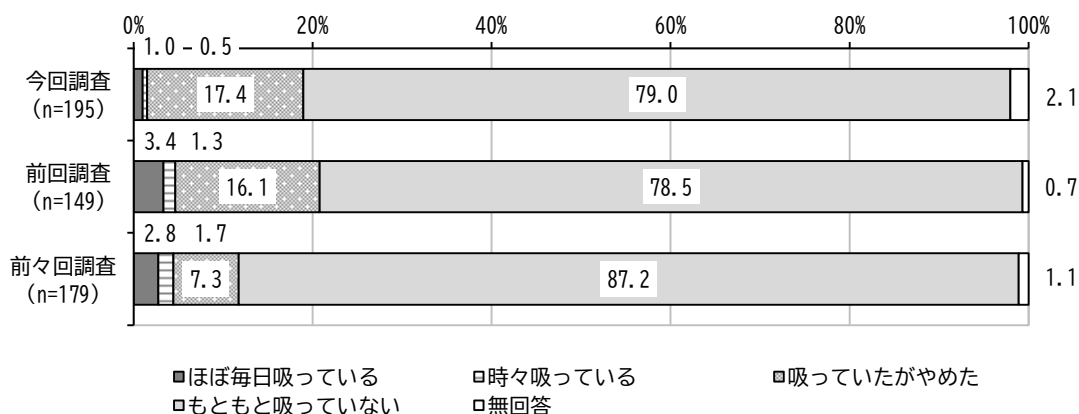
		合計(人)	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
性別	男性	51	31.4	15.7	31.4	19.6	2.0
	女性	144	3.5	10.4	27.8	56.9	1.4
年齢別	65～74歳	14	0.0	0.0	42.9	57.1	0.0
	75～84歳	75	12.0	10.7	32.0	44.0	1.3
	85歳以上	106	11.3	14.2	24.5	48.1	1.9
世帯構成別	1人暮らし	71	4.2	14.1	29.6	49.3	2.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	11.9	11.9	32.8	43.3	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	13.0	17.4	21.7	47.8	0.0
	その他	22	22.7	4.5	27.3	45.5	0.0
居住地区別	字大山崎	73	11.0	15.1	28.8	42.5	2.7
	字円明寺	103	9.7	9.7	30.1	49.5	1.0
	字下植野	19	15.8	10.5	21.1	52.6	0.0
認定状況別	要支援1	128	8.6	14.1	29.7	45.3	2.3
	要支援2	67	14.9	7.5	26.9	50.7	0.0

(6) 喫煙状況

問 67 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

喫煙状況について、「もともと吸っていない」が79.0%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が17.4%、「ほぼ毎日吸っている」が1.0%となっています。また、前回調査と比較して「ほぼ毎日吸っている」が2.4ポイント減少しています。

【図表3-8-11 喫煙状況】



性別にみると、男性では、「吸っていたがやめた」が52.9%で最も高く、女性では、「もともと吸っていない」が93.1%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「ほぼ毎日吸っている」では、75～84歳が2.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ほぼ毎日吸っている」では、字大山崎が2.7%で最も高くなっています。

【図表3-8-12 喫煙状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

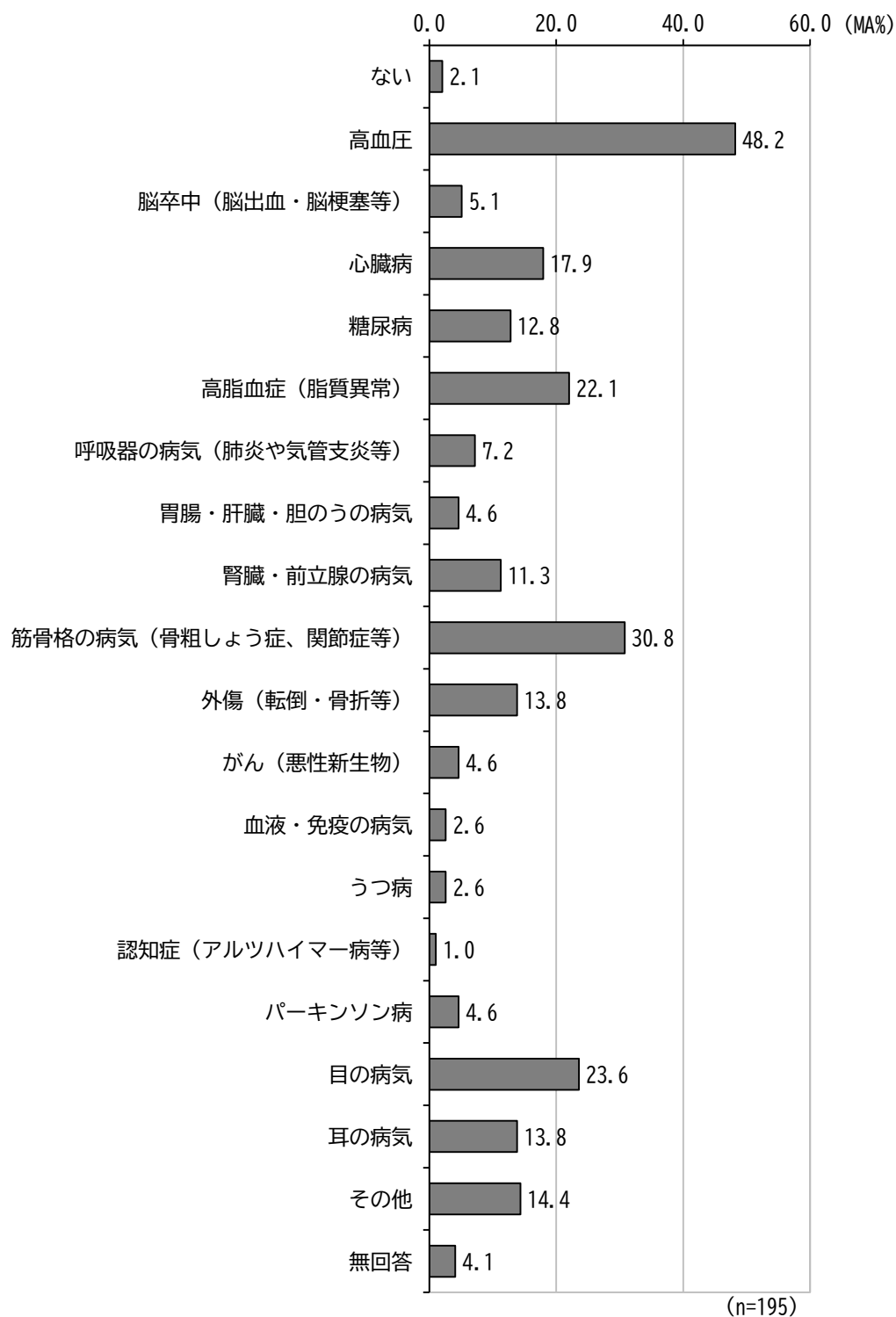
		合計(人)	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
性別	男性	51	3.9	0.0	52.9	39.2	3.9
	女性	144	0.0	0.7	4.9	93.1	1.4
年齢別	65～74歳	14	0.0	0.0	21.4	78.6	0.0
	75～84歳	75	2.7	1.3	17.3	77.3	1.3
	85歳以上	106	0.0	0.0	17.0	80.2	2.8
世帯構成別	1人暮らし	71	0.0	0.0	9.9	85.9	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	0.0	25.4	73.1	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	0.0	21.7	78.3	0.0
	その他	22	0.0	4.5	13.6	81.8	0.0
居住地区別	字大山崎	73	2.7	1.4	20.5	71.2	4.1
	字円明寺	103	0.0	0.0	15.5	83.5	1.0
	字下植野	19	0.0	0.0	15.8	84.2	0.0
認定状況別	要支援1	128	0.8	0.8	14.8	80.5	3.1
	要支援2	67	1.5	0.0	22.4	76.1	0.0

### (7) 現在治療中、または後遺症のある病気

問 68 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はい/□でも)

現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 48.2%で最も高く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が 30.8%、「目の病気」が 23.6%となっています。

【図表3-8-13 現在治療中、または後遺症のある病気】



性別にみると、男性・女性ともに「高血圧」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「認知症(アルツハイマー病等)」では、75～84歳が2.7%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「認知症(アルツハイマー病等)」では、字大山崎が1.4%で最も高くなっています。

【図表3-8-14 現在治療中、または後遺症のある病気(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	ない	高血圧	塞等 (脳卒中 (脳出血・脳梗 塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や 気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの 病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗 しょう症、関節症等)	外傷 (転倒・骨折等)	
													性別
	女性	144	2.8	46.5	4.2	13.9	12.5	27.1	4.9	6.3	5.6	38.9	14.6
年齢別	65～74歳	14	7.1	14.3	0.0	0.0	7.1	21.4	0.0	0.0	35.7	14.3	
	75～84歳	75	0.0	50.7	5.3	13.3	14.7	24.0	9.3	5.3	9.3	34.7	16.0
	85歳以上	106	2.8	50.9	5.7	23.6	12.3	20.8	6.6	4.7	14.2	27.4	12.3
世帯 構成別	1人暮らし	71	1.4	47.9	5.6	14.1	8.5	25.4	5.6	1.4	4.2	31.0	16.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	47.8	6.0	22.4	14.9	20.9	11.9	9.0	17.9	32.8	10.4
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	4.3	47.8	4.3	30.4	13.0	30.4	0.0	8.7	4.3	30.4	4.3
	その他	22	4.5	54.5	4.5	9.1	13.6	18.2	0.0	0.0	22.7	31.8	27.3
居住 地区別	字大山崎	73	1.4	46.6	4.1	19.2	12.3	17.8	8.2	5.5	6.8	27.4	11.0
	字円明寺	103	1.9	46.6	5.8	18.4	10.7	27.2	7.8	3.9	14.6	33.0	13.6
	字下植野	19	5.3	63.2	5.3	10.5	26.3	10.5	0.0	5.3	10.5	31.6	26.3
認定 状況別	要支援1	128	2.3	48.4	5.5	14.8	14.1	22.7	5.5	4.7	9.4	30.5	12.5
	要支援2	67	1.5	47.8	4.5	23.9	10.4	20.9	10.4	4.5	14.9	31.3	16.4

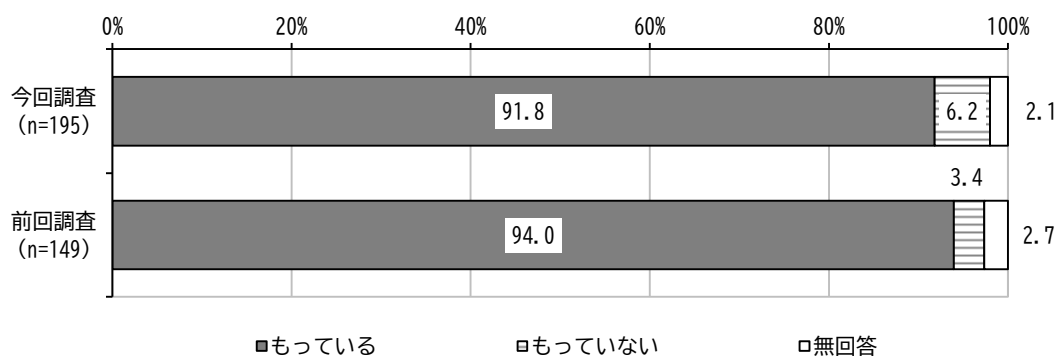
	合計(人)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	
											性別
	女性	144	4.9	2.8	2.8	0.7	4.2	25.0	14.6	14.6	3.5
年齢別	65～74歳	14	14.3	7.1	0.0	0.0	21.4	0.0	14.3	21.4	0.0
	75～84歳	75	5.3	2.7	5.3	2.7	2.7	22.7	4.0	14.7	4.0
	85歳以上	106	2.8	1.9	0.9	0.0	3.8	27.4	20.8	13.2	4.7
世帯 構成別	1人暮らし	71	8.5	2.8	1.4	0.0	4.2	23.9	12.7	12.7	8.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	3.0	1.5	0.0	3.0	4.5	23.9	14.9	14.9	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0
	息子・娘との2世帯	23	4.3	0.0	4.3	0.0	8.7	26.1	21.7	13.0	0.0
	その他	22	0.0	9.1	4.5	0.0	4.5	9.1	9.1	13.6	0.0
居住 地区別	字大山崎	73	5.5	2.7	4.1	1.4	4.1	23.3	9.6	17.8	8.2
	字円明寺	103	4.9	1.9	1.9	1.0	5.8	20.4	14.6	10.7	1.9
	字下植野	19	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	42.1	26.3	21.1	0.0
認定 状況別	要支援1	128	4.7	3.1	1.6	1.6	4.7	24.2	11.7	11.7	5.5
	要支援2	67	4.5	1.5	4.5	0.0	4.5	22.4	17.9	19.4	1.5

### (8) かかりつけ医を持っているか

**問 69** 「かかりつけ医」とは、日頃から健康について相談でき、体調が悪いときにまず診てもらえるような、地域の身近な医師のことです。あなたは「かかりつけ医」をもちますか。(○は1つ)

かかりつけ医を持っているかについて、「もっている」が 91.8%、「もっていない」が 6.2%となっています。また、前回調査と比較して「もっている」が 2.2 ポイント減少しています。

【図表3-8-15 かかりつけ医を持っているか】



性別にみると、「もっている」について、男性では 88.2%、女性では 93.1%となっており、女性のほうが 4.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「もっている」では、75～84 歳が 93.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「もっている」では、字円明寺が 93.2%で最も高くなっています。

【図表3-8-16 かかりつけ医を持っているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	もっている	もっていない	無回答
性別	男性	51	88.2	7.8	3.9
	女性	144	93.1	5.6	1.4
年齢別	65～74歳	14	85.7	14.3	0.0
	75～84歳	75	93.3	5.3	1.3
	85歳以上	106	91.5	5.7	2.8
世帯構成別	1人暮らし	71	88.7	7.0	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	92.5	7.5	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	100.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	100.0	0.0	0.0
	その他	22	90.9	9.1	0.0
居住地区別	字大山崎	73	91.8	4.1	4.1
	字円明寺	103	93.2	5.8	1.0
	字下植野	19	84.2	15.8	0.0
認定状況別	要支援1	128	89.8	7.0	3.1
	要支援2	67	95.5	4.5	0.0

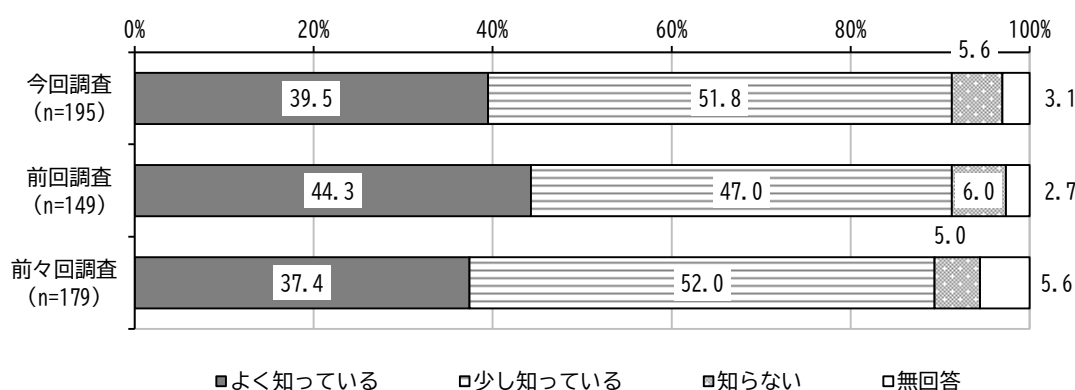
## 9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

### (1) 認知症の認知度

問 70	あなたは、認知症についてご存知ですか。(○は1つ)
------	---------------------------

認知症の認知度について、「少し知っている」が 51.8%で最も高く、次いで「よく知っている」が 39.5%、「知らない」が 5.6%となっています。また、前回調査と比較して「少し知っている」が 4.8 ポイント増加しています。

【図表3-9-1 認知症の認知度】



性別にみると、男性・女性ともに「少し知っている」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「知らない」では、85歳以上が6.6%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「知らない」では、字大山崎が8.2%で最も高くなっています。

【図表3-9-2 認知症の認知度(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

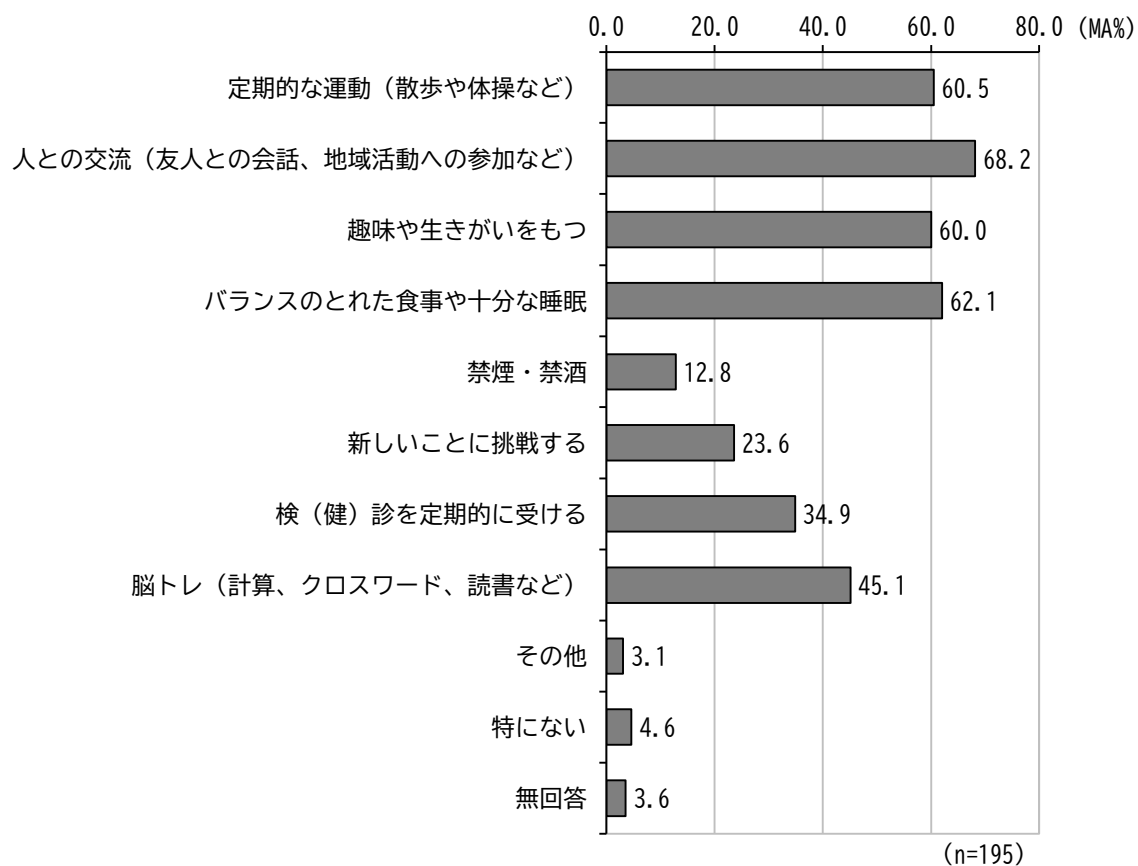
		合計 (人)	よく 知っ ている	少 し 知っ ている	知 ら な い	無 回 答
性別	男性	51	43.1	45.1	7.8	3.9
	女性	144	38.2	54.2	4.9	2.8
年齢別	65～74歳	14	50.0	50.0	0.0	0.0
	75～84歳	75	41.3	52.0	5.3	1.3
	85歳以上	106	36.8	51.9	6.6	4.7
世帯 構成別	1人暮らし	71	43.7	47.9	5.6	2.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	34.3	61.2	3.0	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	0.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	43.5	47.8	4.3	4.3
	その他	22	31.8	59.1	4.5	4.5
居住 地区別	字大山崎	73	38.4	50.7	8.2	2.7
	字円明寺	103	41.7	50.5	4.9	2.9
	字下植野	19	31.6	63.2	0.0	5.3
認定 状況別	要支援1	128	38.3	51.6	6.3	3.9
	要支援2	67	41.8	52.2	4.5	1.5

## (2) 認知症予防のために効果的だと思うこと

問 71 あなたが認知症予防のために効果的だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

認知症予防のために効果的だと思うことについて、「人との交流(友人との会話、地域活動への参加など)」が 68.2%で最も高く、次いで「バランスのとれた食事や十分な睡眠」が 62.1%、「定期的な運動(散歩や体操など)」が 60.5%となっています。

【図表3-9-3 認知症予防のために効果的だと思うこと】



性別にみると、男性・女性ともに「人との交流(友人との会話、地域活動への参加など)」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「特にない」では、85歳以上が5.7%で最も高く。

また、居住地区別にみると、「特にない」では、字大山崎が5.5%で最も高くなっています。

【図表3-9-4 認知症予防のために効果的だと思うこと(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

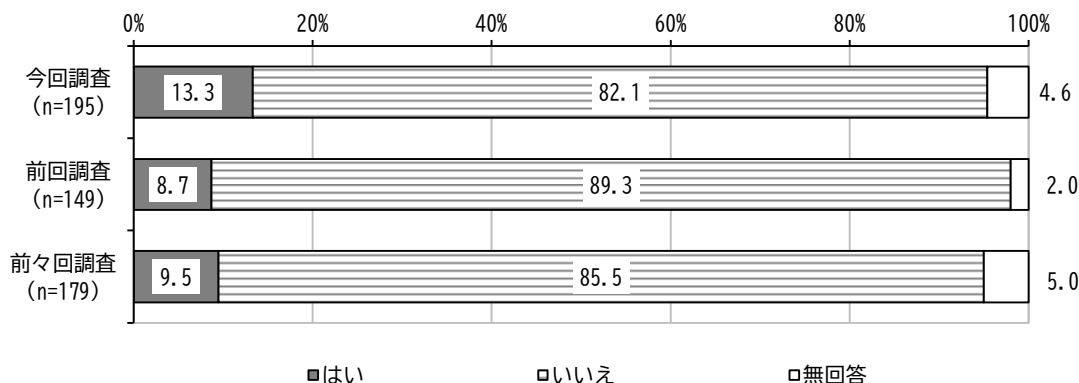
		合計(人)	定期的な運動(散歩や体操など)	人との交流(友人との会話、地域活動への参加など)	趣味や生きがいをもつ	バランスのとれた食生活や十分な睡眠	禁煙・禁酒	新しいことに挑戦する	検(健)診を定期的に受ける	ワイドレ(計算、クロスワード、読書など)	その他	特にない	無回答
性別	男性	51	51.0	56.9	51.0	45.1	9.8	15.7	31.4	29.4	3.9	7.8	3.9
	女性	144	63.9	72.2	63.2	68.1	13.9	26.4	36.1	50.7	2.8	3.5	3.5
年齢別	65～74歳	14	78.6	92.9	71.4	64.3	28.6	57.1	35.7	71.4	0.0	0.0	0.0
	75～84歳	75	64.0	76.0	60.0	61.3	10.7	30.7	41.3	46.7	1.3	4.0	1.3
	85歳以上	106	55.7	59.4	58.5	62.3	12.3	14.2	30.2	40.6	4.7	5.7	5.7
世帯構成別	1人暮らし	71	64.8	76.1	59.2	73.2	9.9	18.3	33.8	43.7	0.0	4.2	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	64.2	70.1	70.1	58.2	20.9	34.3	41.8	53.7	3.0	1.5	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	43.5	34.8	56.5	43.5	4.3	17.4	8.7	39.1	8.7	4.3	4.3
	その他	22	59.1	81.8	50.0	68.2	13.6	18.2	45.5	40.9	4.5	9.1	0.0
居住地区別	字大山崎	73	57.5	63.0	54.8	57.5	13.7	24.7	32.9	39.7	4.1	5.5	4.1
	字円明寺	103	59.2	72.8	66.0	67.0	11.7	24.3	37.9	47.6	1.9	3.9	3.9
	字下植野	19	78.9	63.2	47.4	52.6	15.8	15.8	26.3	52.6	5.3	5.3	0.0
認定状況別	要支援1	128	60.9	71.9	60.2	64.1	16.4	26.6	41.4	45.3	0.8	3.9	4.7
	要支援2	67	59.7	61.2	59.7	58.2	6.0	17.9	22.4	44.8	7.5	6.0	1.5

### (3) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

問 72 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が 13.3%、「いいえ」が 82.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 4.6 ポイント増加しています。

【図表3-9-5 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか】



性別にみると、「はい」について、男性では 13.7%、女性では 13.2%となっており、男性のほうが 0.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 14.2%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字下植野が 21.1%で最も高くなっています。

【図表3-9-6 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

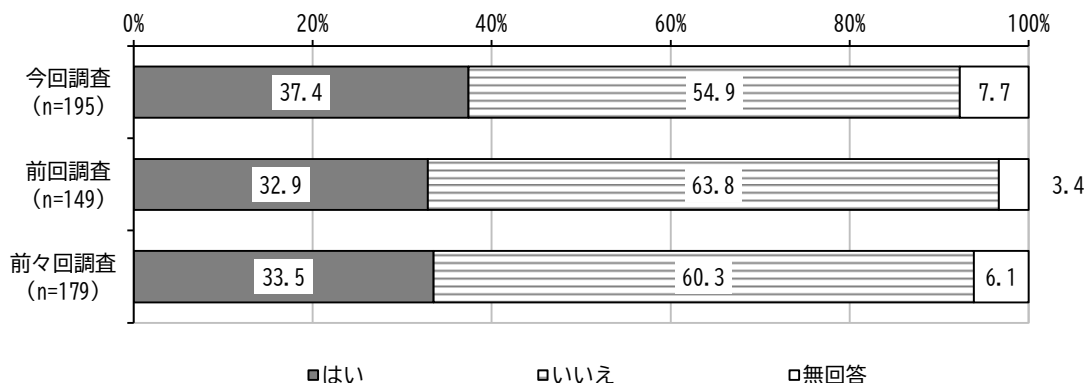
		合計 (人)	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
性別	男性	51	13.7	84.3	2.0
	女性	144	13.2	81.3	5.6
年齢別	65～74歳	14	7.1	92.9	0.0
	75～84歳	75	13.3	82.7	4.0
	85歳以上	106	14.2	80.2	5.7
世帯構成別	1人暮らし	71	8.5	87.3	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	17.9	77.6	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	100.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	17.4	78.3	4.3
	その他	22	18.2	81.8	0.0
居住地区別	字大山崎	73	15.1	82.2	2.7
	字円明寺	103	10.7	83.5	5.8
	字下植野	19	21.1	73.7	5.3
認定状況別	要支援1	128	11.7	83.6	4.7
	要支援2	67	16.4	79.1	4.5

#### (4) 認知症に関する相談窓口を知っているか

問 73 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

認知症に関する相談窓口の認知状況について、「はい」が 37.4%、「いいえ」が 54.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 4.5 ポイント増加しています。

【図表3-9-7 認知症に関する相談窓口を知っているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 37.3%、女性では 37.5%となっており、女性のほうが 0.2 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～74 歳が 42.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字円明寺が 40.8%で最も高くなっています。

【図表3-9-8 認知症に関する相談窓口を知っているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	37.3	54.9	7.8
	女性	144	37.5	54.9	7.6
年齢別	65～74歳	14	42.9	57.1	0.0
	75～84歳	75	40.0	52.0	8.0
	85歳以上	106	34.9	56.6	8.5
世帯 構成別	1人暮らし	71	39.4	50.7	9.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	40.3	55.2	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	50.0	25.0
	息子・娘との2世帯	23	34.8	60.9	4.3
	その他	22	40.9	54.5	4.5
居住 地区別	字大山崎	73	35.6	57.5	6.8
	字円明寺	103	40.8	49.5	9.7
	字下植野	19	26.3	73.7	0.0
認定 状況別	要支援1	128	34.4	57.0	8.6
	要支援2	67	43.3	50.7	6.0

### (5) 認知症に関する相談窓口の認知状況

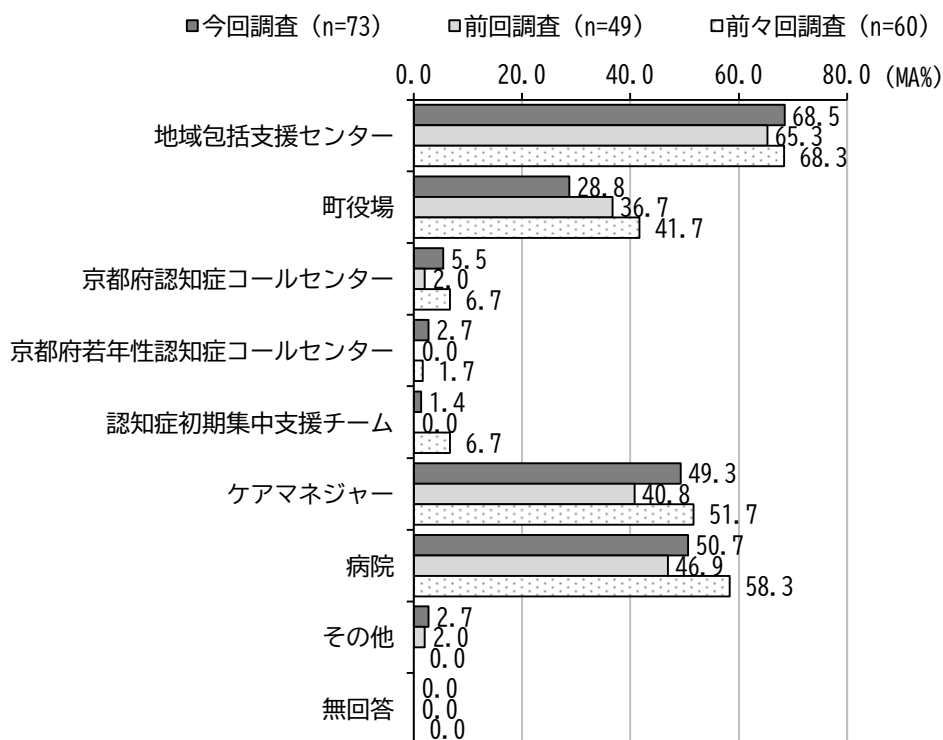
問 73-1

【問 73 で「はい」を回答された方のみ】

認知症についての相談先としてどんなところをご存知ですか。(〇はいくつでも)

認知症に関する相談窓口の認知状況について、「地域包括支援センター」が 68.5%で最も高く、次いで「病院」が 50.7%、「ケアマネジャー」が 49.3%となっています。また、前回調査と比較して「地域包括支援センター」が 3.2 ポイント増加しています。

【図表3-9-9 認知症に関する相談窓口の認知状況】



性別にみると、男性・女性ともに「地域包括支援センター」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「地域包括支援センター」では、65～74歳が100.0%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「地域包括支援センター」では、字円明寺が78.6%で最も高くなっています。

【図表3-9-10 認知症に関する相談窓口の認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	地域包括支援センター	町役場	京都府認知症コールセンター	京都府若年性認知症コールセンター	認知症初期集中支援チーム	ケアマネジャー	病院	その他	無回答
性別	男性	19	78.9	36.8	5.3	0.0	0.0	57.9	31.6	0.0	0.0
	女性	54	64.8	25.9	5.6	3.7	1.9	46.3	57.4	3.7	0.0
年齢別	65～74歳	6	100.0	66.7	33.3	16.7	16.7	66.7	66.7	16.7	0.0
	75～84歳	30	73.3	13.3	0.0	0.0	0.0	50.0	53.3	0.0	0.0
	85歳以上	37	59.5	35.1	5.4	2.7	0.0	45.9	45.9	2.7	0.0
世帯構成別	1人暮らし	28	67.9	17.9	7.1	7.1	3.6	50.0	64.3	3.6	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	27	70.4	25.9	3.7	0.0	0.0	44.4	40.7	0.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	8	50.0	62.5	12.5	0.0	0.0	50.0	37.5	0.0	0.0
	その他	9	77.8	44.4	0.0	0.0	0.0	55.6	44.4	11.1	0.0
居住地区別	字大山崎	26	57.7	30.8	3.8	3.8	0.0	53.8	57.7	0.0	0.0
	字円明寺	42	78.6	26.2	7.1	2.4	2.4	50.0	45.2	4.8	0.0
	字下植野	5	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	44	65.9	31.8	6.8	2.3	2.3	50.0	59.1	2.3	0.0
	要支援2	29	72.4	24.1	3.4	3.4	0.0	48.3	37.9	3.4	0.0

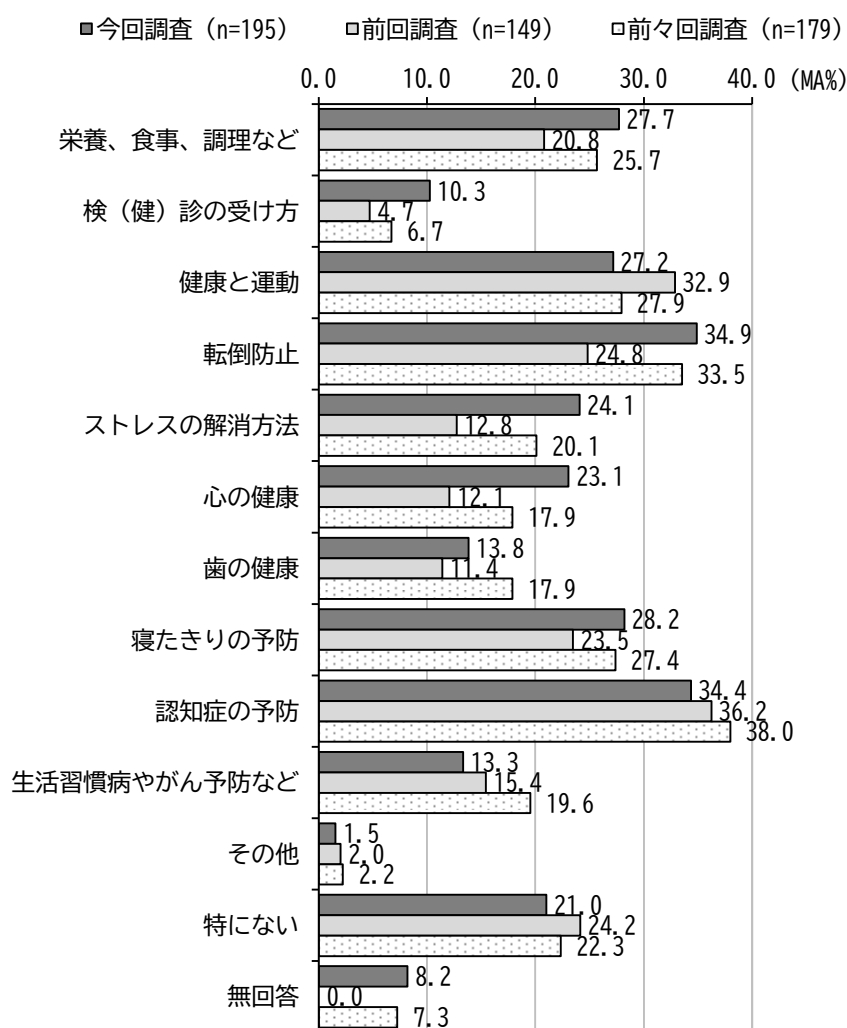
## 10. 高齢者に関するサービス・制度等について

### (1) 健康づくりや介護予防について知りたいこと

問 74	あなたが健康づくりや介護予防について知りたいことはありますか。 (〇はいくつでも)
------	--

健康づくりや介護予防について知りたいことについて、「転倒防止」が34.9%で最も高く、次いで「認知症の予防」が34.4%、「寝たきりの予防」が28.2%となっています。また、前回調査と比較して「転倒防止」が10.1ポイント増加しています。

【図表3-10-1 健康づくりや介護予防について知りたいこと】



性別にみると、男性では、「健康と運動」が37.3%で最も高く、女性では、「転倒防止」が37.5%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「認知症の予防」では、75～84歳が40.0%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「認知症の予防」では、字下植野が36.8%で最も高くなっています。

【図表3-10-2 健康づくりや介護予防について知りたいこと(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	栄養、食事、調理など	検(健)診の受け方	健康と運動	転倒防止	ストレスの解消方法	心の健康	歯の健康	寝たきりの予防	認知症の予防	生活習慣病やがん予防	その他	
性別	男性	51	25.5	9.8	37.3	27.5	21.6	19.6	7.8	21.6	35.3	11.8	2.0
	女性	144	28.5	10.4	23.6	37.5	25.0	24.3	16.0	30.6	34.0	13.9	1.4
年齢別	65～74歳	14	14.3	0.0	21.4	21.4	21.4	28.6	0.0	28.6	21.4	14.3	0.0
	75～84歳	75	24.0	13.3	22.7	33.3	28.0	25.3	12.0	24.0	40.0	14.7	0.0
	85歳以上	106	32.1	9.4	31.1	37.7	21.7	20.8	17.0	31.1	32.1	12.3	2.8
世帯構成別	1人暮らし	71	33.8	12.7	29.6	40.8	22.5	18.3	15.5	28.2	35.2	18.3	1.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	22.4	7.5	23.9	26.9	32.8	31.3	6.0	31.3	34.3	16.4	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	13.0	4.3	21.7	34.8	17.4	8.7	13.0	21.7	30.4	8.7	0.0
	その他	22	36.4	18.2	36.4	36.4	18.2	22.7	22.7	27.3	45.5	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	73	27.4	12.3	20.5	35.6	26.0	24.7	19.2	27.4	34.2	12.3	0.0
	字円明寺	103	28.2	9.7	32.0	35.0	23.3	22.3	10.7	29.1	34.0	13.6	2.9
	字下植野	19	26.3	5.3	26.3	31.6	21.1	21.1	10.5	26.3	36.8	15.8	0.0
認定状況別	要支援1	128	29.7	10.9	27.3	32.0	25.8	21.1	11.7	24.2	32.0	14.8	2.3
	要支援2	67	23.9	9.0	26.9	40.3	20.9	26.9	17.9	35.8	38.8	10.4	0.0

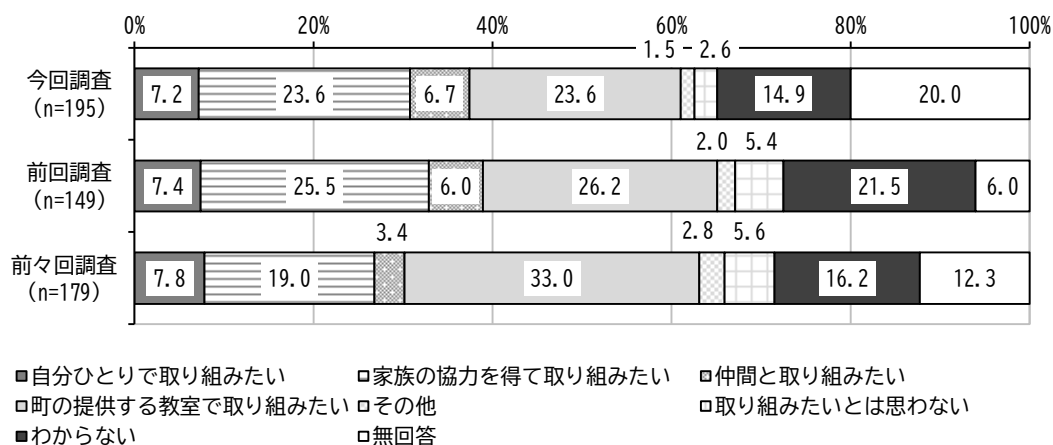
	合計(人)	特 に な い	無 回 答	
性別	男性	51	27.5	3.9
	女性	144	18.8	9.7
年齢別	65～74歳	14	28.6	7.1
	75～84歳	75	22.7	5.3
	85歳以上	106	18.9	10.4
世帯構成別	1人暮らし	71	16.9	11.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	20.9	6.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	39.1	8.7
	その他	22	13.6	4.5
居住地区別	字大山崎	73	20.5	11.0
	字円明寺	103	17.5	6.8
	字下植野	19	42.1	5.3
認定状況別	要支援1	128	20.3	10.2
	要支援2	67	22.4	4.5

## (2) 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか

問 75 本町の要介護認定を受けている高齢者の方は、およそ5人に1人で、年々増加しています。要介護の方が減少することは、本人だけではなく、周りの家族や地域の人々にとってもよいことで、介護保険料の減少にもつながることなので、町ではみんなが協力し合って介護予防の普及ができればと考えています。  
 そしておうかがいします。あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。(○は1つ)

健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいかについて、「家族の協力を得て取り組みたい」「町の提供する教室で取り組みたい」が 23.6%で最も高く、次いで「わからない」が 14.9%、「自分ひとりで取り組みたい」が 7.2%となっています。また、前回調査と比較して「町の提供する教室で取り組みたい」が 2.6 ポイント減少しています。

【図表3-10-3 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか】



性別にみると、男性では、「町の提供する教室で取り組みたい」が 29.4%で最も高く、女性では、「家族の協力を得て取り組みたい」が 22.9%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「町の提供する教室で取り組みたい」では、85歳以上が 27.4%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「町の提供する教室で取り組みたい」では、字大山崎が 28.8%で最も高くなっています。

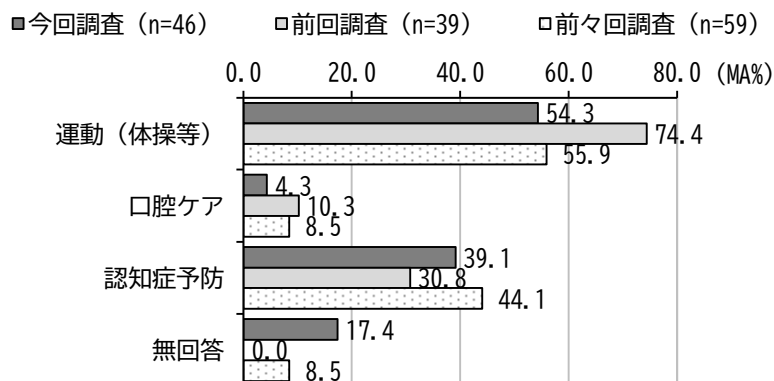
【図表3-10-4 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	自分ひとりで取り組みたい	家族の協力を得て取り組みたい	仲間と取り組みたい	町での提供を望む	その他	は取り組みたいと思わない	わからない	無回答
性別	男性	51	9.8	25.5	0.0	29.4	3.9	5.9	15.7	9.8
	女性	144	6.3	22.9	9.0	21.5	0.7	1.4	14.6	23.6
年齢別	65～74歳	14	14.3	21.4	7.1	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3
	75～84歳	75	5.3	32.0	5.3	20.0	0.0	2.7	17.3	17.3
	85歳以上	106	7.5	17.9	7.5	27.4	2.8	2.8	11.3	22.6
世帯構成別	1人暮らし	71	9.9	11.3	7.0	35.2	0.0	0.0	15.5	21.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	4.5	37.3	1.5	20.9	3.0	4.5	10.4	17.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	0.0	21.7	17.4	17.4	0.0	4.3	21.7	17.4
	その他	22	13.6	31.8	9.1	9.1	0.0	4.5	18.2	13.6
居住地区別	字大山崎	73	8.2	26.0	4.1	28.8	0.0	5.5	12.3	15.1
	字円明寺	103	6.8	17.5	8.7	24.3	1.0	0.0	16.5	25.2
	字下植野	19	5.3	47.4	5.3	0.0	10.5	5.3	15.8	10.5
認定状況別	要支援1	128	8.6	25.0	6.3	27.3	0.0	1.6	14.1	17.2
	要支援2	67	4.5	20.9	7.5	16.4	4.5	4.5	16.4	25.4

また、参加したい教室について、「運動(体操等)」が 55.3%で最も高く、次いで「認知症予防」が 38.3%、「口腔ケア」が 6.4%となっています。また、前回調査と比較して「認知症予防」が 7.5ポイント増加しています。

【図表3-10-5 参加したい教室】



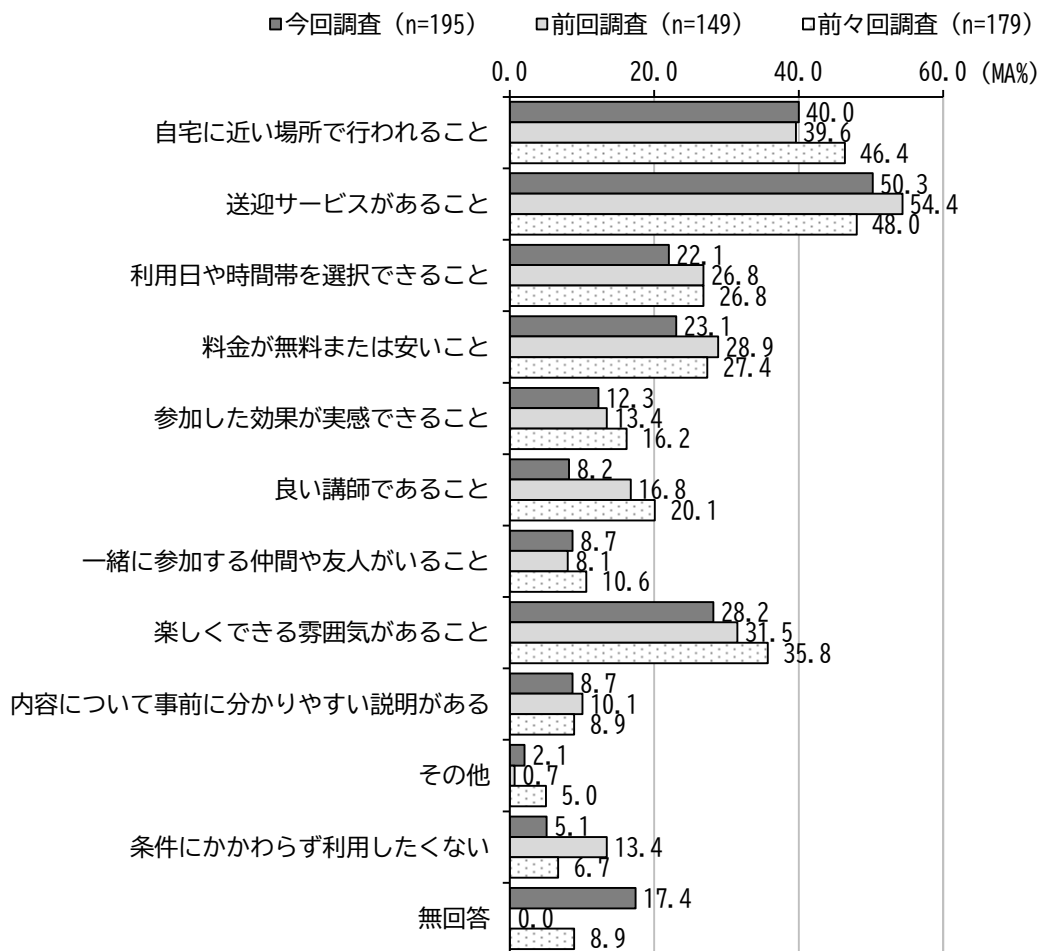
### (3) 健康づくりや介護予防教室に参加するための条件

問 76

町の健康づくりや介護予防教室に参加するために必要な条件は何ですか。  
(○は3つまで)

健康づくりや介護予防教室に参加するための条件について、「送迎サービスがあること」が 50.3%で最も高く、次いで「自宅に近い場所で行われること」が 40.0%、「楽しくできる雰囲気があること」が 28.2%となっています。また、前回調査と比較して「送迎サービスがあること」が 4.1 ポイント減少しています。

【図表3-10-6 健康づくりや介護予防教室に参加するための条件】



性別にみると、男性では、「自宅に近い場所で行われること」が 47.1%で最も高く、女性では、「送迎サービスがあること」が 52.8%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「条件にかかわらず利用したくない」では、65～74 歳が 7.1%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「条件にかかわらず利用したくない」では、字下植野が 10.5%で最も高くなっています。

【図表3-10-7 健康づくりや介護予防教室に参加するための条件(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

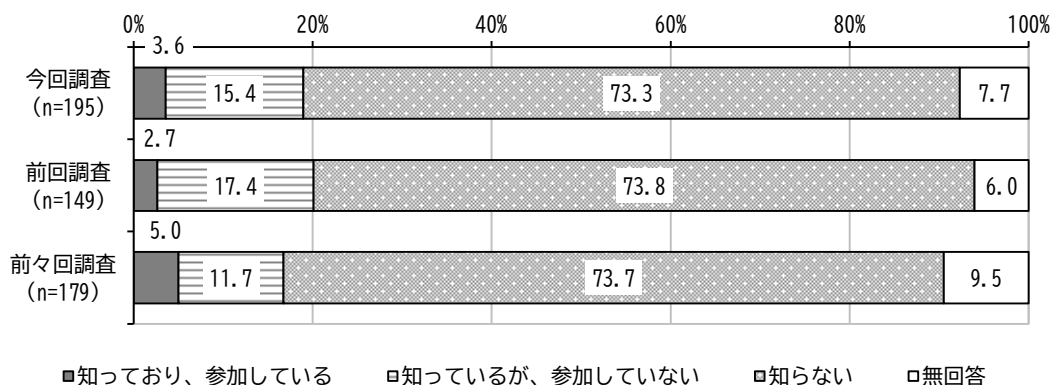
		合計(人)	自宅に近い場所で行われること	送迎サービスがあること	利用日や時間帯を選択できること	料金が無料または安いこと	参加した効果が実感できること	良い講師であること	友人と一緒に参加すること	楽しくできる雰囲気があること	内容について事前に分かりやすい説明がある	その他	条件にかかわらず利用したくない	無回答
性別	男性	51	47.1	43.1	19.6	33.3	13.7	7.8	2.0	25.5	9.8	3.9	3.9	15.7
	女性	144	37.5	52.8	22.9	19.4	11.8	8.3	11.1	29.2	8.3	1.4	5.6	18.1
年齢別	65～74歳	14	42.9	57.1	21.4	28.6	21.4	7.1	7.1	28.6	0.0	0.0	7.1	14.3
	75～84歳	75	37.3	56.0	22.7	28.0	16.0	9.3	9.3	28.0	8.0	2.7	6.7	10.7
	85歳以上	106	41.5	45.3	21.7	18.9	8.5	7.5	8.5	28.3	10.4	1.9	3.8	22.6
世帯構成別	1人暮らし	71	36.6	49.3	14.1	23.9	12.7	8.5	14.1	35.2	7.0	1.4	2.8	18.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	34.3	56.7	32.8	22.4	16.4	7.5	6.0	28.4	10.4	1.5	9.0	11.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	息子・娘との2世帯	23	56.5	39.1	21.7	30.4	13.0	4.3	8.7	17.4	8.7	4.3	0.0	21.7
	その他	22	45.5	50.0	22.7	13.6	4.5	13.6	0.0	22.7	4.5	4.5	9.1	22.7
居住地区別	字大山崎	73	34.2	50.7	12.3	24.7	19.2	6.8	12.3	34.2	11.0	2.7	4.1	17.8
	字円明寺	103	42.7	48.5	28.2	23.3	9.7	9.7	6.8	26.2	7.8	1.9	4.9	16.5
	字下植野	19	47.4	57.9	26.3	15.8	0.0	5.3	5.3	15.8	5.3	0.0	10.5	21.1
認定状況別	要支援1	128	39.1	47.7	22.7	21.9	16.4	7.8	8.6	29.7	9.4	2.3	4.7	18.0
	要支援2	67	41.8	55.2	20.9	25.4	4.5	9.0	9.0	25.4	7.5	1.5	6.0	16.4

#### (4) 助け愛隊サポーターの認知状況

問 77 「助け愛隊」サポーターについてご存知ですか。(○は1つ)

助け愛隊サポーターの認知状況について、「知らない」が73.3%で最も高く、次いで「知っているが、参加していない」が15.4%、「知っており、参加している」が3.6%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が0.5ポイント減少しています。

【図表3-10-8 助け愛隊サポーターの認知状況】



性別にみると、「知らない」について、男性では88.2%、女性では68.1%となっており、男性のほうが20.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「知らない」では、75～84歳が74.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「知らない」では、字下植野が78.9%で最も高くなっています。

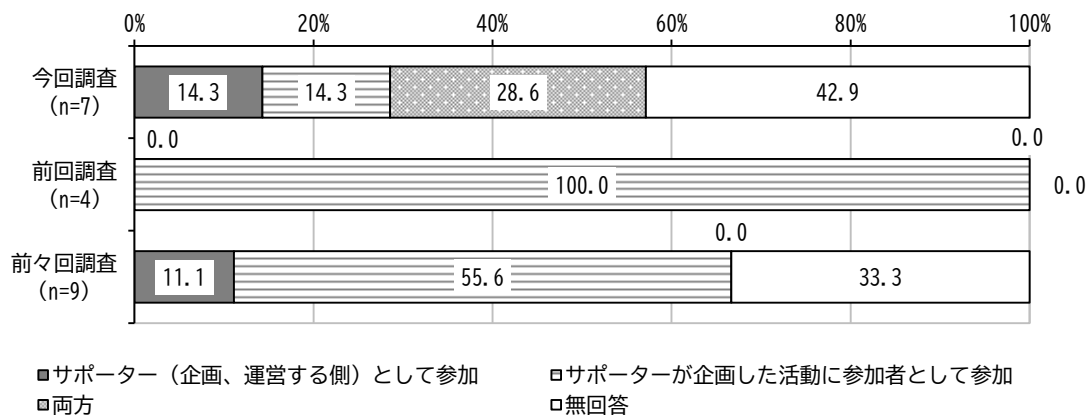
【図表3-10-9 助け愛隊サポーターの認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	加知 して お り、 参	参 加 し て い る が、 い	知 ら な い	無 回 答
性別	男性	51	0.0	9.8	88.2	2.0
	女性	144	4.9	17.4	68.1	9.7
年齢別	65～74歳	14	7.1	21.4	71.4	0.0
	75～84歳	75	1.3	17.3	74.7	6.7
	85歳以上	106	4.7	13.2	72.6	9.4
世帯 構成別	1人暮らし	71	4.2	14.1	71.8	9.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	14.9	80.6	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	25.0	75.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	8.7	21.7	65.2	4.3
	その他	22	4.5	18.2	68.2	9.1
居住 地区別	字大山崎	73	2.7	13.7	72.6	11.0
	字円明寺	103	3.9	17.5	72.8	5.8
	字下植野	19	5.3	10.5	78.9	5.3
認定 状況別	要支援1	128	4.7	11.7	75.0	8.6
	要支援2	67	1.5	22.4	70.1	6.0

また、参加している立場について、「両方」が28.6%で最も高く、次いで、「サポーター（企画、運営する側）」として参加「サポーターが企画した活動に参加者として参加」が14.3%となっています。

【図表3-10-10 参加している立場】



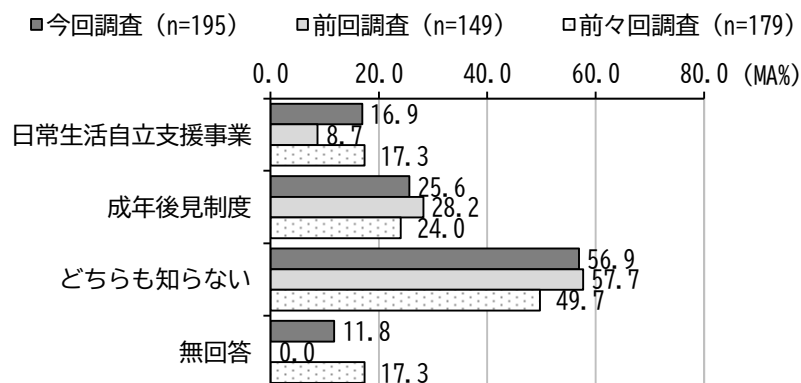
## (5) 高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況

問 78

高齢者の権利擁護(高齢者の権利や生活、財産などを守ります)のための制度についておうかがいします。次の事業や制度を知っていますか。(○はいくつでも)

高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況について、「どちらも知らない」が56.9%で最も高く、次いで「成年後見制度」が25.6%、「日常生活自立支援事業」が16.9%となっています。また、前回調査と比較して「どちらも知らない」が0.8ポイント減少しています。

【図表3-10-11 高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況】



性別にみると、男性・女性ともに「どちらも知らない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「どちらも知らない」では、85歳以上が57.5%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「どちらも知らない」では、宇大山崎が60.3%で最も高くなっています。

【図表3-10-12 高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

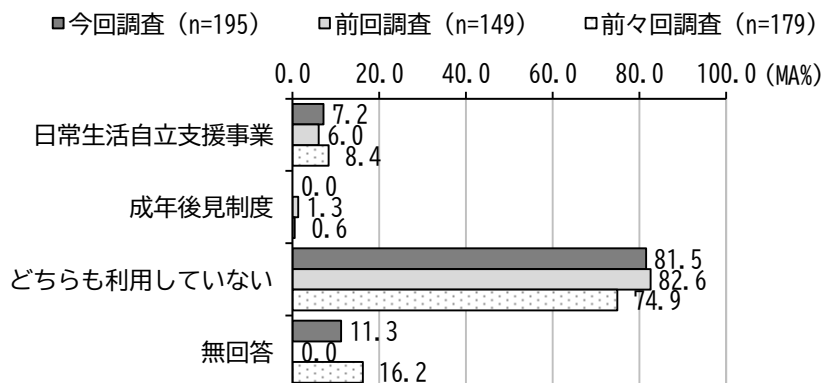
		合計 (人)	援 日 常 生 活 自 立 支 援 事 業	成 年 後 見 制 度	い ど ち ら も 知 ら な い	無 回 答
性別	男性	51	11.8	29.4	66.7	3.9
	女性	144	18.8	24.3	53.5	14.6
年齢別	65～74歳	14	28.6	35.7	57.1	7.1
	75～84歳	75	17.3	32.0	56.0	8.0
	85歳以上	106	15.1	19.8	57.5	15.1
世帯 構成別	1人暮らし	71	21.1	21.1	56.3	12.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	14.9	31.3	56.7	7.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	25.0	75.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	17.4	21.7	60.9	13.0
	その他	22	13.6	31.8	54.5	13.6
居住 地区別	宇大山崎	73	11.0	24.7	60.3	12.3
	宇円明寺	103	21.4	29.1	55.3	9.7
	宇下植野	19	15.8	10.5	52.6	21.1
認定 状況別	要支援1	128	14.8	24.2	59.4	10.2
	要支援2	67	20.9	28.4	52.2	14.9

## (6) 高齢者の権利擁護に関する事業等の利用状況

問 79 次の事業や制度を利用したこと(利用している)がありますか。(○はいくつでも)

高齢者の権利擁護に関する事業等の利用状況について、「どちらも利用していない」が 81.5%で最も高く、次いで「日常生活自立支援事業」が 7.2%となっています。また、前回調査と比較して「どちらも利用していない」が 1.1ポイント減少しています。

【図表3-10-13 高齢者の権利擁護に関する事業等の利用状況】

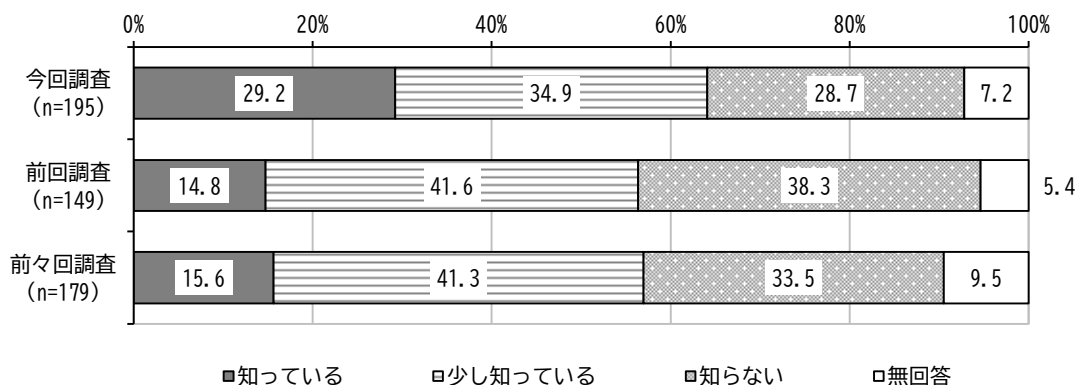


## (7) 地域包括支援センターの活動の認知状況

問 80 あなたは、地域包括支援センターの活動についてご存知ですか。(○は1つ)

地域包括支援センターの活動の認知状況について、「少し知っている」が 34.9%で最も高く、次いで「知っている」が 29.2%、「知らない」が 28.7%となっています。また、前回調査と比較して「少し知っている」が 6.7ポイント減少しています。

【図表3-10-14 地域包括支援センターの活動の認知状況】



性別にみると、男性では、「知らない」が 45.1%で最も高く、女性では、「少し知っている」が 35.4%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「知らない」では、75～84歳が 29.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「知らない」では、字大山崎が 32.9%で最も高くなっています。

【図表3-10-15 地域包括支援センターの活動の認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	知っている	少し知っている	知らない	無回答
性別	男性	51	19.6	33.3	45.1	2.0
	女性	144	32.6	35.4	22.9	9.0
年齢別	65～74歳	14	28.6	50.0	21.4	0.0
	75～84歳	75	33.3	32.0	29.3	5.3
	85歳以上	106	26.4	34.9	29.2	9.4
世帯構成別	1人暮らし	71	36.6	31.0	22.5	9.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	25.4	44.8	26.9	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	0.0	75.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	30.4	21.7	43.5	4.3
	その他	22	22.7	45.5	22.7	9.1
居住地区別	字大山崎	73	26.0	31.5	32.9	9.6
	字円明寺	103	31.1	37.9	26.2	4.9
	字下植野	19	31.6	31.6	26.3	10.5
認定状況別	要支援1	128	25.8	37.5	29.7	7.0
	要支援2	67	35.8	29.9	26.9	7.5

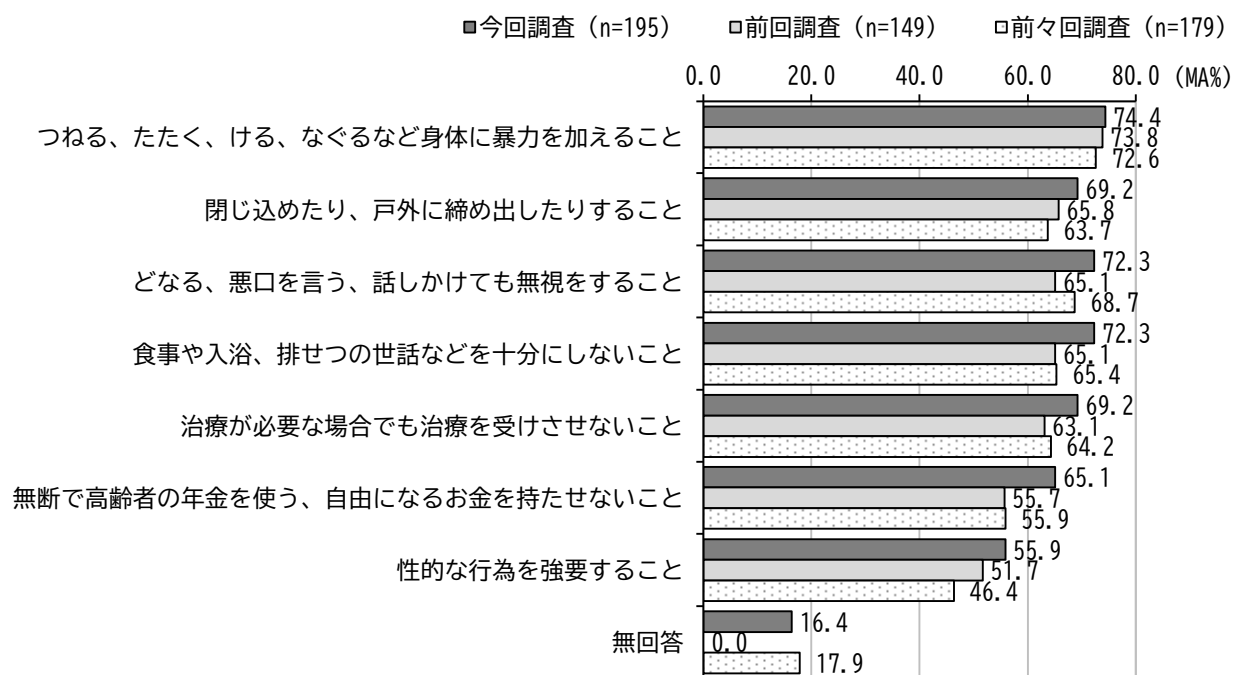
## (8) 高齢者への虐待だと思ふ行為

問 81

あなたが高齢者への虐待だと思ふ行為はどれですか。(〇はいくつでも)

高齢者への虐待だと思ふ行為について、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」が74.4%で最も高く、次いで「どなる、悪口を言う、話しかけても無視をすること」「食事や入浴、排せつの世話などを十分にしないこと」が72.3%、「閉じ込めたり、戸外に締め出したりすること」「治療が必要な場合でも治療を受けさせないこと」が69.2%となっています。また、前回調査と比較して「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」が0.6ポイント増加しています。

【図表3-10-16 高齢者への虐待だと思ふ行為】



性別にみると、男性では、「どなる、悪口を言う、話しかけても無視をすること」が76.5%で最も高く、女性では、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」が75.0%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」では、65～74歳が85.7%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」では、字下植野が78.9%で最も高くなっています。

【図表3-10-17 高齢者への虐待だと思ふ行為(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

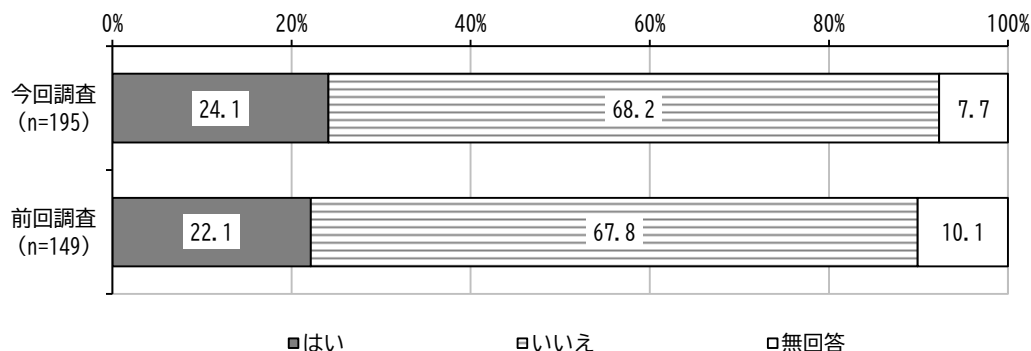
		合計(人)	つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること	閉じ込めたり、戸外に締め出した	どなる、悪口を言う、話しかけても無視をすること	食事や入浴、排せつの世話などを十分にしないこと	治療が必要な場合でも治療を受けさせないこと	自由に高齢者の年金を使う、こと	性的な行為を強要すること	無回答
性別	男性	51	72.5	68.6	76.5	68.6	62.7	60.8	45.1	11.8
	女性	144	75.0	69.4	70.8	73.6	71.5	66.7	59.7	18.1
年齢別	65～74歳	14	85.7	85.7	100.0	92.9	85.7	85.7	85.7	0.0
	75～84歳	75	78.7	72.0	72.0	76.0	70.7	61.3	53.3	12.0
	85歳以上	106	69.8	65.1	68.9	67.0	66.0	65.1	53.8	21.7
世帯構成別	1人暮らし	71	73.2	62.0	66.2	69.0	66.2	62.0	47.9	21.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	73.1	74.6	71.6	77.6	71.6	70.1	64.2	14.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	100.0	75.0	75.0	75.0	50.0	50.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	73.9	69.6	82.6	65.2	65.2	65.2	60.9	13.0
	その他	22	77.3	77.3	86.4	77.3	81.8	63.6	50.0	9.1
居住地区別	字大山崎	73	68.5	61.6	63.0	65.8	63.0	56.2	49.3	21.9
	字円明寺	103	77.7	71.8	77.7	74.8	70.9	69.9	57.3	12.6
	字下植野	19	78.9	84.2	78.9	84.2	84.2	73.7	73.7	15.8
認定状況別	要支援1	128	75.0	69.5	71.1	72.7	70.3	66.4	55.5	17.2
	要支援2	67	73.1	68.7	74.6	71.6	67.2	62.7	56.7	14.9

### (9) 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか

問 82 高齢者の虐待についての相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が 24.1%、「いいえ」が 68.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 2.0 ポイント増加しています。

【図表3-10-18 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 23.5%、女性では 24.3%となっており、女性のほうが 0.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～74 歳が 42.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「はい」では、字大山崎が 26.0%で最も高くなっています。

【図表3-10-19 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

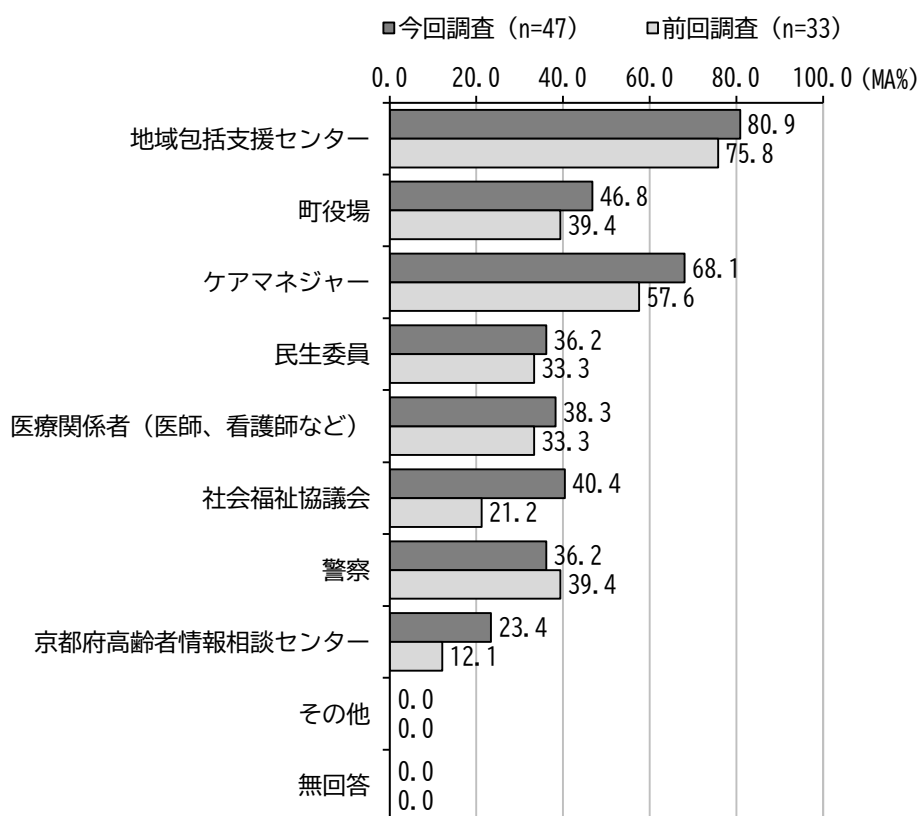
		合計 (人)	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	23.5	70.6	5.9
	女性	144	24.3	67.4	8.3
年齢別	65～74歳	14	42.9	57.1	0.0
	75～84歳	75	24.0	68.0	8.0
	85歳以上	106	21.7	69.8	8.5
世帯 構成別	1人暮らし	71	22.5	66.2	11.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	23.9	68.7	7.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	75.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	30.4	69.6	0.0
	その他	22	31.8	63.6	4.5
居住 地区別	字大山崎	73	26.0	61.6	12.3
	字円明寺	103	23.3	71.8	4.9
	字下植野	19	21.1	73.7	5.3
認定 状況別	要支援1	128	23.4	69.5	7.0
	要支援2	67	25.4	65.7	9.0

## (10) 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況

問 82-1	<b>【問 82 で「はい」を回答された方のみ】</b> 高齢者の虐待についての相談先としてどんなところをご存知ですか。 (〇はいくつでも)
--------	--

高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況について、「地域包括支援センター」が 80.9%で最も高く、次いで「ケアマネジャー」が68.1%、「町役場」が46.8%となっています。また、前回調査と比較して「地域包括支援センター」が5.1ポイント増加しています。

【図表3-10-20 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況】



性別にみると、男性・女性ともに「地域包括支援センター」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「地域包括支援センター」では、65～74歳が100.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「地域包括支援センター」では、字円明寺が95.8%で最も高くなっています。

【図表3-10-21 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計(人)	地域包括支援センター	町役場	ケアマネジャー	民生委員	医療関係者(医師、看護師など)	社会福祉協議会	警察	京都府高齢者情報相談センター	その他	無回答
性別	男性	12	83.3	58.3	66.7	41.7	33.3	41.7	33.3	8.3	0.0	0.0
	女性	35	80.0	42.9	68.6	34.3	40.0	40.0	37.1	28.6	0.0	0.0
年齢別	65～74歳	6	100.0	83.3	66.7	66.7	50.0	50.0	50.0	33.3	0.0	0.0
	75～84歳	18	94.4	38.9	72.2	27.8	27.8	38.9	33.3	11.1	0.0	0.0
	85歳以上	23	65.2	43.5	65.2	34.8	43.5	39.1	34.8	30.4	0.0	0.0
世帯構成別	1人暮らし	16	75.0	56.3	56.3	43.8	37.5	50.0	43.8	37.5	0.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	16	87.5	50.0	68.8	37.5	31.3	31.3	25.0	12.5	0.0	0.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	1	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	7	71.4	42.9	71.4	28.6	57.1	42.9	42.9	28.6	0.0	0.0
	その他	7	85.7	28.6	85.7	28.6	28.6	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	19	68.4	47.4	57.9	42.1	26.3	26.3	26.3	21.1	0.0	0.0
	字円明寺	24	95.8	50.0	75.0	33.3	54.2	58.3	45.8	29.2	0.0	0.0
	字下植野	4	50.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
認定状況別	要支援1	30	83.3	50.0	63.3	36.7	40.0	36.7	36.7	23.3	0.0	0.0
	要支援2	17	76.5	41.2	76.5	35.3	35.3	47.1	35.3	23.5	0.0	0.0

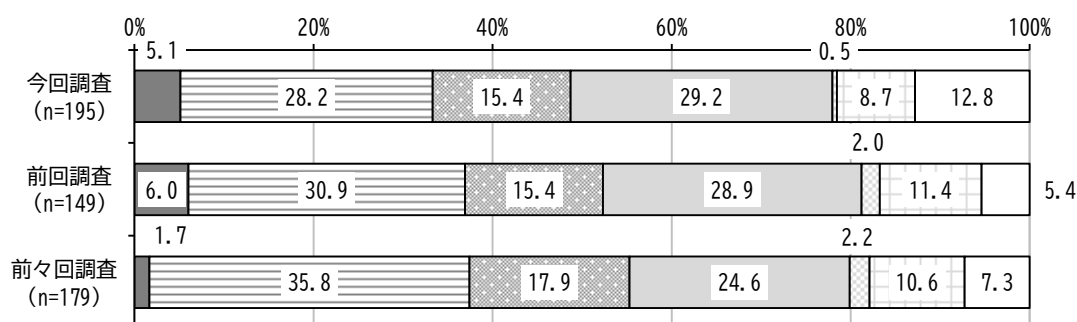
## 11. 今後の生活や高齢者施策全般について

### (1) 介護サービスに関する今後の希望

問 83 介護サービスについて、今後の希望をお教えてください。(○は1つ)

介護サービスに関する今後の希望について、「いずれは高齢者向けの施設等に入所あるいは入居したい」が29.2%で最も高く、次いで「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」が28.2%、「自宅で介護サービスを利用して、家族介護を受けずに暮らしたい」が15.4%となっています。また、前回調査と比較して「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」が2.7ポイント減少しています。

【図表3-11-1 介護サービスに関する今後の希望】



- 自宅で介護サービスを利用しないで、家族介護を中心に暮らしたい
- 自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい
- 自宅で介護サービスを利用して、家族介護を受けずに暮らしたい
- いずれは高齢者向けの施設等に入所あるいは入居したい
- その他
- 考えていない
- 無回答

性別にみると、男性では、「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」が 39.2%で最も高く、女性では、「いずれは高齢者向けの施設等に入所あるいは入居したい」が 31.3%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」では、65～74 歳が 50.0%で最も高く、「自宅で介護サービスを利用して、家族介護を受けずに暮らしたい」では、85 歳以上が 18.9%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」では、字下植野が 36.8%で最も高く、「自宅で介護サービスを利用して、家族介護を受けずに暮らしたい」では、字円明寺が 16.5%で最も高くなっています。

【図表3-11-2 介護サービスに関する今後の希望(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい	自宅で介護サービスを利用して暮らしたい	自宅で介護サービスを受けずに暮らしたい	いずれは高齢者向けの施設等に入所あるいは入居したい	その他	考えていない	無回答
性別	男性	51	7.8	39.2	11.8	23.5	0.0	9.8	7.8
	女性	144	4.2	24.3	16.7	31.3	0.7	8.3	14.6
年齢別	65～74歳	14	0.0	50.0	14.3	14.3	0.0	14.3	7.1
	75～84歳	75	4.0	24.0	10.7	40.0	1.3	10.7	9.3
	85歳以上	106	6.6	28.3	18.9	23.6	0.0	6.6	16.0
世帯構成別	1人暮らし	71	1.4	8.5	22.5	38.0	1.4	7.0	21.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	4.5	38.8	6.0	29.9	0.0	13.4	7.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	17.4	39.1	17.4	17.4	0.0	8.7	0.0
	その他	22	0.0	36.4	22.7	27.3	0.0	0.0	13.6
居住地区別	字大山崎	73	9.6	27.4	13.7	27.4	1.4	8.2	12.3
	字円明寺	103	2.9	27.2	16.5	30.1	0.0	9.7	13.6
	字下植野	19	0.0	36.8	15.8	31.6	0.0	5.3	10.5
認定状況別	要支援1	128	4.7	25.8	14.8	30.5	0.8	10.9	12.5
	要支援2	67	6.0	32.8	16.4	26.9	0.0	4.5	13.4

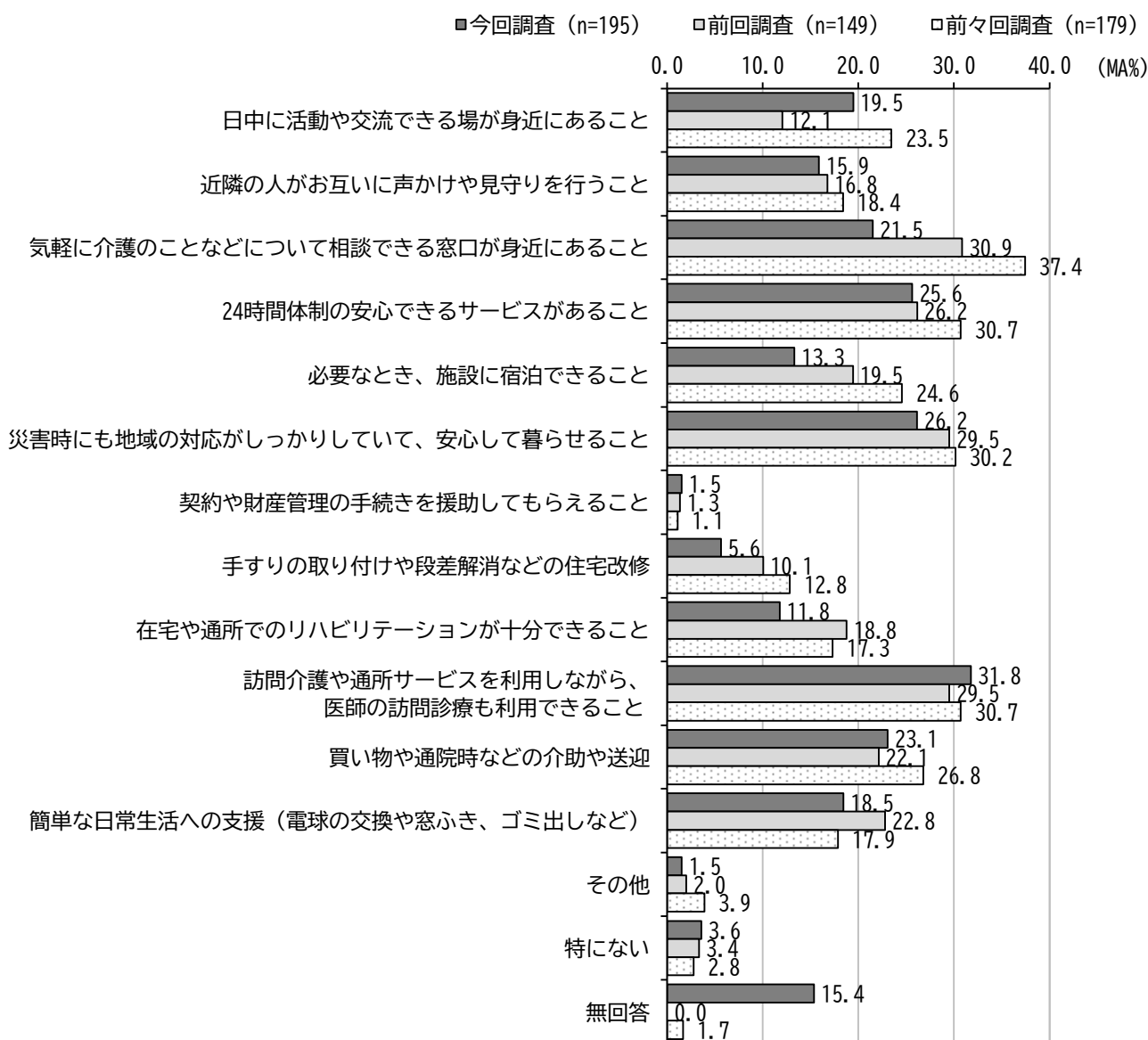
## (2) 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援

問 84

高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができると思いますか。(〇は3つまで)

高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援について、「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が 31.8%で最も高く、次いで「災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること」が 26.2%、「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が 25.6%となっています。また、前回調査と比較して「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が 2.3 ポイント増加しています。

【図表3-11-3 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援】



性別にみると、男性・女性ともに「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」では、65～74歳が35.7%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」では、字下植野が42.1%で最も高くなっています。

【図表3-11-4 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	身	日	近	て	気	サ	る	必	か	災	助	契	手	シ	も	訪	送	
		近	中	隣	相	軽	ー	必	り	害	約	す	在	も	訪	買			
性別	男性	51	19.6	21.6	19.6	23.5	9.8	31.4	0.0	9.8	7.8	37.3	17.6						
	女性	144	19.4	13.9	22.2	26.4	14.6	24.3	2.1	4.2	13.2	29.9	25.0						
年齢別	65～74歳	14	7.1	7.1	21.4	21.4	7.1	14.3	0.0	0.0	35.7	35.7	21.4						
	75～84歳	75	29.3	20.0	22.7	29.3	14.7	28.0	1.3	5.3	10.7	34.7	26.7						
	85歳以上	106	14.2	14.2	20.8	23.6	13.2	26.4	1.9	6.6	9.4	29.2	20.8						
世帯構成別	1人暮らし	71	16.9	22.5	23.9	29.6	12.7	29.6	2.8	5.6	9.9	28.2	21.1						
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	22.4	10.4	25.4	20.9	14.9	23.9	1.5	1.5	13.4	40.3	26.9						
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0						
	息子・娘との2世帯	23	17.4	8.7	8.7	30.4	17.4	30.4	0.0	4.3	13.0	43.5	17.4						
	その他	22	18.2	22.7	18.2	36.4	13.6	22.7	0.0	13.6	13.6	13.6	18.2						
居住地区別	字大山崎	73	23.3	19.2	21.9	21.9	9.6	31.5	2.7	5.5	8.2	30.1	21.9						
	字円明寺	103	19.4	13.6	16.5	30.1	15.5	22.3	1.0	4.9	12.6	31.1	24.3						
	字下植野	19	5.3	15.8	47.4	15.8	15.8	26.3	0.0	10.5	21.1	42.1	21.1						
認定状況別	要支援1	128	23.4	19.5	24.2	27.3	14.1	28.1	1.6	3.9	11.7	33.6	18.8						
	要支援2	67	11.9	9.0	16.4	22.4	11.9	22.4	1.5	9.0	11.9	28.4	31.3						

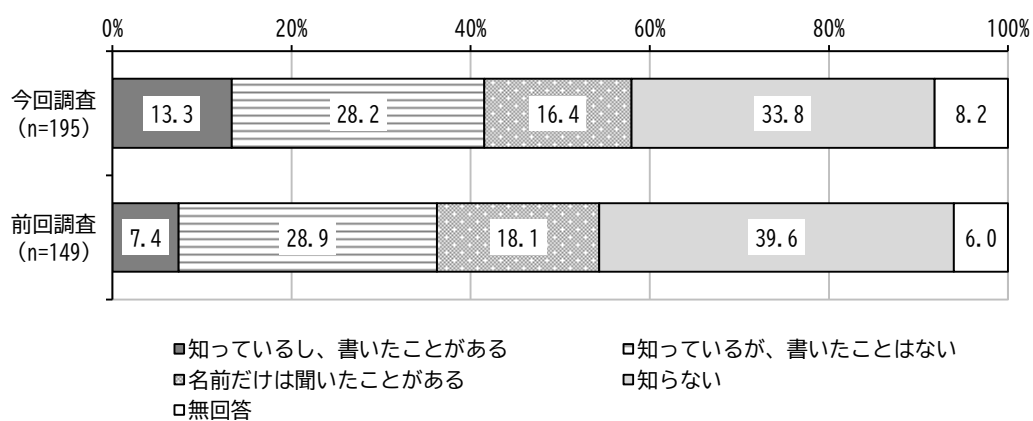
	合計(人)	簡	そ	特	無	
		球	他	に	回	
性別	男性	51	7.8	0.0	7.8	17.6
	女性	144	22.2	2.1	2.1	14.6
年齢別	65～74歳	14	28.6	0.0	0.0	28.6
	75～84歳	75	22.7	0.0	2.7	5.3
	85歳以上	106	14.2	2.8	4.7	20.8
世帯構成別	1人暮らし	71	23.9	2.8	2.8	12.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	13.4	1.5	6.0	11.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	25.0
	息子・娘との2世帯	23	17.4	0.0	4.3	17.4
	その他	22	27.3	0.0	0.0	18.2
居住地区別	字大山崎	73	16.4	0.0	4.1	13.7
	字円明寺	103	19.4	2.9	3.9	16.5
	字下植野	19	21.1	0.0	0.0	15.8
認定状況別	要支援1	128	13.3	2.3	2.3	15.6
	要支援2	67	28.4	0.0	6.0	14.9

### (3) エンディングノートの認知状況

問 85	乙訓医師会では、身近な地域での「人生最期の過ごし方」について考えるきっかけとして、小冊子『私の医療に対する希望』を配布しています。 あなたは、同冊子、あるいは、同じような趣旨で受けたい医療への希望などをあらかじめ書いておくノート(「エンディングノート」などと呼ばれることが多い)を知っていますか。(○は1つ)
------	---

エンディングノートの認知状況について、「知らない」が 33.8%で最も高く、次いで「知っているが、書いたことはない」が 28.2%、「名前だけは聞いたことがある」が 16.4%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 5.8 ポイント減少しています。

【図表3-11-5 エンディングノートの認知状況】



性別にみると、男性・女性ともに「知らない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「知っているし、書いたことがある」では、75～84歳が14.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「知っているし、書いたことがある」では、字円明寺が15.5%で最も高くなっています。

【図表3-11-6 エンディングノートの認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	知っているし、 書いたことがあるが、 あ	知っているし、 書いたことがあるが、 な	名前だけ は聞いた ことがある	知らない	無回答
性別	男性	51	5.9	25.5	13.7	45.1	9.8
	女性	144	16.0	29.2	17.4	29.9	7.6
年齢別	65～74歳	14	14.3	35.7	14.3	35.7	0.0
	75～84歳	75	14.7	32.0	17.3	33.3	2.7
	85歳以上	106	12.3	24.5	16.0	34.0	13.2
世帯 構成別	1人暮らし	71	18.3	25.4	16.9	32.4	7.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	67	11.9	28.4	16.4	37.3	6.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0
	息子・娘との2世帯	23	13.0	30.4	17.4	39.1	0.0
	その他	22	4.5	36.4	22.7	27.3	9.1
居住 地区別	字大山崎	73	11.0	23.3	15.1	43.8	6.8
	字円明寺	103	15.5	31.1	17.5	26.2	9.7
	字下植野	19	10.5	31.6	15.8	36.8	5.3
認定 状況別	要支援1	128	15.6	27.3	13.3	35.9	7.8
	要支援2	67	9.0	29.9	22.4	29.9	9.0

## 12. リスク判定

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は、要介護状態になる前の高齢者について、要介護状態になるリスクの発生状況と、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を特定することを目的に実施しています。

ここでは、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を使用し、各種リスクの判定を行っています。

### (1) 運動機能の低下

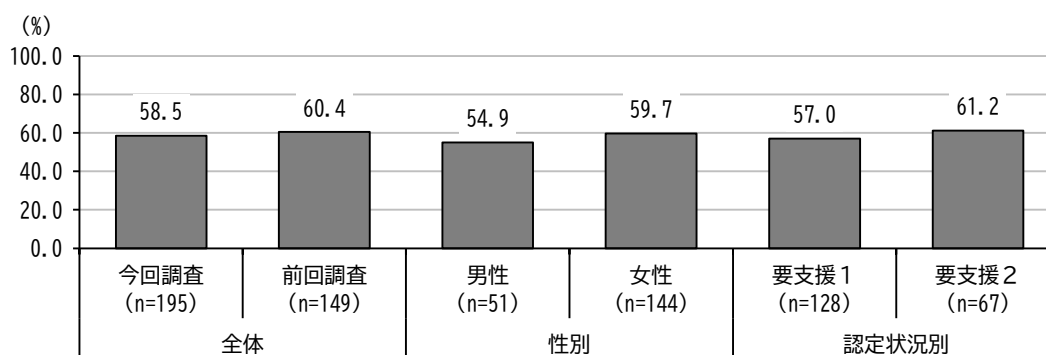
下記の5設問について、3問以上該当する選択肢が回答された場合、運動器機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表3-12-1 運動機能の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「できない」
問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	「できない」
問7	15分位続けて歩いていますか。	「できない」
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」 「1度ある」
問9	転倒に対する不安は大きいですか。	「とても不安である」 「やや不安である」

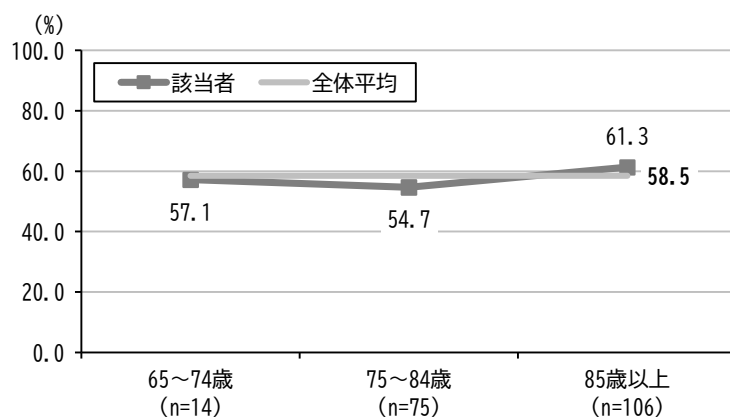
運動機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 58.5%となっています。前回調査と比較すると、1.9ポイント減少しています。

【図表3-12-2 運動機能の低下 該当者の割合】



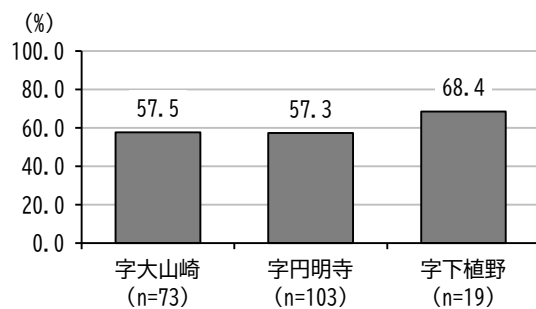
年齢別にみると、「85歳以上」が61.3%で最も高くなっています。

【図表3-12-3 運動機能の低下 該当者の割合(年齢別)】



字別でみると、「字下植野」が68.4%で最も高くなっています。

【図表3-12-4 運動機能の低下 該当者の割合(字別)】



## (2) 低栄養状態

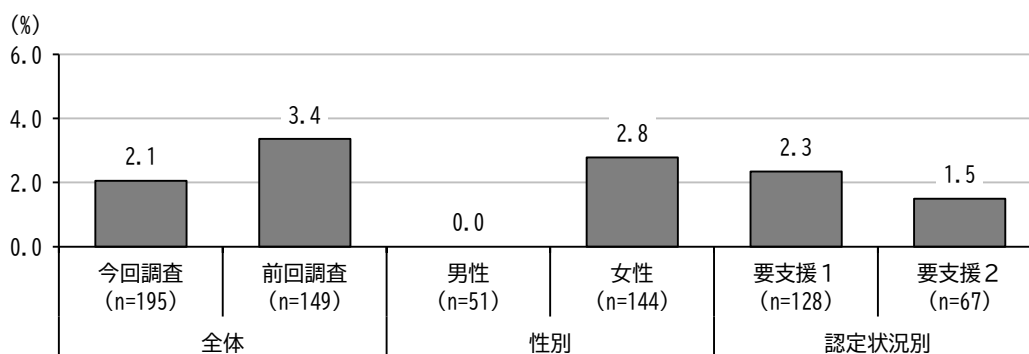
下記の2設問について、2問とも該当する選択肢が回答された場合、低栄養状態の高齢者として判定しました。

【図表3-12-5 低栄養状態を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 16	身長と体重を教えてください。	身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5以下
問 24	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。	「はい」

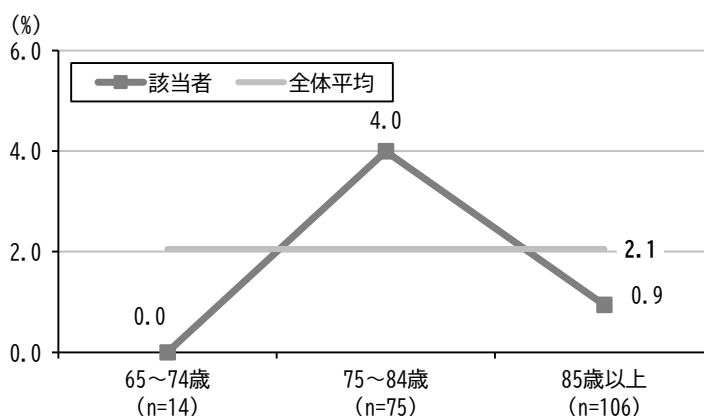
低栄養状態と判断された高齢者の割合は、全体で2.1%となっています。前回調査と比較すると、1.3ポイント減少しています。

【図表3-12-6 低栄養状態 該当者の割合】



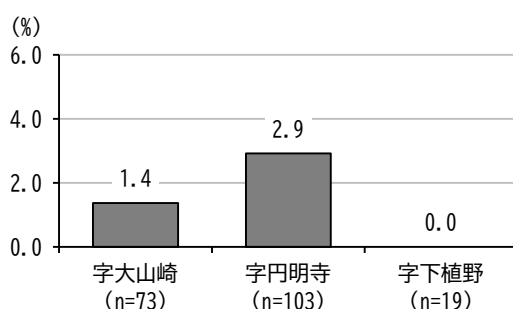
年齢別にみると、「75~84歳」が4.0%で最も高くなっています。

【図表3-12-7 低栄養状態 該当者の割合(年齢別)】



字別でみると、「字円明寺」が2.9%で最も高くなっています。

【図表3-12-8 低栄養状態 該当者の割合(字別)】



### (3) 口腔機能の低下

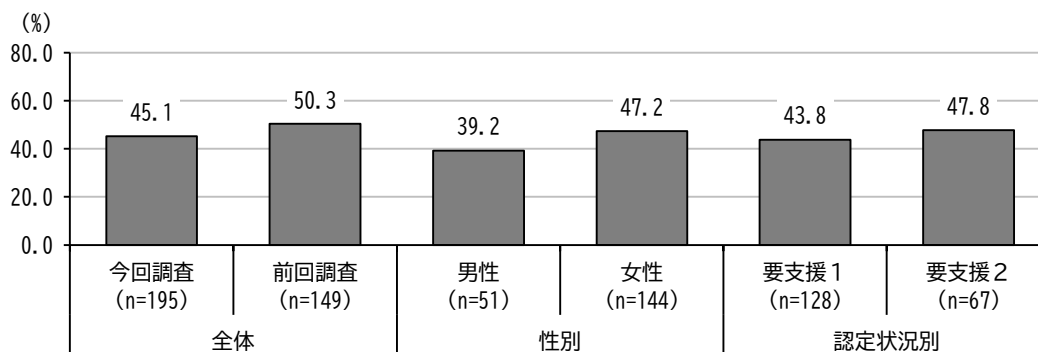
下記の3設問について、2問以上該当する選択肢が回答された場合、口腔機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表3-12-9 口腔機能の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 17	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	「はい」
問 18	お茶や汁物等でむせることがありますか。	「はい」
問 19	口の渇きが気になりますか。	「はい」

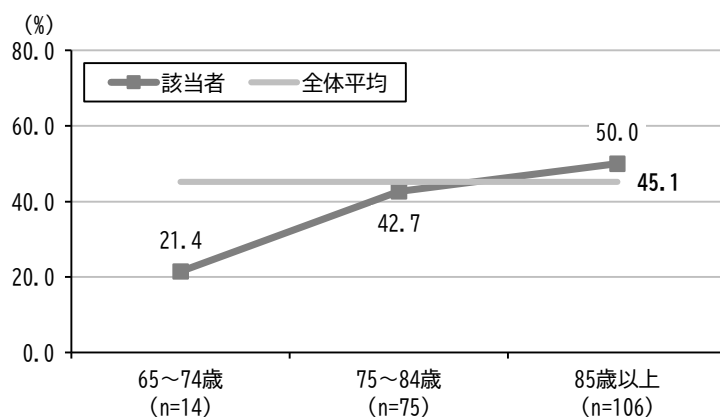
口腔機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で45.1%となっています。前回調査と比較すると、5.2ポイント減少しています。

【図表3-12-10 口腔機能の低下 該当者の割合】



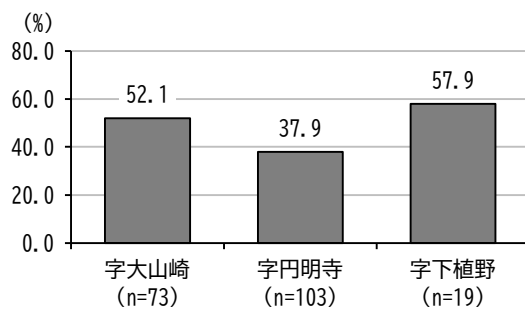
年齢別にみると、「85歳以上」が50.0%で最も高くなっています。

【図表3-12-11 口腔機能の低下 該当者の割合(年齢別)】



字別でみると、「字下植野」が57.9%で最も高くなっています。

【図表3-12-12 口腔機能の低下 該当者の割合(字別)】



#### (4) 閉じこもり傾向

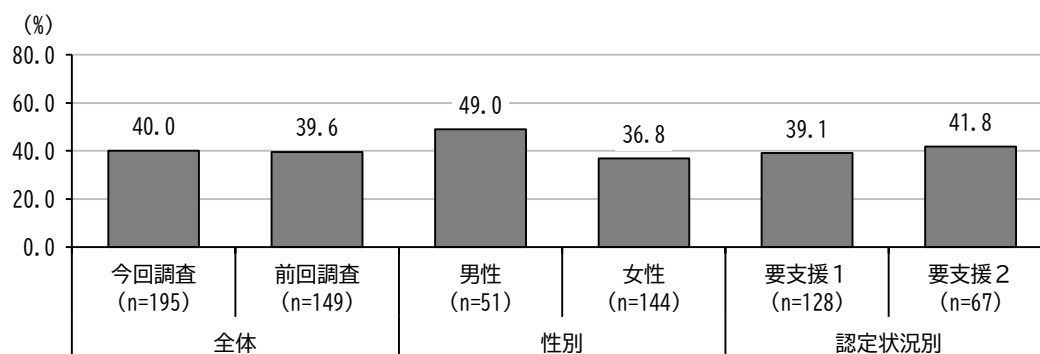
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、閉じこもり傾向の高齢者として判定しました。

【図表3-12-13 閉じこもり傾向を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 10	週に1回以上は外出していますか。	「ほとんど外出しない」 「週1回」

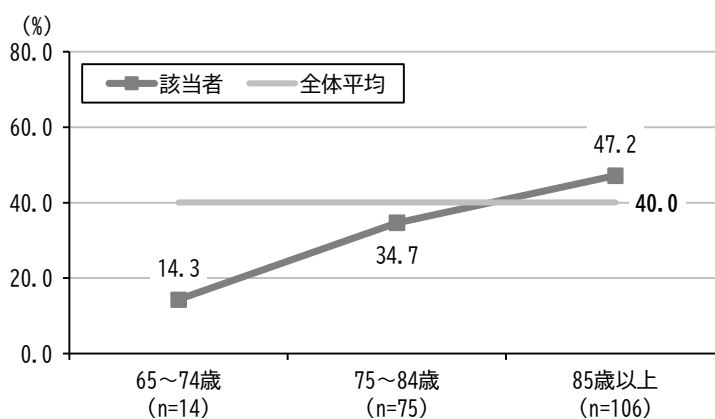
閉じこもり傾向と判断された高齢者の割合は、全体で 40.0%となっています。前回調査と比較すると、0.4ポイント増加しています。

【図表3-12-14 閉じこもり傾向 該当者の割合】



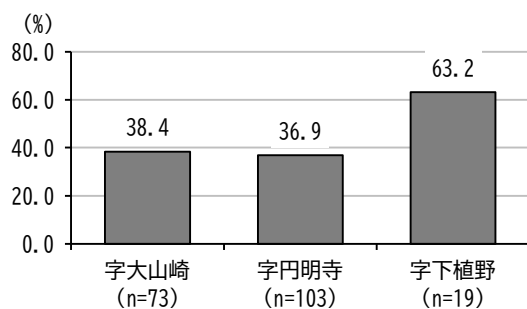
年齢別にみると、「85歳以上」が47.2%で最も高くなっています。

【図表3-12-15 閉じこもり傾向 該当者の割合(年齢別)】



字別でみると、「字下植野」が63.2%で最も高くなっています。

【図表3-12-16 閉じこもり傾向 該当者の割合(字別)】



### (5) 認知機能の低下

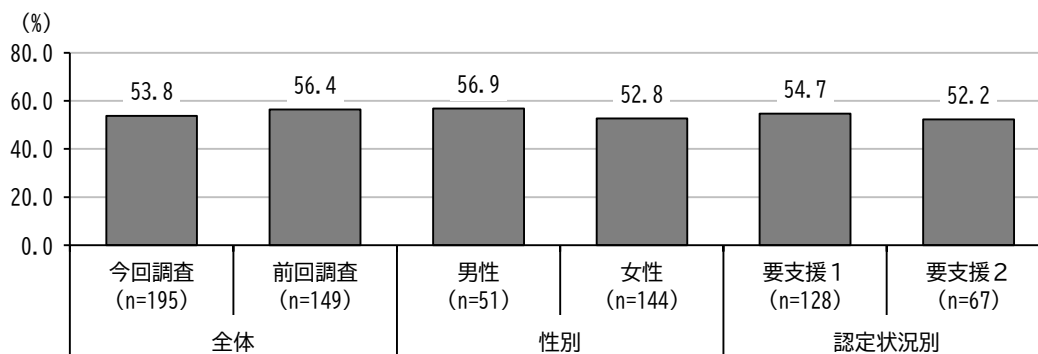
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、認知機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表3-12-17 認知機能の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 26	物忘れが多いと感じますか。	「はい」

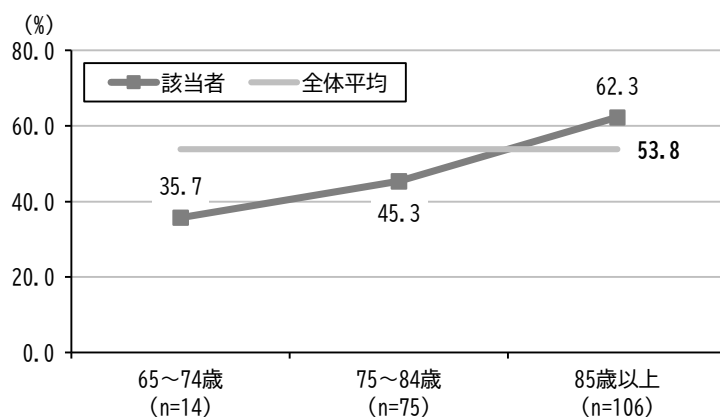
認知機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で53.8%となっています。前回調査と比較すると、2.5ポイント減少しています。

【図表3-12-18 認知機能の低下 該当者の割合】



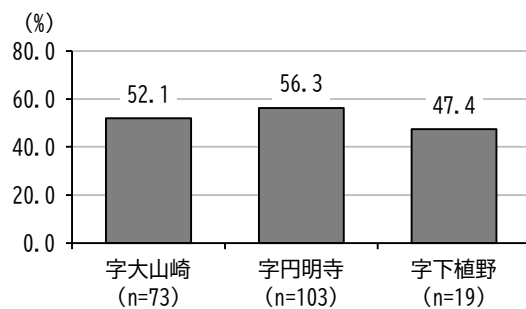
年齢別にみると、「85歳以上」が62.3%で最も高くなっています。

【図表3-12-19 認知機能の低下 該当者の割合(年齢別)】



字別でみると、「字円明寺」が56.3%で最も高くなっています。

【図表3-12-20 認知機能の低下 該当者の割合(字別)】



## (6) うつ傾向

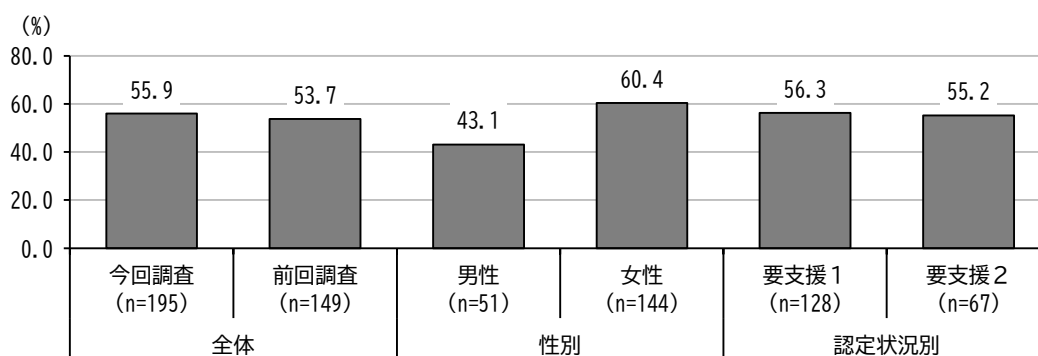
下記の2設問について、いずれか1問でも該当する選択肢が回答された場合、うつ傾向の高齢者として判定しました。

【図表3-12-21 うつ傾向を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 64	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「はい」
問 65	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	「はい」

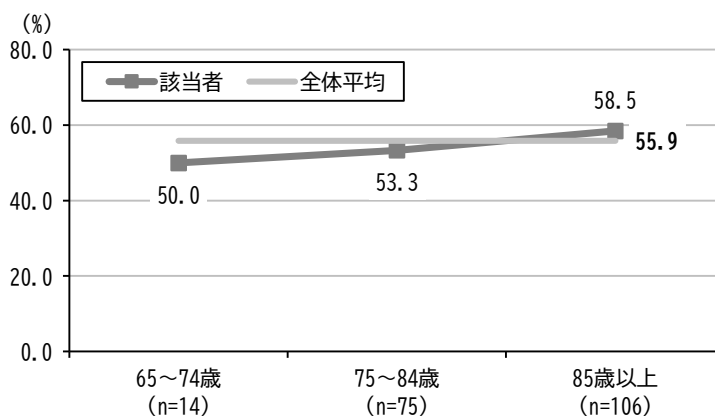
うつ傾向と判断された高齢者の割合は、全体で 55.9%となっています。前回調査と比較すると、2.2 ポイント増加しています。

【図表3-12-22 うつ傾向 該当者の割合】



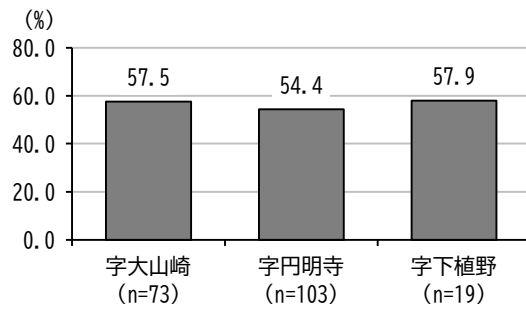
年齢別にみると、「85歳以上」が 58.5%で最も高くなっています。

【図表3-12-23 うつ傾向 該当者の割合(年齢別)】



字別でみると、「字下植野」が57.9%で最も高くなっています。

【図表3-12-24 うつ傾向 該当者の割合(字別)】



### (7) 転倒リスク

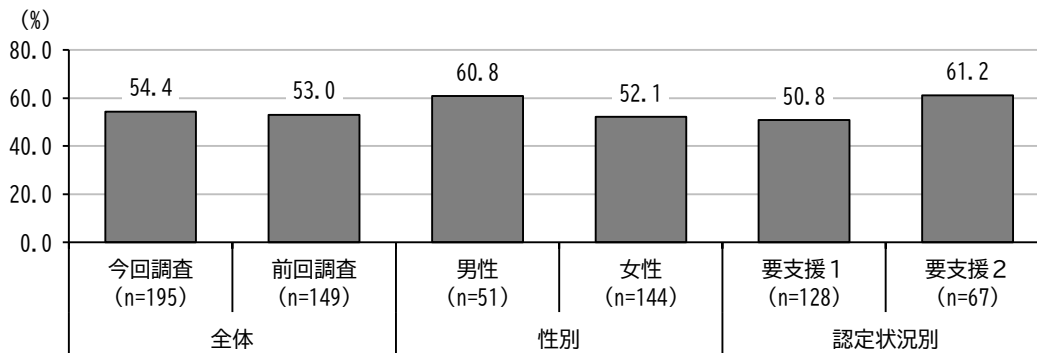
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、転倒リスクがある高齢者として判定しました。

【図表3-12-25 転倒リスクを判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」 「1度ある」

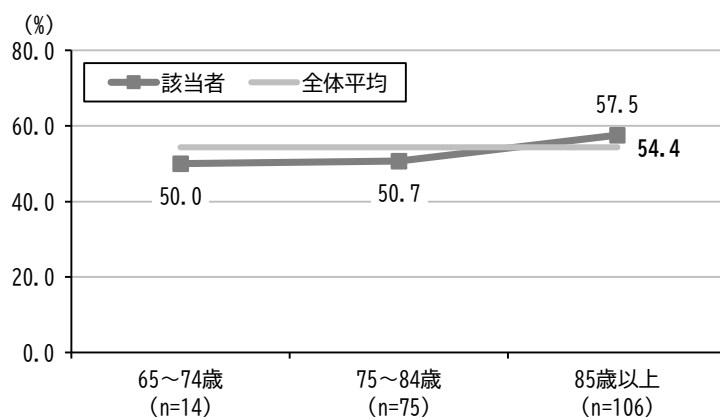
転倒リスクがあると判断された高齢者の割合は、全体で 54.4%となっています。前回調査と比較すると、1.3 ポイント増加しています。

【図表3-12-26 転倒リスク 該当者の割合】



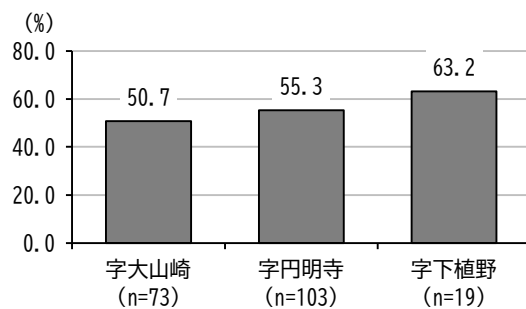
年齢別にみると、「85歳以上」が57.5%で最も高くなっています。

【図表3-12-27 転倒リスク 該当者の割合(年齢別)】



字別でみると、「字下植野」が63.2%で最も高くなっています。

【図表3-12-28 転倒リスク 該当者の割合(字別)】



## (8) IADL の低下

老研式活動能力指標に基づき、下記の5設問について、該当する選択肢を回答した場合を1点として、5点満点で評価し、4点以下の場合、IADL(手段的日常生活自立度)が低下している高齢者として判定しました。

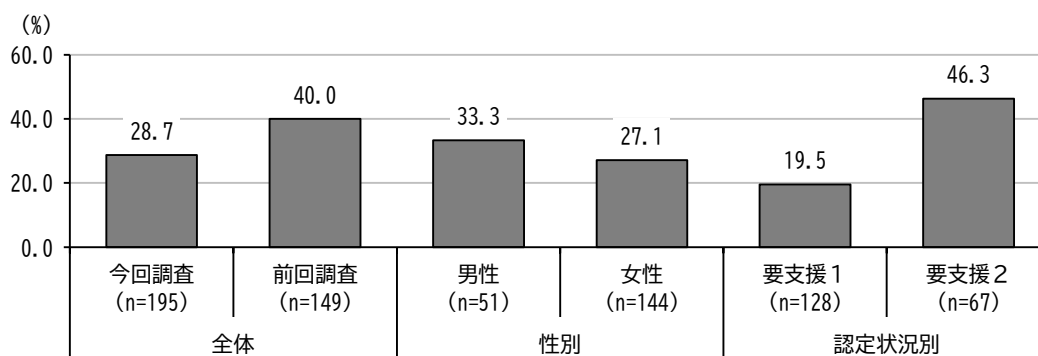
※IADL(手段的日常生活自立度)とは買物、電話、外出等、ADL(日常生活動作:起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容)よりも高い自立した日常生活を送る能力をいいます。

【図表3-12-29 IADL の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 30	バスや電車を使って1人で外出していますか。 (自家用車でも可)	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 31	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 32	自分で食事の用意をしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 33	自分で請求書の支払いをしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 34	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」

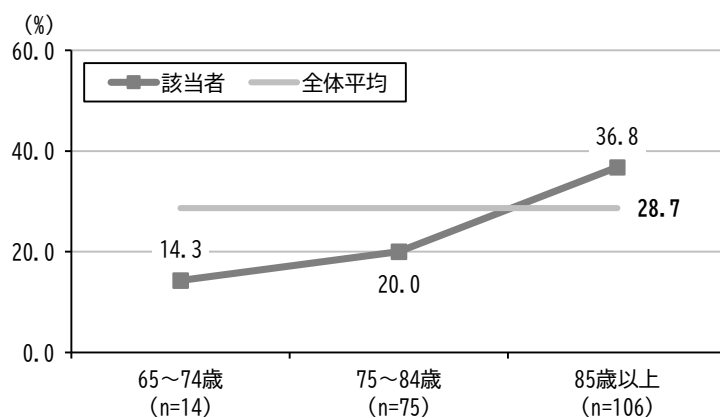
IADL が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 28.7%となっています。前回調査と比較すると、11.3 ポイント減少しています。

【図表3-12-30 IADL の低下 該当者の割合】



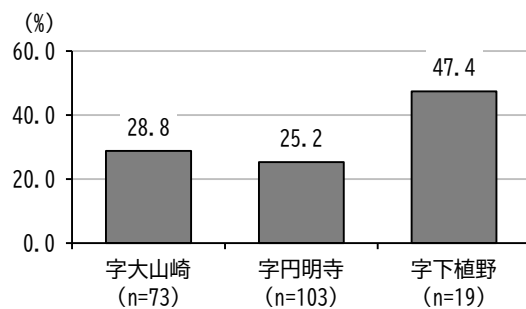
年齢別にみると、「85歳以上」が36.8%で最も高くなっています。

【図表3-12-31 IADLの低下 該当者の割合(年齢別)】



字別でみると、「字下植野」が47.4%で最も高くなっています。

【図表3-12-32 IADLの低下 該当者の割合(字別)】



## 第4章 在宅介護実態調査

### I 単純集計結果

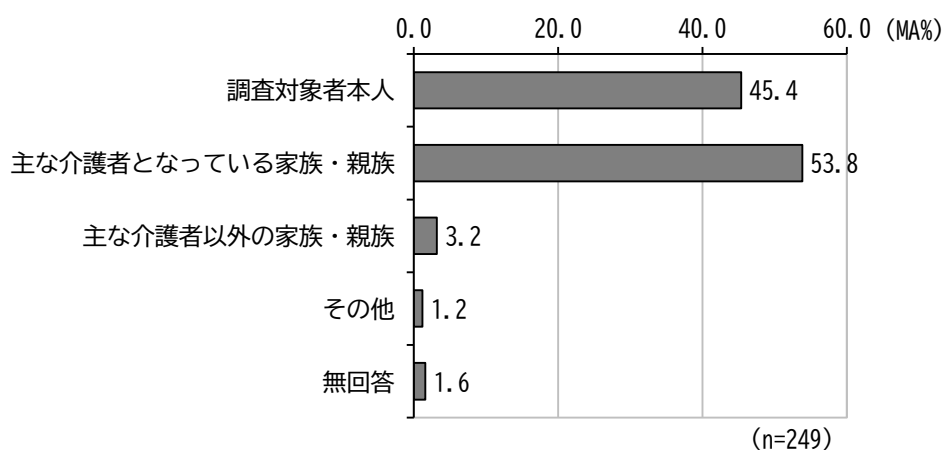
#### 1. 回答者の属性

##### (1) 回答者

A票	問1	現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。 (○はいくつでも)
----	----	---

回答者について、「主な介護者となっている家族・親族」が 53.8%で最も高く、次いで「調査対象者本人」が 45.4%、「主な介護者以外の家族・親族」が 3.2%となっています。

【図表4-1-1-1 回答者】

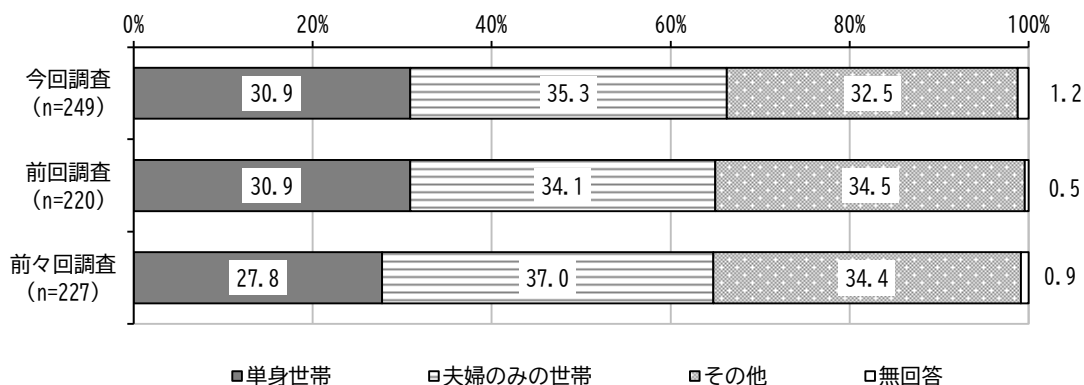


##### (2) 世帯構成

A票	問2	世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)
----	----	-------------------------

世帯構成について、「夫婦のみの世帯」が 35.3%で最も高く、次いで「その他」が 32.5%、「単身世帯」が 30.9%となっています。また、前回調査と比較して「夫婦のみの世帯」が 1.2ポイント増加しています。

【図表4-1-1-2 世帯構成】

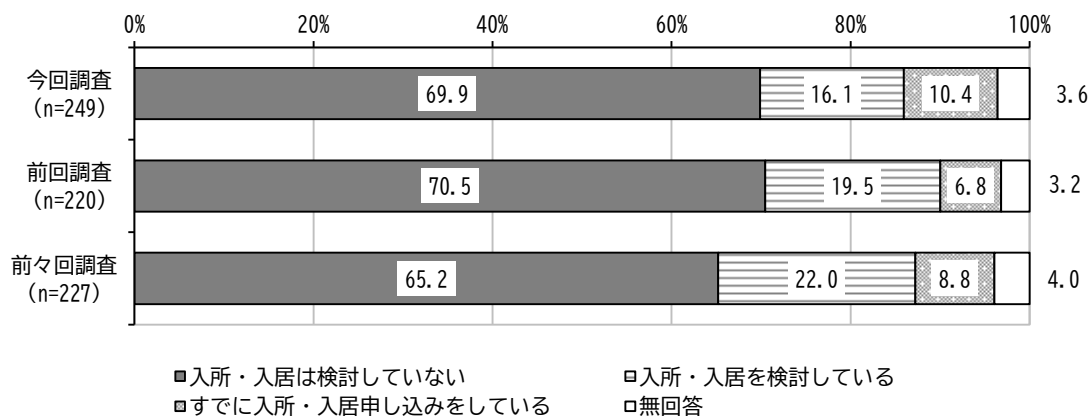


### (3) 施設等への入所・入居の状況

A票	問3	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。 (○は1つ)
----	----	--

施設等への入所・入居の状況について、「入所・入居は検討していない」が 69.9%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 16.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 10.4%となっています。また、前回調査と比較して「入所・入居を検討している」が 3.4 ポイント減少しています。

【図表4-1-1-3 施設等への入所・入居の状況】



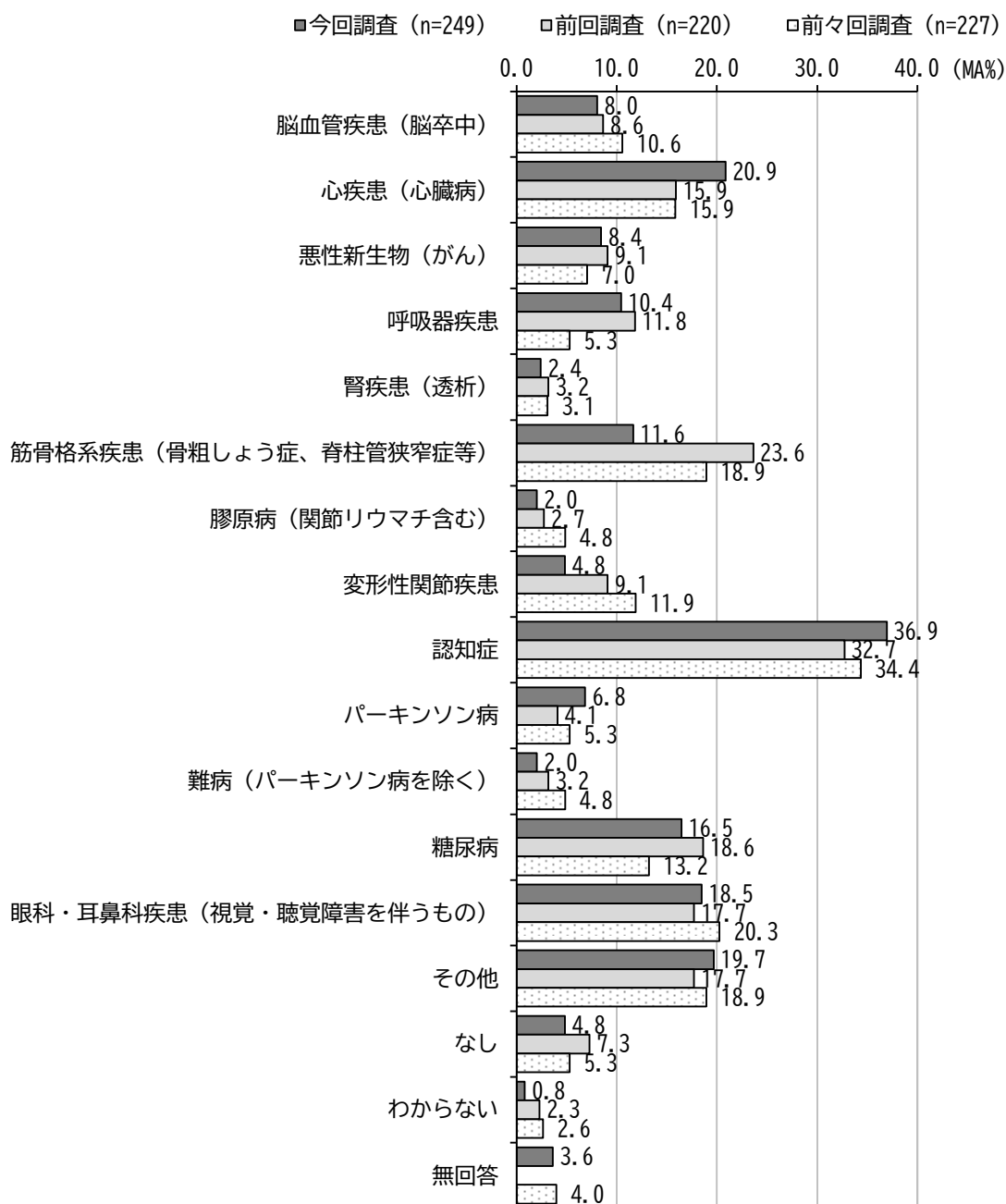
#### (4) 現在、抱えている傷病

A票	問4	あなた(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。 (〇はいくつでも)
----	----	---

現在、抱えている傷病について、「認知症」が36.9%で最も高く、次いで「心疾患(心臓病)」が20.9%、「その他」が19.7%となっています。また、前回調査と比較して「認知症」が4.2ポイント増加しています。

また、その他の内容について、『骨折などによる歩行困難』(11件)、『生活習慣病』(9件)、『脊椎・頸椎損傷』(6件)などがあります。

【図表4-1-1-4 現在、抱えている傷病】



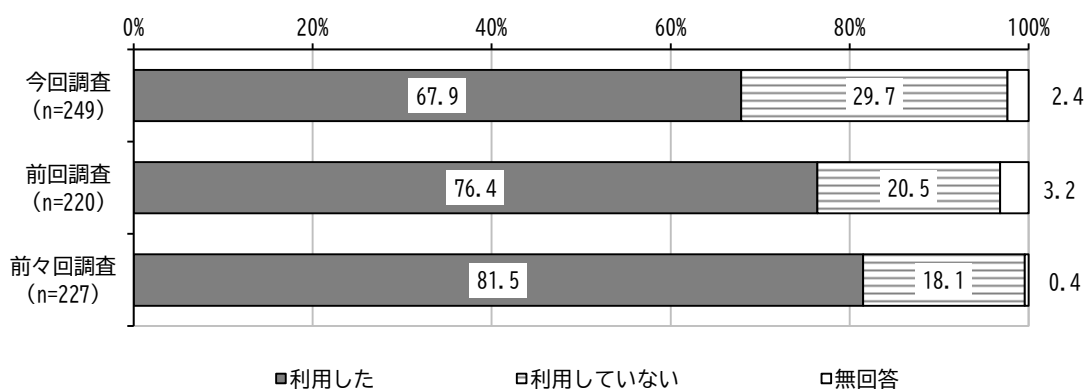
## 2. 介護保険サービスについて

### (1) 1か月間の介護保険サービスの利用状況

A票	問5	令和7年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)
----	----	---

1か月間の介護保険サービスの利用状況について、「利用した」が67.9%、「利用していない」が29.7%となっています。また、前回調査と比較して「利用した」が8.5ポイント減少しています。

【図表4-1-2-1 1か月間の介護保険サービスの利用状況】

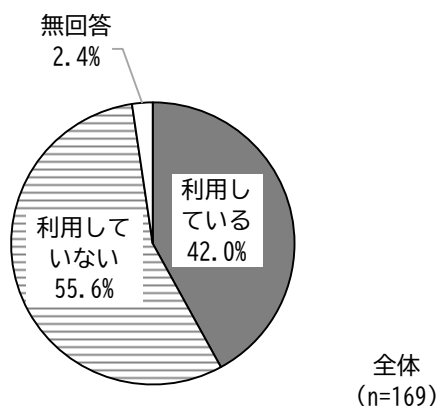


### (2) 訪問看護の利用状況

A票	問5-1	<b>【問5で「利用した」を回答された方のみ】</b> 現在、訪問看護を利用していますか。(○は1つ)
----	------	--

訪問看護の利用状況について、「利用している」が42.0%、「利用していない」が55.6%となっています。

【図表4-1-2-2 訪問看護の利用状況】

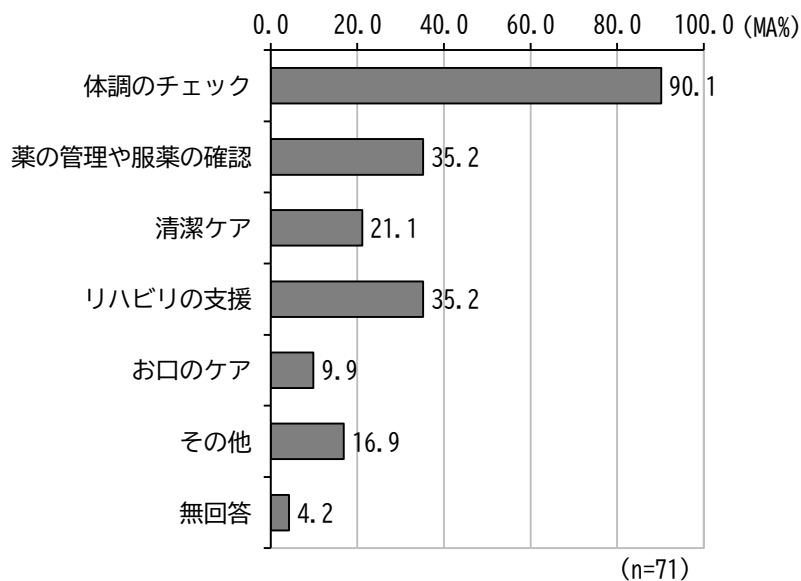


### (3) 訪問看護で受けている支援

A票	問5-2	<b>【問5-1で訪問看護を「利用している」を回答された方のみ】</b> 訪問看護では、どのような支援を受けていますか。(〇はいくつでも)
----	------	--

訪問看護で受けている支援について、「体調のチェック」が 90.1%で最も高く、次いで「薬の管理や服薬の確認」「リハビリの支援」が 35.2%、「清潔ケア」が 21.1%となっています。

【図表4-1-2-3 訪問看護で受けている支援】

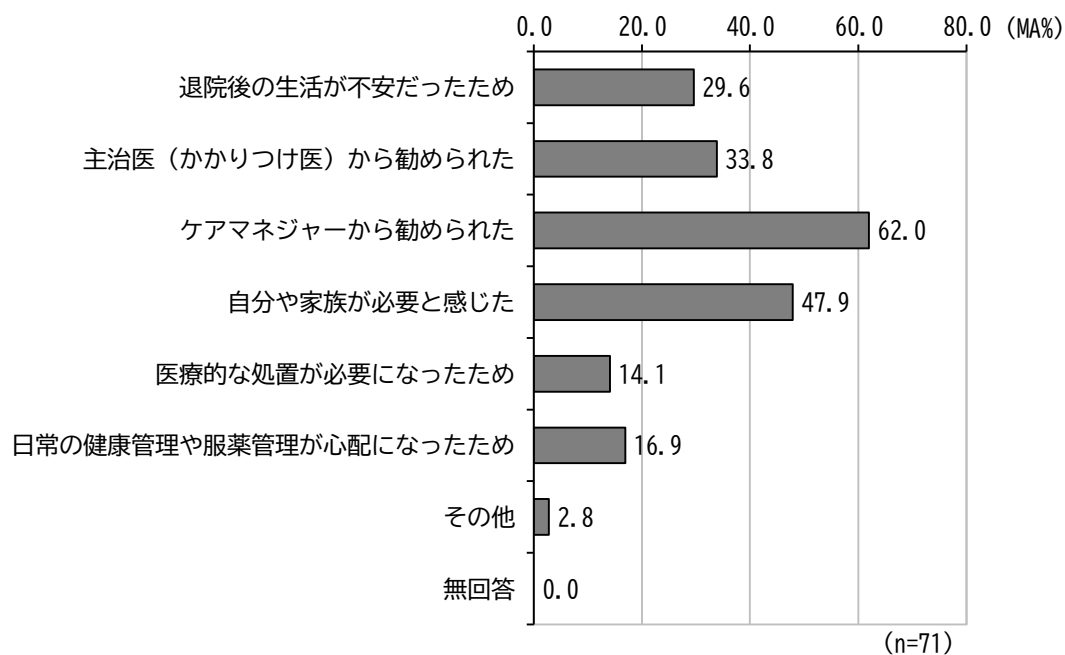


#### (4) 訪問看護の利用のきっかけ

A票	問5-3	<b>【問5-1で訪問看護を「利用している」を回答された方のみ】</b> 訪問看護の利用のきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)
----	------	---

訪問看護の利用のきっかけについて、「ケアマネジャーから勧められた」が62.0%で最も高く、次いで「自分や家族が必要と感じた」が47.9%、「主治医(かかりつけ医)から勧められた」が33.8%となっています。

【図表4-1-2-4 訪問看護の利用のきっかけ】



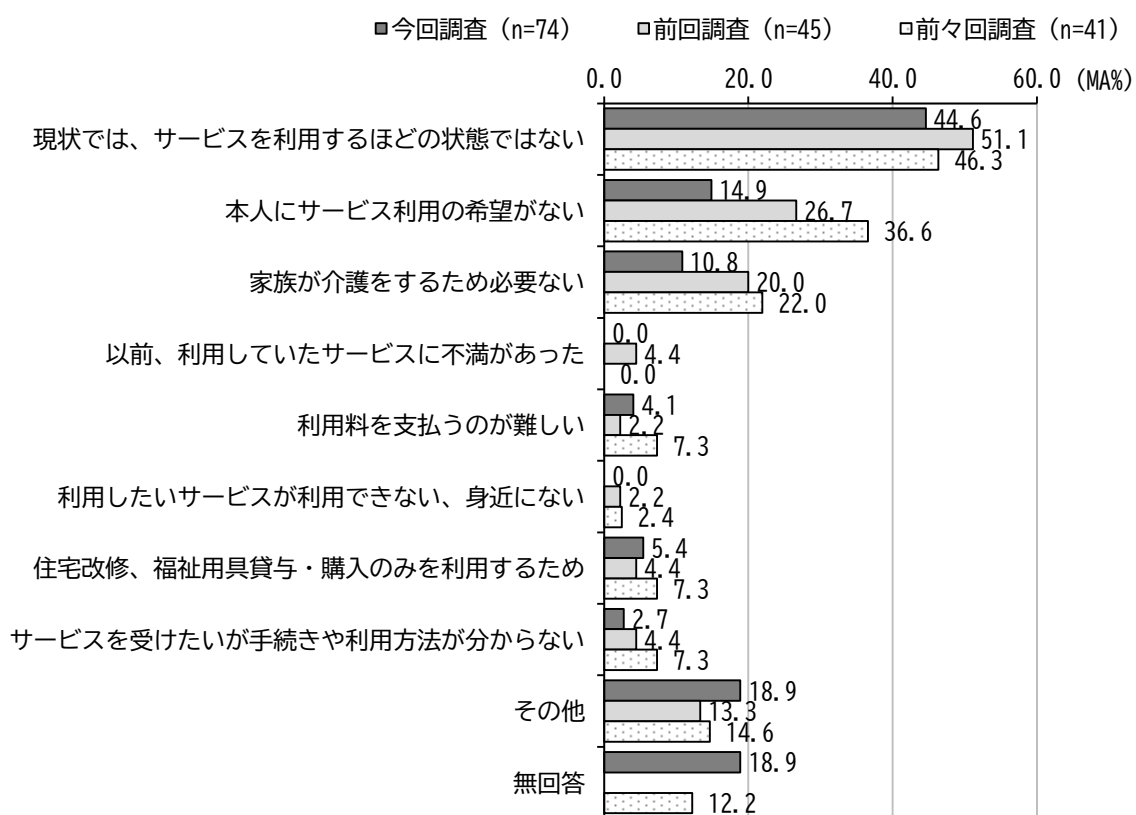
### (5) 介護保険サービスを利用していない理由

A票	問5-4	【問5で(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを「利用していない」を回答された方のみ】 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)
----	------	--

介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.6%で最も高く、次いで「その他」が18.9%、「本人にサービス利用の希望がない」が14.9%となっています。また、前回調査と比較して「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が6.5ポイント減少しています。

また、その他の内容について、『入院中のため』(5件)などがあります。

【図表4-1-2-5 介護保険サービスを利用していない理由】



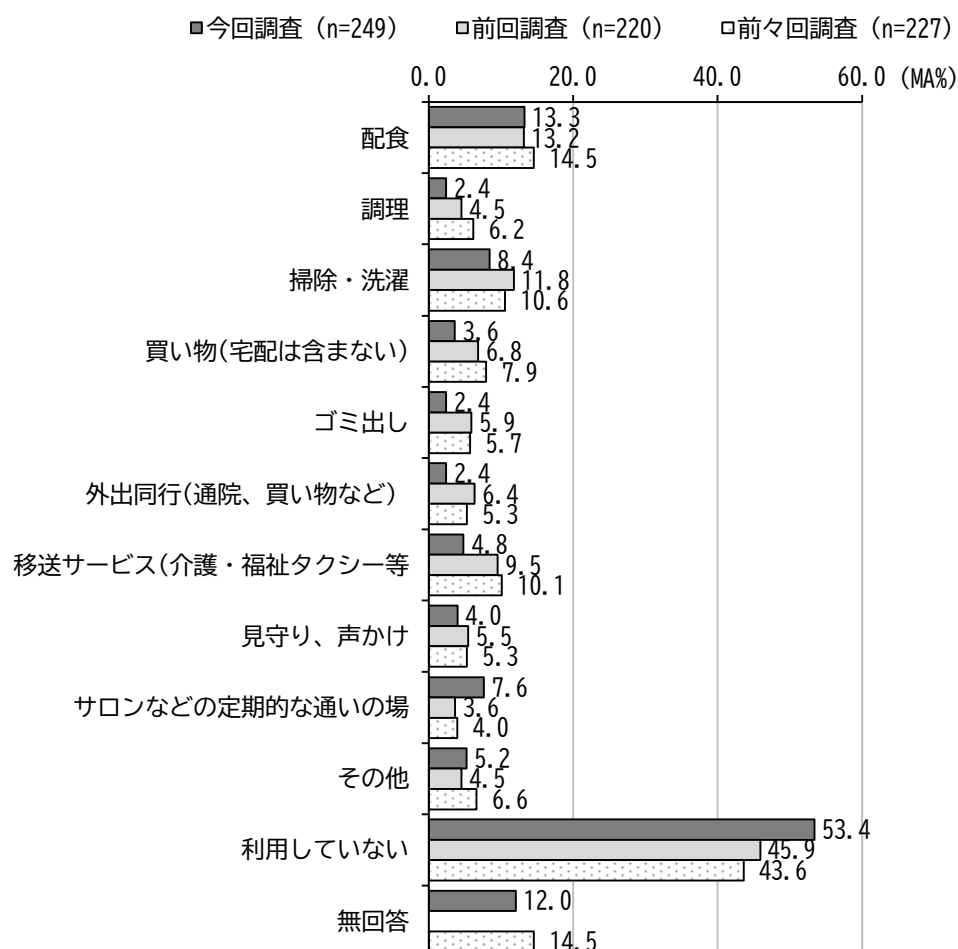
### 3. 介護保険サービス以外の支援・サービスについて

#### (1) 介護保険サービス以外で利用している支援・サービス

A票	問6	現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。
----	----	--

介護保険サービス以外で利用している支援・サービスについて、「利用していない」が 53.4%で最も高く、次いで「配食」が 13.3%、「掃除・洗濯」が 8.4%となっています。また、前回調査と比較して「利用していない」が 7.5 ポイント増加しています。

【図表4-1-3-1 介護保険サービス以外で利用している支援・サービス】

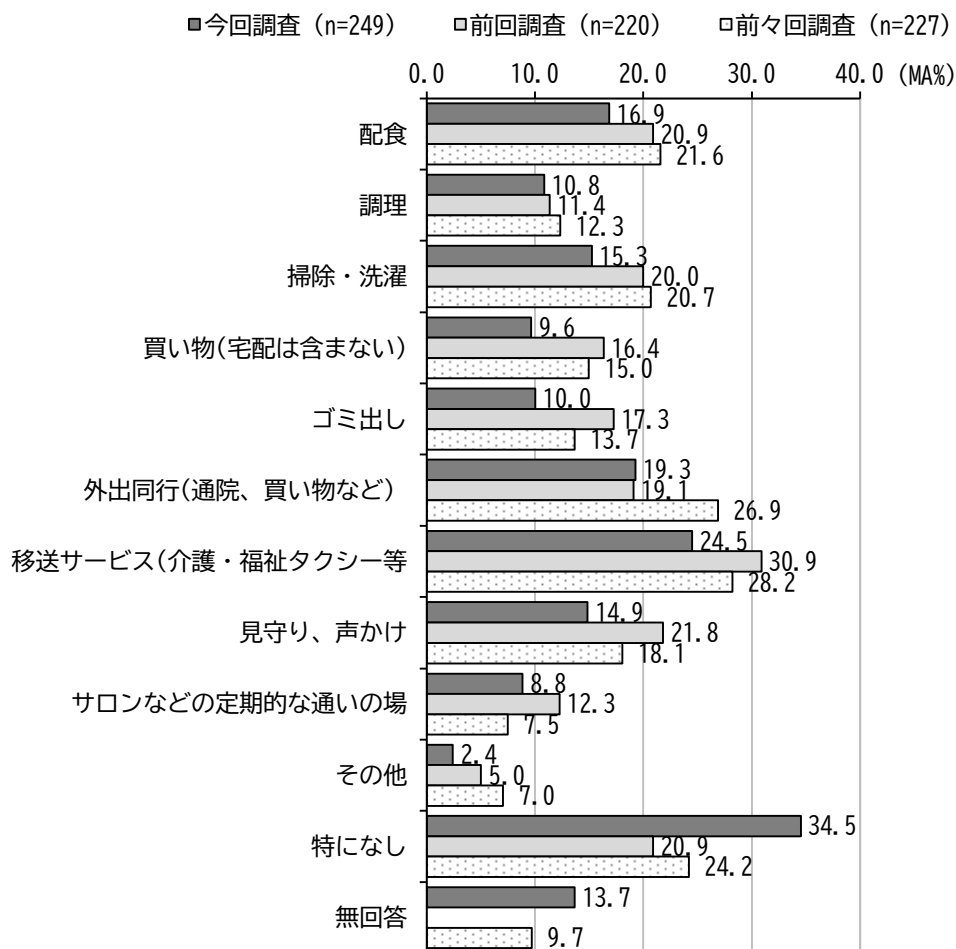


## (2) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

A票	問7	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(〇はいくつでも)※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスにも含みます。
----	----	--

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「特になし」が 34.5%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 24.5%、「外出同行(通院、買い物など)」が 19.3%となっています。また、前回調査と比較して「特になし」が 13.6 ポイント増加しています。

【図表4-1-3-2 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

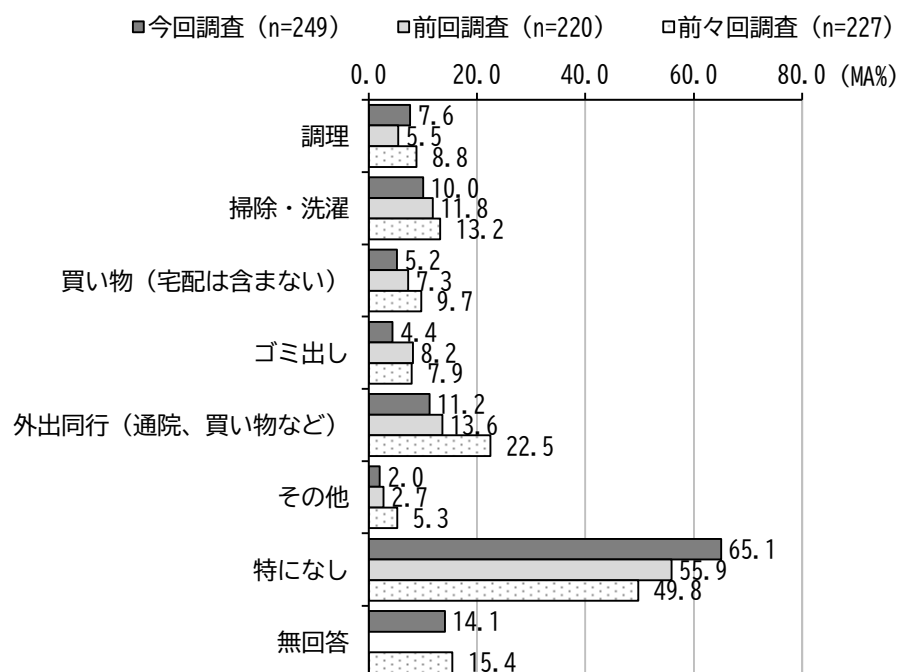


### (3) 利用したい有償ボランティアサービス

A票	問8	有償ボランティアがあれば、利用したい支援・サービスについて、ご回答下さい。(〇はいくつでも)
----	----	--

利用したい有償ボランティアサービスについて、「特になし」が 65.1%で最も高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が 11.2%、「掃除・洗濯」が 10.0%、「調理」が 7.6%となっています。また、前回調査と比較して「特になし」が 9.2 ポイント増加しています。

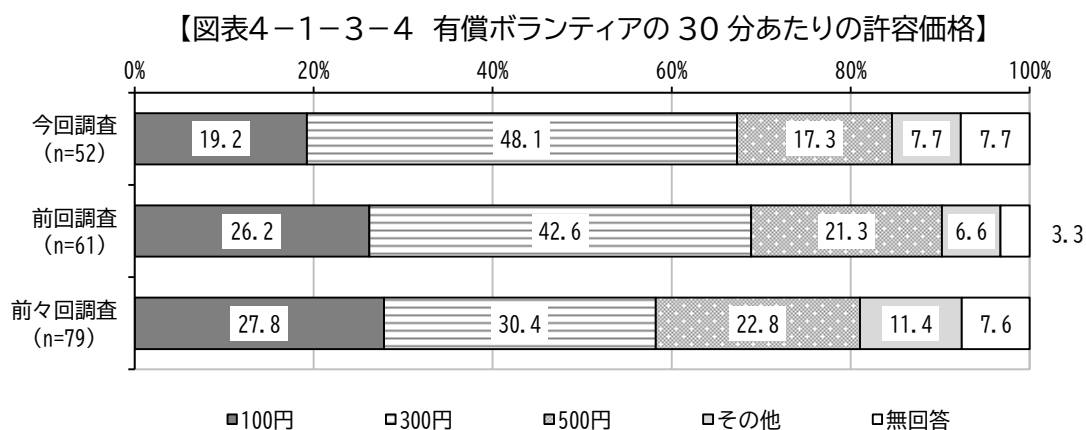
【図表4-1-3-3 利用したい有償ボランティアサービス】



#### (4) 有償ボランティアの 30 分あたりの許容価格

A票	問8-1	<b>【問8で「調理」～「その他」を回答された方のみ】</b> <b>30分あたりいくらまでなら利用したいですか。(○は1つ)</b>
----	------	--

有償ボランティアの 30 分あたりの許容価格について、「300 円」が 48.1%で最も高く、次いで「100 円」が 19.2%、「500 円」が 17.3%となっています。また、前回調査と比較して「300 円」が 5.5 ポイント増加しています。

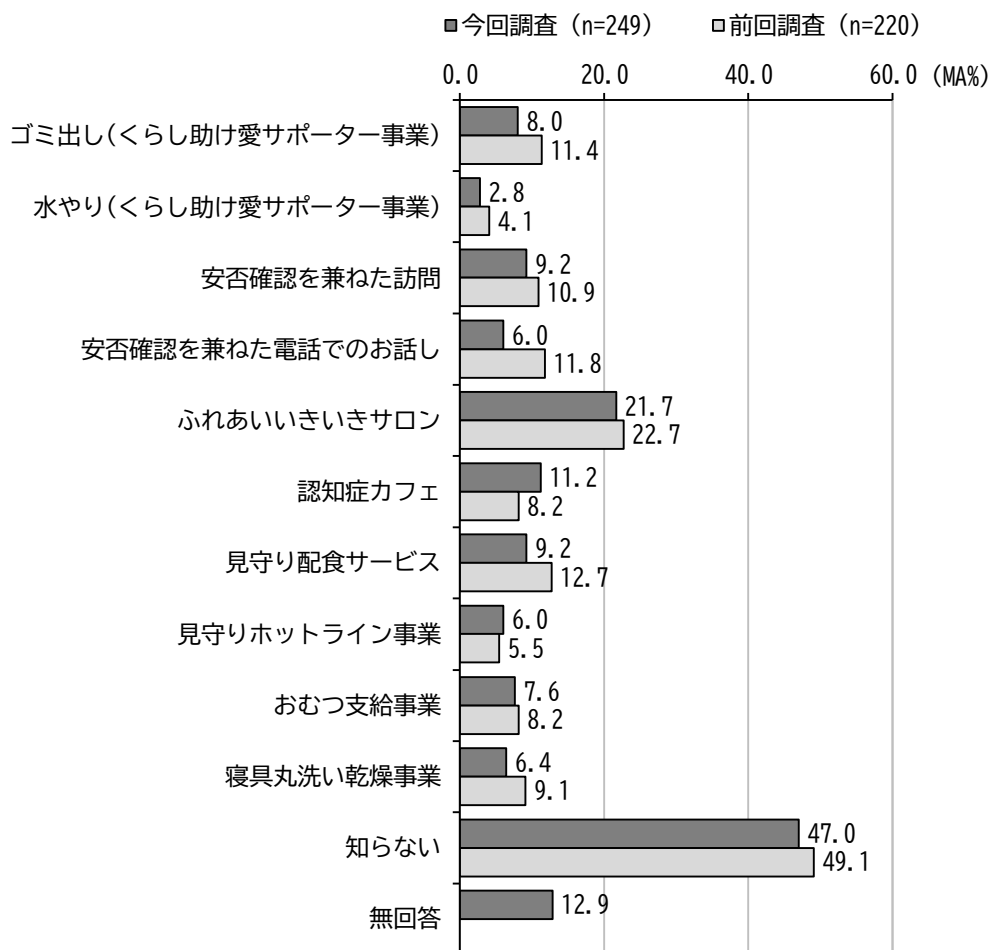


### (5) 町や社会福祉協議会が実施しているサービスの認知状況

A票	問9	町や社会福祉協議会の実施している、高齢者の暮らしを支えるサービスをご存じですか。知っているサービスを選択してください。(〇はいくつでも)
----	----	--

町や社会福祉協議会が実施しているサービスの認知状況について、「知らない」が47.0%で最も高く、次いで「ふれあいいいききサロン」が21.7%、「認知症カフェ」が11.2%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が2.1ポイント減少しています。

【図表4-1-3-5 町や社会福祉協議会が実施しているサービスの認知状況】



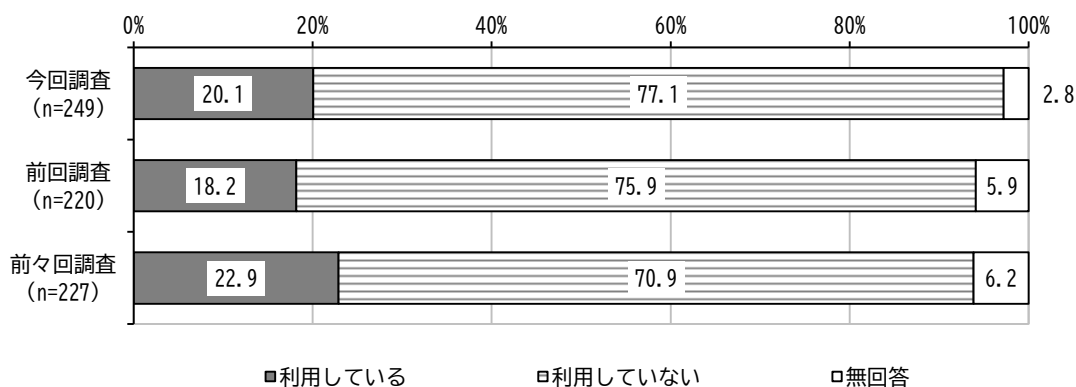
## 4. 訪問診療・居宅療養管理指導について

### (1) 訪問診療を利用しているか

A票	問 10	あなた(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ) ※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。
----	------	---

訪問診療を利用しているかについて、「利用している」が 20.1%、「利用していない」が 77.1%となっています。また、前回調査と比較して「利用している」が 1.9 ポイント増加しています。

【図表4-1-4-1 訪問診療を利用しているか】

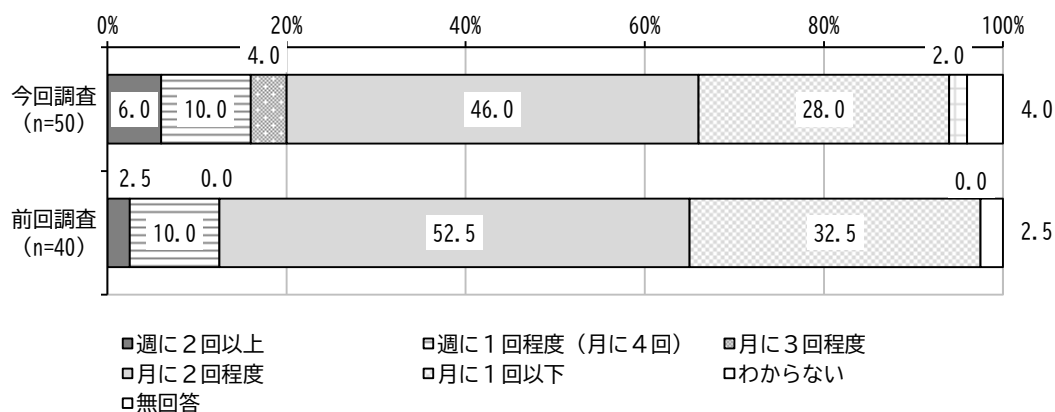


### (2) 訪問診療の利用回数

A票	問 10-1	<b>【問 10 で「利用している」を回答された方のみ】</b> 訪問診療を利用する回数は、だいたい、どのくらいですか。(○は1つ)
----	--------	---

訪問診療の利用回数について、「月に2回程度」が 46.0%で最も高く、次いで「月に1回以下」が 28.0%、「週に1回程度(月に4回)」が 10.0%となっています。また、前回調査と比較して「週に2回以上」が 3.5 ポイント、「月に3回程度」が 4.0 ポイント増加し、「月に2回程度」が 6.5 ポイント減少しています。

【図表4-1-4-2 訪問診療の利用回数】

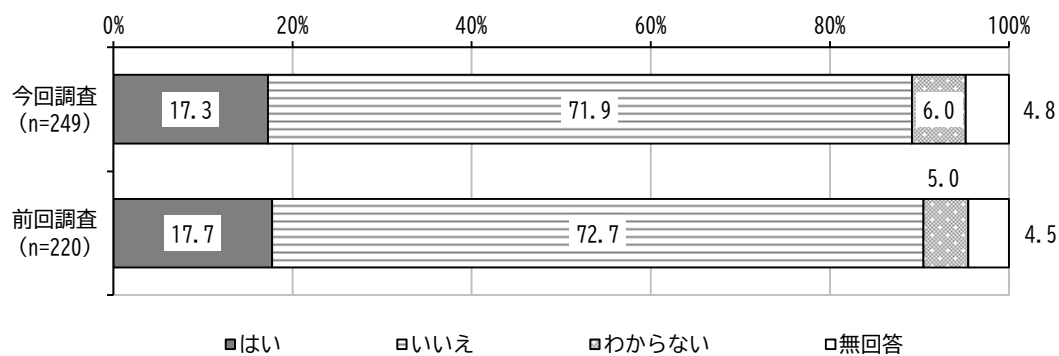


### (3) 居宅療養管理指導を受けているか

A票	問 11	あなた(認定調査対象者)は、現在、居宅療養管理指導を受けていますか。 (○は1つ)
----	------	--

居宅療養管理指導を受けているかについて、「いいえ」が71.9%で最も高く、次いで「はい」が17.3%、「わからない」が6.0%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が0.8ポイント減少しています。

【図表4-1-4-3 居宅療養管理指導を受けているか】

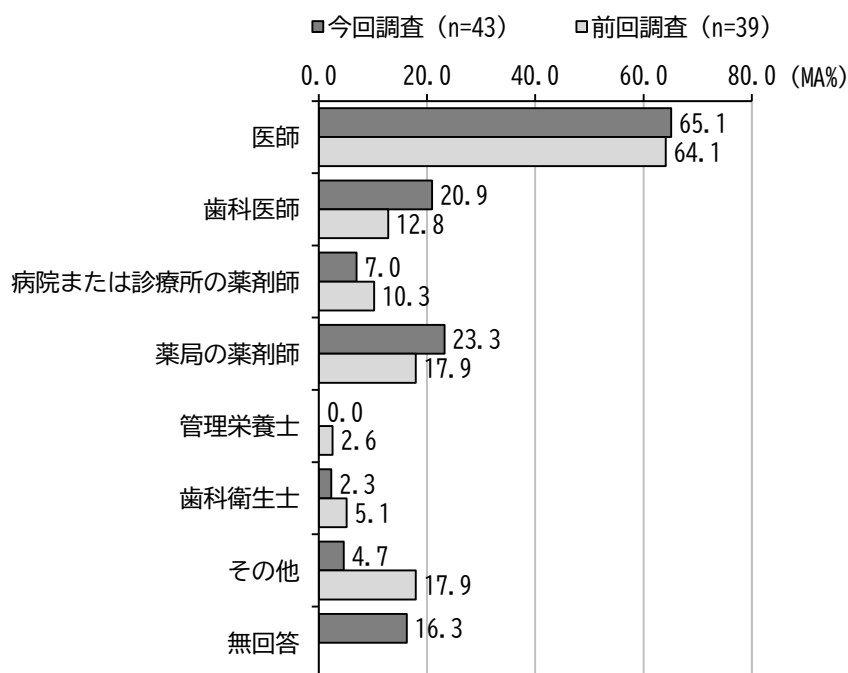


#### (4) 訪問を受けている専門家

A票	問 11-1	<b>【問 11 で「はい」を回答された方のみ】</b> どのような専門家(医療従事者)の訪問を受けていますか。(○はいくつでも)
----	--------	--

訪問を受けている専門家について、「医師」が 65.1%で最も高く、次いで「薬局の薬剤師」が 23.3%、「歯科医師」が 20.9%となっています。また、前回調査と比較して「歯科医師」が 8.1 ポイント増加しています。

【図表4-1-4-4 訪問を受けている専門家】

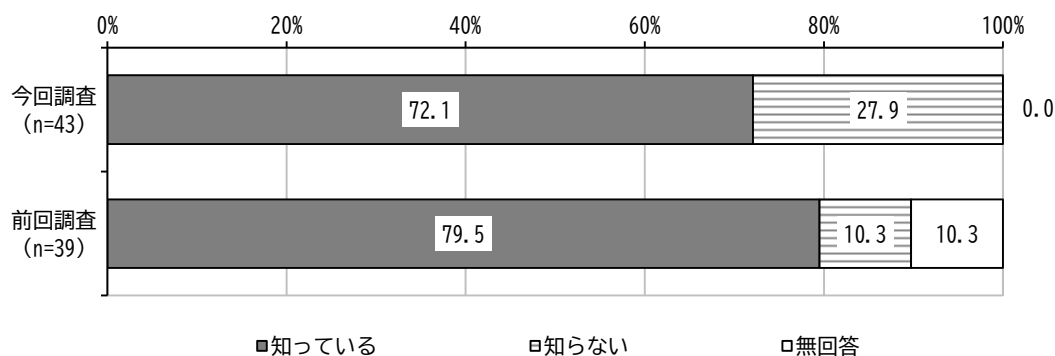


(5) 居宅療養管理指導を受ける際、自己負担額が生じることを知っているか

A票	問 11-2	【問 11 で「はい」を回答された方のみ】 居宅療養管理指導を受ける場合、医療費とは別に、介護保険サービスの利用料として自己負担額が生じることをご存知ですか。(○は1つ)
----	--------	--

居宅療養管理指導を受ける際、自己負担額が生じることを知っているかについて、「知っている」が 72.1%、「知らない」が27.9%となっています。また、前回調査と比較して「知っている」が7.4ポイント減少しています。

【図表4-1-4-5 居宅療養管理指導を受ける際、自己負担額が生じることを知っているか】



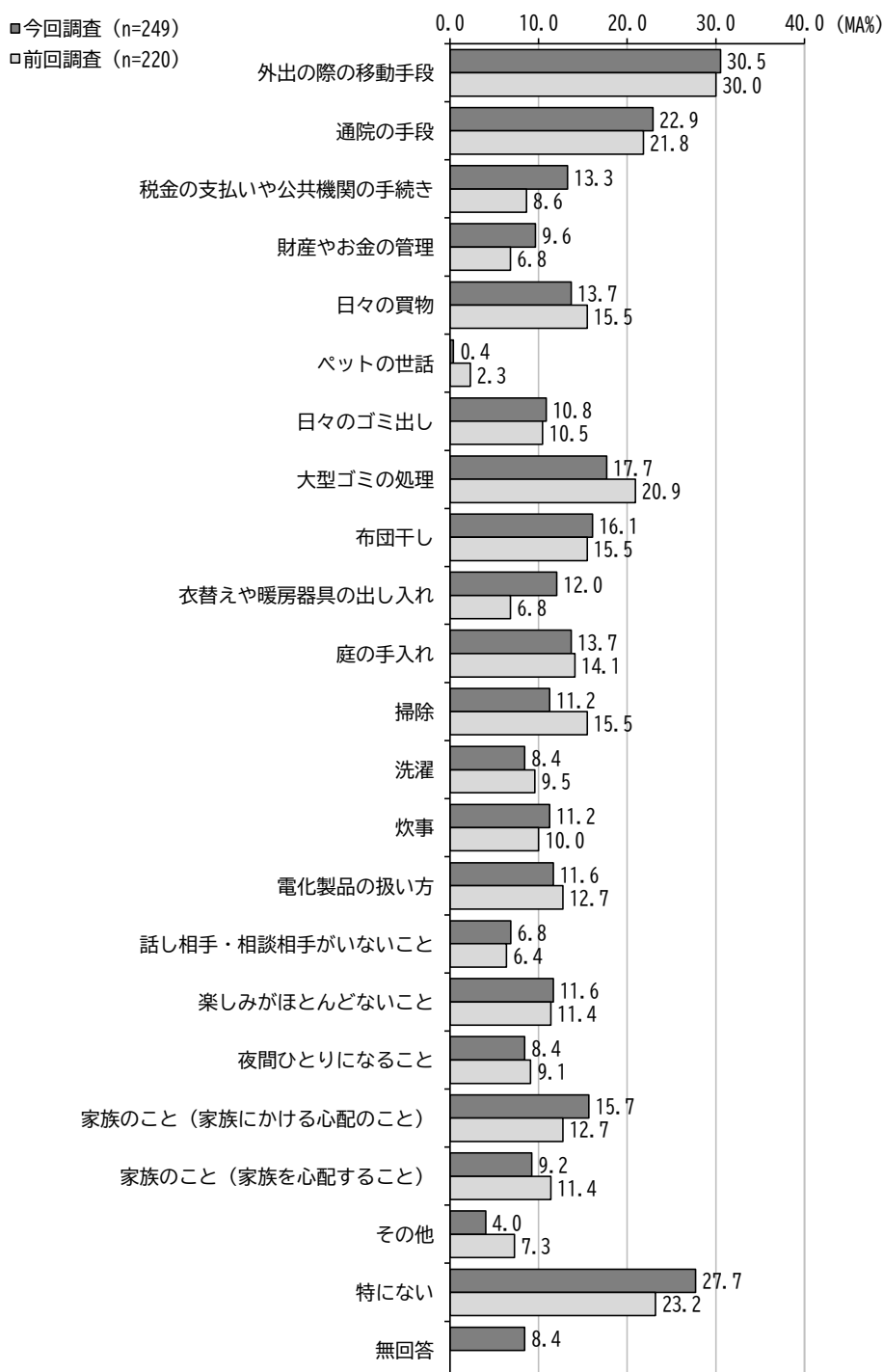
## 5. 毎日の生活について

### (1) 暮らしの中で困っていること

A票	問 12	あなた(認定調査対象者)が暮らしの中で困っていることは何ですか。 (○はいくつでも)
----	------	---

暮らしの中で困っていることについて、「外出の際の移動手段」が 30.5%で最も高く、次いで「特にない」が 27.7%、「通院の手段」が 22.9%となっています。また、前回調査と比較して「税金の支払いや公共機関の手続き」が 4.7 ポイント、「家族のこと(家族にかかる心配のこと)」が 3.0 ポイント増加しています。

【図表4-1-5-1 暮らしの中で困っていること】

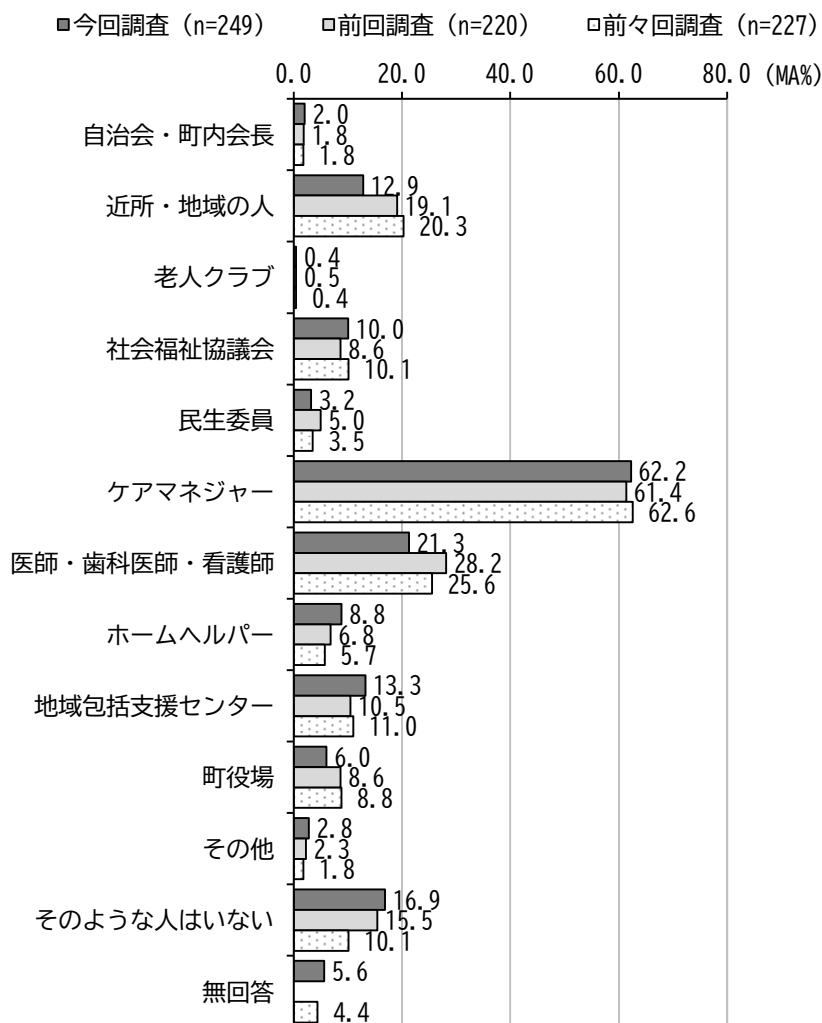


## (2) 相談相手

A票	問 13	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。 (〇はいくつでも)
----	------	--

相談相手について、「ケアマネジャー」が 62.2%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 21.3%、「そのような人はいない」が 16.9%となっています。また、前回調査と比較して「ケアマネジャー」が 0.8 ポイント増加しています。

【図表4-1-5-2 相談相手】



### (3) 地域の人に協力してもらいたいこと

A票	問 14	現在の生活で、地域の人たちに何か協力してもらいたいことはありますか。 (〇はいくつでも)
----	------	---

地域の人に協力してもらいたいことについて、「特にない」が 49.8%で最も高く、次いで「緊急時の対応」が 21.3%、「声かけ、安否確認」が 9.2%となっています。また、前回調査と比較して「特にない」が 7.5 ポイント減少しています。

【図表4-1-5-3 地域の人に協力してもらいたいこと】

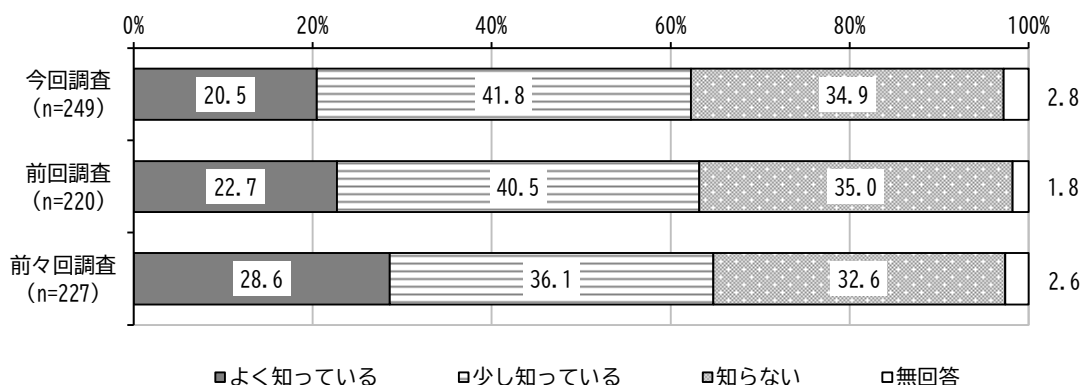


#### (4) 災害時の避難場所の認知状況

A票	問 15	あなた(認定調査対象者)は、災害時の避難場所についてご存知ですか。 (○は1つ)
----	------	---

災害時の避難場所の認知状況について、「少し知っている」が 41.8%で最も高く、次いで「知らない」が 34.9%、「よく知っている」が 20.5%となっています。また、前回調査と比較して「少し知っている」が 1.3 ポイント増加しています。

【図表4-1-5-4 災害時の避難場所の認知状況】

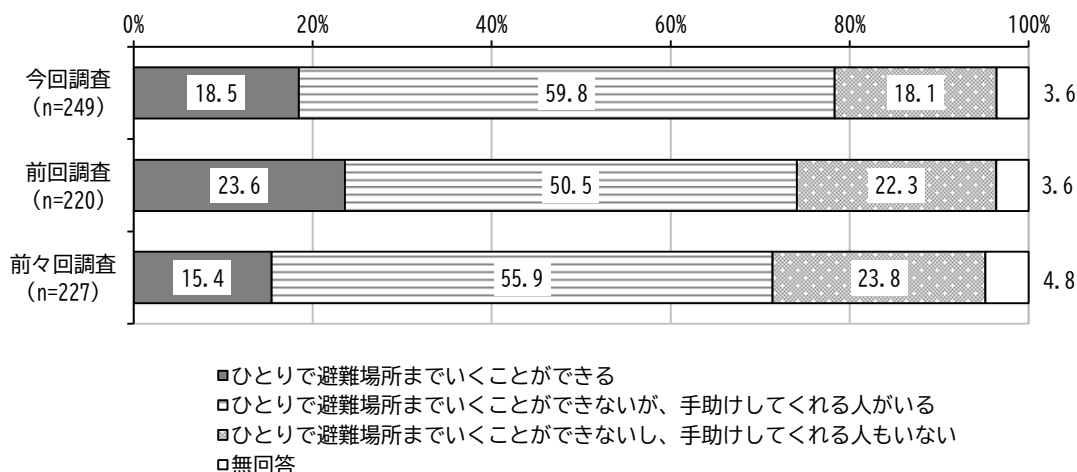


#### (5) ひとりで避難場所に行くことができるか

A票	問 16	災害が発生して避難する時に、ひとりで避難場所までいくことができますか。 (○は1つ)
----	------	---

ひとりで避難場所に行くことができるかについて、「ひとりで避難場所までいくことができないが、手助けしてくれる人がある」が 59.8%で最も高く、次いで「ひとりで避難場所までいくことができる」が 18.5%、「ひとりで避難場所までいくことができないし、手助けしてくれる人もいない」が 18.1%となっています。また、前回調査と比較して「ひとりで避難場所までいくことができないが、手助けしてくれる人がある」が 9.3 ポイント増加しています。

【図表4-1-5-5 ひとりで避難場所に行くことができるか】

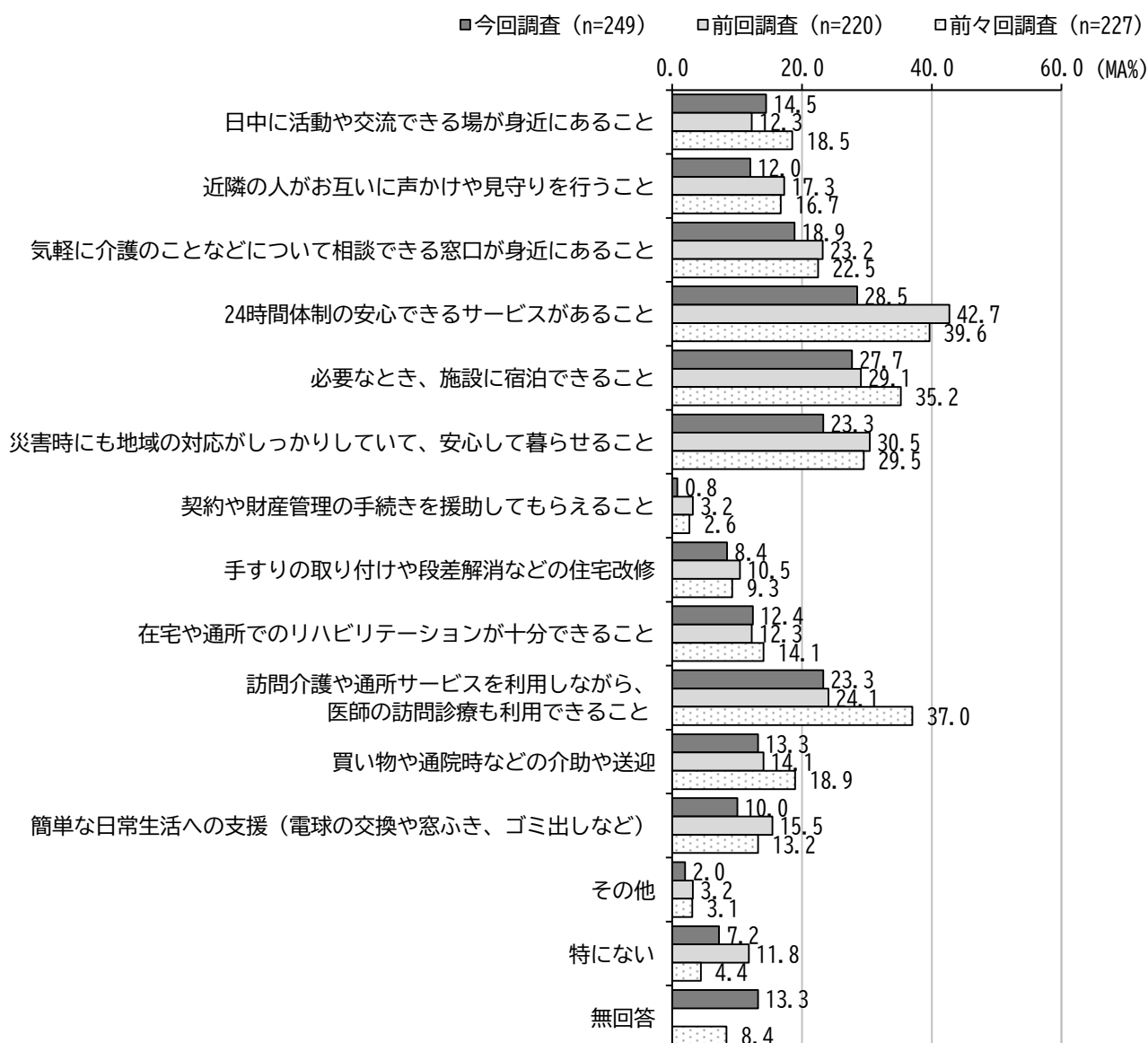


## (6) 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援

A票	問 17	高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができると思いますか。(〇は3つまで)
----	------	--

高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援について、「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が 28.5%で最も高く、次いで「必要なとき、施設に宿泊できること」が 27.7%、「災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること」「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が 23.3%となっています。また、前回調査と比較して「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が 14.2 ポイント減少しています。

【図表4-1-5-6 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援】

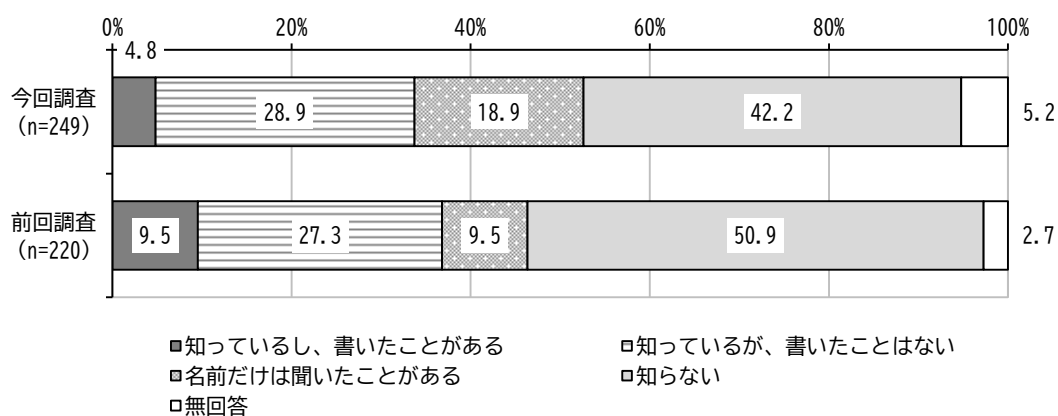


### (7) エンディングノートの認知状況

A票	問 18	乙訓医師会では、身近な地域での「人生最期の過ごし方」について考えるきっかけとして、小冊子『私の医療に対する希望』を配布しています。 あなたは、同冊子、あるいは、同じような趣旨で受けたい医療への希望などをあらかじめ書いておくノート(「エンディングノート」などと呼ばれることが多い)を知っていますか。(○は1つ)
----	------	---

エンディングノートの認知状況について、「知らない」が42.2%で最も高く、次いで「知っているが、書いたことはない」が28.9%、「名前だけは聞いたことがある」が18.9%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が8.7ポイント減少しています。

【図表4-1-5-7 エンディングノートの認知状況】



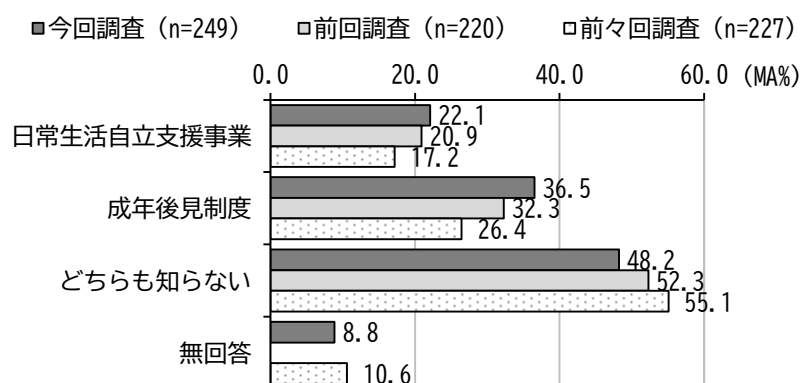
## 6. 高齢者に関する制度について

### (1) 高齢者の権利擁護に関する事業や制度の認知状況

A票	問 19	高齢者の権利擁護(高齢者の権利や生活、財産などを守ります)のための制度についておうかがいします。次の事業や制度を知っていますか。 (○はいくつでも)
----	------	---

高齢者の権利擁護に関する事業や制度の認知状況について、「どちらも知らない」が48.2%で最も高く、次いで「成年後見制度」が36.5%、「日常生活自立支援事業」が22.1%となっています。また、前回調査と比較して「どちらも知らない」が4.1ポイント減少しています。

【図表4-1-6-1 高齢者の権利擁護に関する事業や制度の認知状況】

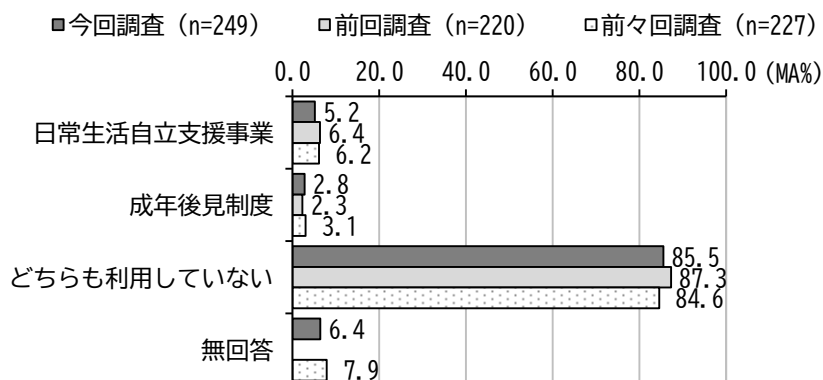


### (2) 高齢者の権利擁護に関する事業や制度の利用状況

A票	問 20	次の事業や制度を利用したこと(利用している)がありますか。 (○はいくつでも)
----	------	--

高齢者の権利擁護に関する事業や制度の利用状況について、「どちらも利用していない」が85.5%で最も高く、次いで「日常生活自立支援事業」が5.2%、「成年後見制度」が2.8%となっています。また、前回調査と比較して「どちらも利用していない」が1.8ポイント減少しています。

【図表4-1-6-2 高齢者の権利擁護に関する事業や制度の利用状況】

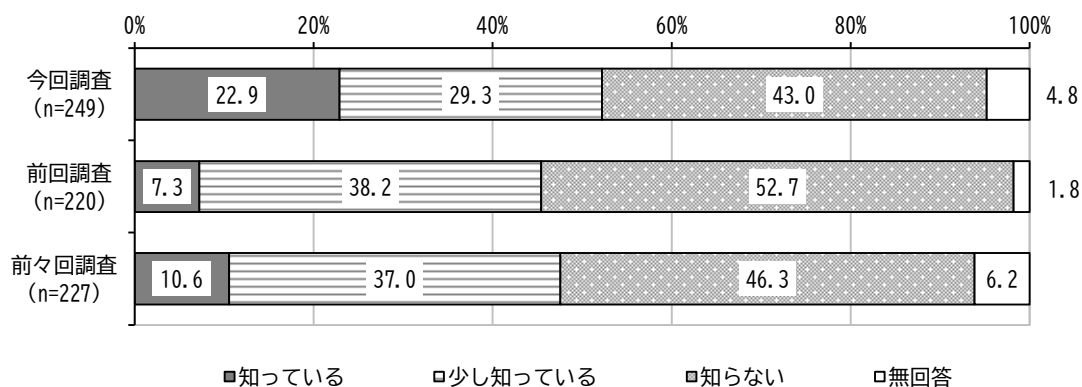


### (3) 地域包括支援センターの活動の認知状況

A票	問 21	あなた(認定調査対象者)は、地域包括支援センターの活動についてご存知ですか。(○は1つ)
----	------	--

地域包括支援センターの活動の認知状況について、「知らない」が 43.0%で最も高く、次いで「少し知っている」が 29.3%、「知っている」が 22.9%となっています。また、前回調査と比較して「知っている」が 15.6 ポイント増加しています。

【図表4-1-6-3 地域包括支援センターの活動の認知状況】

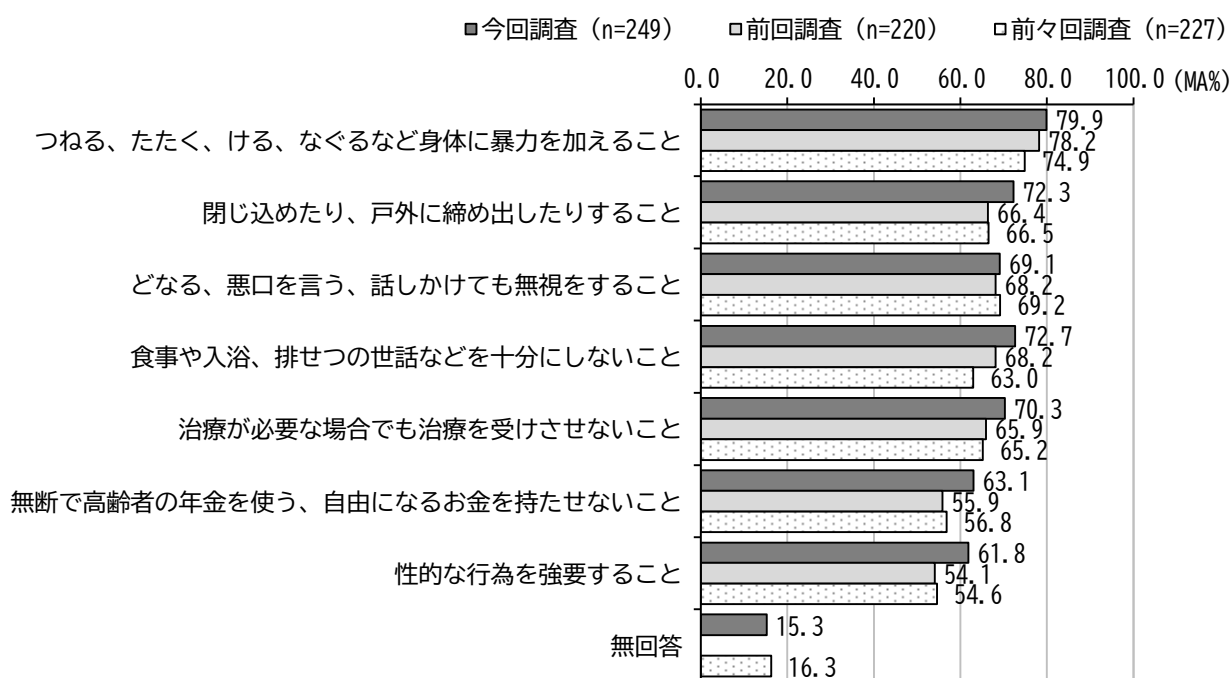


#### (4) 高齢者への虐待だと思ふ行為

A票	問 22	あなた(認定調査対象者)が高齢者への虐待だと思ふ行為はどれですか。 (〇はいくつでも)
----	------	--

高齢者への虐待だと思ふ行為について、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」が79.9%で最も高く、次いで「食事や入浴、排せつの世話などを十分にしないこと」が72.7%、「閉じ込めたり、戸外に締め出したりすること」が72.3%となっています。また、前回調査と比較して「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」が1.7ポイント増加しています。

【図表4-1-6-4 高齢者への虐待だと思ふ行為】

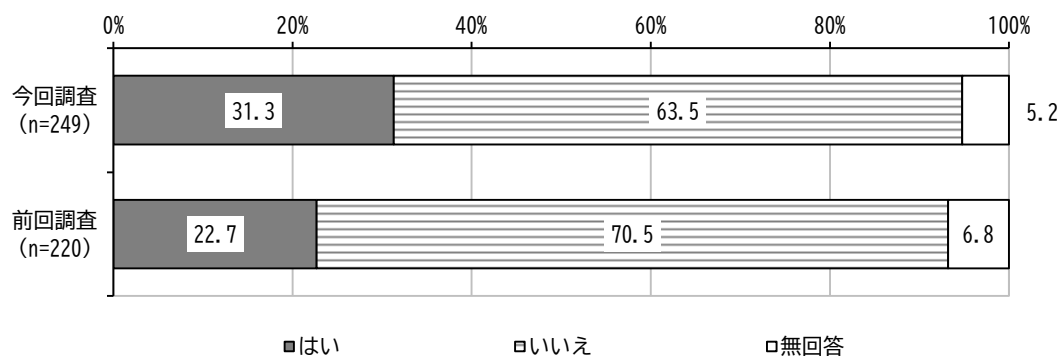


### (5) 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか

A票 問 23 高齢者の虐待についての相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が 31.3%、「いいえ」が 63.5%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 8.6 ポイント増加しています。

【図表4-1-6-5 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか】

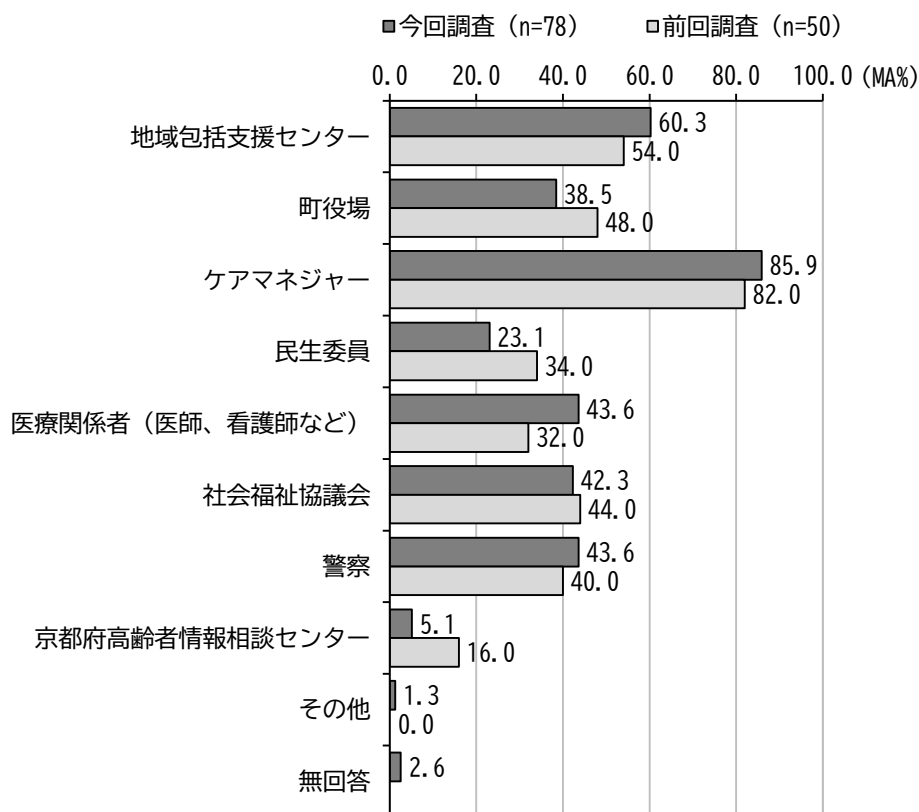


## (6) 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況

A票	問 23-1	<b>【問 23 で「はい」を回答された方のみ】</b> 高齢者の虐待についての相談先としてどんなところをご存知ですか。 (〇はいくつでも)
----	--------	--

高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況について、「ケアマネジャー」が 85.9%で最も高く、次いで「地域包括支援センター」が 60.3%、「医療関係者(医師、看護師など)」が 43.6%となっています。また、前回調査と比較して「地域包括支援センター」が 6.3 ポイント増加しています。

【図表4-1-6-6 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況】

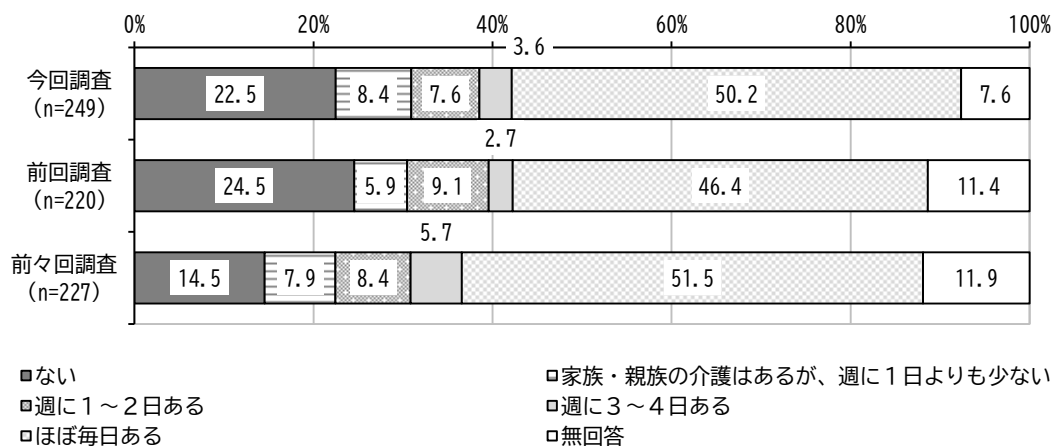


## (7) 家族等からの介護の状況

A票	問 24	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(〇は1つ)
----	------	---

家族等からの介護の状況について、「ほぼ毎日ある」が 50.2%で最も高く、次いで「ない」が 22.5%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が 8.4%となっています。また、前回調査と比較して「ほぼ毎日ある」が 3.8 ポイント増加しています。

【図表4-1-6-7 家族等からの介護の状況】



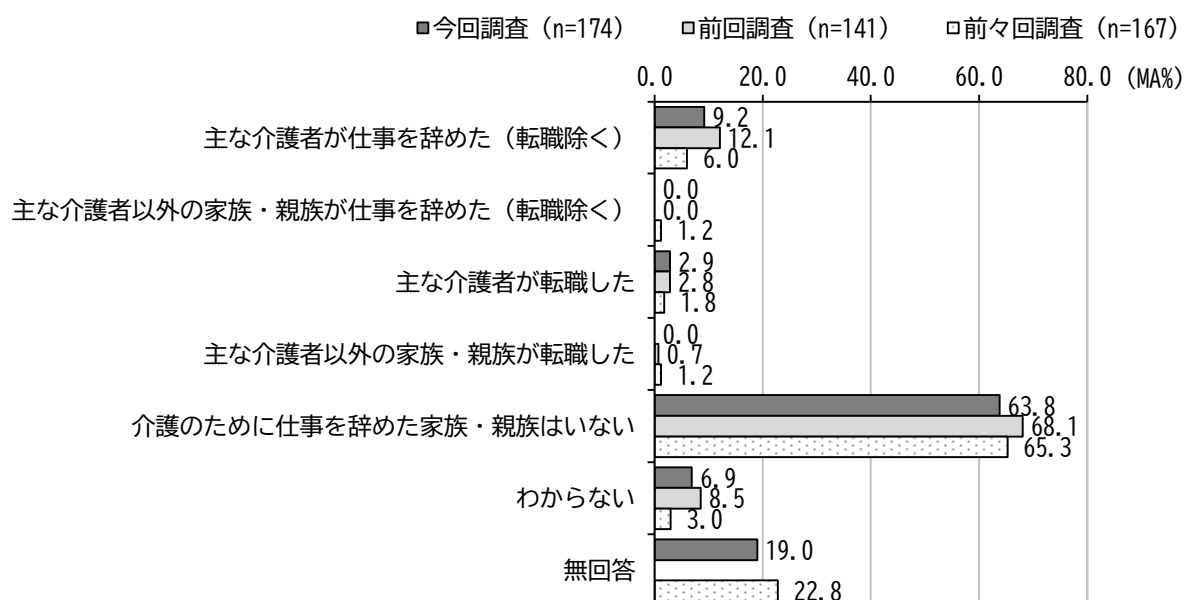
## 7. 主な介護者の属性

### (1) 介護のために仕事を辞めた人がいるか

B票	問1	ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)(○はいくつでも)※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。
----	----	--

介護のために仕事を辞めた人がいるかについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が63.8%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が9.2%、「わからない」が6.9%となっています。また、前回調査と比較して「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が4.3ポイント減少しています。

【図表4-1-7-1 介護のために仕事を辞めた人がいるか】

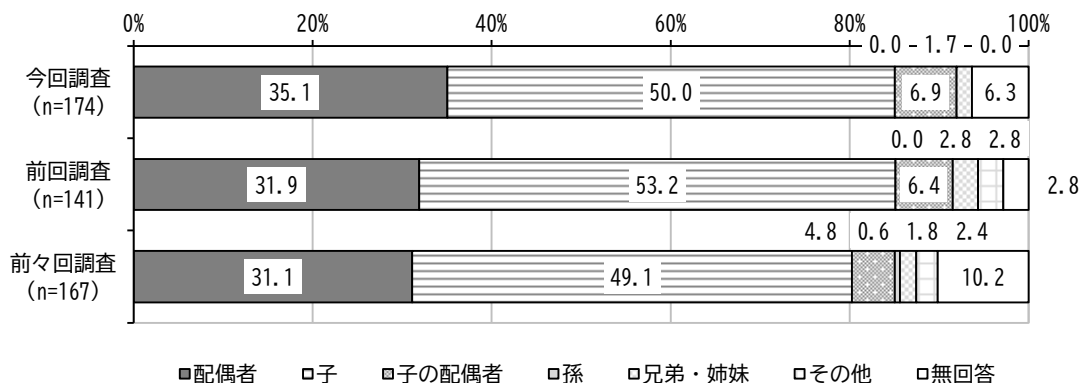


## (2) 主な介護者

**B票**    **問2**    主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)

主な介護者について、「子」が 50.0%で最も高く、次いで「配偶者」が 35.1%、「子の配偶者」が 6.9%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が 3.2 ポイント増加し、「子」が 3.2 ポイント減少しています。

【図表4-1-7-2 主な介護者】

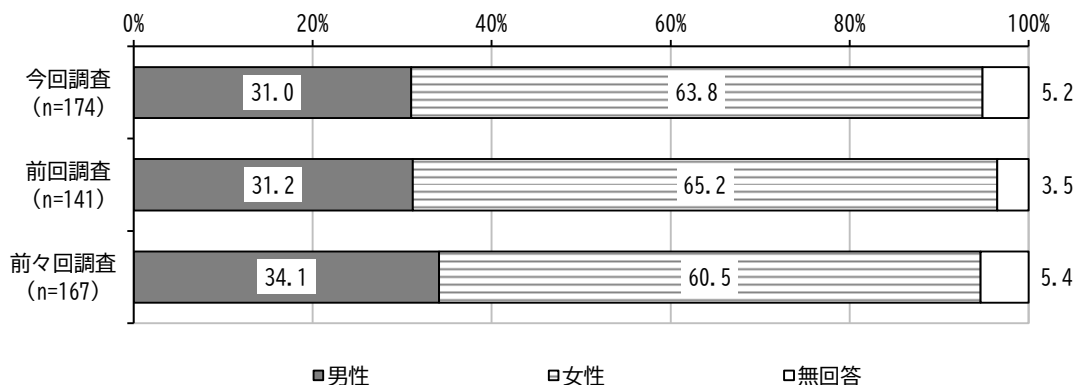


## (3) 主な介護者の性別

**B票**    **問3**    主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

主な介護者の性別について、「男性」が 31.0%、「女性」が 63.8%となっています。また、前回調査と比較して「女性」が 1.4 ポイント減少しています。

【図表4-1-7-3 主な介護者の性別】

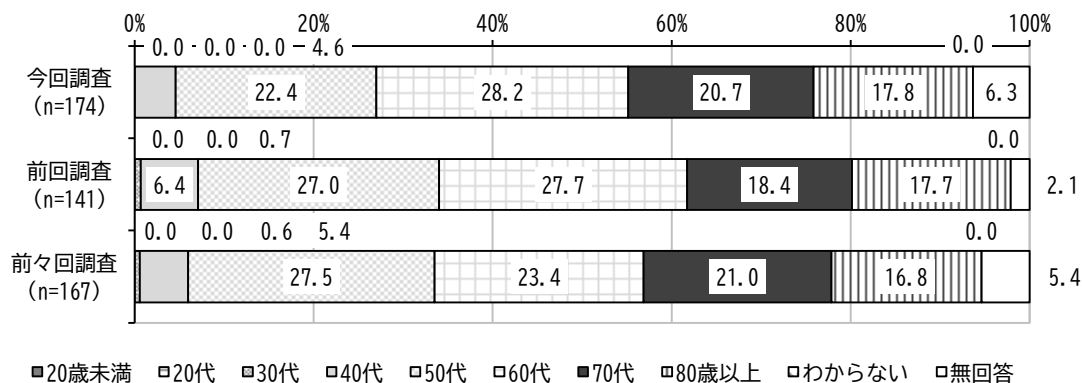


#### (4) 主な介護者の年齢

**B票**      **問4**      主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

主な介護者の年齢について、「60代」が28.2%で最も高く、次いで「50代」が22.4%、「70代」が20.7%となっています。また、前回調査と比較して「70代」が2.3ポイント増加しています。

【図表4-1-7-4 主な介護者の年齢】

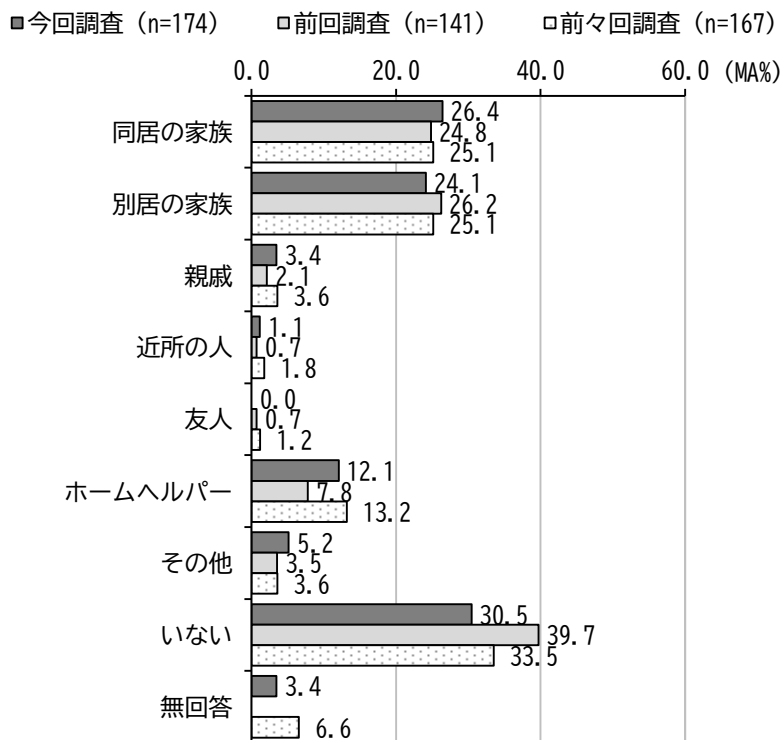


### (5) 主な介護者の他に介護を担っている人

B票	問5	主な介護者の他に日常生活の介護を担っている人はいますか。 (〇はいくつでも)
----	----	---

主な介護者の他に介護を担っている人について、「いない」が 30.5%で最も高く、次いで「同居の家族」が 26.4%、「別居の家族」が 24.1%となっています。また、前回調査と比較して「いない」が 9.2 ポイント減少しています。

【図表4-1-7-5 主な介護者の他に介護を担っている人】



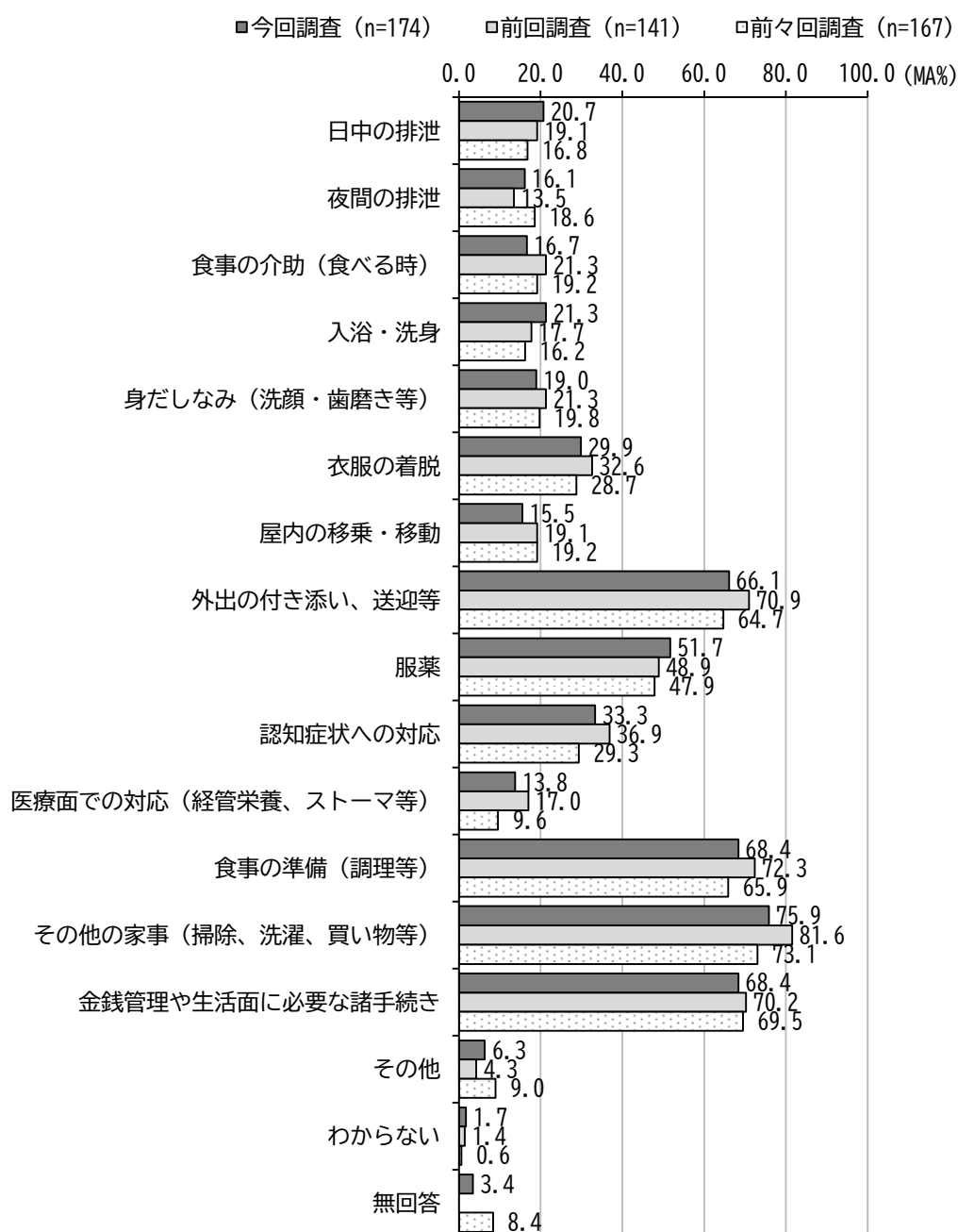
## 8. 主な介護者が行っている介護等の状況

### (1) 主な介護者が行っている介護等

B票	問6	現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。 (〇はいくつでも)
----	----	---

主な介護者が行っている介護等について、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 75.9%で最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 68.4%、「外出の付き添い、送迎等」が 66.1%となっています。また、前回調査と比較して「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 5.7 ポイント減少しています。

【図表4-1-8-1 主な介護者が行っている介護等】

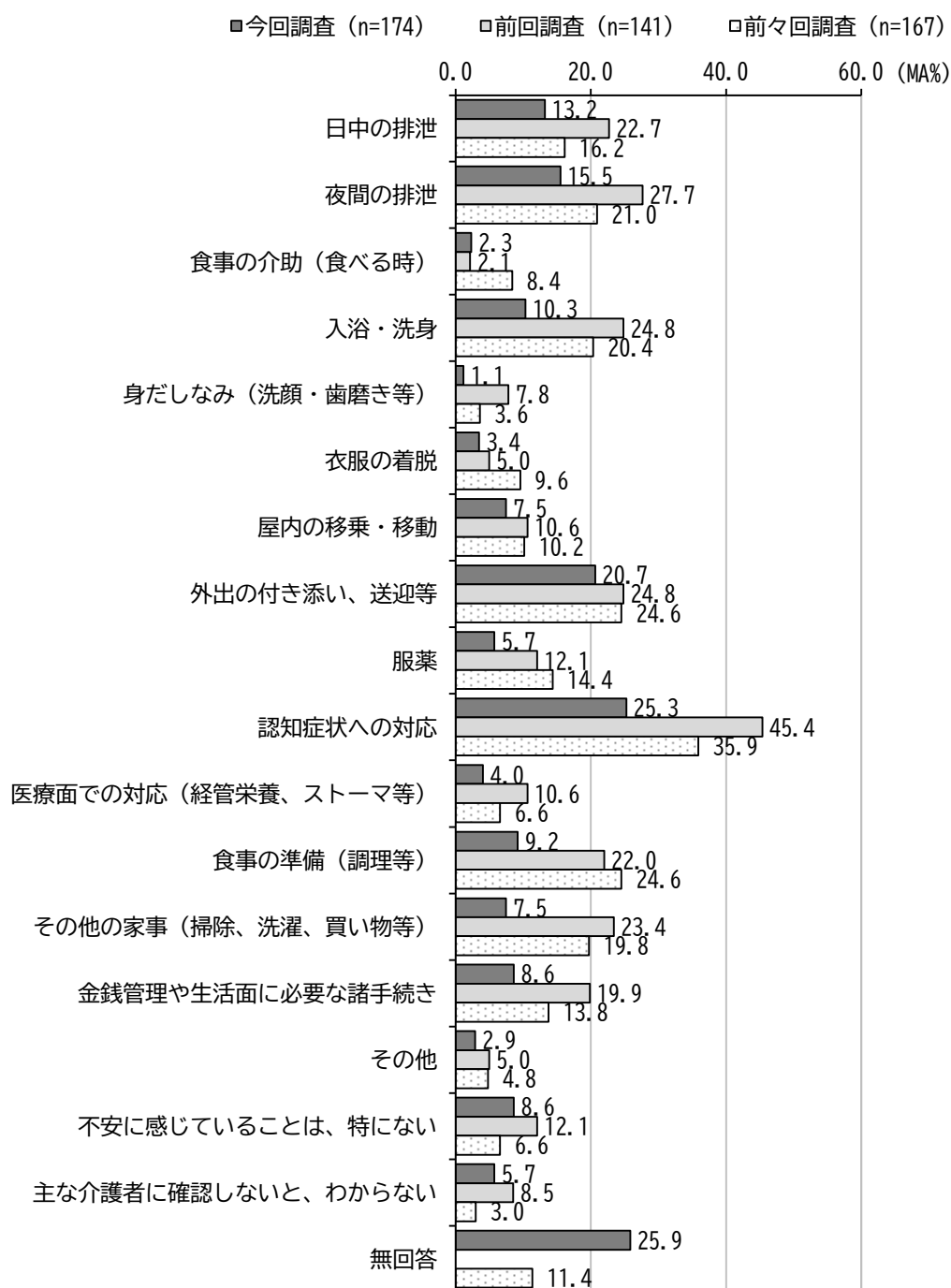


## (2) 生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安を感じる介護等

B票	問7	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません。) (○は3つまで)
----	----	--

生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安を感じる介護等について、「認知症状への対応」が25.3%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が20.7%、「夜間の排泄」が15.5%となっています。また、前回調査と比較して「認知症への対応」が20.1ポイント減少しています。

【図表4-1-8-2 生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安を感じる介護等】

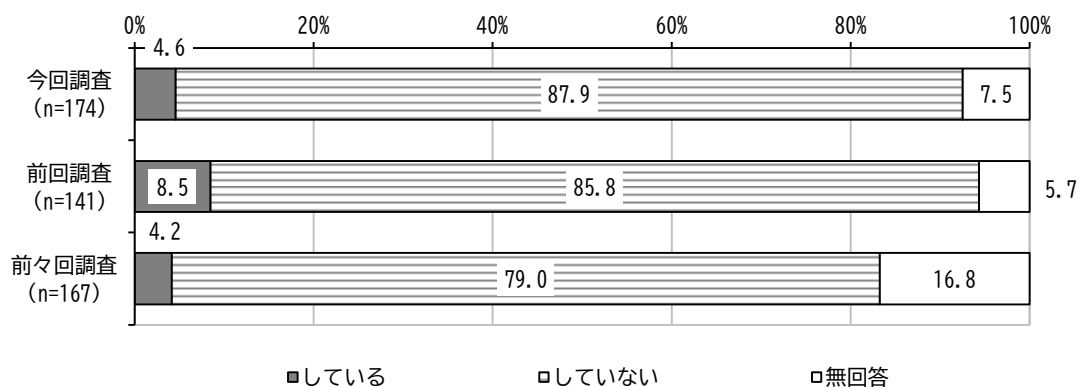


### (3) 主な介護者はふだん育児をしているか

B票	問8	主な介護者の方は、ふだん育児をしていますか。(○は1つ)
----	----	------------------------------

主な介護者はふだん育児をしているかについて、「している」が 4.6%、「していない」が 87.9%となっています。また、前回調査と比較して「していない」が 2.1 ポイント増加しています。

【図表4-1-8-3 主な介護者はふだん育児をしているか】

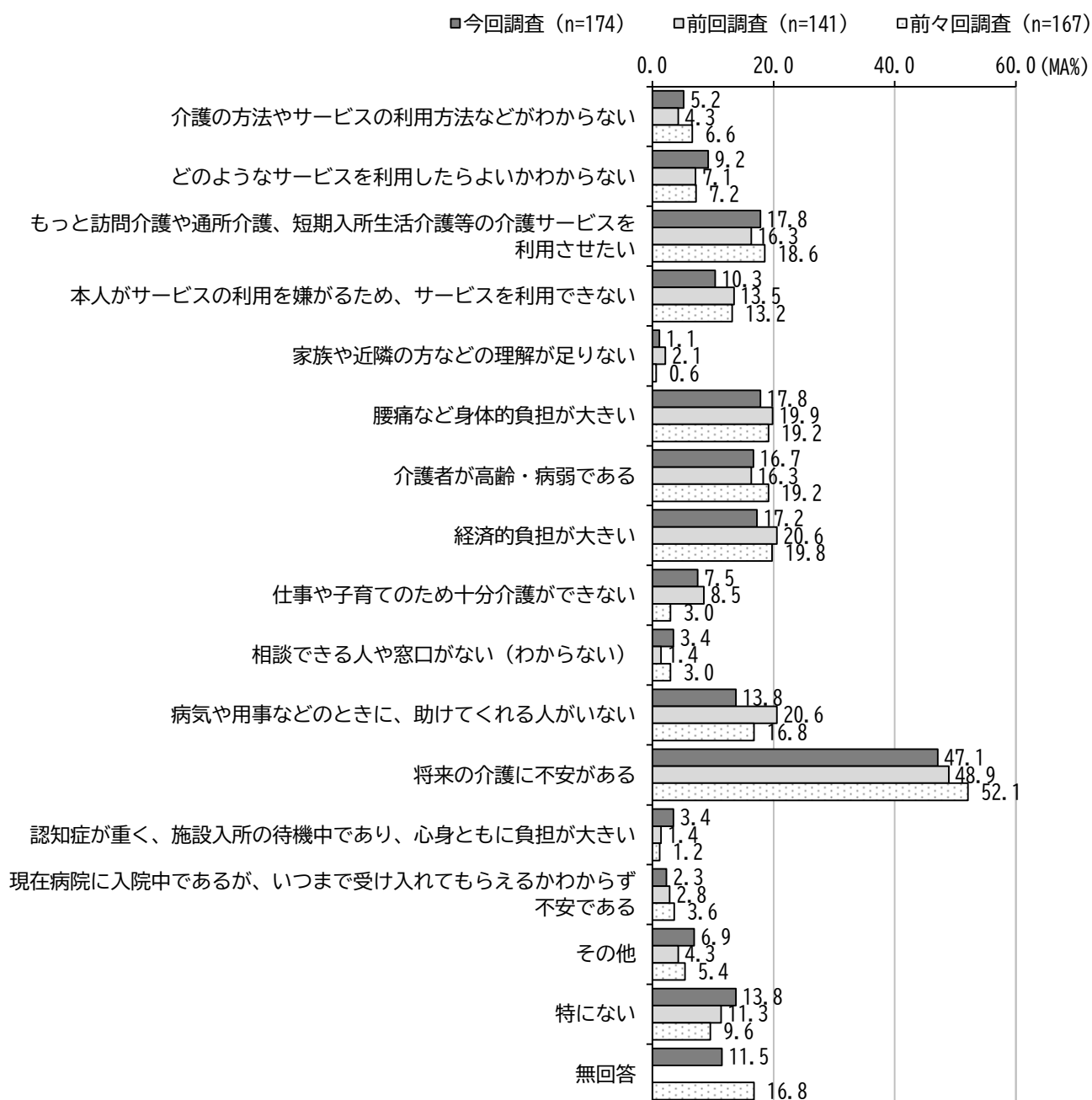


#### (4) 介護を行う上で悩んでいること・困っていること

B票	問9	介護を行う上で悩んでいることや困っていることがありますか。 (〇はいくつでも)
----	----	--

介護を行う上で悩んでいること・困っていることについて、「将来の介護に不安がある」が47.1%で最も高く、次いで「もっと訪問介護や通所介護、短期入所生活介護等の介護サービスを利用させたい」「腰痛など身体的負担が大きい」が17.8%、「経済的負担が大きい」が17.2%となっています。また、前回調査と比較して「将来の介護に不安がある」が1.8ポイント減少しています。

【図表4-1-8-4 介護を行う上で悩んでいること・困っていること】

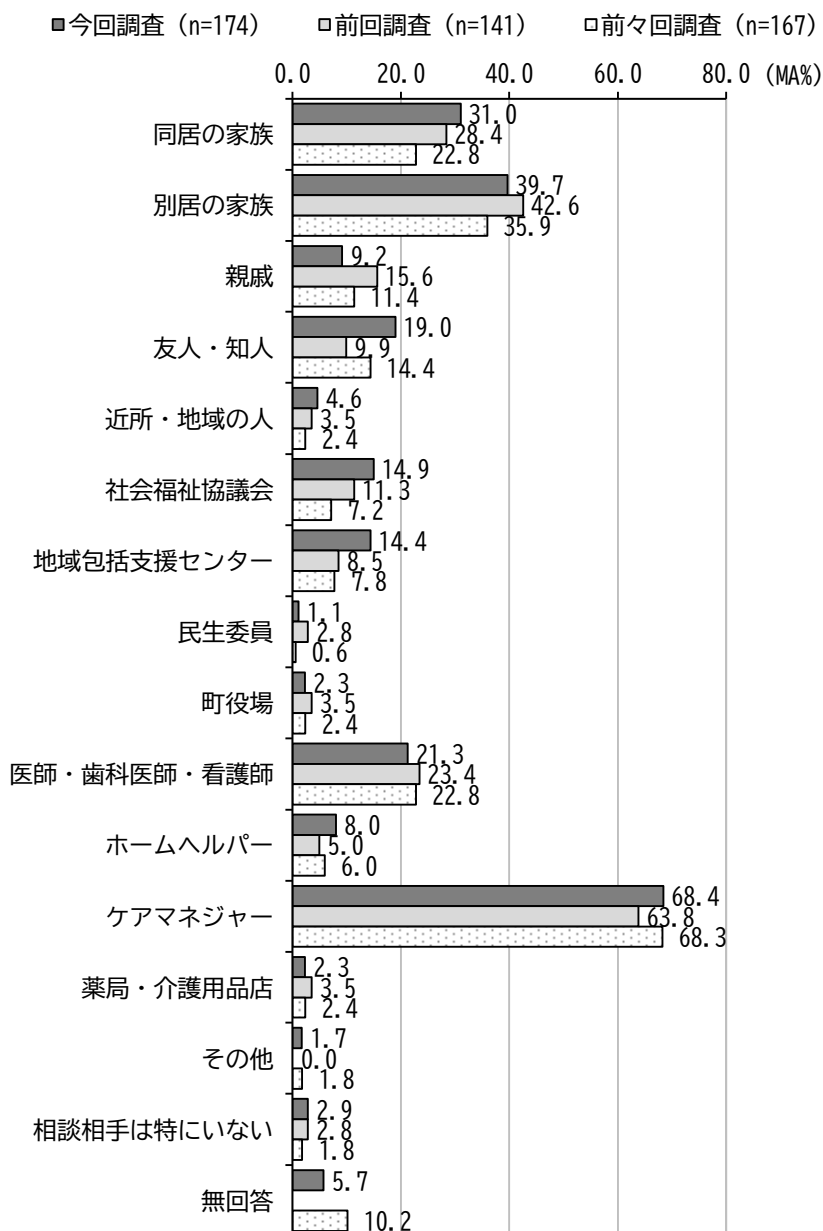


## (5) 介護に関する悩み等の相談相手

B票	問 10	介護の疑問、不安や悩みについて相談できる人はいますか。 (○はいくつでも)
----	------	--

介護に関する悩み等の相談相手について、「ケアマネジャー」が68.4%で最も高く、次いで「別居の家族」が39.7%、「同居の家族」が31.0%となっています。また、前回調査と比較して「友人・知人」が9.1ポイント、「ケアマネジャー」が4.6ポイント増加しています。

【図表4-1-8-5 介護に関する悩み等の相談相手】



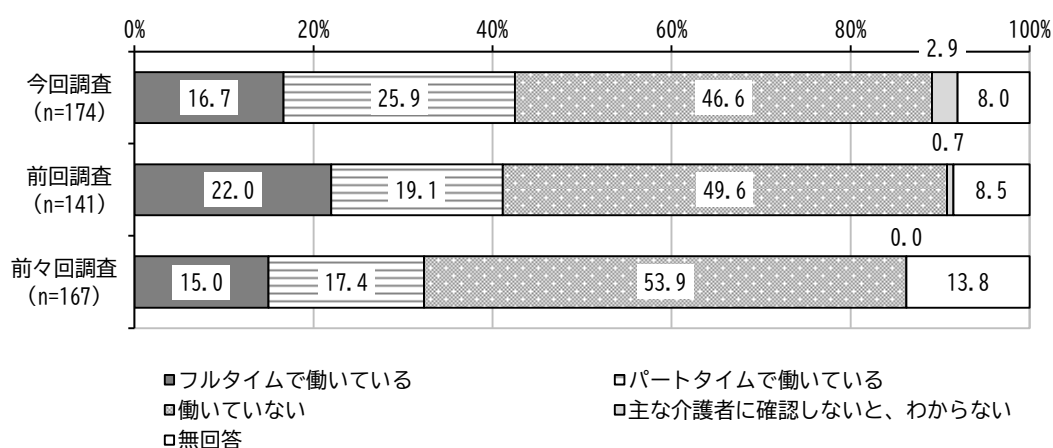
## 9. 主な介護者の就労について

### (1) 主な介護者の勤務形態

**B票**    **問 11**    主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が 46.6%で最も高く、次いで「パートタイムで働いている」が 25.9%、「フルタイムで働いている」が 16.7%となっています。また、前回調査と比較して「働いていない」が 3.0ポイント減少しています。

【図表4-1-9-1 主な介護者の勤務形態】

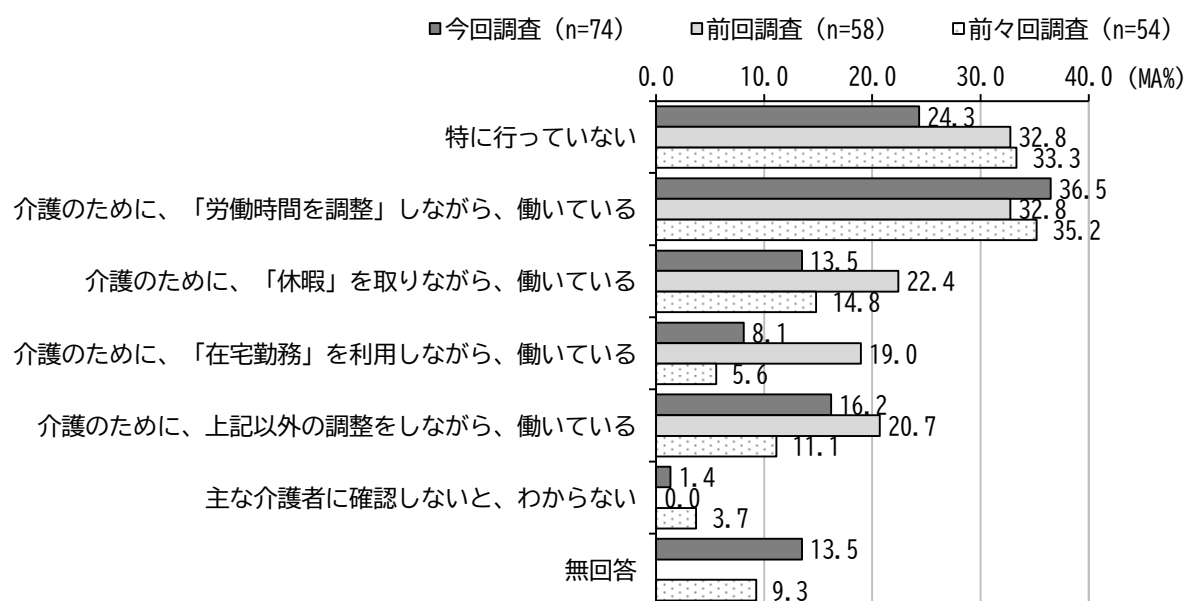


## (2) 主な介護者の働き方の調整等の状況

B票	問 11-1	<b>【問 11 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を回答された方のみ】</b> 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(〇はいくつでも)
----	--------	--

主な介護者の働き方の調整等の状況について、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が 36.5%で最も高く、次いで「特に行っていない」が 24.3%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が 16.2%となっています。また、前回調査と比較して「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が 3.7 ポイント増加しています。

【図表4-1-9-2 主な介護者の働き方の調整等の状況】

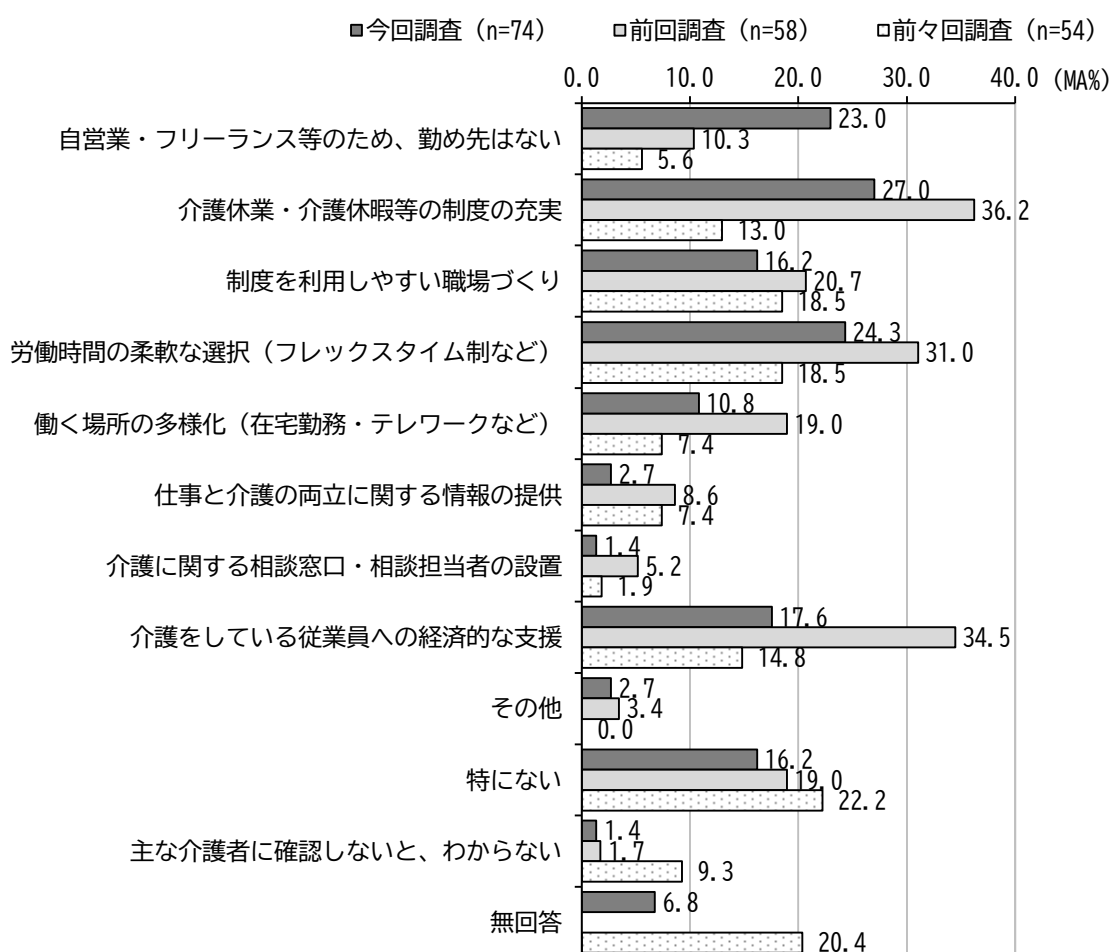


### (3) 仕事と介護の両立に効果がある支援

B票	問 11-2	【問 11 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を回答された方のみ】
		主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

仕事と介護の両立に効果がある支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 27.0%で最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が 24.3%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が 23.0%となっています。また、前回調査と比較して「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が 12.7 ポイント増加しています。

【図表4-1-9-3 仕事と介護の両立に効果がある支援】

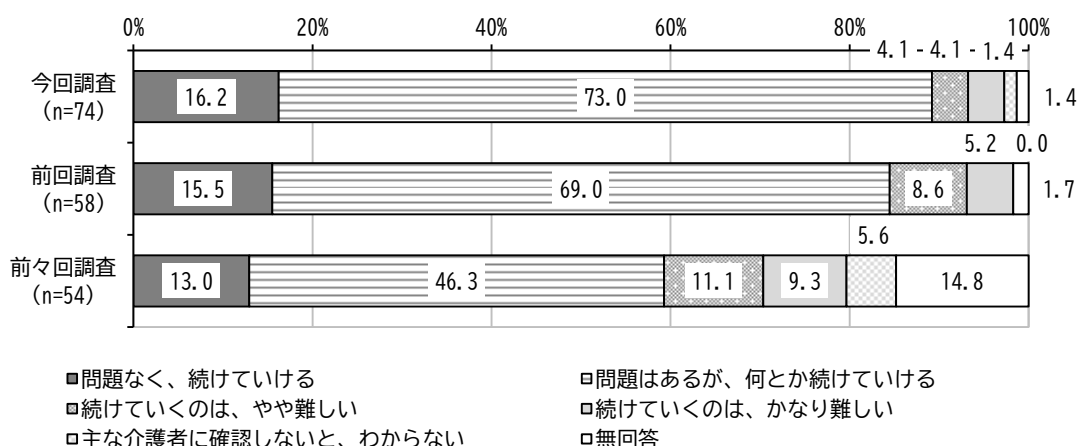


#### (4) 主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけるか

B票	問 12	主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。 (○は1つ)
----	------	---

主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけるかについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が73.0%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が16.2%、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」が4.1%となっています。また、前回調査と比較して「問題はあるが、何とか続けていける」が4.0ポイント増加しています。

【図表4-1-9-4 主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけるか】

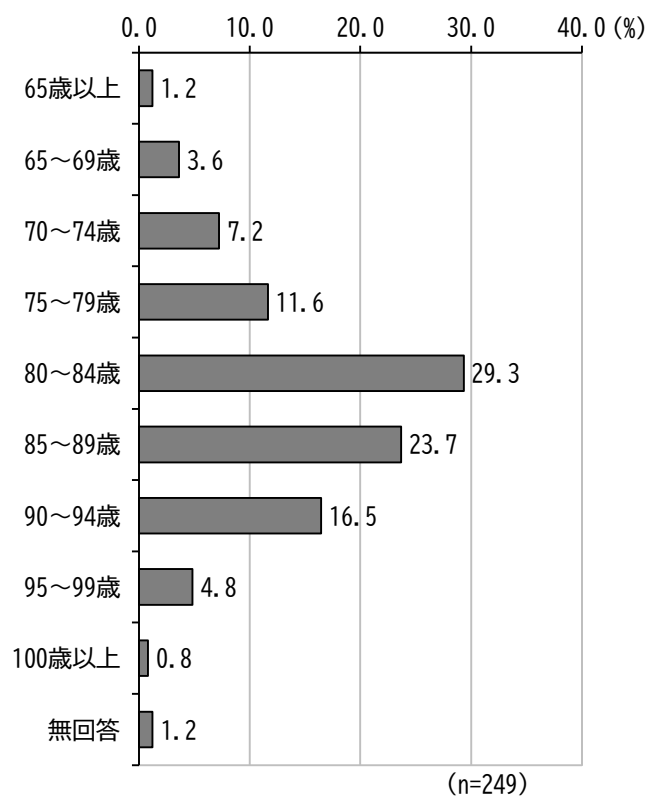


## 10. 要介護認定データ

### (1) 年齢

年齢について、「80～84 歳」が 29.3%で最も高く、次いで「85～89 歳」が 23.7%、「90～94 歳」が 16.5%となっています。

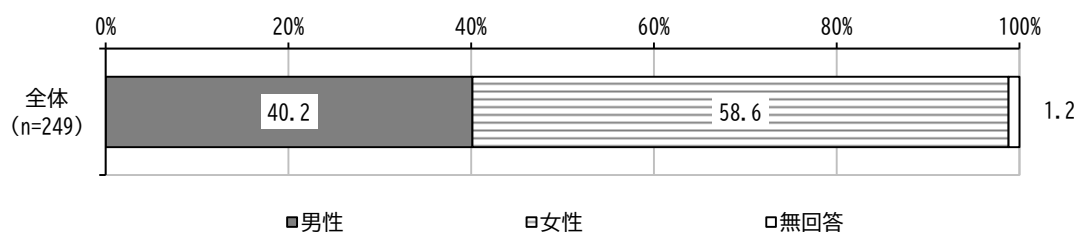
【図表4-1-10-1 年齢】



### (2) 性別

性別について、「男性」が 40.2%、「女性」が 58.6%となっています。

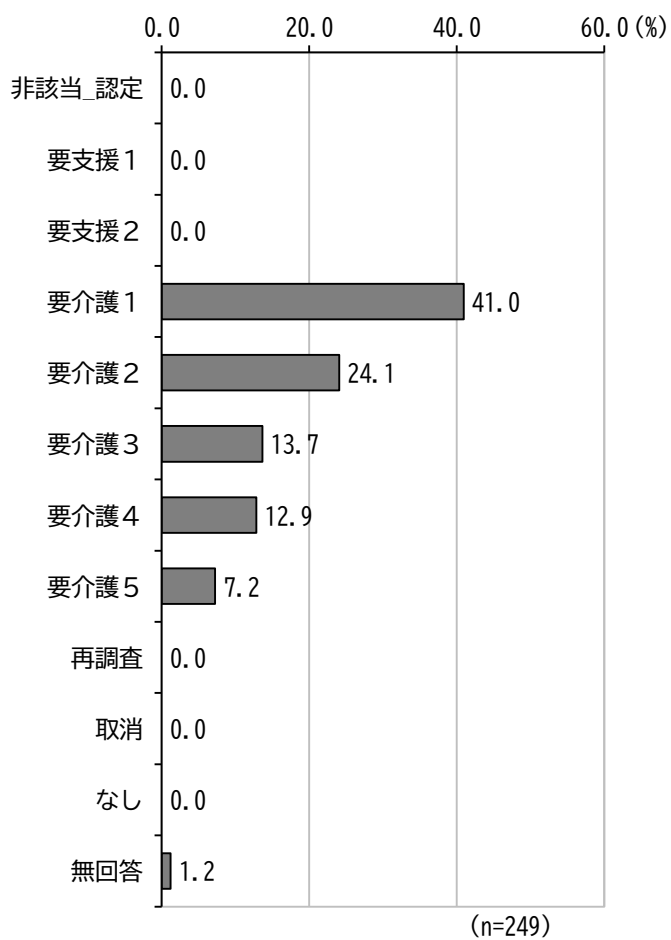
【図表4-1-10-2 性別】



### (3) 二次判定結果(要介護度)

二次判定(要介護度)について、「要介護1」が41.0%で最も高く、次いで「要介護2」が24.1%、「要介護3」が13.7%となっています。

【図表4-1-10-3 二次判定結果(要介護度)】



#### (4) サービス利用の組み合わせ

この章では、介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。それぞれ、用語の定義は以下の通りです。

【図表4-10-4 サービス利用の分析に用いた用語の定義】

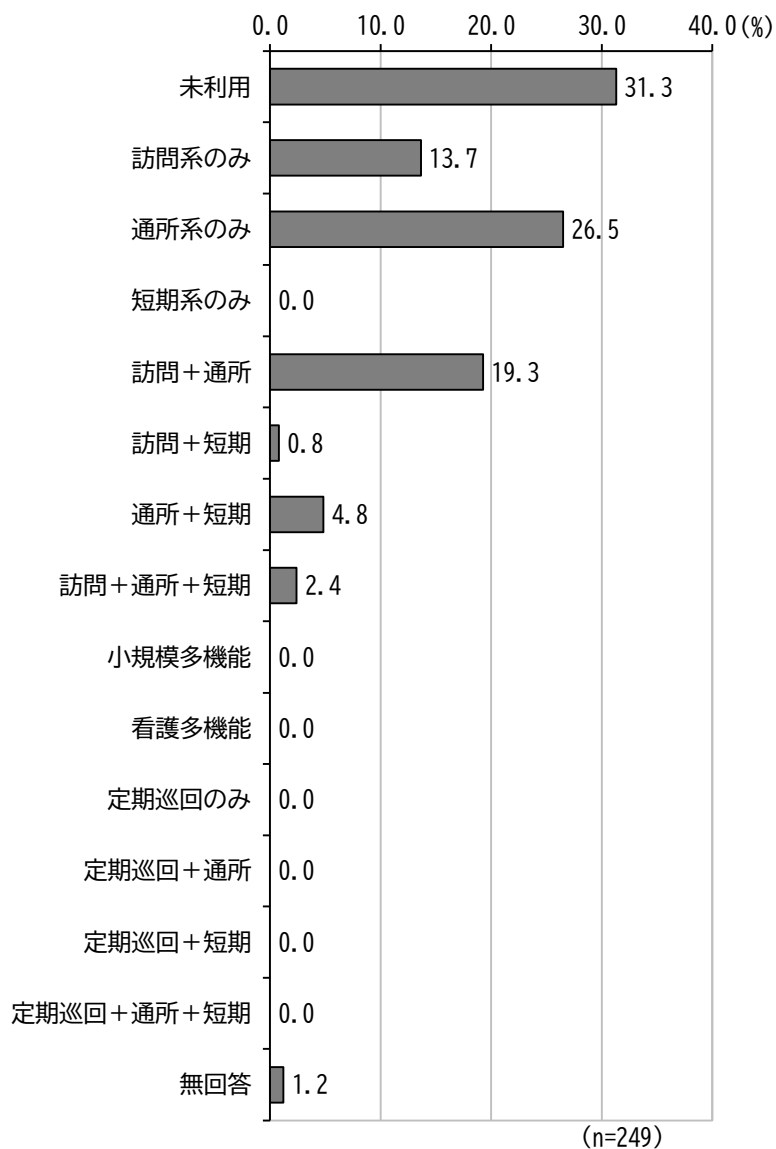
用語		定義
未利用		・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		・(介護予防)訪問介護、(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		・(介護予防)通所介護、(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		・(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	・(介護予防)小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

【図表4-10-5 サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義】

用語	定義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	・上表の「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「短期系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計しています。

サービス利用の組み合わせについて、「未利用」が31.3%で最も高く、次いで「通所系のみ」が26.5%、「訪問+通所」が19.3%となっています。

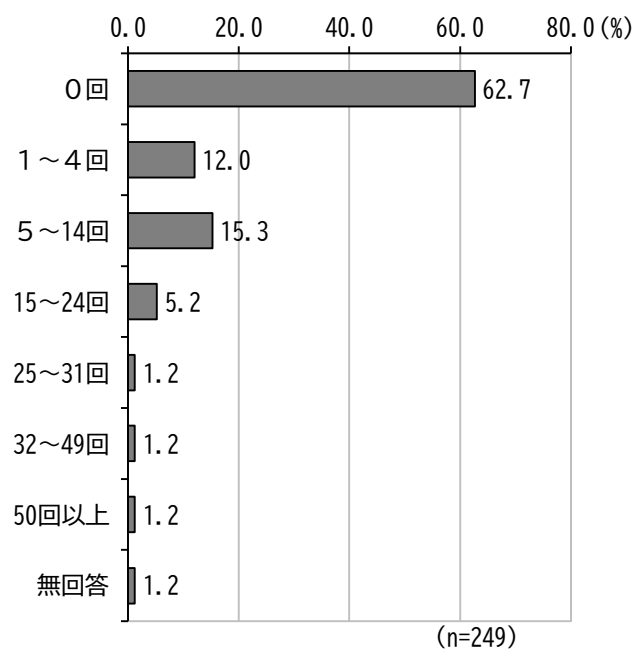
【図表4-1-10-6 サービス利用の組み合わせ】



### (5) 訪問系サービスの合計利用回数

訪問系サービスの合計利用回数について、「0回」が 62.7%で最も高く、次いで「5～14回」が 15.3%、「1～4回」が 12.0%となっています。

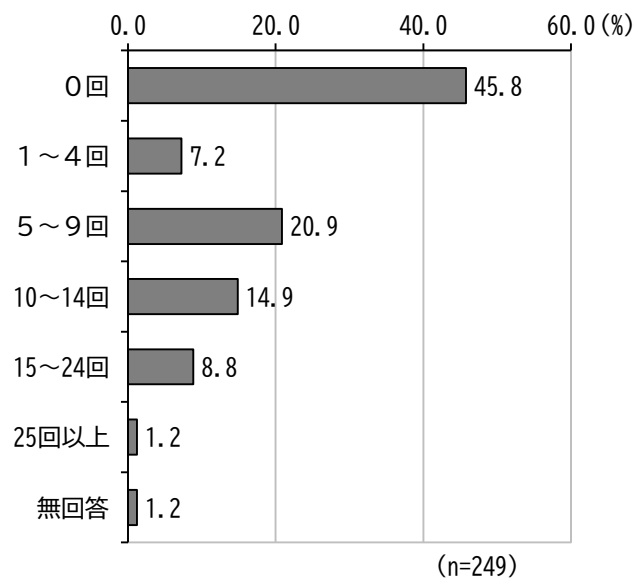
【図表4-1-10-7 訪問系サービスの合計利用回数】



### (6) 通所系サービスの合計利用回数

通所系サービスの合計利用回数について、「0回」が 45.8%で最も高く、次いで「5～9回」が 20.9%、「10～14回」が 14.9%となっています。

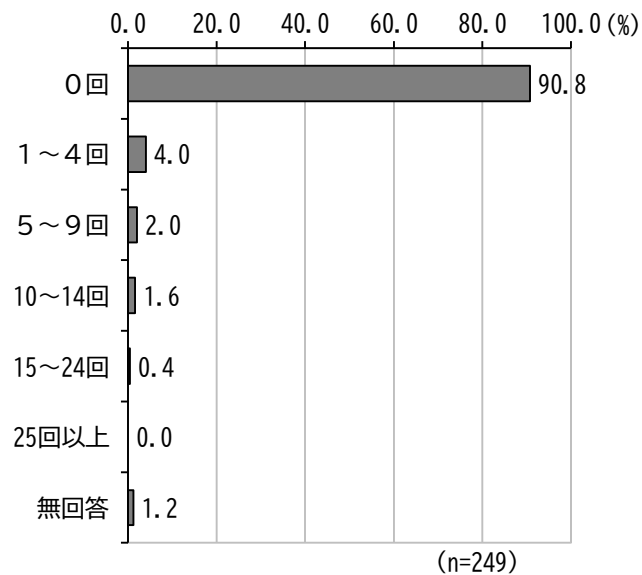
【図表4-1-10-8 通所系サービスの合計利用回数】



### (7) 短期系サービスの合計利用回数

短期系サービスの合計利用回数について、「0回」が90.8%で最も高く、次いで「1～4回」が4.0%、「5～9回」が2.0%となっています。

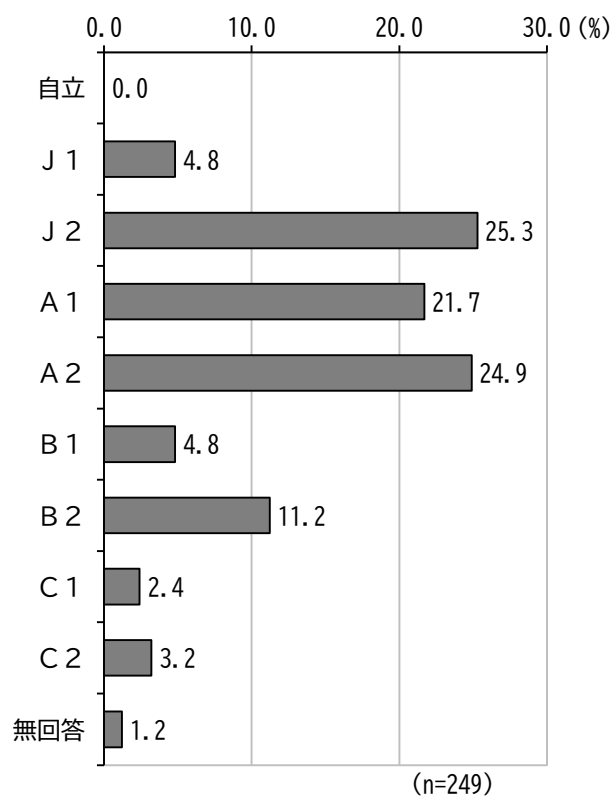
【図表4-1-10-9 短期系サービスの合計利用回数】



### (8) 障がい高齢者の日常生活自立度

障がい高齢者の日常生活自立度について、「J2」が 25.3%で最も高く、次いで「A2」が 24.9%、「A1」が 21.7%となっています。

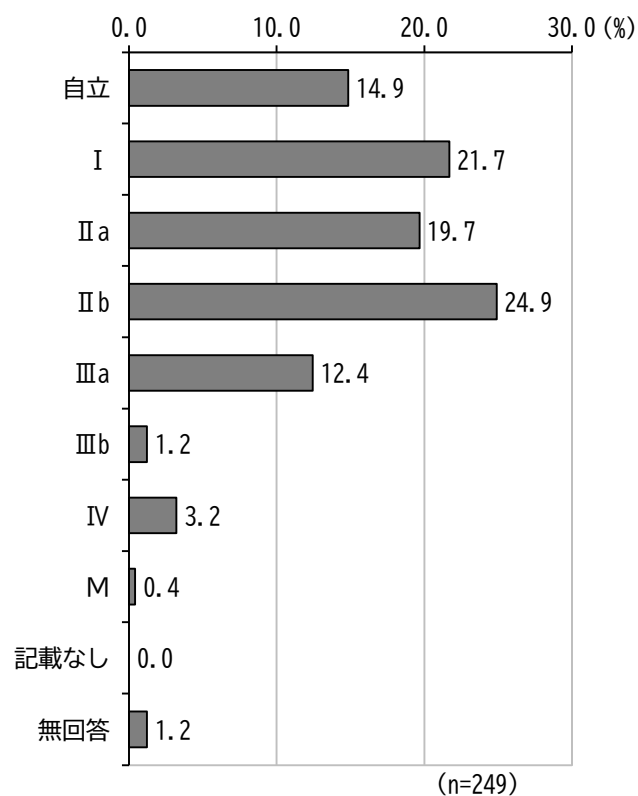
【図表4-1-10-10 障がい高齢者の日常生活自立度】



### (9) 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度について、「Ⅱb」が 24.9%で最も高く、次いで「Ⅰ」が 21.7%、「Ⅱa」が 19.7%となっています。

【図表4-1-10-11 認知症高齢者の日常生活自立度】



## Ⅱ クロス集計結果

ここでは、厚生労働省から配布された「在宅介護実態調査の自動集計分析ソフト」を使用し、調査結果と認定データを紐づけた上で分析を行っています。

### 1. 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

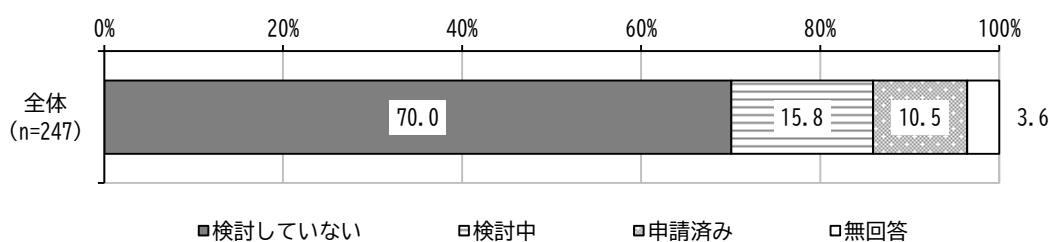
ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の2つの視点からの集計を行っています。

#### (1) 基礎集計

##### i 施設等検討の状況

施設等検討の状況について、施設等検討の状況について、「検討していない」が70.0%で最も高く、次いで「検討中」が15.8%、「申請済み」が10.5%となっています。

【図表4-2-1-1 施設等検討の状況】

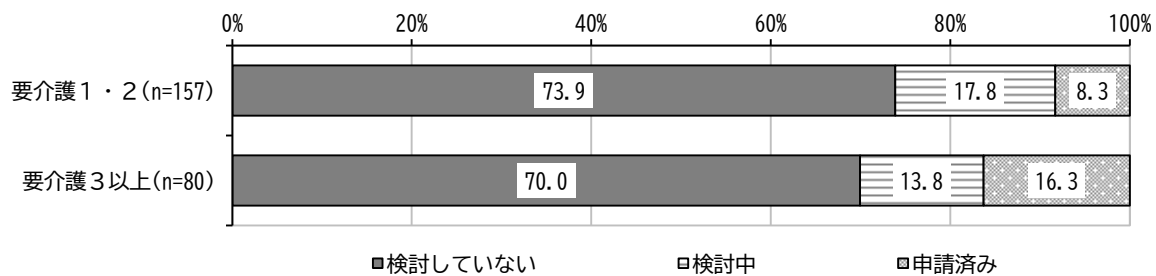


## ii 要介護度別でみる施設等検討の状況

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「検討していない」が73.9%で最も高く、次いで「検討中」が17.8%、「申請済み」が8.3%となっています。

「要介護3以上」では、「検討していない」が70.0%で最も高く、次いで「申請済み」が16.3%、「検討中」が13.8%となっています。

【図表4-2-1-2 施設等検討の状況 要介護度別】



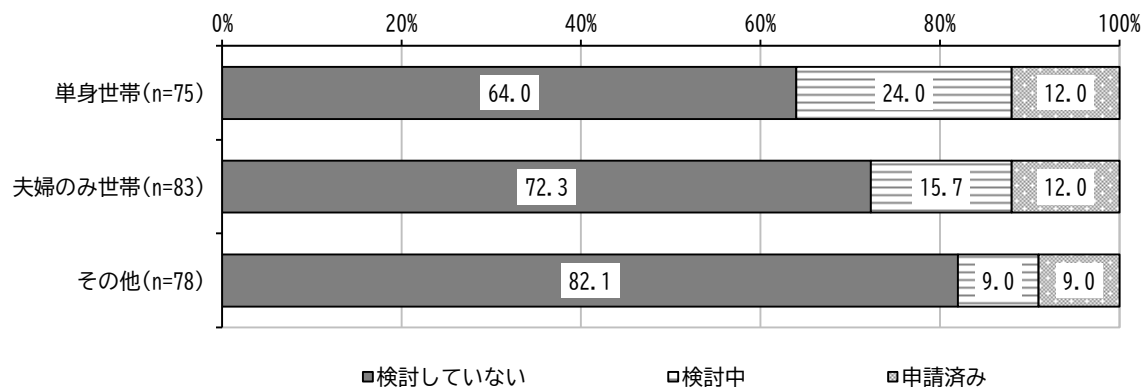
## iii 世帯類型別でみる施設等検討の状況

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「検討していない」が64.0%で最も高く、次いで「検討中」が24.0%、「申請済み」が12.0%となっています。

「夫婦のみの世帯」では、「検討していない」が72.3%で最も高く、次いで「検討中」が15.7%、「申請済み」が12.0%となっています。

「その他」では、「検討していない」が82.1%で最も高く、次いで「検討中」「申請済み」が9.0%となっています。

【図表4-2-1-3 施設等検討の状況 世帯類型別】



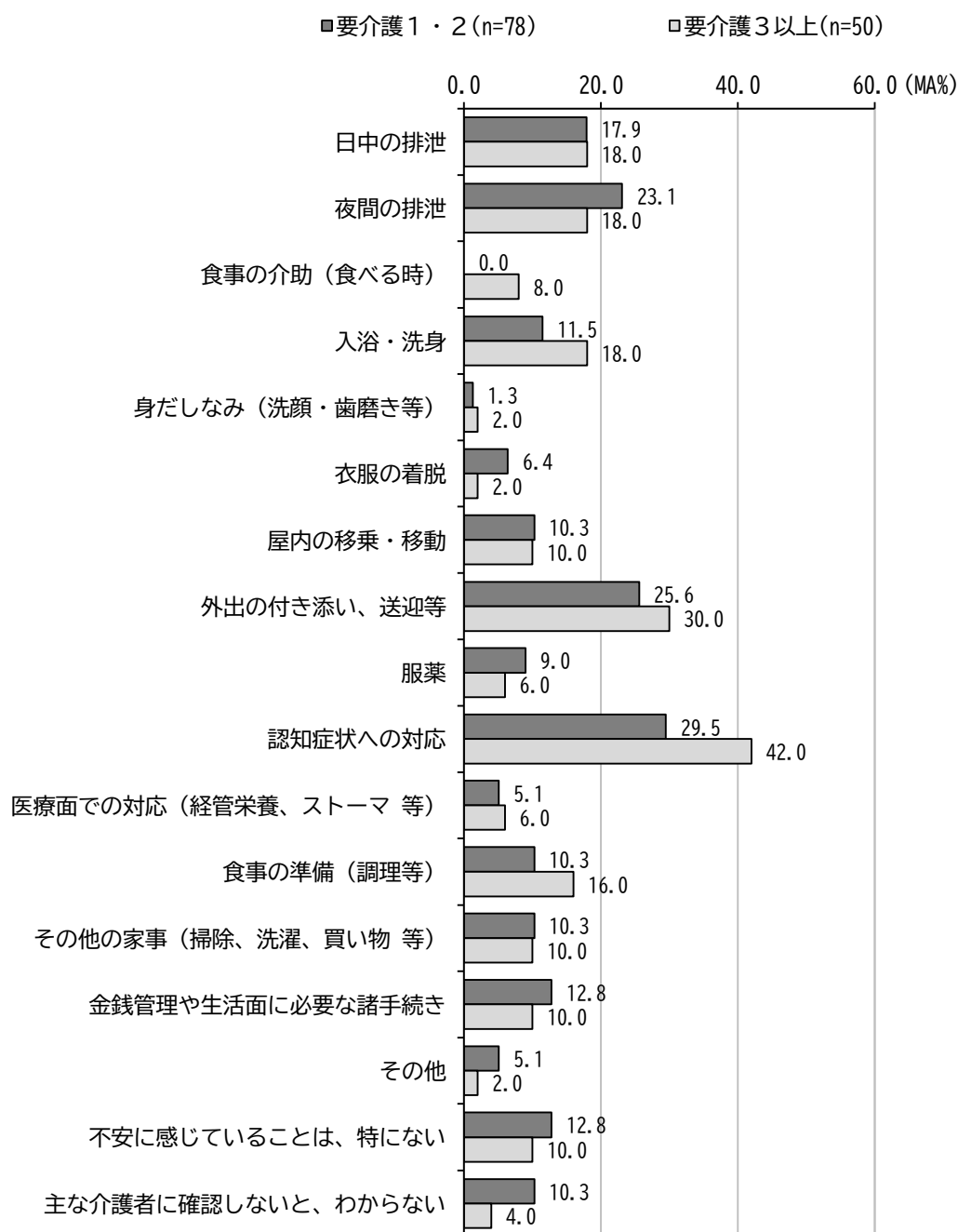
## (2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

### i 要介護度別でみる介護者が不安に感じる介護

介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「認知症状への対応」が29.5%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が25.6%、「夜間の排泄」が23.1%となっています。

「要介護3以上」では、「認知症状への対応」が42.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が30.0%、「日中の排泄」「夜間の排泄」「入浴・洗身」が18.0%となっています。

【図表4-2-1-4 介護者が不安に感じる介護 要介護度別】



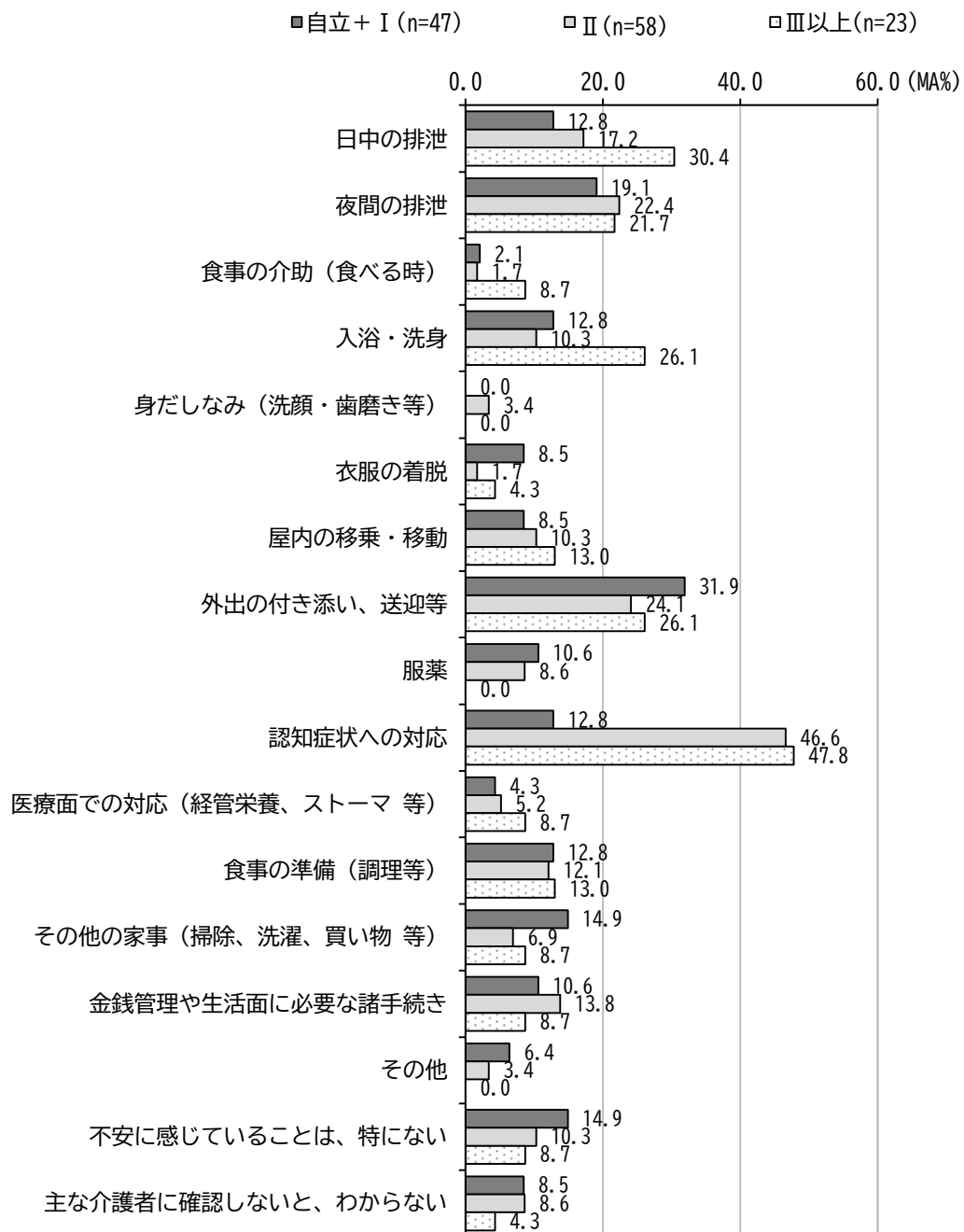
## ii 認知症自立度別でみる介護者が不安を感じる介護

介護者が不安を感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+ I」では、「外出の付き添い、送迎等」が 31.9%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が 19.1%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 14.9%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「認知症状への対応」が 46.6%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 24.1%、「夜間の排泄」が 22.4%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「認知症状への対応」が 47.8%で最も高く、次いで「日中の排泄」が 30.4%、「入浴・洗身」が 26.1%となっています。

【図表4-2-1-5 介護者が不安を感じる介護 認知症自立度別】



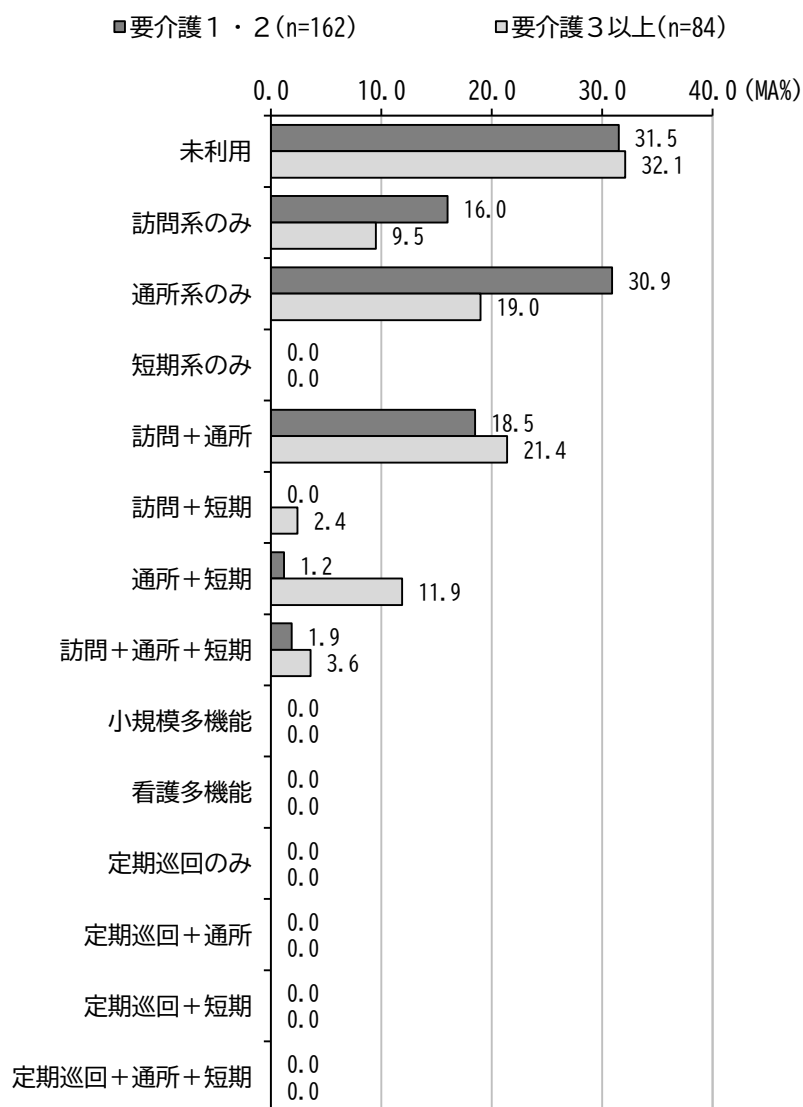
### (3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

#### i 要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「未利用」が 31.5%で最も高く、次いで「通所系のみ」が 30.9%、「訪問+通所」が 18.5%となっています。

「要介護3以上」では、「未利用」が 32.1%で最も高く、次いで「訪問+通所」が 21.4%、「通所系のみ」が 19.0%となっています。

【図表4-2-1-6 サービス利用の組み合わせ 要介護度別】



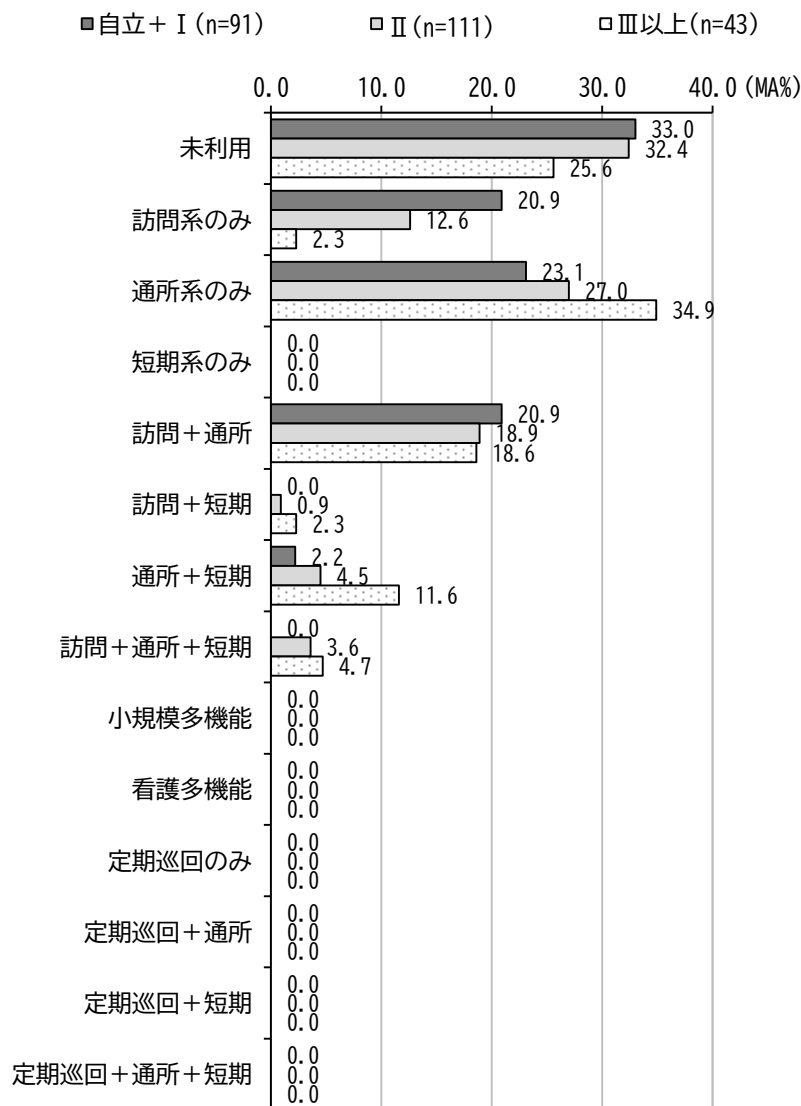
## ii 認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+ I」では、「未利用」が 33.0%で最も高く、次いで「通所系のみ」が 23.1%、「訪問系のみ」「訪問+通所」が 20.9%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「未利用」が 32.4%で最も高く、次いで「通所系のみ」が 27.0%、「訪問+通所」が 18.9%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「通所系のみ」が 34.9%で最も高く、次いで「未利用」が 25.6%、「訪問+通所」が 18.6%となっています。

【図表4-2-1-7 サービス利用の組み合わせ 認知症自立度別】

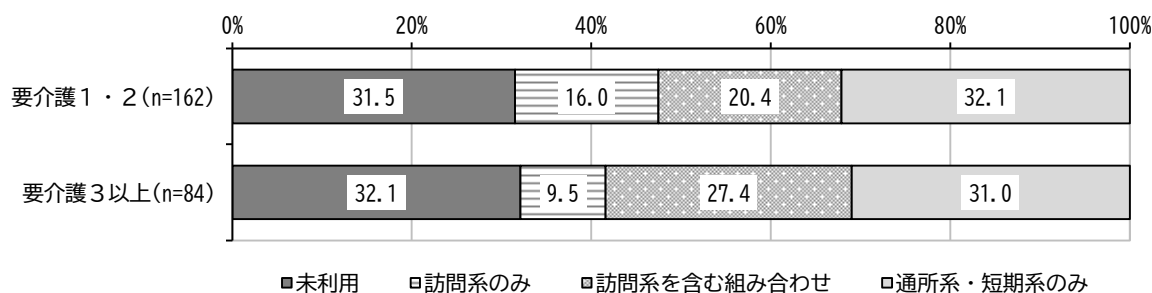


### iii 要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「通所系・短期系のみ」が32.1%で最も高く、次いで「未利用」が31.5%、「訪問系を含む組み合わせ」が20.4%となっています。

「要介護3以上」では、「未利用」が32.1%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が31.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が27.4%となっています。

【図表4-2-1-8 サービス利用の組み合わせ 要介護度別】



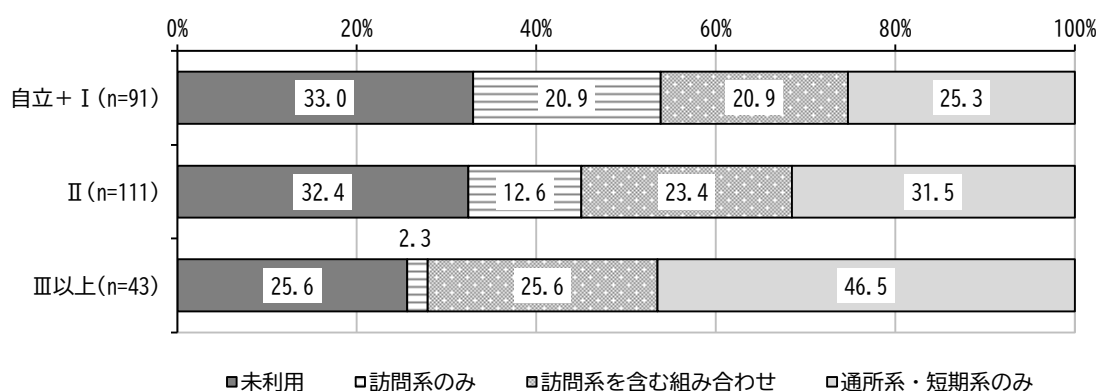
### iv 認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+Ⅰ」では、「未利用」が33.0%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が25.3%、「訪問系のみ」「訪問系を含む組み合わせ」が20.9%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「未利用」が32.4%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が31.5%、「訪問系を含む組み合わせ」が23.4%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「通所系・短期系のみ」が46.5%で最も高く、次いで「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」が25.6%となっています。

【図表4-2-1-9 サービス利用の組み合わせ 認知症自立度別】



#### (4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

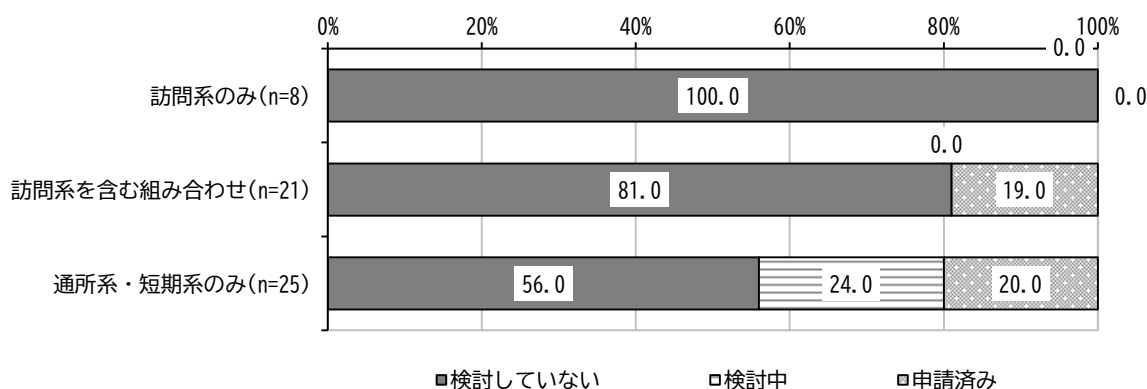
##### i サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では、「検討していない」が100.0%となっています。

「訪問系を含む組み合わせ」では、「検討していない」が81.0%で最も高く、次いで「申請済み」が19.0%となっています。

「通所系・短期系のみ」では、「検討していない」が56.0%で最も高く、次いで「検討中」が24.0%、「申請済み」が20.0%となっています。

【図表4-2-1-10 施設等検討の状況(要介護3以上) サービス利用の組み合わせ別】



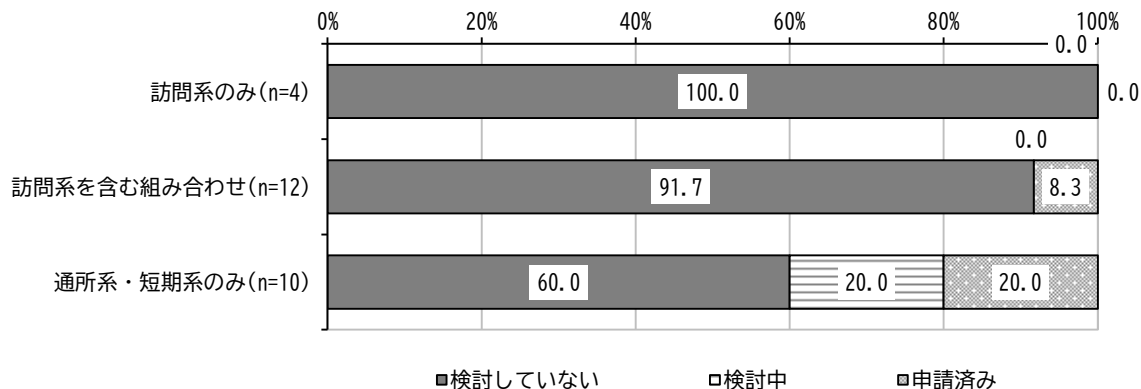
##### ii サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護4以上)

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では、「検討していない」が100.0%となっています。

「訪問系を含む組み合わせ」では、「検討していない」が91.7%で最も高く、次いで「申請済み」が8.3%となっています。

「通所系・短期系のみ」では、「検討していない」が60.0%で最も高く、次いで「検討中」「申請済み」が20.0%となっています。

【図表4-2-1-11 施設等検討の状況(要介護4以上) サービス利用の組み合わせ別】



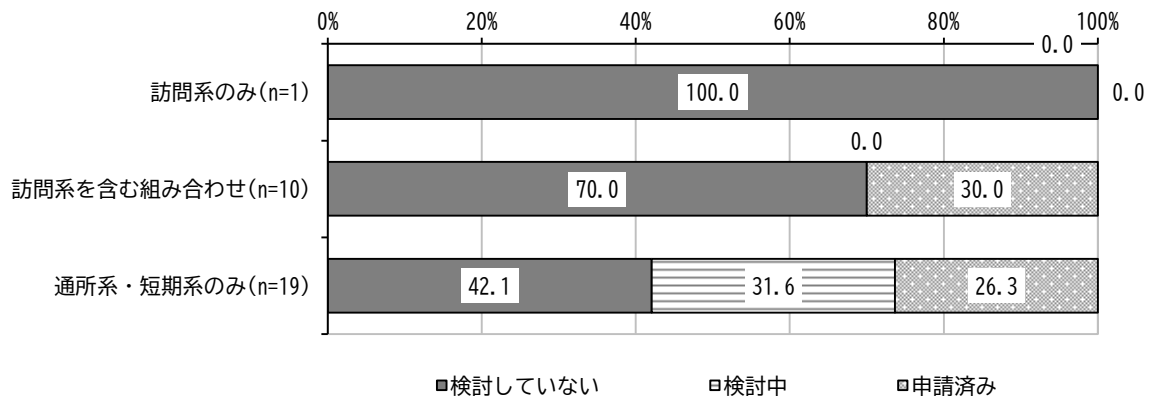
### iii サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(認知症自立度Ⅲ以上)

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では、「検討していない」が100.0%となっています。

「訪問系を含む組み合わせ」では、「検討していない」が70.0%で最も高く、次いで「申請済み」が30.0%、となっています。

「通所系・短期系のみ」では、「検討していない」が42.1%で最も高く、次いで「検討中」が31.6%、「申請済み」が26.3%となっています。

【図表4-2-1-12 施設等検討の状況(認知症自立度Ⅲ以上) サービス利用の組み合わせ別】



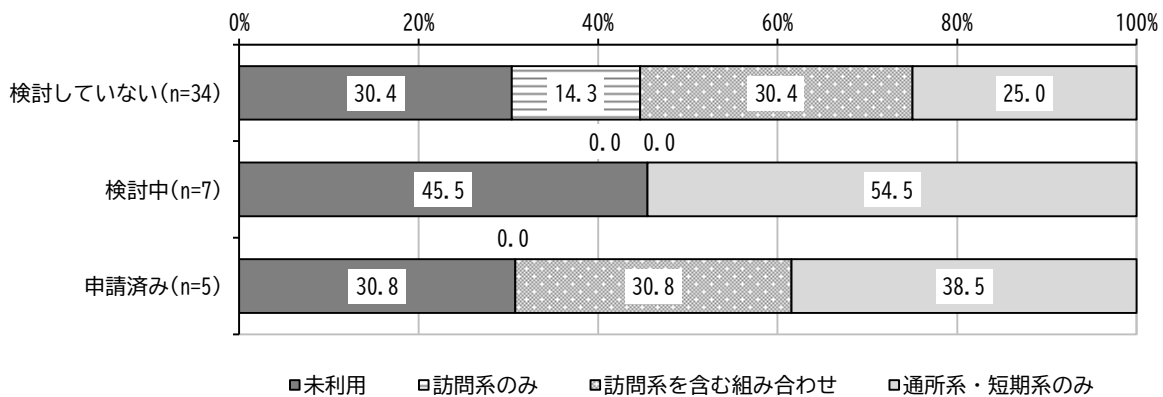
### iv サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では、「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」が30.4%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が25.0%となっています。

「検討中」では、「通所系・短期系のみ」が54.5%で最も高く、次いで「未利用」が45.5%となっています。

「申請済み」では、「通所系・短期系のみ」が38.5%で最も高く、次いで「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」が30.8%となっています。

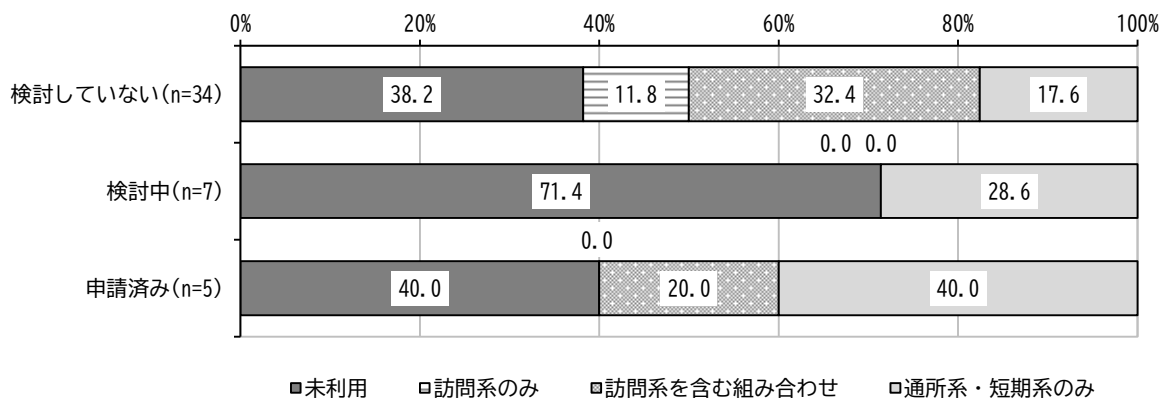
【図表4-2-1-13 サービス利用の組み合わせ(要介護3以上) 施設等検討の状況別】



v サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護4以上)

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では、「未利用」が 38.2%で最も高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 32.4%、「通所系・短期系のみ」が 17.6%となっています。「検討中」では、「未利用」が 71.4%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 28.6%となっています。「申請済み」では、「未利用」「通所系・短期系のみ」が 40.0%で最も高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 20.0%となっています。

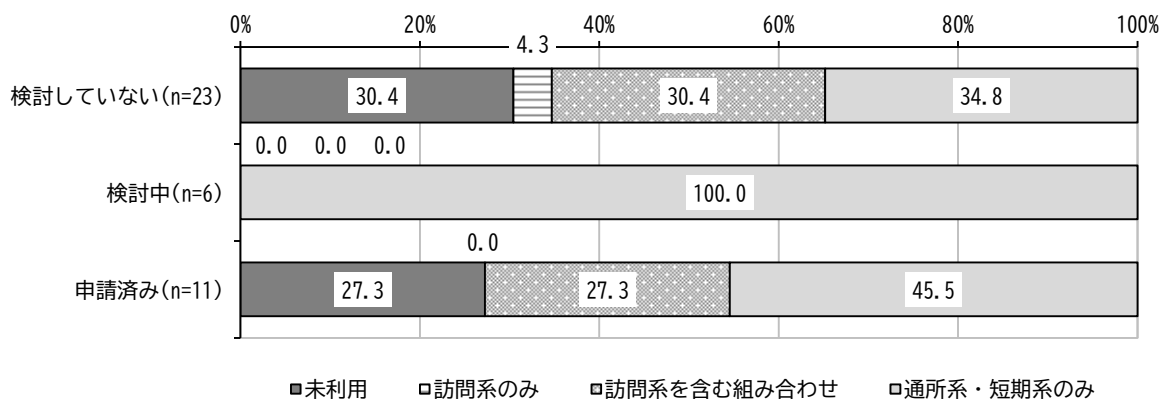
【図表4-2-1-14 サービス利用の組み合わせ(要介護4以上) 施設等検討の状況別】



vi サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(認知症自立度Ⅲ以上)

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では、「通所系・短期系のみ」が 34.8%で最も高く、次いで「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」が 30.4%となっています。「検討中」では、「通所系・短期系のみ」が 100.0%となっています。「申請済み」では、「通所系・短期系のみ」が 45.5%で最も高く、次いで「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」が 27.3%となっています。

【図表4-2-1-15 サービス利用の組み合わせ(認知症自立度Ⅲ以上) 施設等検討の状況別】



(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

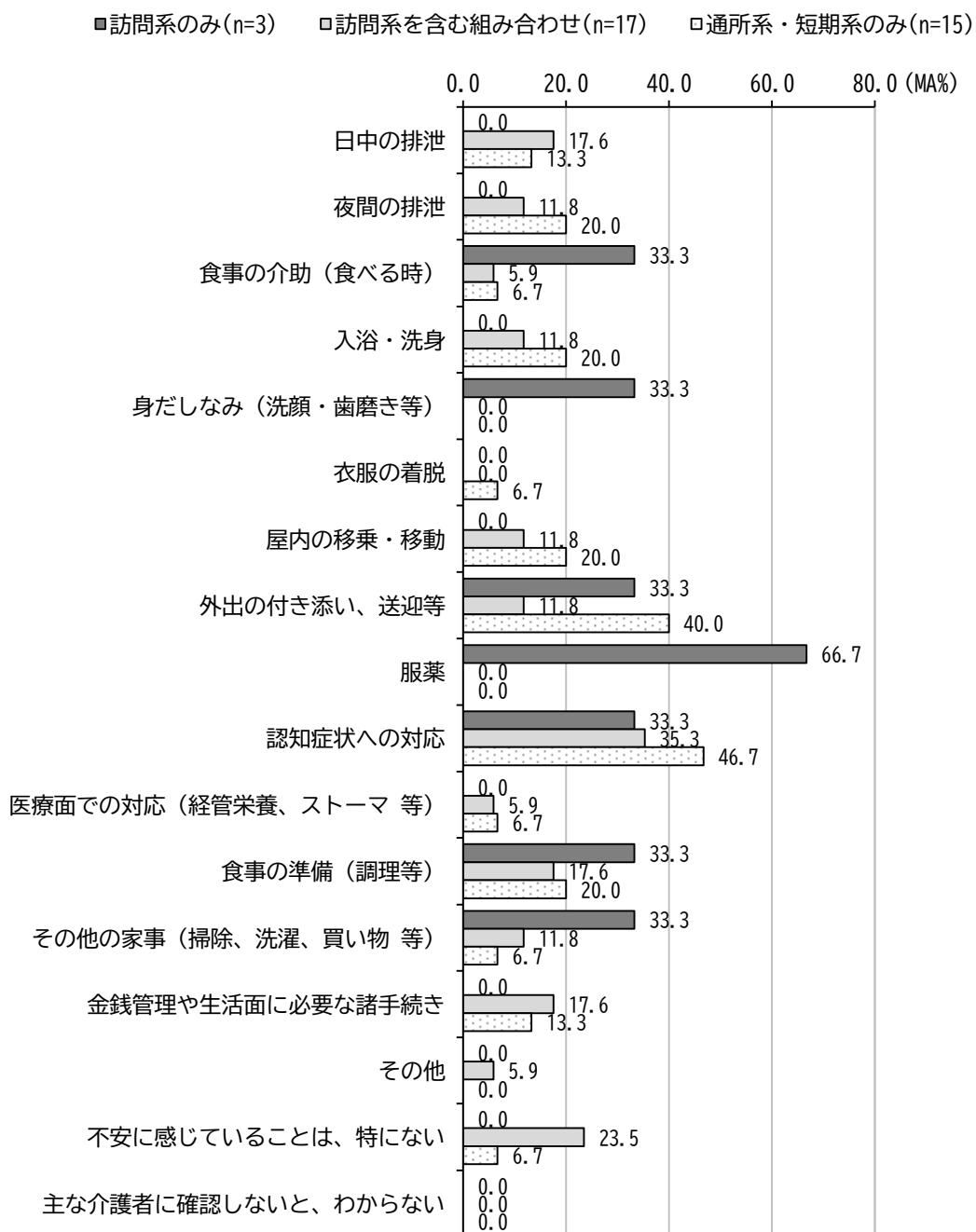
i サービス利用の組み合わせ別でみる介護者が不安を感じる介護(要介護3以上)

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では、「服薬」が66.7%で最も高くなっています。

「訪問系を含む組み合わせ」では、「認知症状への対応」が35.3%で最も高く、次いで「不安を感じていることは、特にない」が23.5%となっています。

「通所系・短期系のみ」では、「認知症状への対応」が46.7%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が40.0%となっています。

【図表4-2-1-16 介護者が不安を感じる介護(要介護3以上) サービス利用の組み合わせ別】

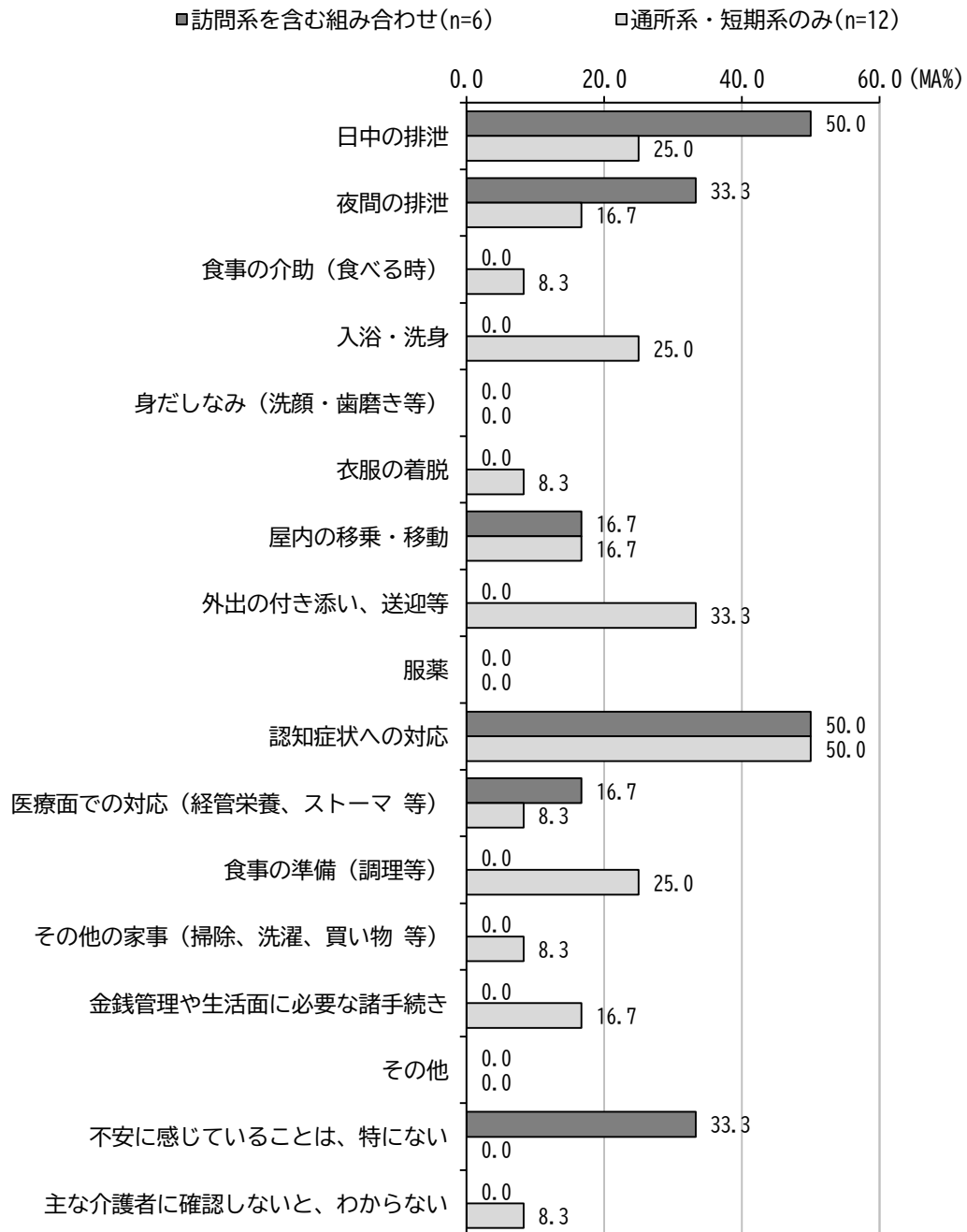


ii サービス利用の組み合わせ別でみる介護者が不安を感じる介護(認知症自立度Ⅲ以上)

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系を含む組み合わせ」では、「日中の排泄」「認知症状への対応」が50.0%で最も高くなっています。

「通所系・短期系のみ」では、「認知症状への対応」が50.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が33.3%となっています。

【図表4-2-1-17 介護者が不安を感じる介護(認知症自立度Ⅲ以上) サービス利用の組み合わせ別】



(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

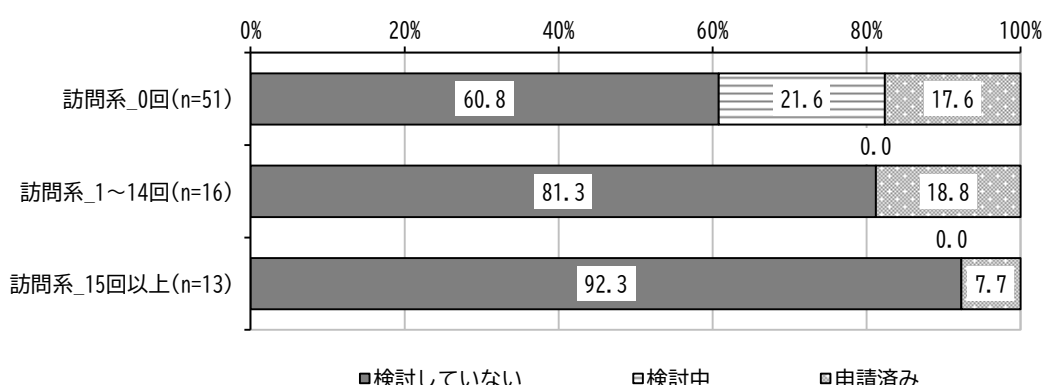
i サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、要介護3以上)

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系\_0回」では、「検討していない」が60.8%で最も高く、次いで「検討中」が21.6%、「申請済み」が17.6%となっています。

「訪問系\_1~14回」では、「検討していない」が81.3%で最も高く、次いで「申請済み」が18.8%となっています。

「訪問系\_15回以上」では、「検討していない」が92.3%で最も高く、次いで「申請済み」が7.7%となっています。

【図表4-2-1-18 施設等検討の状況(要介護3以上) 訪問系サービス利用回数別】



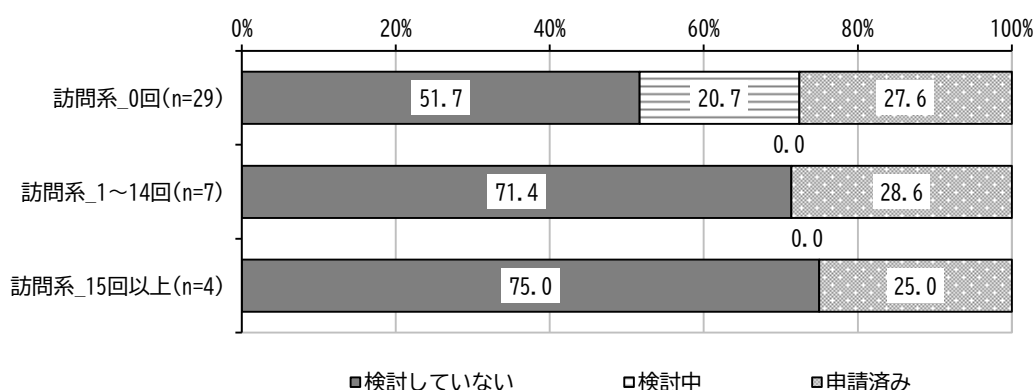
ii サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、認知症自立度Ⅲ以上)

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系\_0回」では、「検討していない」が51.7%で最も高く、次いで「申請済み」が27.6%、「検討中」が20.7%となっています。

「訪問系\_1~14回」では、「検討していない」が71.4%で最も高く、次いで「申請済み」が28.6%となっています。

「訪問系\_15回以上」では、「検討していない」が75.0%で最も高く、次いで「申請済み」が25.0%となっています。

【図表4-2-1-19 施設等検討の状況(認知症自立度Ⅲ以上) 訪問系サービス利用回数別】



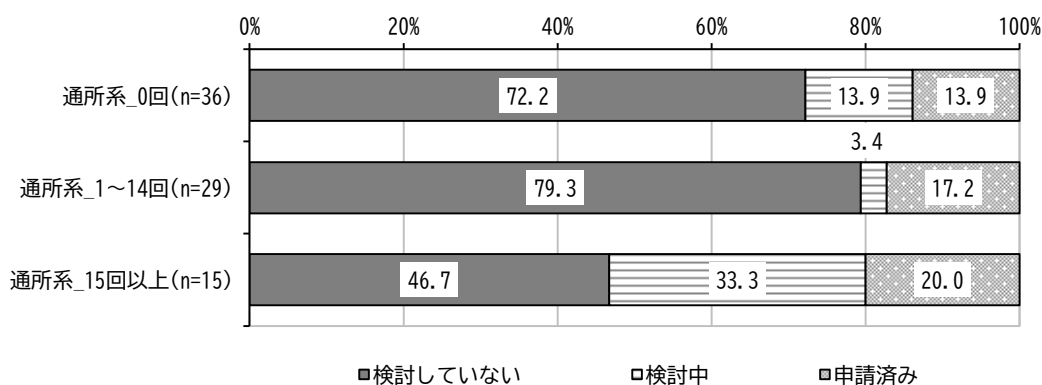
### iii サービス利用回数と施設等検討の状況(通所系、要介護3以上)

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系\_0回」では、「検討していない」が72.2%で最も高く、次いで「検討中」「申請済み」が13.9%となっています。

「通所系\_1~14回」では、「検討していない」が79.3%で最も高く、次いで「申請済み」が17.2%、「検討中」が3.4%となっています。

「通所系\_15回以上」では、「検討していない」が46.7%で最も高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が20.0%となっています。

【図表4-2-1-20 施設等検討の状況(要介護3以上) 通所系サービス利用回数別】



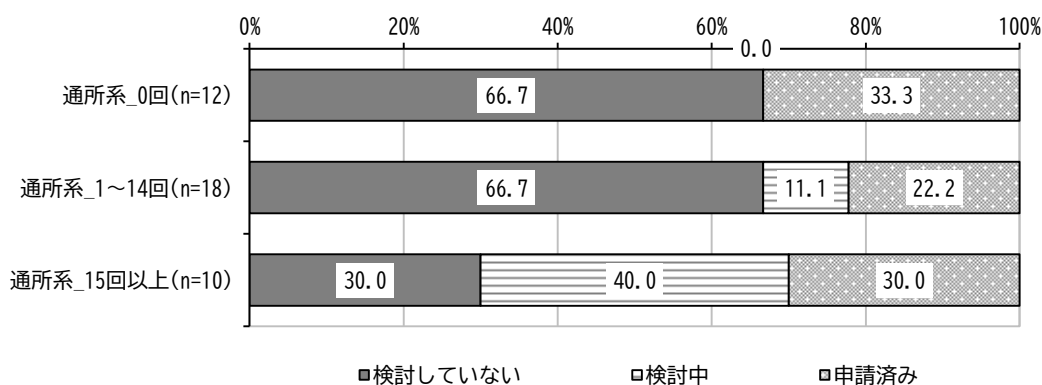
### iv サービス利用回数と施設等検討の状況(通所系、認知症自立度Ⅲ以上)

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系\_0回」では、「検討していない」が66.7%で最も高く、次いで「申請済み」が33.3%となっています。

「通所系\_1~14回」では、「検討していない」が66.7%で最も高く、次いで「申請済み」が22.2%、「検討中」が11.1%となっています。

「通所系\_15回以上」では、「検討中」が40.0%で最も高く、次いで「検討していない」「申請済み」が30.0%となっています。

【図表4-2-1-21 施設等検討の状況(認知症自立度Ⅲ以上) 通所系サービス利用回数別】



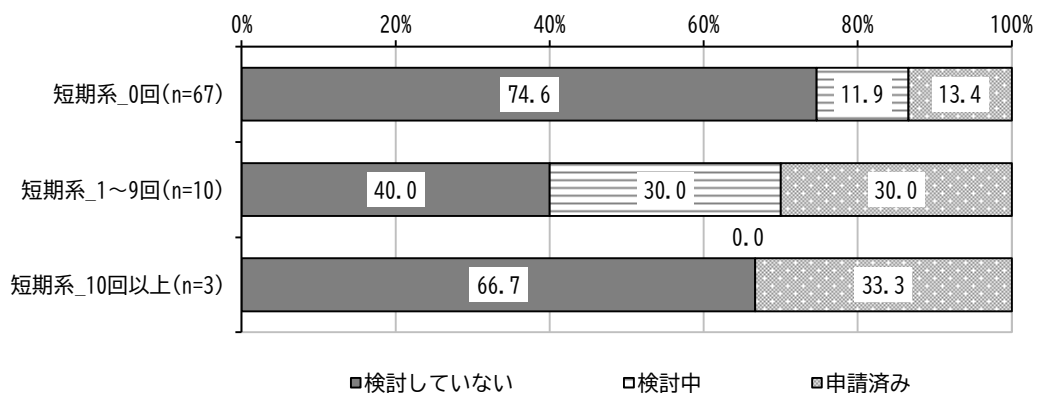
v サービス利用回数と施設等検討の状況(短期系、要介護3以上)

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系\_0回」では、「検討していない」が74.6%で最も高く、次いで「申請済み」が13.4%、「検討中」が11.9%となっています。

「短期系\_1~9回」では、「検討していない」が40.0%で最も高く、次いで「検討中」「申請済み」が30.0%となっています。

「短期系\_10回以上」では、「検討していない」が66.7%で最も高く、次いで「申請済み」が33.3%となっています。

【図表4-2-1-22 施設等検討の状況(要介護3以上) 短期系サービス利用回数別】



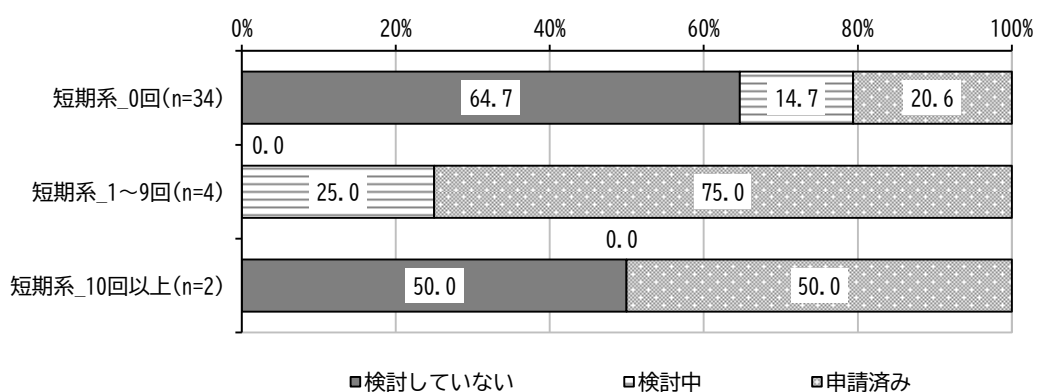
vi サービス利用回数と施設等検討の状況(短期系、認知症自立度Ⅲ以上)

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系\_0回」では、「検討していない」が64.7%で最も高く、次いで「申請済み」が20.6%、「検討中」が14.7%となっています。

「短期系\_1~9回」では、「申請済み」が75.0%で最も高く、次いで「検討中」が25.0%となっています。

「短期系\_10回以上」では、「検討していない」「申請済み」が50.0%で最も高くなっています。

【図表4-2-1-23 施設等検討の状況(認知症自立度Ⅲ以上) 短期系サービス利用回数別】



(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

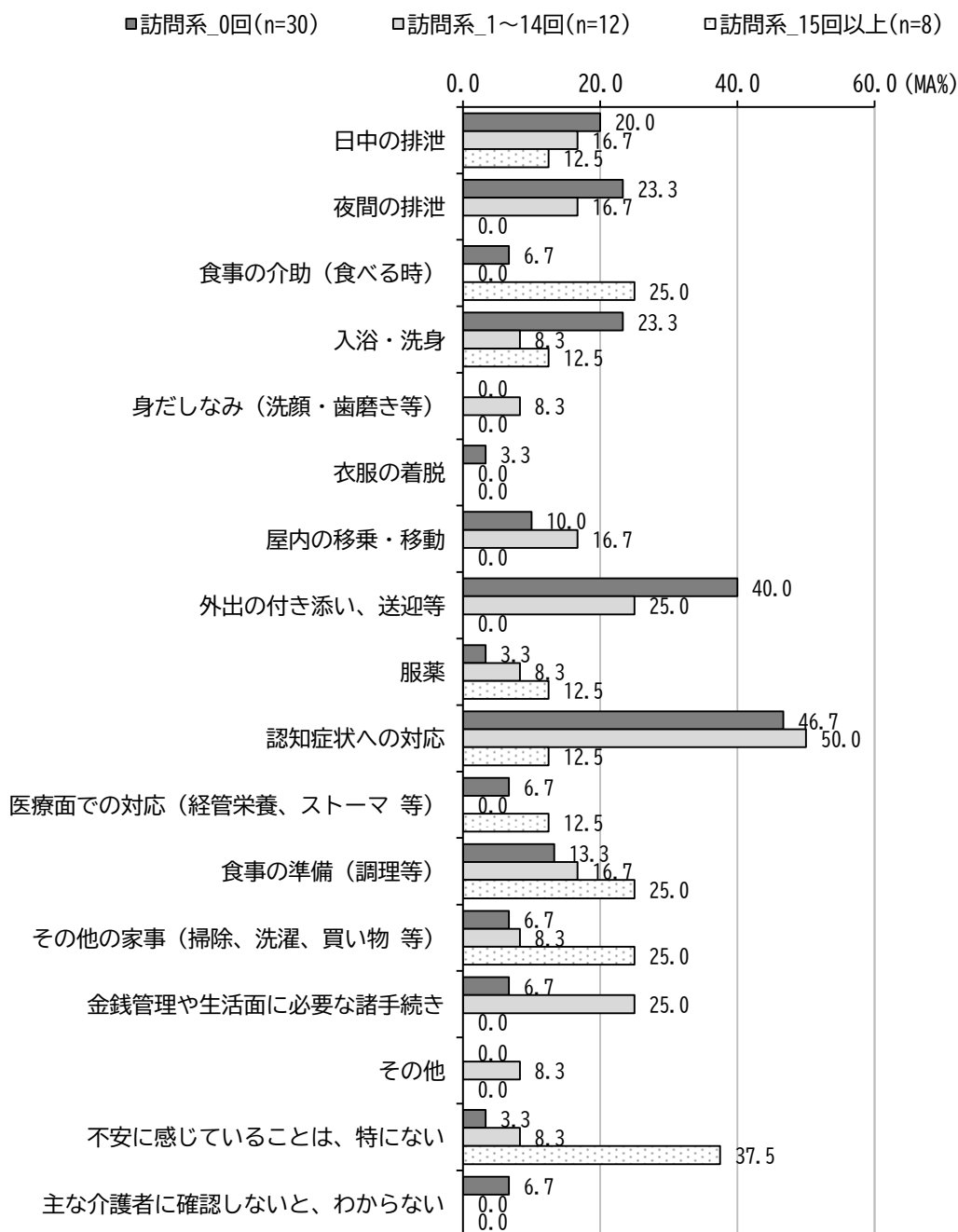
i サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護(訪問系、要介護3以上)

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系\_0回」では、「認知症状への対応」が46.7%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が40.0%、「夜間の排泄」「入浴・洗身」が23.3%となっています。

「訪問系\_1~14回」では、「認知症状への対応」が50.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が25.0%となっています。

「訪問系\_15回以上」では、「不安を感じていることは、特にない」が37.5%で最も高くなっています。

【図表4-2-1-24 介護者が不安を感じる介護(要介護3以上) 訪問系サービス利用回数別】



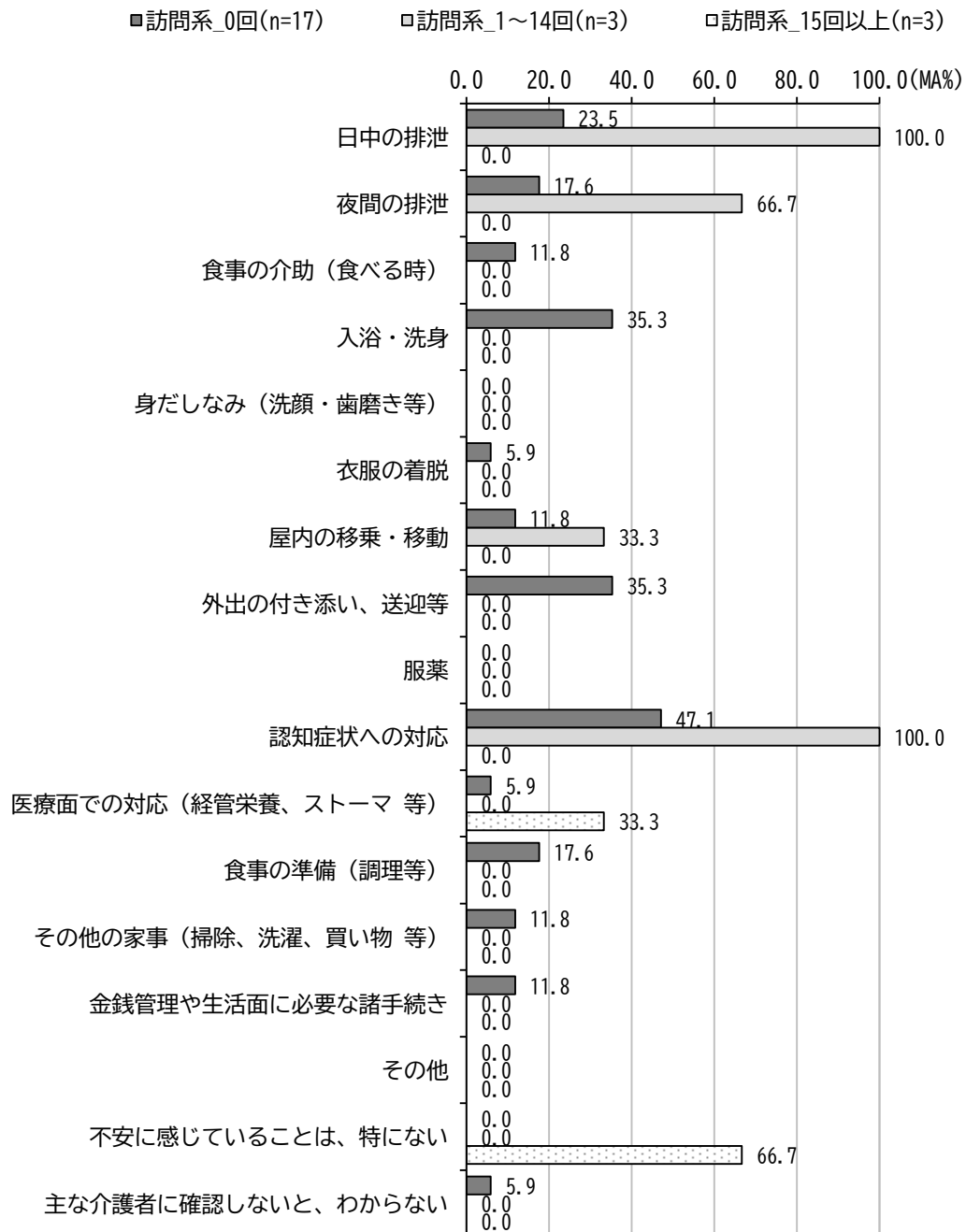
ii サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護(訪問系、認知症自立度Ⅲ以上)

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系\_0回」では、「認知症状への対応」が47.1%で最も高く、次いで「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」が35.3%となっています。

「訪問系\_1~14回」では、「日中の排泄」「認知症状への対応」が100.0%で最も高くなっています。

「訪問系\_15回以上」では、「不安を感じていることは、特にない」が66.7%で最も高く、次いで「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」が33.3%となっています。

【図表4-2-1-25 介護者が不安を感じる介護(認知症自立度Ⅲ以上) 訪問系サービス利用回数別】



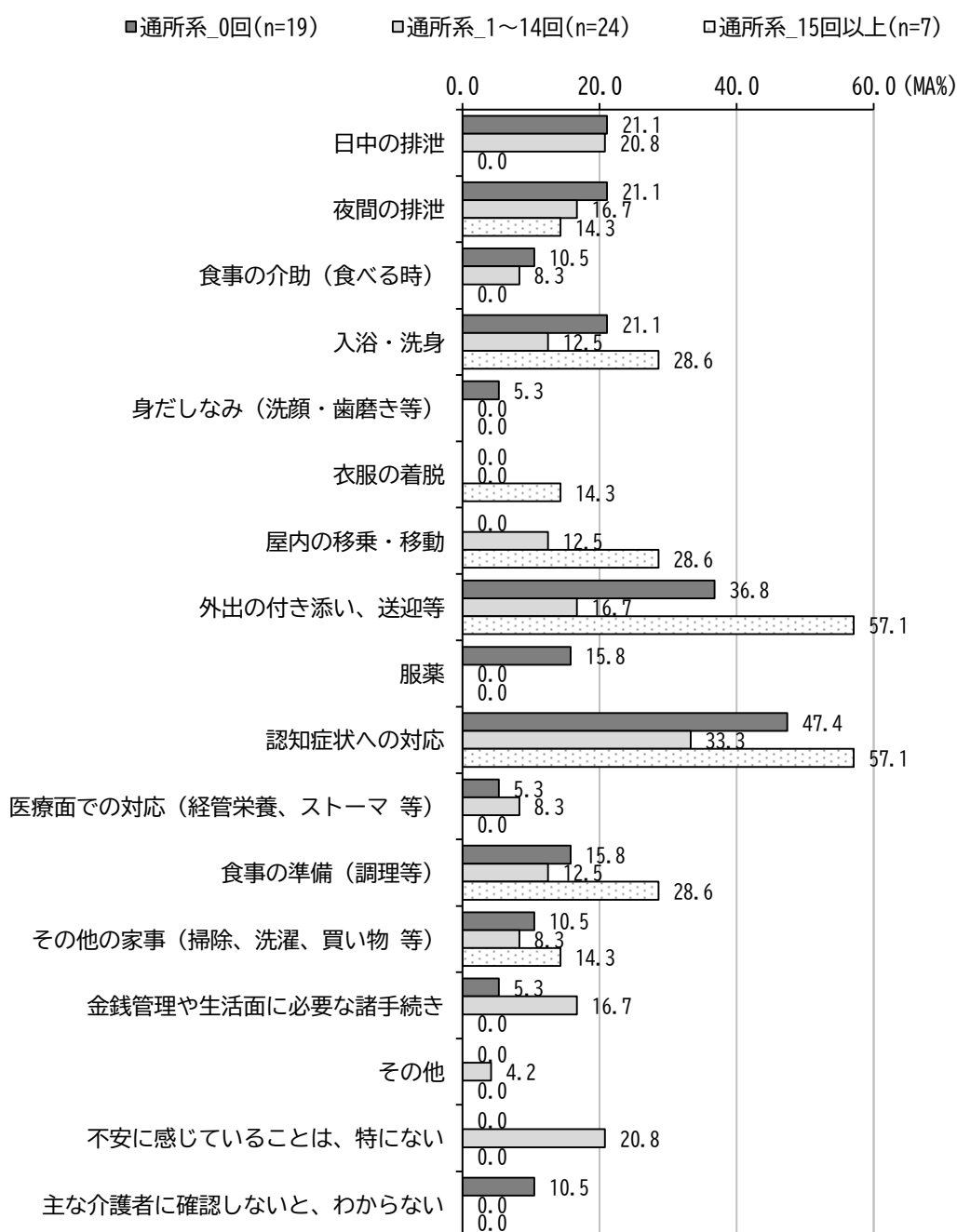
### iii サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護(通所系、要介護3以上)

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系\_0回」では、「認知症状への対応」が47.4%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が36.8%となっています。

「通所系\_1~14回」では、「認知症状への対応」が33.3%で最も高く、次いで「日中の排泄」「不安を感じていることは、特にない」が20.8%となっています。

「通所系\_15回以上」では、「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」が57.1%で最も高くなっています。

【図表4-2-1-26 介護者が不安を感じる介護(要介護3以上) 通所系サービス利用回数別】



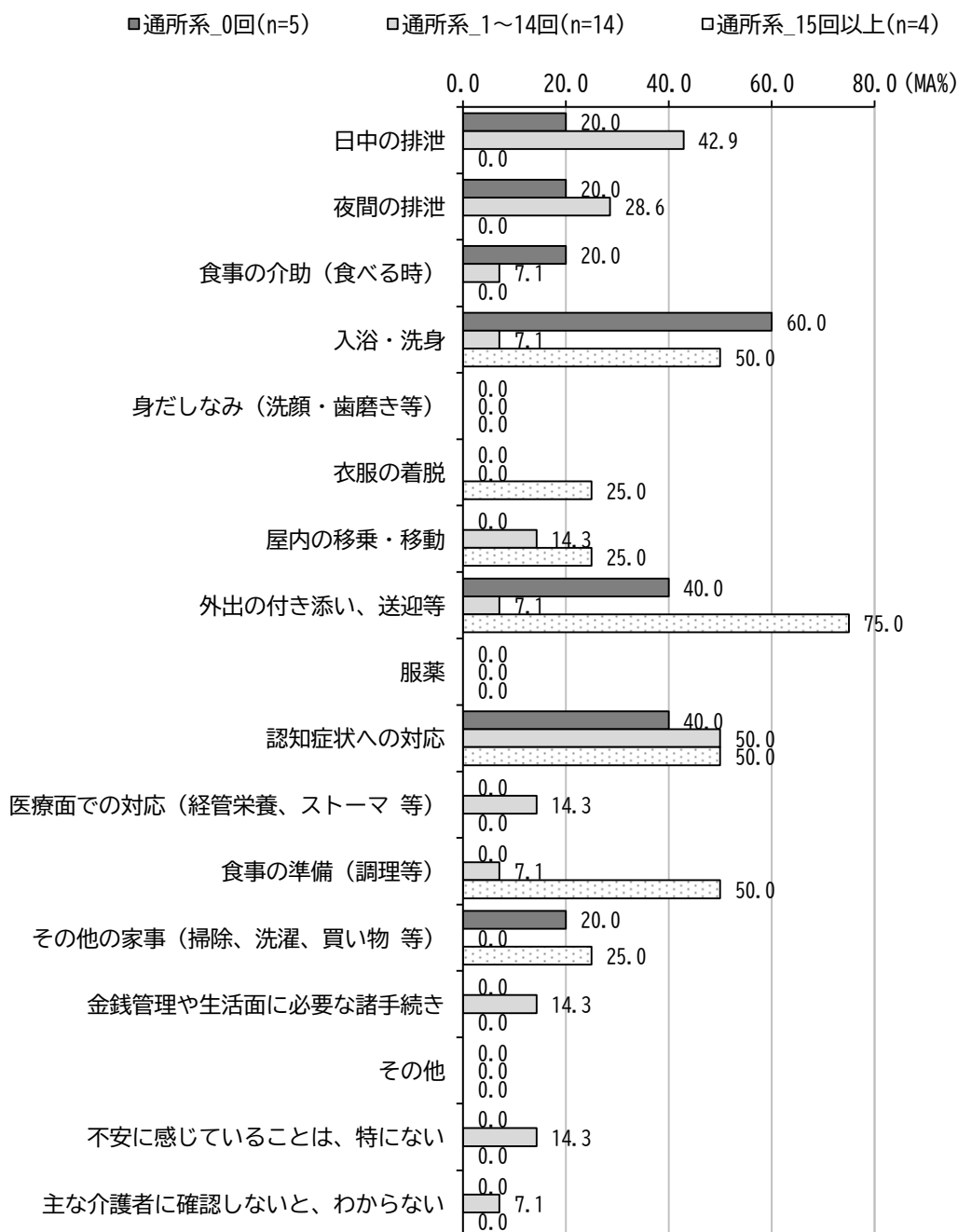
iv サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護(通所系、認知症自立度Ⅲ以上)

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系\_0回」では、「入浴・洗身」が60.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」が40.0%となっています。

「通所系\_1~14回」では、「認知症状への対応」が50.0%で最も高く、次いで「日中の排泄」が42.9%、「夜間の排泄」が28.6%となっています。

「通所系\_15回以上」では、「外出の付き添い、送迎等」が75.0%で最も高くなっています。

【図表4-2-1-27 介護者が不安を感じる介護(認知症自立度Ⅲ以上) 通所系サービス利用回数別】



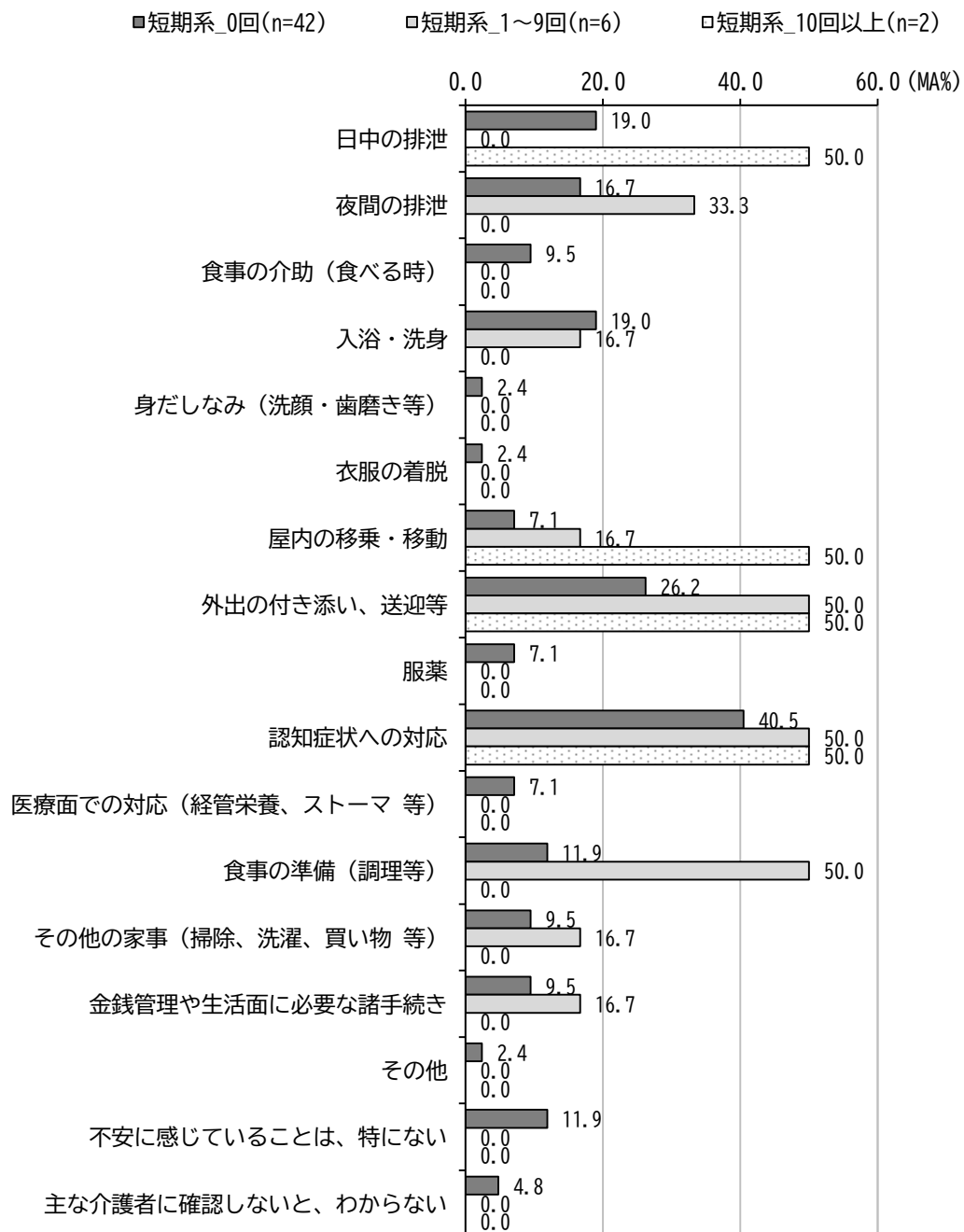
v サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護(短期系、要介護3以上)

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系\_0回」では、「認知症状への対応」が40.5%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が26.2%、「日中の排泄」「入浴・洗身」が19.0%となっています。

「短期系\_1~9回」では、「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「食事の準備(調理等)」が50.0%で最も高くなっています。

「短期系\_10回以上」では、「日中の排泄」「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」が50.0%となっています。

【図表4-2-1-28 介護者が不安を感じる介護(要介護3以上) 短期系サービス利用回数別】



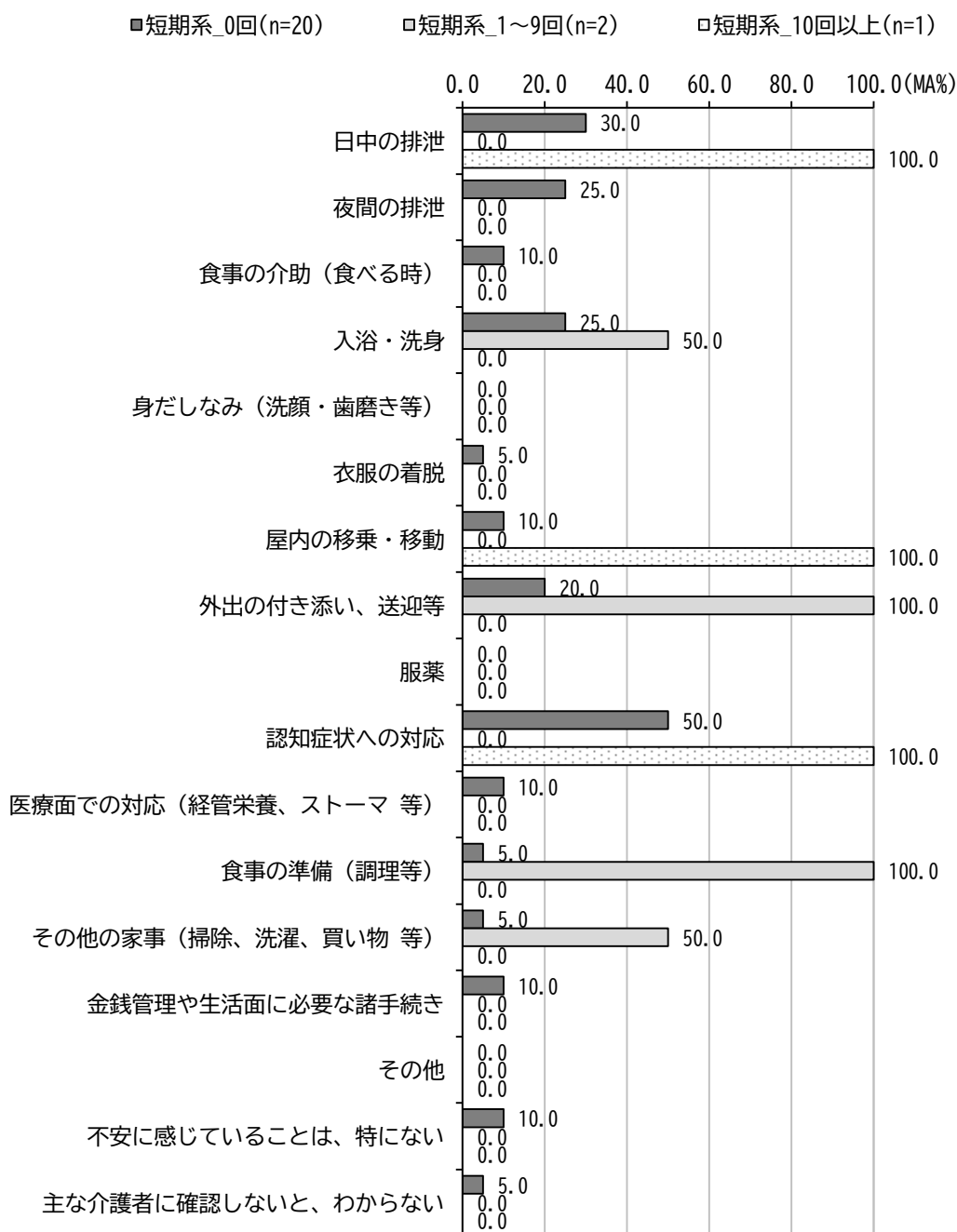
vi サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護(短期系、認知症自立度Ⅲ以上)

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系\_0回」では、「認知症状への対応」が50.0%で最も高く、次いで「日中の排泄」が30.0%、「夜間の排泄」「入浴・洗身」が25.0%となっています。

「短期系\_1～9回」では、「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備(調理等)」が100.0%で最も高くなっています。

「短期系\_10回以上」では、「日中の排泄」「屋内の移乗・移動」「認知症状への対応」が100.0%となっています。

【図表4-2-1-29 介護者が不安を感じる介護(認知症自立度Ⅲ以上) 短期系サービス利用回数別】



## 2. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点からの集計を行っています。

### (1) 基礎集計

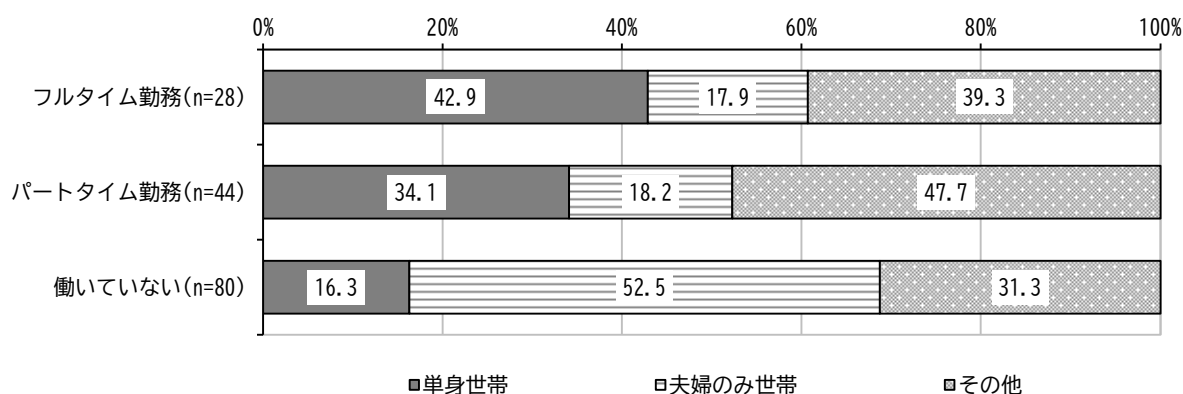
#### i 就労状況別でみる世帯類型

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「単身世帯」が 42.9%で最も高く、次いで「その他」が 39.3%、「夫婦のみ世帯」が 17.9%となっています。

「パートタイム勤務」では、「その他」が 47.7%で最も高く、次いで「単身世帯」が 34.1%、「夫婦のみ世帯」が 18.2%となっています。

「働いていない」では、「夫婦のみ世帯」が 52.5%で最も高く、次いで「その他」が 31.3%、「単身世帯」が 16.3%となっています。

【図表4-2-2-1 世帯類型 就労状況別】



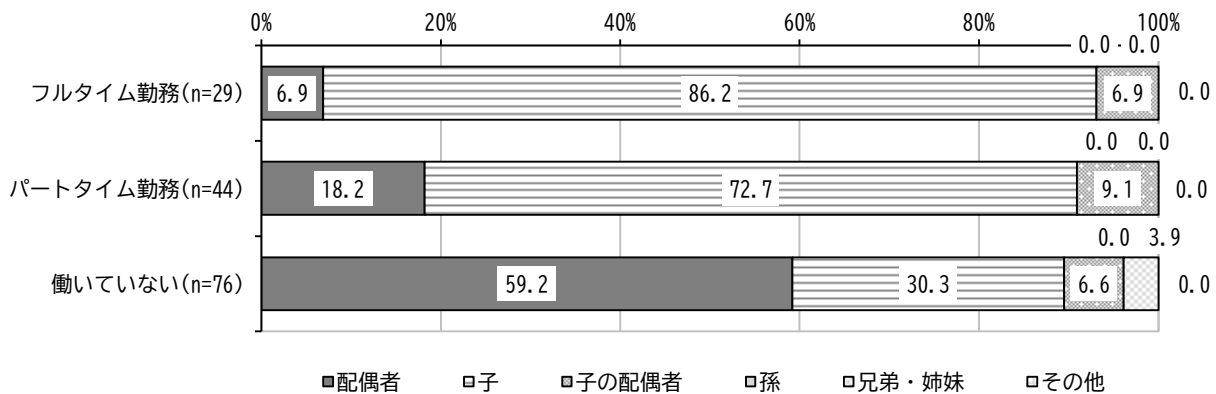
## ii 就労状況別でみる主な介護者の本人との関係

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「子」が86.2%で最も高く、次いで「配偶者」「子の配偶者」が6.9%となっています。

「パートタイム勤務」では、「子」が72.7%で最も高く、次いで「配偶者」が18.2%、「子の配偶者」が9.1%となっています。

「働いていない」では、「配偶者」が59.2%で最も高く、次いで「子」が30.3%、「子の配偶者」が6.6%となっています。

【図表4-2-2-2 主な介護者の本人との関係 就労状況別】



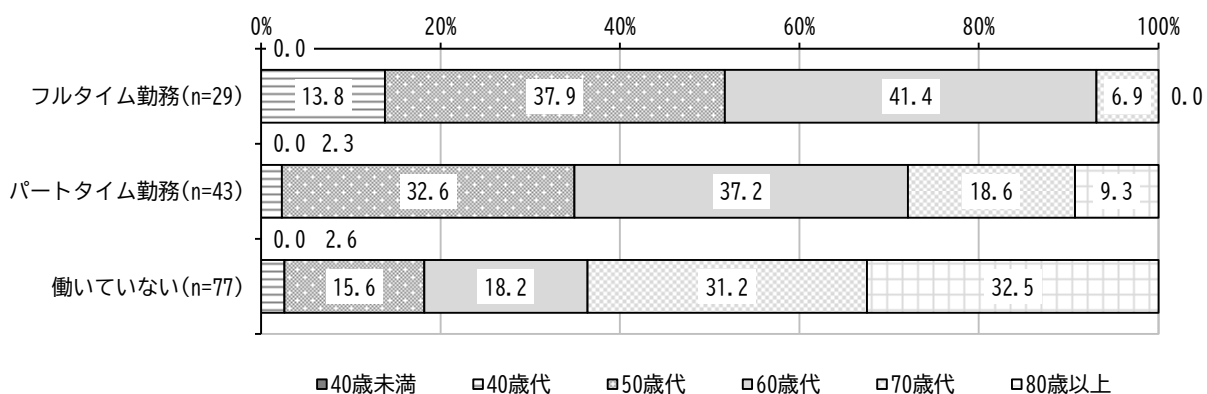
## iii 就労状況別でみる主な介護者の年齢

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「60歳代」が41.4%で最も高く、次いで「50歳代」が37.9%、「40歳代」が13.8%となっています。

「パートタイム勤務」では、「60歳代」が37.2%で最も高く、次いで「50歳代」が32.6%、「70歳代」が18.6%となっています。

「働いていない」では、「80歳以上」が32.5%で最も高く、次いで「70歳代」が31.2%、「60歳代」が18.2%となっています。

【図表4-2-2-3 主な介護者の年齢 就労状況別】



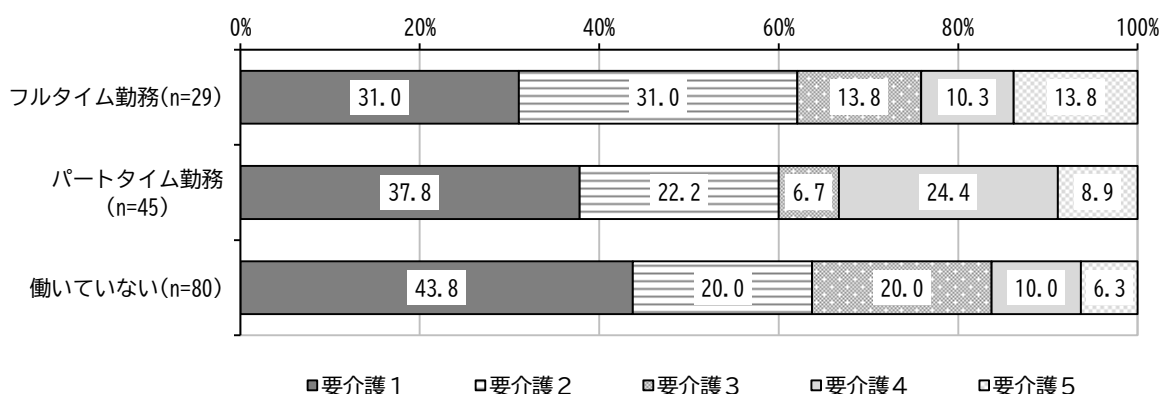
#### iv 就労状況別でみる要介護度

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「要介護1」「要介護2」が 31.0%で最も高く、次いで「要介護3」「要介護5」が 13.8%となっています。

「パートタイム勤務」では、「要介護1」が 37.8%で最も高く、次いで「要介護4」が 24.4%、「要介護2」が 22.2%となっています。

「働いていない」では、「要介護1」が 43.8%で最も高く、次いで「要介護2」「要介護3」が 20.0%となっています。

【図表4-2-2-4 要介護度 就労状況別】



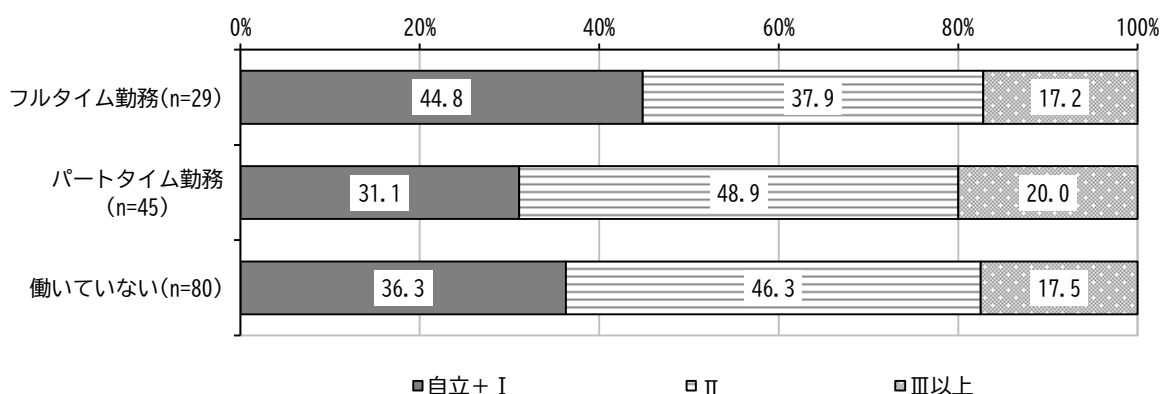
#### v 就労状況別でみる認知症自立度

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「自立+ I」が 44.8%で最も高く、次いで「II」が 37.9%、「III以上」が 17.2%となっています。

「パートタイム勤務」では、「II」が 48.9%で最も高く、次いで「自立+ I」が 31.1%、「III以上」が 20.0%となっています。

「働いていない」では、「II」が 46.3%で最も高く、次いで「自立+ I」が 36.3%、「III以上」が 17.5%となっています。

【図表4-2-2-5 認知症自立度 就労状況別】



## (2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

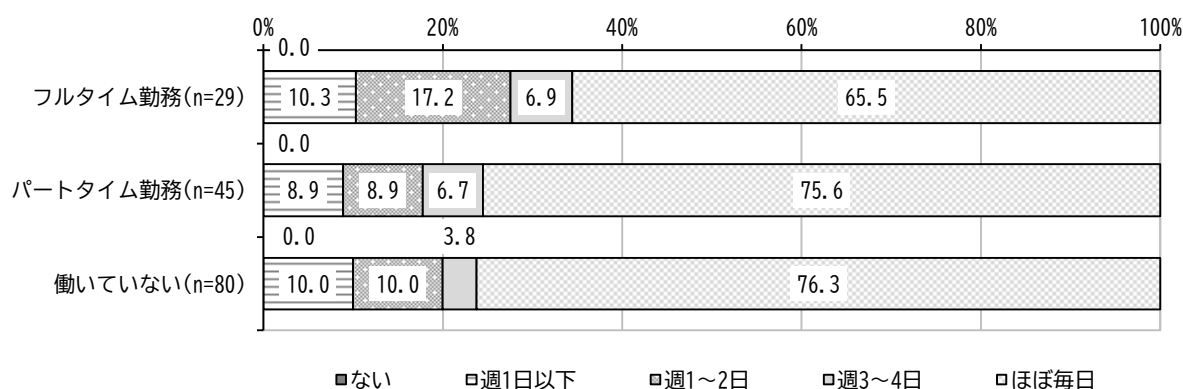
### i 就労状況別でみる家族等による介護の頻度

家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「ほぼ毎日」が 65.5%で最も高く、次いで「週1～2日」が17.2%、「週1日以下」が10.3%となっています。

「パートタイム勤務」では、「ほぼ毎日」が75.6%で最も高く、次いで「週1日以下」「週1～2日」が8.9%、「週3～4日」が6.7%となっています。

「働いていない」では、「ほぼ毎日」が76.3%で最も高く、次いで「週1日以下」「週1～2日」が10.0%、「週3～4日」が3.8%となっています。

【図表4-2-2-6 家族等による介護の頻度 就労状況別】



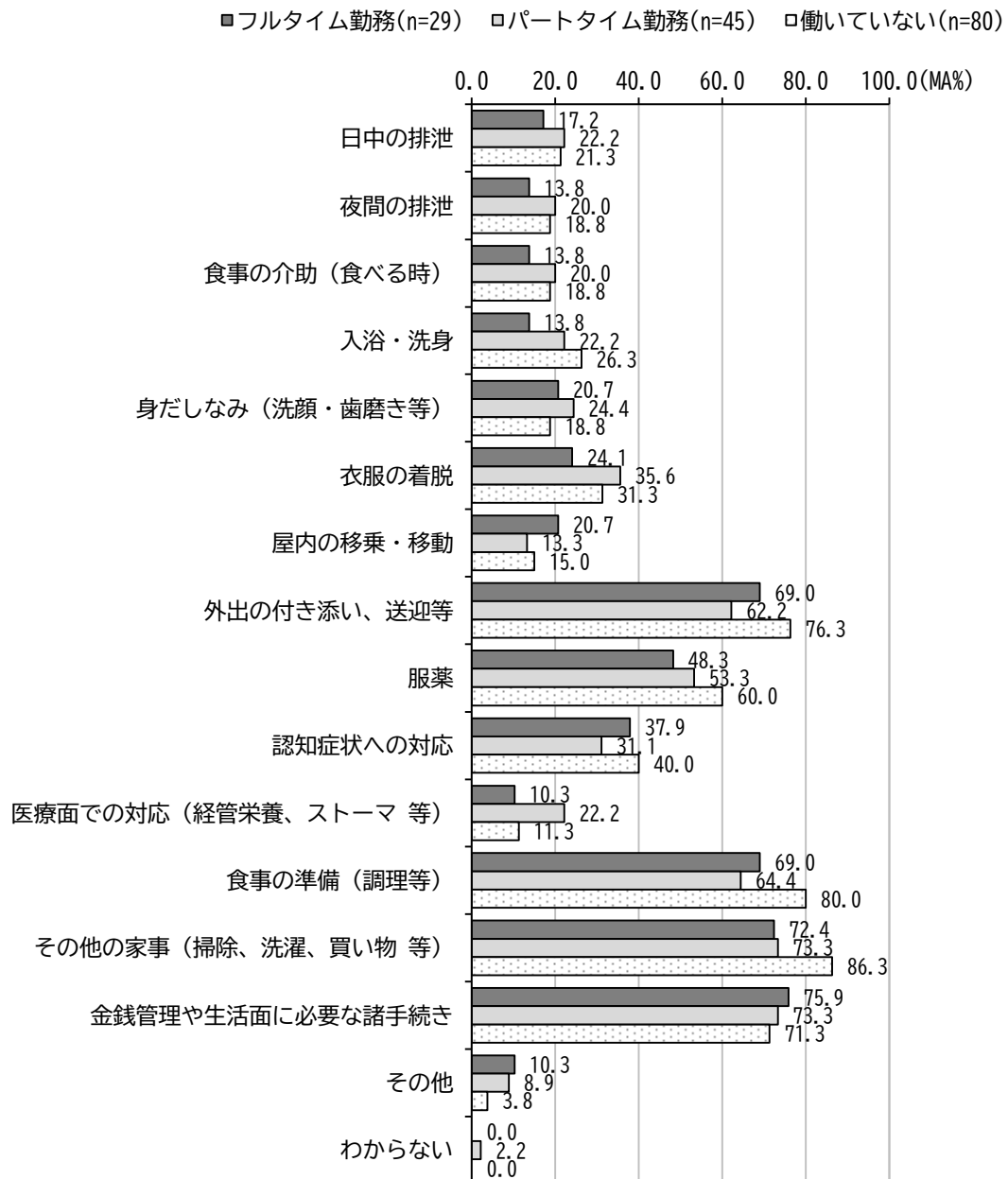
## ii 就労状況別でみる主な介護者が行っている介護

介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が75.9%で最も高く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が72.4%、「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備(調理等)」が69.0%となっています。

「パートタイム勤務」では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が73.3%で最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」が64.4%、「外出の付き添い、送迎等」が62.2%となっています。

「働いていない」では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が86.3%で最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」が80.0%、「外出の付き添い、送迎等」が76.3%となっています。

【図表4-2-2-7 主な介護者が行っている介護 就労状況別】

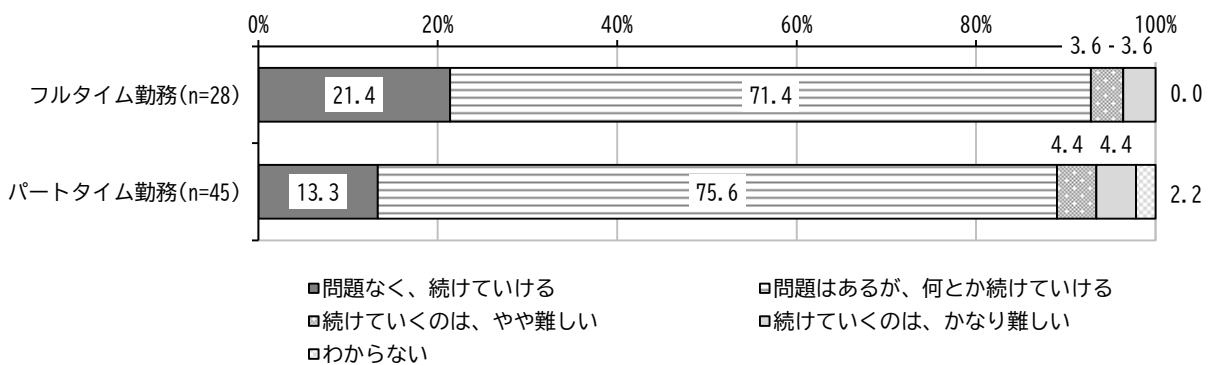


### iii 就労状況別でみる就労継続見込み

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が71.4%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が21.4%、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」が3.6%となっています。

「パートタイム勤務」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が75.6%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が13.3%、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」が4.4%となっています。

【図表4-2-2-8 就労継続見込み 就労状況別】

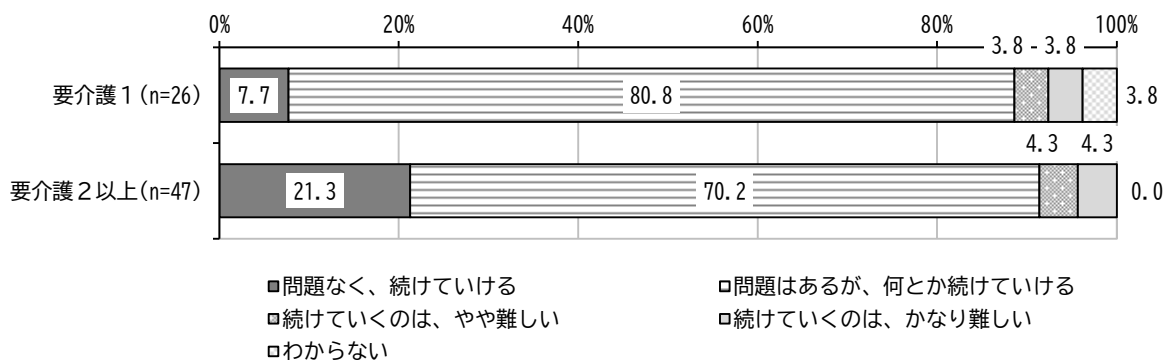


### iv 要介護度別でみる就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要介護1」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が80.8%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が7.7%となっています。

「要介護2以上」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が70.2%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が21.3%、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」が4.3%となっています。

【図表4-2-2-9 就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務) 要介護度別】

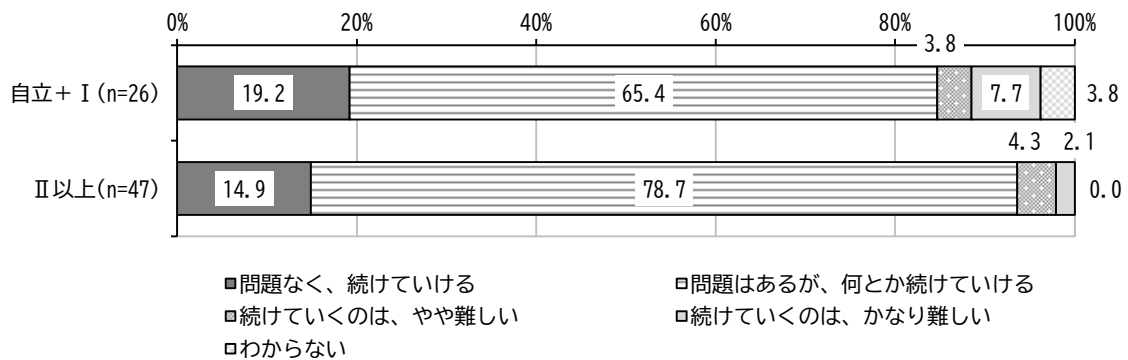


v 認知症自立度別でみる就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+1」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が65.4%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が19.2%、「続けていくのは、かなり難しい」が7.7%となっています。

「認知症自立度Ⅱ以上」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が78.7%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が14.9%、「続けていくのは、やや難しい」が4.3%となっています。

【図表4-2-2-10 就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務) 認知症自立度別】



(3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

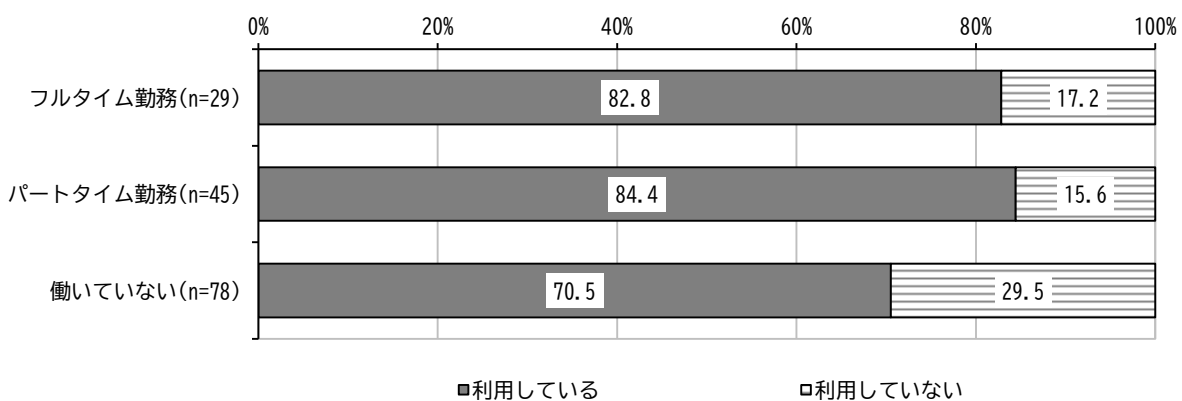
i 就労状況別でみる介護保険サービス利用の有無

介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「利用している」が82.8%、「利用していない」が17.2%となっています。

「パートタイム勤務」では、「利用している」が84.4%、「利用していない」が15.6%となっています。

「働いていない」では、「利用している」が70.5%、「利用していない」が29.5%となっています。

【図表4-2-2-11 介護保険サービス利用の有無 就労状況別】



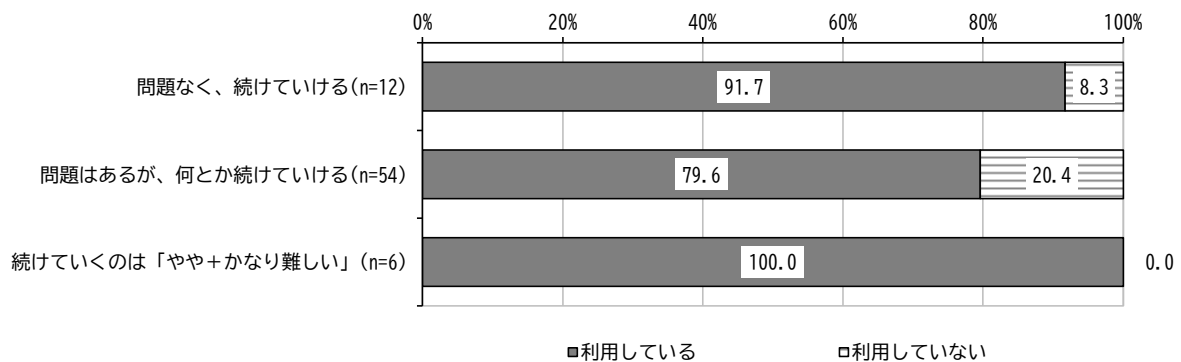
ii 就労継続見込み別でみる介護保険サービス利用の有無(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では、「利用している」が91.7%、「利用していない」が8.3%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では、「利用している」が79.6%で、「利用していない」が20.4%となっています。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では、「利用している」が100.0%となっています。

【図表4-2-2-12 介護保険サービス利用の有無(フルタイム勤務+パートタイム勤務)就労継続見込み別】

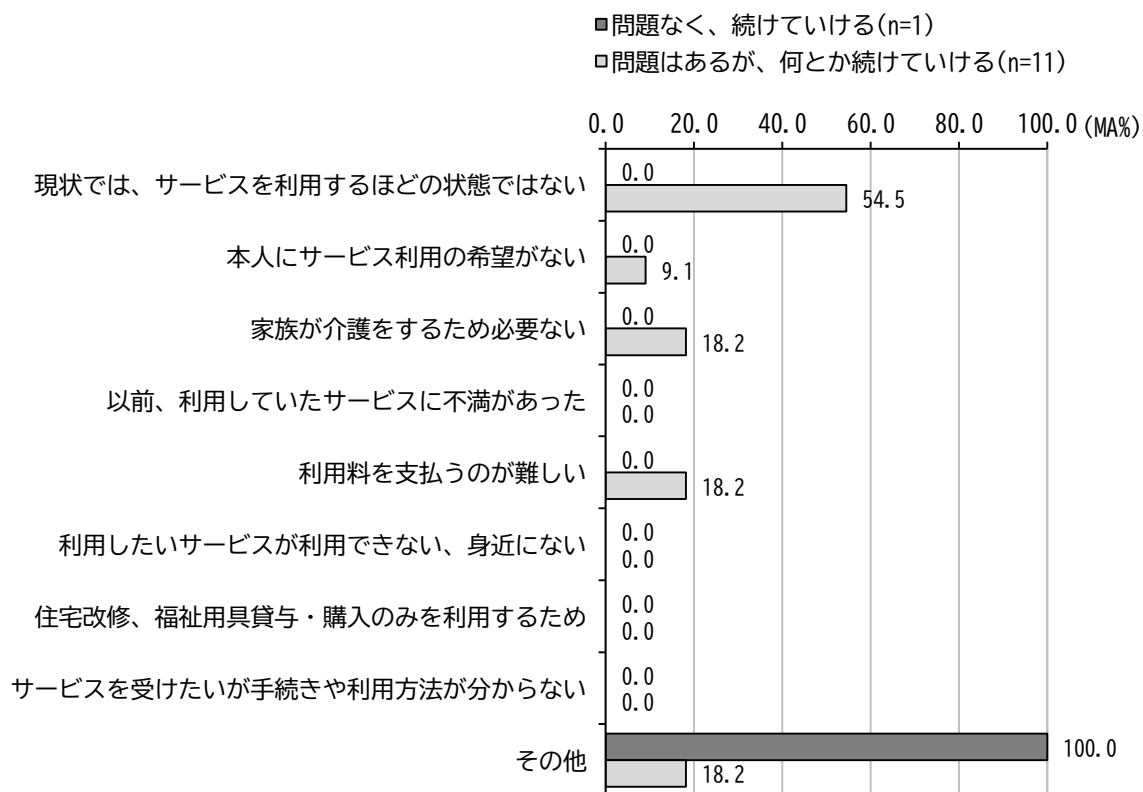


### iii 就労継続見込み別でみるサービス未利用の理由(フルタイム勤務+パート勤務)

未利用の理由を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では、「その他」が100.0%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が54.5%で最も高くなっています。

【図表4-2-2-13 サービス未利用の理由(フルタイム勤務+パート勤務) 就労継続見込み別】



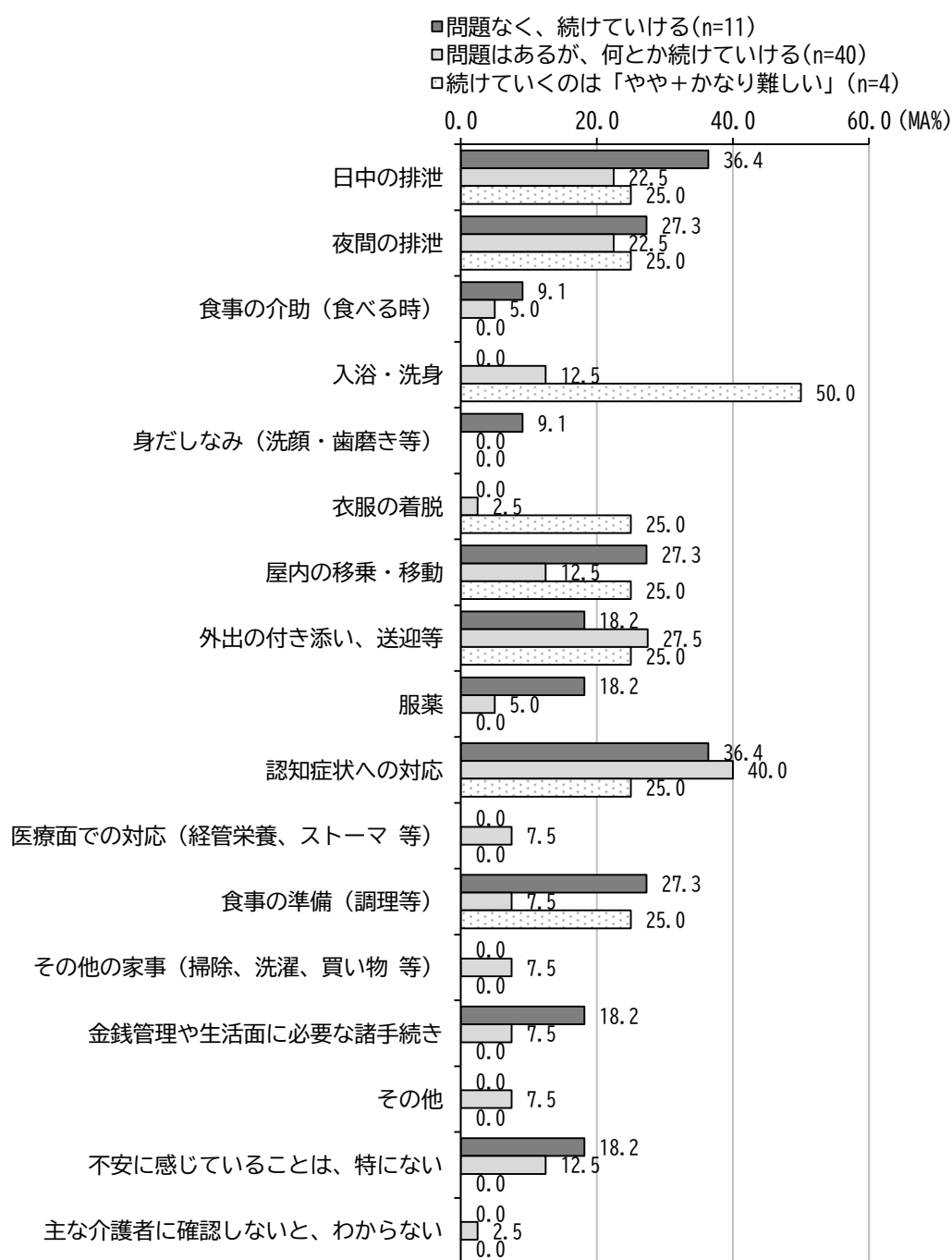
#### iv 就労継続見込み別でみる介護者が不安を感じる介護(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

介護者が不安を感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では、「日中の排泄」「認知症状への対応」が 36.4%で最も高く、次いで「夜間の排泄」「屋内の移乗・移動」「食事の準備(調理等)」が 27.3%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では、「認知症状への対応」が 40.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 27.5%、「日中の排泄」「夜間の排泄」が 22.5%となっています。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では、「入浴・洗身」が 50.0%で最も高くなっています。

【図表4-2-2-14 介護者が不安を感じる介護(フルタイム勤務+パートタイム勤務)就労継続見込み別】



#### (4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

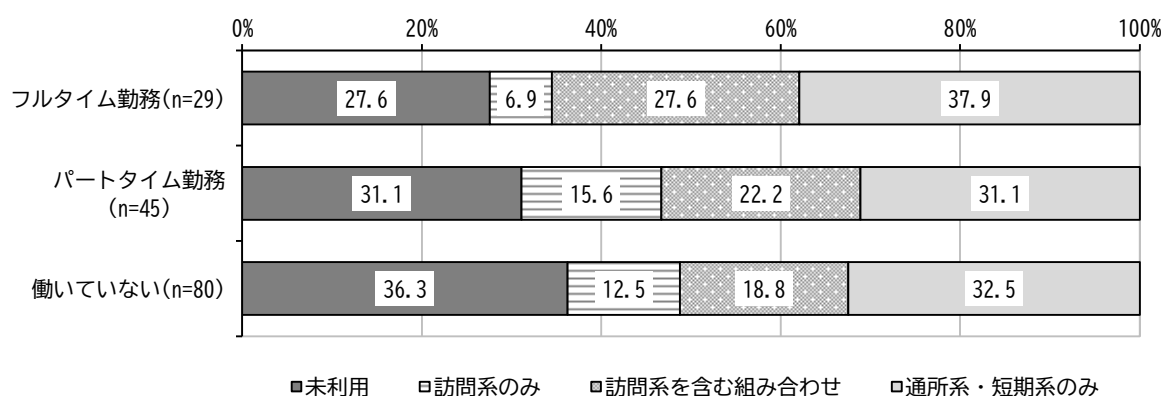
##### i 就労状況別でみるサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「通所系・短期系のみ」が37.9%で最も高く、次いで「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」が27.6%となっています。

「パートタイム勤務」では、「未利用」「通所系・短期系のみ」が31.1%で最も高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が22.2%となっています。

「働いていない」では、「未利用」が36.3%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が32.5%、「訪問系を含む組み合わせ」が18.8%となっています。

【図表4-2-2-15 サービス利用の組み合わせ 就労状況別】

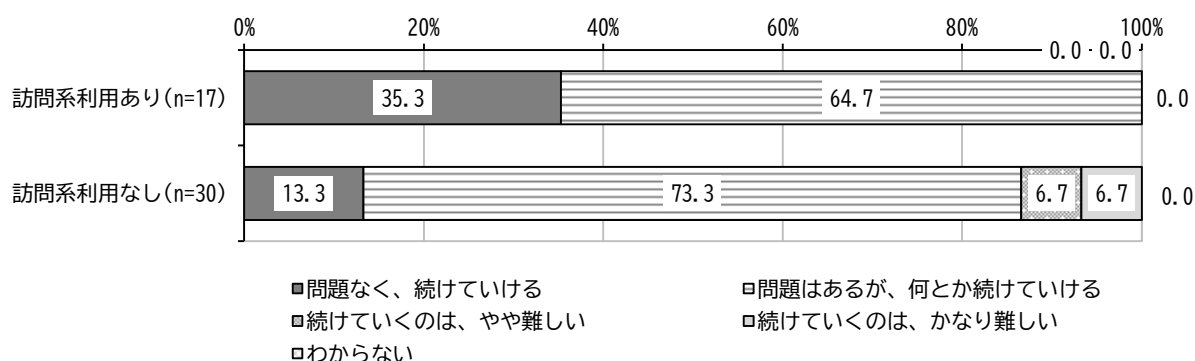


ii サービス利用の組み合わせ別でみる就労継続見込み(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が64.7%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が35.3%となっています。

「訪問系利用なし」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が73.3%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が13.3%となっています。

【図表4-2-2-16 就労継続見込み 訪問系の利用の有無別(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

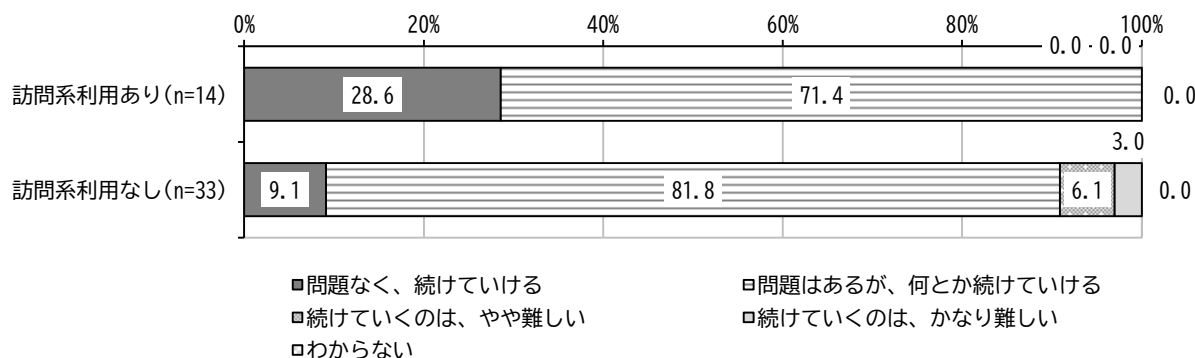


iii サービス利用の組み合わせ別でみる就労継続見込み(認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が71.4%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が28.6%となっています。

「訪問系利用なし」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が81.8%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が9.1%、「続けていくのは、やや難しい」が6.1%となっています。

【図表4-2-2-17 就労継続見込み 訪問系の利用の有無別(認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

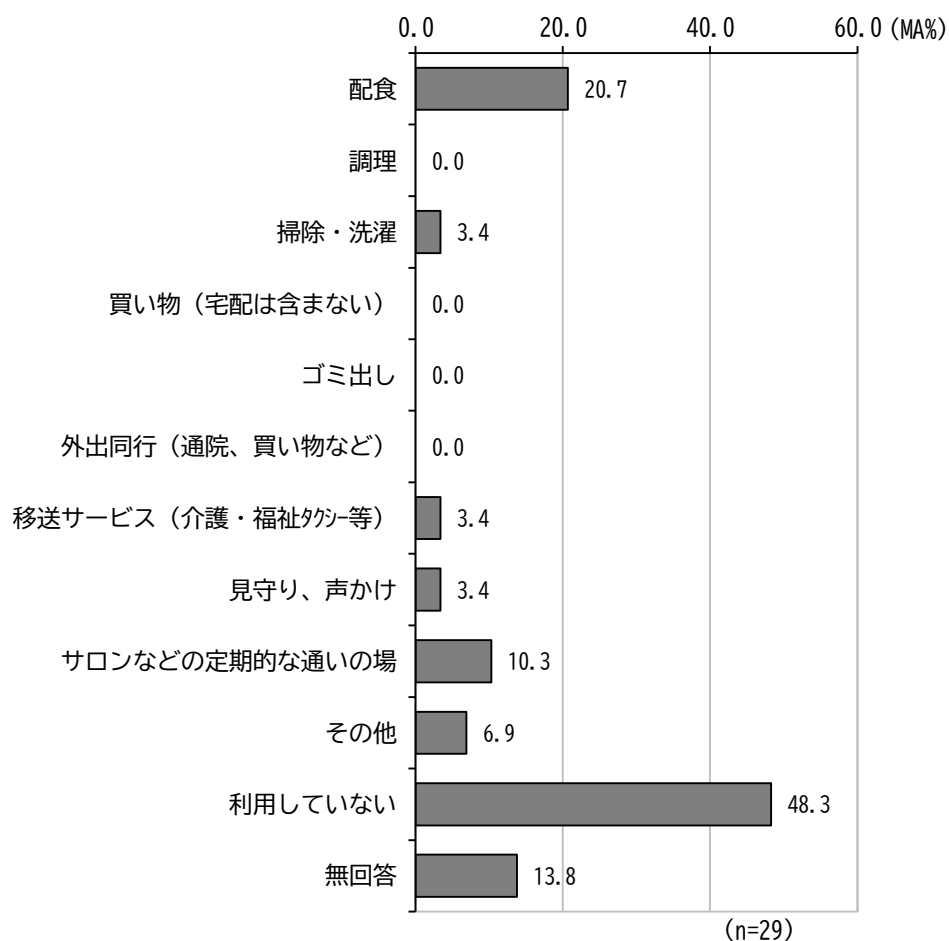


### (5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

#### i 利用している保険外の支援・サービス(フルタイム勤務)

利用している保険外の支援・サービスについて、「利用していない」が 48.3%で最も高く、次いで「配食」が 20.7%、「サロンなどの定期的な通いの場」が 10.3%となっています。

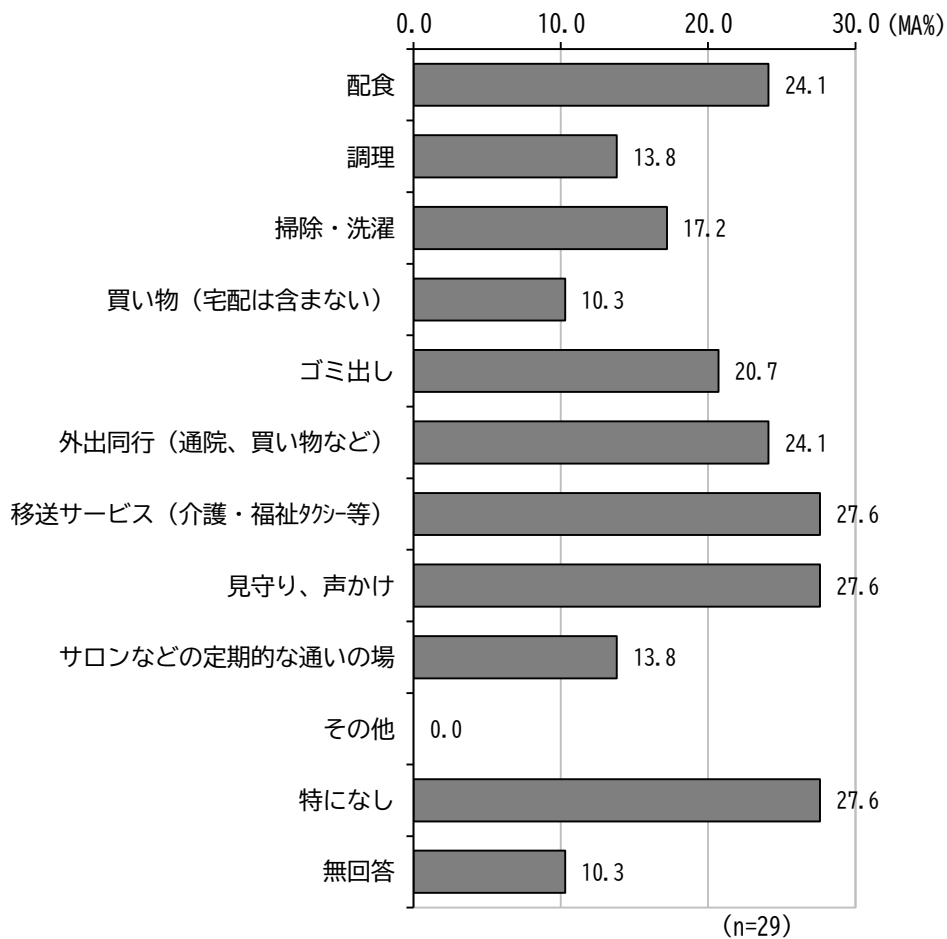
【図表4-2-2-18 利用している保険外の支援・サービス(フルタイム勤務)】



## ii 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(フルタイム勤務)

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「見守り、声かけ」「特になし」が 27.6%で最も高く、次いで「配食」「外出同行(通院、買い物など)」が 24.1%となっています。

【図表4-2-2-19 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(フルタイム勤務)】



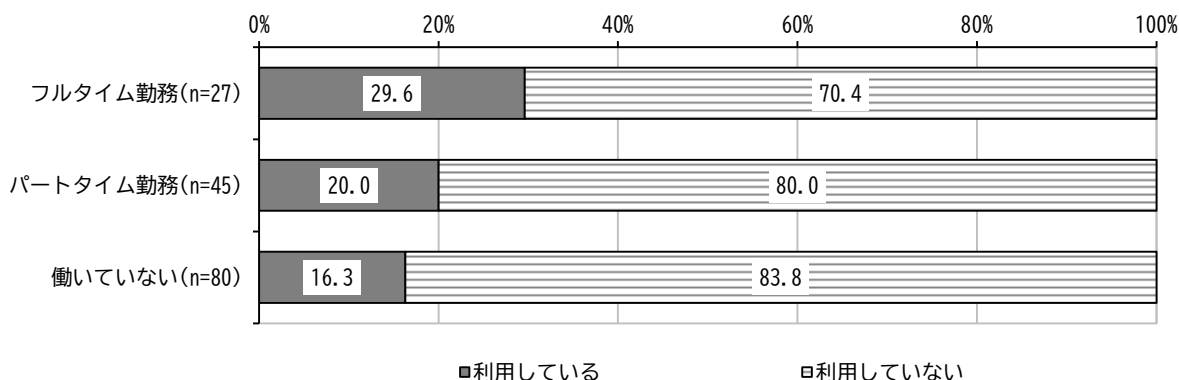
### iii 就労状況別でみる訪問診療の利用の有無

訪問診療の利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「利用している」が29.6%、「利用していない」が70.4%となっています。

「パートタイム勤務」では、「利用している」が20.0%、「利用していない」が80.0%となっています。

「働いていない」では、「利用している」が16.3%、「利用していない」が83.8%となっています。

【図表4-2-2-20 訪問診療の利用の有無 就労状況別】



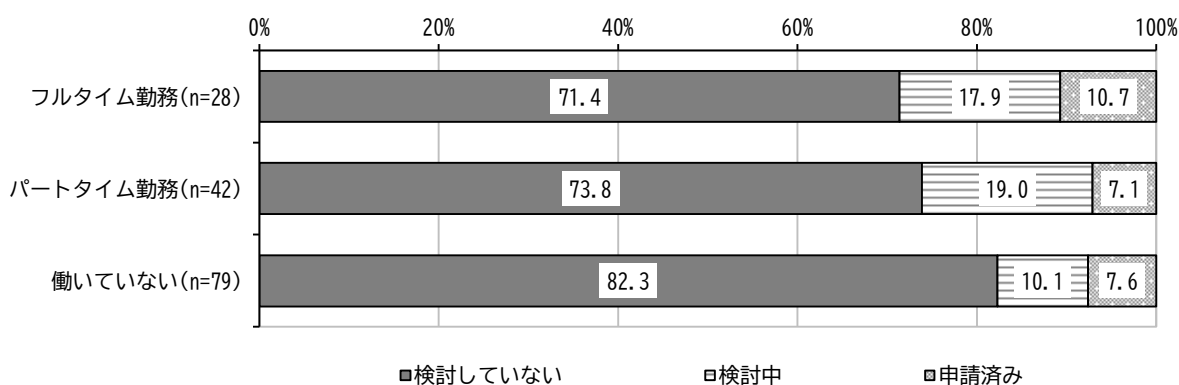
### iv 就労状況別・施設等検討の状況

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「検討していない」が71.4%で最も高く、次いで「検討中」が17.9%、「申請済み」が10.7%となっています。

「パートタイム勤務」では、「検討していない」が73.8%で最も高く、次いで「検討中」が19.0%、「申請済み」が7.1%となっています。

「働いていない」では、「検討していない」が82.3%で最も高く、次いで「検討中」が10.1%、「申請済み」が7.6%となっています。

【図表4-2-2-21 施設等検討の状況 就労状況別】



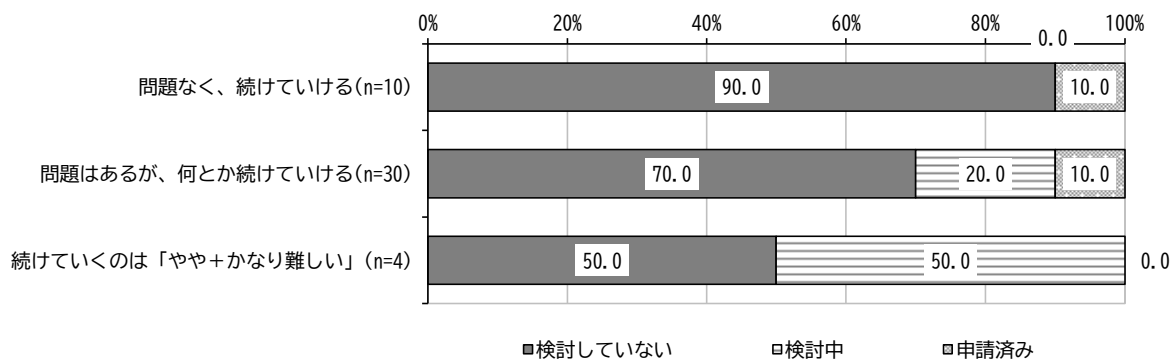
v 就労継続見込み別でみる施設等検討の状況(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では、「検討していない」が90.0%で最も高く、次いで「申請済み」が10.0%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では、「検討していない」が70.0%で最も高く、次いで「検討中」が20.0%、「申請済み」が10.0%となっています。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では、「検討していない」「検討中」が50.0%となっています。

【図表4-2-2-22 施設等検討の状況(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)就労継続見込み別】



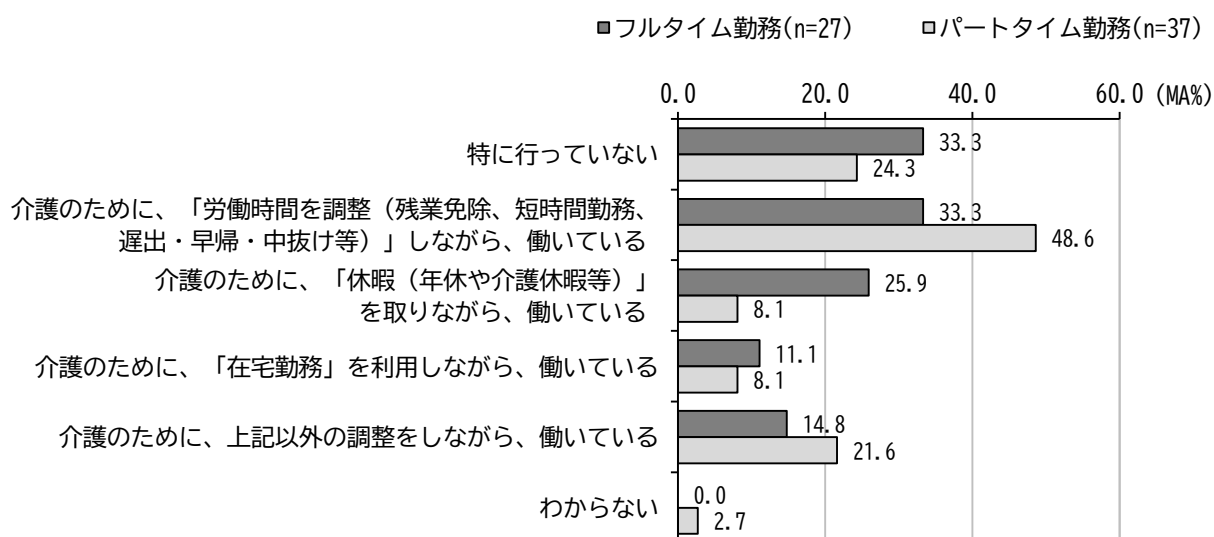
## (6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

### i 就労状況別でみる介護のための働き方の調整

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「特に行っていない」「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が33.3%で最も高く、次いで「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が25.9%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」となっています。

「パートタイム勤務」では、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が48.6%で最も高く、次いで「特に行っていない」が24.3%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が21.6%となっています。

【図表4-2-2-23 介護のための働き方の調整 就労状況別】



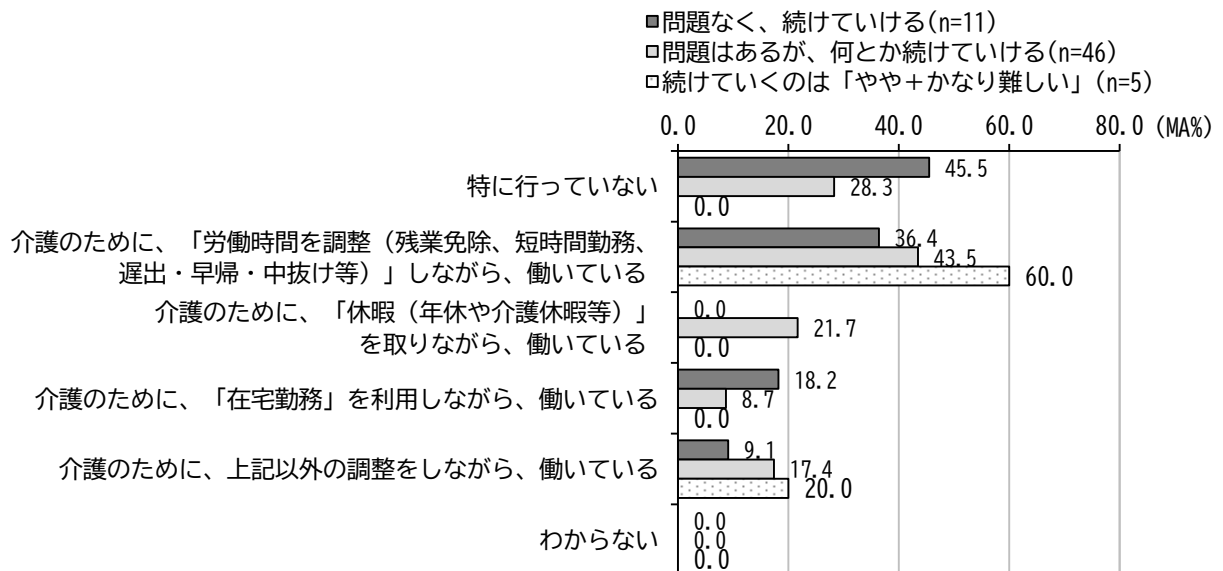
ii 就労継続見込み別でみる介護のための働き方の調整(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では、「特に行っていない」が 45.5%で最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が 36.4%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が 18.2%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が 43.5%で最も高く、次いで「特に行っていない」が 28.3%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が 21.7%となっています。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が 60.0%で最も高く、次いで「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が 20.0%となっています。

【図表4-2-2-24 介護のための働き方の調整(フルタイム勤務+パートタイム勤務) 就労継続見込み別】

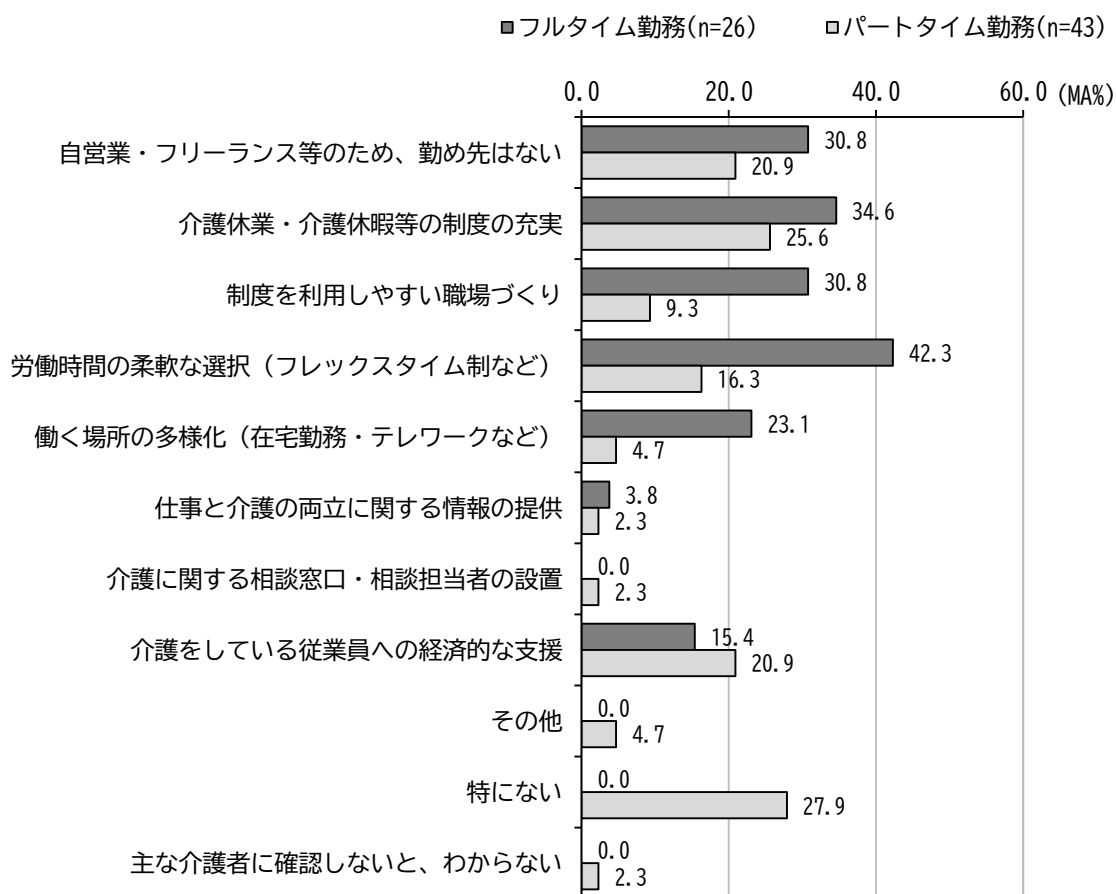


### iii 就労状況別でみる効果的な勤め先からの支援

効果的な勤め先からの支援を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が42.3%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.6%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が30.8%となっています。

「パートタイム勤務」では、「特にない」が27.9%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が25.6%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」「介護をしている従業員への経済的な支援」が20.9%となっています。

【図表4-2-2-25 効果的な勤め先からの支援 就労状況別】



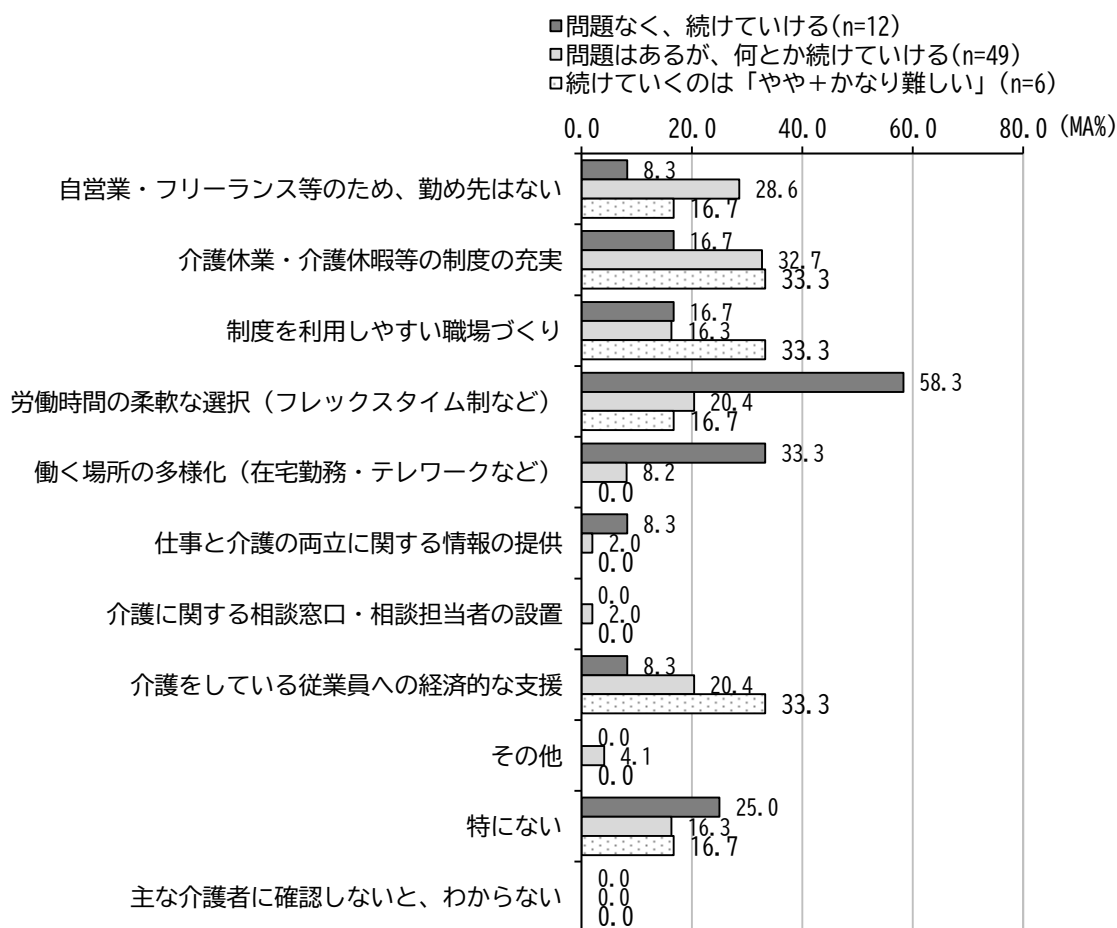
#### iv 就労継続見込み別でみる効果的な勤め先からの支援(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

効果的な勤め先からの支援を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が 58.3%で最も高く、次いで「働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)」が 33.3%、「特にない」が 25.0%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 32.7%で最も高く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が 28.6%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」「介護をしている従業員への経済的な支援」が 20.4%となっています。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「介護をしている従業員への経済的な支援」が 33.3%で最も高くなっています。

【図表4-2-2-26 効果的な勤め先からの支援(フルタイム勤務+パートタイム勤務) 就労継続見込み別】



### 3. 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

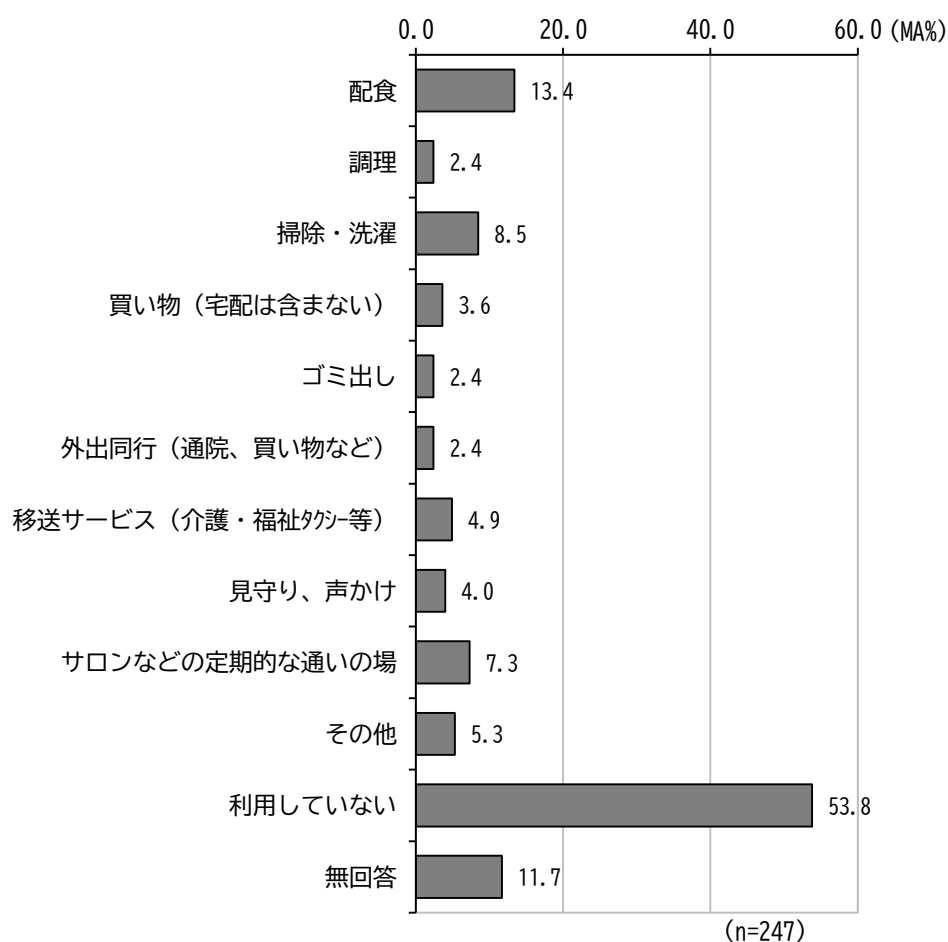
ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。

#### (1) 基礎集計

##### i 保険外の支援・サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」が 53.8%で最も高く、次いで「配食」が 13.4%、「掃除・洗濯」が 8.5%となっています。

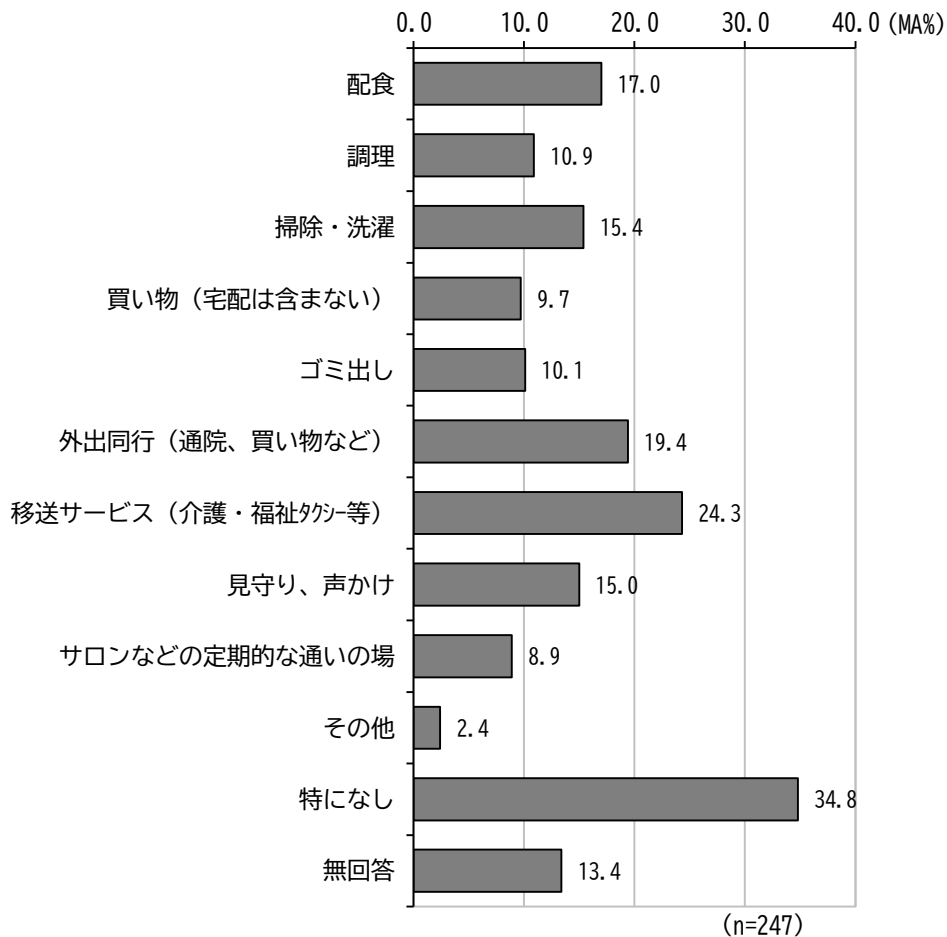
【図表4-2-3-1 保険外の支援・サービスの利用状況】



## ii 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「特になし」が 34.8%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 24.3%、「外出同行(通院、買い物など)」が 19.4%となっています。

【図表4-2-3-2 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】



## (2)世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

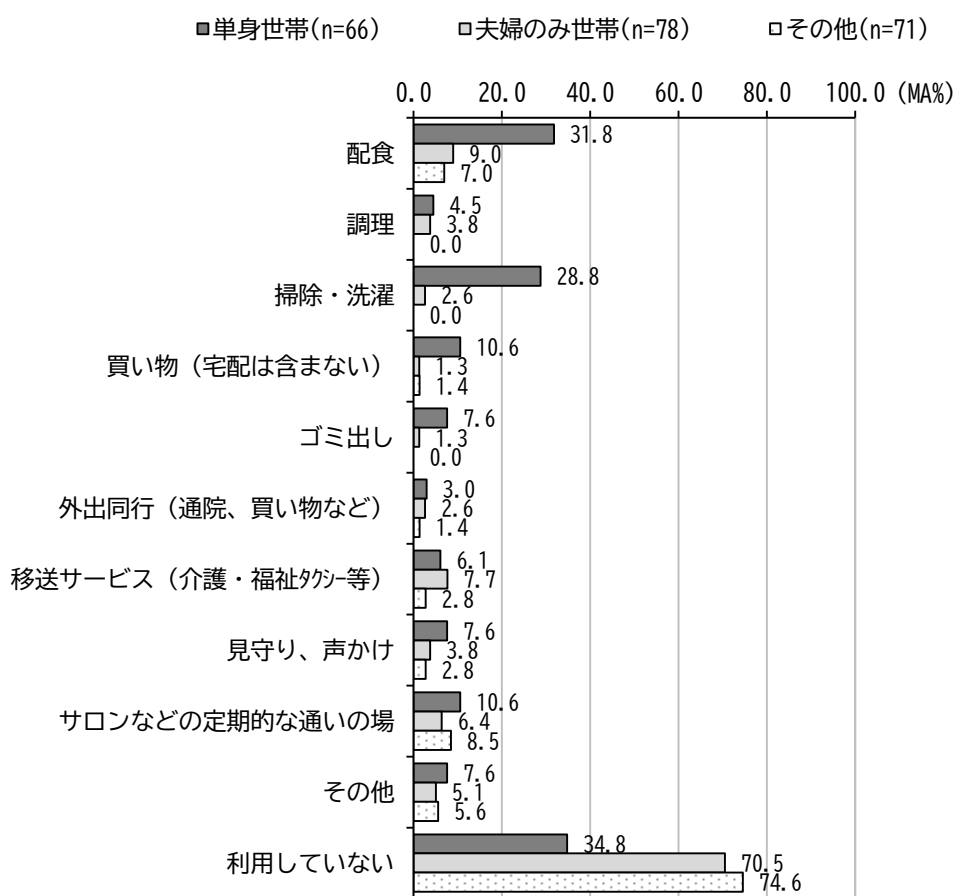
### i 世帯類型別でみる保険外の支援・サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「利用していない」が34.8%で最も高く、次いで「配食」が31.8%、「掃除・洗濯」が28.8%となっています。

「夫婦のみ世帯」では、「利用していない」が70.5%で最も高く、次いで「配食」が9.0%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が7.7%となっています。

「その他」では、「利用していない」が74.6%で最も高く、次いで「サロンなどの定期的な通いの場」が8.5%、「配食」が7.0%となっています。

【図表4-2-3-3 保険外の支援・サービスの利用状況 世帯類型別】



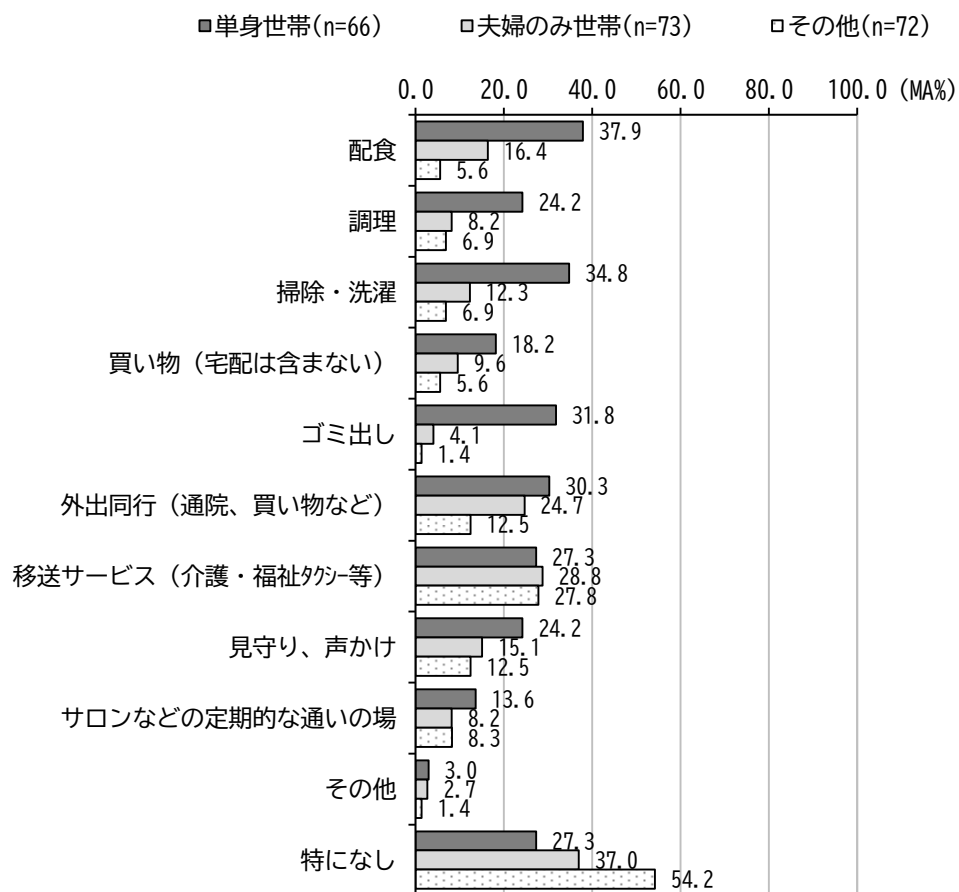
## ii 世帯類型別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「配食」が 37.9%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が 34.8%、「ゴミ出し」が 31.8%となっています。

「夫婦のみ世帯」では、「特になし」が 37.0%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 28.8%、「外出同行(通院、買い物など)」が 24.7%となっています。

「その他」では、「特になし」が 54.2%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 27.8%、「外出同行(通院、買い物など)」「見守り、声かけ」が 12.5%となっています。

【図表4-2-3-4 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 世帯類型別】



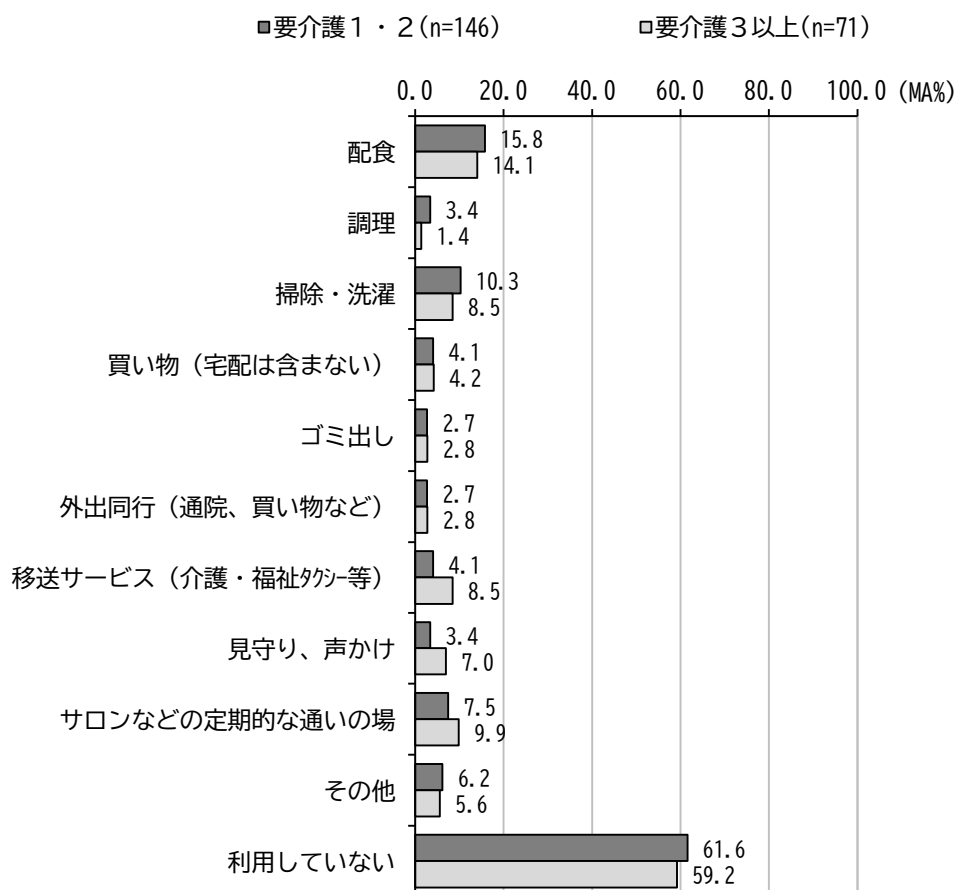
### (3) 「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

#### i 要介護度別でみる保険外の支援・サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「利用していない」が61.6%で最も高く、次いで「配食」が15.8%、「掃除・洗濯」が10.3%となっています。

「要介護3以上」では、「利用していない」が59.2%で最も高く、次いで「配食」が14.1%、「サロンなどの定期的な通いの場」が9.9%となっています。

【図表4-2-3-5 保険外の支援・サービスの利用状況 要介護度別】

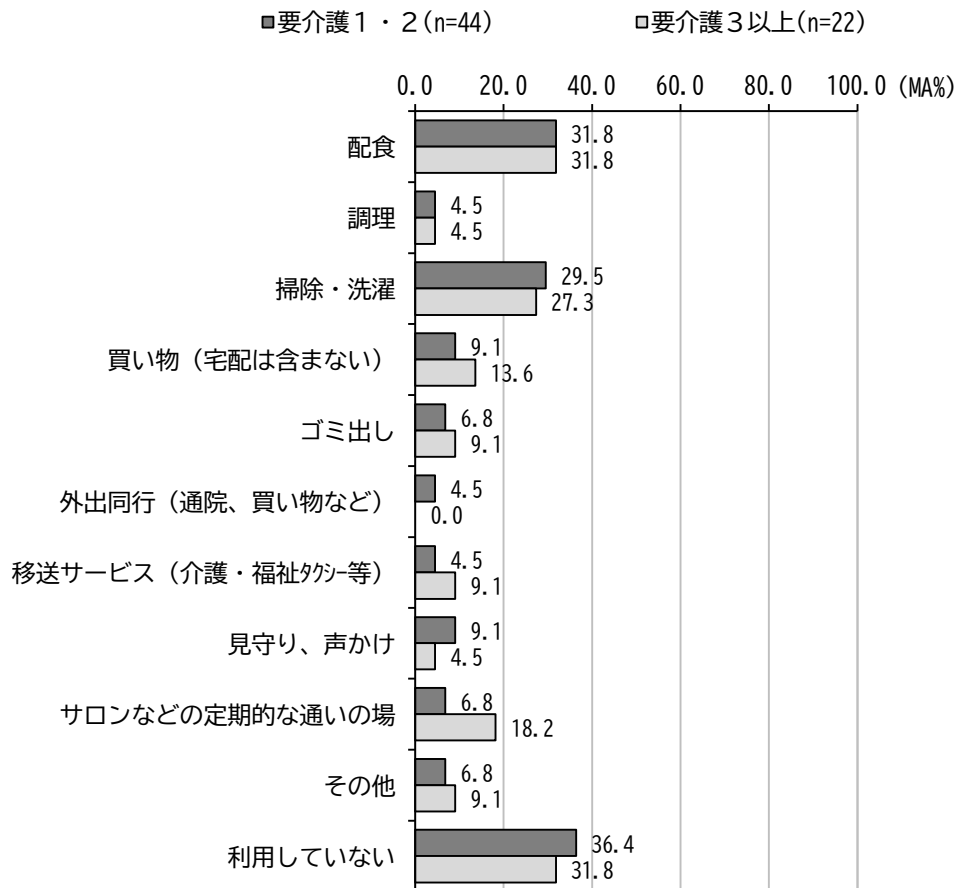


ii 要介護度別でみる保険外の支援・サービスの利用状況(単身世帯)

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「利用していない」が36.4%で最も高く、次いで「配食」が31.8%、「掃除・洗濯」が29.5%となっています。

「要介護3以上」では、「配食」「利用していない」が31.8%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が27.3%となっています。

【図表4-2-3-6 保険外の支援・サービスの利用状況(単身世帯) 要介護度別】

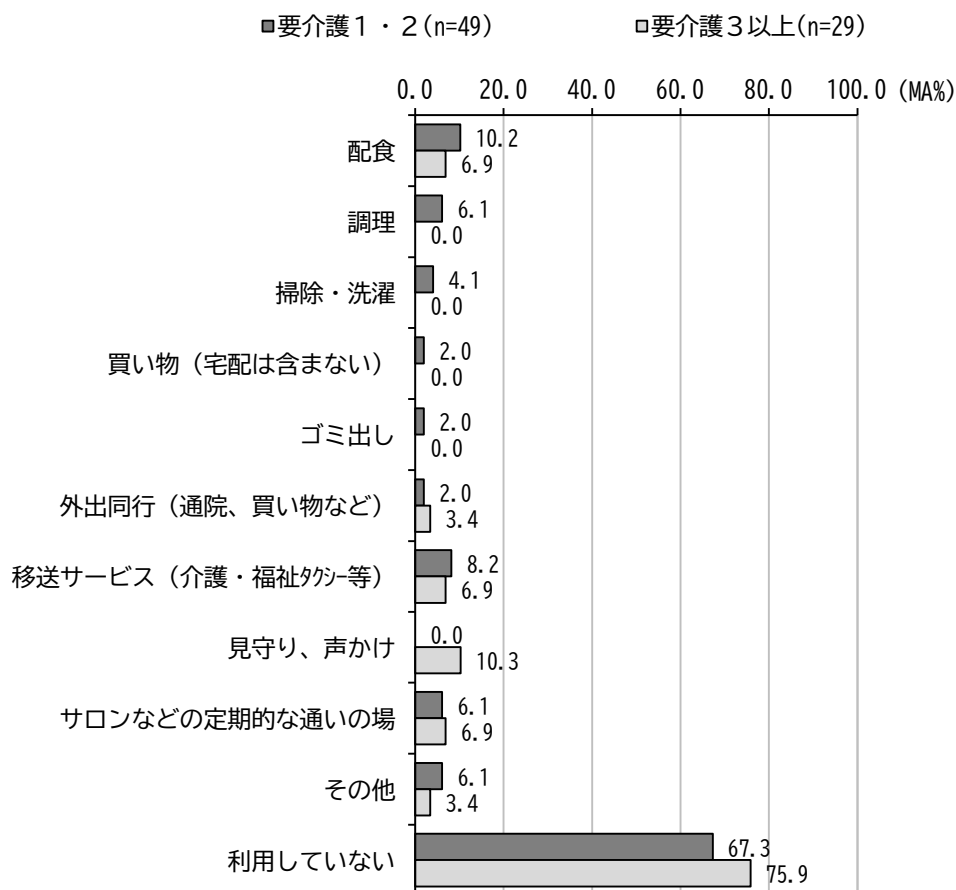


### iii 要介護度別でみる保険外の支援・サービスの利用状況(夫婦のみ世帯)

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「利用していない」が67.3%で最も高く、次いで「配食」が10.2%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が8.2%となっています。

「要介護3以上」では、「利用していない」が75.9%で最も高く、次いで「見守り、声かけ」が10.3%となっています。

【図表4-2-3-7 保険外の支援・サービスの利用状況(夫婦のみ世帯) 要介護度別】

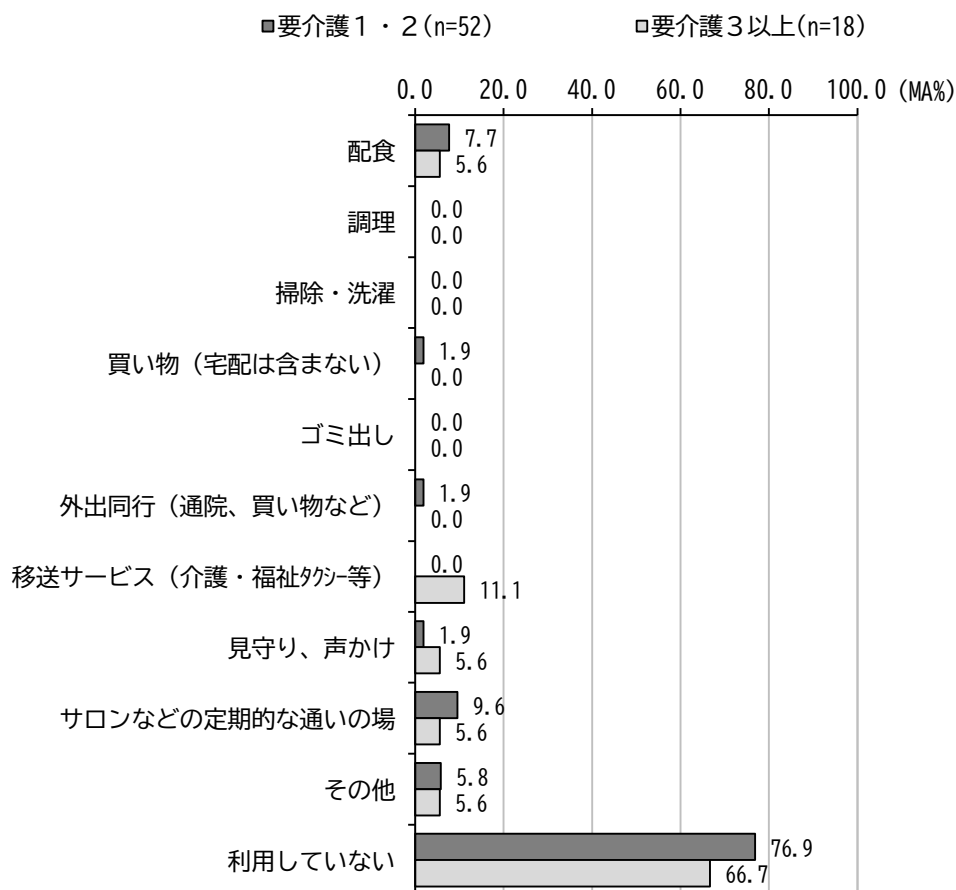


#### iv 要介護度別でみる保険外の支援・サービスの利用状況(その他世帯)

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「利用していない」が76.9%で最も高く、次いで「サロンなどの定期的な通いの場」が9.6%、「配食」が7.7%となっています。

「要介護3以上」では、「利用していない」が66.7%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が11.1%となっています。

【図表4-2-3-8 保険外の支援・サービスの利用状況(その他世帯) 要介護度別】



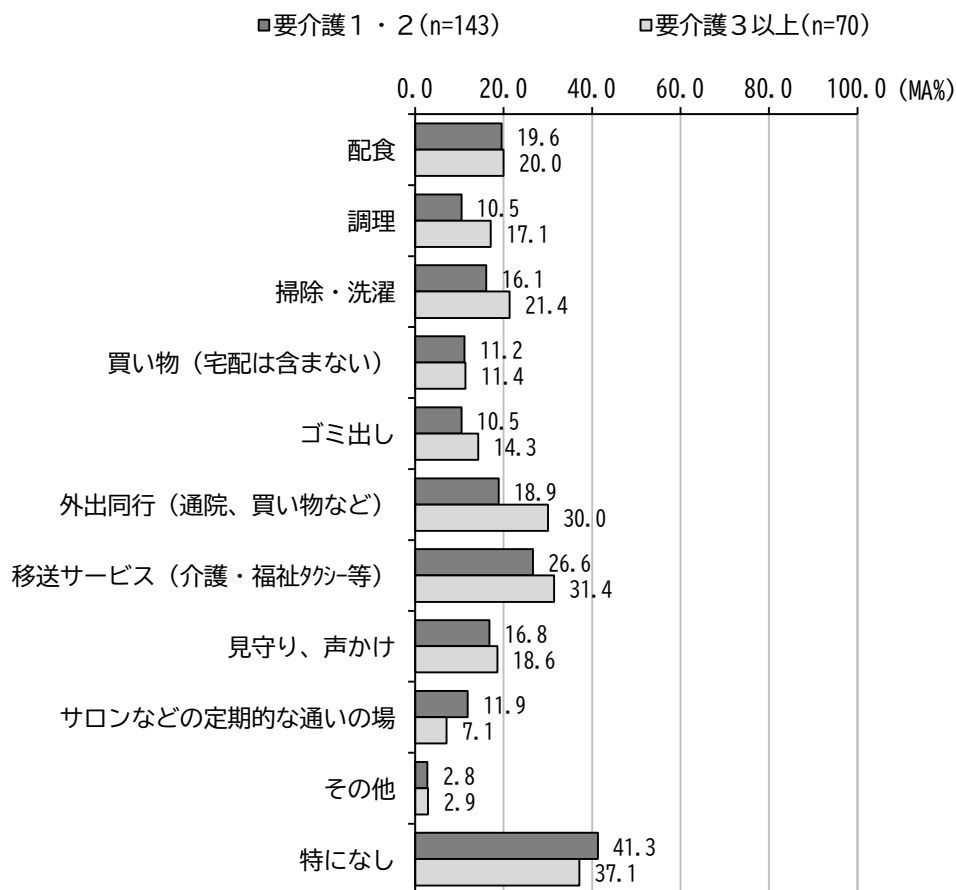
(4) 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

i 要介護度別でみる在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「特になし」が 41.3%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 26.6%、「配食」が 19.6%となっています。

「要介護3以上」では、「特になし」が 37.1%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 31.4%、「外出同行(通院、買い物など)」が 30.0%となっています。

【図表4-2-3-9 在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス 要介護度別】

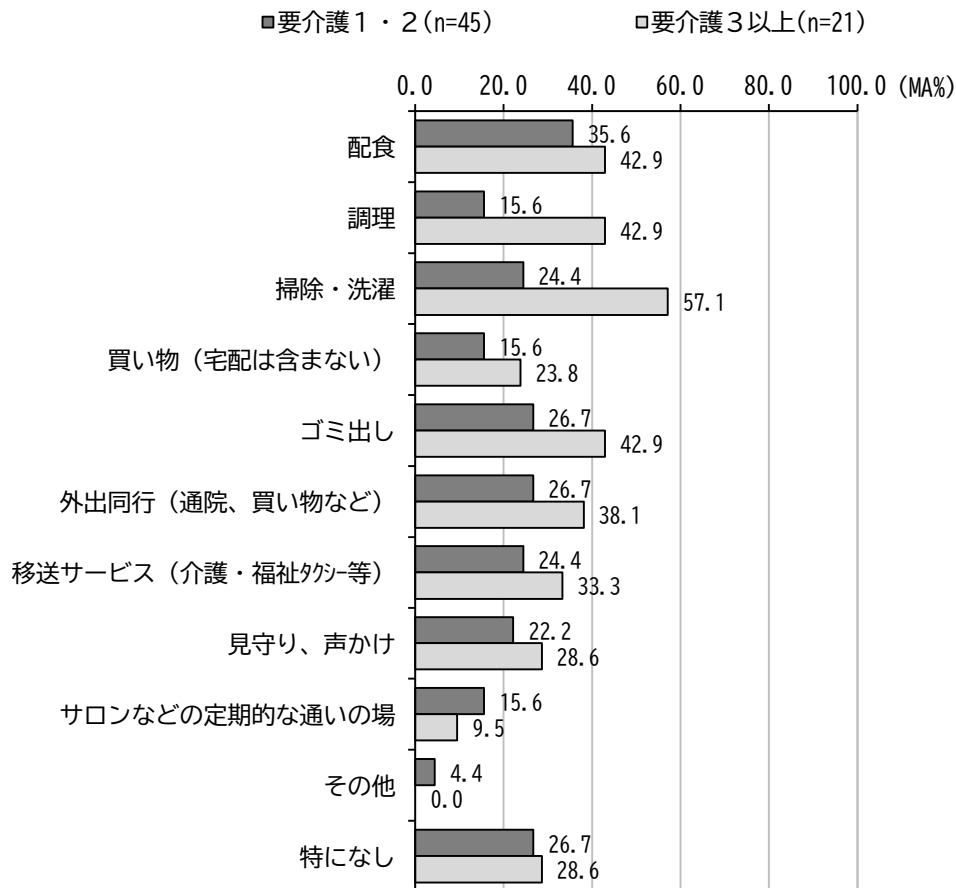


ii 要介護度別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「配食」が35.6%で最も高く、次いで「ゴミ出し」「外出同行(通院、買い物など)」「特になし」が26.7%となっています。

「要介護3以上」では、「掃除・洗濯」が57.1%で最も高く、次いで「配食」「調理」「ゴミ出し」が42.9%となっています。

【図表4-2-3-10 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯) 要介護度別】

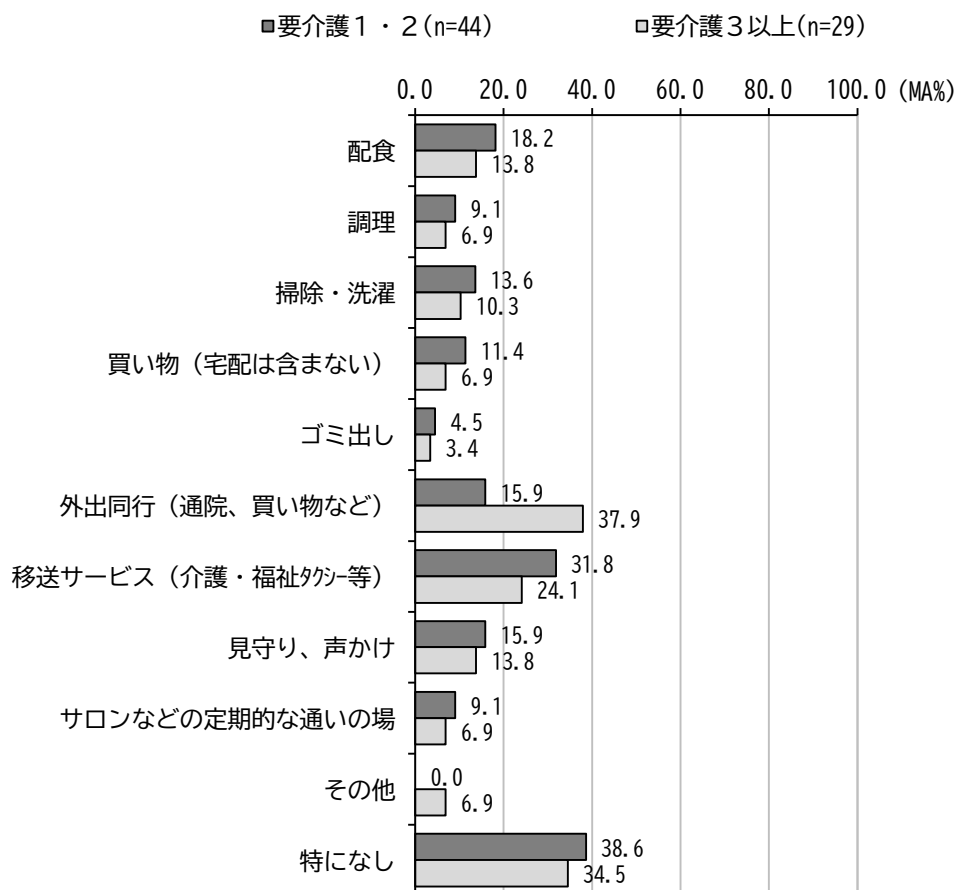


### iii 要介護度別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「特になし」が 38.6%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 31.8%、「配食」が 18.2%となっています。

「要介護3以上」では、「外出同行(通院、買い物など)」が 37.9%で最も高く、次いで「特になし」が 34.5%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 24.1%となっています。

【図表4-2-3-11 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯) 要介護度別】

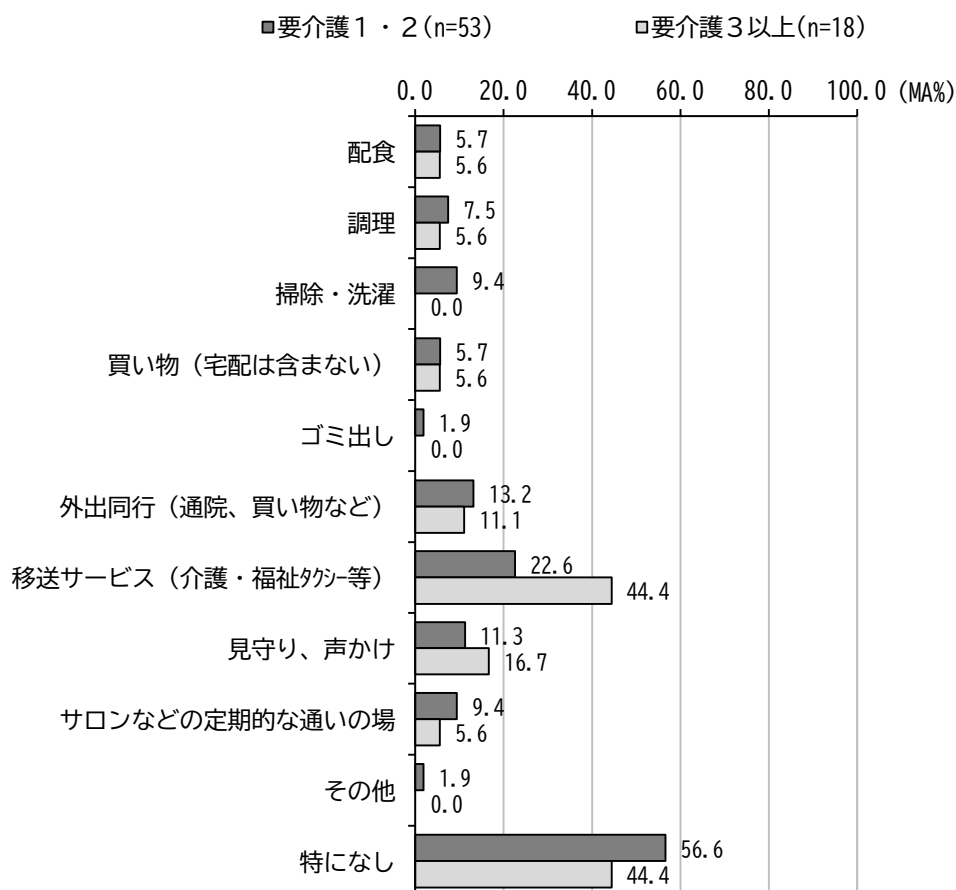


#### iv 要介護度別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「特になし」が 56.6%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 22.6%、「外出同行(通院、買い物など)」が 13.2%となっています。

「要介護3以上」では、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 44.4%で最も高く、次いで「見守り、声かけ」が 16.7%となっています。

【図表4-2-3-12 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯) 要介護度別】



## 4. 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行っています。

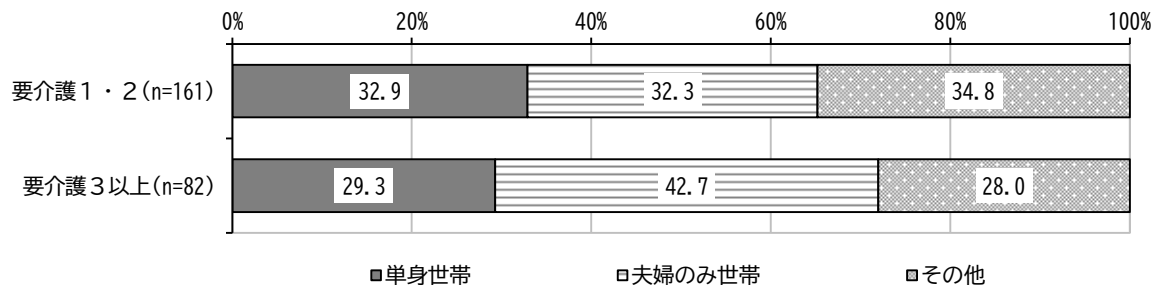
### (1) 基礎集計

#### i 要介護度別でみる世帯類型

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「その他」が34.8%で最も高く、次いで「単身世帯」が32.9%、「夫婦のみ世帯」が32.3%となっています。

「要介護3以上」では、「夫婦のみ世帯」が42.7%で最も高く、次いで「単身世帯」が29.3%、「その他」が28.0%となっています。

【図表4-2-4-1 世帯類型 要介護度別】



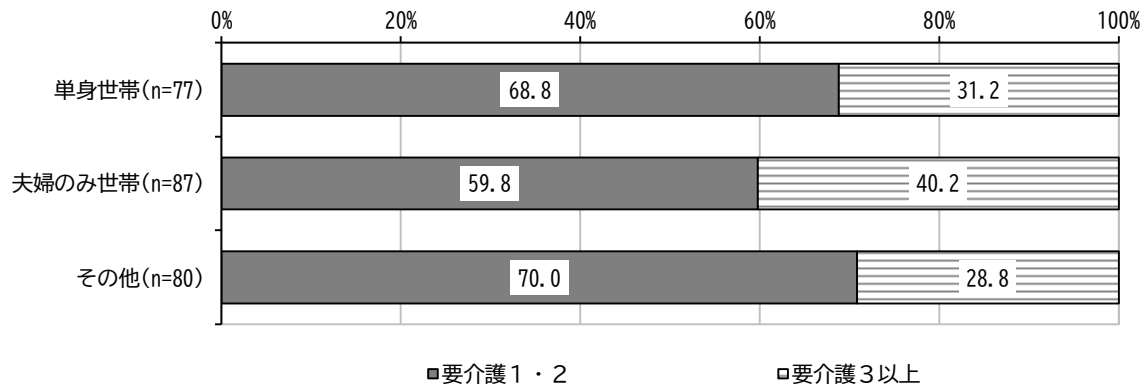
## ii 世帯類型別でみる要介護度

二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「要介護1・2」が 68.8%、「要介護3以上」が 31.2%となっています。

「夫婦のみ世帯」では、「要介護1・2」が 59.8%、「要介護3以上」が 40.2%となっています。

「その他」では、「要介護1・2」が 70.0%、「要介護3以上」が 28.8%となっています。

【図表4-2-4-2 要介護度 世帯類型別】



## (2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

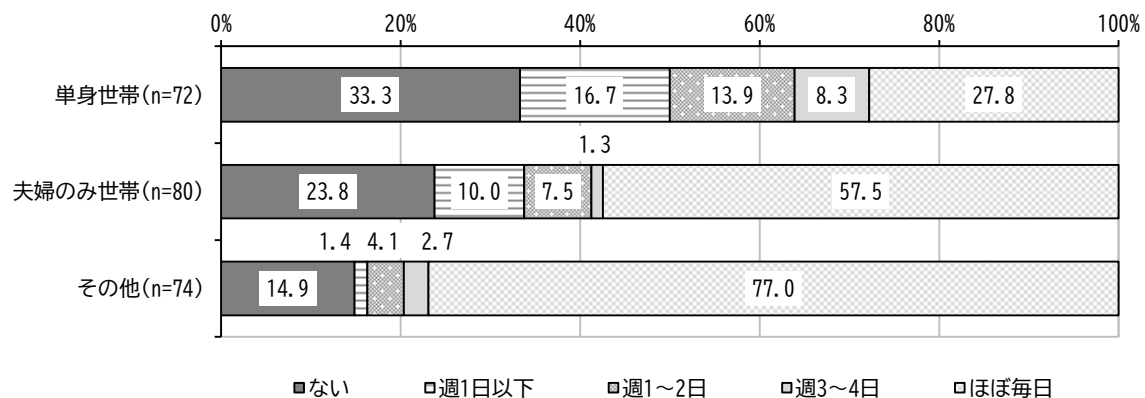
### i 世帯類型別でみる家族等による介護の頻度

家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「ない」が 33.3%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」が 27.8%、「週1日以下」が 16.7%となっています。

「夫婦のみ世帯」では、「ほぼ毎日」が 57.5%で最も高く、次いで「ない」が 23.8%、「週1日以下」が 10.0%となっています。

「その他」では、「ほぼ毎日」が 77.0%で最も高く、次いで「ない」が 14.9%、「週1~2日」が 4.1%となっています。

【図表4-2-4-3 家族等による介護の頻度 世帯類型別】

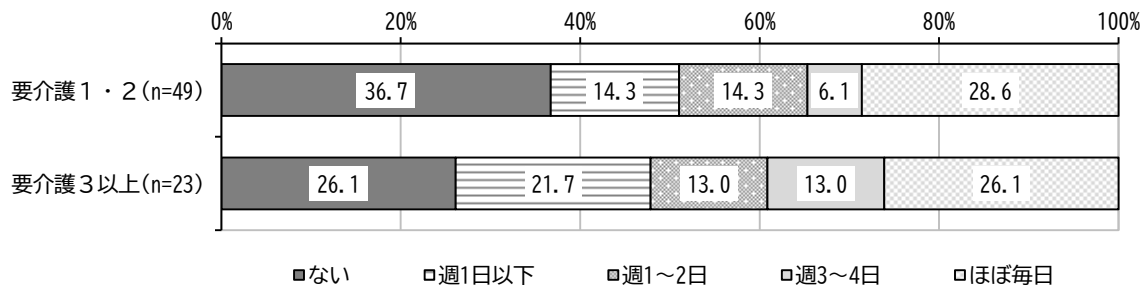


ii 要介護度別でみる家族等による介護の頻度(単身世帯)

家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると「要介護1・2」では、「ない」が 36.7%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」が 28.6%、「週 1 日以下」「週 1～2 日」が 14.3%となっています。

「要介護3以上」では、「ない」「ほぼ毎日」が 26.1%で最も高く、次いで「週 1 日以下」が 21.7%となっています。

【図表4-2-4-4 家族等による介護の頻度(単身世帯) 要介護度別】

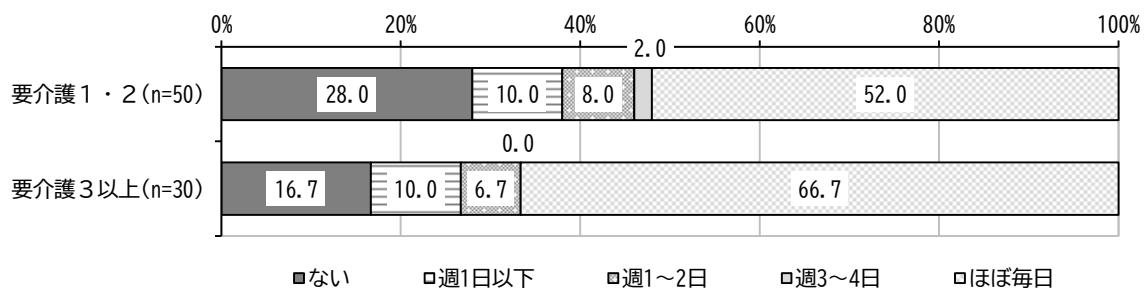


iii 要介護度別でみる家族等による介護の頻度(夫婦のみ世帯)

家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「ほぼ毎日」が 52.0%で最も高く、次いで「ない」が 28.0%、「週 1 日以下」が 10.0%となっています。

「要介護3以上」では、「ほぼ毎日」が 66.7%で最も高く、次いで「ない」が 16.7%、「週 1 日以下」が 10.0%となっています。

【図表4-2-4-5 家族等による介護の頻度(夫婦のみ世帯) 要介護度別】

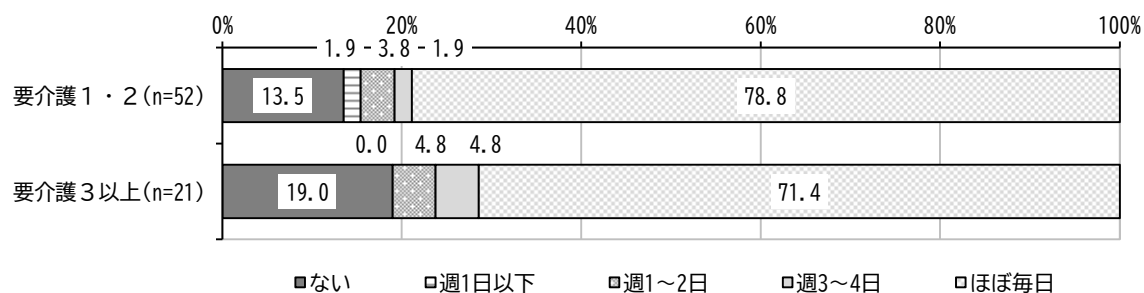


iv 要介護度別でみる家族等による介護の頻度(その他世帯)

家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「ほぼ毎日」が78.8%で最も高く、次いで「ない」が13.5%、「週1～2日」が3.8%となっています。

「要介護3以上」では、「ほぼ毎日」が71.4%で最も高く、次いで「ない」が19.0%となっています。

【図表4-2-4-6 家族等による介護の頻度(その他世帯) 要介護度別】



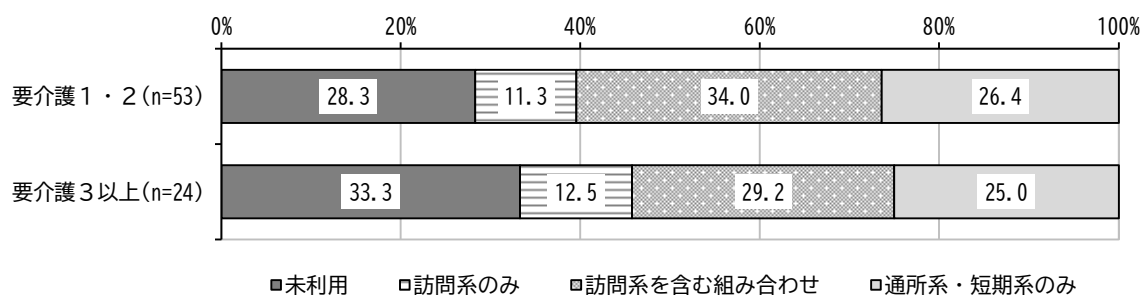
### (3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

#### i 要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ(単身世帯)

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「訪問系を含む組み合わせ」が34.0%で最も高く、次いで「未利用」が28.3%、「通所系・短期系のみ」が26.4%となっています。

「要介護3以上」では、「未利用」が33.3%で最も高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が29.2%、「通所系・短期系のみ」が25.0%となっています。

【図表4-2-4-7 サービス利用の組み合わせ(単身世帯) 要介護度別】

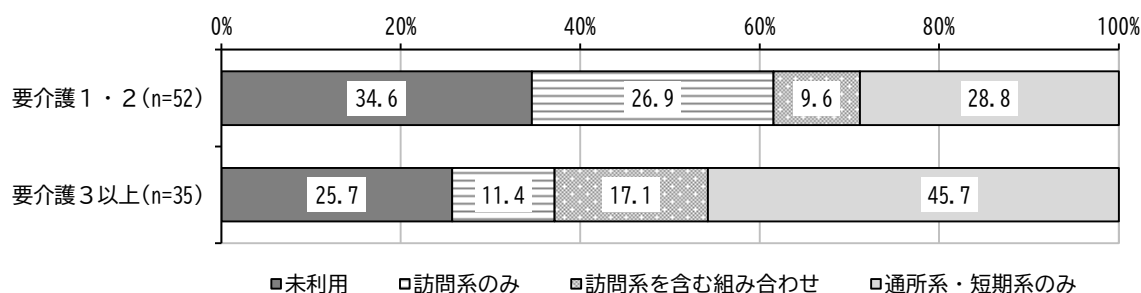


#### ii 要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「未利用」が34.6%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が28.8%、「訪問系のみ」が26.9%となっています。

「要介護3以上」では、「通所系・短期系のみ」が45.7%で最も高く、次いで「未利用」が25.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が17.1%となっています。

【図表4-2-4-8 サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯) 要介護度別】

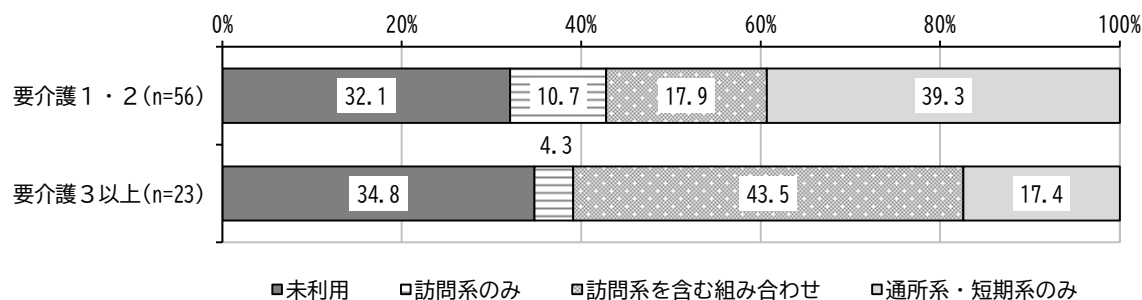


### iii 要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ(その他世帯)

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「通所系・短期系のみ」が39.3%で最も高く、次いで「未利用」が32.1%、「訪問系を含む組み合わせ」が17.9%となっています。

「要介護3以上」では、「訪問系を含む組み合わせ」が43.5%で最も高く、次いで「未利用」が34.8%、「通所系・短期系のみ」が17.4%となっています。

【図表4-2-4-9 サービス利用の組み合わせ(その他世帯) 要介護度別】



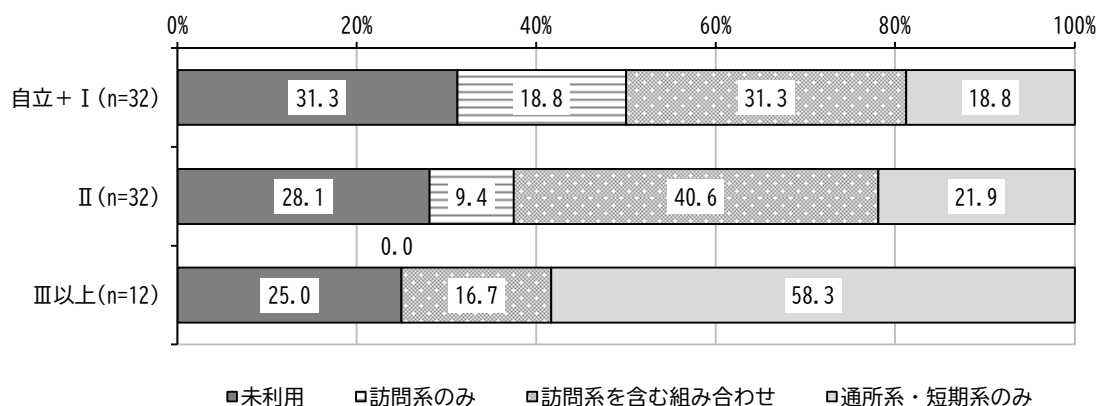
### iv 認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ(単身世帯)

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+I」では、「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」が31.3%で最も高くなっています。

「認知症自立度II」では、「訪問系を含む組み合わせ」が40.6%で最も高く、次いで「未利用」が28.1%、「通所系・短期系のみ」が21.9%となっています。

「認知症自立度III以上」では、「通所系・短期系のみ」が58.3%で最も高く、次いで「未利用」が25.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が16.7%となっています。

【図表4-2-4-10 サービス利用の組み合わせ(単身世帯) 認知症自立度別】



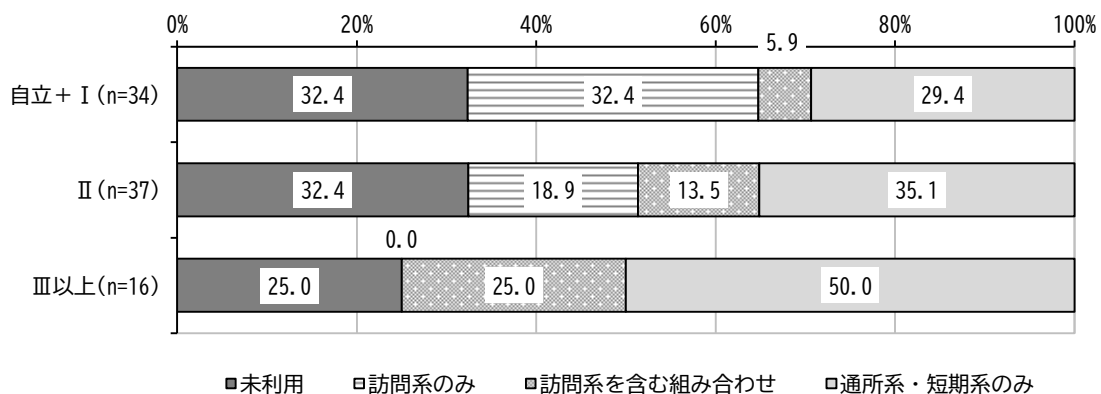
#### v 認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると「認知症自立度自立+ I」では、「未利用」「訪問系のみ」が32.4%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が29.4%となっています。

「認知症自立度II」では、「通所系・短期系のみ」が35.1%で最も高く、次いで「未利用」が32.4%、「訪問系のみ」が18.9%となっています。

「認知症自立度III以上」では、「通所系・短期系のみ」が50.0%で最も高く、次いで「未利用」「訪問系のみ」が25.0%となっています。

【図表4-2-4-11 サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯) 認知症自立度別】



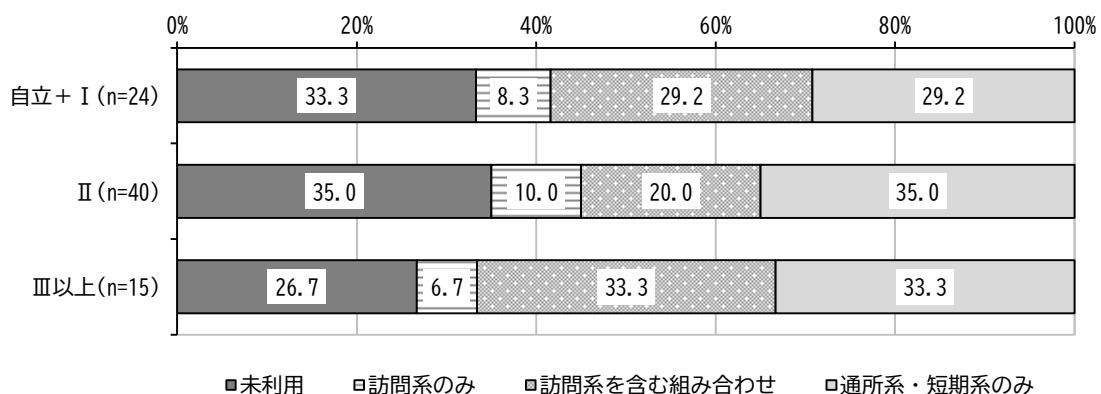
#### vi 認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ(その他世帯)

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+ I」では、「未利用」が33.3%で最も高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」「通所系・短期系のみ」が29.2%となっています。

「認知症自立度II」では、「未利用」「通所系・短期系のみ」が35.0%で最も高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が20.0%となっています。

「認知症自立度III以上」では、「訪問系を含む組み合わせ」「通所系・短期系のみ」が33.3%で最も高く、次いで「未利用」が26.7%となっています。

【図表4-2-4-12 サービス利用の組み合わせ(その他世帯) 認知症自立度別】



#### (4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

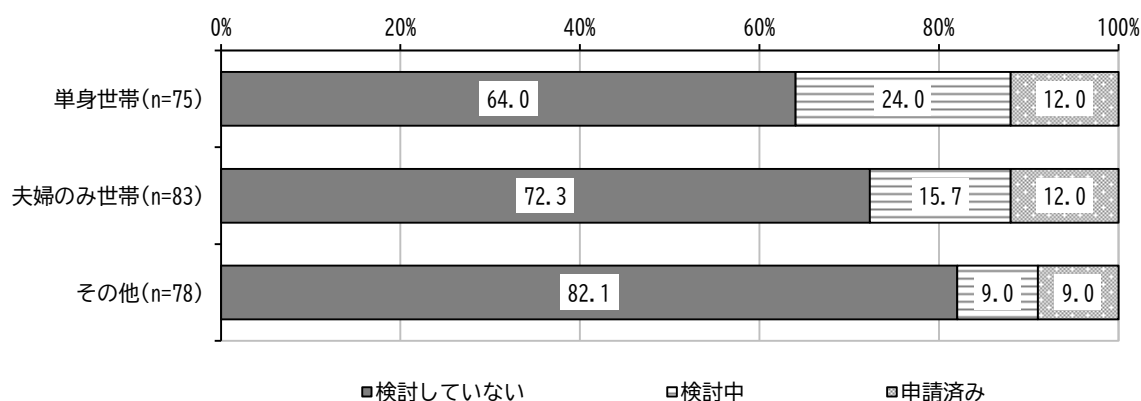
##### i 世帯類型別でみる施設等検討の状況(全要介護度)

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「検討していない」が64.0%で最も高く、次いで「検討中」が24.0%、「申請済み」が12.0%となっています。

「夫婦のみ世帯」では、「検討していない」が72.3%で最も高く、次いで「検討中」が15.7%、「申請済み」が12.0%となっています。

「その他」では、「検討していない」が82.1%で最も高く、次いで「検討中」「申請済み」が9.0%となっています。

【図表4-2-4-13 施設等検討の状況(全要介護度) 世帯類型別】

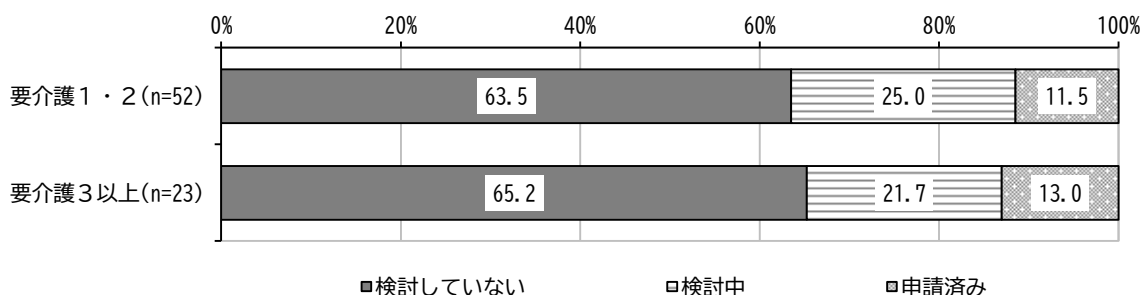


##### ii 要介護度別でみる施設等検討の状況(単身世帯)

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「検討していない」が63.5%で最も高く、次いで「検討中」が25.0%、「申請済み」が11.5%となっています。

「要介護3以上」では、「検討していない」が65.2%で最も高く、次いで「検討中」が21.7%、「申請済み」が13.0%となっています。

【図表4-2-4-14 施設等検討の状況(単身世帯) 要介護度別】

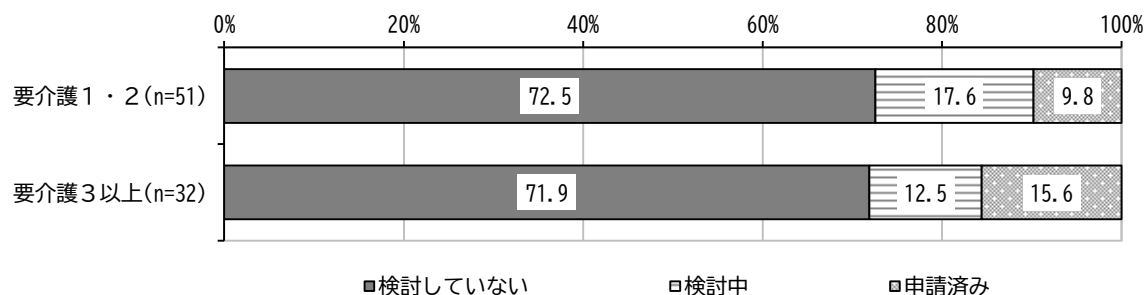


### iii 要介護度別でみる施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「検討していない」が72.5%で最も高く、次いで「検討中」が17.6%、「申請済み」が9.8%となっています。

「要介護3以上」では、「検討していない」が71.9%で最も高く、次いで「申請済み」が15.6%、「検討中」が12.5%となっています。

【図表4-2-4-15 施設等検討の状況(夫婦のみ世帯) 要介護度別】

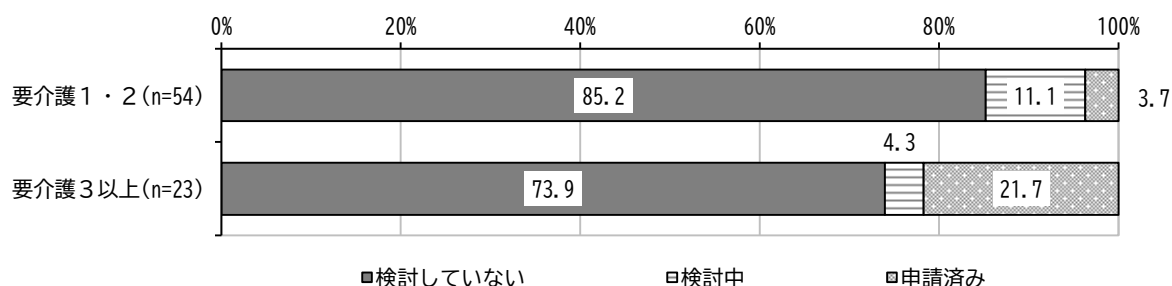


### iv 要介護度別でみる施設等検討の状況(その他世帯)

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「検討していない」が85.2%で最も高く、次いで「検討中」が11.1%、「申請済み」が3.7%となっています。

「要介護3以上」では、「検討していない」が73.9%で最も高く、次いで「申請済み」が21.7%、「検討中」が4.3%となっています。

【図表4-2-4-16 施設等検討の状況(その他世帯) 要介護度別】



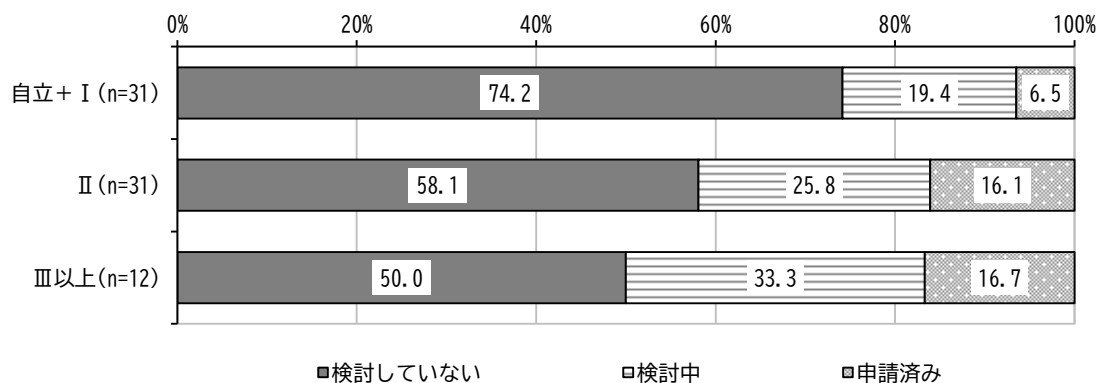
v 認知症自立度別でみる施設等検討の状況(単身世帯)

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+ I」では、「検討していない」が74.2%で最も高く、次いで「検討中」が19.4%、「申請済み」が6.5%となっています。

「認知症自立度II」では、「検討していない」が58.1%で最も高く、次いで「検討中」が25.8%、「申請済み」が16.1%となっています。

「認知症自立度III以上」では、「検討していない」が50.0%で最も高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が16.7%となっています。

【図表4-2-4-17 施設等検討の状況(単身世帯) 認知症自立度別】



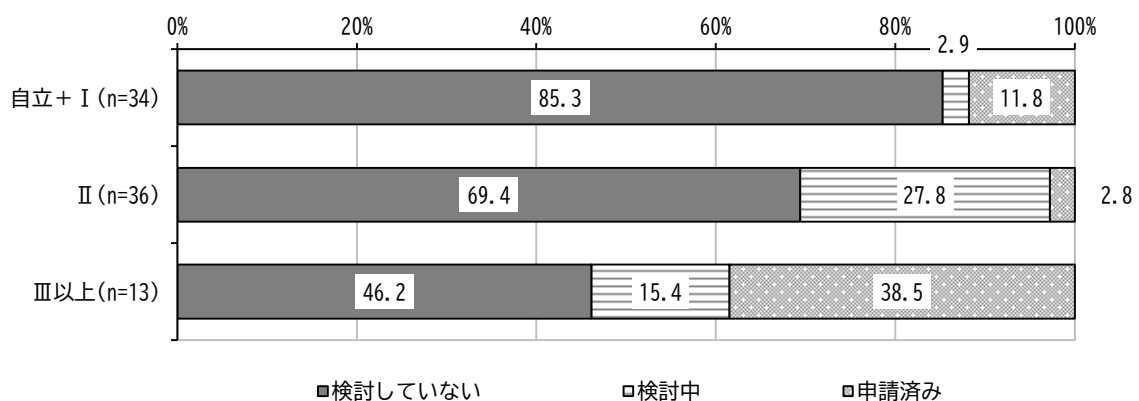
vi 認知症自立度別でみる施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+ I」では、「検討していない」が85.3%で最も高く、次いで「申請済み」が11.8%、「検討中」が2.9%となっています。

「認知症自立度II」では、「検討していない」が69.4%で最も高く、次いで「検討中」が27.8%、「申請済み」が2.8%となっています。

「認知症自立度III以上」では、「検討していない」が46.2%で最も高く、次いで「申請済み」が38.5%、「検討中」が15.4%となっています。

【図表4-2-4-18 施設等検討の状況(夫婦のみ世帯) 認知症自立度別】



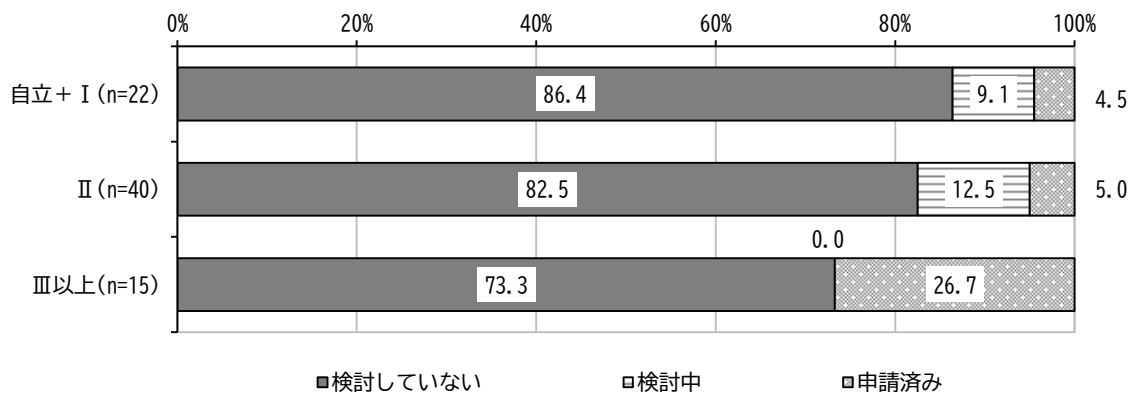
vii 認知症自立度別でみる施設等検討の状況(その他の世帯)

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+ I」では、「検討していない」が85.4%で最も高く、次いで「申請済み」が9.8%、「検討中」が4.9%となっています。

「認知症自立度II」では、「検討していない」が78.9%で最も高く、次いで「検討中」が15.8%、「申請済み」が5.3%となっています。

「認知症自立度III以上」では、「検討していない」が76.5%で最も高く、次いで「検討中」「申請済み」が11.8%となっています。

【図表4-2-4-19 施設等検討の状況(その他の世帯) 認知症自立度別】



## 5. 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

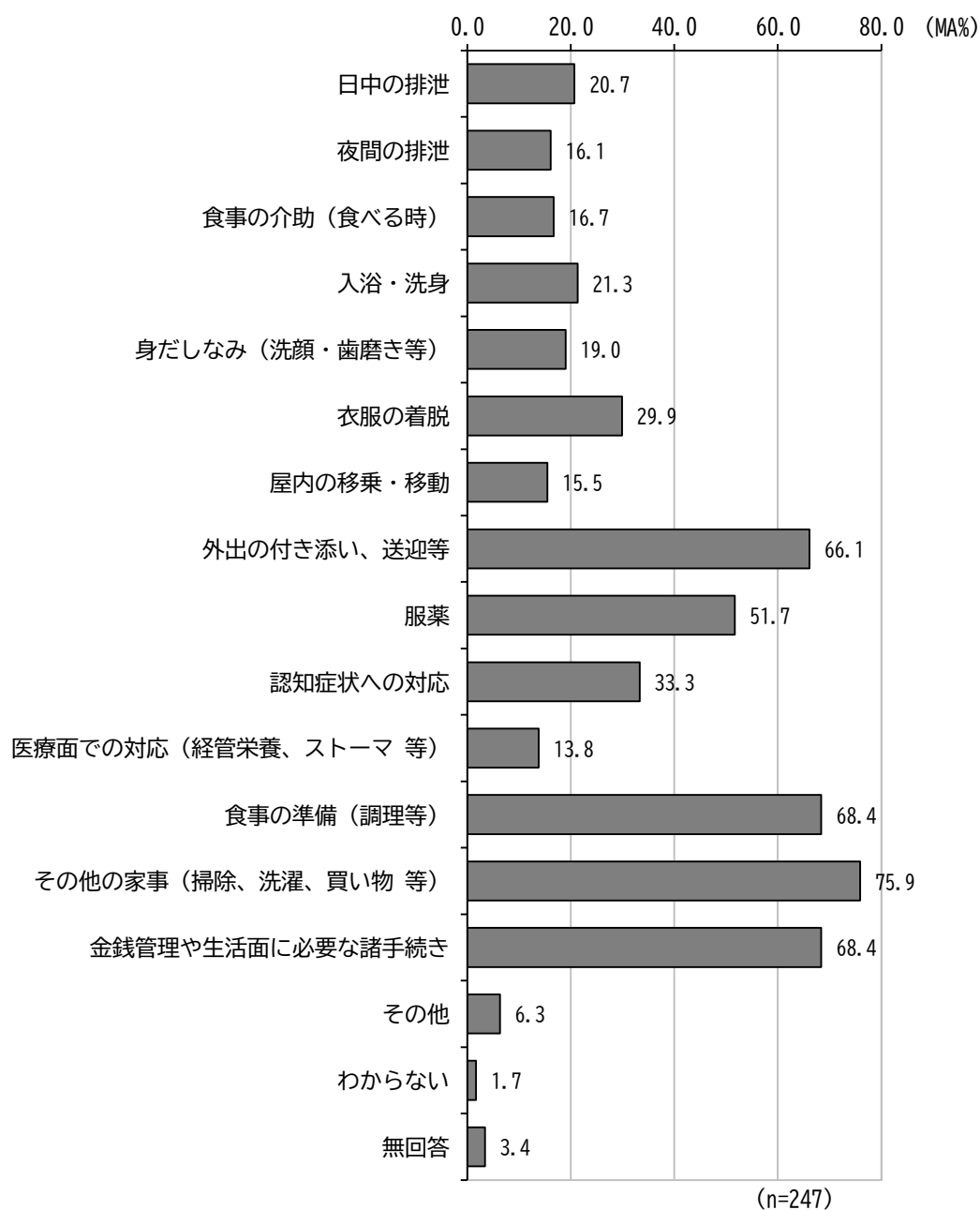
ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行います。

### (1) 基礎集計

#### i 主な介護者が行っている介護

「医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等)」は13.8%となっています。

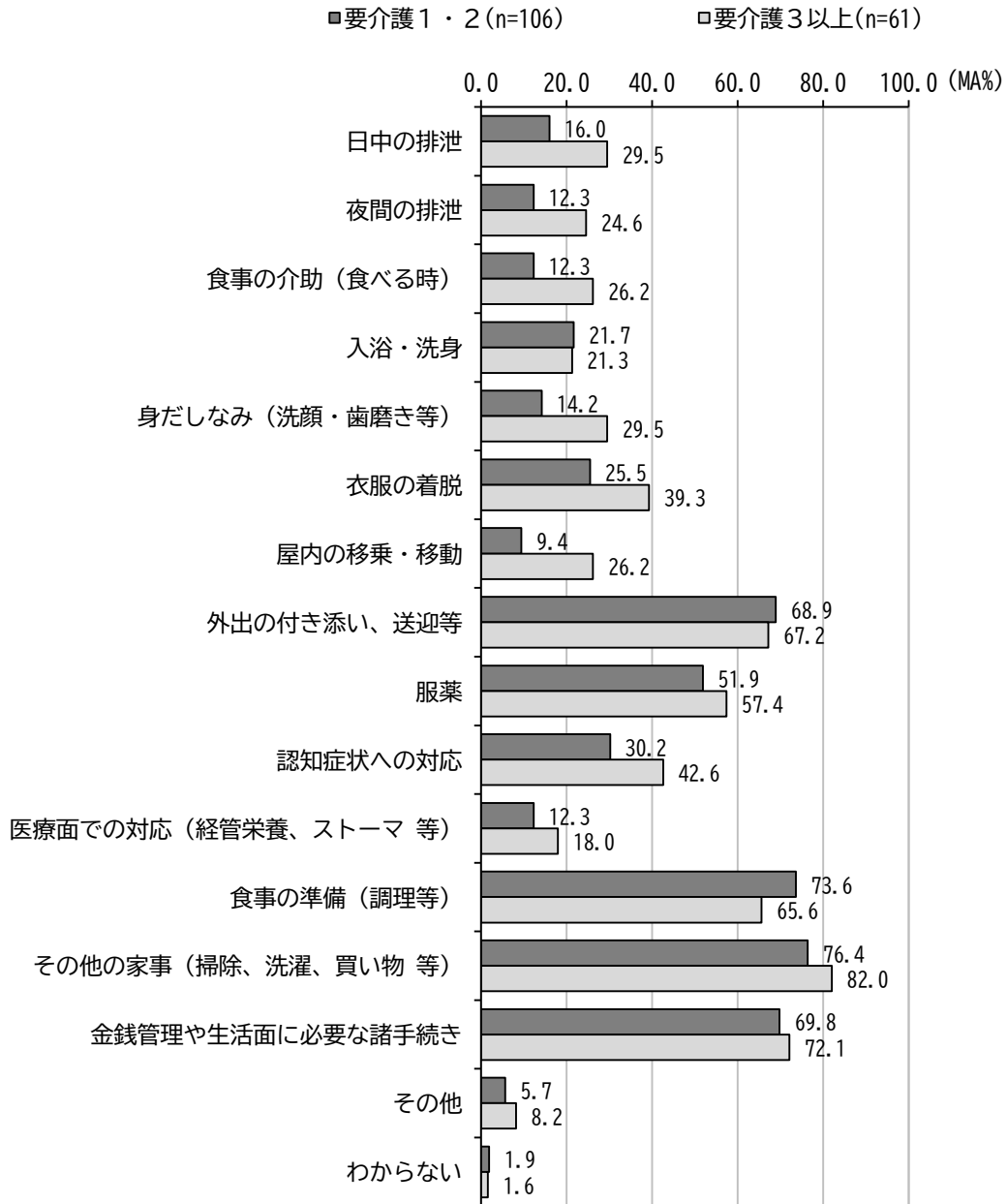
【図表4-2-5-1 主な介護者が行っている介護】



ii 要介護度別でみる主な介護者が行っている介護

介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等)」では、「要介護1・2」が12.3%、「要介護3以上」は18.0%となっています。

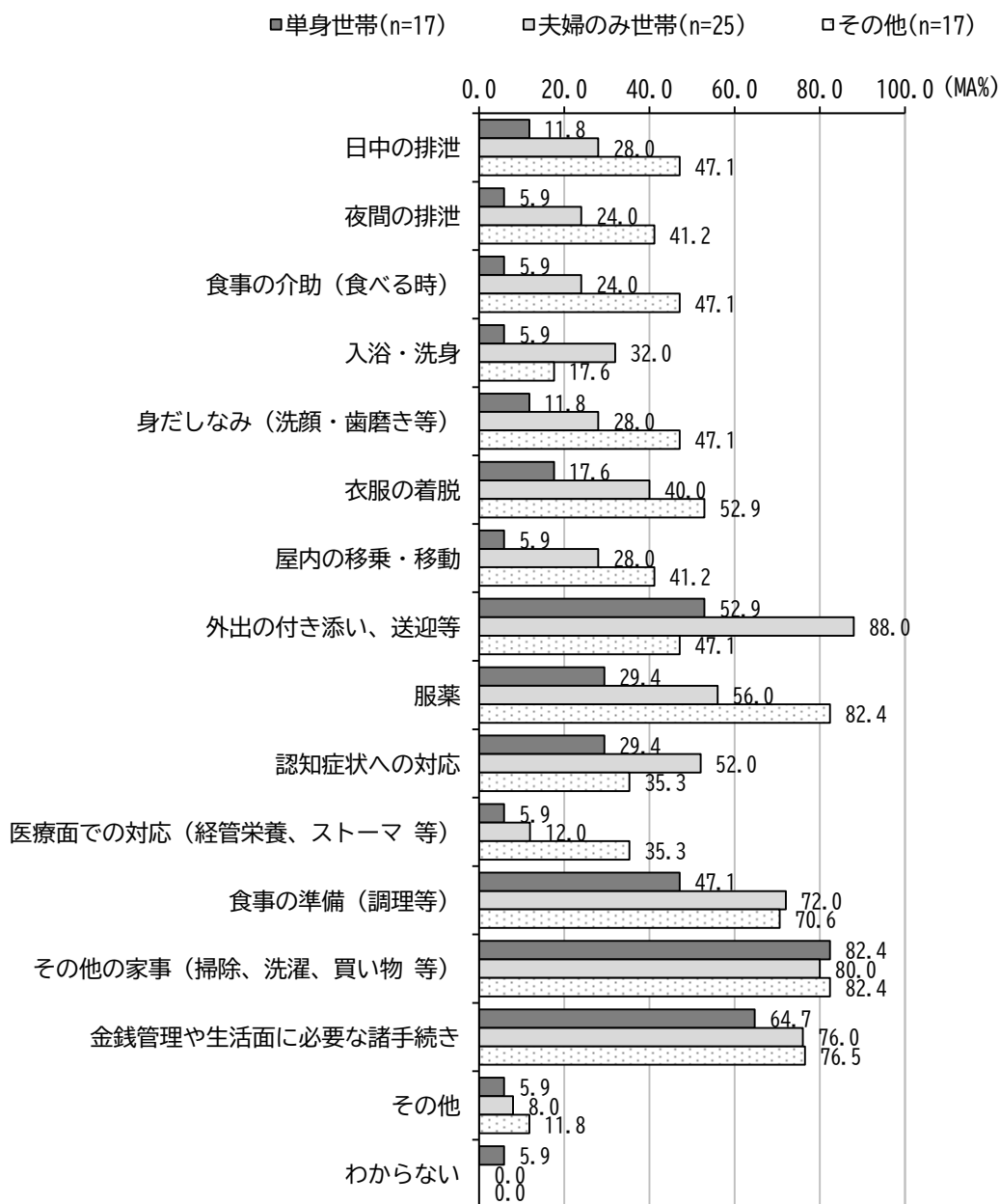
【図表4-2-5-2 主な介護者が行っている介護 要介護度別】



### iii 世帯類型別でみる主な介護者が行っている介護(要介護3以上)

介護者が行っている介護を世帯類型別にみると、「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」では、「単身世帯」が5.9%、「夫婦のみの世帯」が12.0%、「その他」が35.3%となっています。

【図表4-2-5-3 主な介護者が行っている介護(要介護3以上) 世帯類型別】

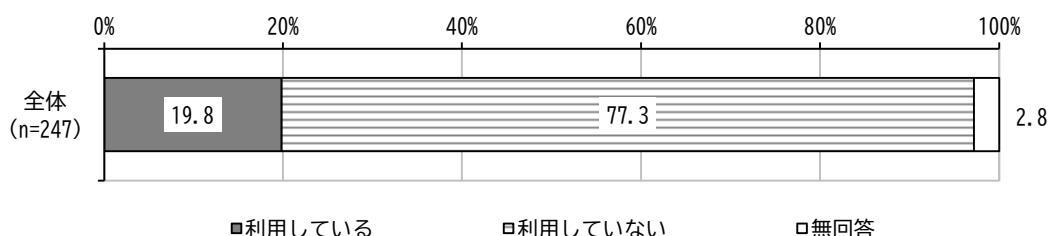


## (2) 訪問診療の利用割合

### i 訪問診療の利用の有無

訪問診療の利用の有無について、「利用している」が19.8%、「利用していない」が77.3%となっています。

【図表4-2-5-4 訪問診療の利用の有無】



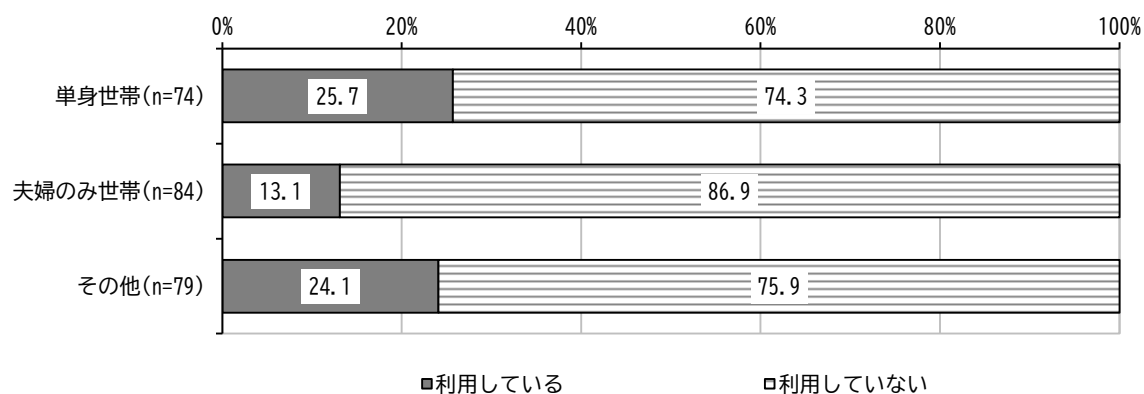
### ii 世帯類型別でみる訪問診療の利用割合

訪問診療の利用の有無を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「利用している」が25.7%、「利用していない」が74.3%となっています。

「夫婦のみ世帯」では、「利用している」が13.1%、「利用していない」が86.9%となっています。

「その他」では、「利用している」が24.1%、「利用していない」が75.9%となっています。

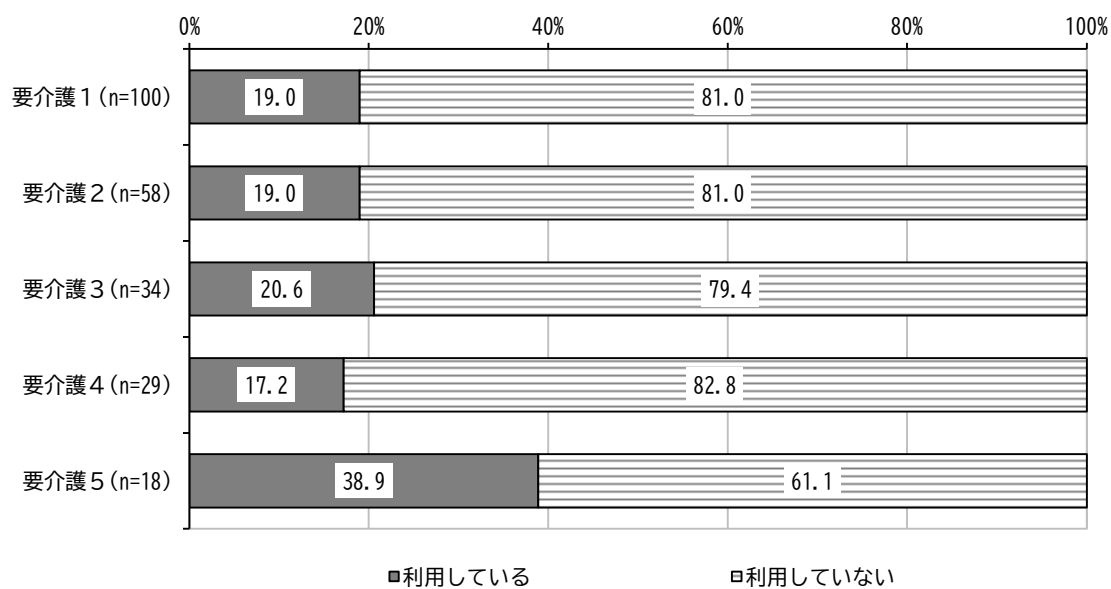
【図表4-2-5-5 訪問診療の利用割合 世帯類型別】



### iii 要介護度別でみる訪問診療の利用割合

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「利用している」では、「要介護5」が38.9%で最も高くなっています。

【図表4-2-5-6 訪問診療の利用割合 要介護度別】



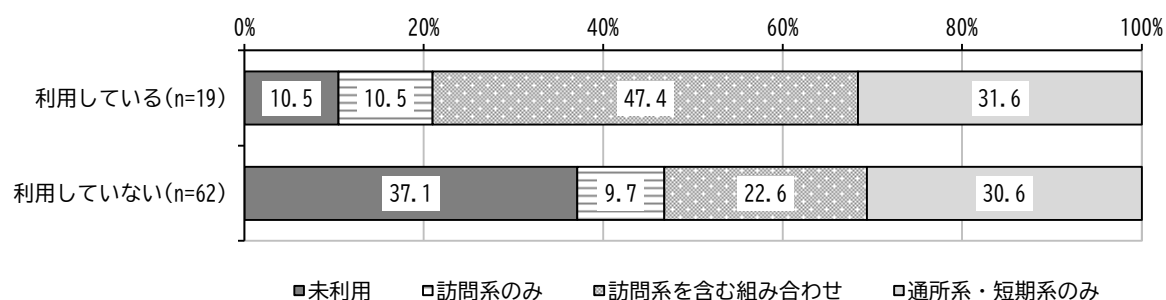
### (3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

#### i 訪問診療の利用の有無別でみるサービス利用の組み合わせ(要介護3以上)

サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では、「訪問系を含む組み合わせ」が47.4%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が31.6%となっています。

「利用していない」では、「未利用」が37.1%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が30.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が22.6%となっています。

【図表4-2-5-7 サービス利用の組み合わせ(要介護3以上) 訪問診療の利用の有無別】



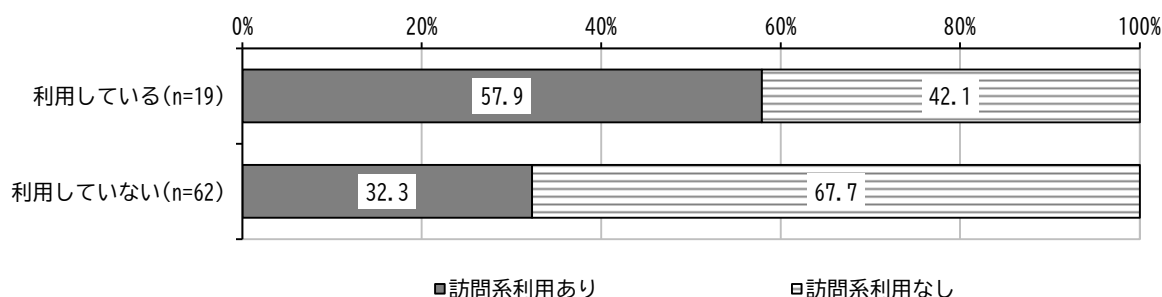
(4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

i 訪問診療の利用の有無別でみるサービスの利用の有無(訪問系、要介護3以上)

訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では、「訪問系利用あり」が57.9%、「訪問系利用なし」が42.1%となっています。

「利用していない」では、「訪問系利用あり」が32.3%、「訪問系利用なし」が67.7%となっています。

【図表4-2-5-8 訪問系サービスの利用の有無(要介護3以上) 訪問診療の利用の有無別】

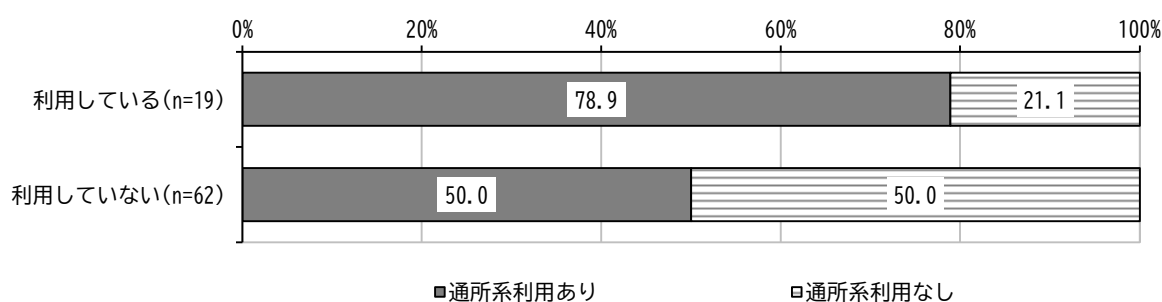


ii 訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無(通所系、要介護3以上)

通所系の利用の有無(定期巡回を除く)を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では、「通所系利用あり」が78.9%、「通所系利用なし」が21.1%となっています。

「利用していない」では、「通所系利用あり」「通所系利用なし」が50%となっています。

【図表4-2-5-9 通所系サービスの利用の有無(要介護3以上) 訪問診療の利用の有無別】

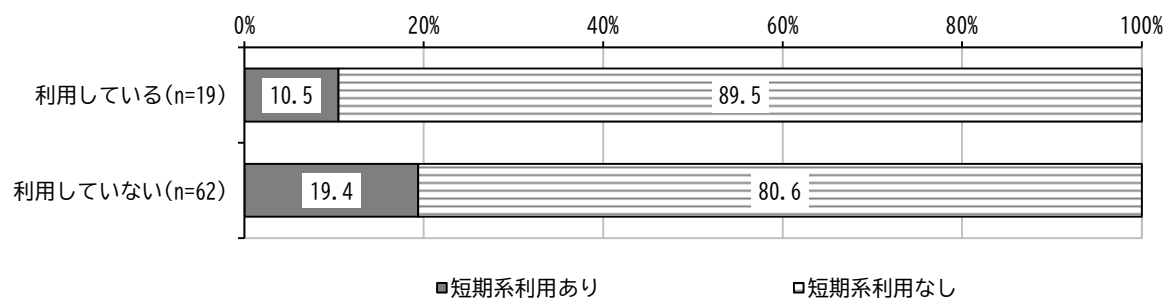


### iii 訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無(短期系、要介護3以上)

短期系の利用の有無(定期巡回を除く)を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では、「短期系利用あり」が10.5%、「短期系利用なし」が89.5%となっています。

「利用していない」では、「短期系利用あり」が19.4%で最も高く、次いで「短期系利用なし」が80.6%となっています。

【図表4-2-5-10 短期系サービス利用の有無(要介護3以上) 訪問診療の利用の有無別】



## (5) 訪問看護の利用内容

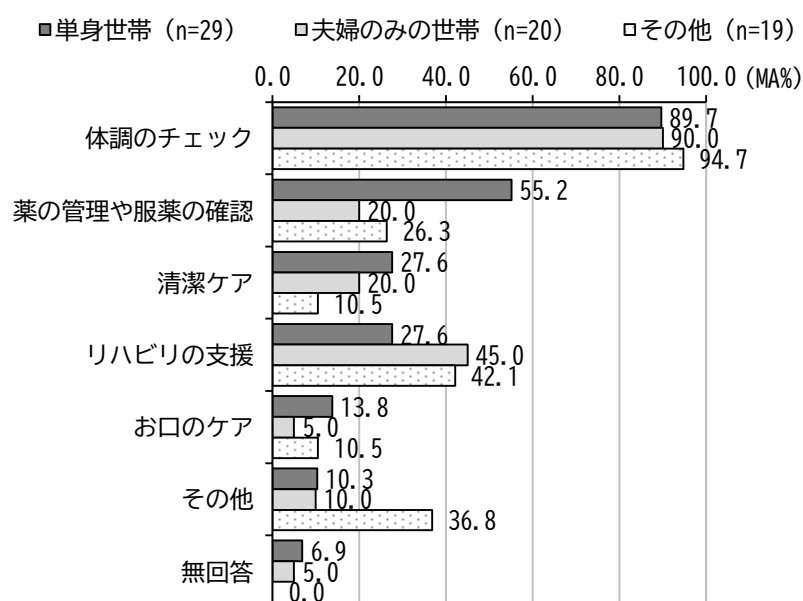
### i 世帯類型別でみる訪問看護の利用内容

訪問看護の利用内容を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「体調のチェック」が89.7%で最も高く、次いで「薬の管理や服薬の確認」が55.2%となっています。

「夫婦のみの世帯」では、「体調のチェック」が90.0%で最も高く、次いで「リハビリの支援」が45.0%となっています。

「その他」では、「体調のチェック」が94.7%で最も高く、次いで「リハビリの支援」が42.1%となっています。

【図表4-2-5-11 主な介護者が行っている介護】

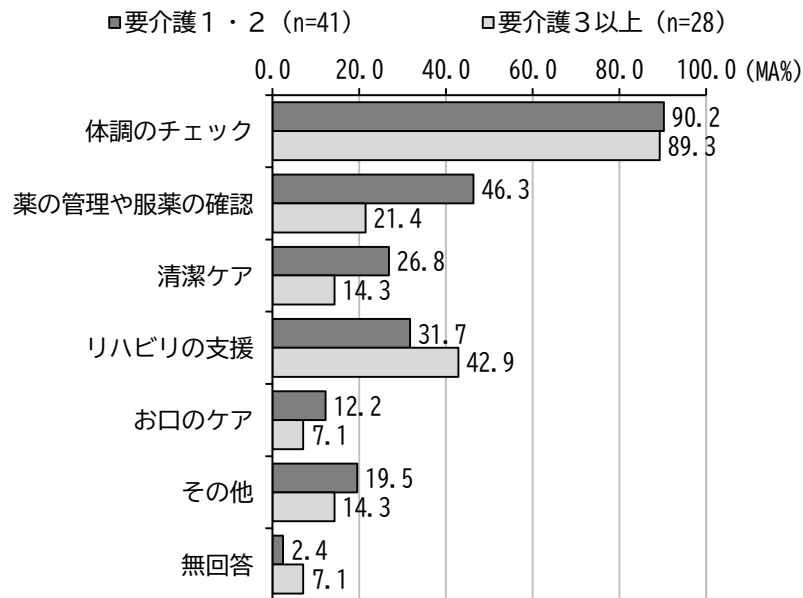


## ii 要介護度別でみる訪問看護の利用内容

訪問看護の利用内容を要介護度別にみると「要介護1・2」では、「体調のチェック」が 90.2%で最も高く、次いで「薬の管理や服薬の確認」が 46.3%、「リハビリの支援」が 31.7%となっています。

「要介護3以上」では、「体調のチェック」が 89.3%で最も高く、次いで「リハビリの支援」が 42.9%、「薬の管理や服薬の確認」が 21.4%となっています。

【図表4-2-5-12 主な介護者が行っている介護】



## 6. サービス未利用の理由など

ここでは、支援・サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるいくつかの集計結果を整理しています。

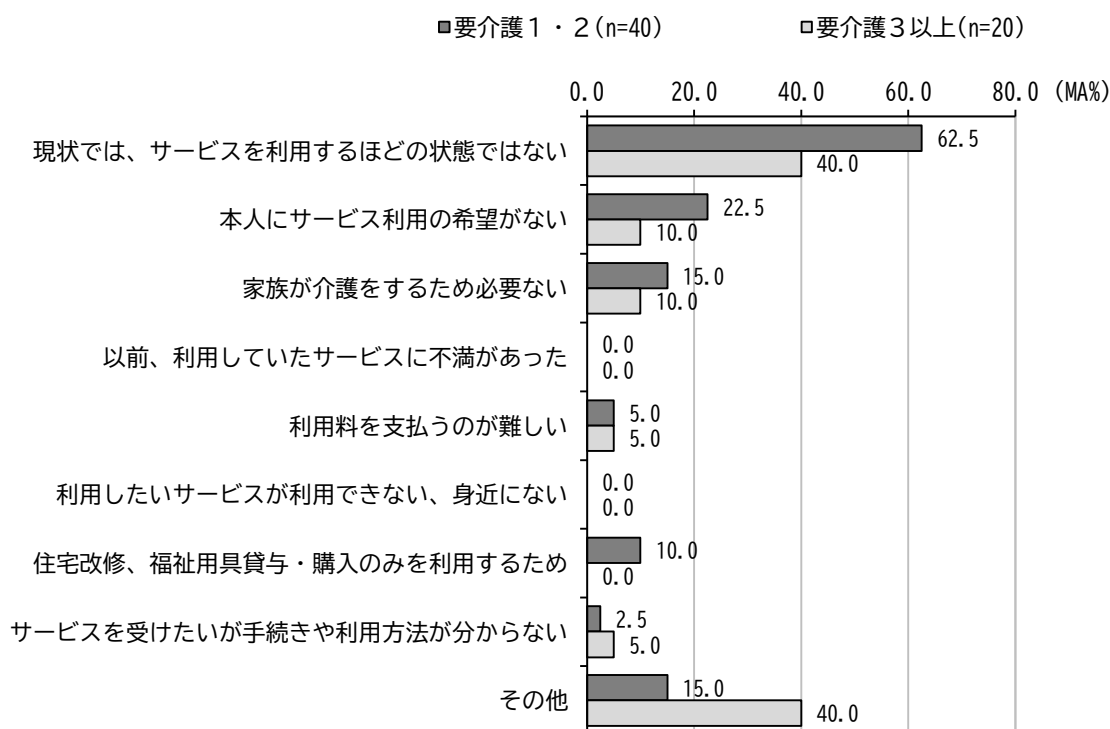
### (1) 要介護度別でみる世帯類型別のサービス未利用の理由

#### i 要介護度別のサービス未利用の理由

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が62.5%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が22.5%、「家族が介護をするため必要ない」「その他」が15.0%となっています。

「要介護3以上」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「その他」が40.0%で最も高くなっています。

【図表4-2-6-1 サービス未利用の理由 要介護度別】

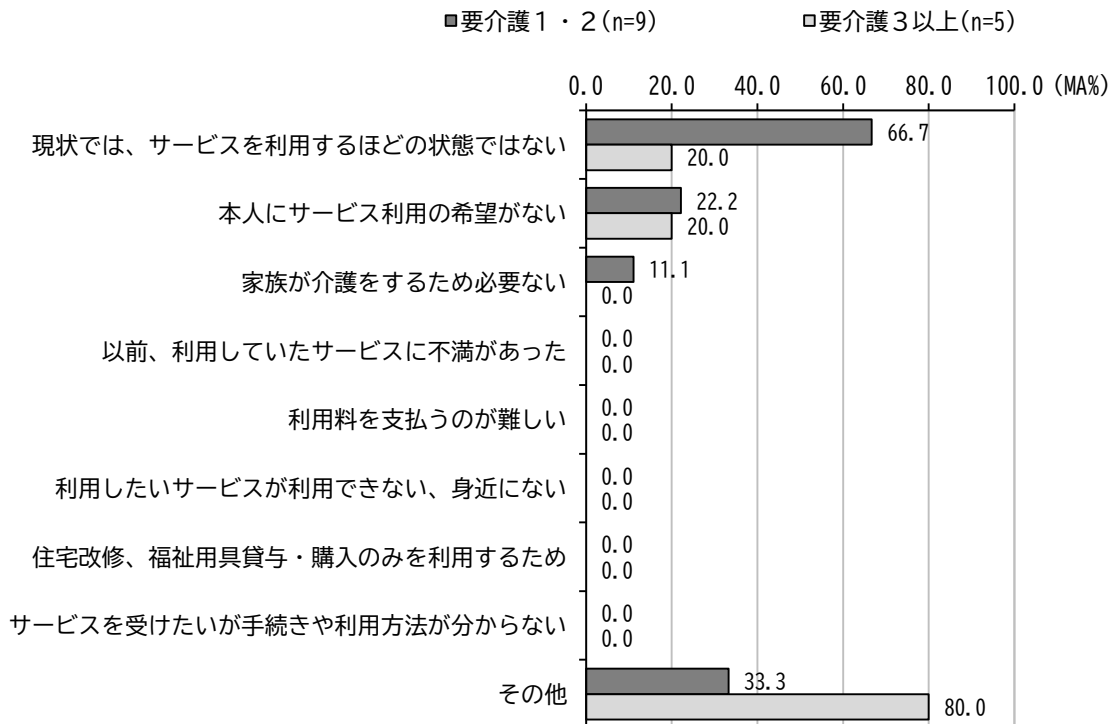


## ii 要介護度別のサービス未利用の理由(単身世帯)

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が66.7%で最も高く、次いで「その他」が33.3%、「本人にサービス利用の希望がない」が22.2%となっています。

「要介護3以上」では、「その他」が80.0%で最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「本人にサービス利用の希望がない」が20.0%となっています。

【図表4-2-6-2 サービス未利用の理由(単身世帯) 要介護度別】

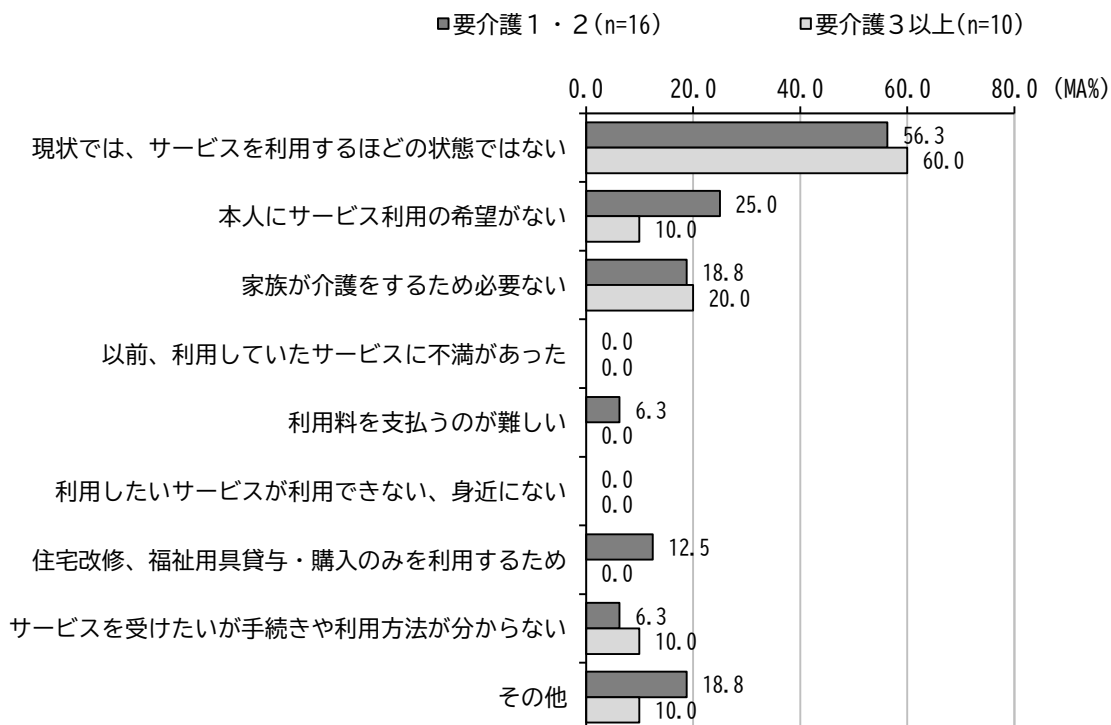


### iii 要介護度別のサービス未利用の理由(夫婦のみ世帯)

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が56.3%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が25.0%、「家族が介護をするため必要ない」「その他」が18.8%となっています。

「要介護3以上」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が60.0%で最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が20.0%となっています。

【図表4-2-6-3 サービス未利用の理由(夫婦のみ世帯) 要介護度別】

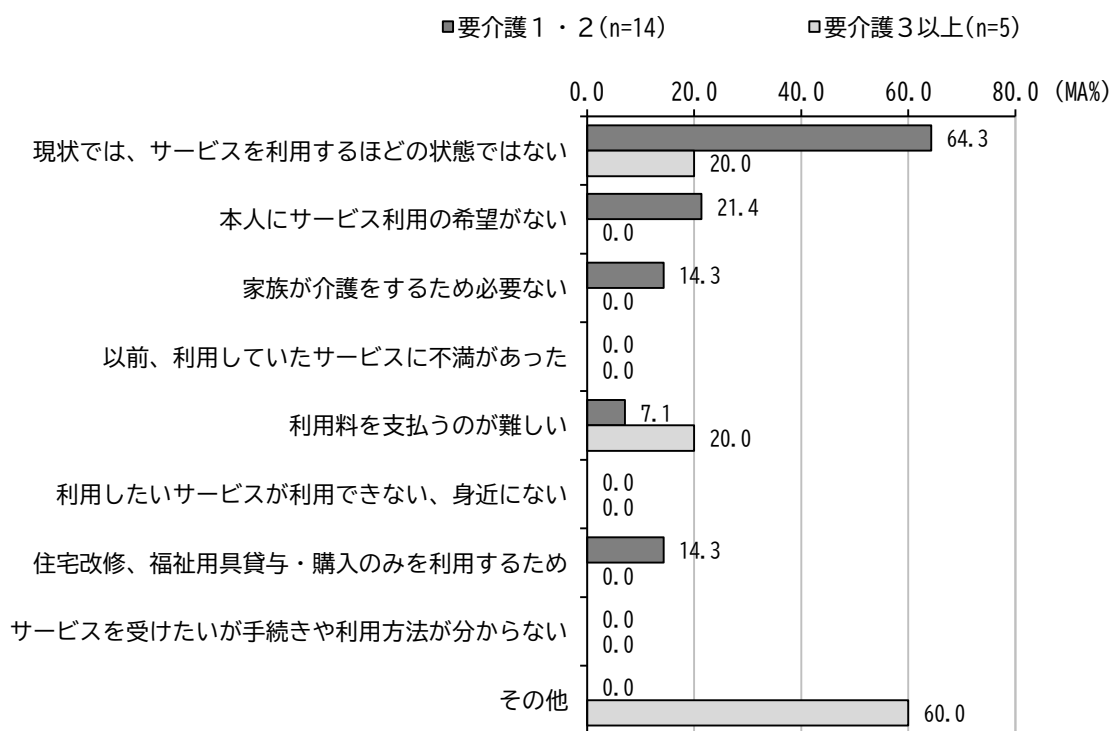


#### iv 要介護度別のサービス未利用の理由(その他世帯)

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が64.3%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が21.4%、「家族が介護をするため必要ない」が14.3%となっています。

「要介護3以上」では、「その他」が60.0%で最も高くなっています。

【図表4-2-6-4 サービス未利用の理由(その他世帯) 要介護度別】



## (2) 認知症自立度別でみる世帯類型別のサービス未利用の理由

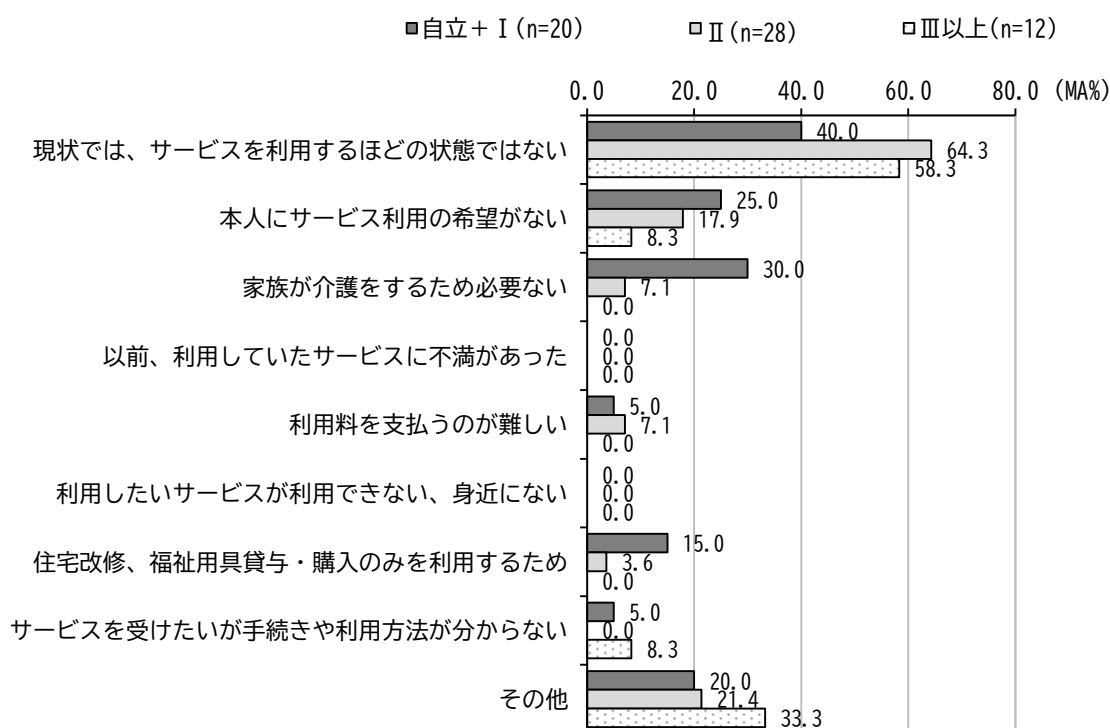
### i 認知症自立度別のサービス未利用の理由

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+Ⅰ」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.0%で最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が30.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が25.0%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が64.3%で最も高く、次いで「その他」が21.4%、「本人にサービス利用の希望がない」が17.9%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が58.3%で最も高く、次いで「その他」が33.3%、「本人にサービス利用の希望がない」が8.3%となっています。

【図表4-2-6-5 サービス未利用の理由 認知症自立度別】



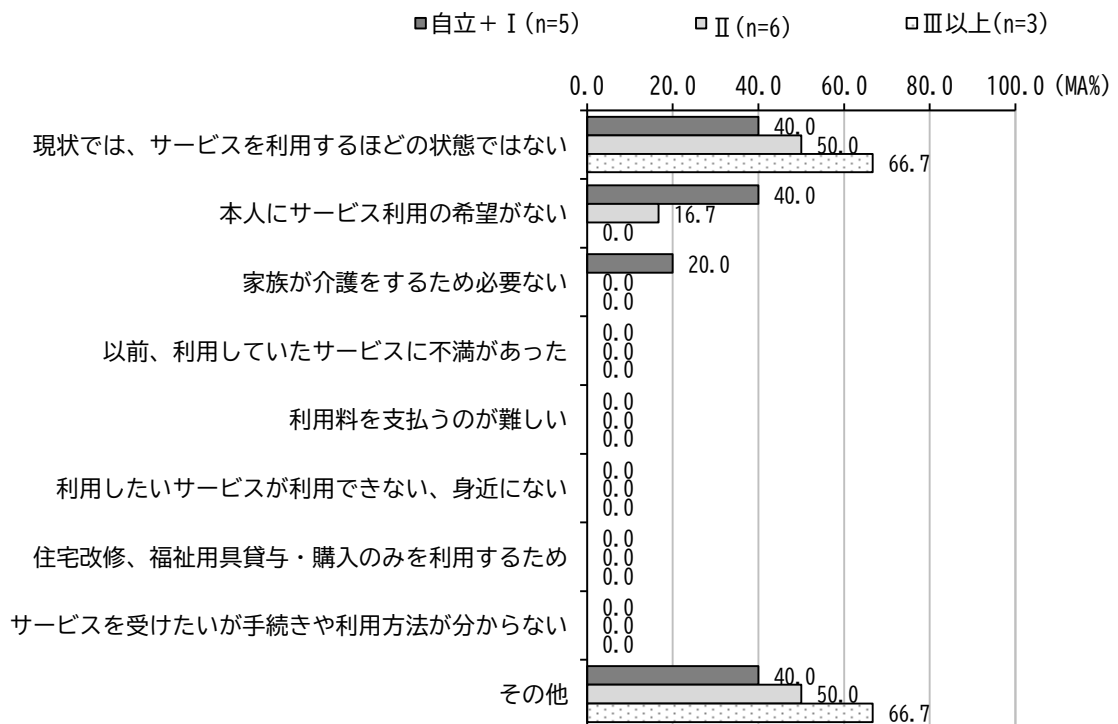
## ii 認知症自立度別のサービス未利用の理由(単身世帯)

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+Ⅰ」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「本人にサービス利用の希望がない」「その他」が40.0%で最も高くなっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「その他」が50.0%で最も高くなっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「その他」が66.7%と高くなっています。

【図表4-2-6-6 サービス未利用の理由(単身世帯) 認知症自立度別】



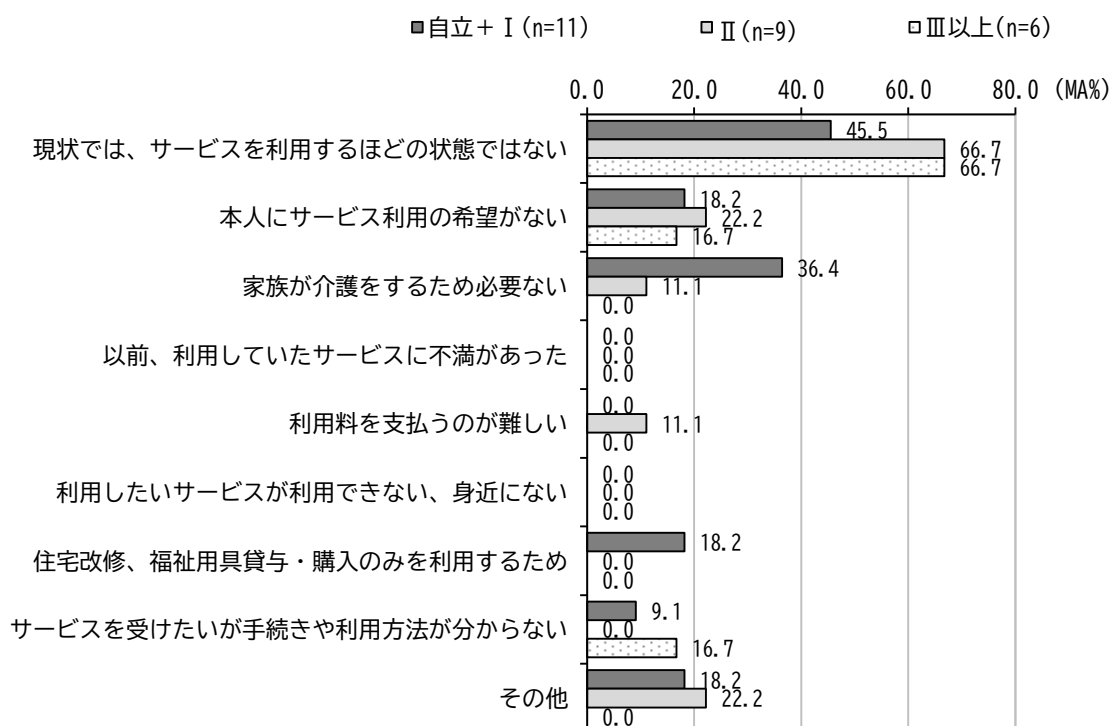
### iii 認知症自立度別のサービス未利用の理由(夫婦のみ世帯)

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+ I」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 45.5%で最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 36.4%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 66.7%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」「その他」が 22.2%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 66.7%で最も高く

【図表4-2-6-7 サービス未利用の理由(夫婦のみ世帯) 認知症自立度別】



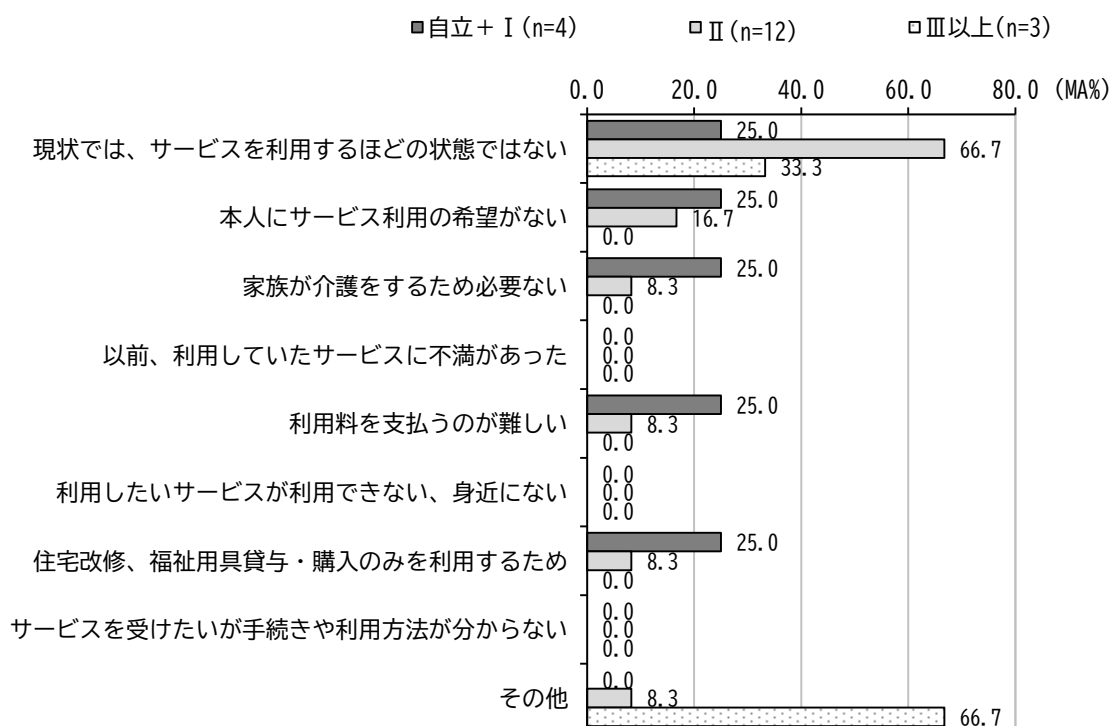
#### iv 認知症自立度別のサービス未利用の理由(その他世帯)

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+ I」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「本人にサービス利用の希望がない」「家族が介護をするため必要ない」「利用料を支払うのが難しい」「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が25.0%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が66.7%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が16.7%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「その他」が66.7%で最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が33.3%となっています。

【図表4-2-6-8 サービス未利用の理由(その他世帯) 認知症自立度別】



### (3) 認知症自立度別でみる今後の在宅生活に必要なと感じる支援・サービス

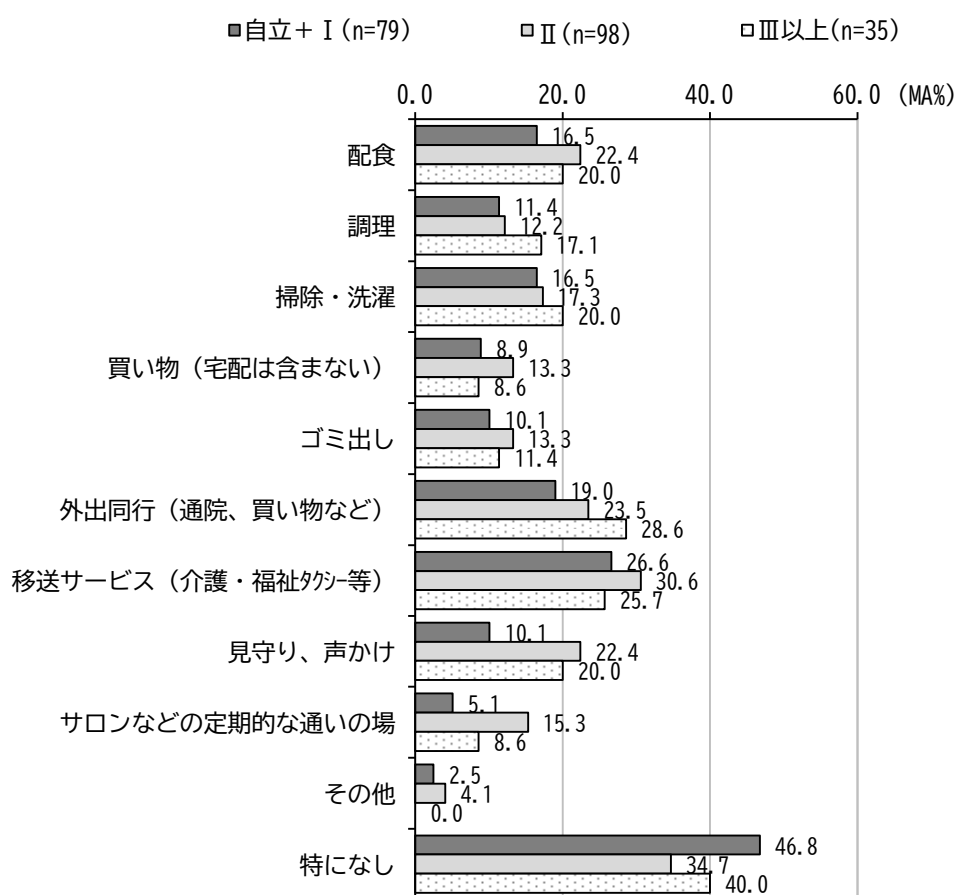
#### i 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+ I」では、「特になし」が46.8%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が26.6%、「外出同行(通院、買い物など)」が19.0%となっています。

「認知症自立度II」では、「特になし」が34.7%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が30.6%、「外出同行(通院、買い物など)」が23.5%となっています。

「認知症自立度III」では、「特になし」が40.0%で最も高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が28.6%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が25.7%となっています。

【図表4-2-6-9 在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス 認知症自立度別】



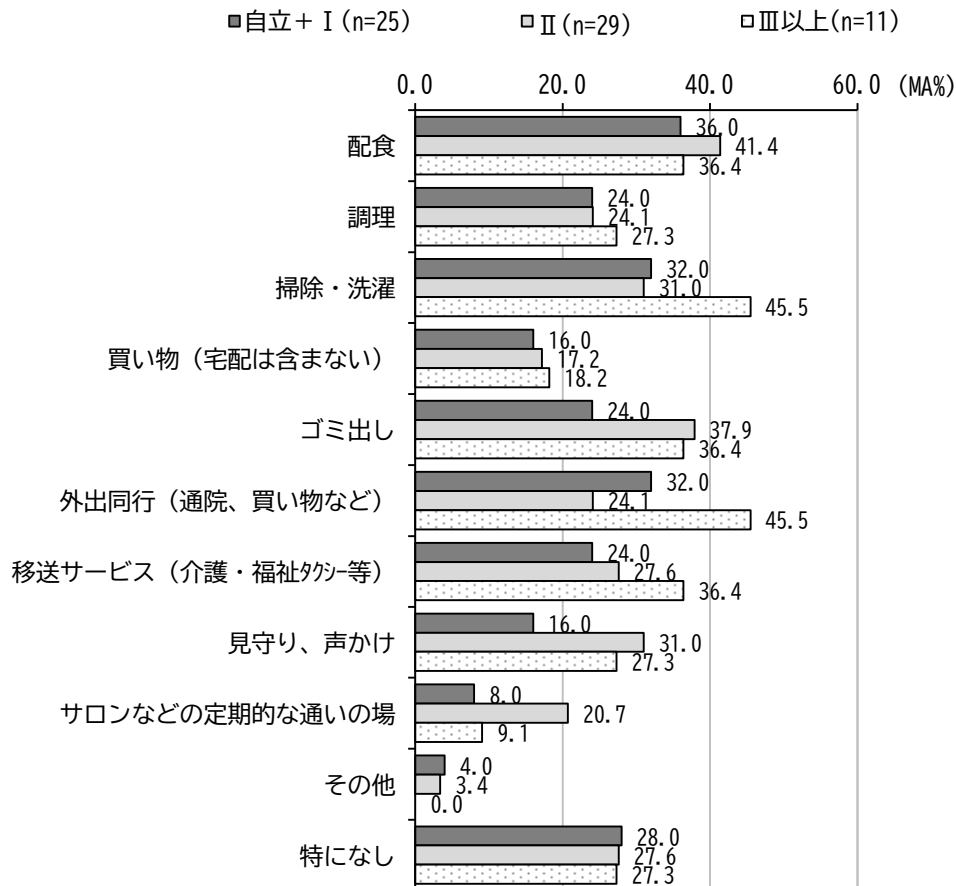
ii 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+ I」では、「配食」が36.0%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」「外出同行(通院、買い物など)」が32.0%となっています。

「認知症自立度II」では、「配食」が41.4%で最も高く、次いで「ゴミ出し」が37.9%、「掃除・洗濯」「見守り、声かけ」が31.0%となっています。

「認知症自立度III」では、「掃除・洗濯」「外出同行(通院、買い物など)」が45.5%で最も高くなっています。

【図表4-2-6-10 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯) 認知症自立度別】



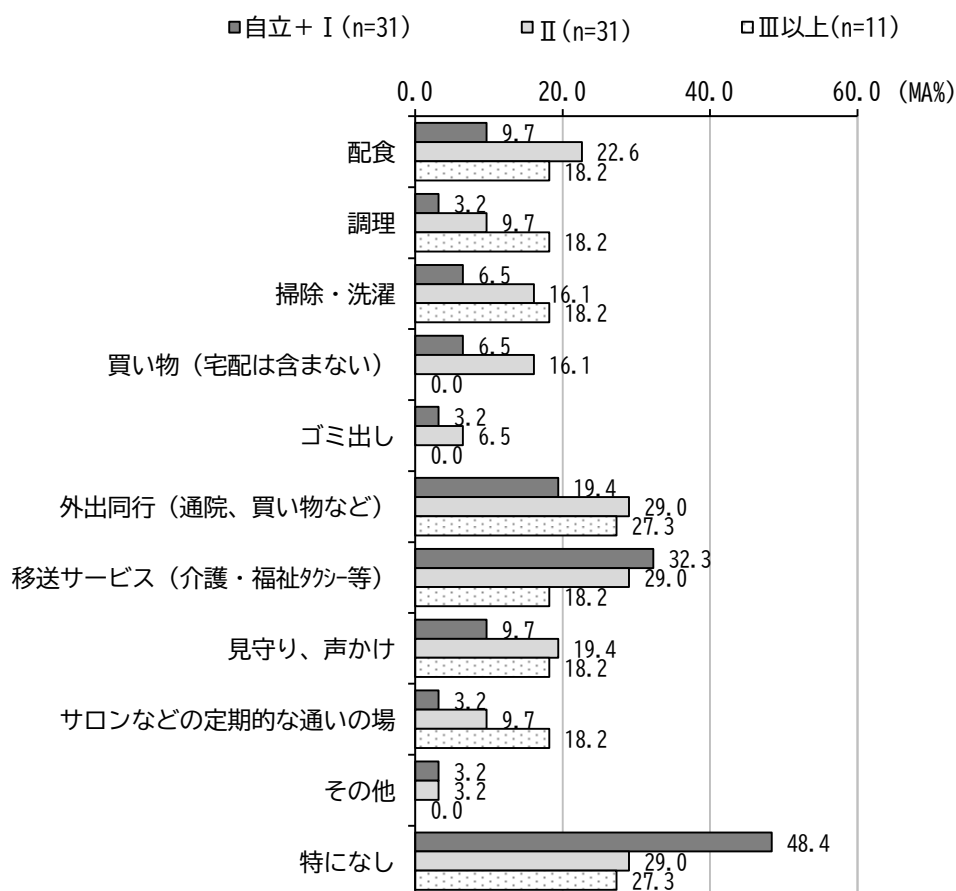
### iii 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+ I」では、「特になし」が48.4%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が32.3%、「外出同行(通院、買い物など)」が19.4%となっています。

「認知症自立度II」では、「外出同行(通院、買い物など)」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「特になし」が29.0%で最も高くなっています。

「認知症自立度III」では、「外出同行(通院、買い物など)」が27.3%で最も高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が27.3%となっています。

【図表4-2-6-11 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯) 認知症自立度別】



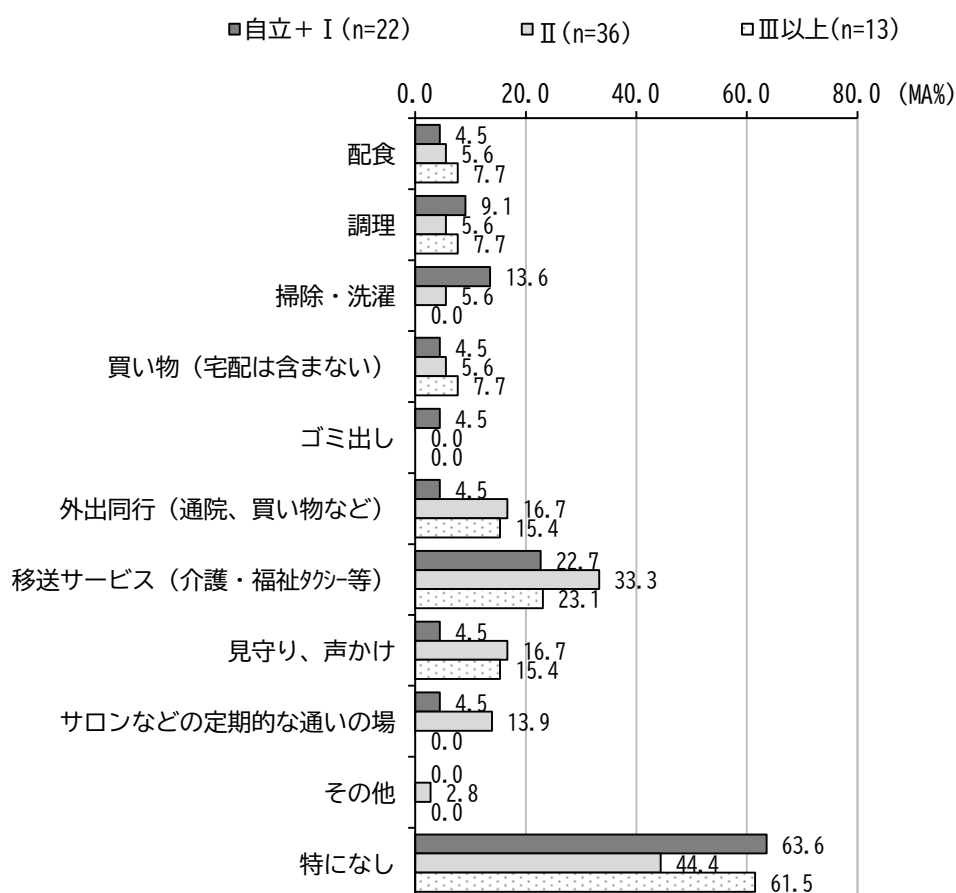
#### iv 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立+ I」では、「特になし」が63.6%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が22.7%、「掃除・洗濯」が13.6%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「特になし」が44.4%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が33.3%、「外出同行(通院、買い物など)」が16.7%となっています。

「認知症自立度Ⅲ」では、「特になし」が61.5%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が23.1%、「外出同行(通院、買い物など)」「見守り、声かけ」が15.4%となっています。

【図表4-2-6-12 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯) 認知症自立度別】



#### (4) 本人の年齢別でみる主な介護者の年齢

##### i 本人の年齢別でみる主な介護者の年齢

介護者の年齢を本人の年齢別にみると、本人の年齢が「65 歳未満」では、「50 歳代」が 100.0%となっています。

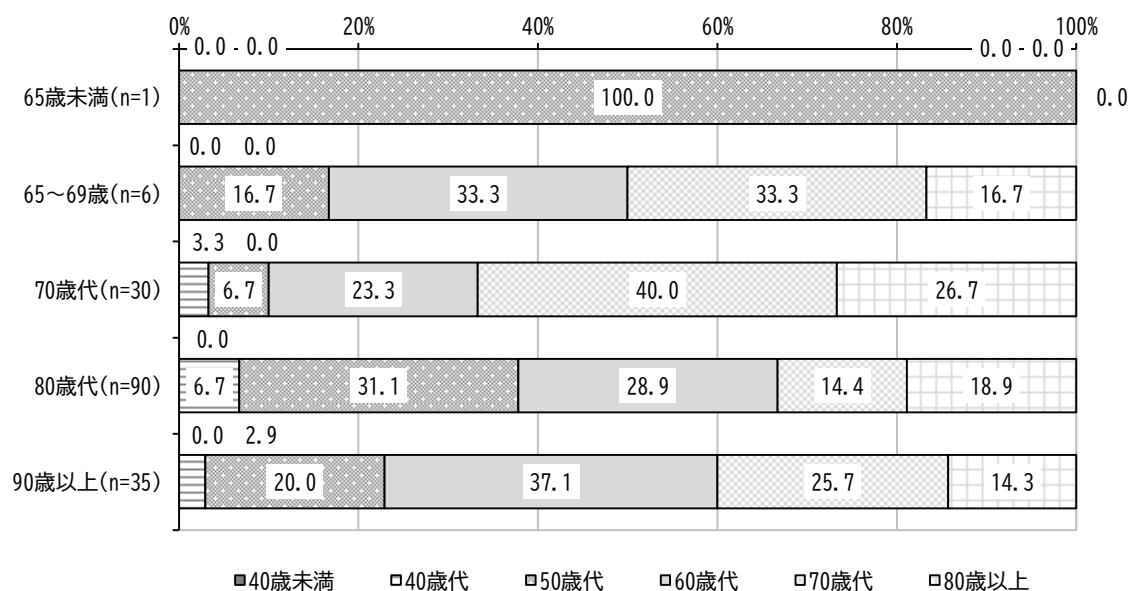
本人の年齢が「65～69 歳」では、「60 歳代」「70 歳代」が 33.3%で最も高くなっています。

本人の年齢が「70 歳代」では、「70 歳代」が 40.0%で最も高く、次いで「80 歳以上」が 26.7%、「60 歳代」が 23.3%となっています。

本人の年齢が「80 歳代」では、「50 歳代」が 31.1%で最も高く、次いで「60 歳代」が 28.9%、「80 歳以上」が 18.9%となっています。

本人の年齢が「90 歳以上」では、「60 歳代」が 37.1%で最も高く、次いで「70 歳代」が 25.7%、「50 歳代」が 20.0%となっています。

【図表4-2-6-13 主な介護者の年齢 本人の年齢別】



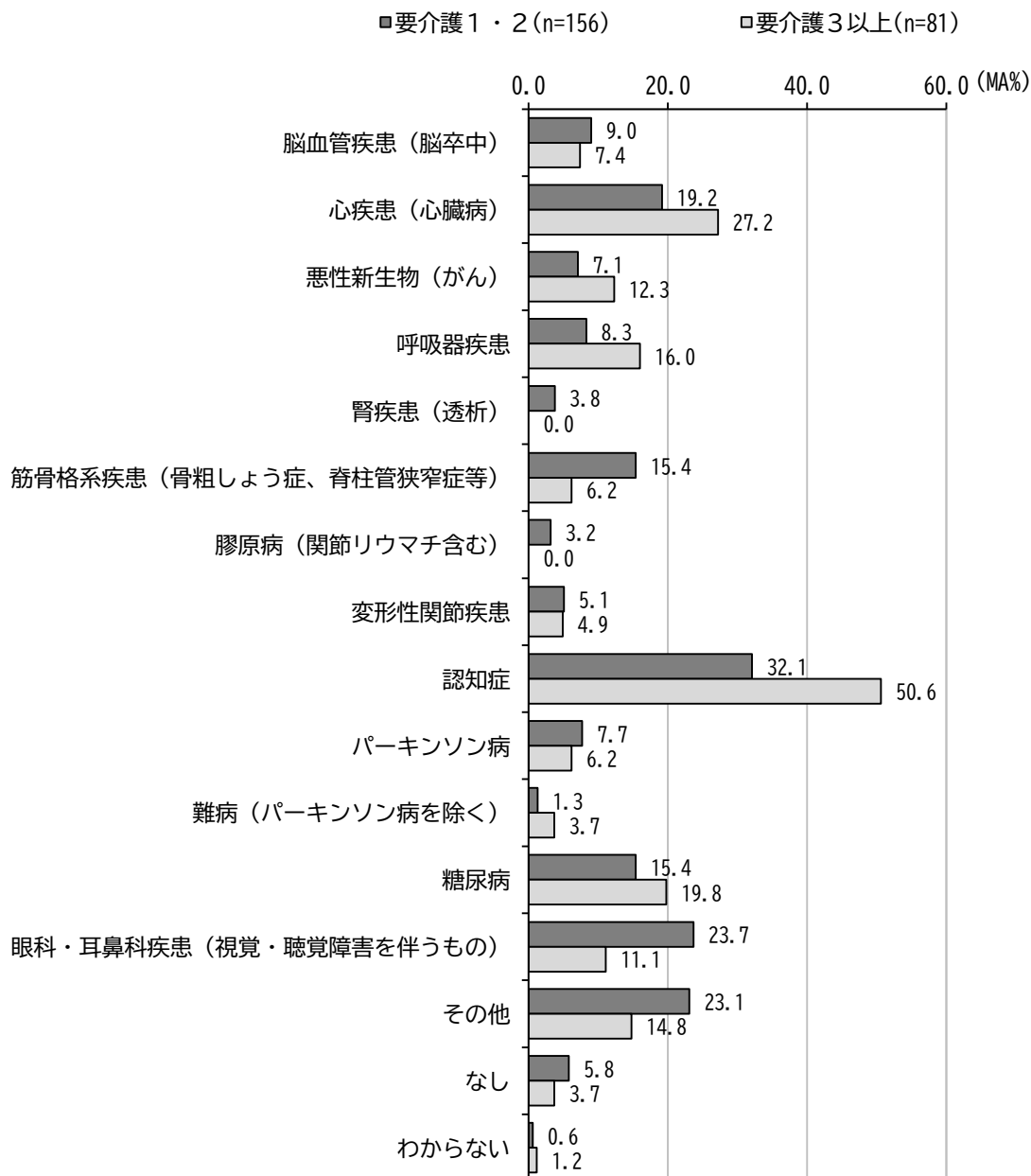
## (5) 要介護度別の抱えている傷病

### i 要介護度別でみる抱えている傷病

抱えている傷病を要介護度別にみると、「要介護1・2」では、「認知症」が 32.1%で最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が 23.7%、「その他」が 23.1%となっています。

「要介護3以上」では、「認知症」が 50.6%で最も高く、次いで「心疾患(心臓病)」が 27.2%、「糖尿病」が 19.8%となっています。

【図表4-2-6-14 抱えている傷病 要介護度別】



## (6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

### i 訪問診療の利用の有無別でみる抱えている傷病

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では、「認知症」が 37.0%で最も高く、次いで「糖尿病」が 28.3%、「心疾患(心臓病)」「その他」が 23.9%となっています。

「利用していない」では、「認知症」が 38.5%で最も高く、次いで「心疾患(心臓病)」が 21.9%、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」「その他」が 19.8%となっています。

【図表4-2-6-15 抱えている傷病 訪問診療の利用の有無別】

